

神田沢遺跡

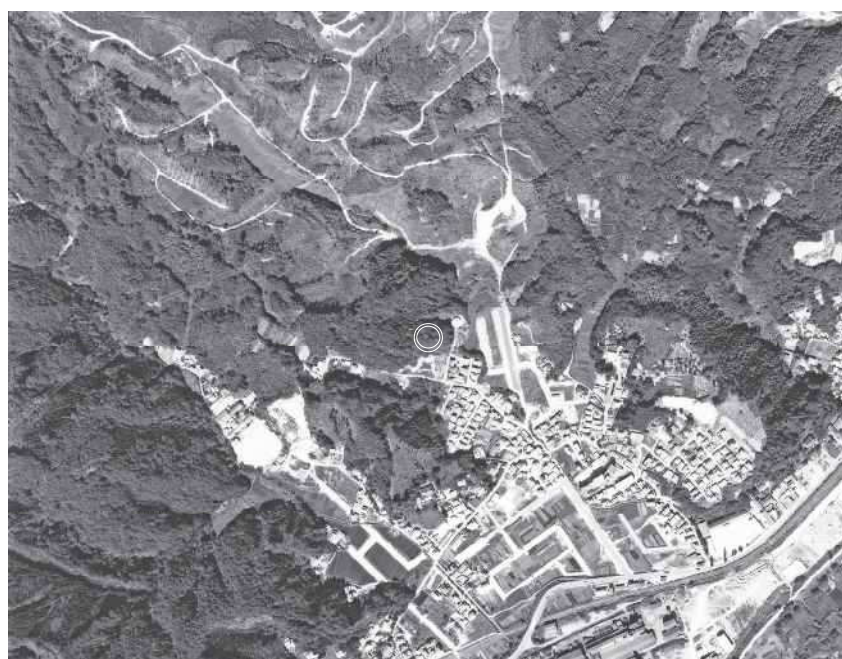
—神田沢地区宅地造成関係埋蔵文化財調査—

2020. 3

岩手県宮古市教育委員会

神田沢遺跡

—神田沢地区宅地造成関係埋蔵文化財調査—



2020. 3

岩手県宮古市教育委員会

序 文

神田沢遺跡は平安時代の遺跡であります。平安時代の遺跡はこれまで数多く調査されており、その中には製鉄関連遺構を伴った住居跡などが多く含まれております。神田沢遺跡も鍛冶炉などを伴った製鉄関連の集落です。今回出土した多数の竪穴住居跡のなかに、「焼失家屋」と呼ばれる、火事にあった住居がそのまま残された遺構がありました。この「そのまま」には、焼け落ちた材木だけではなく、当時の生活を語るたくさんの遺物が含まれていました。土器の他に鉄製品、銅製品などがあります。鉄製品のなかには馬具が含まれており、周辺の遺跡でも同じ馬具を作っていることもわかりました。千徳、田鎖、花輪での馬の生産の様子を知る手掛かりなるものと思われれます。また住居跡から出土した「和同開珎」は、当時朝廷の貴顕が争って求めたという「蝦夷の馬」とのつながりを考えさせるような出土品かと思われれます。

宮古市ではこれまで多くの発掘調査が行われ、その結果は報告書として公にされています。その数は100冊を超えております。報告書は、野外調査が終了したのちにすみやかに刊行されることが望ましいことありますが、さまざまな理由から遅延が生じる場合も出てまいります。本書で報告する遺跡の調査は平成6年に行われたものです。そのため記録の不備を補うことが出来ず、細部において不明のまま報告せざるを得ない部分もでてまいりました。深くお詫び申し上げます。

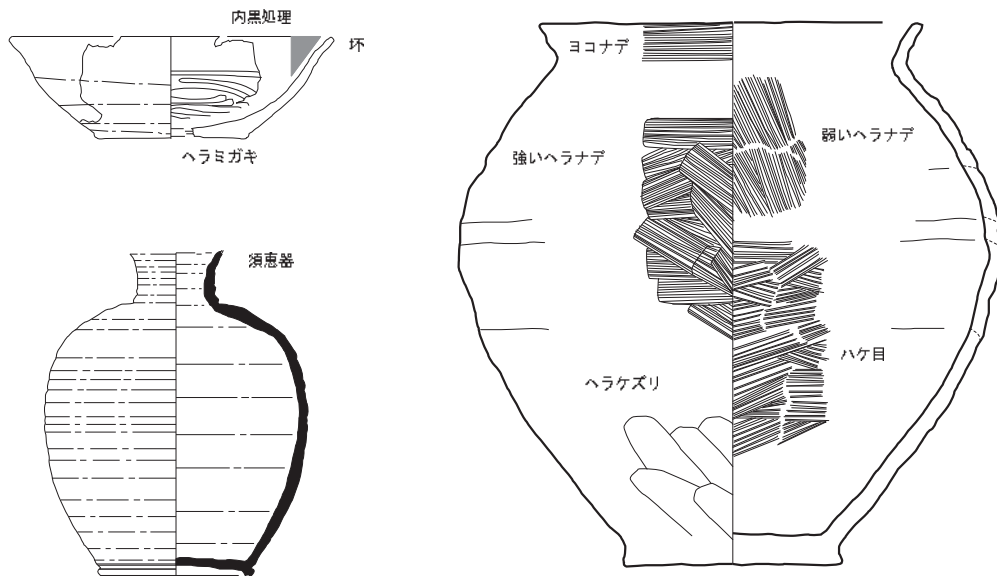
最後になりましたが、野外での調査、資料の整理にあたり協力を頂きました関係者、各位に感謝申し上げ、これらの成果が広く活用されることを願って序文といたします。

令和2年3月

宮古市教育長
伊藤 晃二

例 言

1. 本書は、平成6年度に実施した宅地開発計画に伴う緊急発掘調査事業の報告書である。
2. 調査の主体は宮古市教育委員会である。発掘調査は竹下、高橋、鎌田、工藤、阿部が担当し、本書の執筆、編集は阿部が担当した。
3. 遺構の平面座標は任意の座標である。調査区中央部を x 100、y 100 として設定したものである。
4. 高さは標高値をそのまま使用した。
5. 遺物の表現については下記のとおりとした。



6. 遺物写真に付した番号は、図版番号－遺物番号である。
7. 土層観察に際しては、「新版標準土色帖」（1995年後期版）を参考とした。土壌の固さについては、固、中、軟、密度については、密、中、疎の三段階で示した。
8. 出土した遺物、実測図、写真など調査に関わる資料は、宮古市教育委員会が一括して保管している。

目 次

序文

例言

目次

I	調査経過	1
1	調査に至る経過	
2	調査要旨	
3	調査体制	
II	遺跡の立地と環境	3
III	調査結果	7
1	基本層序	7
2	検出された遺構と遺物	8
a.	北東尾根の遺構	8
b.	尾根平坦部の遺構	21
c.	尾根南斜面の遺構	69
d.	遺構外の炉跡	234
e.	遺構外出土遺物	248
3	調査のまとめ	258
a.	土器	
b.	竪穴住居跡	
c.	炉跡	
d.	鉄製品	
e.	「和同開珎」	
	写真図版	265
	報告書抄録	289
	埋蔵文化財調査報告書一覧	290

図版目次

図 1	宮古市位置図	3
図 2	地形分類図	4
図 3	周辺の遺跡分布図	5
図 4	遺跡の周辺の地形	6
図 5	基本層序	7
図 6	調査区全体図	9
図 7	1号竪穴住居跡、1号、2号土坑跡 平断面	11
図 8	1号竪穴住居跡出土遺物	12
図 9	1号土坑跡出土遺物	13
図 10	2号土坑跡出土遺物	14
図 11	2号竪穴住居跡 平断面	16
図 12	2号竪穴住居跡カマド、P 4 検出状況 平断面	17
図 13	3号土坑跡 平断面	18
図 14	2号竪穴住居跡出土遺物 (1)	19
図 15	2号竪穴住居跡出土遺物 (2)	20
図 16	3号竪穴住居跡 平断面	21
図 17	3号竪穴住居跡出土遺物	21
図 18	4号土坑跡出土遺物	22
図 19	4号、5号、6号土坑跡 平断面	23
図 20	7号、8号、9号土坑跡 平断面	26
図 21	4号竪穴住居跡 平面	27
図 22	4号竪穴住居跡 断面	28
図 23	4号竪穴住居跡カマド A 平断面	29
図 24	4号竪穴住居跡カマド B、C 平断面	30
図 25	4号竪穴住居跡出土遺物 (1)	31
図 26	4号竪穴住居跡出土遺物 (2)	32
図 27	4号竪穴住居跡出土遺物 (3)	33
図 28	4号竪穴住居跡出土遺物 (4)	34
図 29	5号、6号、7号竪穴住居跡、10号、11号、57号土坑跡 平断面	35
図 30	5号、6号、7号竪穴住居跡、57号土坑跡 断面	37
図 31	5号、6号竪穴住居跡出土遺物	38
図 32	10号、11号土坑跡出土遺物	39
図 33	8号竪穴住居跡 平断面	41
図 34	8号竪穴住居跡焼土 I 平断面	42
図 35	8号竪穴住居跡カマド 平断面	43
図 36	8号竪穴住居跡出土遺物	44
図 37	9号竪穴住居跡、12号土坑跡 平断面	45
図 38	9号竪穴住居跡カマド 平断面	46
図 39	9号竪穴住居跡出土遺物 (1)	47

図 40	9号竪穴住居跡出土遺物（2）	48
図 41	9号竪穴住居跡出土遺物（3）	49
図 42	10号竪穴住居跡、13号、14号土坑跡 平断面	51
図 43	10号竪穴住居跡カマドA、B 平断面	52
図 44	10号竪穴住居跡出土遺物	53
図 45	11号竪穴住居跡 平断面	54
図 46	11号竪穴住居跡カマド 平断面	55
図 47	11号竪穴住居跡出土遺物	56
図 48	12号、13号竪穴住居跡 平面	59
図 49	12号、13号竪穴住居跡 断面	60
図 50	12号竪穴住居跡出土遺物	61
図 51	13号竪穴住居跡出土遺物	62
図 52	14号竪穴住居跡、カマドA、B 平断面	63
図 53	14号竪穴住居跡出土遺物	64
図 54	15号竪穴住居跡 平断面	65
図 55	15号竪穴住居跡出土遺物	66
図 56	16号竪穴住居跡、15号、16号土坑跡 平断面	67
図 57	16号土坑跡出土遺物	68
図 58	17号、18号土坑跡 平断面	71
図 59	17号土坑跡出土遺物	72
図 60	19号、20号、21号、22号、23号、24号土坑跡 平断面	73
図 61	19号土坑跡出土遺物	74
図 62	25号、26号、27号、28号土坑跡 平断面	75
図 63	17号、18号竪穴住居跡 平面	76
図 64	17号、18号竪穴住居跡 断面	77
図 65	17号竪穴住居跡出土遺物（1）	78
図 66	17号竪穴住居跡出土遺物（2）	79
図 67	17号竪穴住居跡出土遺物（3）	80
図 68	19号竪穴住居跡、29号土坑跡 平断面	81
図 69	19号竪穴住居跡出土遺物	82
図 70	20号竪穴住居跡、30号、31号、32号、34号、35号土坑跡 平面	84
図 71	20号竪穴住居跡、30号、31号、32号、34号、35号土坑跡 断面	85
図 72	20号竪穴住居跡カマド 平断面	87
図 73	20号竪穴住居跡出土遺物（1）	88
図 74	20号竪穴住居跡出土遺物（2）	89
図 75	33号、34号土坑跡出土遺物	90
図 76	35号土坑跡出土遺物	91
図 77	21号竪穴住居跡、カマド 平断面	95
図 78	21号竪穴住居跡出土遺物	95
図 79	22号竪穴住居跡、カマド 平断面	96
図 80	22号竪穴住居跡出土遺物	96

図 81	23 号、24 号、25 号竪穴住居跡、36 号、37 号、38 号土坑跡	平面	97
図 82	23 号、24 号、25 号竪穴住居跡、36 号、37 号、38 号土坑跡	断面	98
図 83	24 号、25 号竪穴住居跡出土遺物		99
図 84	26 号、27 号竪穴住居跡、1 号段状遺構、39 号土坑跡	平面	100
図 85	26 号、27 号竪穴住居跡、1 号段状遺構、39 号土坑跡	断面	101
図 86	26 号竪穴住居跡カマド	平断面	102
図 87	39 号土坑跡、26 号竪穴住居跡出土遺物 (1)		103
図 88	26 号竪穴住居跡出土遺物 (2)		104
図 89	26 号竪穴住居跡出土遺物 (3)		105
図 90	27 号竪穴住居跡出土遺物		106
図 91	28 号、29 号竪穴住居跡、58 号土坑跡	平断面	109
図 92	28 号竪穴住居跡カマド	平断面	112
図 93	28 号竪穴住居跡焼土 I、II、III	平断面	113
図 94	28 号竪穴住居跡盛土範囲	平断面	114
図 95	28 号竪穴住居跡出土遺物 (1)		115
図 96	28 号竪穴住居跡出土遺物 (2)		116
図 97	28 号竪穴住居跡出土遺物 (3)		117
図 98	29 号竪穴住居跡出土遺物		118
図 99	30 号、31 号竪穴状遺構、40 号土坑跡	平断面	120
図 100	32 号竪穴住居、2 号段状遺構、1 号炉跡、41 号、42 号、43 号土坑跡	平面	122
図 101	32 号竪穴住居、2 号段状遺構、41 号、42 号、43 号土坑跡	断面	123
図 102	32 号竪穴住居跡カマド	平断面	124
図 103	32 号竪穴住居跡出土遺物		124
図 104	1 号炉跡	平断面	125
図 105	1 号炉跡出土遺物		127
図 106	33 号竪穴住居	平断面	128
図 107	33 号竪穴住居カマド	平断面	129
図 108	33 号竪穴住居跡出土遺物 (1)		130
図 109	33 号竪穴住居跡出土遺物 (2)		131
図 110	33 号竪穴住居跡出土遺物 (3)		132
図 111	33 号竪穴住居跡出土遺物 (4)		133
図 112	33 号竪穴住居跡出土遺物 (5)		134
図 113	34 号竪穴住居跡、炉跡 I	平断面	135
図 114	34 号竪穴住居跡炉跡 I	平断面	135
図 115	34 号竪穴住居跡出土遺物		136
図 116	35 号竪穴住居跡	平断面	136
図 117	35 号竪穴住居跡出土遺物		136
図 118	44 号、45 号、46 号、47 号土坑跡	平断面	139
図 119	46 号、47 号土坑跡出土遺物		140
図 120	48 号、49 号、50 号土坑跡	平断面	141
図 121	48 号土坑跡、炉跡 I	平断面	142

図 122	48 号土坑跡出土遺物 (1)	143
図 123	48 号土坑跡出土遺物 (2)	144
図 124	49 号土坑跡出土遺物	145
図 125	36 号竪穴住居跡、51 号、52 号土坑跡 平断面	146
図 126	36 号竪穴住居跡 I 平断面	147
図 127	36 号竪穴住居跡出土遺物	147
図 128	37 号、38 号、39 号竪穴住居跡、跡 I、II、53 号土坑跡 平断面	149
図 129	39 号竪穴住居跡 I、II、53 号土坑跡 平断面	151
図 130	39 号竪穴住居跡、跡 I 出土遺物	152
図 131	40 号竪穴住居跡、跡 I 平面	156
図 132	40 号竪穴住居跡 断面	157
図 133	40 号竪穴住居跡 I 平断面	158
図 134	40 号竪穴住居跡出土遺物	159
図 135	41 号竪穴住居跡 平面	160
図 136	41 号竪穴住居跡 断面	161
図 137	41 号竪穴住居跡カマド 平断面	162
図 138	41 号竪穴住居跡焼土、炭の広がり 平断面	163
図 139	41 号竪穴住居跡 I、II、III 平断面	164
図 140	41 号竪穴住居跡出土遺物 (1)	166
図 141	41 号竪穴住居跡出土遺物 (2)	167
図 142	41 号竪穴住居跡出土遺物 (3)	168
図 143	41 号竪穴住居跡出土遺物 (4)	169
図 144	41 号竪穴住居跡出土遺物 (5)	170
図 145	41 号竪穴住居跡出土遺物 (6)	171
図 146	42 号竪穴住居跡 平断面	172
図 147	42 号竪穴住居跡カマド 平断面	173
図 148	42 号竪穴住居跡出土遺物	173
図 149	43 号竪穴住居跡 検出状況	174
図 150	43 号竪穴住居跡 平面	175
図 151	43 号竪穴住居跡 断面	176
図 152	43 号竪穴住居跡カマド A、C、D 平面	178
図 153	43 号竪穴住居跡カマド A、C、D 断面	179
図 154	43 号竪穴住居跡カマド B 平断面	180
図 155	43 号竪穴住居跡出土遺物 (1) 坏	181
図 156	43 号竪穴住居跡出土遺物 (2) 土師器	182
図 157	43 号竪穴住居跡出土遺物 (3) 土師器	183
図 158	43 号竪穴住居跡出土遺物 (4) 土師器	184
図 159	43 号竪穴住居跡出土遺物 (5) 須恵器	185
図 160	43 号竪穴住居跡出土遺物 (6) 須恵器	187
図 161	43 号竪穴住居跡出土遺物 (7) 須恵器	189
図 162	43 号竪穴住居跡出土遺物 (8) 須恵器	190

図 163	43 号竪穴住居跡出土遺物 (9)	鉄製品	191
図 164	43 号竪穴住居跡出土遺物 (10)	鉄製品	192
図 165	43 号竪穴住居跡出土遺物 (11)	鉄製品	193
図 166	43 号竪穴住居跡出土遺物 (12)	鉄製品	194
図 167	43 号竪穴住居跡出土遺物 (13)	銅製品、砥石	195
図 168	44 号竪穴住居跡	平断面	196
図 169	44 号竪穴住居跡カマド	平断面	197
図 170	44 号竪穴住居跡出土遺物		198
図 171	45 号竪穴住居跡	平面	201
図 172	45 号竪穴住居跡	断面	202
図 173	45 号竪穴住居跡焼土	平断面	203
図 174	45 号竪穴住居跡出土遺物 (1)		204
図 175	45 号竪穴住居跡出土遺物 (2)		205
図 176	45 号竪穴住居跡出土遺物 (3)		206
図 177	46 号竪穴住居跡	平面	207
図 178	46 号竪穴住居跡	断面	208
図 179	46 号竪穴住居跡カマド	平断面	209
図 180	46 号竪穴住居跡出土遺物 (1)		210
図 181	46 号竪穴住居跡出土遺物 (2)		211
図 182	46 号竪穴住居跡出土遺物 (3)		212
図 183	46 号竪穴住居跡出土遺物 (4)		213
図 184	47 号、48 号、49 号竪穴住居跡、54 号、55 号土坑跡	平面	214
図 185	47 号、48 号、49 号竪穴住居跡、54 号、55 号土坑跡	断面	215
図 186	49 号竪穴住居跡カマド A、B	平断面	217
図 187	49 号竪穴住居跡カマド C	平断面	218
図 188	49 号竪穴住居跡出土遺物 (1)		219
図 189	49 号竪穴住居跡出土遺物 (2)		220
図 190	49 号竪穴住居跡出土遺物 (3)		221
図 191	49 号竪穴住居跡出土遺物 (4)		222
図 192	50 号竪穴住居跡、56 号土坑跡	平面	224
図 193	50 号竪穴住居跡、56 号土坑跡	断面	225
図 194	50 号竪穴住居跡カマド A、B、C	平断面	226
図 195	50 号竪穴住居跡出土遺物 (1)		227
図 196	50 号竪穴住居跡出土遺物 (2)		228
図 197	50 号竪穴住居跡出土遺物 (3)		229
図 198	51 号竪穴住居跡、3 号段状遺構	平断面	230
図 199	51 号竪穴住居跡カマド	平断面	231
図 200	51 号竪穴住居跡出土遺物 (1)		232
図 201	51 号竪穴住居跡出土遺物 (2)		233
図 202	遺構外炉跡の配置 (1 号～9 号炉跡)		236
図 203	2 号炉跡、1 号段状遺構	平断面	237

図 204	2号炉跡、炭の広がり 平断面	238
図 205	2号炉跡、1号段状遺構出土遺物（1）	239
図 206	2号炉跡、1号段状遺構出土遺物（2）	240
図 207	3号炉跡 平断面	241
図 208	4号炉跡 平断面	242
図 209	5号、6号、7号、8号炉跡、炭の広がり	243
図 210	5号、6号炉跡 平断面	244
図 211	7号、8号炉跡 平断面	245
図 212	5号、6号、8号炉跡出土遺物	246
図 213	9号炉跡 平断面	247
図 214	遺構外出土遺物（1） 表土層	249
図 215	遺構外出土遺物（2） 表土層	250
図 216	遺構外出土遺物（3） 表土層	251
図 217	遺構外出土遺物（4） 表土層	252
図 218	遺構外出土遺物（5） 表土層	253
図 219	遺構外出土遺物（1） 検出面	254
図 220	遺構外出土遺物（2） 検出面	255
図 221	遺構外出土遺物（3） 検出面	256
図 222	遺構外出土遺物（4） 検出面	257

挿図目次

挿図 1	出土土器集成 1	259
挿図 2	出土土器集成 2	260
挿図 3	出土土器集成 3	261
挿図 4	出土土器集成 4	262

写真図版目次

写真図版 1	調査区遠景 南斜面完掘状況	267
写真図版 2	1号竪穴住居跡、2号竪穴住居跡、9号竪穴住居跡	268
写真図版 3	11、12、13号竪穴住居跡、14号竪穴住居跡、25、26号竪穴住居跡	269
写真図版 4	28号、29号、31号竪穴住居跡、32号竪穴住居跡、1号炉跡	270
写真図版 5	41号竪穴住居跡と周辺の遺構、41号竪穴住居跡炉跡	271
写真図版 6	34号竪穴住居跡埋嚢、39号竪穴住居跡炉跡Ⅰ、53号土坑跡、42号竪穴住居跡	272
写真図版 7	43号竪穴住居跡、遺物出土状況	273
写真図版 8	45号竪穴住居跡、46号竪穴住居跡、49号竪穴住居跡	274
写真図版 9	50号竪穴住居跡、49号、50号竪穴住居跡カマド断割り	275
写真図版 10	17号竪穴住居跡、48号土坑跡	276
写真図版 11	2号炉跡、3号炉跡、4号炉跡	277
写真図版 12	5号炉跡、6号炉跡、9号炉跡	278
写真図版 13	43号竪穴住居跡出土遺物	279
写真図版 14	出土遺物 土師器	280
写真図版 15	出土遺物 土師器	281
写真図版 16	出土遺物 須恵器	282
写真図版 17	出土遺物 羽口	283
写真図版 18	43号竪穴住居跡出土遺物 鉄製品	284
写真図版 19	43号竪穴住居跡出土遺物 鉄製品、46号竪穴住居跡出土鉄滓、琥珀	285
写真図版 20	出土遺物 鉄製品 銭貨（和同開珎）	286
写真図版 21	出土遺物 砥石、鉄床石	287

I 調査経過

1. 調査に至る経過

平成5年8月12日、同月23日に神田沢地区の開発を計画していた山口登氏（㈱山口産業）との間で協議が行われた。協議では試掘調査を9月に実施することが決められ、試掘調査は平成5年9月13日から同年9月18日まで実施された。試掘調査では、平安時代の竪穴住居跡、土坑跡などの遺構、土師器、鉄製品などの遺物が確認された。試掘調査の結果を受けて、平成5年11月10日に本調査へむけての協議が行なわれた。平成6年4月28日に新たに協定書が締結され、本調査は平成6年5月9日～同年9月18日まで実施された。本調査終了後の平成6年11月、整理作業、報告書刊行について協議に入ろうとしたが、山口氏と連絡が取れなくなり、以後音信不通となった。会社は、平成14年12月3日商法第406条ノ3大項の規定により解散したことが判明し、整理作業・報告書刊行費を請求できなくなった。以来市教育委員会では、整理作業・報告書の刊行について検討してきたが、平成24年に国庫補助事業として申請し、認可された。平成25年度から五ヵ年計画で資料整理、報告書の刊行を実施することになった。

2. 調査要旨

遺跡名 神田沢遺跡

調査地点 宮古市大字千徳第18地割字神田沢63番、67番1

調査面積 6、680㎡

調査期間 試掘調査 平成5年9月13日～同年10月6日

本調査 平成6年5月9日～同年9月14日

資料整理 平成25年度 平成26年1月14日～3月31日

平成26年度 平成26年4月8日～5月30日

平成27年度 平成27年4月20日～平成28年3月25日

平成28年度 平成28年10月3日～平成29年2月28日

平成29年度 平成29年10月2日～平成30年3月23日

平成30年度 平成30年4月9日～平成31年3月22日

令和元年度 平成31年4月9日～令和2年2月28日

検出遺構・遺物 竪穴住居跡、土坑跡、あかやき土器 土師器、須恵器 土製品（羽口）
鉄製品、銅製品、銭貨（「和同開珎」）、砥石

3. 調査体制

平成4～6年度

調査主体 佐藤 勇逸 宮古市教育委員会 教育長

調査総括 岩田 善弘 宮古市教育委員会課長（平成4年、5年度）

浦野 光廣 //

（平成6年度）

事務担当 山崎 吉章 宮古市教育委員会社会教育係長（平成4年、5年度）

田鎖 春雄 //

（平成6年度）

坂下 昇 宮古市教育委員会庶務課主査兼社会教育主事

調査員 竹下 将夫 宮古市教育委員会社会教育課主任

高橋 憲太郎 //

鎌田 祐二 //

阿部 豊 宮古市教育委員会社会教育課埋蔵文化財発掘調査員（非常勤）

工藤 剛司 宮古市教育委員会社会教育課埋蔵文化財発掘調査員（非常勤）

発掘調査

古舘 友三 木村 博 今津 東一 中居 磯雄 水本 正男 中屋 東一 山根 一郎

坂下 節朗 在原 正利 佐々木 健 渡辺 留蔵 島田 義道 長沢 格夫 三浦 力

中嶋 正裕 永田 美弥子 久保田 チエ 館崎 礼子 鈴木 いそ子 吉田 弘子 木村 文子

宮古市は平成 17 年 6 月に田老町、新里村と合併し、その際文化係は生涯学習課から独立して文化課となった。

令和元年度

調査主体 伊藤 晃司 宮古市教育委員会 教育長

調査総括 藤田 浩司 宮古市教育委員会 文化課長

事務担当 安原 誠 埋蔵文化財センター 所長

江口 邦安 埋蔵文化財センター 主任文化財調査員

調査員 阿部 豊 埋蔵文化財センター 埋蔵文化財発掘調査員（非常勤）主担当

鹿島 直樹 埋蔵文化財センター 埋蔵文化財発掘調査員（非常勤）

赤沼 みちる 埋蔵文化財センター 埋蔵文化財調査員（非常勤）

資料整理

山崎 日日雄 小成 鷹介 佐々木 厚子 崎尾 由美子 鳴海 美雪 松本 理恵 畠山 憲子

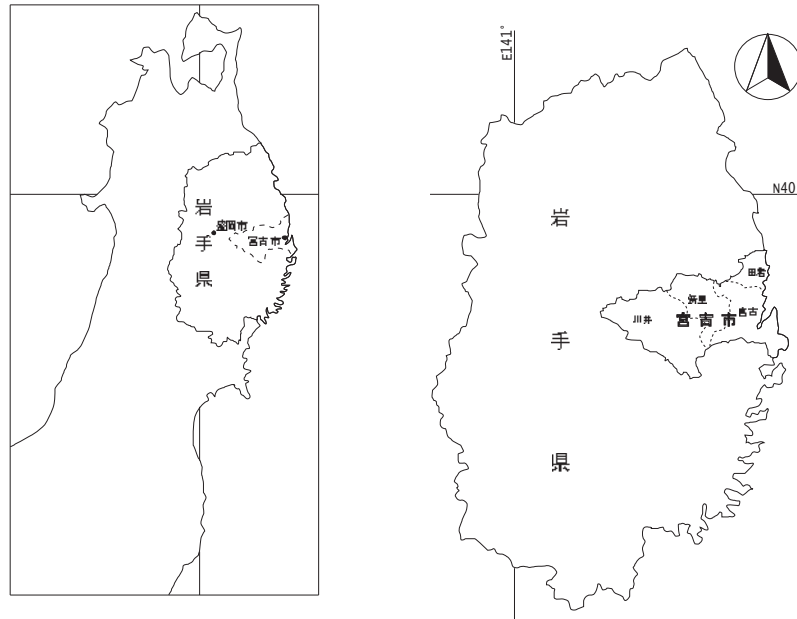


図1 宮古市位置図

Ⅱ 遺跡の立地と環境

宮古市は三陸海岸のほぼ中央に位置する。本州の最東端にあたる重茂半島は北東に向って太平洋に突出し、その西側に宮古湾が形成される。宮古湾には西から閉伊川、南から津軽石川が流入する。市の大部分は丘陵と山地で占められる。平坦部は両河川の流域と湾岸に形成され、市街地はその平坦地に築かれる。宮古市で確認されている400余りの遺跡は、これらの丘陵地と河川の流域に分布している。また市内の城館遺跡は、大部分が、閉伊川、津軽石川の流域と宮古湾岸に分布している。

宮古市は平成17年に北の田老町、西の新里村と合併、さらに平成22年には内陸部の川井村と合併し、海岸線は北に延び、山地は西に大きく広がった。合併以前、遺跡の調査はもっぱら河川流域の丘陵、湾岸で行われてきたが、広く西側の山地まで含まれることになった。

周辺の古代の遺跡

神田沢遺跡は市域を南北に分ける閉伊川の北側の丘陵に位置する。北側の丘陵は、近内側のなど中小の河川に開析されてできたいくつかの館跡などを形成する。北東の近内大館、東の千徳城遺跡群などである。「近内館跡」（2007 宮古報文 71）では、製鉄遺構を伴った古代の竪穴跡が報告されている。「千徳城遺跡群」では、2016年の北側調査区で工房、炭窯を伴った古代の竪穴住居跡が出土している（岩手県埋文センター）。閉伊川を挟んだ対岸の丘陵域では、閉伊川に流入する長沢川を挟んで、西の田鎖館と東の松山館が対峙する。長沢川の左岸に沿って田鎖館、花輪鯉沢遺跡が連なる。松山館では古代の製鉄炉が出土している（岩手県埋文センター）。田鎖館の麓の平坦地の「田鎖車堂前遺跡」では、濠を伴った12世紀の建物跡が見つかり注目を集めている（岩手県埋文センター）。

「花輪鯉沢遺跡」（1992 宮古報文 34）では、鍛冶炉を伴った集落跡が報告され、神田沢と同じ鉄製品の馬具が出土している。丘陵地帯に古代の遺跡が広がり、古代の製鉄遺構と「馬」の関係が注目される地域である。

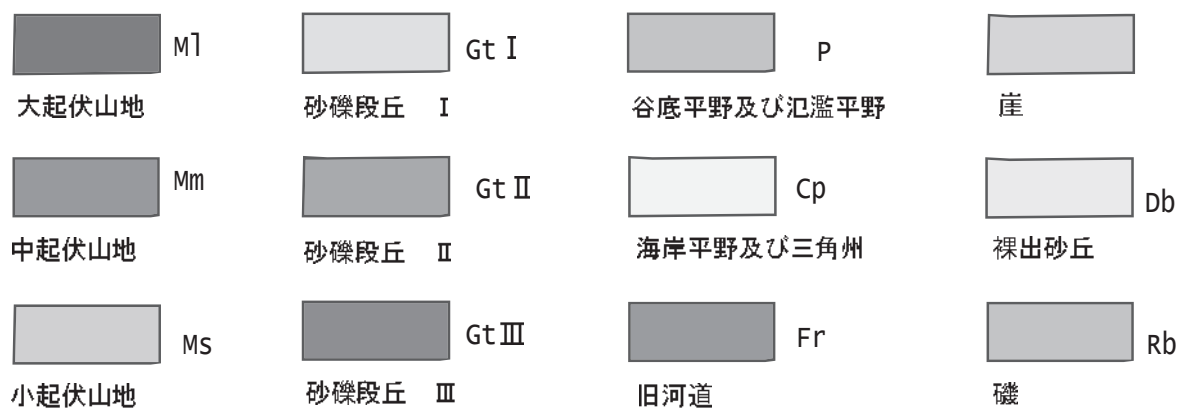
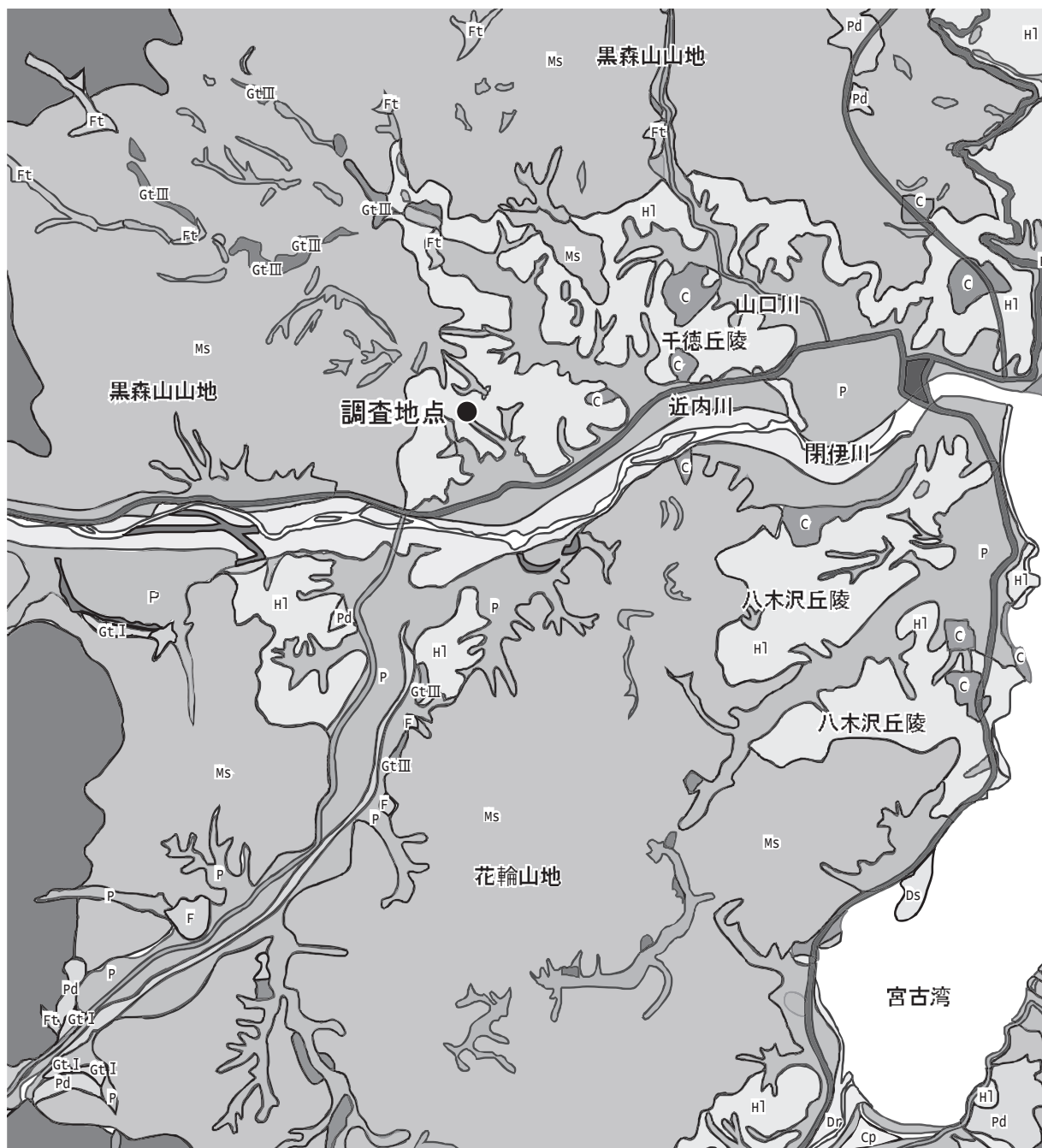


図2 地形分類図

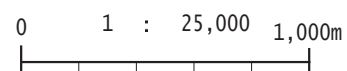
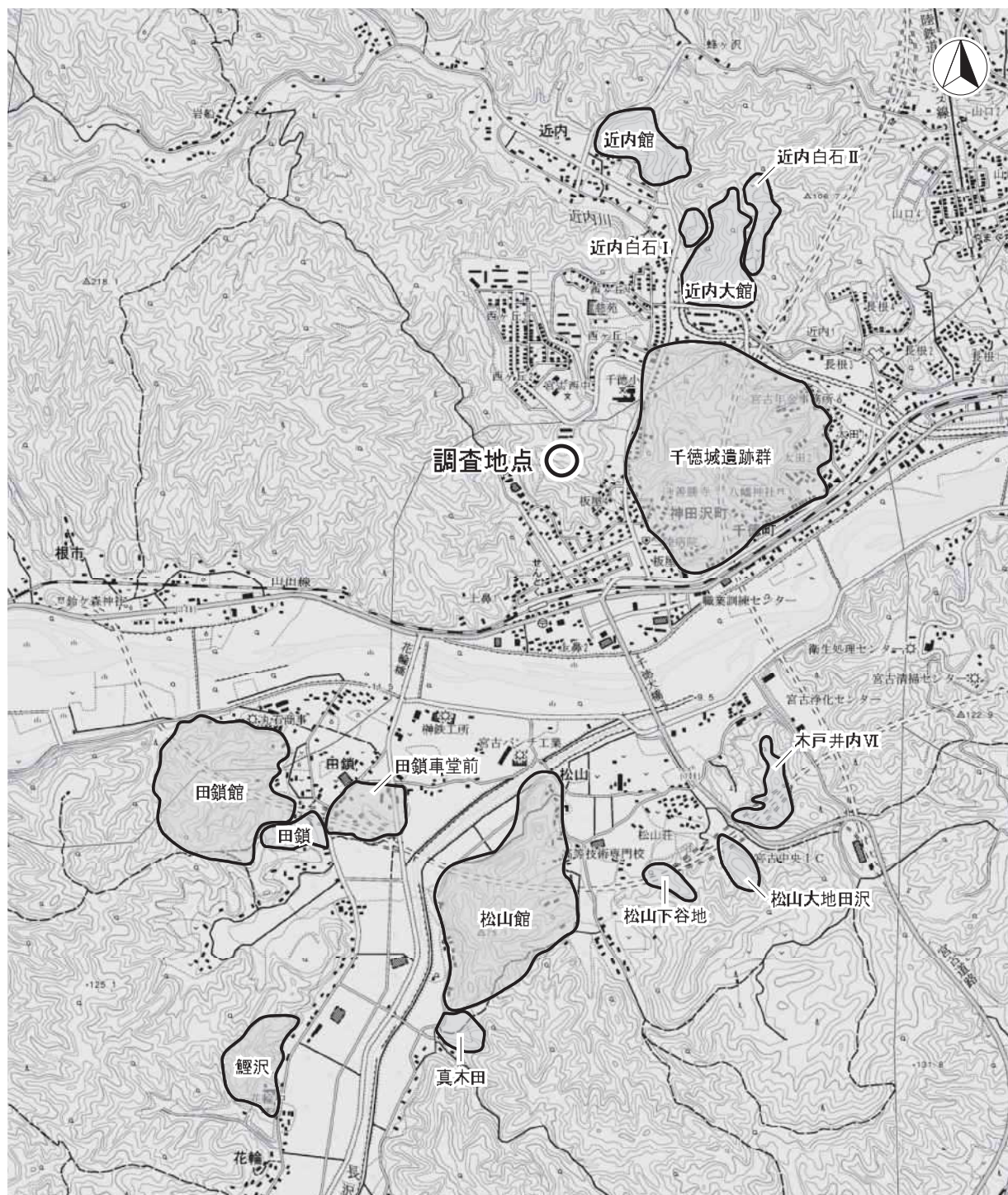


図3 周辺の遺跡分布図

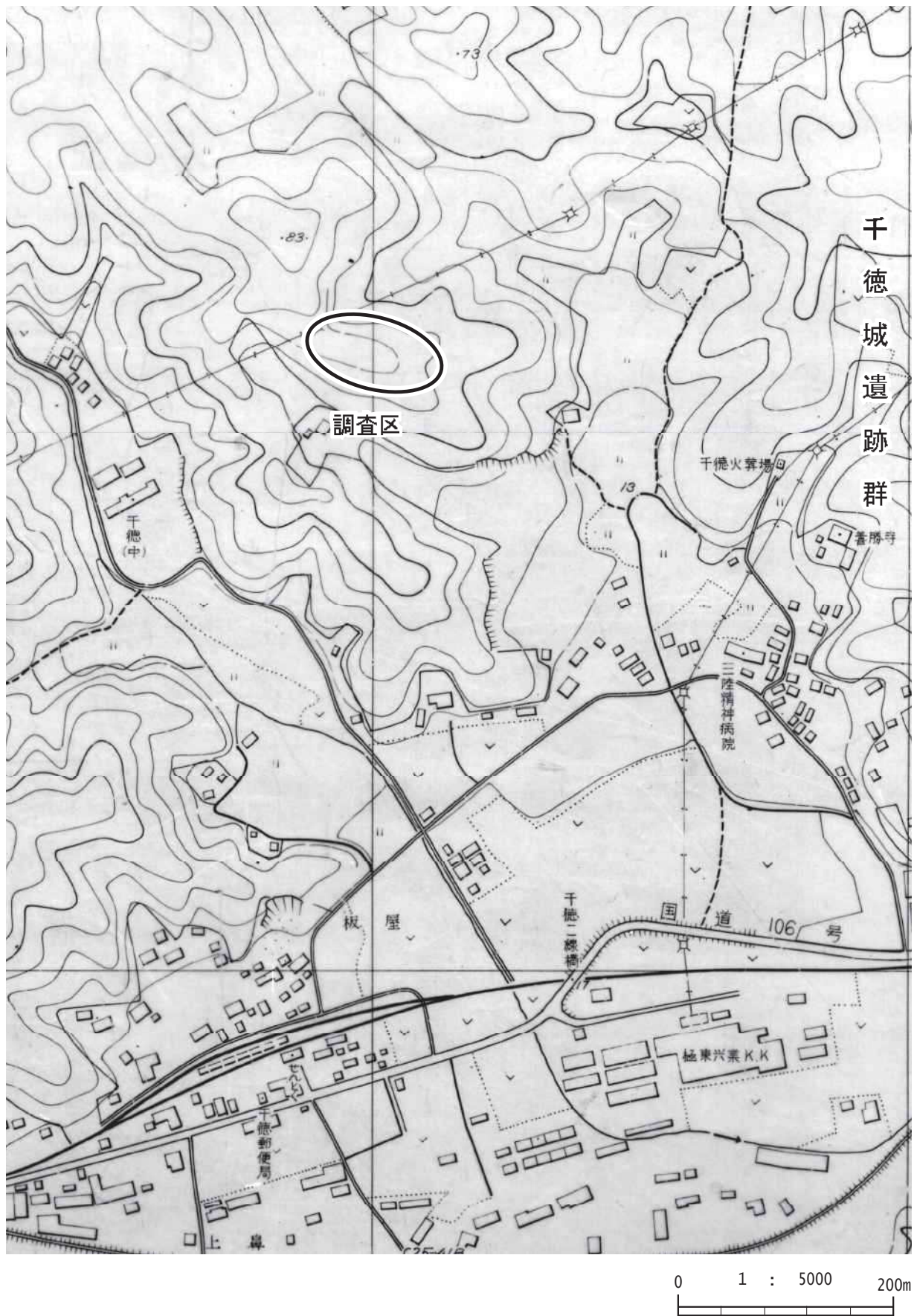


図4 遺跡の周辺の地形

Ⅲ 調査結果

1. 基本層序

調査区は西から東にむけて傾斜する尾根の鞍部と斜面である。尾根は東側で北東と東の二つの尾根に分かれる。東尾根の傾斜面では遺構は検出されていない。北東尾根の平坦部で竪穴跡、土坑跡などを検出した。

検出した遺構を平坦部と斜面に分けて、東側から西側に向けて記述していく。また、南斜面で検出された炉跡のなかで、竪穴住居跡の埋土から出土したものについては別けて記述する。

基本層序は、表土層、盛土層、旧表土層の3層に大別される。盛土と旧表土層は調査区東斜面で検出している。今回検出した遺構は、すべてⅠ層下の地山面から出土し、生活面は1面である。

Ⅰ層は軟質の褐色土層である。2層に細別される。

基本層序

層名	基本土	混入土	面さ・構造・混入物
表土	Ia	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR3/4 暗褐色 壤土 3% 粉状混入
			10YR6/6 明黄褐色 花コウ岩 粗粒砂 細砂 5%
表土	Ib	10YR4/4 褐色 壤質砂土	10YR3/4 暗褐色 壤土 1% 粉状混入
			10YR6/6 明黄褐色 花コウ岩 粗粒砂 1%
盛土	M1	10YR3/4 暗褐色 シルト質壤土	10YR4/6 褐色 シルト質壤土 3% 礫状混入
			10YR2/2 黒褐色 シルト質壤土 塊状 1%
			10YR6/6 明黄褐色 カコウ岩 粗粒砂 細砂 5%
盛土	M2	10YR3/3 暗褐色 シルト質壤土	10YR2/2 黒褐色 シルト質壤土 塊状 1%
			10YR4/6 褐色 シルト質壤土 粉状 1%
盛土	M3	10YR3/4 暗褐色 シルト質壤土	10YR3/3 暗褐色 シルト質壤土 粒状 2%
			10YR4/6 褐色 シルト質壤土 粉状 2%
盛土	M4	10YR3/3 暗褐色 シルト質壤土	7.5YR3/4 暗褐色 シルト質壤土 粒塊状 2%
			10YR2/2 黒褐色 シルト質壤土 1% 塊状
旧表土	Ⅱ a	10YR2/2 黒褐色 埴土	10YR2/3 黒褐色 シルト質埴土 1% 粉状
自然層	Ⅱ b	10YR2/3 黒褐色 シルト質埴土	7.5YR3/4 暗褐色 シルト質埴土 粉状 3%
			10YR2/2 黒褐色 埴土 粉状 2%
自然層	Ⅲ a	10YR3/3 暗褐色 シルト質埴土	7.5YR3/4 暗褐色 シルト質埴土 粉状 7%
	Ⅲ b	7.5YR3/4 暗褐色 シルト質埴土	10YR3/3 暗褐色 シルト質埴土 粉状 2%

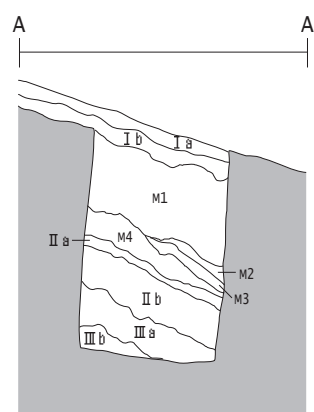


図5 基本層序

2. 検出された遺構と遺物

a. 北東尾根の遺構

1号竪穴住居跡（図7）

北東尾根の平坦部に位置する。1号土坑跡に切られる。北西部分のみの検出であり、全体の規模は不明である。北西部の角は隅丸方形を呈している。埋土は、単層である。暗いにぶい黄褐色土である。西壁際で4基の小中規模の土坑跡、北西壁際で周溝を検出している。P4は床面の中規模の土坑である。カマド、周溝は検出していない。

出土遺物（図8）

1はP4から出土した土師器甕の口縁部である。短く、わずかに外反し、体部は膨らむ。2は床面から出土した土師器甕の底部である。明瞭な張り出しをもち、底面にヘラ削り痕を残す。3は須恵器の体部片である。内外面にタタキメを残す。4は砥石である。小形の方形の石で、3面の磨面をもつ。

1号土坑跡（図7）

1号竪穴住居跡の西側に位置し、1号竪穴住居跡を切る。平面形は不整円形を呈し、規模は、2.2m×1.7m、深さ0.5mを測る。底部は凹面である。埋土は、3層に大別される。

出土遺物（図9）

1～5は土師器の甕である。1～4は口縁部である。いずれも短い口縁部ある。1はわずかに外反し、体部は膨らむ。2～4はほぼ直に立ち上がる。4は水平に面取りされる。2の体部は膨らみ、3、4は膨らみをもたない。5は底部である。張り出しはもたない。6、7は須恵器の体部、底部である。体部は内外面にタタキメを残し、底部は内外面にヘラ削り痕を残す。8は土製品の羽口である。径は不明である。9は鉄製品の刀子である。

2号土坑跡（図7）

1号土坑跡の西に位置し、1号土坑跡に切られる。平面形は不整円形を呈し、規模は、径約1.5m、深さ1.2mを測る。壁はやや内傾して立ち上がり、床面は平坦である。埋土は、5層に大別される。

出土遺物（図10）

1は土師器甕の口縁部である。短く、わずかに外反し、体部は膨らむ。2は縄文土器片である。羽状縄文が施される。3は鉄製品である。角釘の体部と思われる。4は土製品の羽口である。

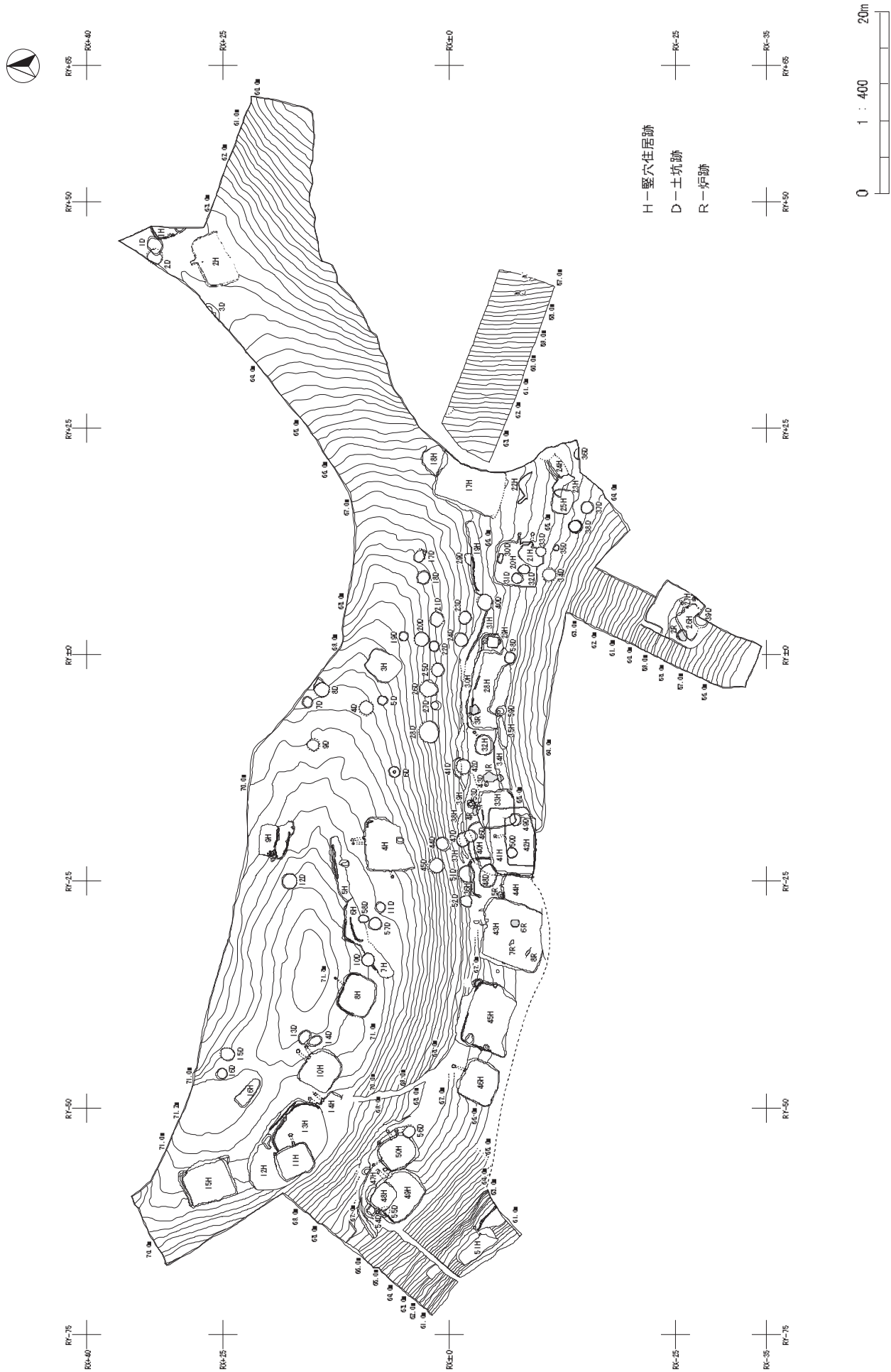


図6 調査区全体図

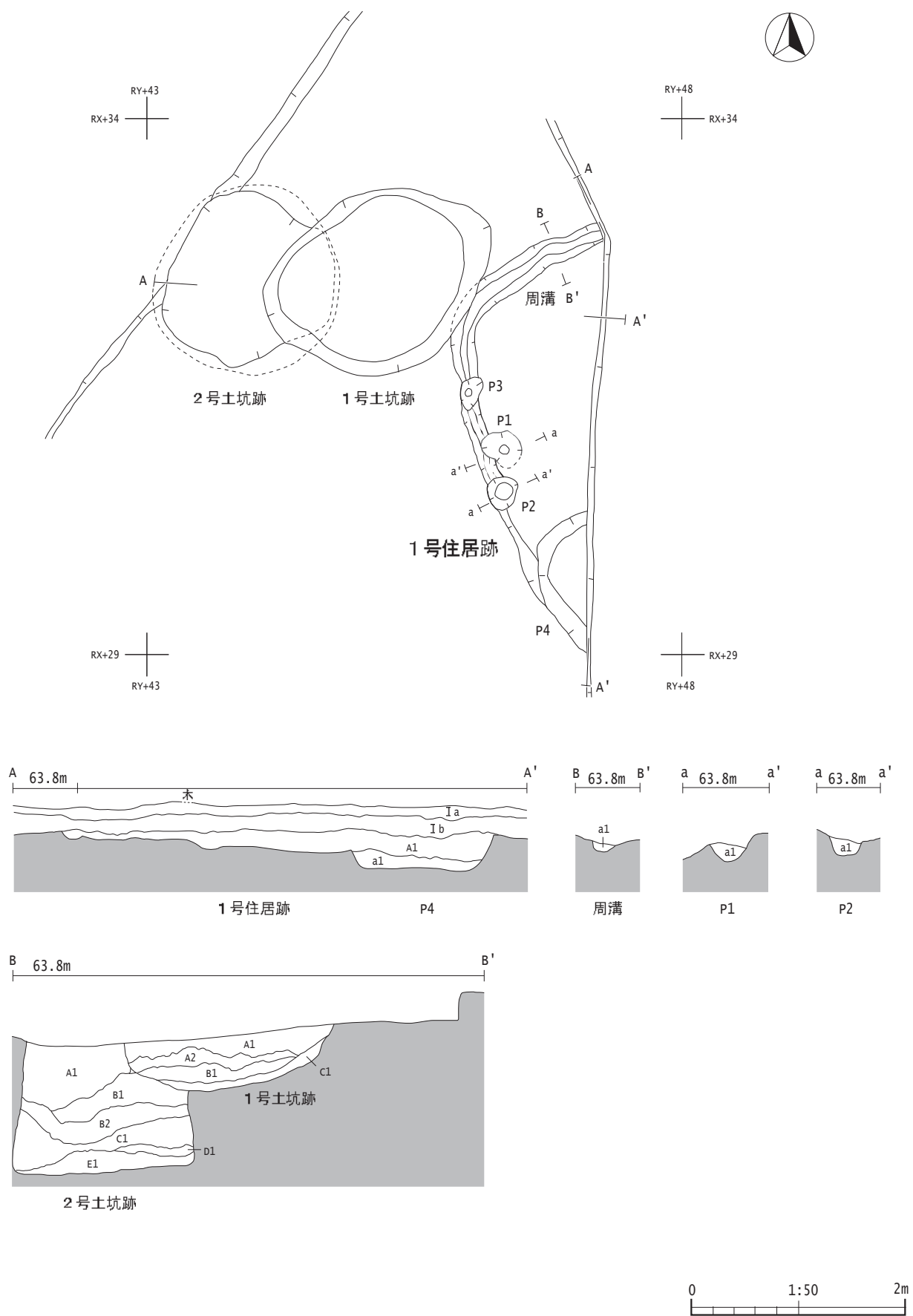


图7 1号竖穴住居迹、1号、2号土坑迹 平断面

1号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
1号竪穴住居跡	A1	2.5Y5/4 黄褐色	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%	中、疎、塊
	A2	2.5Y4/3 オリーブ褐色	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 15%	中～固、疎、塊
P1	a1	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 15%	軟、疎、塊
P2				傾斜なし
周溝 A	a1	10YR7/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 15%	軟、疎、塊
			10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%	

1号、2号土坑跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
1号土坑跡	A1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 塊 10%	中、疎、塊 炭粒(少)
			10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 5%	
	A2	10YR4/4 褐色 砂	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 5%	中、疎、塊 炭粒(少)
	B1	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%	中、中～疎、塊 真砂土塊、炭粒(少)
	C1	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR4/4 褐色 砂壤土 塊 20%	中、中、塊 炭粒(多)
2号土坑跡	A1	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR4/4 褐色 砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊 土砂片
			10YR3/4 暗褐色 砂壤土 塊 3%	
	B1	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 明	10YR4/6 褐色 砂壤土 塊 10%	中、中、塊 真砂土塊(少)、炭粒(少)
	B2	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 塊 10%	中、中、塊 真砂土塊、炭粒(少)
	C1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%	中～固、中、塊 土砂片
	D1	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 20%	中～固、中、塊
	E1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 15%	中～固、中、塊 炭粒(少)、土砂片
			10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 5%	
				々上～下層まで土砂片を含む

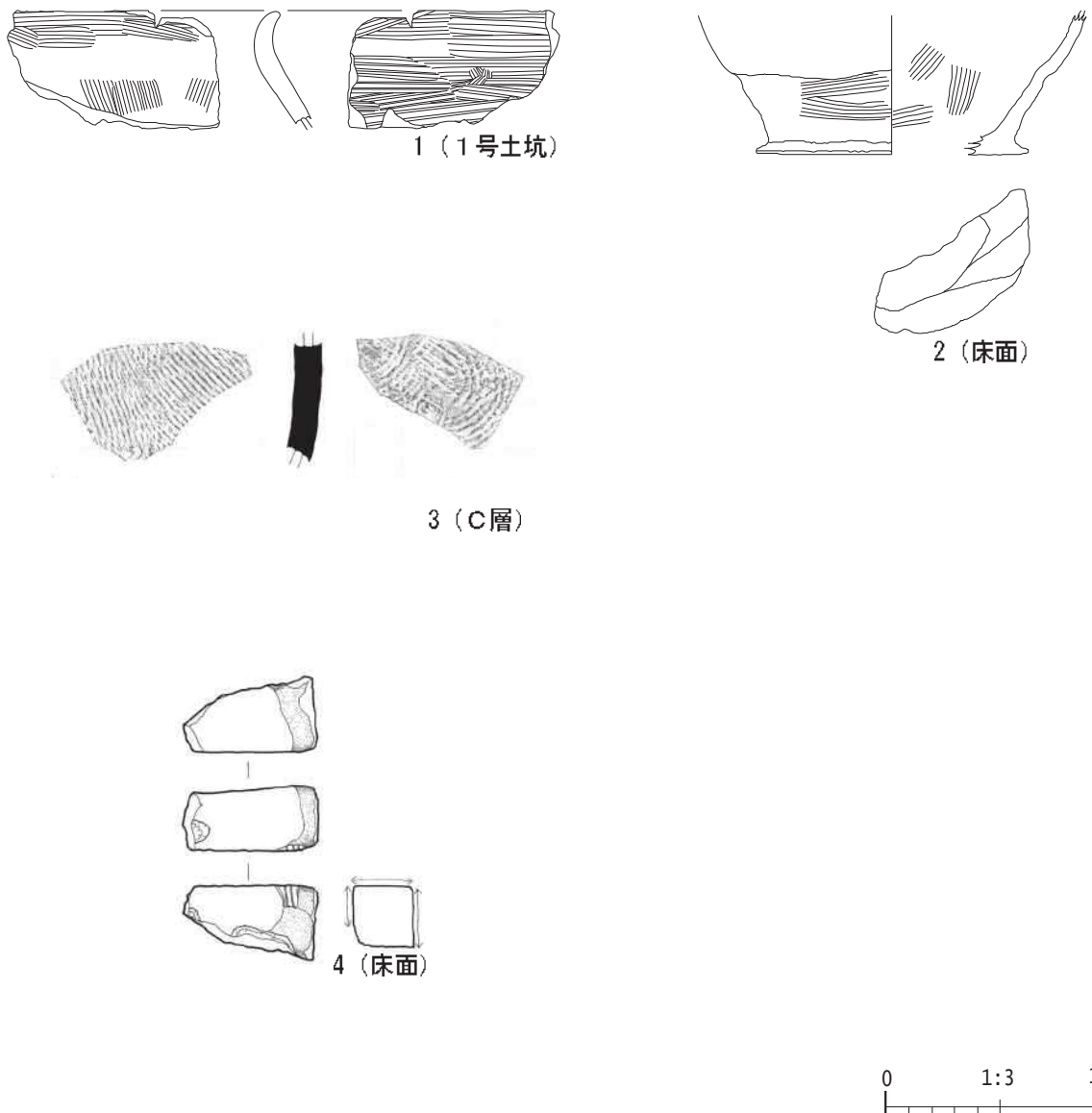


図8 1号竪穴住居跡出土遺物

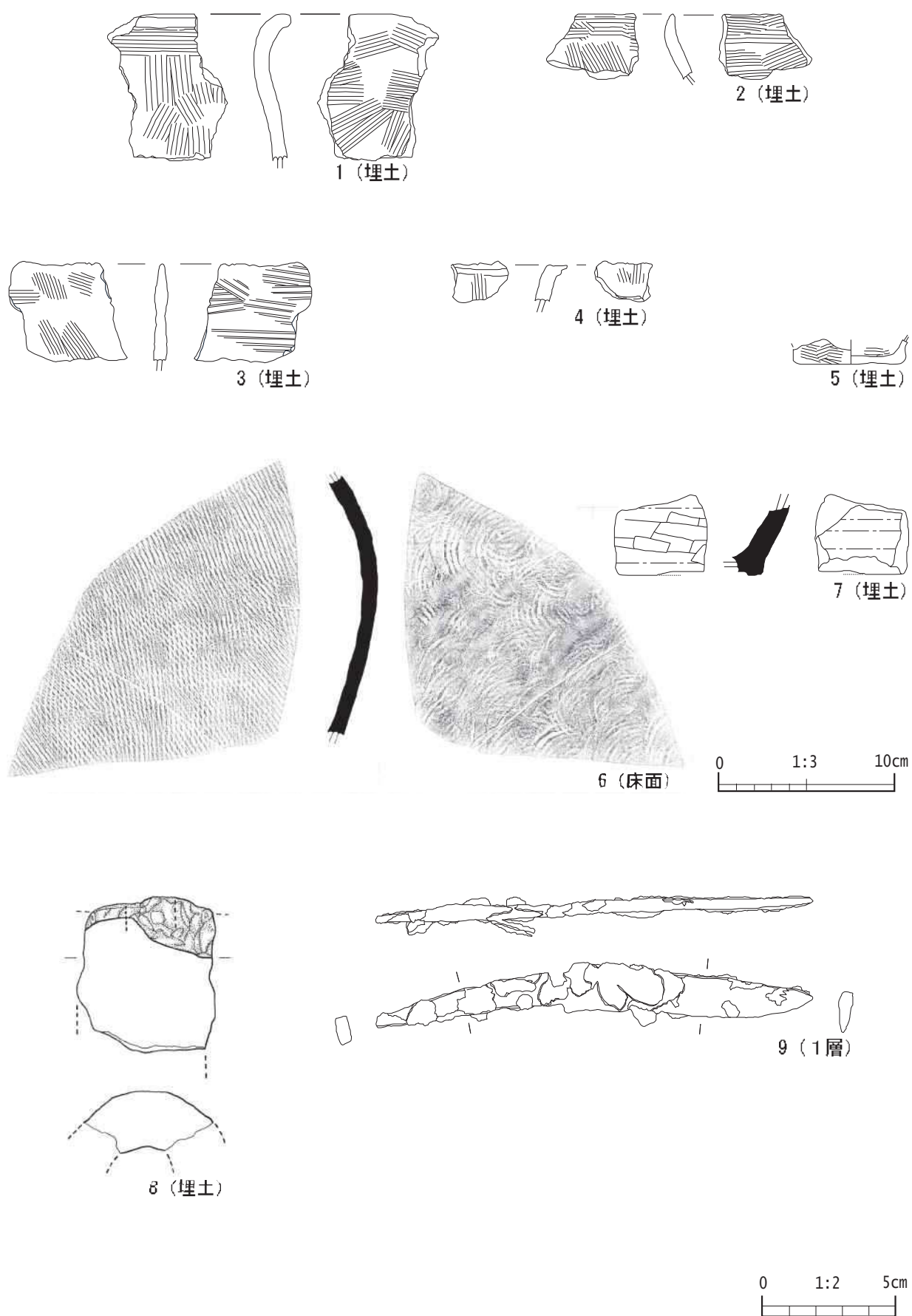


图9 1号土坑跡出土遺物

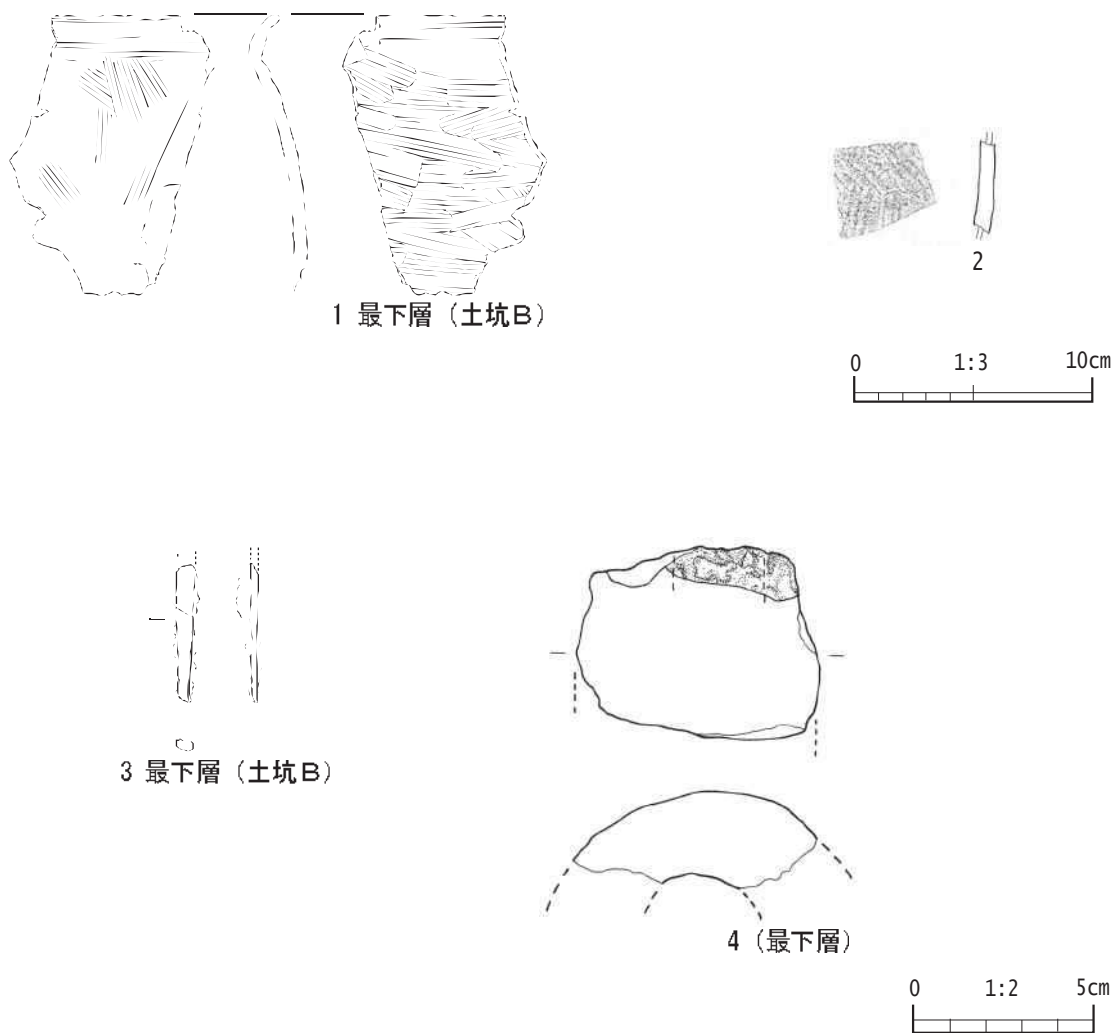


图10 2号土坑跡出土遺物

2号竪穴住居跡（図11）

1号竪穴住居跡の西側に位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は、東西6.0m、南北3.5mを測る。埋土は単層である。カマドを北壁に設ける。北西と東の壁際で周溝を検出している。床面の土坑跡はいずれも浅く、柱痕を確認できなかった。P 4からは一括土器が出土している。

カマド跡（図12）

北壁の東寄りに位置する。カマドの周辺には粘土、焼土と炭の混じる土層が広がる。カマドの崩壊土である。煙道はくり抜き式で、下降する。袖石の据跡と焼成面を確認した。

出土遺物（図14、15）

1～7は土師器の甕である。1～4は口縁部である。1、2は「く」の字に外反する。体部は、1の膨らみは弱く、2は強い。3、4は短い口縁で、直線的に立ち上がる。5、6は底部である。いずれも明瞭な張り出しをもつ。底面は木葉痕を残す。

8～13は鉄製品である。角釘である。10～13は角釘の体部である。

14は土製品の羽口である。推計で、外径9.0cm、内径3.0cmである。

15～17は砥石である。15は2面の磨面をもつ。16、17は方形礫の平面を利用する。

この他に鉄滓1.4kgが出土している。

3号土坑跡（図13）

2号竪穴跡の西側に位置する。東側のみの検出で、平面形は不明であるが、円形を呈するものと思われる。深さは0.5mである。床面は傾斜する。埋土は5層に分かれる。遺物は出土していない。

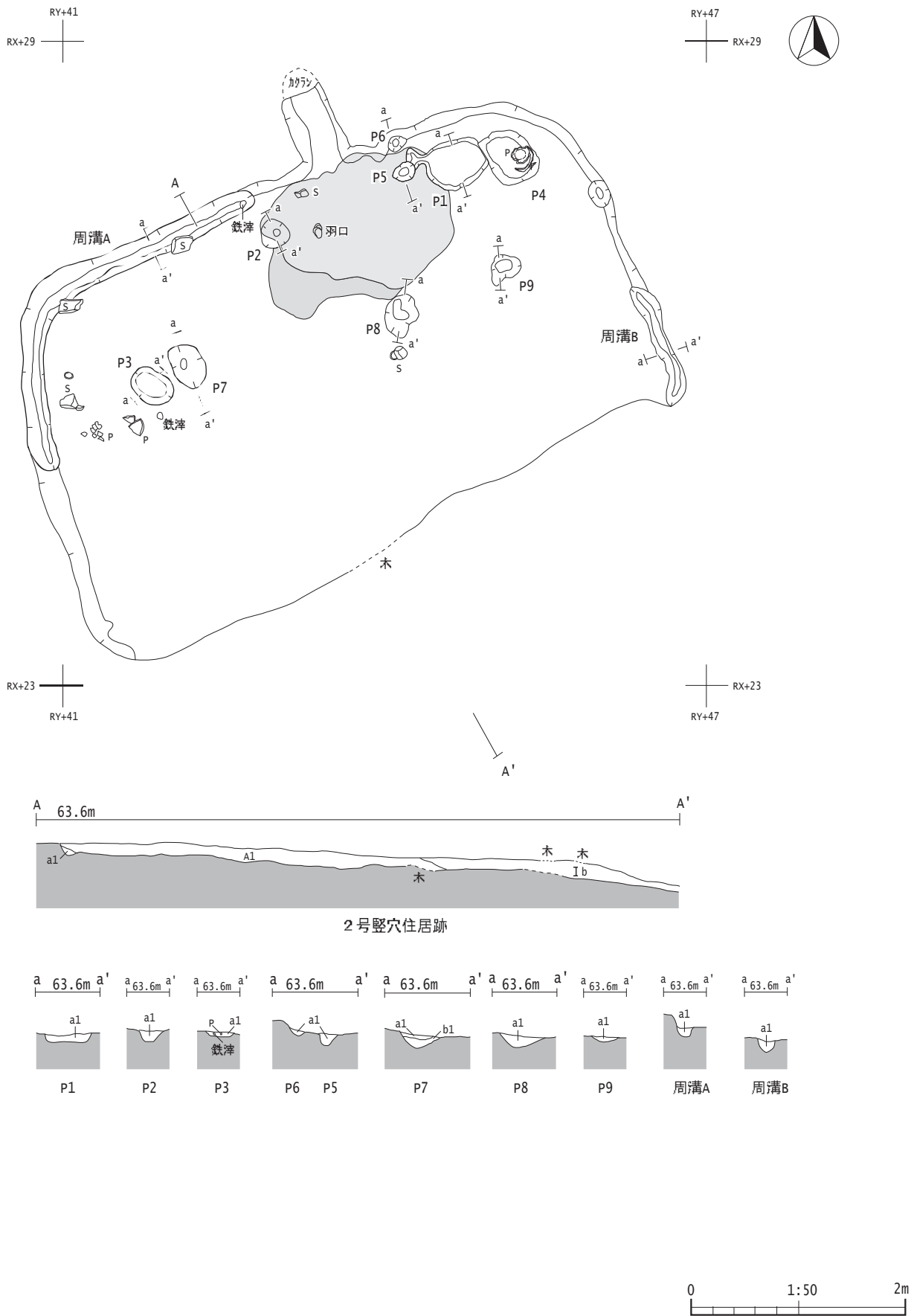


图11 2号竖穴住居跡 平断面

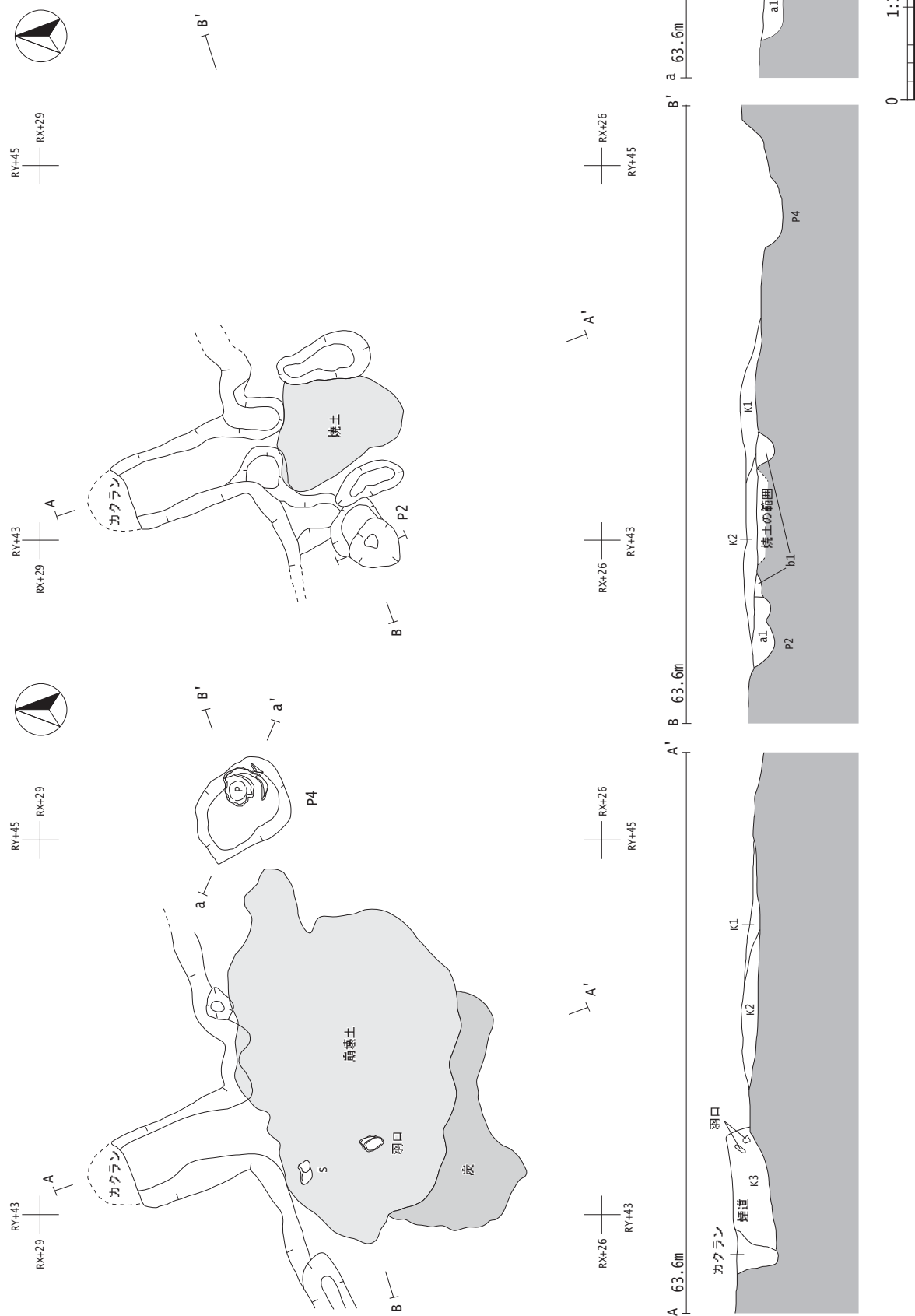


図12 2号竪穴住居跡カマド、P4検出状況 平断面

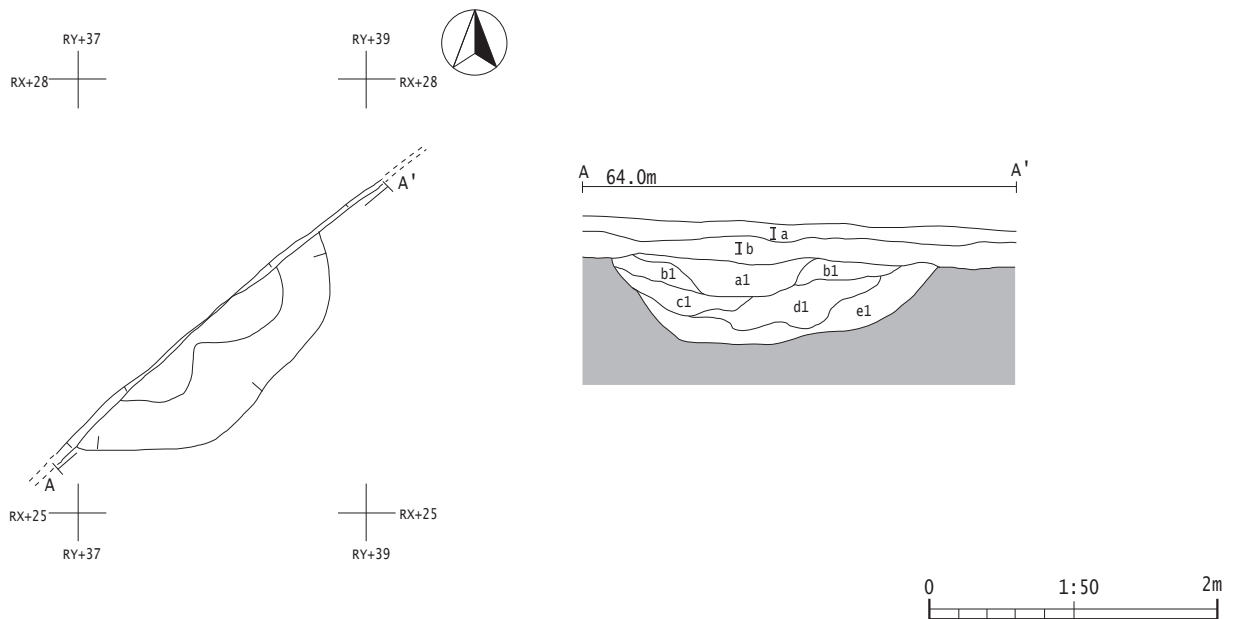


図13 3号土坑跡 平断面

2号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
2号竪穴住居跡	A1	2.5Y5/3 黄褐色 砂壤土	2.5Y4/3 オリーブ褐色 砂壤土 焼 10% 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 焼 20%	鉄、炭、焼鉄滓、土師器、蓮葉器
	B1	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR3/4 暗褐色 砂壤土 焼 10%	中、中、焼炭、羽口
	C1	10YR3/3 暗褐色 砂壤土	10YR3/2 黒褐色 砂壤土 焼 10%	中～固、中、焼炭、焼土
P1	a1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 15%	中、炭、焼土師器片
P2	a1	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 焼 10%	中、中、焼土師器片
	b1	10YR6/3 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR3/1 黒褐色 砂壤土 焼 3%	
P3	a1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR5/3 にぶい黄褐色 砂壤土 焼 15% 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 焼 10%	鉄、炭、焼 中、炭、焼土師器片、鉄滓
P4	a1	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 焼 10%	中、炭、焼土師器
P5	a1	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 焼 10%	中、中、焼貝を含む
P6	a1	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 焼 10%	中、中、焼
P7	a1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 焼 10%	鉄、炭、焼
	b1	10YR3/3 暗褐色 砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色 砂壤土 焼 10%	中、炭、焼
P8	a1	10YR3/3 暗褐色 砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色 砂壤土 焼 10%	中、炭、焼
P9	a1	10YR2/2 黒褐色 砂壤土	10YR4/4 褐色 砂壤土 焼 10%	鉄、炭、焼
周溝 A	a1	2.5Y4/3 オリーブ褐色 砂壤土	2.5Y5/3 黄褐色 砂壤土 焼 10%	鉄、炭、焼鉄滓
周溝 B	a1	2.5Y4/3 オリーブ褐色 砂壤土	2.5Y5/3 黄褐色 砂壤土 焼 10%	鉄、炭、焼
2号竪穴住居跡のマド	k1	7.5YR4/6 褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 焼 15%	中～鉄、中、焼炭土塊(多)、炭粒(少)、土師片
	k2	10YR2/3 黒褐色 砂壤土	10YR2/2 黒褐色 砂壤土 焼 10% 10YR3/4 暗褐色 砂壤土 焼 10%	中～鉄、中～炭、焼炭粒、粘土塊
	k3	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 焼 10%	中～鉄、炭、焼粘土塊

3号土坑跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
3号土坑跡	a1	2.5Y4/3 オリーブ褐色 砂壤土	10YR4/4 褐色 砂壤土 焼 10% 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 焼 10%	中、炭、焼
	b1	10YR3/3 暗褐色 砂壤土	10YR4/5 砂壤土 焼 10%	鉄、炭、焼
	c1	10YR5/6 黄褐色	10YR4/3 にぶい黄褐色 砂壤土 焼 15%	中～固、炭、焼
	d1	2.5Y6/4 砂壤土	10YR4/4 褐色 砂壤土 焼 30%	中～固、炭、焼
	e1	10YR4/6 褐色	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 焼 20%	中～固、炭、焼

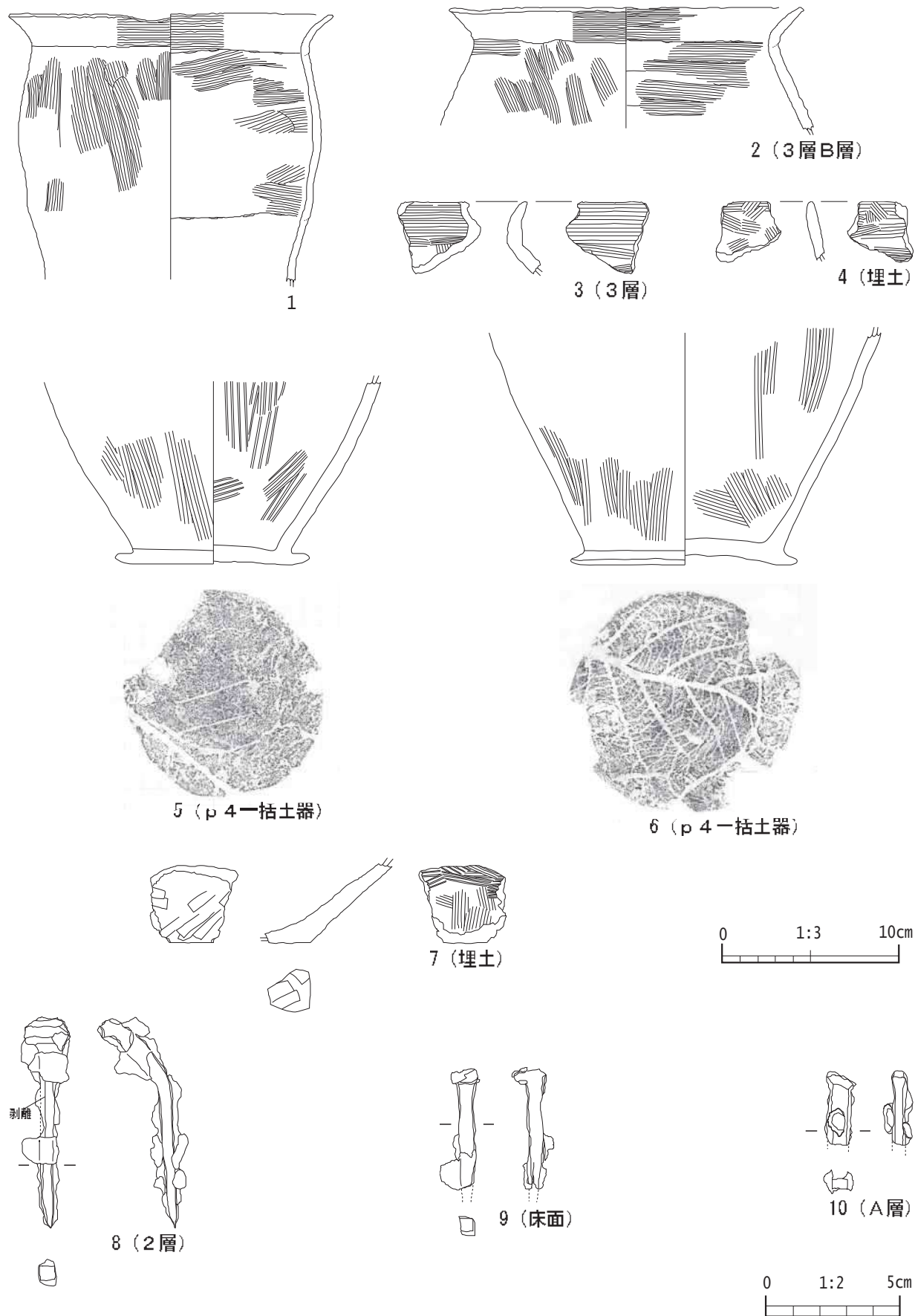


图14 2号竖穴住居跡出土遺物 (1)

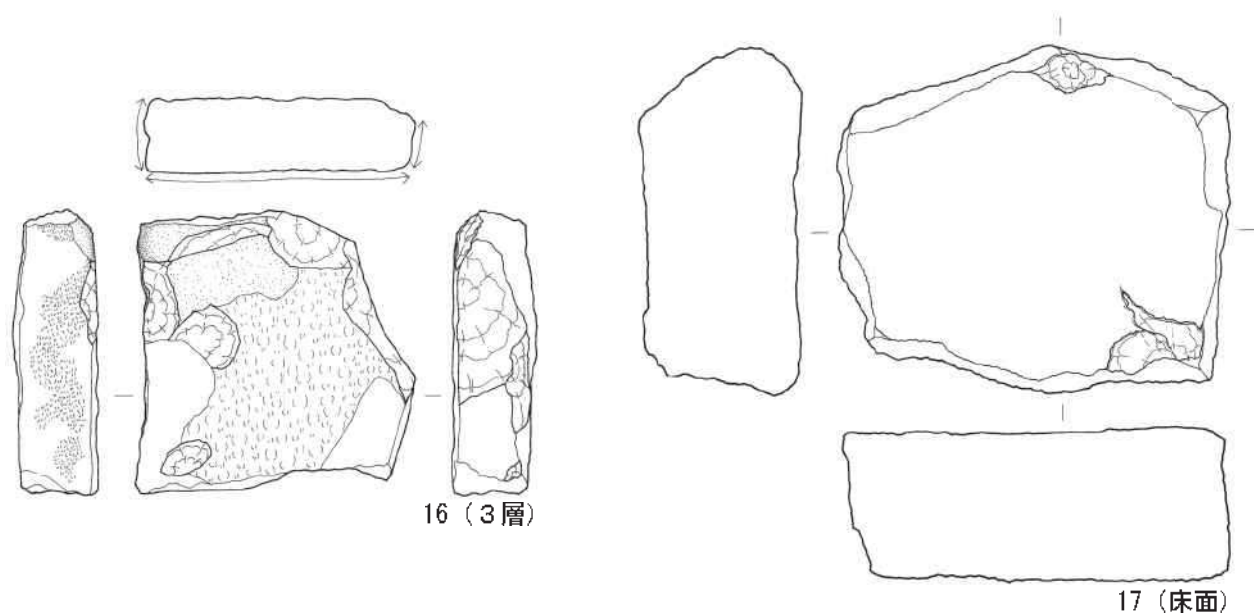
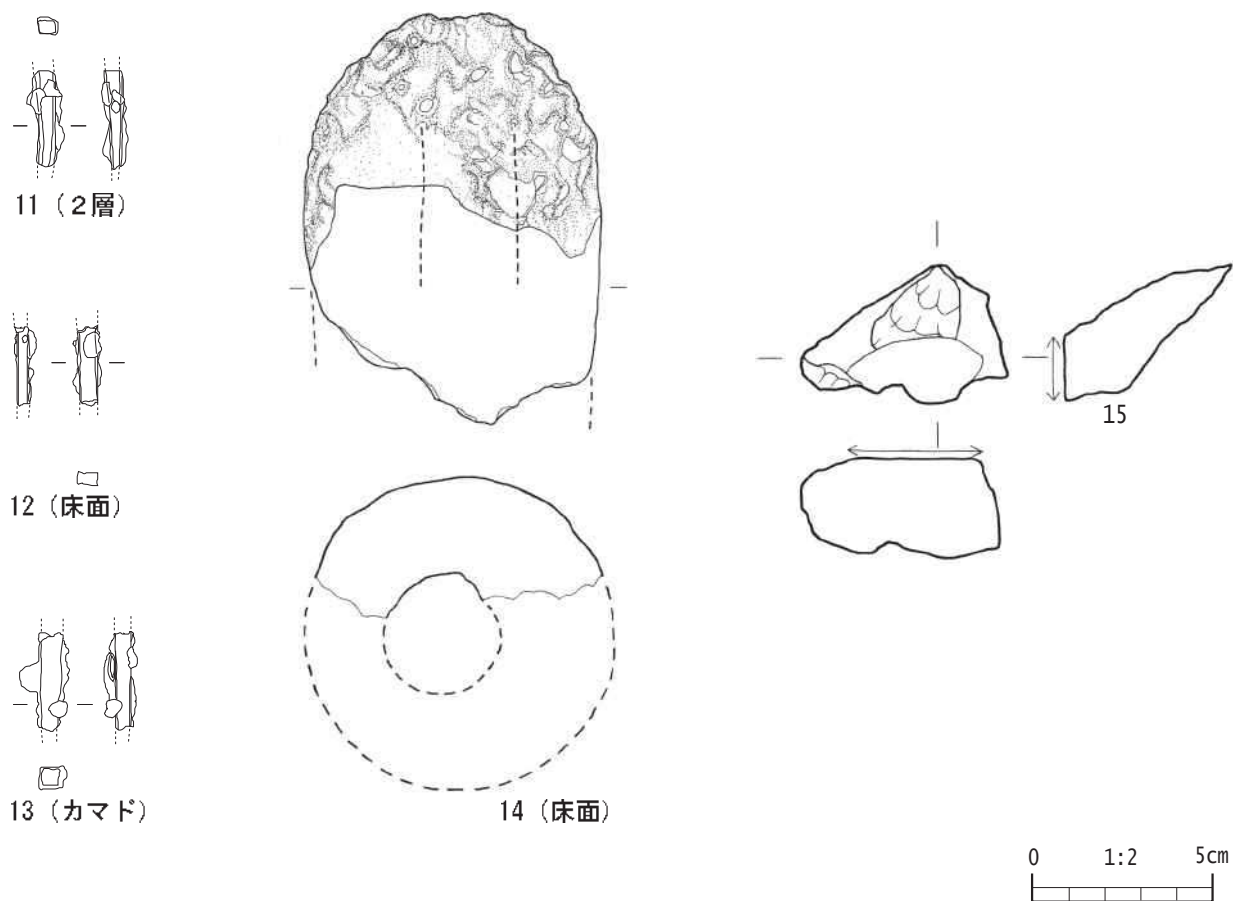


図15 2号竪穴住居跡出土遺物 (2)

b. 尾根平坦部の遺構

3号竪穴住居跡（図16）

調査区中央の平坦部の東端に位置する。平面形は隅丸方形である。規模は、南北3.5m、東西3.0mを測る。埋土は1層である。カマド、柱穴跡、周溝などは確認できなかった。北東隅で土坑跡が検出しているが、3号竪穴住居跡との相伴関係は確認していない。P1の埋土は、焼土、炭を含む。

出土遺物（図17）

1は土師器甕の口縁部である。短く、わずかに外反する。胴部の膨らみは弱い。

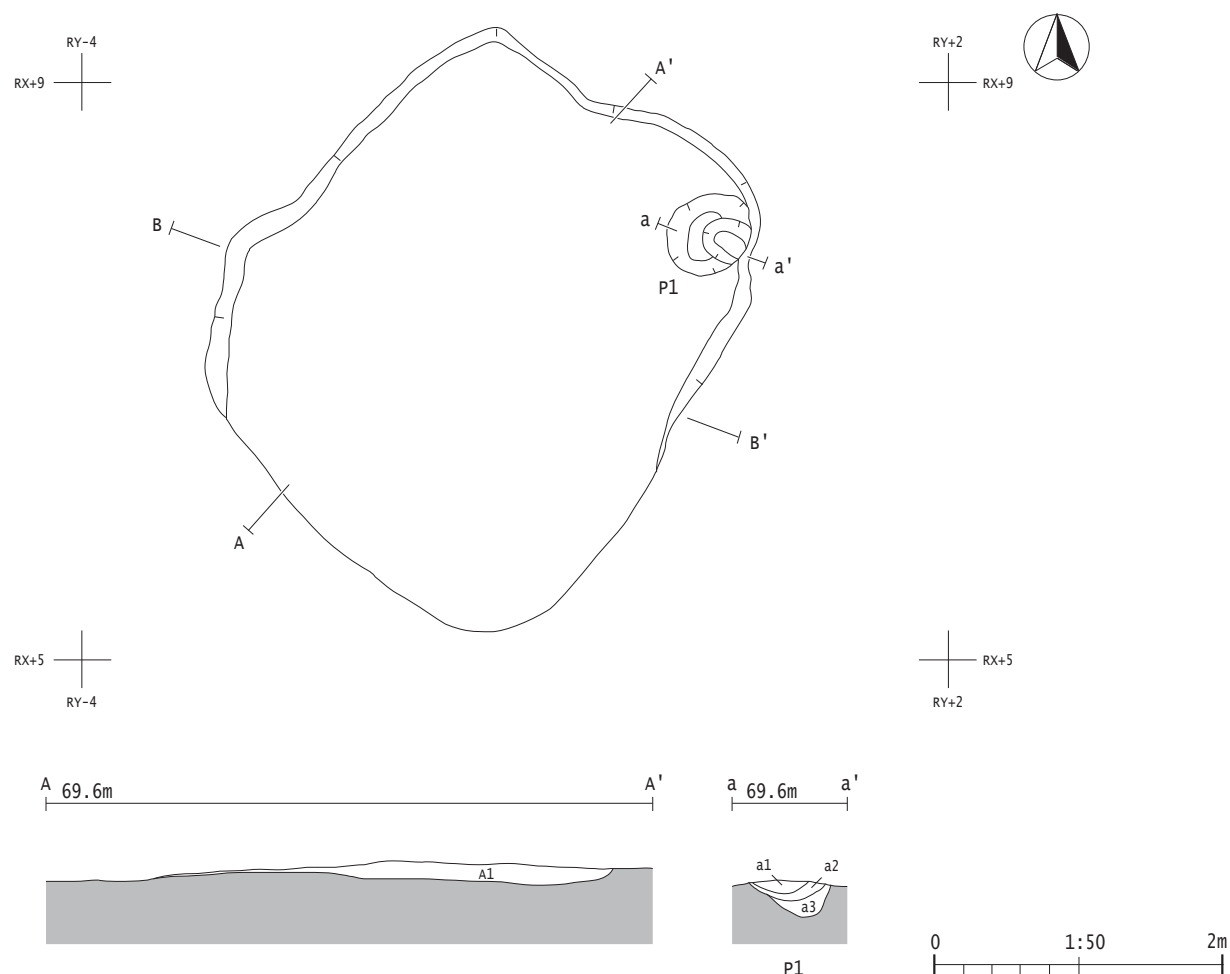


図16 3号竪穴住居跡 平断面

3号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基土	流入土	調査・構造・流入物
3号竪穴住居跡	A1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土 真砂土 塊~粒 5%	鉄、中、塊
P1(焼土、炭まじり土)	a1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	7.5YR4/6 褐色焼土 塊20%	中、中、塊
			10YR7/8 黄褐色砂質壤土~砂土 真砂土 塊~粒 5%	
	a2	10YR4/6 褐色シルト質壤土 (粒?あり)		中、中、塊
	a3	10YR3/3 暗褐色シルト質壤土		鉄、塊~中、塊

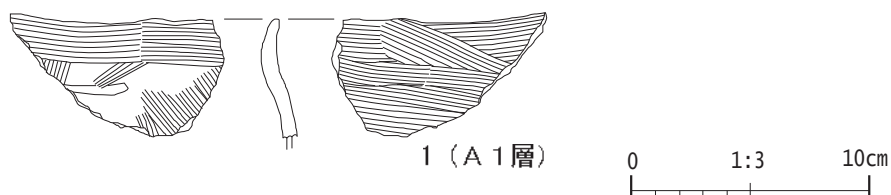


図17 3号竪穴住居跡出土遺物

4号、5号、6号土坑跡（図19）

調査区中央の平坦面の東端に位置する。3号竪穴住居跡の西側である。

4号土坑跡（図19）

4号土坑跡の平面形は円形である。規模は、上場径1.4m、床面径1.6mを測る。フラスコ形で、深さ1.1mを測る。埋土は3層に大別される。

出土遺物（図18）

1は鉄製品である。刀子の刃部である。2は砥石である。三角礫の3面を利用する。このほかに土師器甕の体部片が出土している。

5号土坑跡（図19）

4号土坑跡の南に位置する。平面形は不整円形である。規模は、1.2m×1.1m、深さ0.6mを測る。埋土は3層に大別される。遺物は出土していない。

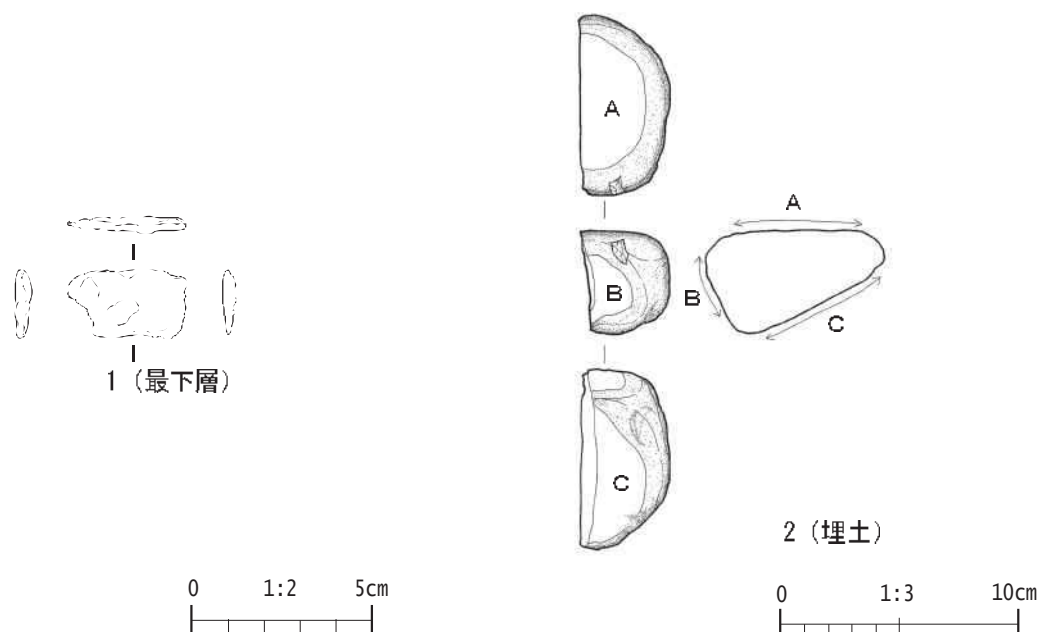


図18 4号土坑跡出土遺物

4号、5号、6号土坑跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	調査・構造・混入物	
4号土坑跡	A1	10YR4/6 褐色シルト質壤土 (シルト質)	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土 表土の土？ 10YR5/4 に近い黄褐色 砂質壤土 (真砂土) 塊 5%	図、窓、塊 真砂土塊粒は含まず
	A2	10YR3/3 暗褐色シルト質壤土 (シルト質)		鉄、中、塊 鉄製品
	A3	10YR4/4 褐色 ~ 4/6 褐色シルト質壤土	10YR3/3 暗褐色シルト質壤土 (シルト質) 塊~粒 15%	図、中~窓、塊 真砂土塊粒含まず
	B1	10YR5/4 に近い黄褐色 砂質壤土 ~ 砂土 (真砂土風化礫)	10YR5/6 黄褐色シルト質壤土 (砂質) 塊 15%	図、塊 真砂土層
	B2	10YR5/6 黄褐色シルト質壤土 (砂)	10YR5/4 に近い黄褐色 ~ 7/8 黄褐色砂土 ~ 砂土 真砂土 塊 35%	図、塊 真砂土層
	C1	10YR4/4 褐色シルト質壤土		図、窓~中、塊 真砂土塊粒含まず
	C2	10YR4/6 褐色シルト質壤土	10YR5/4 に近い黄褐色 砂質壤土 塊 15%	図、窓~中、塊 真砂土塊粒含む (多)
C3	10YR4/4 褐色 ~ 4/5 シルト質壤土	10YR3/3 暗褐色シルト質壤土 (シルト質) 塊~粒 5% 10YR5/4 に近い黄褐色 砂質壤土 ~ 砂土 (シルト質) 塊~粒 5%	図、中~窓、塊 真砂土塊粒含む (中)	
5号土坑跡	A1	10YR5/4 に近い黄褐色 砂質壤土 (真砂土)	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土 塊~粒 5%	鉄、塊 真砂土塊粒 (多)
	A2	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	10YR5/4 に近い黄褐色 砂質壤土 (真砂土) 塊~粒 10%	中、塊 真砂土塊粒 (多)
	B1	10YR5/6 黄褐色シルト質壤土	10YR5/4 に近い黄褐色 ~ 7/8 真砂土 塊 (太~少) 10%	図、中、塊 真砂土粒子 (少)
	B2	10YR5/8 黄褐色シルト質壤土 (シルト質気あり)	10YR5/4 に近い黄褐色 砂質壤土 ~ 砂土 ~ 7/8 砂土 真砂土 塊 5%	図、中、塊 真砂土塊 (少)
	B3	10YR4/4 褐色シルト質壤土 (シルト質気あり)	10YR5/6 黄褐色シルト質壤土 塊 7%	中、中、塊 真砂土塊粒、若干の炭化物粒子
	C1	10YR5/4 に近い黄褐色 砂質壤土 ~ 砂土 (真砂土)	10YR5/8 黄褐色シルト質壤土 塊 5%	鉄、塊 真砂土塊 (多)
6号土坑跡	A1	10YR4/6 褐色シルト質壤土 (シルト質)	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土 塊~粒 5% 10YR7/8 黄褐色 砂質壤土 (真砂土) 塊 3%	図、中、塊 真砂土粒なし
	A2	10YR5/6 黄褐色シルト質壤土 (シルト質)		図、窓、塊 真砂土粒含まず

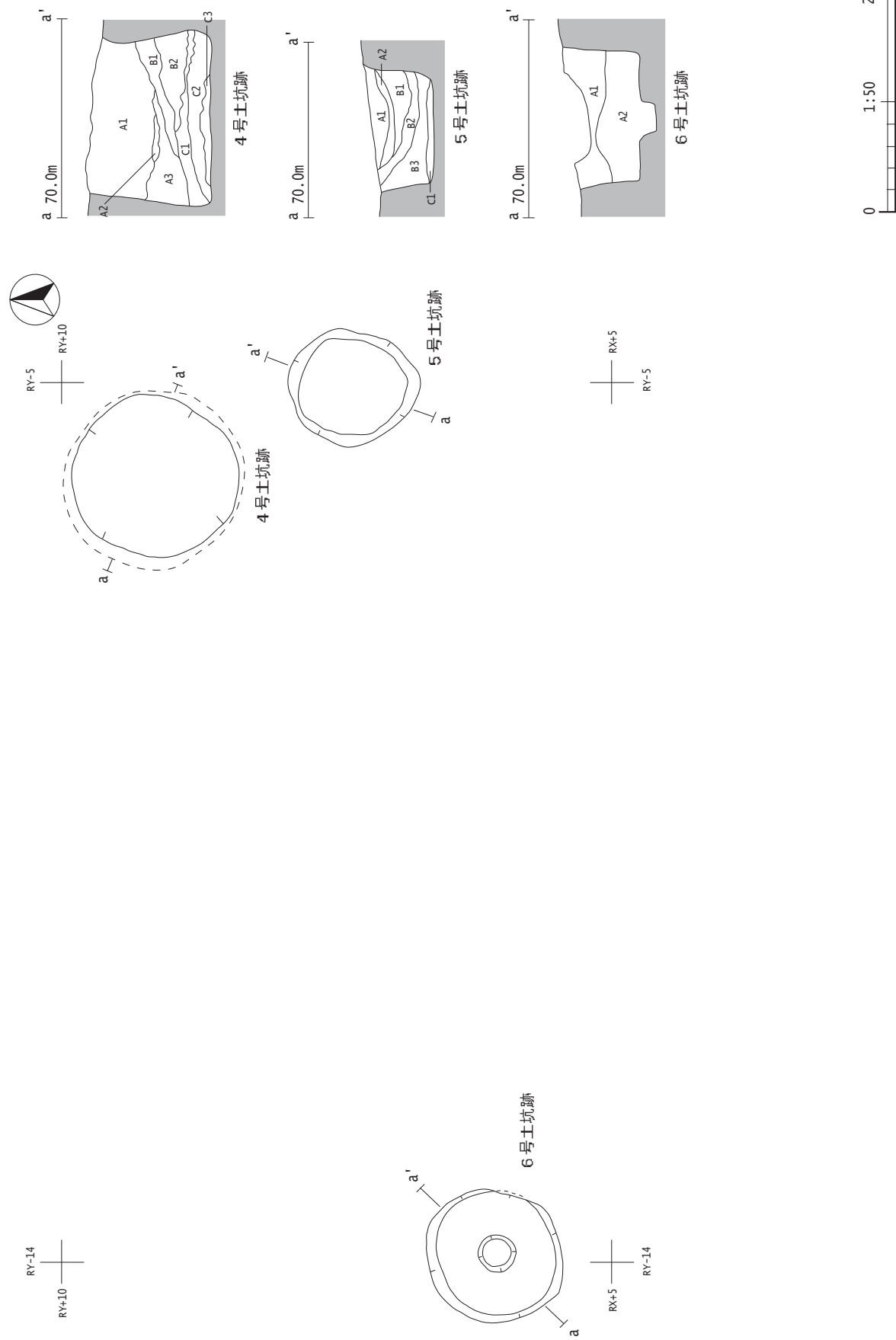


图19 4号、5号、6号土坑迹 平断面

6号土坑跡（図19）

5号土坑跡の西に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.3m、深さ0.7mを測る。埋土は2層に細別される。床面中央に小土坑をもつ。遺物は出土していない。

7号土坑跡（図20）

調査区東寄りの北斜面に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.2m、深さ0.3mを測る。埋土は2層に大別される。遺物は出土していない。

8号土坑跡（図20）

7号土坑跡の南東に位置する。平面形は円形であるが、北東側に三角の張出をもつ。付け足したものか。規模は、径1.5m、深さ0.6mを測る。埋土は3層に細別される。遺物は出土していない。

9号土坑跡（図20）

7号土坑跡の西に位置する。平面形は円形である。フラスコ形の土坑である。規模は、上径1.2m、底径1.4m、深さ1.1mを測る。埋土は3層に大別される。遺物は、埋土から土師器甕の体部片が出土している。

4号竪穴住居跡（図21、22）

調査区中央の平坦部の東端に位置する。平面形は隅丸方形と思われるが、南東部は削られる。規模は、東西6.0m、南北5.0mを測る。埋土は3層に細別される。カマドは、北壁に2基、西壁に1基設けられている。周溝を北東隅で検出した。床面周縁部で小土坑跡を確認している。

カマド跡A（図23）

西壁の中央に位置する。くり抜き式である。煙道は下降して掘り込まれ、煙出しは垂直に立ち上がる。焚口で袖石の据跡、焼成面を確認している。

カマド跡B（図24）

北壁の西側のカマドである。くり抜き式である。煙道は下降して掘り込まれ、煙出しは垂直に立ち上がる。焚口で袖石の据跡を確認している。焚口で袖石の据跡を確認している。

カマド跡C（図24）

北壁の東側のカマドである。くり抜き式である。煙道は下降して掘り込まれ、煙出しは垂直に立ち上がる。焚口で袖石の据跡を確認している。焚口で袖石の据跡、焼成面を確認している。

出土遺物（図25～28）

1～9は土師器の甕である。1～7は口縁部である。1～5は短く、外反する。体部の膨らみは弱い。5の口縁部はほぼ水平に屈折する。6、7は比較的長めの口縁部である。8、9は底部である。張出しは弱い。9はヘラ削り調整を施される。

10～18は鉄製品である。10、11刀子である。12は鉄鏝である。13は棒状の製品である。14～17は鋸である。18は細い角棒をピンセット状に折り曲げる。

19、20は砥石である。19は楕円礫の2面を利用する。20は長方形礫の側面を調整する。磨面、側面に条痕を残す。

この他に鉄滓1kgが出土している。

5号、6号、7号竪穴住居跡（図29、30）

調査区西寄りの平坦面に並ぶ竪穴住居である。新旧関係は不明である。

5号竪穴住居跡（図28）

平面形は、北壁のみの検出で不明であるが、東壁の形状から隅丸方形と推測される。検出規模は、東西7.2m、南北1.5mを測る。埋土は1層である。東側で周溝、4基の小土坑跡を検出している。カマドは確認していない。

出土遺物（図31－1）

1は土師器甕の口縁部である。短く、外反する。体部は弱い膨らみをもつ。

6号竪穴住居跡（図29）

5号竪穴住居跡の西に位置する。平面形は方形と推測される。検出規模は、東西4.5m、南北2.5mを測る。埋土は1層である。周溝を2基検出しているが、南側の周溝は旧竪穴住居跡のものと思われる。床面で炭の広がり小土坑跡2基を確認している。

出土遺物（図31－2～8）

2～6は土師器の甕である。2～4口縁部である。いずれも短く、わずかに外反する。5、6は底部である。いずれも明瞭な張出しをもつ。底面は、5はヘラ削り調整をほどこされ、6は木葉痕を残す。7、8は鉄製品である。7は刀子である。8は角釘である。

この他に鉄滓840gが出土している。

11号土坑跡（図29）

6号竪穴住居跡の南に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.1m、深さ0.6mを測る。埋土は5層に分かれ、C1層は層状の炭を含む。

出土遺物（図32－1）

1は土師器甕の口縁部である。短く、外反する。この他に土師器体部片が出土している。

58号土坑跡（図29）

6号竪穴住居跡の南に位置し、同遺構を切る。平面形は楕円形の、浅い土坑である。規模は、1.2m×0.9m、深さ15cmを測る。埋土は1層である。遺物は出土していない。

57号土坑跡（図29、30）

58号土坑跡の南に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.4m、深さ1.0mを測る。埋土は2層に大別される。B層は人為的な堆積である。遺物は出土していない。

7号竪穴住居跡（図29）

6号竪穴住居跡の東側に並ぶ。10号土坑跡に切られる。平面形は、北壁のみの検出なので不明である。検出規模は、東西4.5m、南北1.5mを測る。周溝と小土坑跡4基検出している。遺物は出土していない。

10号土坑跡（図29）

7号竪穴住居跡を切る。平面形は円形である。規模は、径1.4m、深さ0.6mを測る。埋土は3層に

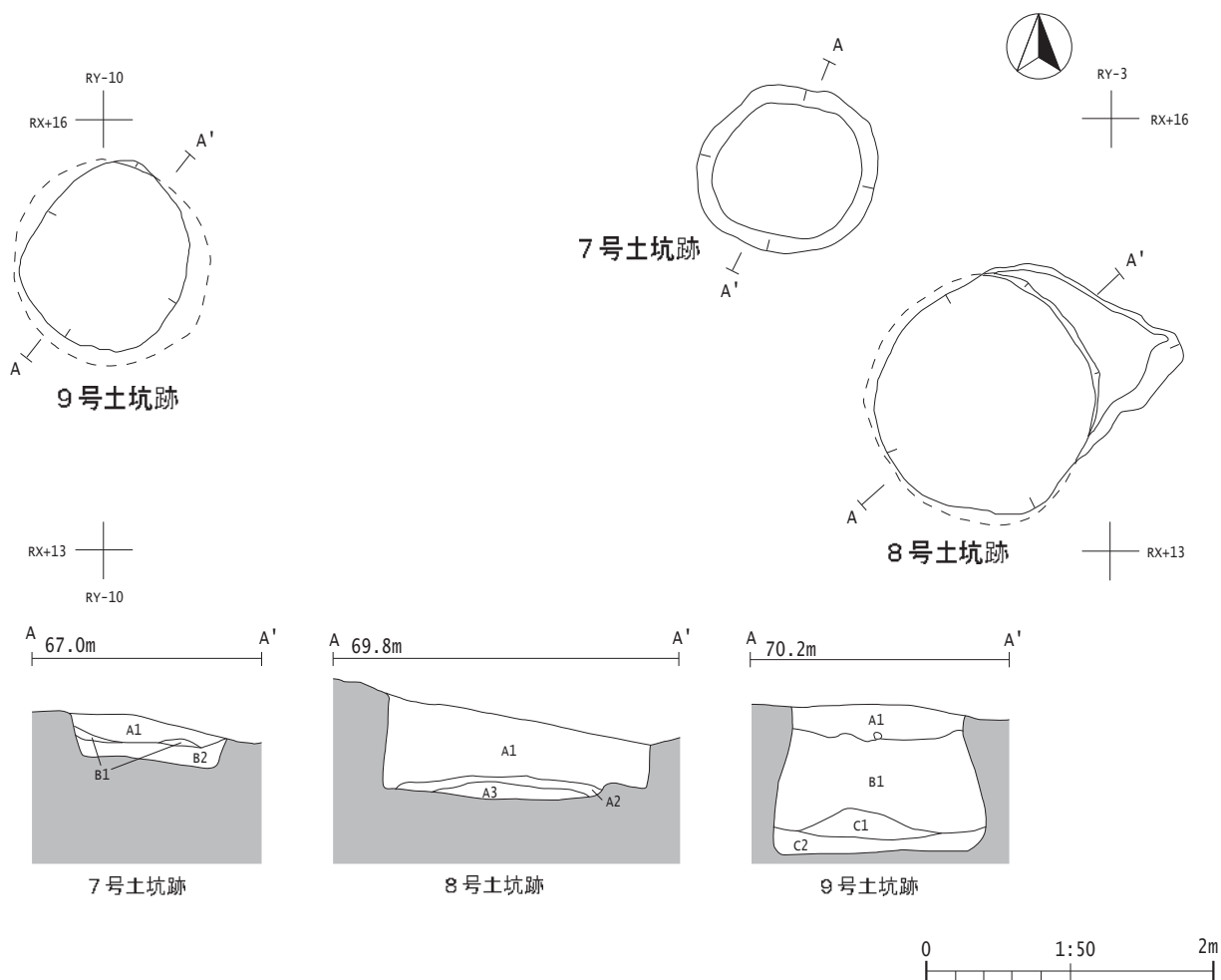


図20 7号、8号、9号土坑跡 平断面

分かれる。

出土遺物（図32－2～4）

2は土師器甕の底部である。張出しはなく、底面にへう削り調整痕を残す。

3、4は鉄製品である。3は鉄鏃である。4は角釘である。この他に鉄滓110gが出土している。

7号、8号、9号土坑跡 土層注記表

層名	層土	混入土	調査・掘削・混入物
7号土坑跡	A1	10YR4/6 緑 シルト質黄土 (シルト質)	混入土
	B1	2.5Y4/4 オリーブ緑 砂質黄土	10YR3/3 暗緑 シルト質黄土 塊 20%
	B2	10YR5/4 にぶい黄緑 砂質黄土	10YR4/6 緑 シルト質黄土 塊 5%
			10YR7/8 黄緑 7/6 明黄緑 真砂土 塊 (北壁際)
8号土坑跡	A1	10YR5/4 にぶい黄緑 砂質黄土	10YR4/6 緑 シルト質黄土 塊 10%
	A2	10YR4/6 緑 シルト質黄土	10YR3/4 暗緑 シルト質黄土 塊 3% (カクラン)
	A3	10YR7/6 明黄緑 砂質黄土	10YR4/6 緑 シルト質黄土 小塊 3%
9号土坑跡	A1	10YR5/4 にぶい黄緑 シルト質黄土 (砂質)	10YR4/4 緑 シルト質黄土 塊 15%
	B1	10YR7/4 にぶい黄緑 砂質黄土 (真砂土層)	10YR3/3 暗緑 シルト質黄土 塊 5%
	C1	10YR4/4 緑 シルト質黄土 (シルト質黄土)	10YR4/4 緑 シルト質黄土 塊 1%
	C2	10YR5/4 にぶい黄緑 砂質黄土 砂土	10YR4/4 緑 シルト質黄土 塊 10%

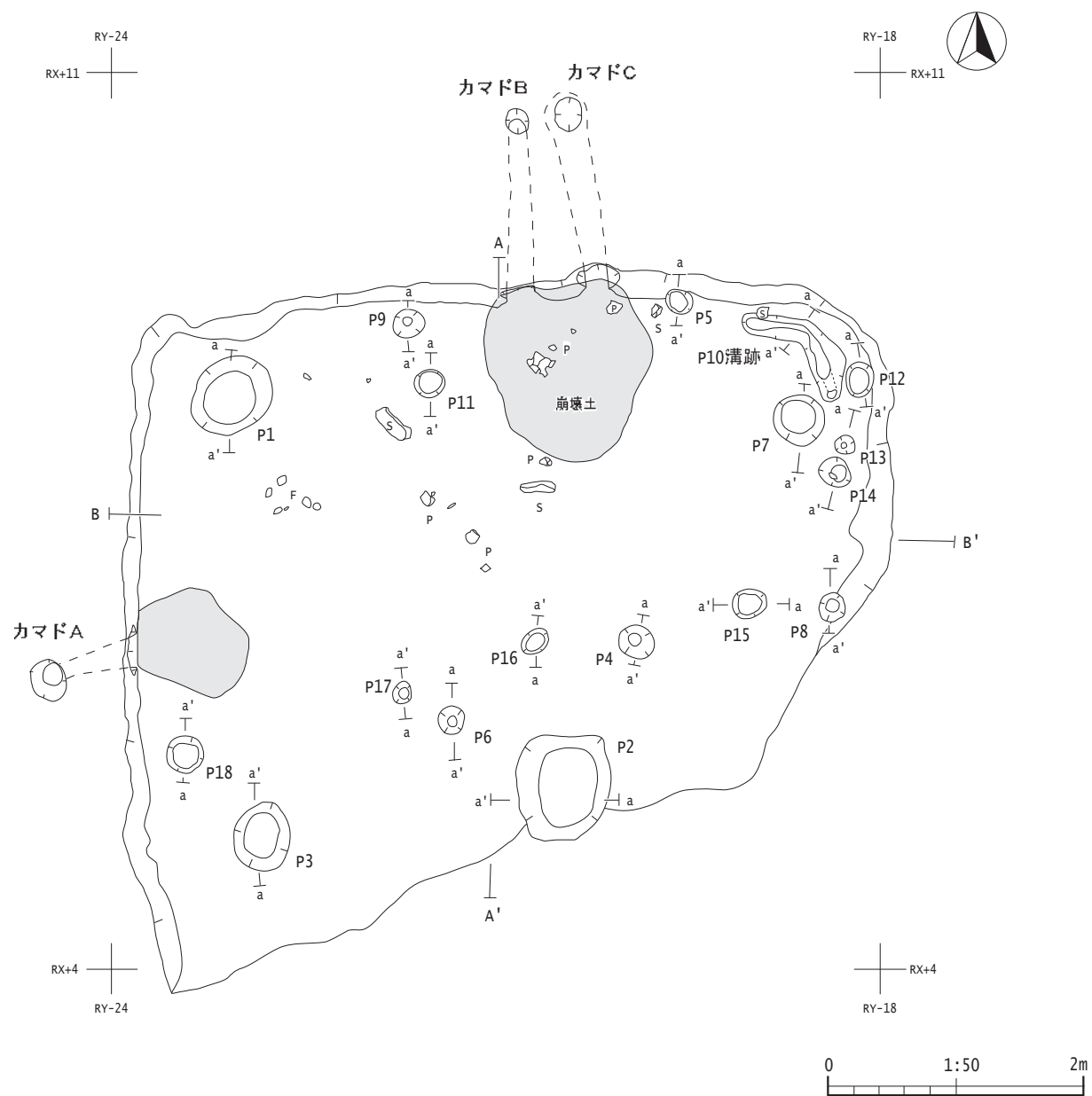


図21 4号竪穴住居跡 平面

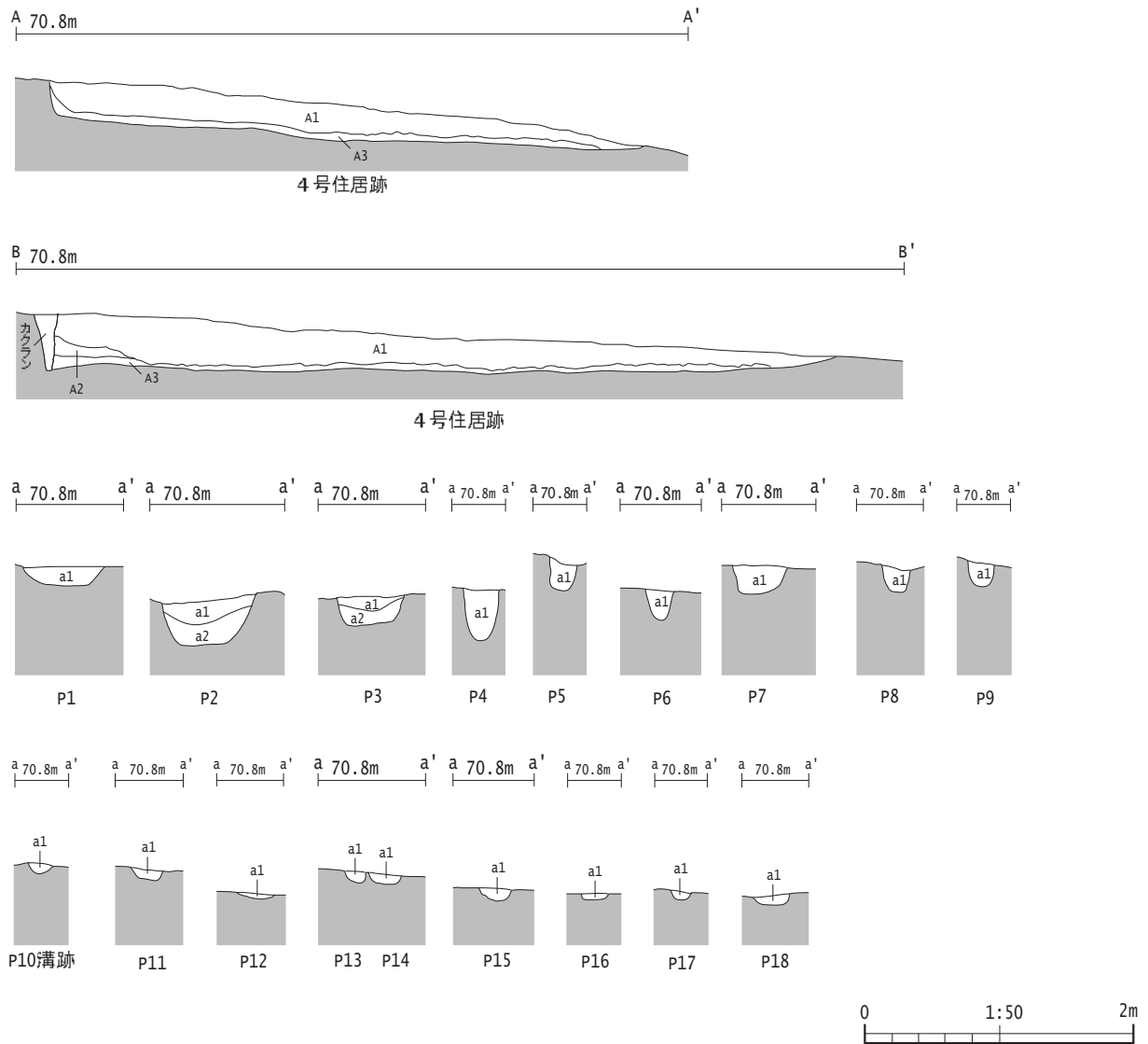


図22 4号竪穴住居跡 断面

4号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
4号竪穴住居跡	A1	10YR5/6 黄褐	10YR4/6 褐 砂壤土 塊 10%	中～軟、中、塊
	A2	10YR5/8 黄褐 砂壤土	10YR5/6 黄褐 砂壤土 塊 10%	中、中、塊わずかに真砂土が混じる
	A3	10YR5/6 黄褐 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 10%	軟、硬、塊底、焼土粒
	a2	10YR5/4 にぶい黄褐 シルト質壤土～砂質壤土	10YR7/8 黄褐 真砂土 塊～粒 20%	中、中～硬、塊
P1	a1	10YR4/6 褐 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐 砂質壤土 真砂土～粒 (多) 30%	中、硬、塊
P2	a1	10YR4/6 褐 シルト質壤土		軟、中～硬、塊
	a2	10YR5/4 にぶい黄褐 砂質壤土 真砂土	10YR4/4 褐 シルト質壤土 塊～粒 10%	固～中、中～硬、塊
			10YR4/6 褐 シルト質壤土 塊～粒 5%	
P3	a1	10YR4/6 褐 シルト質壤土		固、密、塊
P4	a1	10YR4/6 褐 シルト質壤土		中～軟、中、塊
P5	a1	10YR4/4 褐 砂壤土		軟、中、塊
P6	a1	10YR4/4 褐 シルト質壤土		軟、中、塊
P7	a1	10YR4/4 褐 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐 砂質壤土 真砂土 塊～粒 30%	固、中、塊
	a2	10YR4/6 褐 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐 砂質壤土 真砂土 塊 5%	中、中、塊
P8	a1	10YR4/6 褐 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐 砂質壤土 真砂土 粒 5%	軟、中～硬、塊
P9	a1	10YR4/4 褐 シルト質壤土		軟、中、塊
P10溝跡	a1	10YR4/6 褐 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐 砂質壤土 真砂土 粒～塊 1%	軟、硬、塊溝
P11	a1	10YR4/6 褐 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐 砂質壤土 粒～塊 40% 真砂土	軟、硬、塊小鉄塊含む
P12	a1	10YR4/4 褐 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐 砂質壤土 真砂土 塊～粒 5%	固、中、塊
P13	a1	10YR4/6 褐 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐 砂質壤土 真砂土 塊～粒 20%	固、中、塊
P14	a1	10YR4/6 褐 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐 砂質壤土 真砂土 塊～粒 10%	固、中、塊
P15	a1	10YR4/6 褐 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐 砂質壤土～真砂土 塊～粒 5%	固、中、塊
P16	a1	10YR4/6 褐 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐 砂質壤土 真砂土 塊～粒 5%	固、中、塊
P17	a1	10YR4/6 褐 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐 砂質壤土 真砂土 塊～粒 30%	固～中、中～硬、塊
P18	a1	10YR4/6 褐 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐 砂質壤土 真砂土 塊 10～15%	固、中、塊

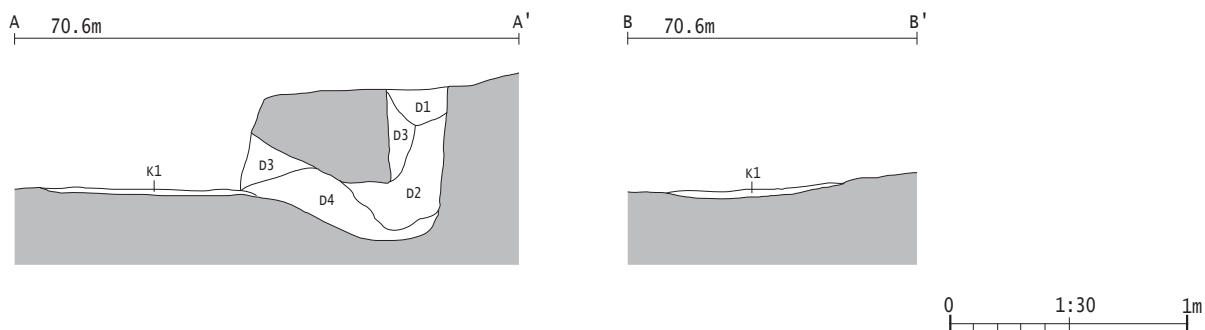
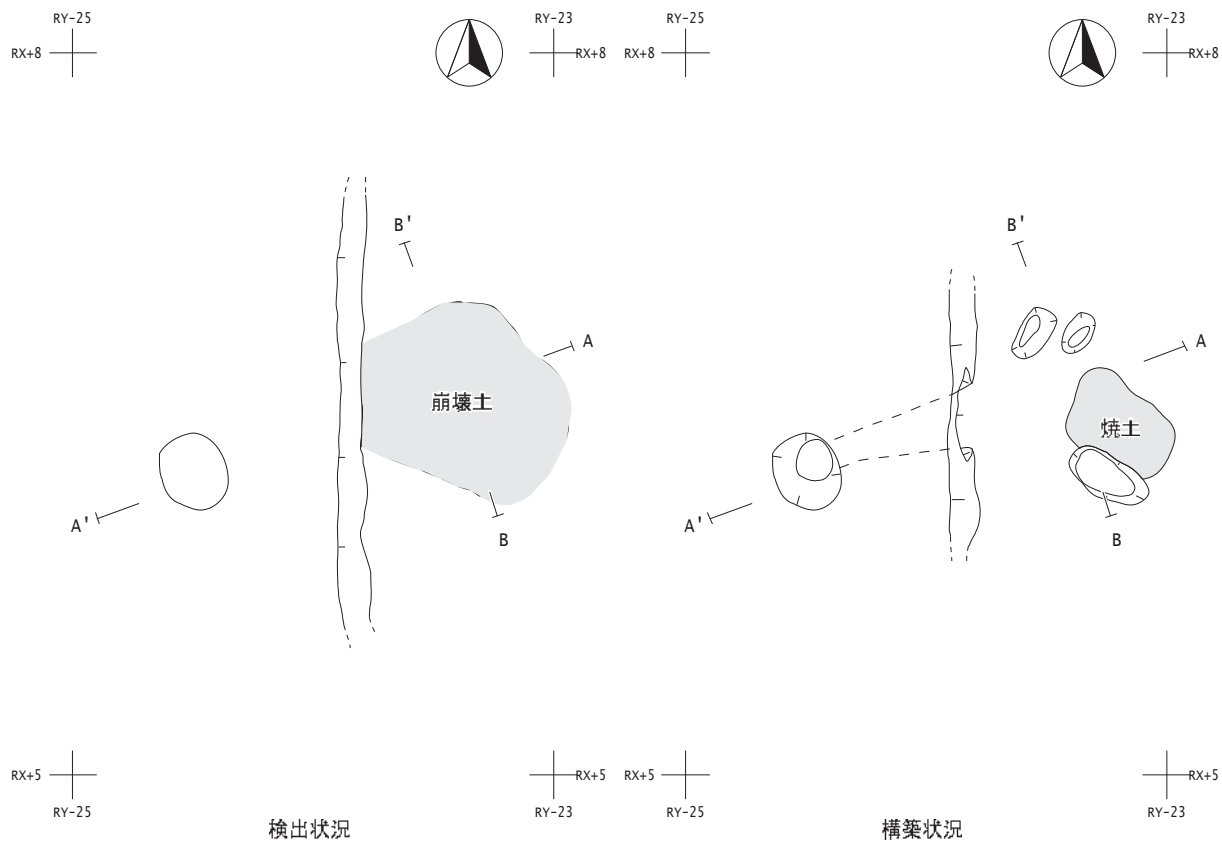


図23 4号竪穴住居跡カマドA 平断面

4号竪穴住居跡カマド 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ・構造・混入物
4号竪穴住居跡カマドA	D1	10YR4/4 褐シルト質壤土	中、中、塊
	D2	10YR4/6 褐シルト質壤土	中、中、塊
	D3	10YR3/3 暗褐色～3/2 黒褐色シルト質堆積土(シルト質)	軟、塊、塊、炭片を含む
	D4	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	10YR5/6 黄褐色～5/8 黄褐色シルト質壤土 塊～粒 10%
	k1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	10YR4/6 褐～4/4 褐シルト質壤土 塊
4号竪穴住居跡カマドB	D1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	10YR4/4 褐シルト質壤土 塊～粒 3%
	D2	10YR3/3 暗褐色シルト質壤土	軟～中、塊、塊
	D3	10YR4/4 褐シルト質壤土	10YR4/6 褐シルト質壤土 塊～粒 20%
	D4	10YR2/3 黒褐色シルト質壤土	10YR4/6 褐シルト質壤土 塊～粒
	k1	10YR4/6 褐シルト質壤土	10YR4/4 褐シルト質壤土 塊 10%
		10YR5/6 黄褐色シルト質壤土 塊 15%	固、中、塊、カマド崩壊土
4号竪穴住居跡カマドC	D1	10YR4/6 褐シルト質壤土	10YR4/4 褐シルト質壤土 塊～粒 10%
	D2	10YR4/4 褐シルト質壤土	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土 塊 3%
	D3	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	10YR4/4 褐シルト質壤土 塊 20%
	D4	10YR4/6 褐シルト質壤土	軟、中、塊
	D5	10YR2/3 黒褐色シルト質壤土	軟、塊、塊、炭片、くろぬき式厚土

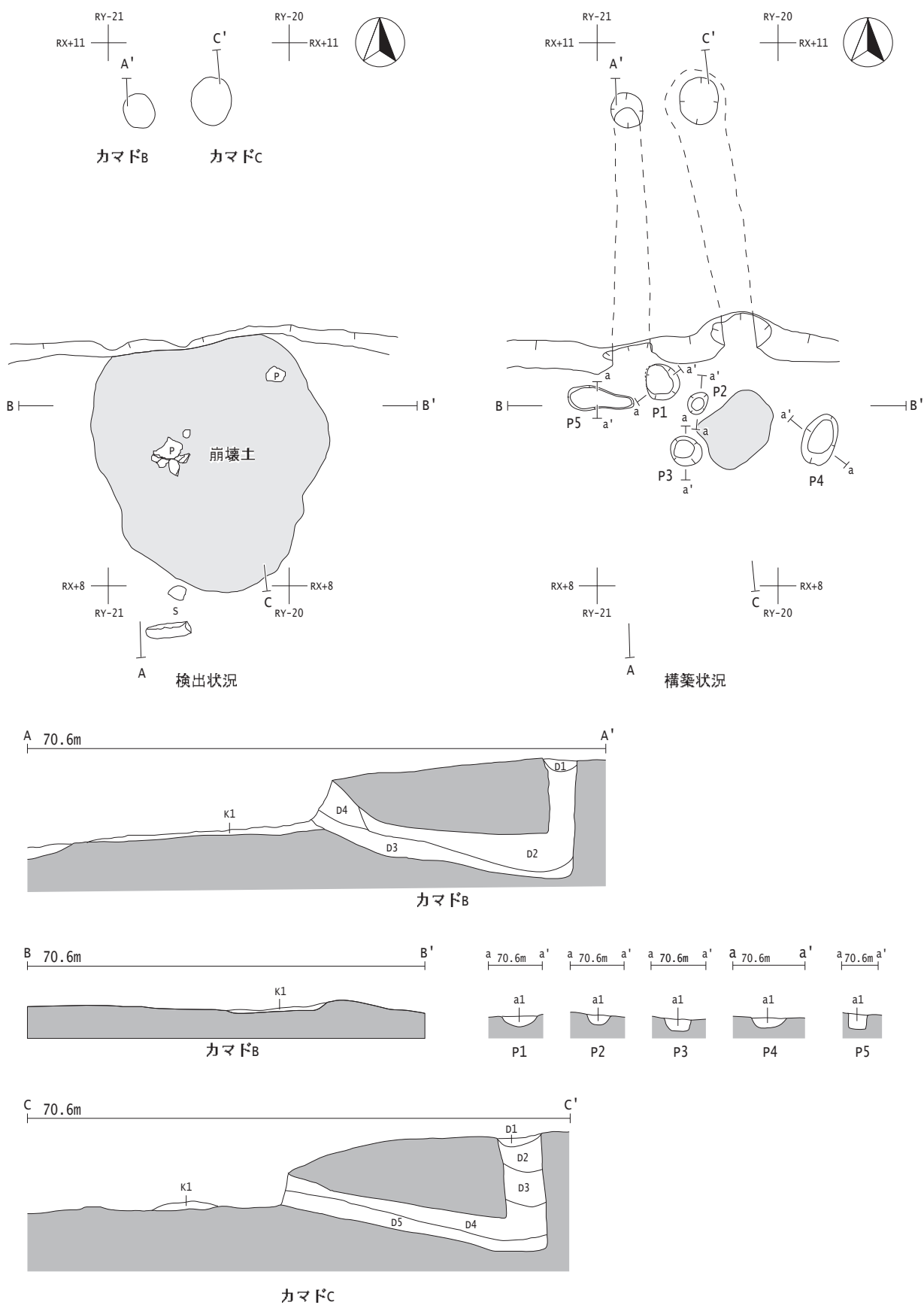


図24 4号竪穴住居跡カマドB、C 平断面

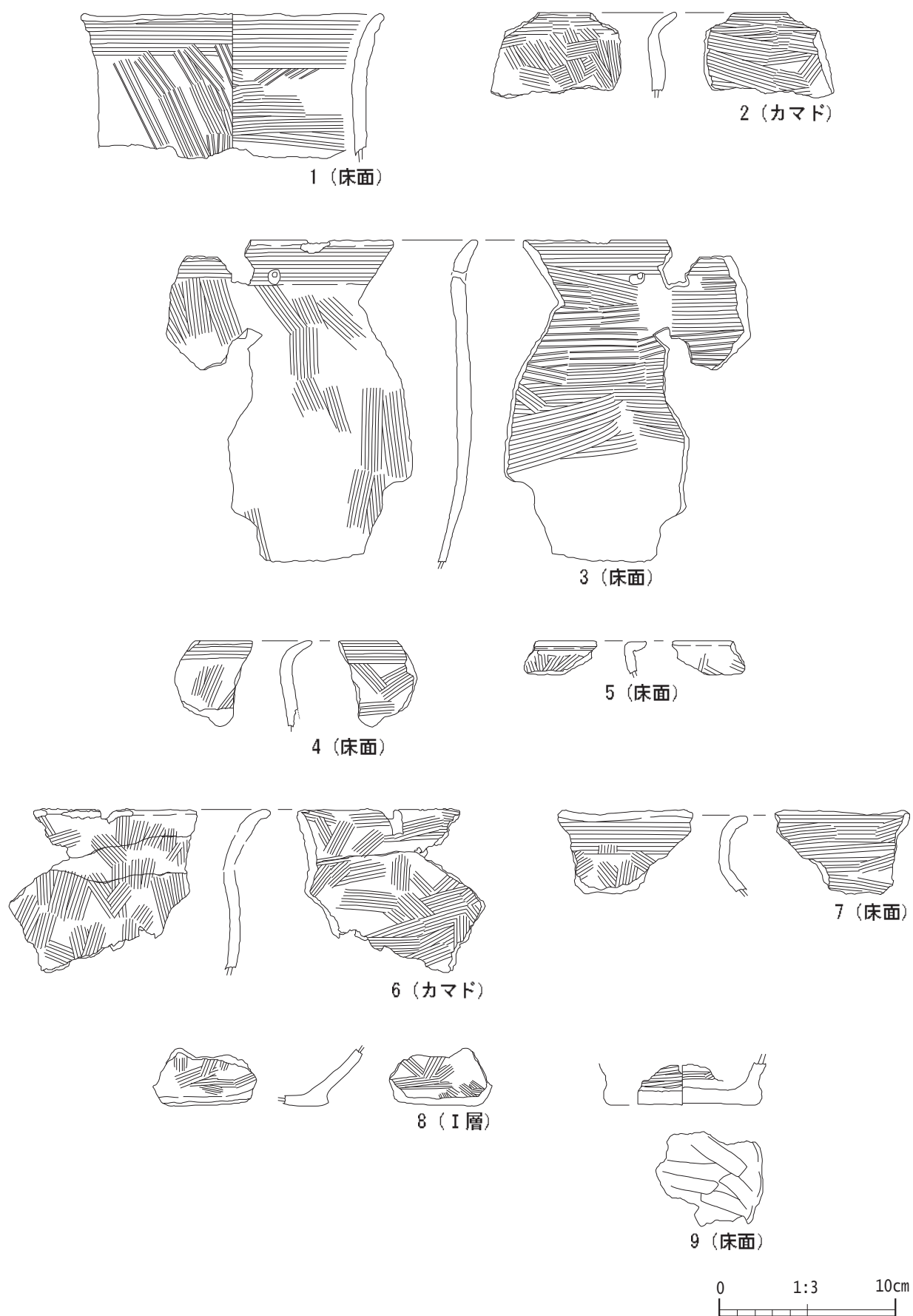


図25 4号竪穴住居跡出土遺物 (1)

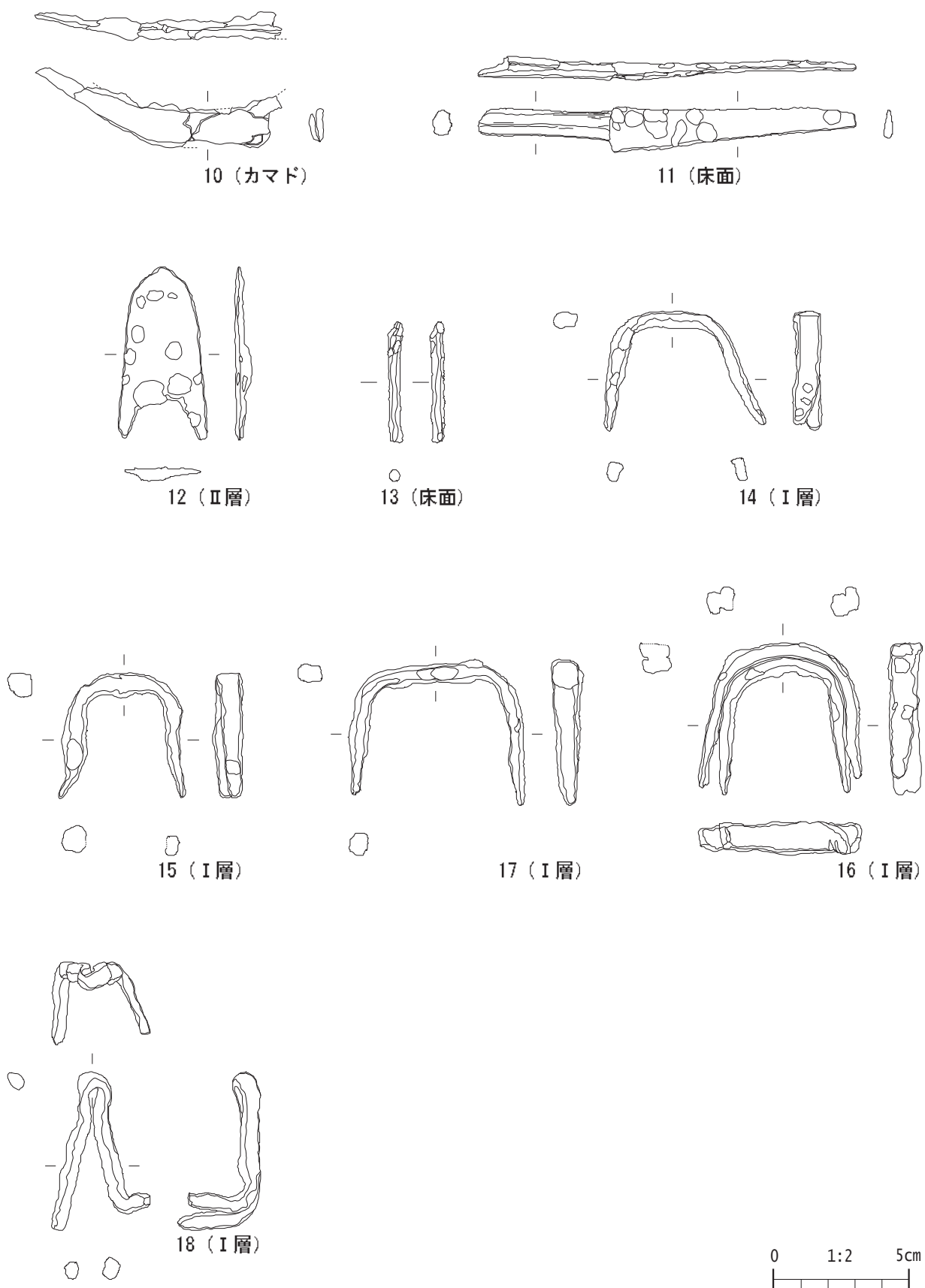


図26 4号竪穴住居跡出土遺物（2）

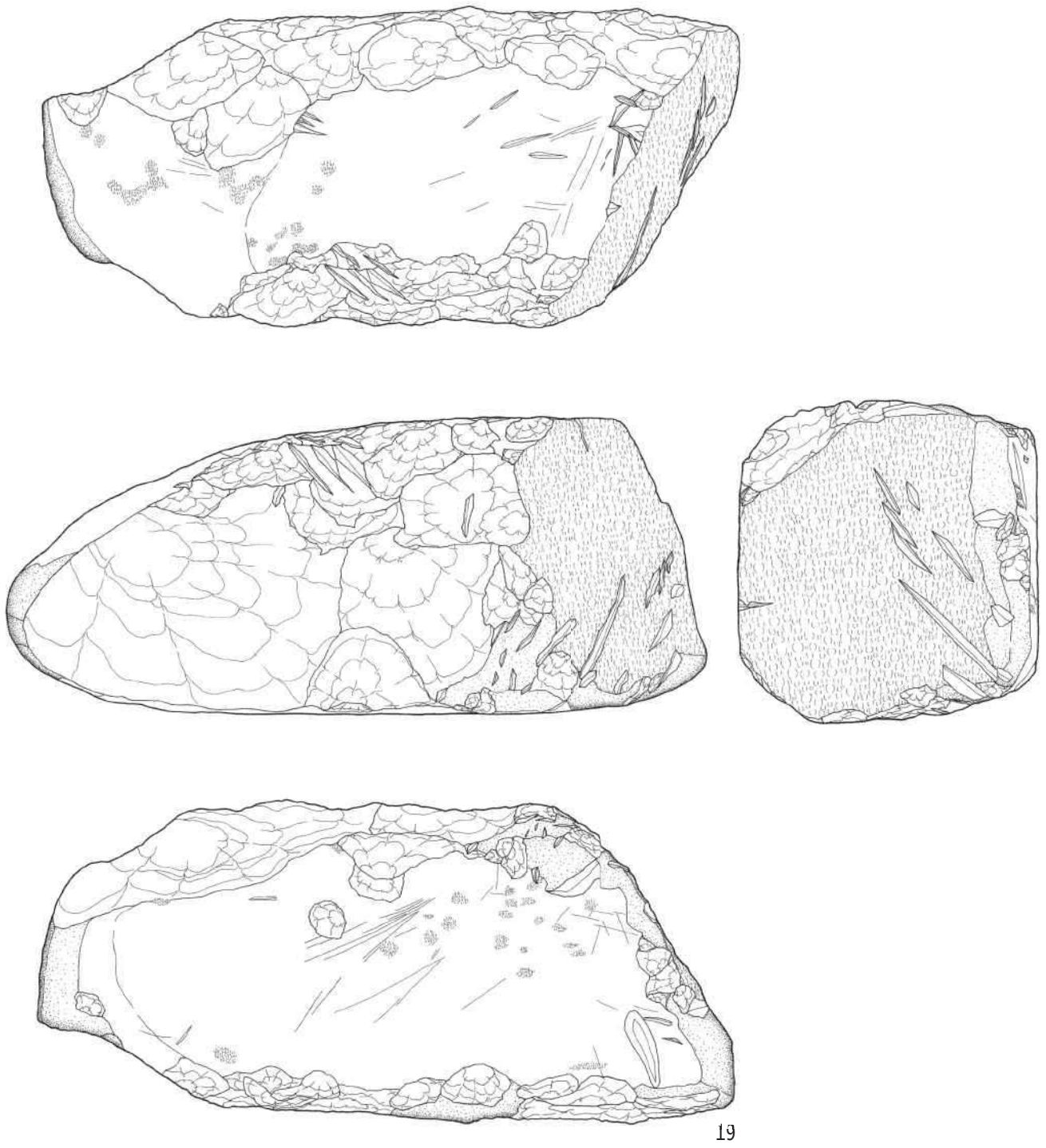


图27 4号竖穴住居跡出土遺物 (3)

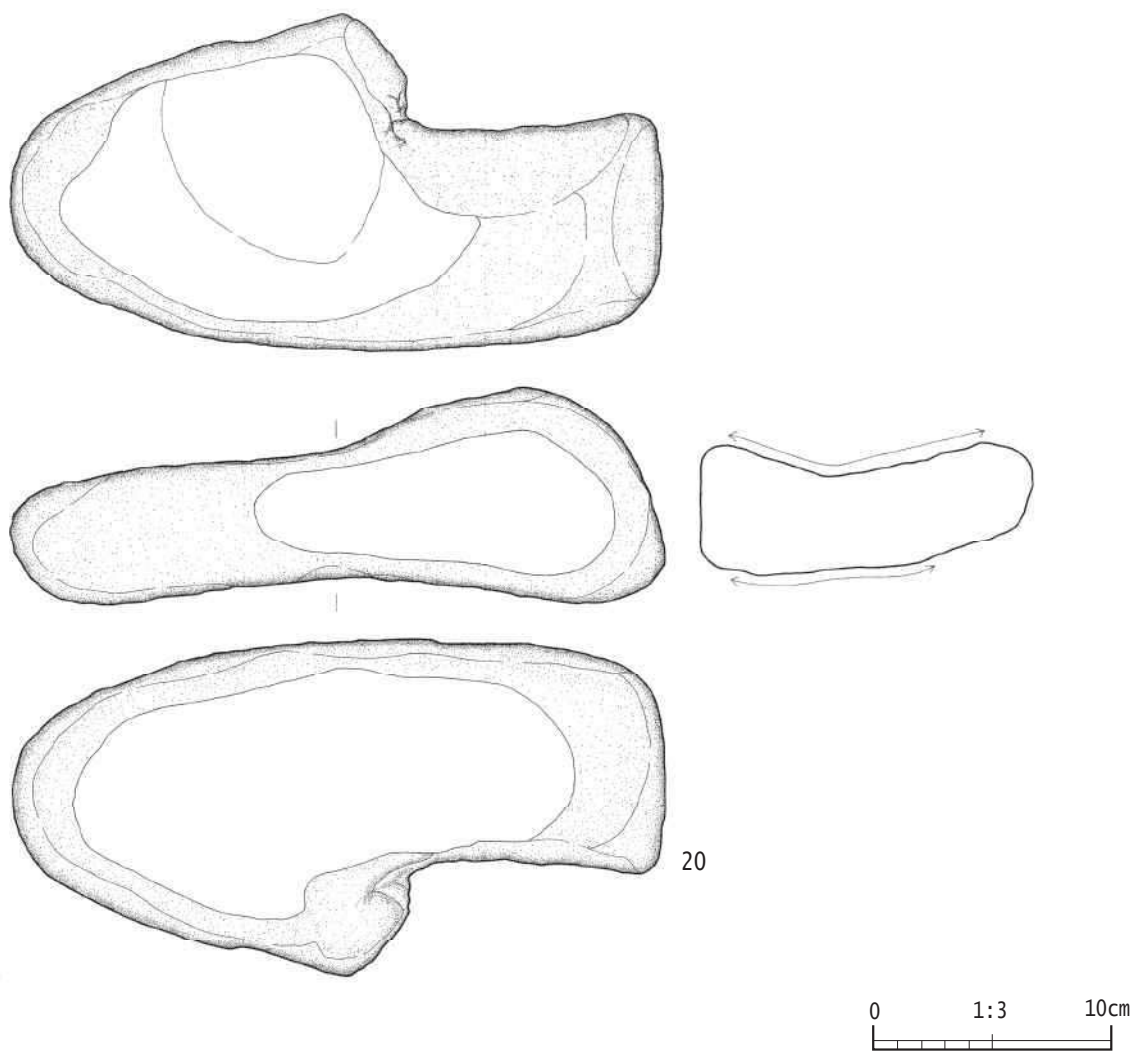


图28 4号竖穴住居跡出土遺物（4）

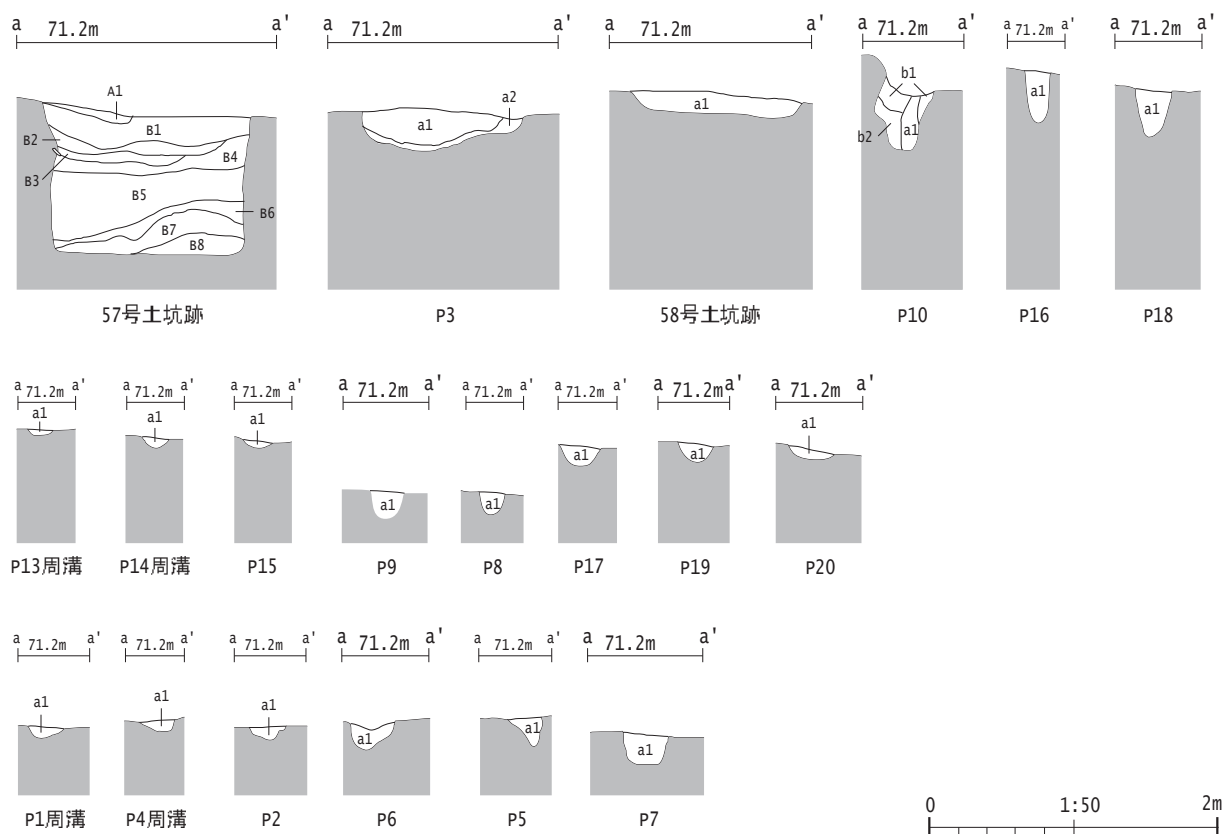


図30 5号、6号、7号竪穴住居跡、57号土坑跡 断面

57号土坑跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	調査・構造・混入物
57号土坑跡	A1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	混入土
	B1	10YR4/4 褐色シルト質壤土～シルト質壤土 (砂質)	鉄、煉、塊
	B2	10YR3/3 暗褐色～3/2 黒褐色シルト質壤土	鉄、煉、塊
	B3	10YR4/6 褐色シルト質壤土 (砂質)	10YR4/4 褐色シルト質壤土 塊～粒 1% 10YR5/6 黄褐色シルト質壤土～砂質壤土 塊～粒 10% 10YR7/8 黄褐色砂質壤土～砂土 塊～粒 5%
	B4	10YR4/4 褐色シルト質壤土 (砂質)	10YR5/6 黄褐色シルト質壤土～砂質壤土 塊～粒 5% 10YR4/6 褐色シルト質壤土 塊 3%
	B5	10YR5/3 に近い黄褐色シルト質壤土～シルト質壤土	鉄、煉、塊
	B6	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	鉄、煉、塊
	B7	10YR4/4 褐色シルト質壤土～シルト質壤土	鉄、煉、塊
	B8	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土～シルト質壤土	鉄、煉、塊

5号、6号、7号竪穴住居跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	調査・構造・混入物
P3	a1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	10YR4/6 褐色シルト質壤土 塊～粒 3% 10YR7/8 黄褐色砂質壤土 塊～粒 3%
P11	a1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	鉄、煉、塊
P10	a1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	鉄、煉、塊 柱あたり
	b1	10YR4/4 褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土 真砂土 塊 5% 10YR7/8 黄褐色砂質壤土 真砂土 塊 10%
	b2	10YR4/6 褐色シルト質壤土	10YR4/6 褐色シルト質壤土 (砂質) 塊 5% 10YR4/6 褐色シルト質壤土 塊～粒 5%
P16	a1	10YR4/6 褐色シルト質壤土 (砂質)	鉄、煉、塊
P18	a1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	鉄、煉、塊
P13周溝	a1	10YR5/4 に近い黄褐色シルト質壤土～砂質壤土	10YR4/6 褐色シルト質壤土 塊～粒 10% 10YR7/8 黄褐色砂質壤土～砂土 真砂土 塊～粒 10%
P14、P15周溝	a1	10YR4/6 褐色シルト質壤土 (砂質)	10YR7/8 黄褐色砂質壤土 真砂土 塊 5% 10YR4/6 褐色シルト質壤土 塊～粒 10%
P9	a1	10YR4/4 褐色シルト質壤土	鉄、煉、塊
P8	a1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	10YR4/6 褐色シルト質壤土 塊～粒 10% 10YR7/8 黄褐色砂質壤土～砂土 10%
P17	a1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	鉄、煉、塊
P19	a1	10YR4/4 褐色シルト質壤土	鉄、煉、塊
P20	a1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	鉄、煉、塊
P1周溝	a1	10YR4/6 褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土 真砂土 塊 10%
P4周溝	a1	10YR4/6 褐色シルト質壤土	鉄、煉、塊
P2	a1	10YR4/6 褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土 粒～塊 5% 鉄、中、塊
P6	a1	10YR2/3 黒褐色～2/2 黒褐色シルト質壤土	鉄、煉、塊 真砂土 粒含 (多)
P5	a1	10YR3/3 暗褐色シルト質壤土	鉄、煉、塊
P7	a1	10YR2/3 黒褐色～2/2 黒褐色シルト質壤土	鉄、煉、塊 真砂土 粒含 (多)

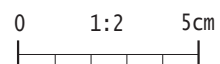
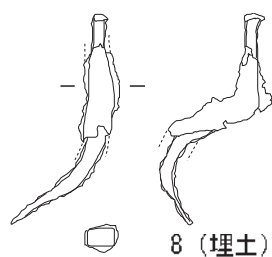
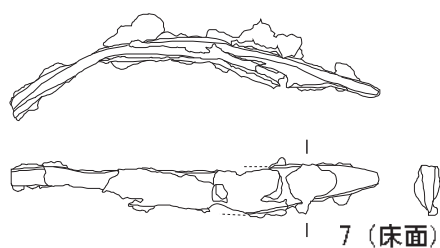
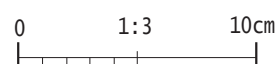
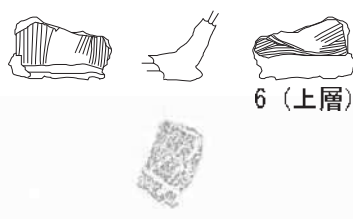
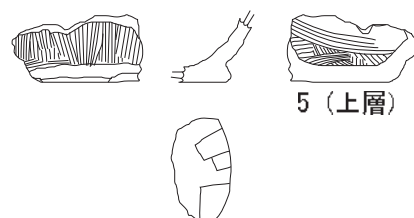
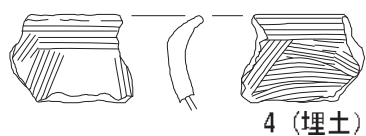
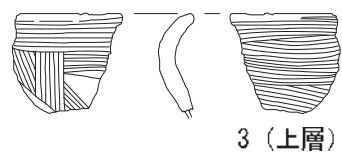
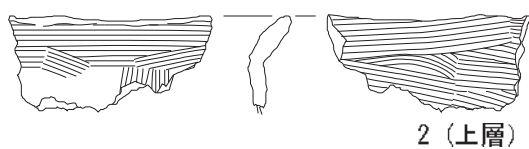
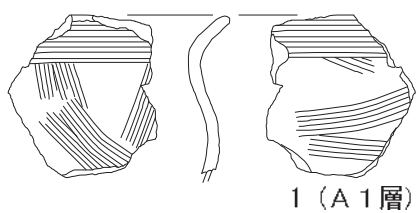


图31 5号、6号竖穴住居跡出土遺物

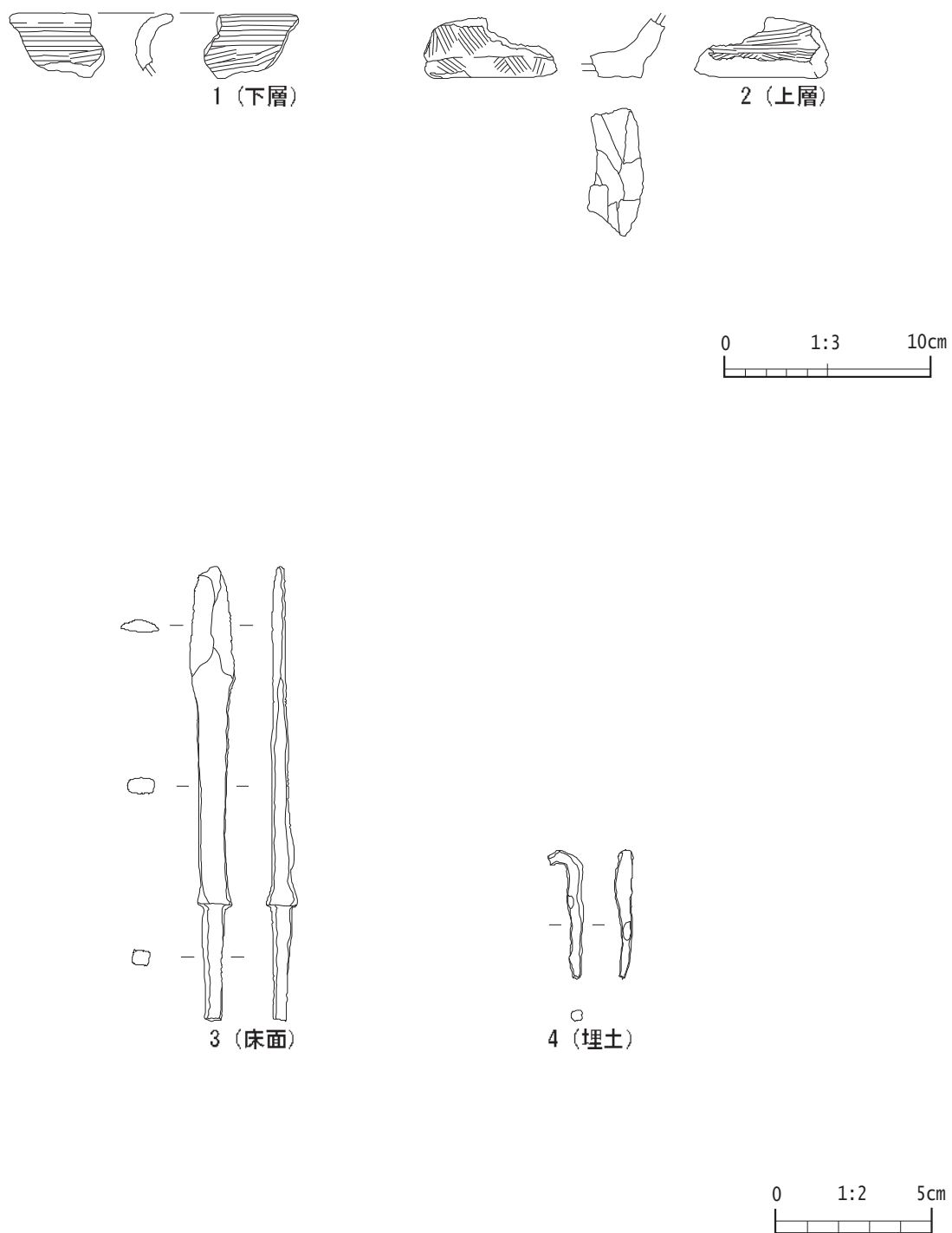


图32 10号、11号土坑跡出土遺物

8号竪穴住居跡（図33）

調査区西寄りの平坦部に位置する。7号竪穴住居跡の西側に並ぶ。平面形は隅丸方形である。規模は、東西4.5m、南北4.0mである。埋土は、3層に大別される。カマドは北壁の中央に設けられる。カマドの両側で周溝を検出する。床面からは、焼土と6基の小土坑跡が出土している。

焼土 I（図34）

床面の南西寄りに位置する。平面形は楕円形である。規模は、75cm×45cmを測る。a 1層は多量の炭を含み、b 1層は固く焼き締まる。とくに掘りくぼめた跡はないが、炉として使用した可能性がある。

P 8の周縁部で焼成面を確認している。

カマド跡（図35）

くり抜き式である。煙道はほぼ水平に掘られ、煙出しは垂直に立ち上がる。焚口にはカマドの崩壊土が広がる。袖石の据跡、焼成面を確認した。

出土遺物（図36）

1は土師器の坏である。ロクロ成形され、内面は黒色処理される。外面にナデ、内面にミガキ調整痕を残す。

2～6は土師器の甕である。2～4は口縁部である。いずれも短く、わずかに外反する。体部は、2、3は膨らみ、4の膨らみは弱い。5、6は底部である。10は張出しをもたない。6の張出しは弱い。。

7は砥石である。扁平礫の4面を利用する。磨面には多数の条痕が入る。

9号竪穴住居跡、12号土坑跡

調査区中央の北側斜面に位置する。

9号竪穴住居跡（図37）

5号竪穴住居跡の北に位置する。平面形は隅丸方形である。規模は、東西4.0m、南北3.5mを測る。埋土は3層に大別される。床面中央の段差は旧竪穴跡を埋めずにそのまま利用したためのものである。カマドは西壁に設け、南壁に沿って周溝、小土坑あとなどを検出した。中央の段差に沿って周溝も残されていた。

カマド跡（図38）

西壁のほぼ中央に位置する。周縁部にカマド崩壊土が広がる。袖石の据跡、焼成面を確認している。煙道は、西壁際の西に延びる浅い土坑跡と思われる。

出土遺物（図39～41）

1～12は土師器の甕である。1～9は口縁部である。いずれも短く、わずかに外反する。体部は、5は膨らむが、他の膨らみは弱い。10～12は底部である。10、11は張出しをもたない。10、12は木葉痕を残し、11はヘラ削り調整を施される。

13、14は鉄製品である。角釘の体部とおもわれる。

15は砥石である。磨面に無数の条痕が入る。

16は鉄床石と思われる。

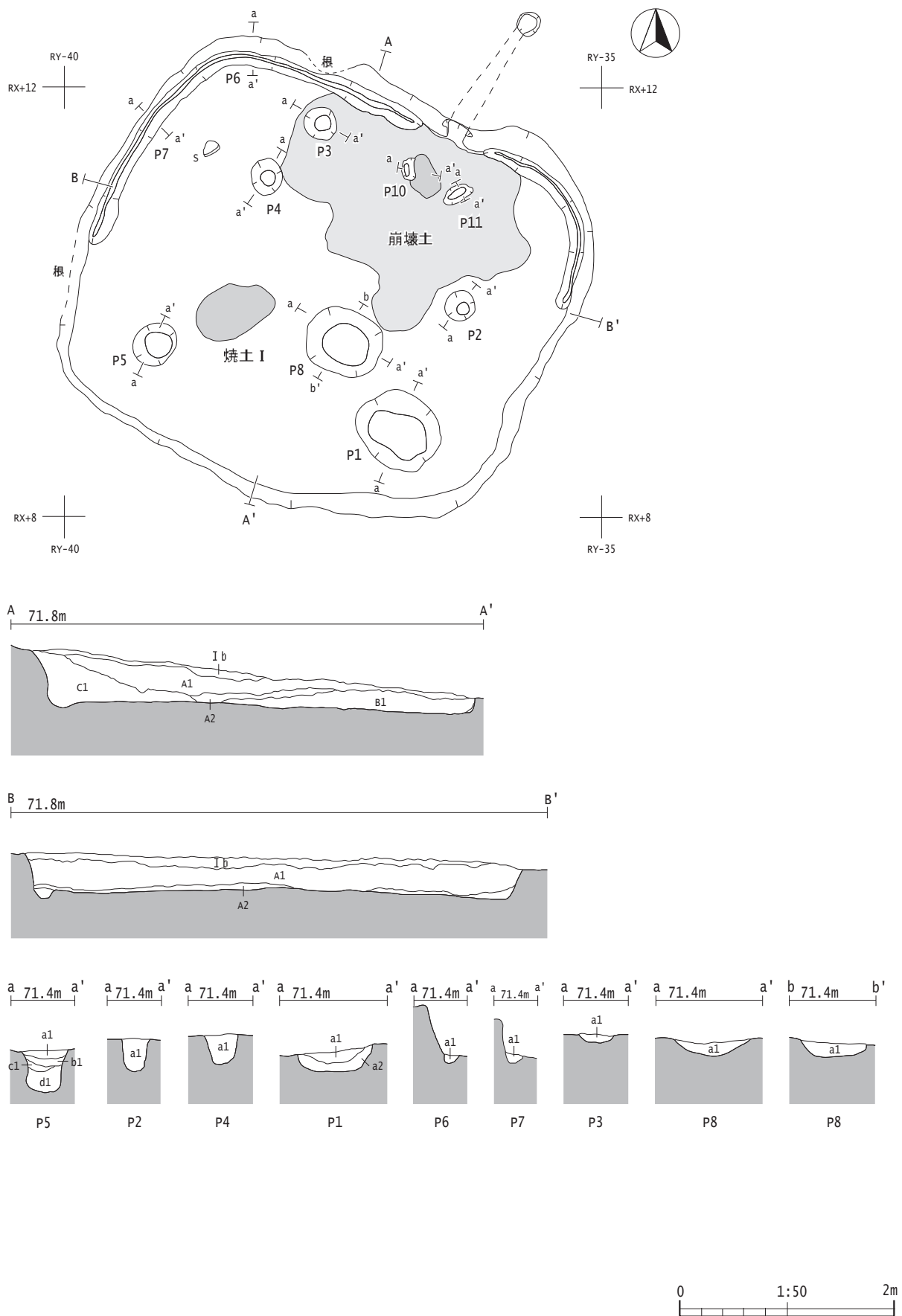


图33 8号竖穴住居跡 平断面

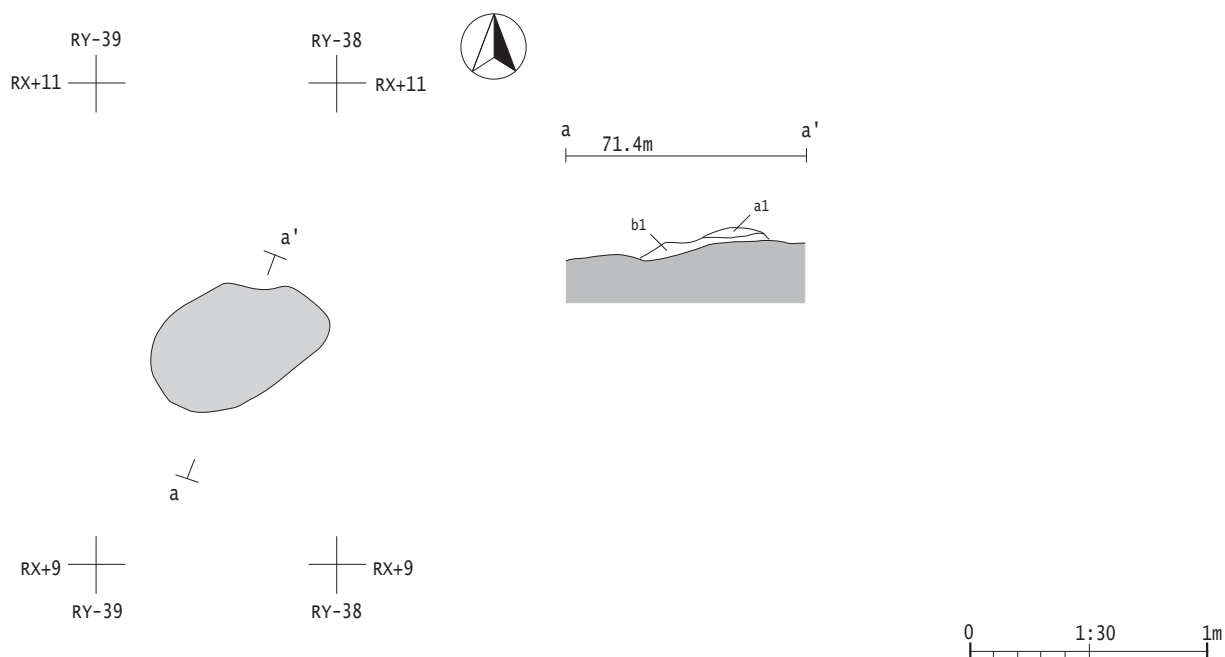


図34 8号竪穴住居跡焼土Ⅰ 平断面

8号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
8号竪穴住居跡	A1	10YR5/8 黄褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 焼10%	中、中、焼土碎断片
	A2	10YR5/6 黄褐色 砂	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 焼5%	中、中、焼
	B1	10YR4/6 褐色 砂土	10YR3/4 暗褐色 砂壤土 焼15%	中、中、焼炭など(少)
	C1	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 焼10%	中～固、中、焼土断片 真砂土混ざり
P5	a1	10YR4/4 褐色 シルト質壤土		固、中、焼
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐色 シルト質壤土～砂質壤土		軟、疎、焼
	c1	10YR4/6 褐色 シルト質壤土		中、中、焼
	d1	10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質壤土～砂土		軟、疎、焼
P2	a1	10YR5/4 にぶい黄褐色 シルト質壤土～砂質壤土	10YR4/6 褐色 シルト質壤土 焼10%	中～軟、中、焼
P4	a1	10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト質壤土～砂質壤土	10YR7/8 黄褐色 砂質壤土～砂土	固、中、焼 柱穴
P1	a1	10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト質壤土～砂土	10YR4/6 褐色 シルト質壤土 焼～粒 1%	中、中、焼土断片
	a2	10YR7/8 黄褐色 砂質壤土～砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色 シルト質壤土	軟、中、焼
P6、P7(周溝)	a1	10YR7/8 黄褐色 砂質壤土～砂土		軟、疎、焼 周溝
P3	a1	10YR4/6 褐色 シルト質壤土		固、中、焼
P8	a1	10YR4/6 褐色 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色 砂質壤土～砂土	中、中、焼
焼土Ⅰ	a1	10YR3/3 暗褐色 シルト質壤土	10YR4/6 褐色 シルト質壤土	軟、疎、焼 多量の炭片
	b1	10YR5/6 黄褐色 シルト質壤土～シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色 砂質壤土～砂土 真砂土 焼～粒 10%	固、中、焼
8号竪穴住居跡カマド	D1	10YR4/6 褐色 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色 砂質壤土～砂土 焼～粒 1%	中、中、焼
	D2	10YR4/4 褐色 シルト質壤土		中、中、焼
	D3	10YR2/3 黒褐色 シルト質壤土		軟、疎、焼 炭片(少)
	k1	10YR5/6 黄褐色 シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色 砂質壤土～砂土 焼10%	固～中、中～密、焼
			10YR4/4 褐色 ～4/6 褐色 シルト質壤土 焼5%	

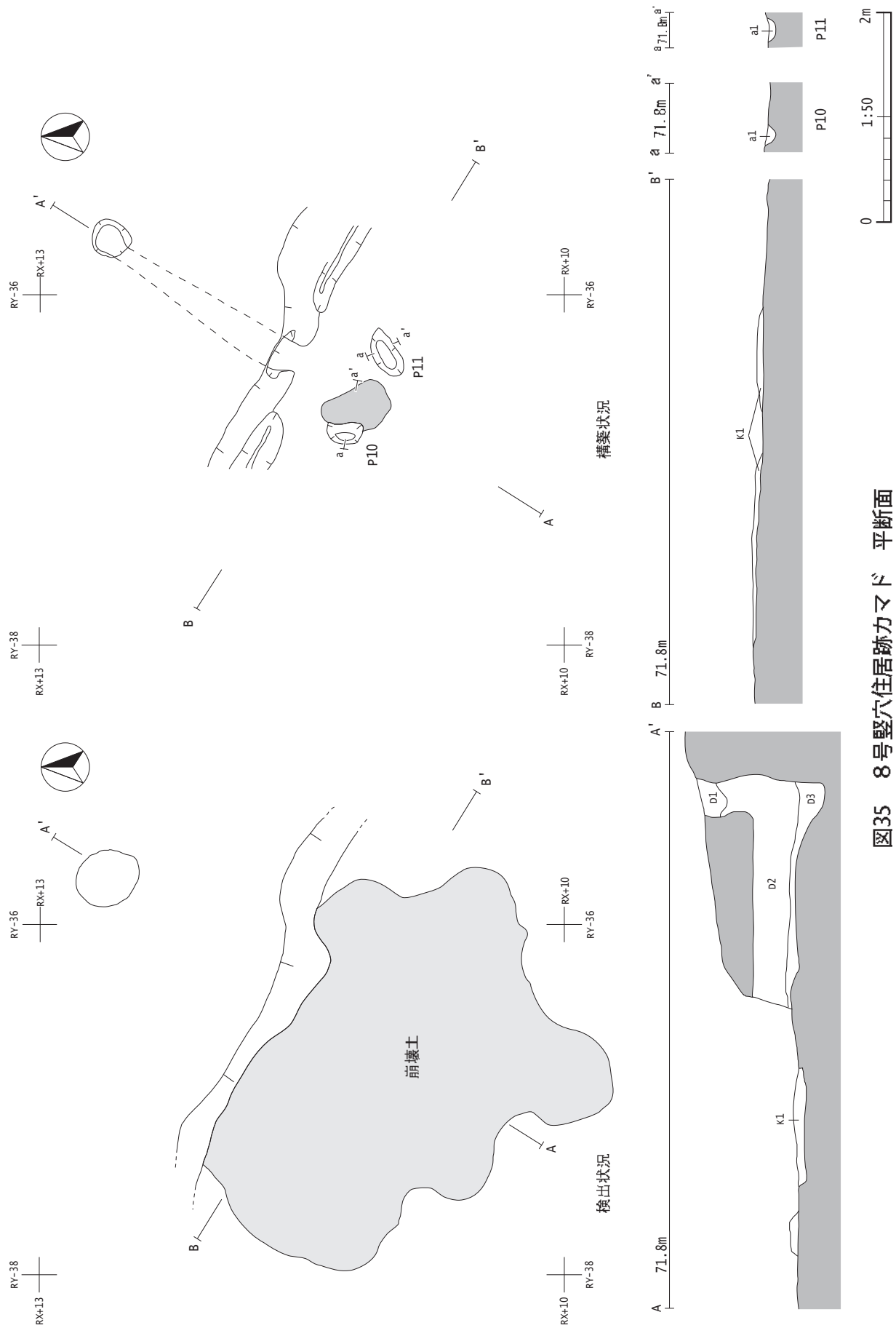


図35 8号竪穴住居跡カマド 平断面

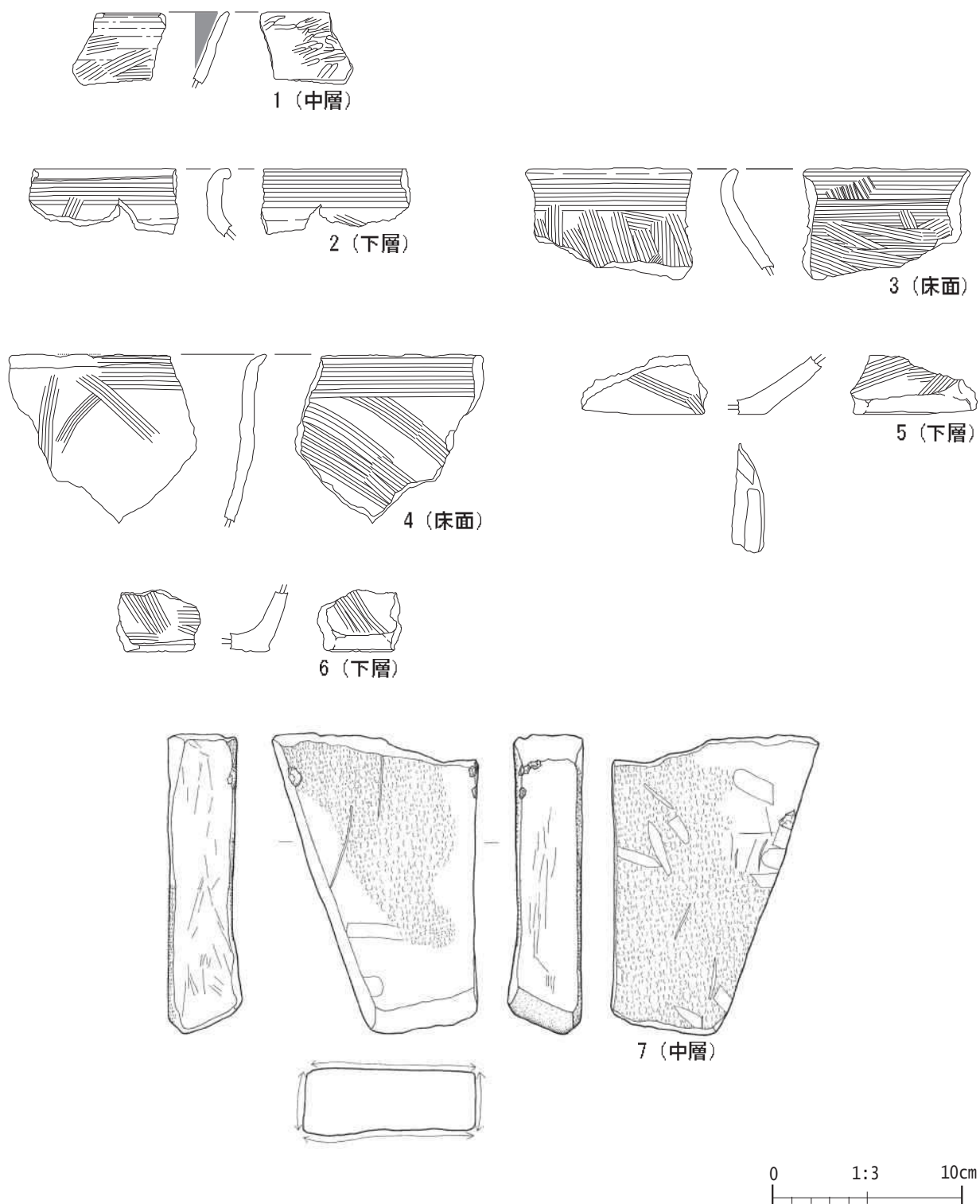


図36 8号竪穴住居跡出土遺物

12号土坑跡 (図37)

9号竪穴跡の南西に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.7m、深さ1.0mを測る。埋土は5層に大別される。遺物は出土していない。

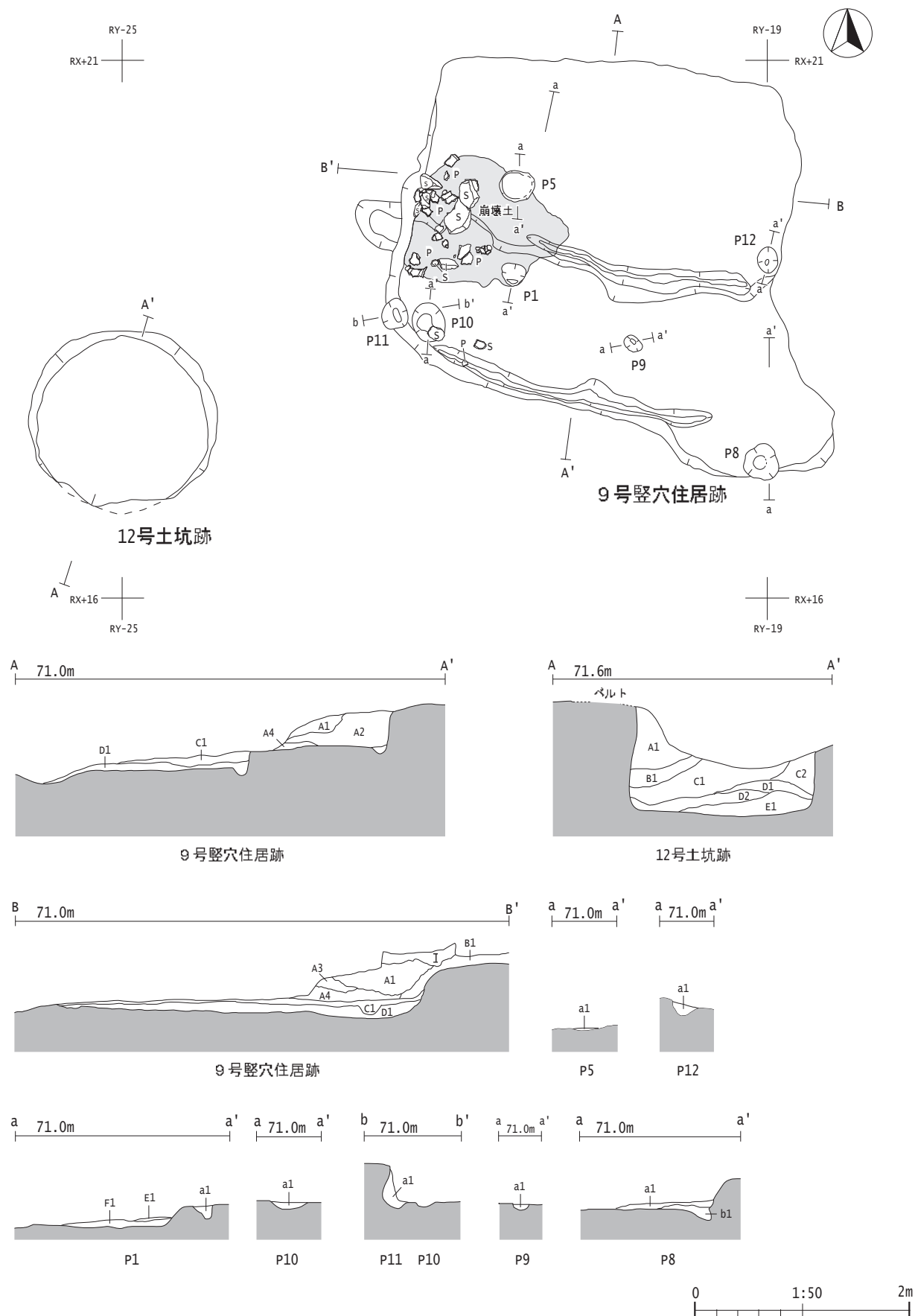


図37 9号竖穴住居跡、12号土坑跡 平断面

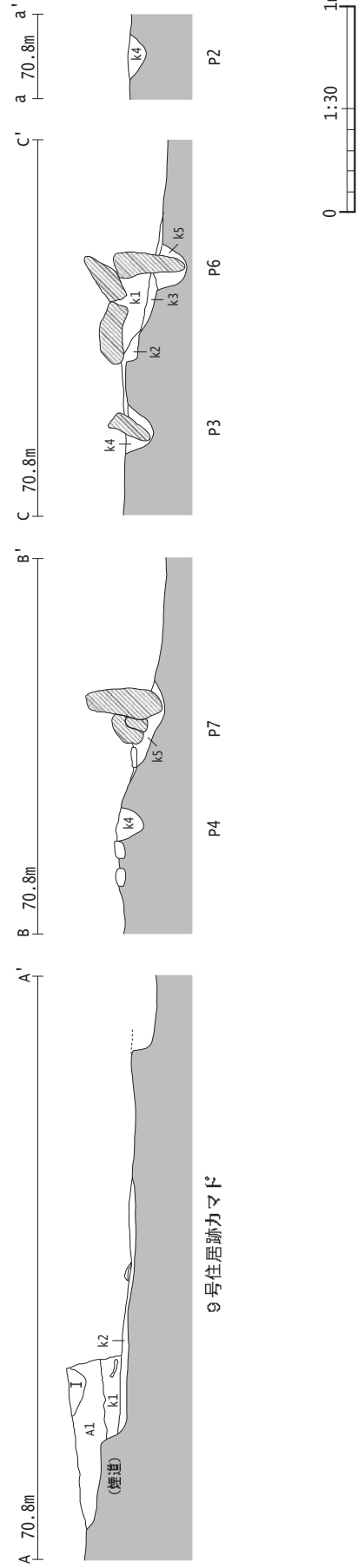
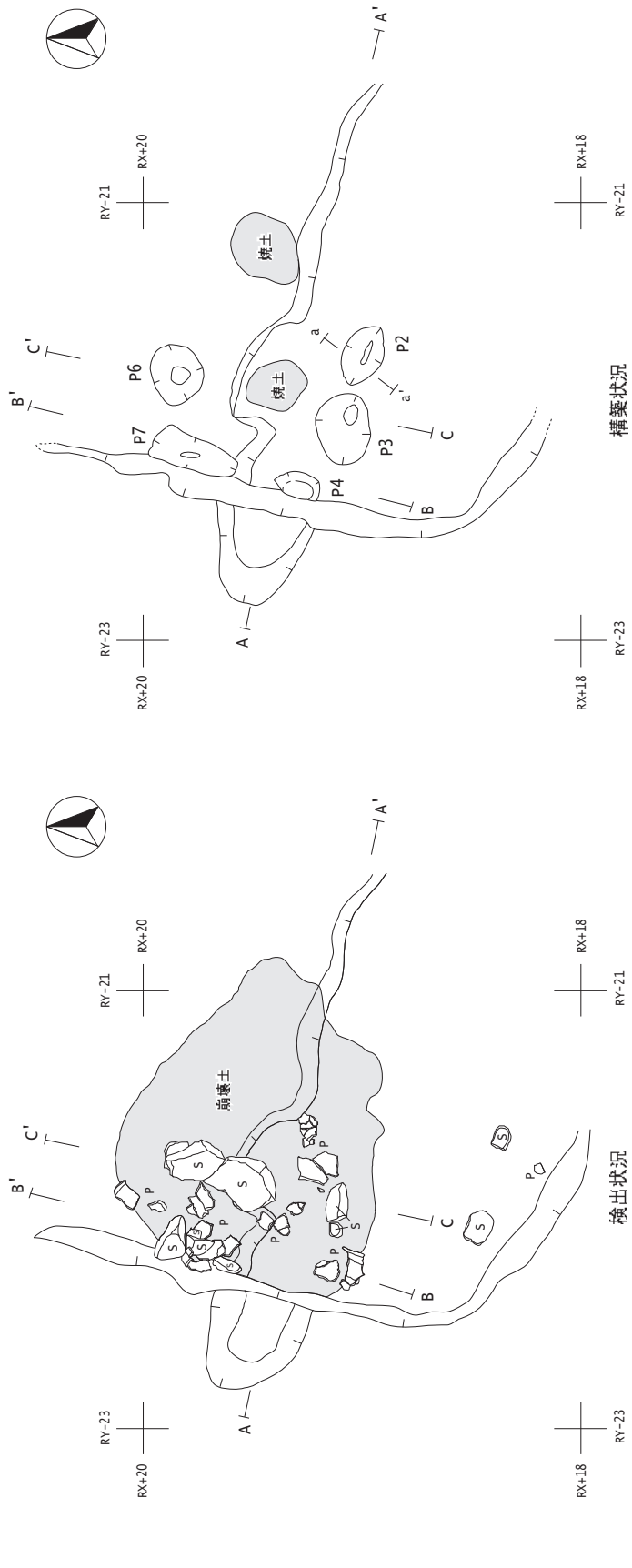


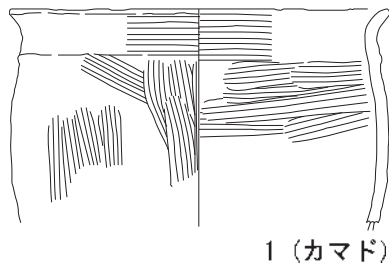
図38 9号竪穴住居跡カマド 平断面

9号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
9号竪穴住居跡	A1	10YR3/4 暗褐色砂壤土 塊	10YR4/4 褐色砂壤土 塊 15%	固さ・構造・混入物
			10YR5/6 黄褐色砂壤土 塊 3%	固、中、塊
	A3	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 塊 15%	中、中、塊
	A4	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 塊	中、中、塊
	B1	記載なし		
	C1	10YR3/2 黒褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色砂壤土	軟、中、塊、炭、焼土粒、8号竪穴住居跡b1底面の層、ねっとりした層
	D1	10YR4/6 褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 塊 15%	中、中、塊、焼土粒、真砂土粒、炭(多)
			10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 塊 10%	
	E1	10YR4/6 褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 塊 15%	固、中、塊、真砂土粒、8号竪穴住居跡a1の焼土、炭で踏み固められた
	F1	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR3/3 暗褐色砂壤土 塊 10%	軟、硬、塊、8号竪穴住居跡a1
8号竪穴住居跡の堆積土		10YR4/4 褐色シルト質壤土(明)		中、中、塊、炭粒ほとんど含まず
P8	a1	10YR4/6 褐色シルト質壤土	10YR2/3 黒褐色シルト質壤土 塊 10%	固、密、塊、炭(多)
	b1	10YR5/3 にぶい黄褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土～砂土 真砂土 塊 10%	中、中、塊
9号竪穴住居跡カマド	k1	10YR3/3 暗褐色シルト質壤土	10YR5/8 黄褐色シルト質壤土 塊～粒 3%	中、中、塊、炭、煤
	k2	7.5YR4/6 褐色焼土シルト質壤土		中、硬、塊、焼土層
	k3	7.5YR4/6 褐色		中、中～硬、塊、焼土赤味強い(k2より)
P2～P4	k4	10YR7/8 黄褐色砂質壤土		中、中、塊、底、土砂片
	k5	10YR2/3 黒褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土 塊～粒 10%	中、中、塊
			10YR4/6 褐色シルト質壤土 塊～粒 5%	

12号土坑跡 土層注記表

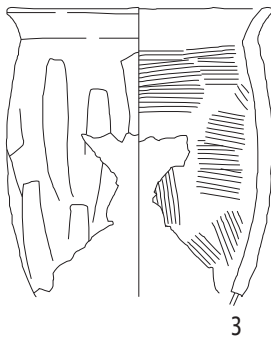
層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
12号土坑跡				記載なし



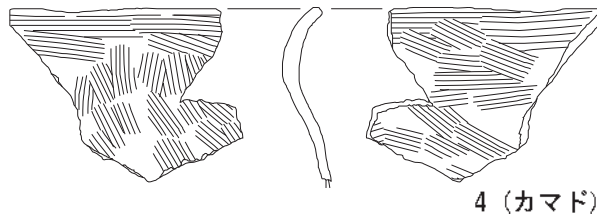
1 (カマド)



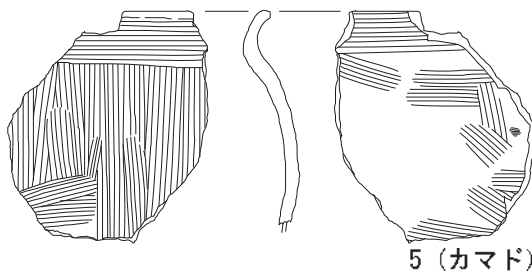
2 (カマド)



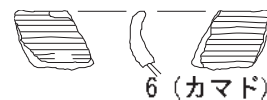
3



4 (カマド)



5 (カマド)



6 (カマド)

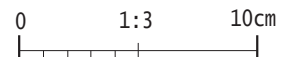


図39 9号竪穴住居跡出土遺物 (1)

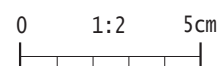
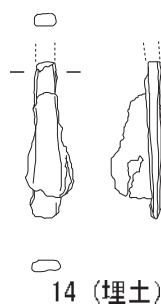
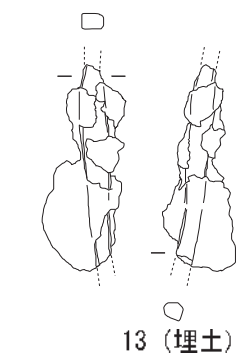
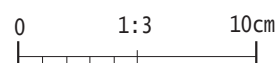
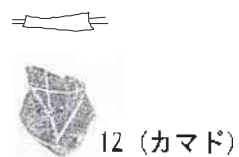
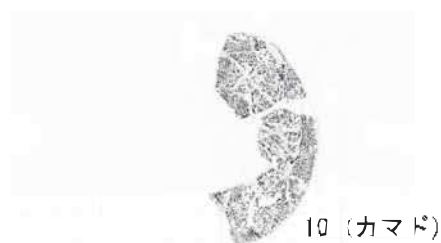
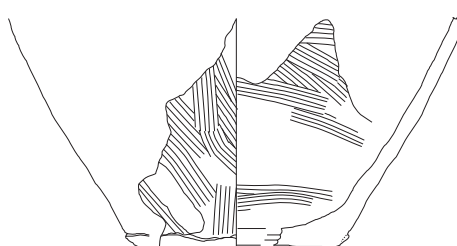
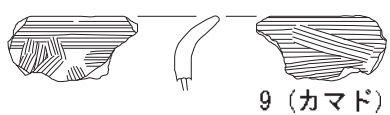
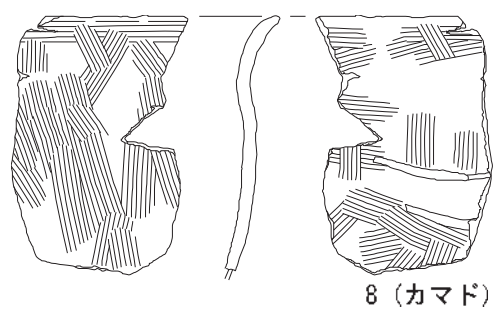
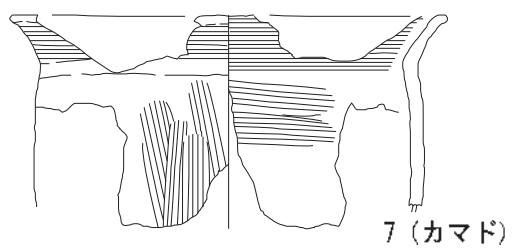


図40 9号竪穴住居跡出土遺物 (2)

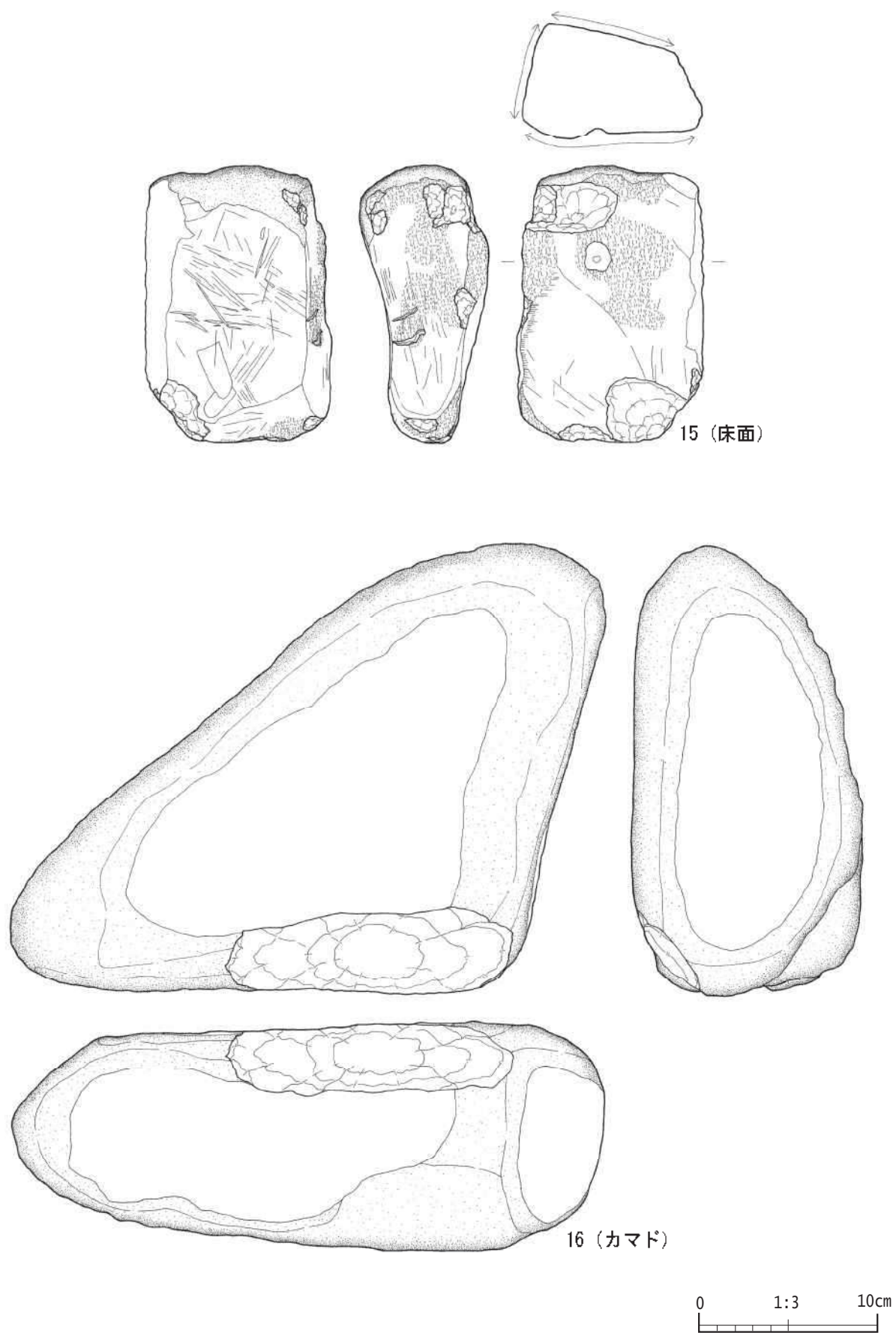


図41 9号竪穴住居跡出土遺物 (3)

10号竪穴住居跡（図42）

調査区西の平坦部に位置する。8号竪穴住居跡の西に並ぶ。平面形は隅丸方形である。規模は、東西4.5m、南北4.0mを測る。埋土は3層に分かれる。北壁で2基のカマド跡を検出した。床面からは、小土坑跡6基、中規模の浅い土坑跡1基が出土し、北西部で炭の広がりを検出している。

カマド跡A（図43）

くり抜き式である。煙道は下降して掘られ、煙出しは垂直に立ち上がる。k1層はカマド崩壊土である。

カマド跡B（図43）

くり抜き式である。煙道は下降して掘られ、煙出しは垂直に立ち上がる。

カマド跡A、Bとも焼成面、袖石の据跡は検出していない。

k1層は、カマド崩壊土である。k1層は、炭の広がりで、土器を含む。

出土遺物（図44）

1～8は土師器甕の口縁部～体部である。口縁部は短く、外反する。1～3の体部は膨らむ。

9は須恵器である。長頸壺の頸部である。

10は砥石である。3面の磨面をもつ。

13号、14号土坑跡（図42）

10号竪穴住居跡の北東に位置する。14号土坑跡は13号土坑跡を切る。

13号土坑跡

14号土坑跡の北に位置する。平面形は楕円形である。規模は、1.6m×1.3m、深さ0.3mを測る。

遺物は鉄滓15gが出土している。

14号土坑跡

平面形は楕円形である。規模は、1.6m×1.0m、深さ0.4mを測る。埋土は2層に大別される。遺物は出土していない。

10号竪穴住居跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ・構造・混入物
10号竪穴住居跡			
A1	10YR6/4にぶい黄褐 砂壤土	10YR7/4にぶい黄褐 砂壤土 塊10%	軟、疎、塊 真砂土
B1	10YR6/6明黄褐 砂壤土	10YR5/4にぶい黄褐 砂壤土 塊15%	中、中、塊
C1	10YR6/4にぶい黄褐 砂壤土	10YR6/6明黄褐 砂壤土 10%	軟、疎、塊 土器
P1	a1 10YR4/6褐シルト質壤土(砂質)	10YR7/8黄褐 砂質壤土～砂土 真砂土 塊10%	中、疎、塊
P2	a1 10YR4/4褐シルト質壤土	10YR7/8黄褐 砂質壤土～砂土 真砂土 塊15%	中、疎、塊
P3	a1 10YR5/6黄褐シルト質壤土(砂質)		軟、疎、塊
P4	a1 10YR3/4暗褐シルト質壤土	10YR5/3にぶい黄褐 砂質壤土～砂土 塊20%	軟、疎、塊
P5	a1 10YR7/8黄褐 砂質壤土～砂土		軟、疎、塊
P6	a1 10YR4/6褐シルト質壤土	10YR7/8黄褐 砂質壤土～7/6明黄褐 砂質壤土 真砂土 塊10%	軟、疎、塊
10号竪穴住居跡カマドA	D1 10YR4/4褐シルト質壤土	10YR4/6褐シルト質壤土 塊～粒1%	固～中、塊、中～疎
	D2 10YR4/6褐シルト質壤土	10YR4/4褐シルト質壤土 塊～粒10%	軟～中、中～疎、塊
		10YR5/6黄褐シルト質壤土 粒～塊5%	
	D3 10YR2/3黒褐シルト質壤土		軟、疎、塊 炭片、焼土粒(少)
	k1 10YR4/6褐～5/6黄褐シルト質壤土	10YR7/8黄褐～砂質壤土～砂土 真砂土 塊10%	固、密、塊 カマド崩壊土
10号竪穴住居跡カマドB	D1 10YR4/6褐シルト質壤土	10YR4/4褐シルト質壤土 塊～粒10%	軟、中～疎、塊
	D2 10YR4/4褐シルト質壤土	10YR5/6黄褐シルト質壤土 粒2%	軟、疎、塊
	D3 10YR7/8黄褐～7/6砂質壤土～砂土 真砂土	10YR4/6褐シルト質壤土 塊20%	軟、疎、塊
崩壊土	k2 10YR3/4暗褐シルト質壤土	多量の炭	軟、疎、塊 ほとんど炭片だけの層

13号、14号土坑跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ・構造・混入物
14号土坑跡			
A1	10YR3/4暗褐シルト質壤土	10YR7/8黄褐 砂質壤土 真砂土	軟、疎、塊 高麗土のような感じ
B1	10YR4/6褐シルト質壤土	10YR3/4暗褐シルト質壤土 塊5%	中、中、塊 真砂土 炭粒子混
B2	10YR5/4にぶい黄褐シルト質壤土～砂質壤土かなり砂質	10YR7/8黄褐 砂質壤土(真砂土塊) 粒～塊15%	固、中、塊 真砂土 炭粒子混(多)
13号土坑跡	C1 10YR3/4暗褐シルト質壤土	10YR4/4褐シルト質壤土～砂質壤土(砂質) 塊～粒5%	固～中、中、塊 真砂土 炭粒子
	C2 10YR5/4にぶい黄褐 砂質壤土～砂土 砂質		固、中、塊 真砂土 炭粒子(多)
	C3 10YR4/6褐シルト質壤土(砂質)	10YR5/4にぶい黄褐 砂質壤土～砂土 塊～粒10%	固、中、塊 真砂土 炭粒子混(中)
		10YR4/4褐 砂質壤土～砂土 塊～粒5%	

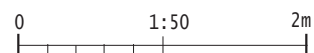
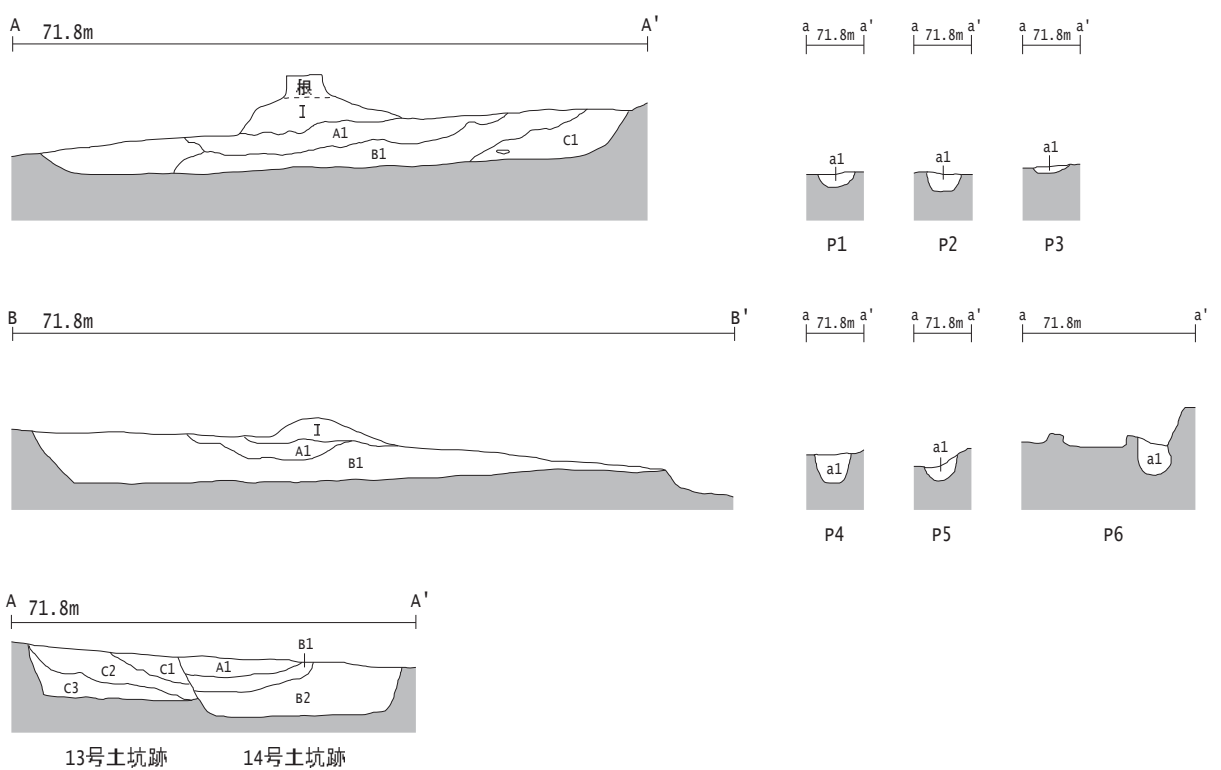
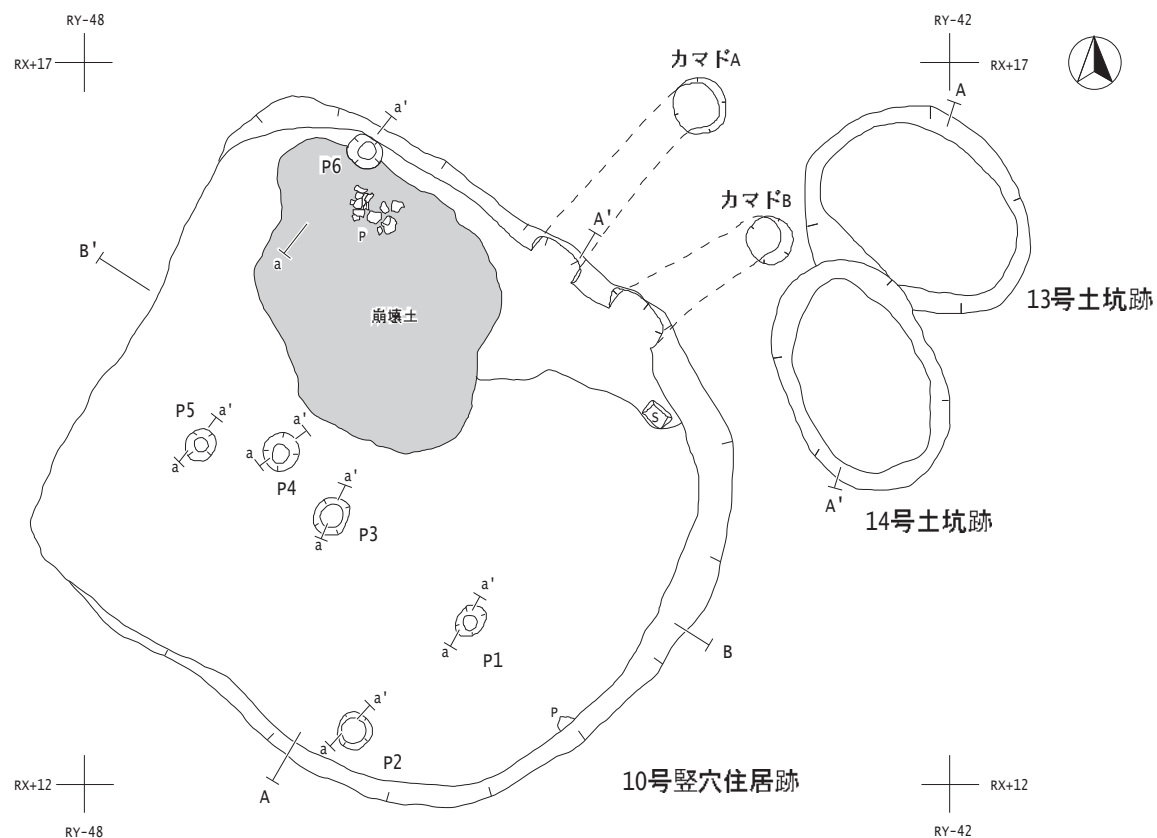


図42 10号竖穴住居跡、13号、14号土坑跡 平断面

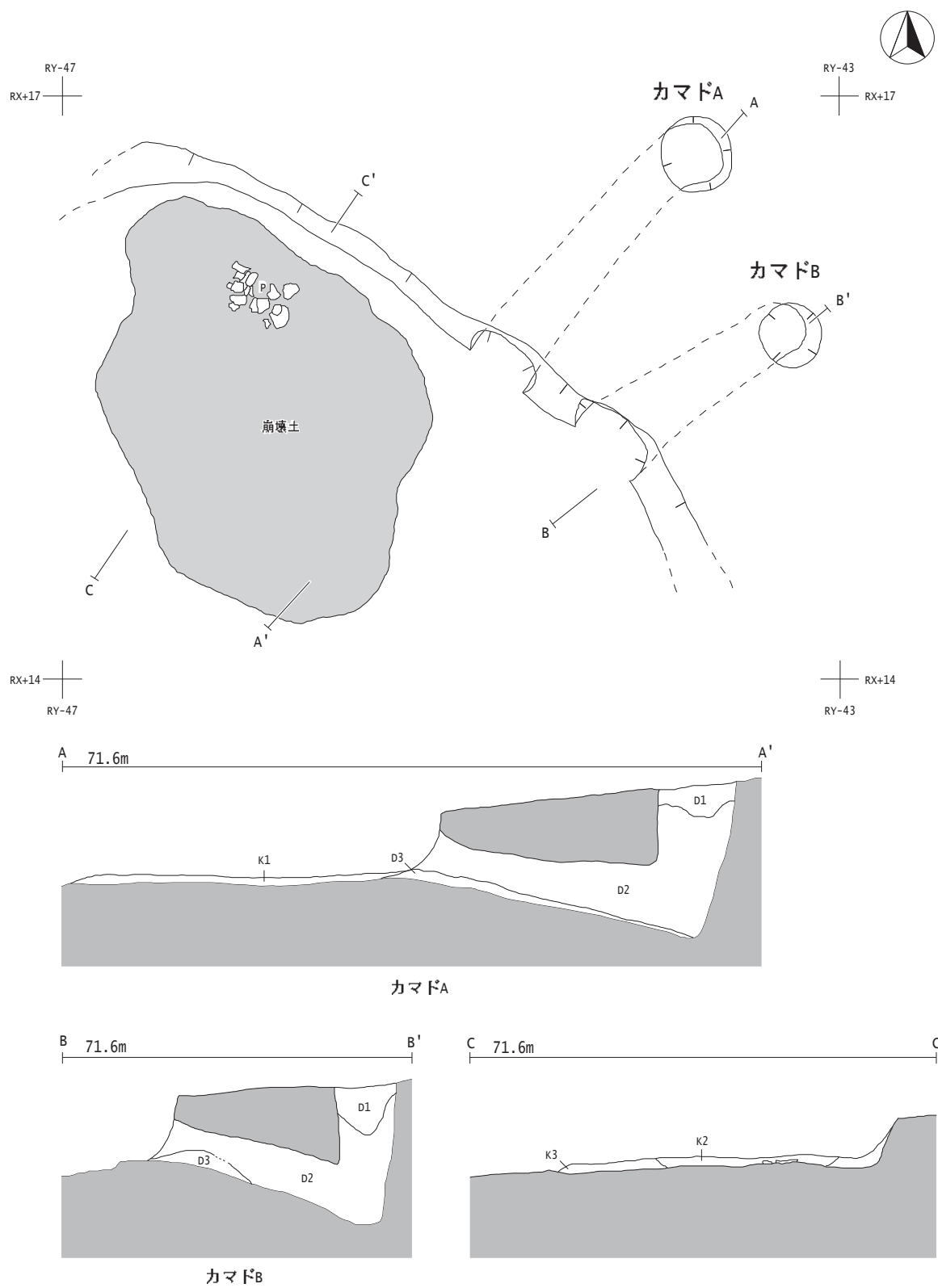
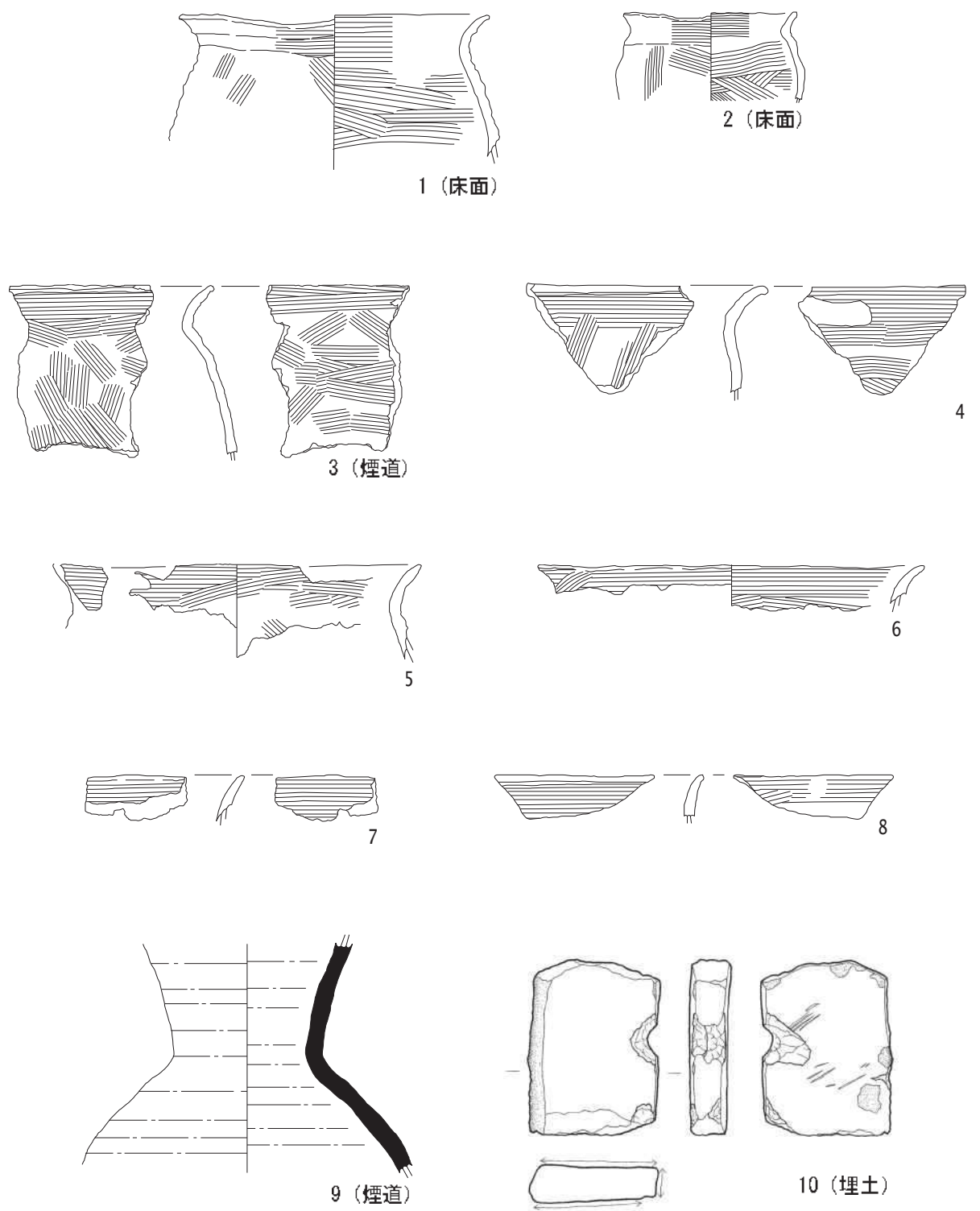


図43 10号竪穴住居跡カマドA、B 平断面



0 1:3 10cm

图44 10号竖穴住居跡出土遺物

11号竪穴住居跡（図45）

調査区西の平坦部に位置する。12号竪穴住居跡を切る。平面形は隅丸方形である。規模は、南北4.1m、東西3.5mを測る。埋土は2層に大別される。東壁にカマドを設ける。床面で周溝、土坑跡は検出していない。北隅で小土坑跡を1基検出している。

カマド跡（図46）

くり抜き式である。煙道は下降して掘られて、煙出しはやや傾斜して立ち上がる。火床面は確認したが、袖石の据跡は検出していない。

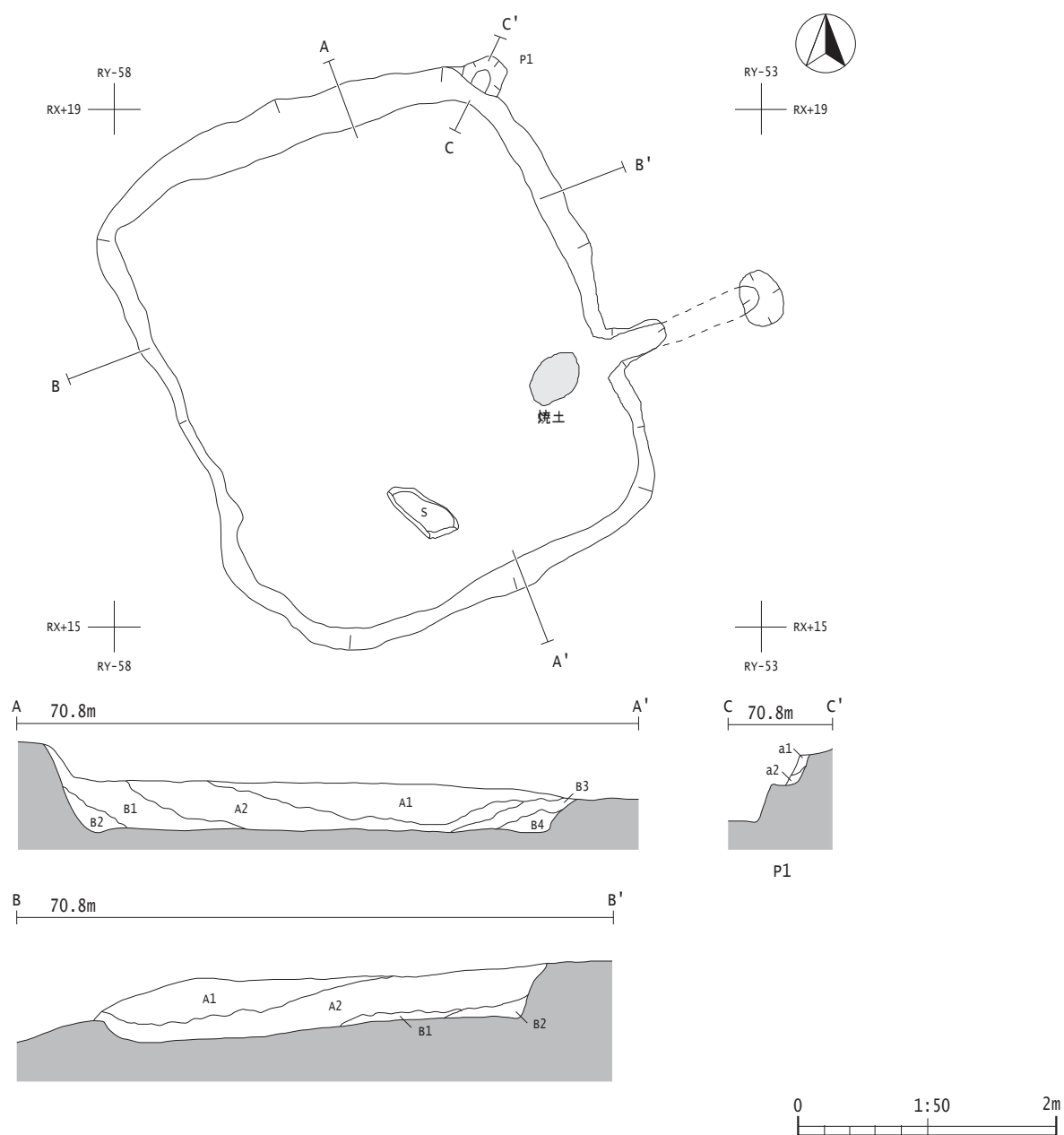


図45 11号竪穴住居跡 平断面

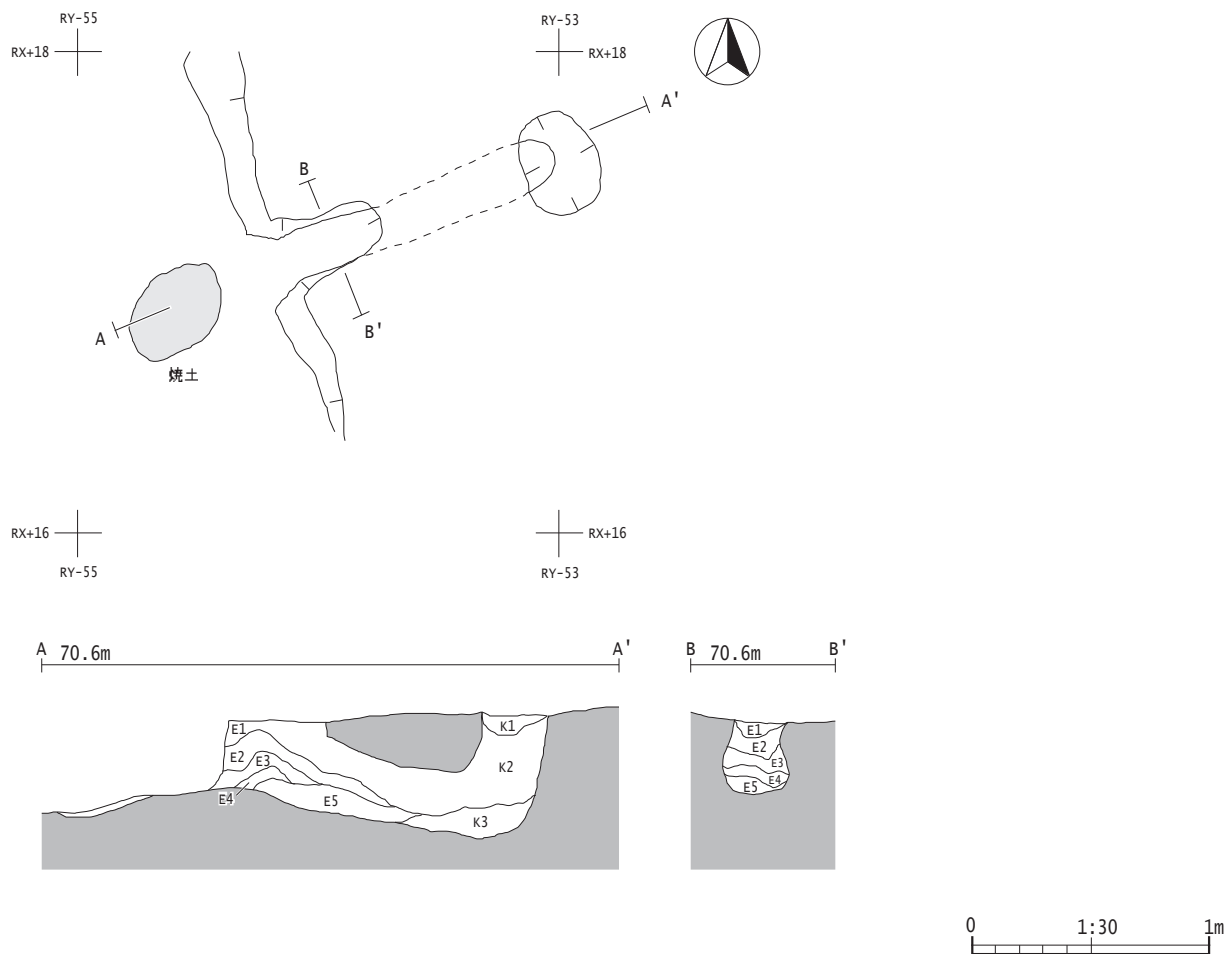


図46 11号竪穴住居跡カマド 平断面

11号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基土	混入土	固さ・構造・混入物
11号竪穴住居跡	A1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 7%	固さ締まり中
	A2	10YR4/6 褐色 壤土	10YR6/8 明黄褐色 壤土 塊状 (中 3cm)	やや固締まりあり
	B1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 5%	やや軟
			10YR4/4 褐色 壤土 2% 塊状	
	B2	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 10%	
11号竪穴住居跡カマド			10YR4/4 褐色 壤土 2% 塊状	
	B3	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂壤土 塊状 10%	やや軟
	B4	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂壤土 粒状 3%	軟
	k1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土 7% 塊状混入	やや固締まりややあり
	k2	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 20%	軟締まり弱
	k3	10YR2/3 黒褐色 壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 粒状 20%	軟締まり弱
	k4	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 粒状 20%	
	k5	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂壤土 塊状 1%	

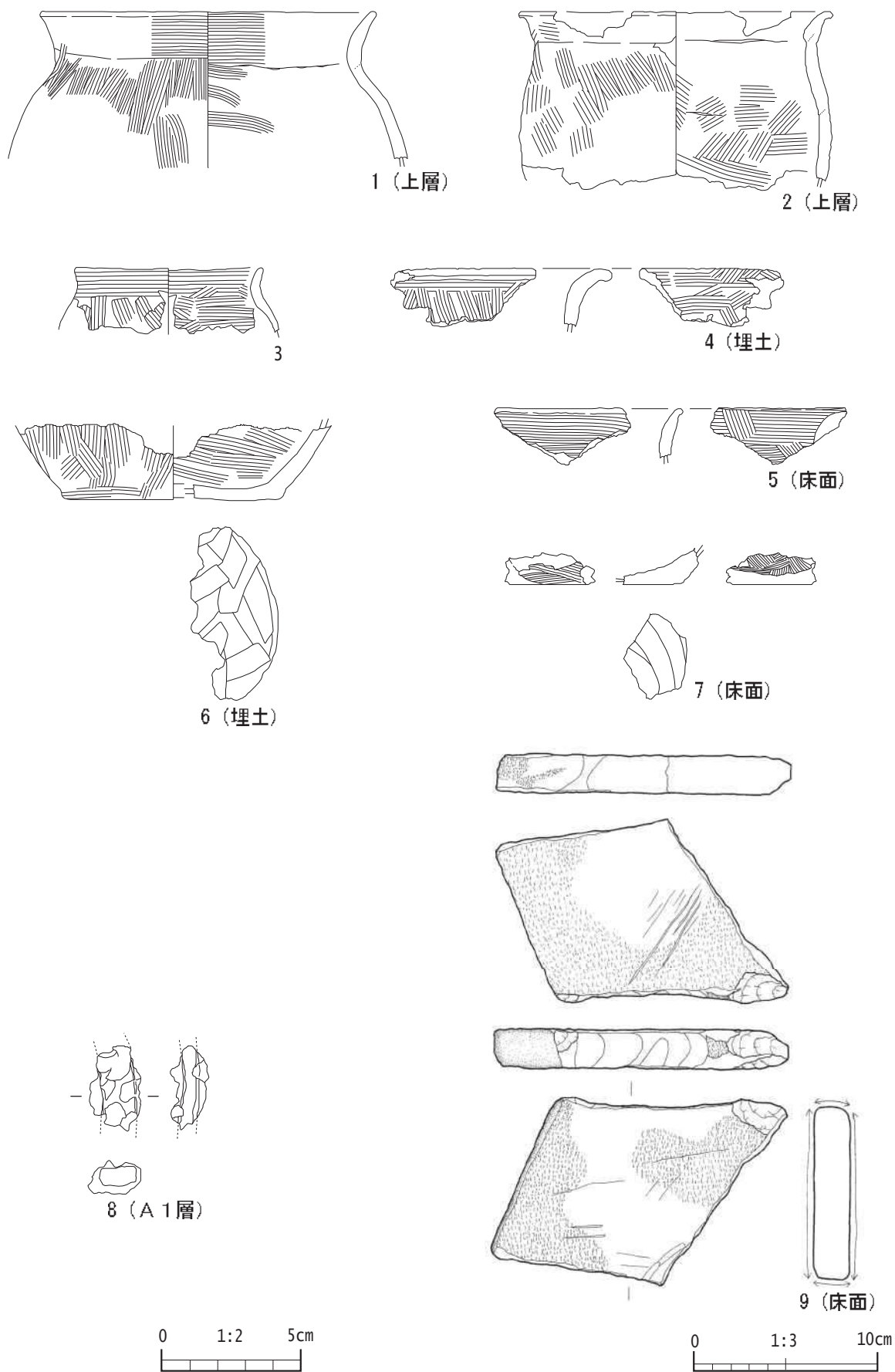


图47 11号竖穴住居跡出土遺物

出土遺物（図47）

1～7は土師器の甕である。1～5は口縁部である。いずれも短く、外反する。体部は、1は膨らみ、2～5の張出しは弱い。6、7は底部である。いずれも張出しはなく、底面にヘラ削り調整痕を残す。

8は鉄製品である。角棒状の製品である。用途は不明である。

9は砥石である。扁平礫の4面を利用し、磨面には条痕が入る。この他に鉄滓35gが出土している。

12号、13号竪穴住居跡（図48、49）

調査区西の平坦部に位置する。12号竪穴住居跡は13号竪穴住居跡を切り、共に11号竪穴住居跡に切られる。

12号竪穴住居跡（図48、49）

平面形は不整隅丸方形である。規模は、南北10.8m、東西6.0mである。埋土はA層である。東壁の北側で周溝を検出している。中央壁際で不定形の浅い土坑跡が出土している。カマドは確認していない。

出土遺物（図50）

1～9は土師器の甕である。1～7は口縁部である。いずれも短い口縁部である。1は直に立ち上がり、2～7はわずかに外反する。体部は、1～3は膨らみ、4～7の膨らみは弱い。8、9は底部である。いずれも張出しはなく、8は底面にヘラ削り調整痕を残し、9は木葉痕を残す。

10は須恵器である。頸部で、内面にナデ跡を残す。

13号竪穴住居跡（図48、49）

12号竪穴住居跡と重複し、同遺構に切られる。平面形は、隅丸方形である。規模は、東西7.0m、南北3.0mを測る。埋土はB層である。周溝と土坑跡8基を壁寄りで検出している。カマドは確認していない。P3、P4の配置などから中央の周溝の切れるあたりにあった可能性がある。

出土遺物（図51）

1、2は土師器の甕である。1はやや長めの口縁部で、くの字に外反する。2の底部は、明瞭な張出しをもち、底面をヘラ削り調整される。

3は鉄製品の角釘である。

4～7は砥石である。4は長方形礫の3面を利用する。5、6は扁平円礫を利用し、5の磨面には条痕がはいる。7は扁平角礫の1面を利用し、磨面に条痕が入る。

12号、13号竪穴住居跡からはこの他に鉄滓約2.2kgが出土している。

14号竪穴住居跡（図52）

13号竪穴住居跡の東に位置し、同遺構に切られる。平面形は隅丸方形と思われる。検出規模は、東西2.5m、南北1.5mを測る。埋土は2層に分かれる。カマドを北壁に2基設ける。床面では土坑跡を2基検出している。周溝は確認していない。

カマド跡A（図52）

くり抜き式である。煙道は下降して掘られ、煙出しは垂直に立ち上がる。5層には焼けた骨、貝が混入している。焼成面を確認したが、袖石、据跡は検出していない。

カマド跡B（図52）

くり抜き式である。煙道は水平に掘られ、煙出しはやや傾斜して立ち上がる。焼成面、袖石の据跡を1基確認している。

出土遺物（図53）

1は土師器甕の口縁部である。短く、わずかに外反する。

この他に、土師器の体部片、鉄滓15gが出土している。

15号竪穴住居跡（図54）

調査区西端の緩斜面に位置する。平面形は隅丸方形である。規模は、南北5.5m、東西5.0mを測る。埋土は2層に大別される。北壁際で周溝を検出している。土坑跡は、床面中央で1基、北と南で3基出土している。カマドは検出していない。

出土遺物（図55）

1はアカヤキの坏である。再調整はない。直線的に立ち上がり、口縁部は外反する。2はアカヤキの甕の口縁部である。

3～15は土師器の甕である。3～10は口縁部である。3～10はいずれも短く、外反する口縁部である。体部は、3～7は膨らみ、8の膨らみは弱い。11～15は底部である。11～13は張出しをもたず、14、15の張出しはよわい。底面は、12、13はへう削り調整を施され、14、15は木葉痕を残す。この他に鉄滓520gが出土している。

16号竪穴住居跡、15号、16号土坑跡（図56）

調査区西の平坦部の北寄りに位置する。

16号竪穴住居跡（図56）

平面形は隅丸方形である。規模は、東西3.5m、南北1.5mを測る。埋土は1層である。カマド、周溝、土坑跡などは検出していない。遺物は埋土から鉄滓約1kg、土師器の体部片が多数出土している。

15号土坑跡（図56）

79号竪穴状遺構の北東に位置する。平面形状は楕円形である。規模は、1.6m×1.4m、深さ1.0mを測る。埋土は3層に大別される。遺物は土師器の体部片が出土している。

16号土坑跡（図56）

15号土坑跡の西に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.3m、深さ0.9mを測る。埋土は4層に大別される。

出土遺物（図57）

1～3は土師器の甕である。1の口縁部はやや長めで、外反する。体部の膨らみは少ない。2、3の口縁部は短く、直に立ち上がる。2の体部は膨らむ。3は体部の膨らみはない。

この他にD層から鉄滓40gが出土している。

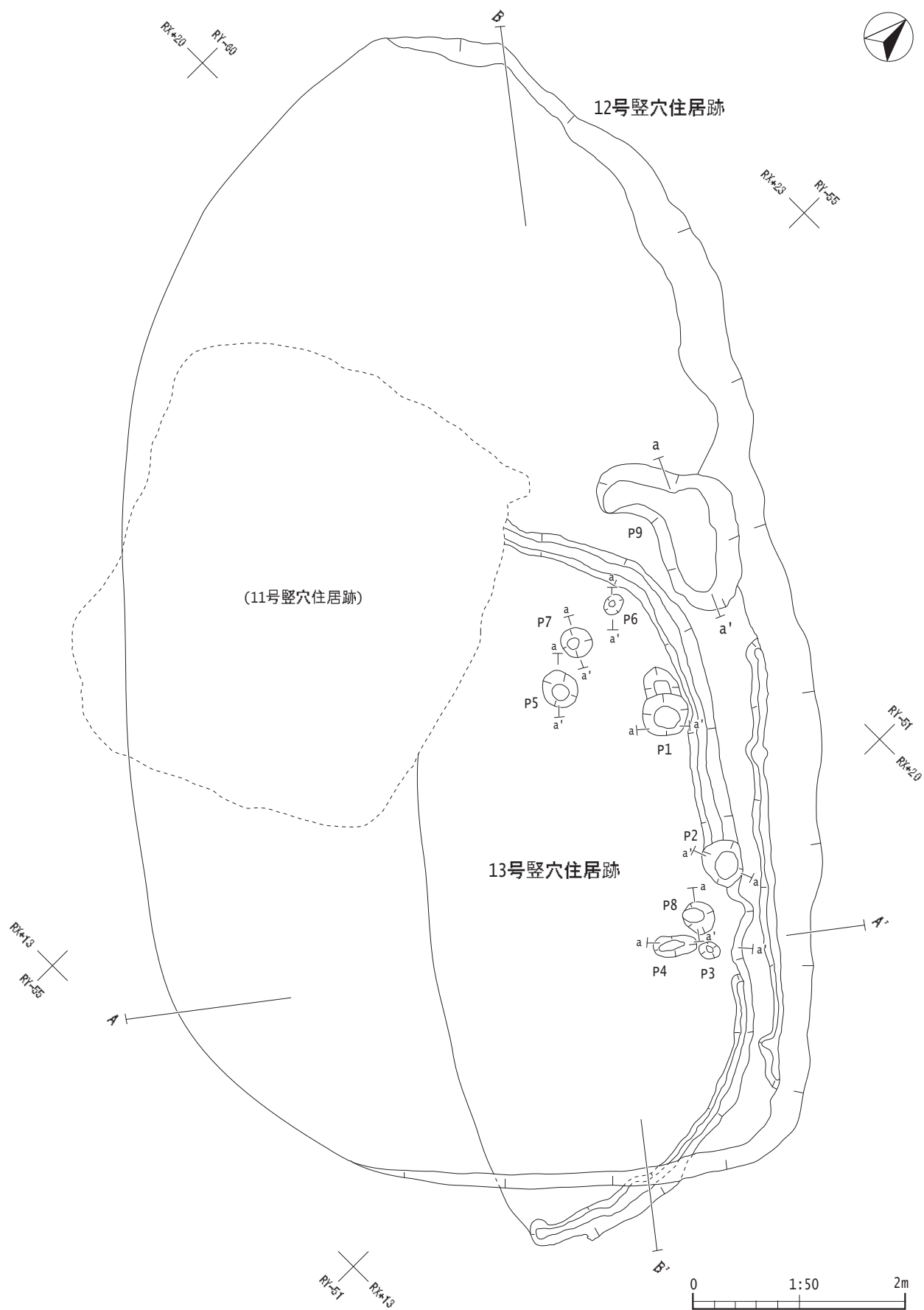


图48 12号、13号竖穴住居跡 平面

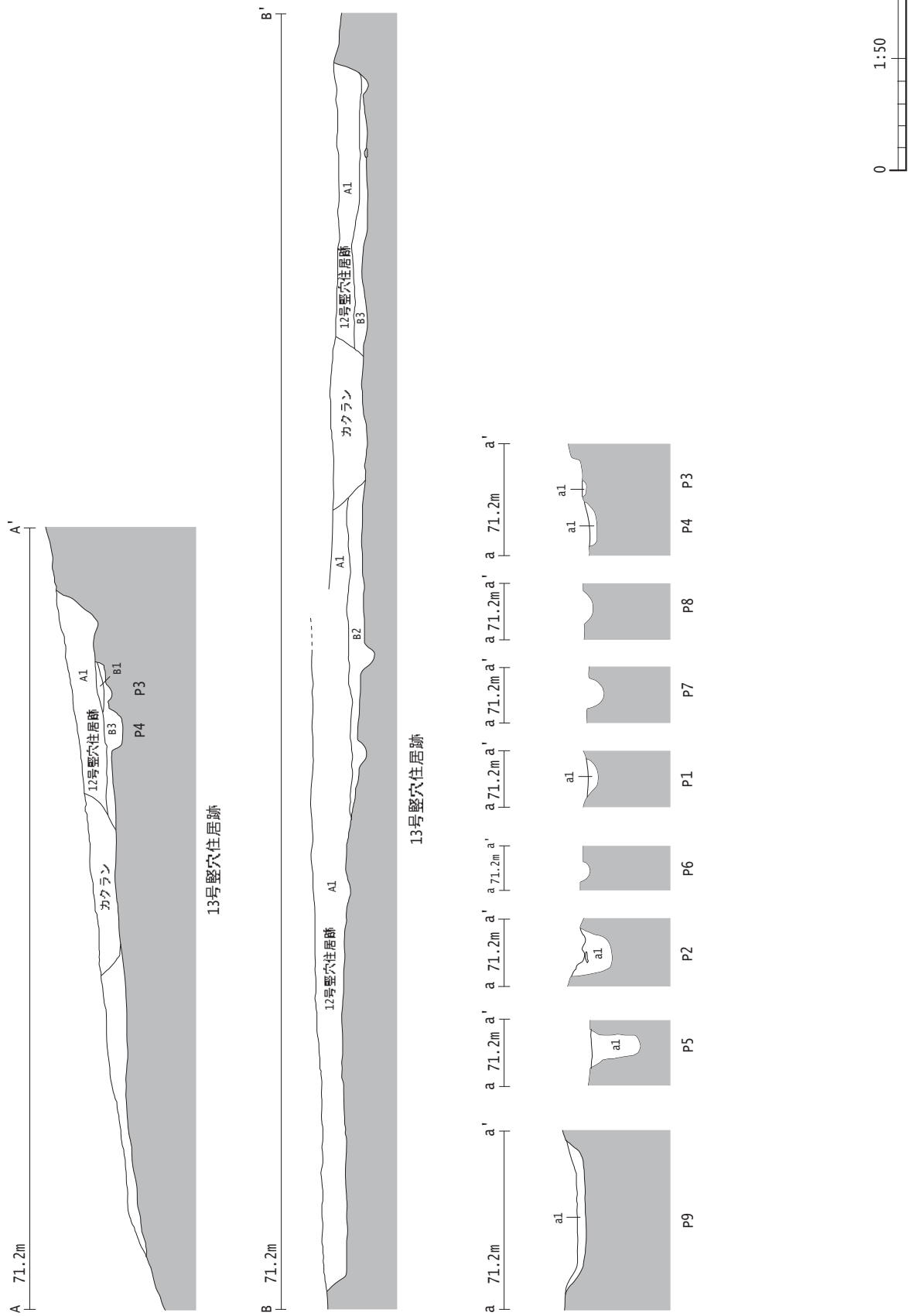
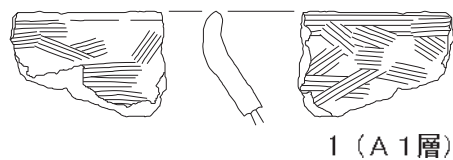


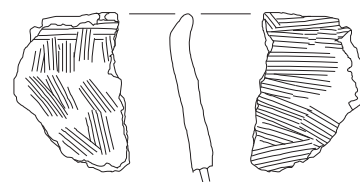
図49 12号、13号竪穴住居跡 断面

12号、13号竪穴住居跡 土層注記表

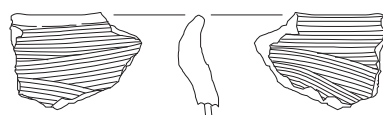
層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
12号竪穴住居跡	A1	10YR3/4 暗褐色土	10YR7/6 明黄褐色土 粒状7% 混入	やや軟
13号竪穴住居跡	B1	10YR7/6 明黄褐色 砂土	10YR4/4 褐色 砂壤土 2% 混入	やや固
	B2	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状3% 混入	やや軟
	B3	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状2% 混入	
			7.5YR5/8 明褐色 土 粒 1% 粒混	
P1	a1	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状3% 混入	やや軟
P2	a1	10YR4/6 褐色 壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 1% 粒状混入	固い 締まりあり
P5	a1	10YR6/6 明黄褐色 壤質砂土	10YR4/6 褐色 砂壤土	軟質サクサク土



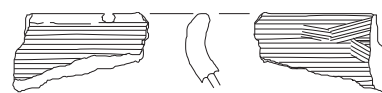
1 (A1層)



2 (A1層)



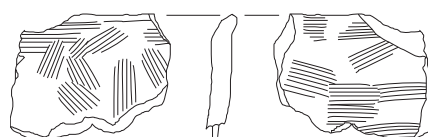
3 (埋土)



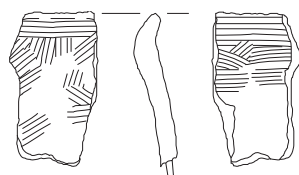
4 (下層)



5 (検出面)



6 (埋土)



7 (検出面)



8 (A1層)



9 (埋土)



10 (埋土)

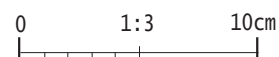


図50 12号竪穴住居跡出土遺物

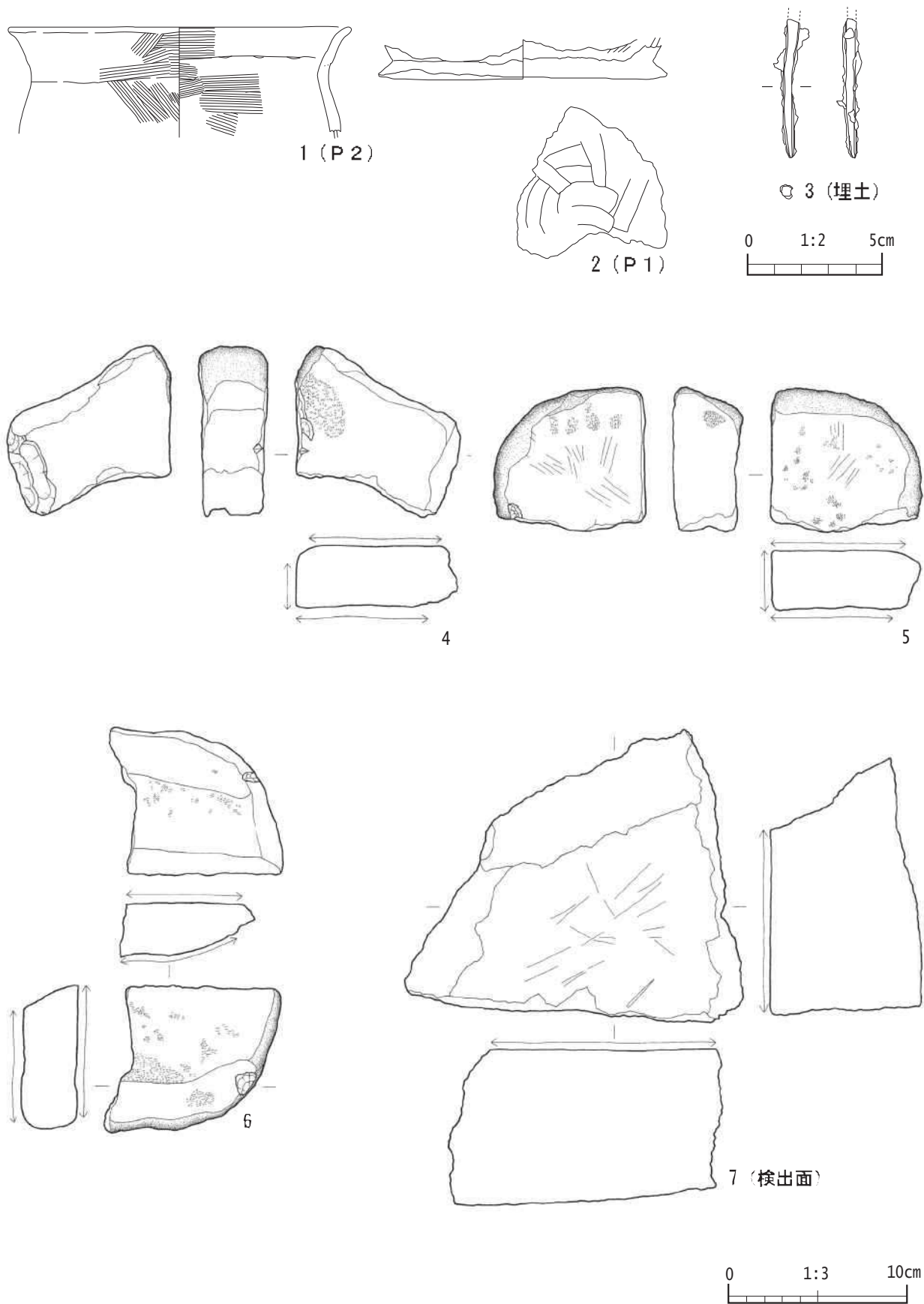


图51 13号竖穴住居跡出土遺物

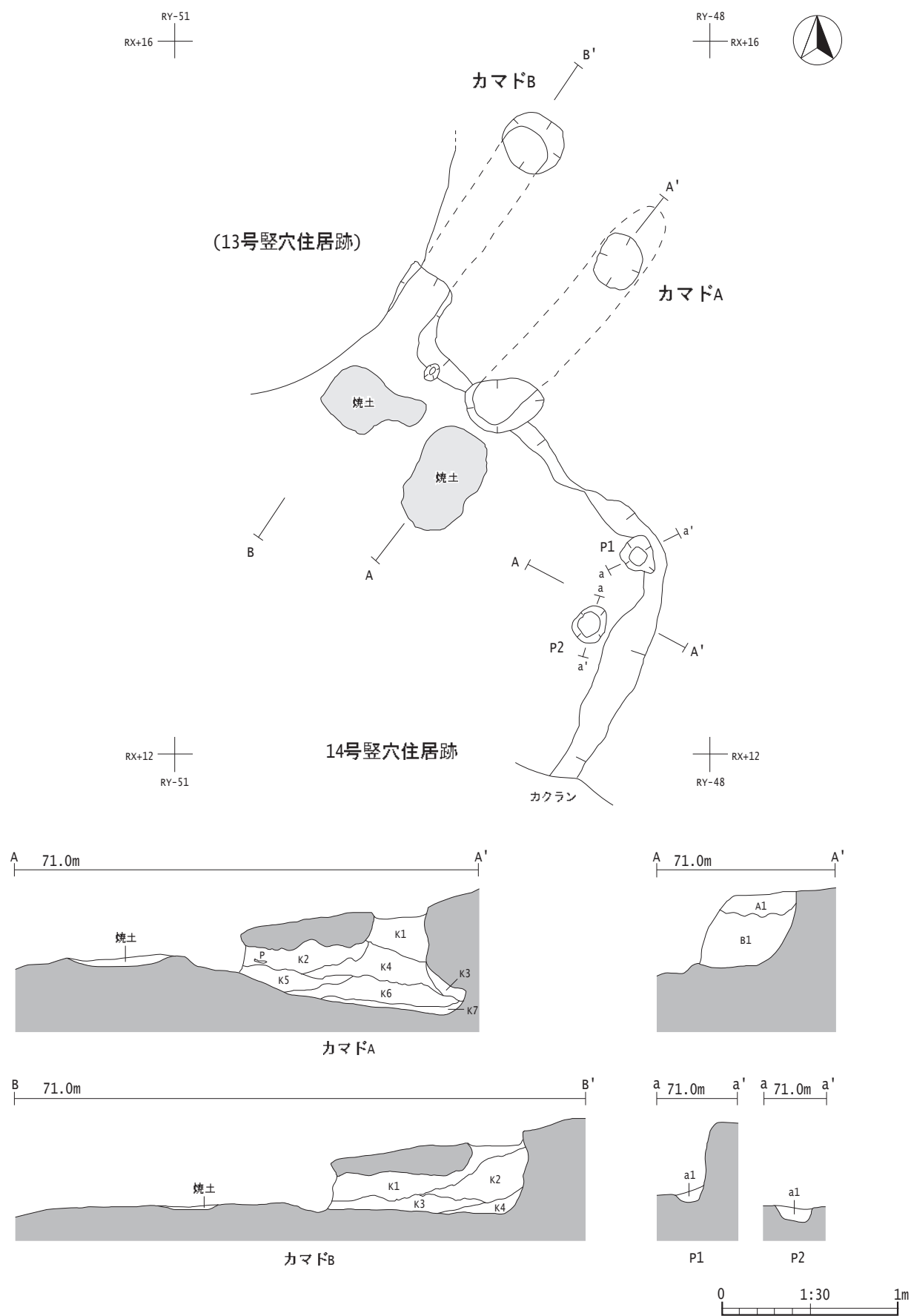
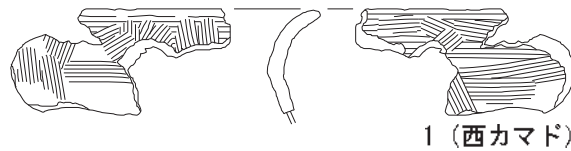


図52 14号竪穴住居跡カマドA、B 平断面

14号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	流入土	固さ・構造・混入物
14号竪穴住居跡	A1	10YR6/5 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 3%	やや軟
	B1	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 5%	
P1	a1	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 5%	
P2	a1	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 5%	
14号竪穴住居跡カマドA	k1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 2% 混入	焼出部(上部) 埋土 木炭粉 1%
	k2	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 壤土 粒状 5%	土器片
	k3	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 粉状 10%	炭
	k4	10YR5/8 黄褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土 粉状 3%	
	k5	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR3/4 暗褐色 砂壤土 粒状 5%	焼けた骨
	k6	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR3/4 暗褐色 砂壤土 粒状 5%	
	k7	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 粉状 5%	炭
14号竪穴住居跡カマドB	k1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 7%	
	k2	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR4/4 褐色 壤土 粉状 3%	
			10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 2%	
	k3	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR4/4 褐色 壤土 7%	
			10YR6/8 明黄褐色 壤土 粒状 1%	
	k4	10YR4/4 褐色 壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 粉状 3%	やや軟質



0 1:3 10cm

図53 14号竪穴住居跡出土遺物

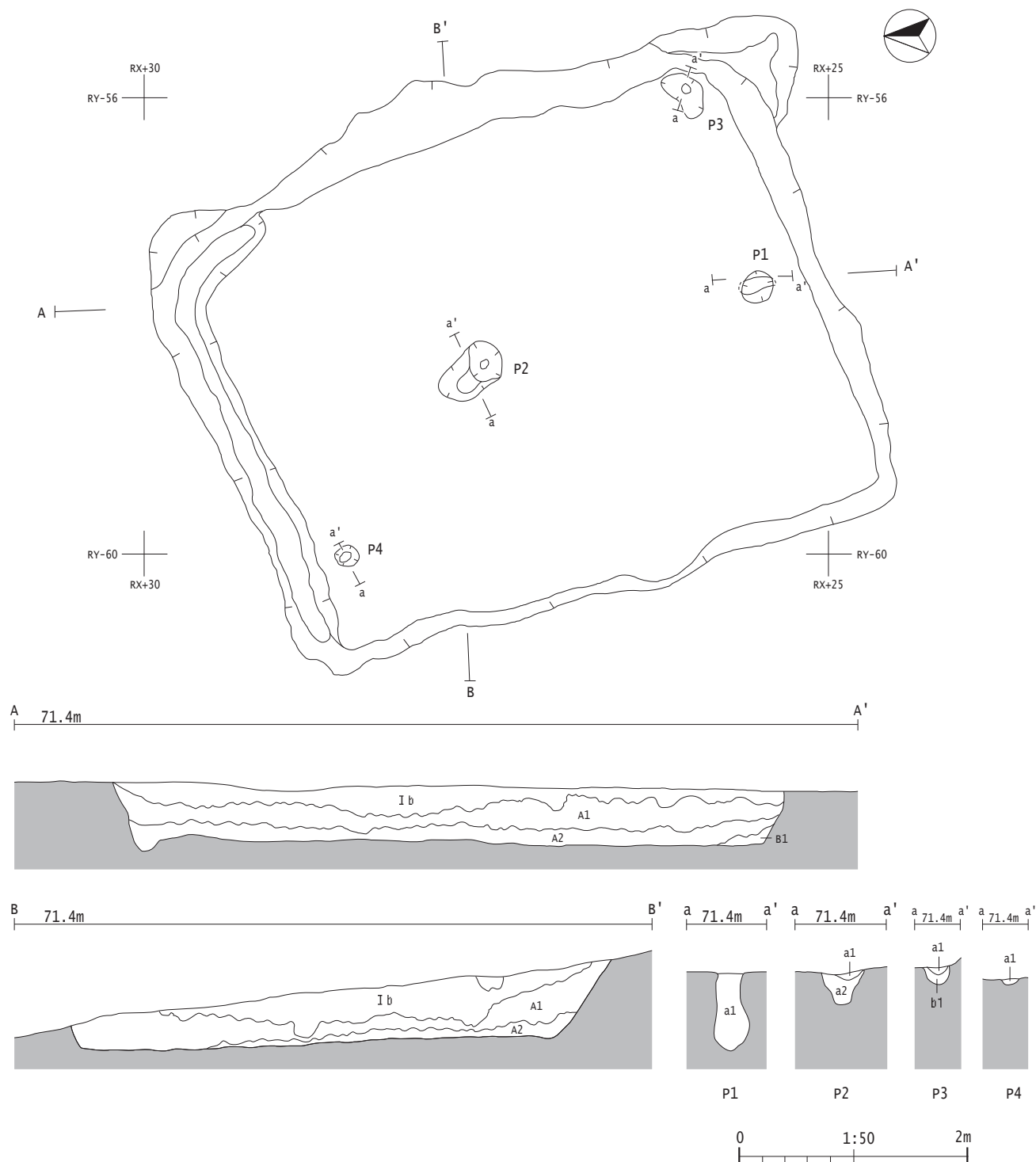


図54 15号竪穴住居跡 平断面

15号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固定・構造・混入物
15号竪穴住居跡	A1	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状7% 混入	やや軟質
	A2	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状3% 混入	やや軟質
	B1	10YR3/4 暗褐色 壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状1% 混入	
P1	a1	10YR5/8 黄褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土 粒状2%	軟
P2	a1	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 3% 軟	
	a2	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 20% 粒状	地山崩壊混入、ザクザクか かなり軟質含まれ
P3	a1	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状3% 混入	やや軟質
	b1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 粒 10% 混入	
P4	a1	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状3% 混入	やや軟質

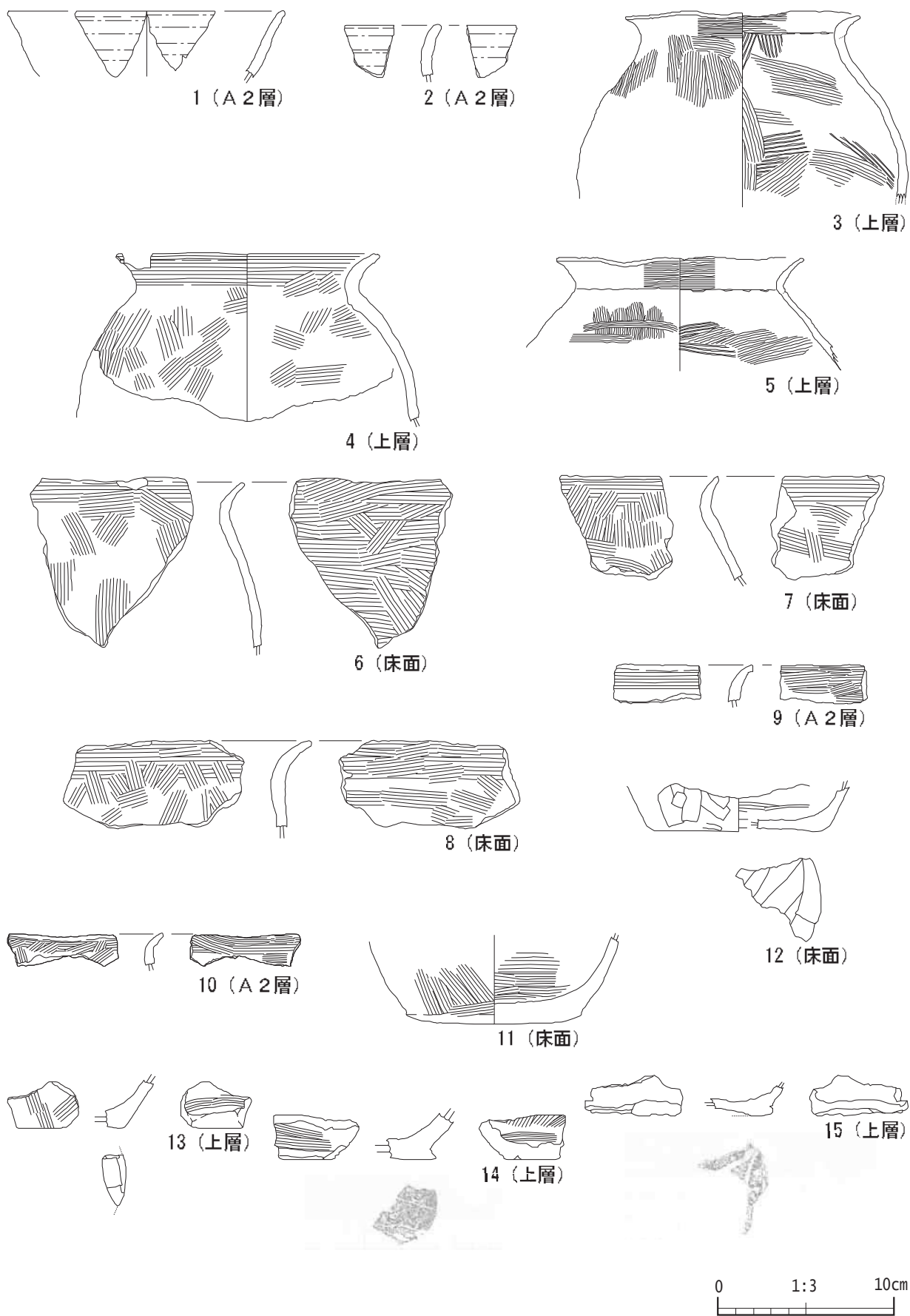


图55 15号竖穴住居跡出土遺物

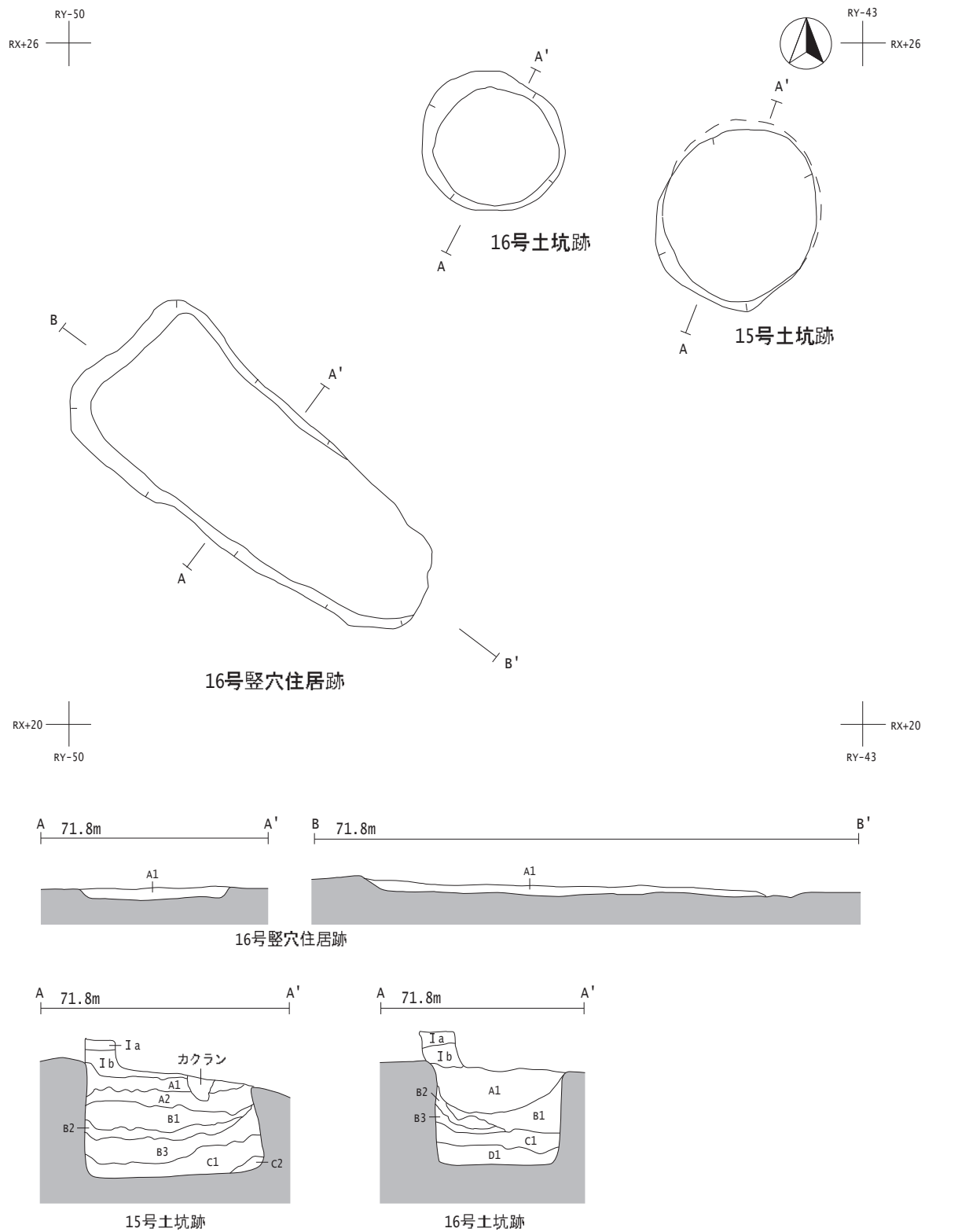


図56 16号竪穴住居跡、15号、16号土坑跡 平断面

16号竪穴住居跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	調査・構造・混入物
16号竪穴住居跡	A1 10YR4/4 褐 砂壤土	10YR7/6 明黄褐 砂壤土 粒状2%	竈、礎、縄

15号、16号土坑跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	調査・構造・混入物
15号土坑跡	A1 10YR4/6 褐 砂壤土	10YR7/6 明黄褐 砂土 10% ブロック状?	II層と同様の土層であるが裏砂土ブロックが入る
	A2 10YR4/4 褐 砂壤土	10YR7/6 明黄褐 砂土 5% 粒状混入	木炭粉 1% 混入
	B1 10YR4/4 褐 砂壤土	10YR7/6 明黄褐 砂土 10% 混入	
		10YR3/4 暗褐 壤土 10% 混入	
	B2 10YR3/4 暗褐 壤土	10YR4/6 褐 砂壤土 3% 粒状混入	木炭粒混入
	B3 10YR5/6 黄褐 砂壤土	10YR7/6 明黄褐 砂土 10% 混入	
		10YR3/3 暗褐 壤土 10% 混入	
	C1 10YR4/6 褐 砂壤土 木炭を含む	10YR6/6 明黄褐 砂壤土 粒状3% 混入	
		10YR3/4 暗褐 壤土 2% 混入	
	C2 10YR7/6 明黄褐 砂土	10YR4/6 褐 砂壤土 粒状2% 混入	
16号土坑跡	A1 10YR4/4 褐 砂壤土	10YR7/6 明黄褐 砂土 粒状7%	
	B1 10YR4/6 褐 砂壤土	10YR6/6 明黄褐 砂壤土 粒状10%	木炭粒を含む
	B2 10YR5/6 黄褐 シルト質壤土	10YR4/4 褐 砂壤土 粒状10% 混入	この大ブロック(こぶし大)隙間に「10YR4/4褐」が入った感じ
	B3 10YR3/3 暗褐 砂壤土 軟質土	10YR7/6 明黄褐 砂土 ブロック状5% 混入	Pot入り
	C1 10YR4/6 褐 砂壤土	10YR6/6 明黄褐 砂壤土 粒状7%	
	D1 10YR3/3 暗褐 砂壤土 軟質土	10YR5/8 黄褐 シルト質壤土 3% ブロック状混入	土器片

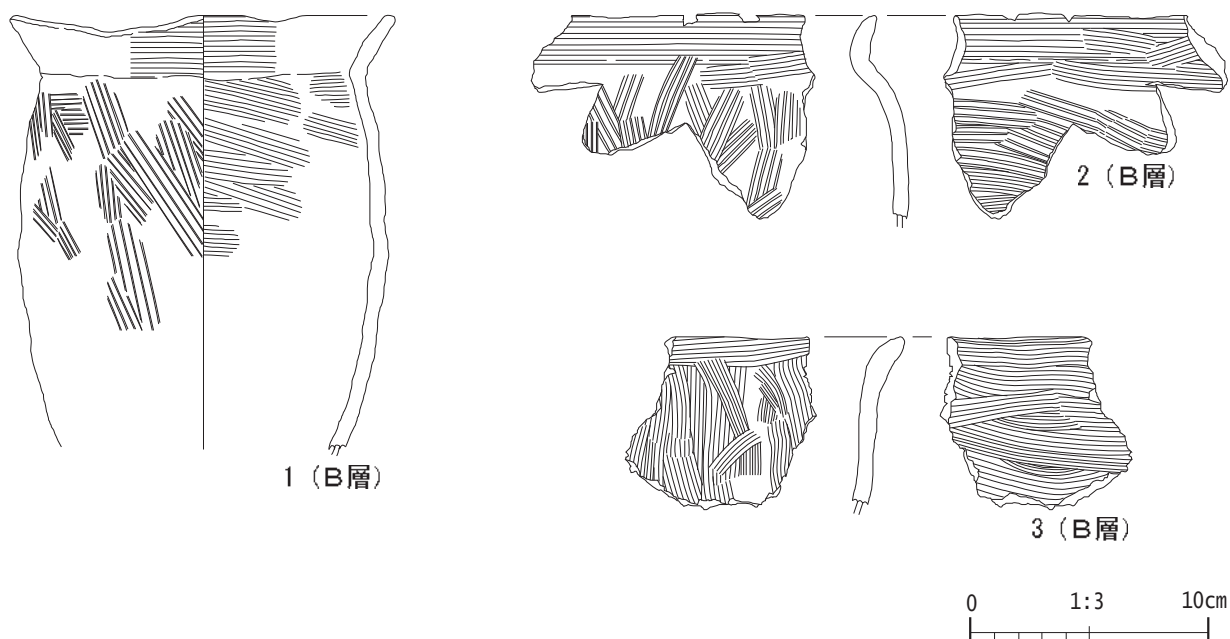


図57 16号土坑跡出土遺物

c. 尾根南斜面の遺構

調査区南斜面の東に並ぶ土坑群である。

17号土坑跡（図58）

調査区東の北斜面に位置する。平面形は不整円形である。規模は、径1.2m、深さ0.7mを測る。埋土は3層に大別される。

出土遺物（図59）

1～3は土師器の甕である。1は短い口縁部で、外反する。2、3は底部である。いずれも明瞭な張出しをもち、2は底面に木葉痕を残し、3は底面をへら削り調整を施される。

4は砥石である。三角礫の3面を利用する。

18号土坑跡（図58）

17号土坑跡の西に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.5m、深さ0.5mを測る。埋土は2層に大別される。遺物は出土していない。

19号、20号、21号、22号、23号、24号土坑跡（図60）

18号土坑跡の西に並ぶ土坑群である。

19号土坑跡（図60）

平面形は円形である。規模は、径1.0m、深さ0.5mを測る。埋土は3層に大別される。

出土遺物（図61）

1は土師器甕の底部である。張出しは弱く、底面に木葉痕を残す。

2は砥石である。角礫の3面を利用し、磨面に条痕を残す。

20号土坑跡（図60）

19号土坑跡の南に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.5m、深さ0.4mである。埋土は1層である。遺物は出土していない。

21号土坑跡（図60）

22号土坑跡の東に位置する。平面形は不整円形である。規模は、径1.5m、深さ0.6mを測る。埋土は2層に分かれる。遺物は、鉄滓11g、埋土から土師器甕の体部片が出土している。

22号土坑跡（図60）

20号土坑跡の南に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.1m、深さ0.4mを測る。埋土は1層である。遺物は、埋土から土師器甕の体部片が出土している。

23号土坑跡（図60）

24号土坑跡の東に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.3m、深さ0.7mを測る。埋土は7層に細別される。遺物は、埋土から土師器甕の体部片、鉄滓10gが出土している。

24号土坑跡（図60）

22号土坑跡の南に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.5m、深さ0.8mを測る。埋土は6層に大別される。遺物は鉄滓10gが出土している。

25号、26号、27号、28号土坑跡（図62）

前述の土坑群の西に並ぶ土坑群である。

25号土坑跡（図62）

平面形は円形である。規模は、径1.5m、深さ0.6mを測る。壁はフラスコ形の立ち上がりである。埋土は5層に細別される。遺物は、埋土から土師器の体部片が多数出土している。

26号土坑跡（図62）

25号土坑跡の西に位置する。平面形は不整円形である。規模は、径2.0m、深さ0.6mである。埋土は、2層に細別される。遺物は出土していない。

27号土坑跡（図62）

26号土坑跡の西に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.1m、深さ0.5mを測る。遺物は出土していない。

28号土坑跡（図62）

27号土坑跡の西に位置する。平面形は円形である。規模は、径2.2m、深さ0.7mを測る。遺物は、床面から土師器の体部片が出土している。

17号竪穴住居跡、18号竪穴住居跡（図63、64）

東側の斜面中央部に位置する。17号竪穴住居跡は18号竪穴住居跡を切る。

17号竪穴住居跡（図63、64）

平面形は、西側の壁の立ち上がりを確認できなかったが、東西7.0m、南北5.0mを測る。埋土はA、Bの2層に大別される。カマド、柱穴跡、周溝などは検出していない。

出土遺物（図65～67）

1～14は土師器の甕である。1～5は口縁部である。いずれも短く、わずかに外反して立ち上がる。体部は張り出す。6～14は底部である。6～8は張り出しをもたない。9～14はわずかな張り出しをもつ。底面はいずれも磨滅し不明である。

15、16は須恵器である。いずれも体部片である。15は内外面にヘラ削り痕を残す。16は内外面にタタキメを残す。

17、18は鉄製品である。17は刀子の刃部である。18は釣針である。

19～21は砥石である。19は長方形礫の側面2面を利用する。20は角礫の3面を利用し、2面に条痕をもつ。21は角礫の4面を利用し、磨面には条痕が入る。

この他に鉄滓1.2kgが出土している。

18号竪穴住居跡（図63、64）

17号竪穴住居跡の北側に位置する。平面形は不整形である。規模は、南北3.0m、東西2.5mである。埋土は褐色土の単層である。カマド、柱穴跡などは検出していない。遺物は鉄滓60gが出土している。

18号竪穴住居跡は、17号竪穴住居跡よりは古い竪穴であるが、詳しい年代、性格などは不明である。

19号竪穴住居跡、29号土坑跡（図68）

調査区東側、8号竪穴住居跡の北に位置する。19号竪穴住居跡は、29号土坑跡を切る。

19号竪穴住居跡（図68）

平面形は横長の隅丸方形である。規模は、東西8.1m、南北1.0mである。埋土は1層である。西側の壁際に周溝、その南側で小土坑跡を2基検出している。図示した焼土は床面のものではなく、埋土に含まれていたものである。カマドは検出していない。この他に鉄滓15gが出土している。

出土遺物（図69）

1は鉄製品である。刀子の刃部である。

2、3は砥石である。2は長方形礫の3面を利用する。3は方形礫の4面を使い、磨面に条痕を残す。埋土から土師器の体部片が多く出土している。

29号土坑跡（図68）

平面形は不整形である。規模は、径1.1m、深さ0.6mを測る。埋土は2層に細別される。遺物は土師器の体部片が出土している。

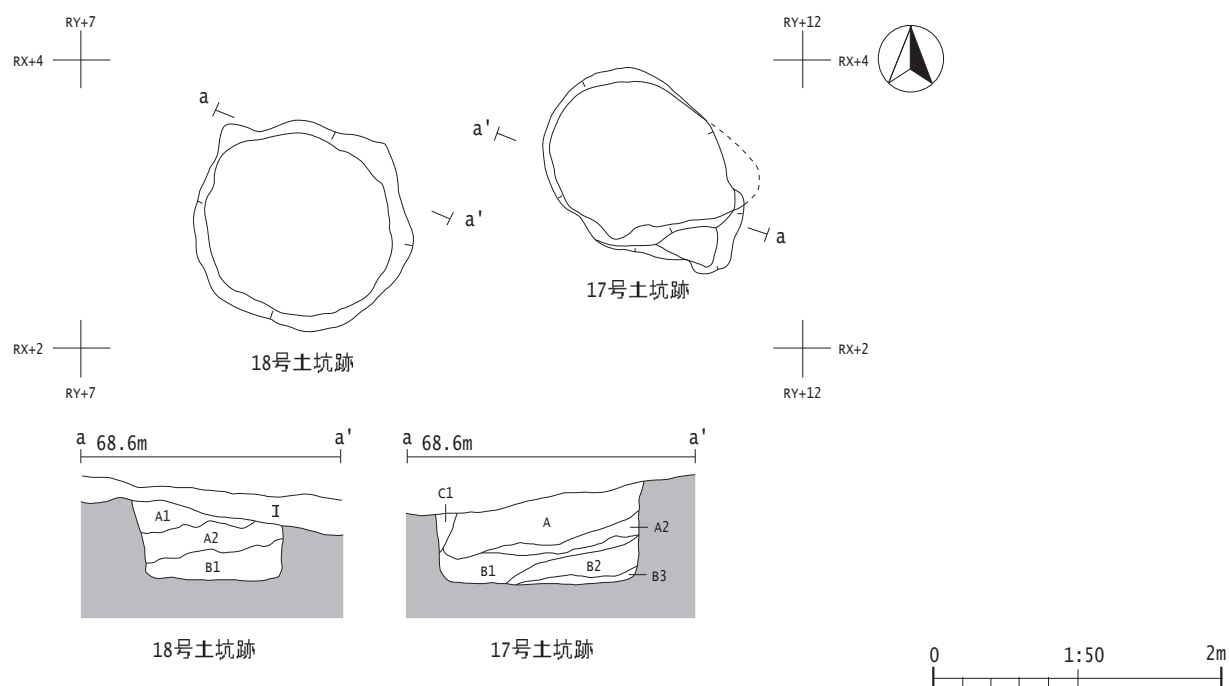


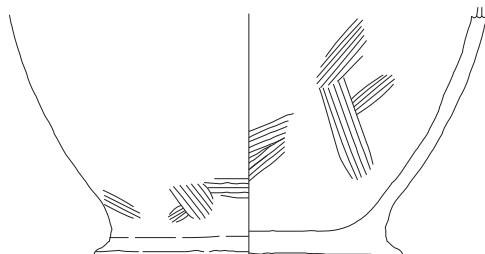
図58 17号、18号土坑跡 平断面

17号、18号土坑跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	同さ・構造・混入物
17号土坑跡	A1	10YR4/4 褐色シルト質壤土～シルト質壤土	10YR5/8 黄褐色シルト質壤土～砂質壤土(やや粘)塊(大～小)～粒 15%	中、中、塊
			10YR7/8 黄褐色砂質壤土～砂土(真砂土風化土)塊～粒 10%	
			10YR5/3 にぶい黄褐色砂質壤土塊～粒 3%	
	A2	10YR2/2 黒褐色(黒)シルト質壤土	10YR4/4 褐色～3/4 暗褐色シルト質壤土～砂土塊 20%	軟、中、塊
	B1	10YR5/3 にぶい黄褐色砂質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土(真砂土)塊～粒 5%	軟、硬、塊
	B2	10YR5/4 にぶい黄褐色砂質壤土	10YR4/4 褐色シルト質壤土塊～粒 20%	軟、硬、塊
			10YR5/8 黄褐色砂質壤土塊～粒 2%	
	B3	10YR5/3 にぶい黄褐色砂質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土 10%	軟、硬、塊
	C1	10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質壤土(やや粘)	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土塊粒 5%	中、中、塊
			10YR7/6 明黄褐色砂質土塊粒 3%	
18号土坑跡	A1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	5YR6/4 にぶい褐砂質壤土(地山の一部?)(粘土質)塊 20%	軟、中、塊
	A2	10YR4/6 褐色シルト質壤土	軟中塊	
	B1	10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質壤土	5YR6/4 にぶい褐砂質壤土粘～塊 3%	中、中、塊



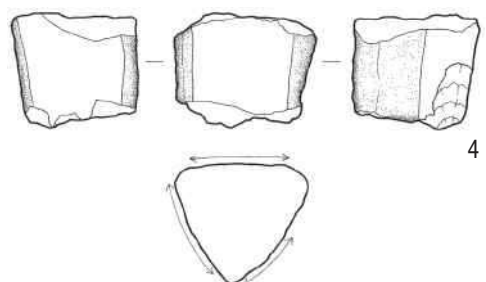
1 (埋土)



2 (埋土)



3 (埋土)



4

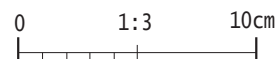


図59 17号土坑跡出土遺物

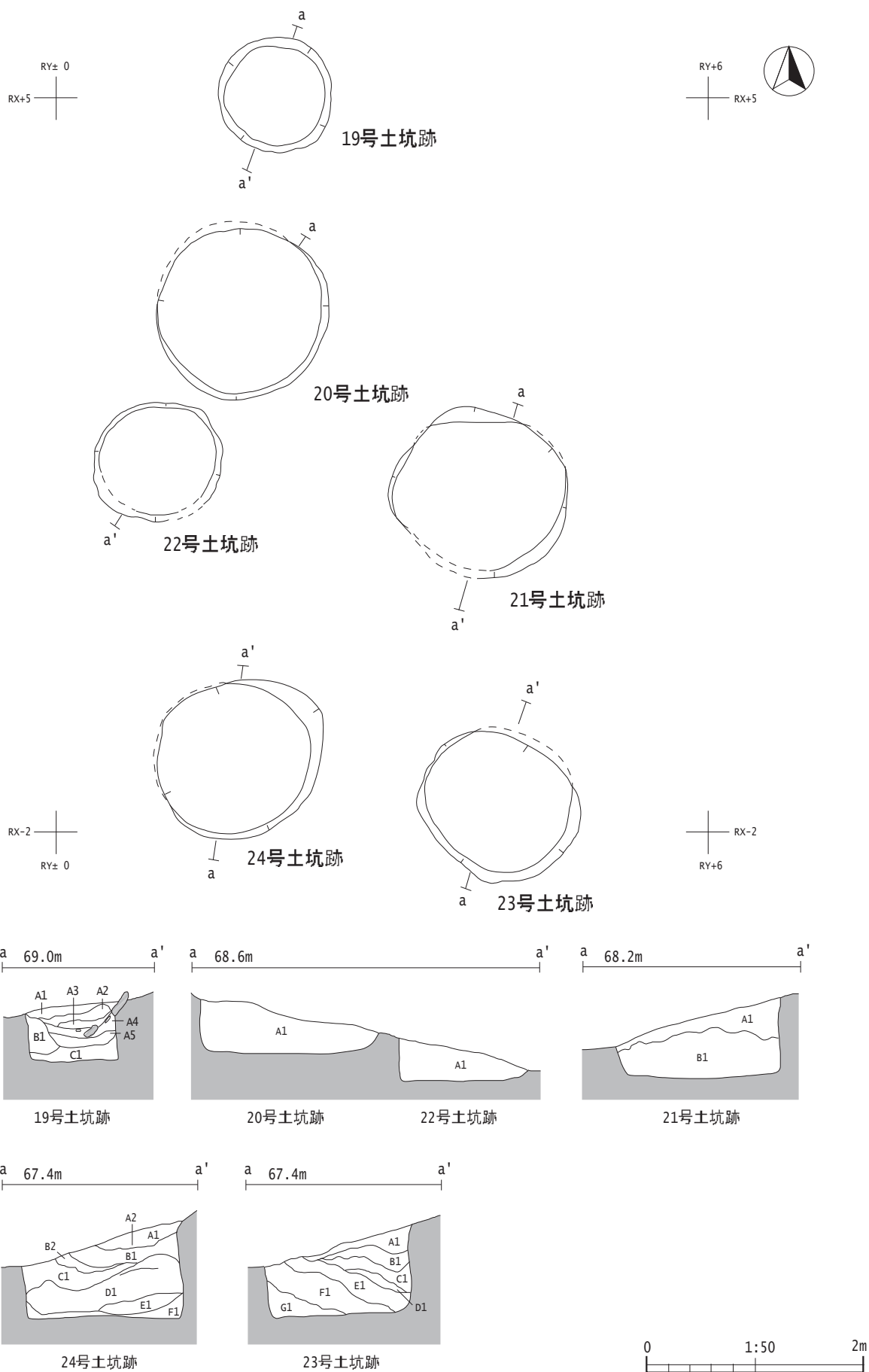


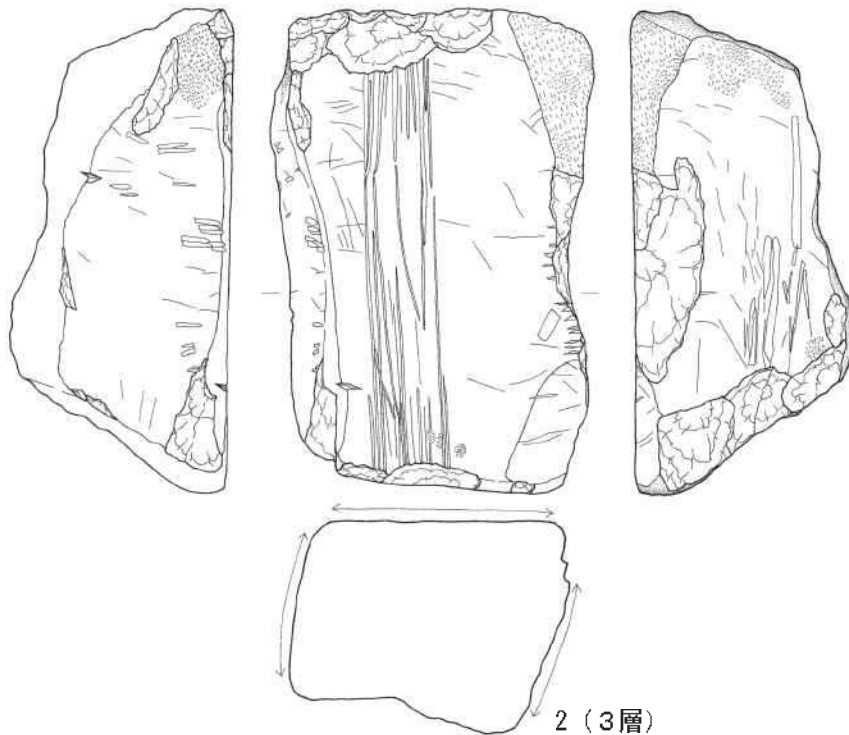
图60 19号、20号、21号、22号、23号、24号土坑跡 平断面

19号、20号、21号、22号、23号、24号土坑跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	同さ・構造・混入物
19号土坑跡	A1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土		中、中、塊礫
	A2	10YR4/4 褐色シルト質壤土		中、中、塊礫
	A3	10YR4/6 褐色シルト質壤土		中、中、塊礫
	A4	10YR3/3 暗褐色シルト質壤土		鉄、中、塊礫、土器、白っぽい粘土っぽい土有
	A5	10YR5/4 灰褐色砂質壤土		同塊礫塊真砂土含む(多)
	B1	10YR4/6 褐色シルト質壤土	10YR3/3 暗褐色シルト質壤土 塊 5%	鉄、塊、塊
	C1	10YR7/6 明黄褐色～7/8 黄褐色砂質壤土		同塊礫真砂土層
20号土坑跡	A1	10YR4/6 褐色シルト質壤土	10YR4/4 褐色シルト質壤土 塊～粒 10%	同～中中(一部塊[カクラン?])塊真砂土粒(少)
21号土坑跡				記載なし?
22号土坑跡	A1	10YR4/4 褐色シルト質壤土	10YR4/6 褐色シルト質壤土 粒 1～2%	鉄、中～塊、塊木根によるカクラン層、真砂土(少)
23号土坑跡				記載なし
24号土坑跡				記載なし



1 (埋土上層)



2 (3層)

0 1:3 10cm

図61 19号土坑跡出土遺物

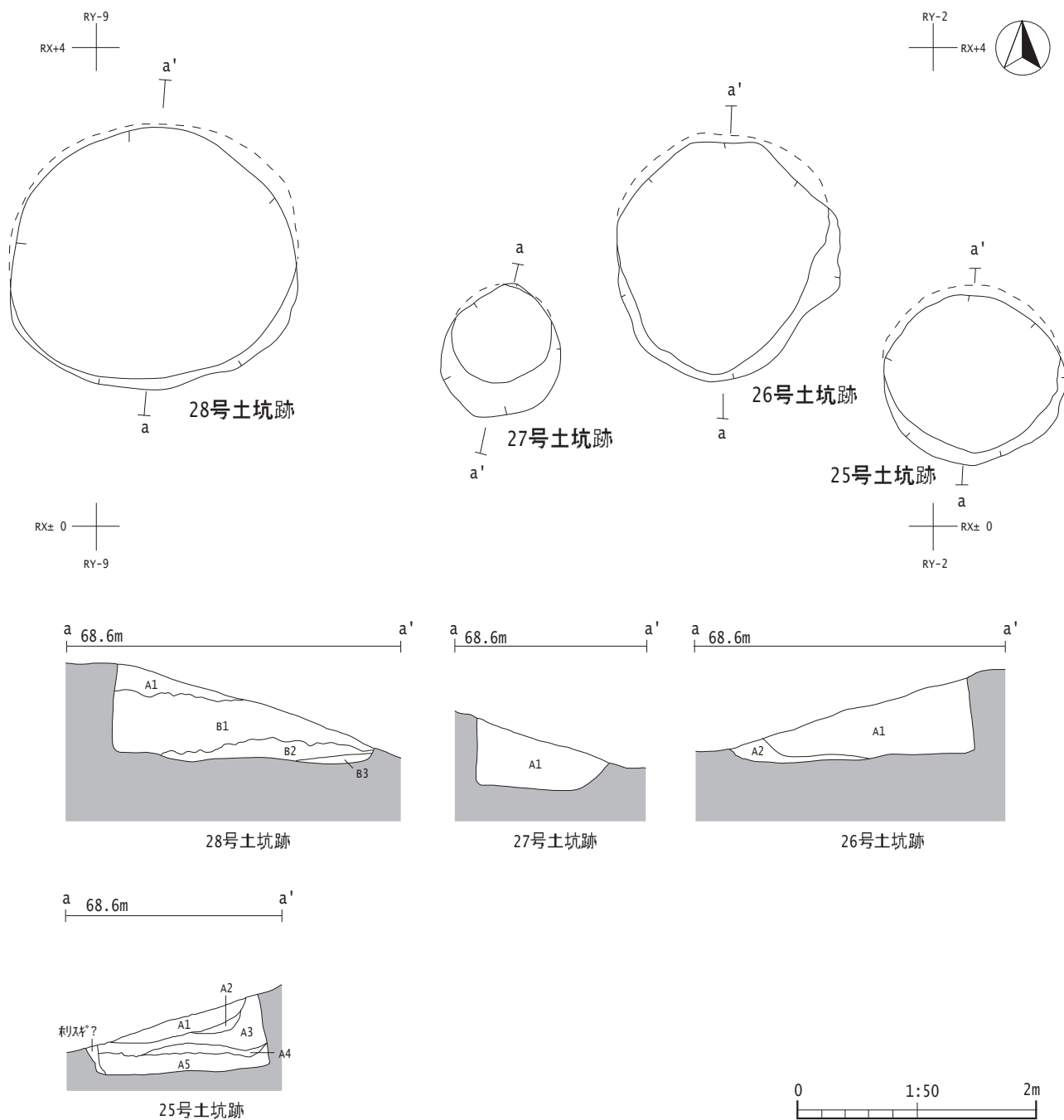


図62 25号、26号、27号、28号土坑跡 平断面

25号、26号、27号、28号土坑跡 土層注記表

層名	差木土	混入土	固さ・構造・混入物
25号土坑跡	A1	10YR4/4 褐色シルト質壤土(シルト質)	中、中～密、塊真砂土含まず
	A2	10YR5/3 に近い黄褐色砂質壤土(砂質)	軟、疎、塊炭化物(少)、真砂土粒子(少)
	A3	10YR4/6 褐色シルト質壤土	中、中～密、塊真砂土粒含(少)、炭化物
	A4	10YR7/8 黄褐色砂質壤土(真砂土) Ⅱ	軟、疎、塊真砂土粒子細かい
	A5	10YR4/4 褐色シルト質壤土	中～固、中、塊炭(少)、真砂土粒含まず
26号土坑跡	A1	10YR4/6 褐色シルト質壤土(シルト質混有)	中、密、塊真砂土粒含まず
	A2	10YR2/6 砂壤土	固、密、塊(差木跡には A1 の半量構造)
27号土坑跡	A1	10YR4/6 褐色シルト質壤土	固、中、塊真砂土粒(多)
	A2	10YR5/4 に近い黄褐色砂質壤土(真砂土) 塊～粒 10%	
28号土坑跡	A1	10YR7/8 黄褐色砂質壤土(真砂土)	軟、疎、塊真砂土(多)
	B1	10YR4/4 褐色シルト質壤土(シルト質)	中、中、塊真砂土粒含まず
	B2	10YR4/6 褐色シルト質壤土	中、中、塊炭化物含、真砂土粒(少)
	B3	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	軟～中、中炭
	B4	10YR4/4 褐色シルト質壤土 塊～粒 20%	



图63 17号、18号竖穴住居跡 平面

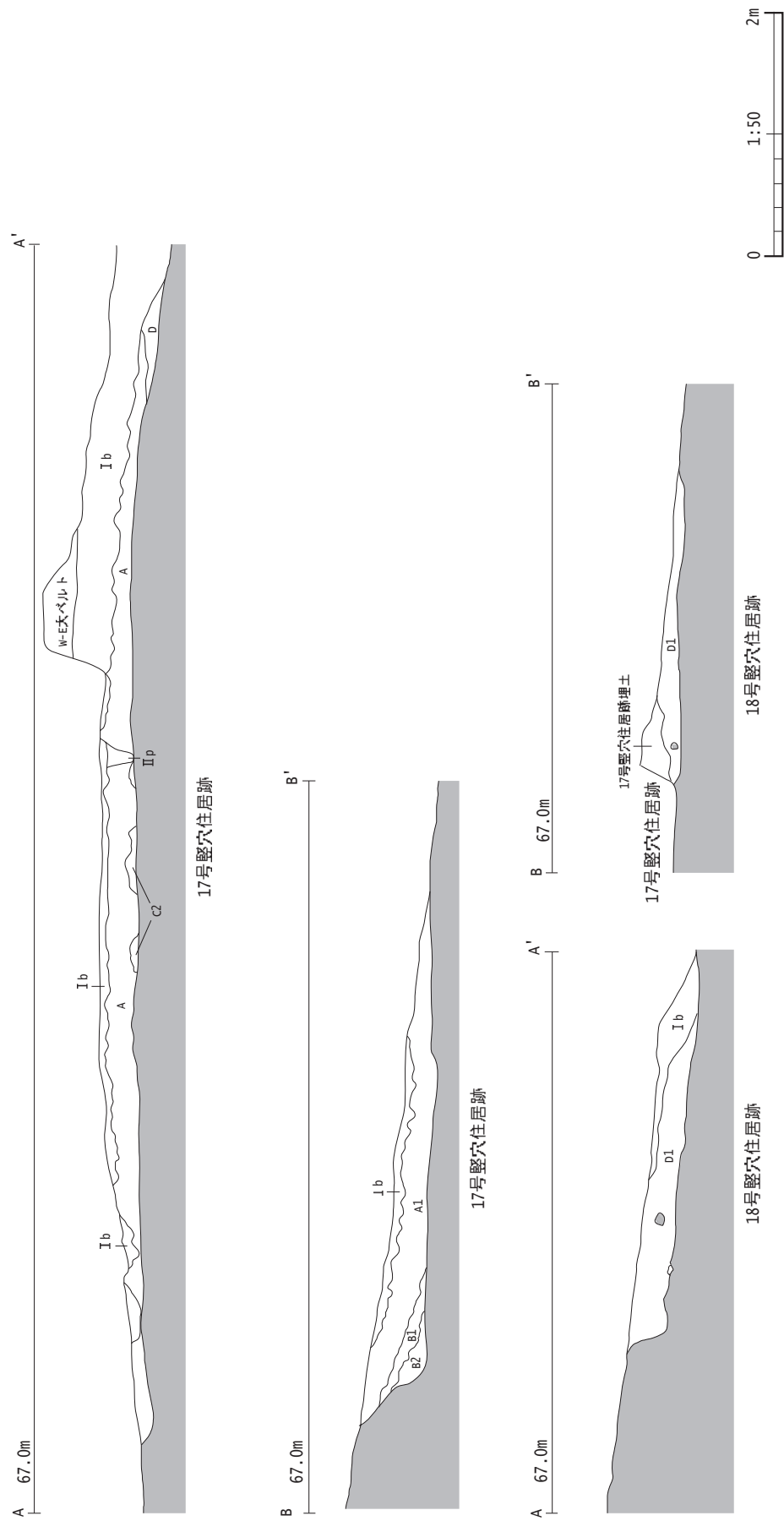


図64 17号、18号竪穴住居跡 断面

17号、18号竪穴住居跡 土層往記表

層名	土層	掘入土	調査・構造・掘入物
17号、18号竪穴住居跡	A	10YR4/4 褐色土	10YR7/6 明黄褐色砂土 総厚約1-3% 木炭屑 1%
	D	10YR4/4 褐色 (4/6 褐色) シルト質黄土	10YR5/8 黄褐色黄土 1% 粘泥混入
	III	10YR6/6 明黄褐色砂土	10YR5/4 黄褐色砂土 3% 埋片
			10YR7/6 明黄褐色砂土 3% 粘状

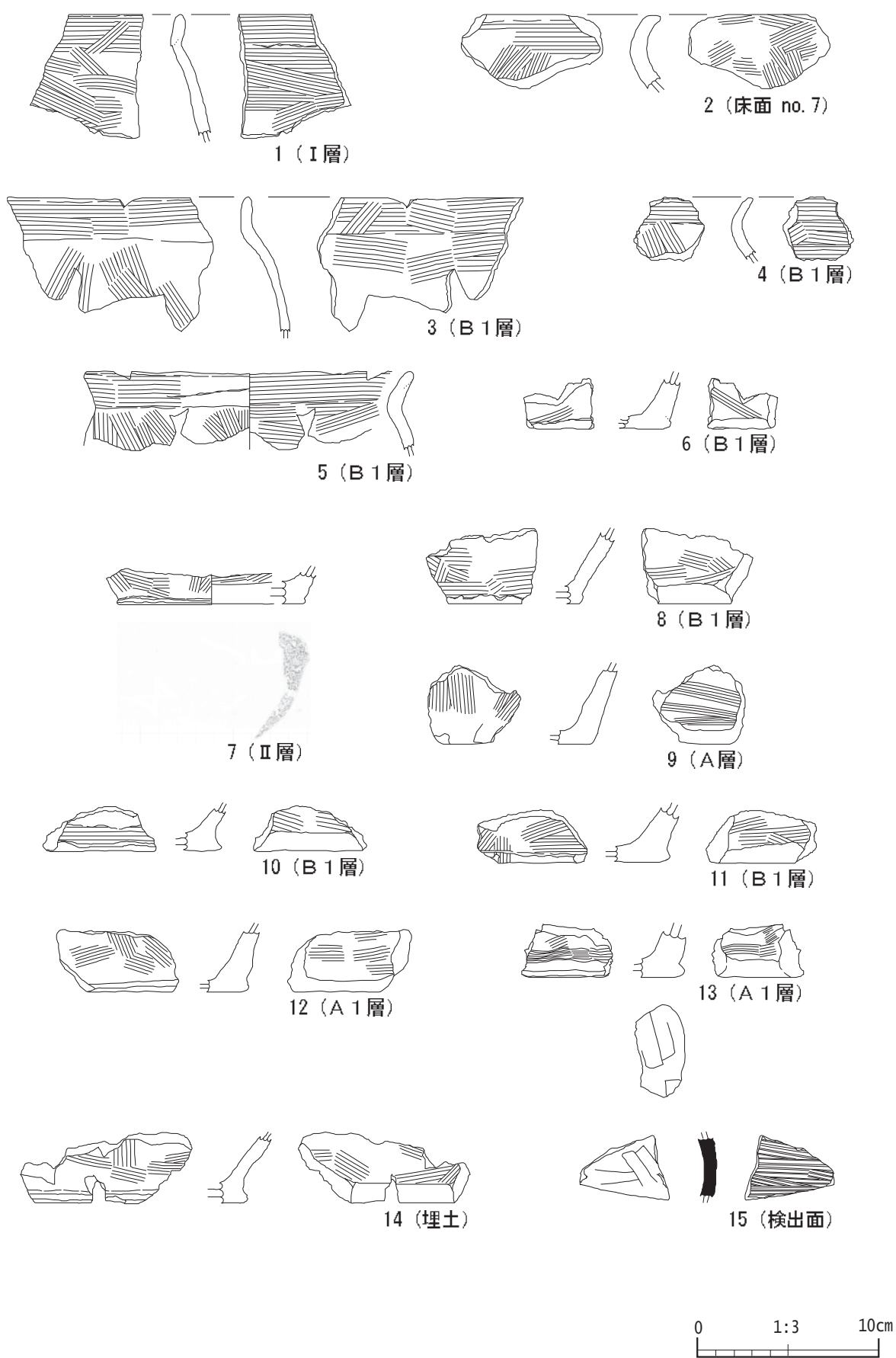


図65 17号竪穴住居跡出土遺物 (1)

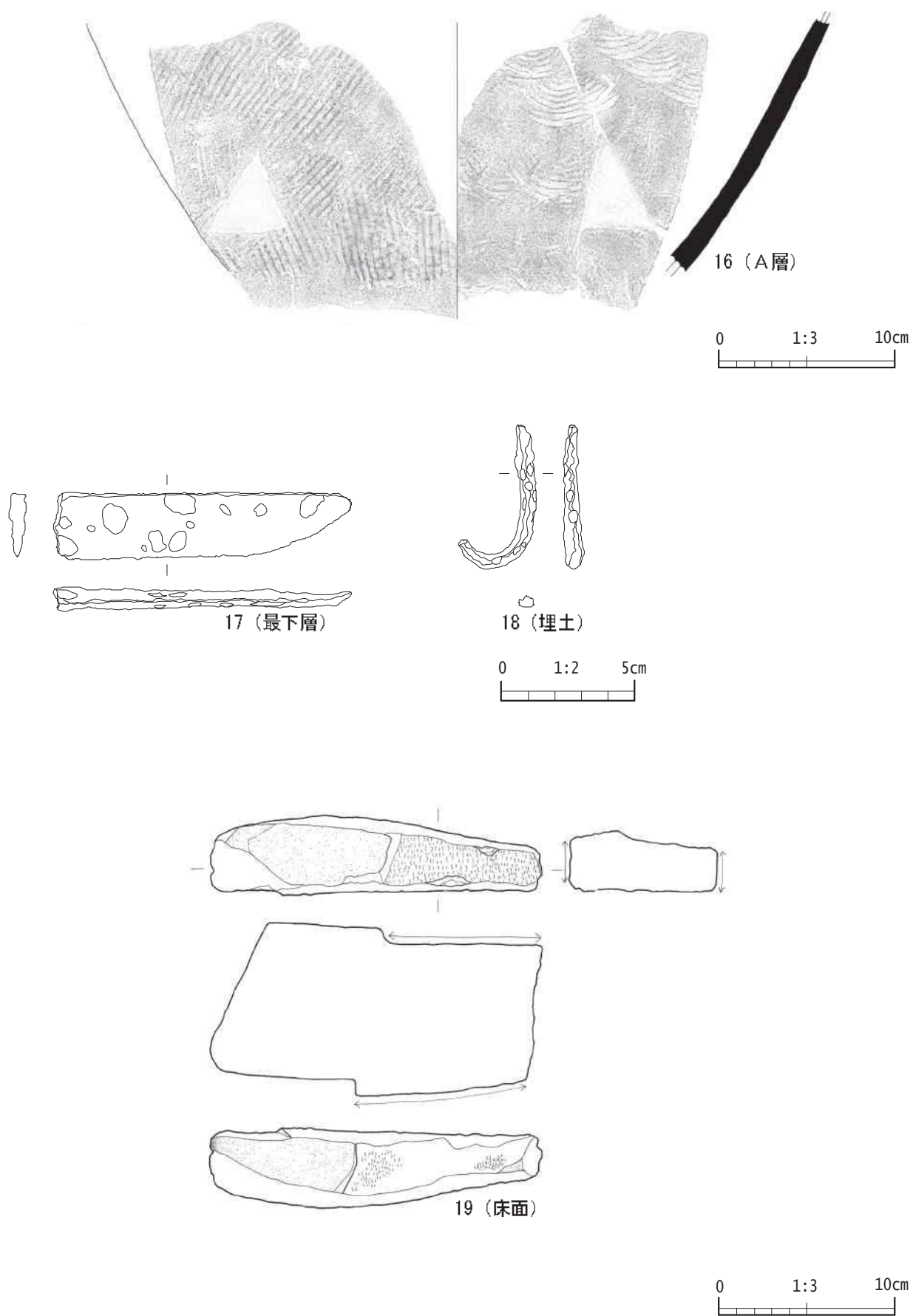
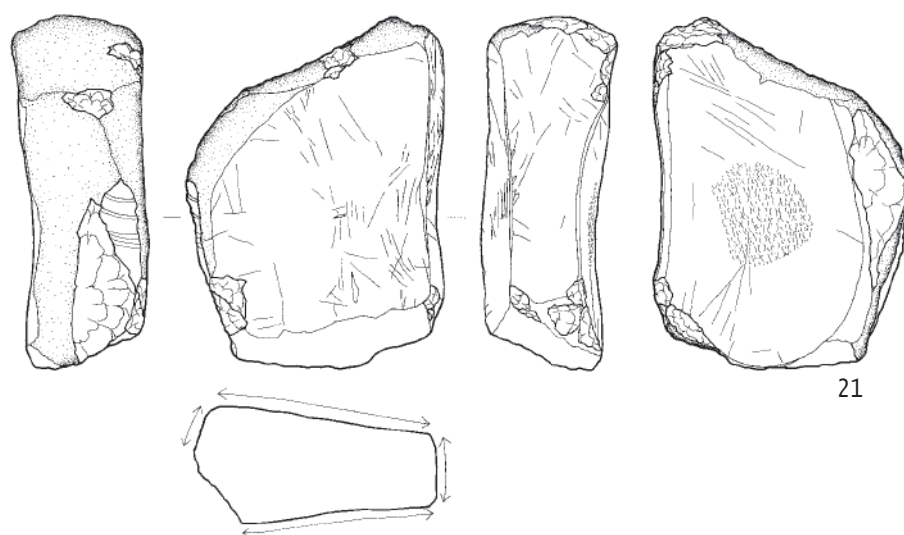
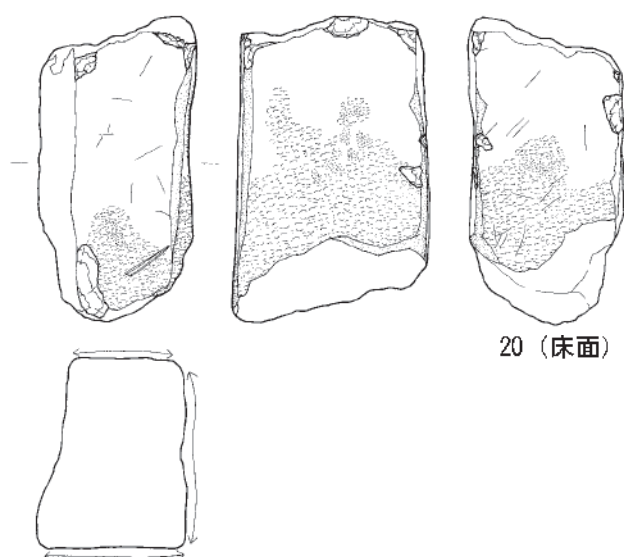


图66 17号竖穴住居跡出土遺物 (2)



0 1:3 10cm

图67 17号竖穴住居跡出土遺物 (3)

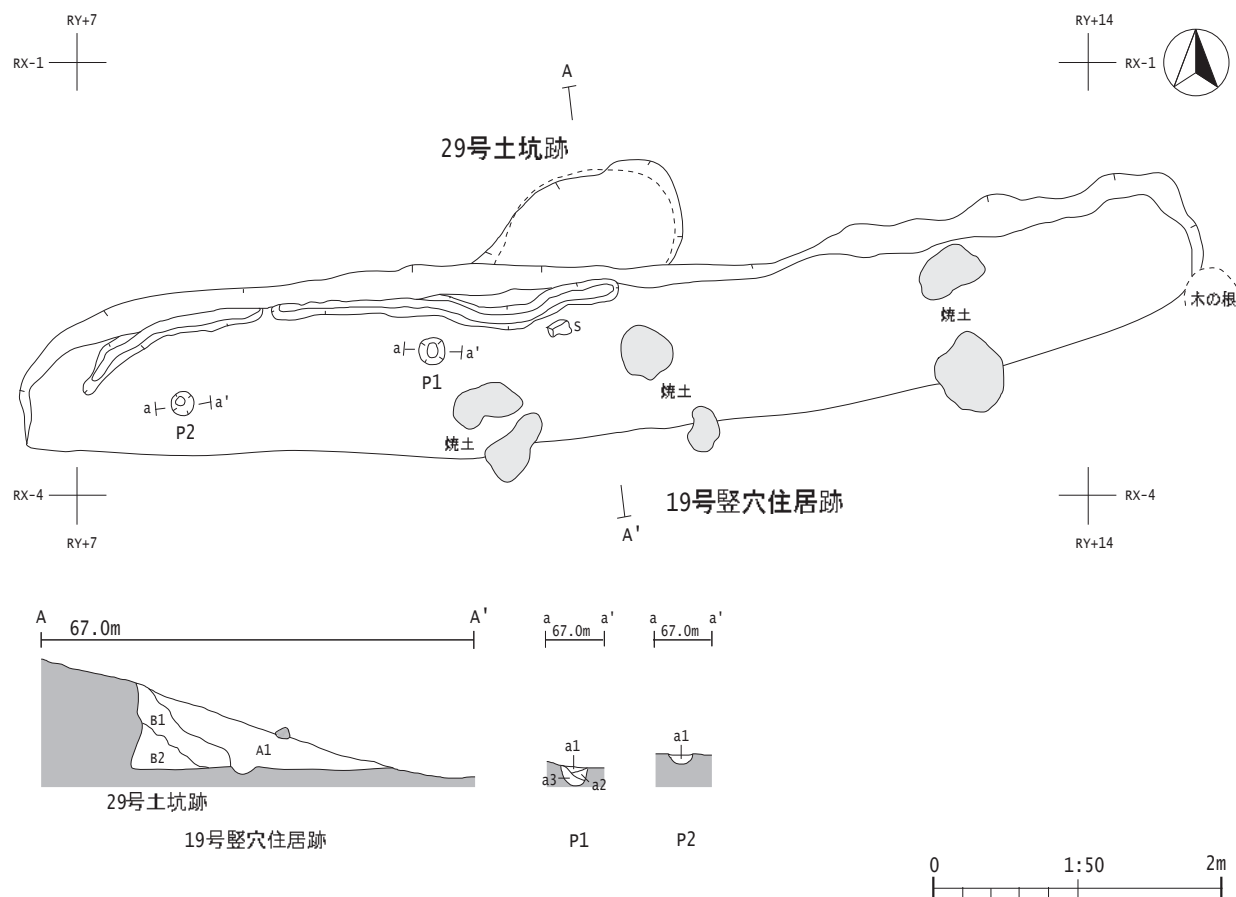


図68 19号竖穴住居跡、29号土坑跡 平断面

19号竖穴住居跡 土層注記表

19号竖穴住居跡		調査日記表			
層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物	
P1	19号竖穴住居跡	A1	10YR5/6 黄褐 壤土	10YR7/6 明黄褐 砂土 粉状均一 1% 混入	締まりやや弱 やや軟
		a1	10YR3/3 暗褐 壤土	10YR4/6 褐 粒状2%	やや軟 木炭粉混ず
		a2	10YR5/6 黄褐 砂壤土	10YR3/3 暗褐 壤土 粉状2%	やや軟
		a3	10YR2/2 黒褐 壤土	10YR5/6 黄褐 砂壤土 粉状1%	軟質 木炭を含む
P2		a1	10YR4/4 褐 砂壤土	10YR7/6 明黄褐 砂土 粉状1% 混入	あまり軟質ではない 木炭粉混ずる
	焼土		10YR5/6 黄褐 砂壤土	7.5YR5/6 明褐 灰土 7% 塊状混入	

29号土坑跡土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
29号土坑跡	B1	10YR6/6 明黄褐 壤質砂土	10YR5/6 黄褐 壤土 粉状5%	
			10YR7/6 明黄褐 砂土 塊状10%	
	B2	10YR5/8 黄褐 壤質砂土	10YR6/6 明黄褐 壤質砂土 塊状3%	軟土師器出土

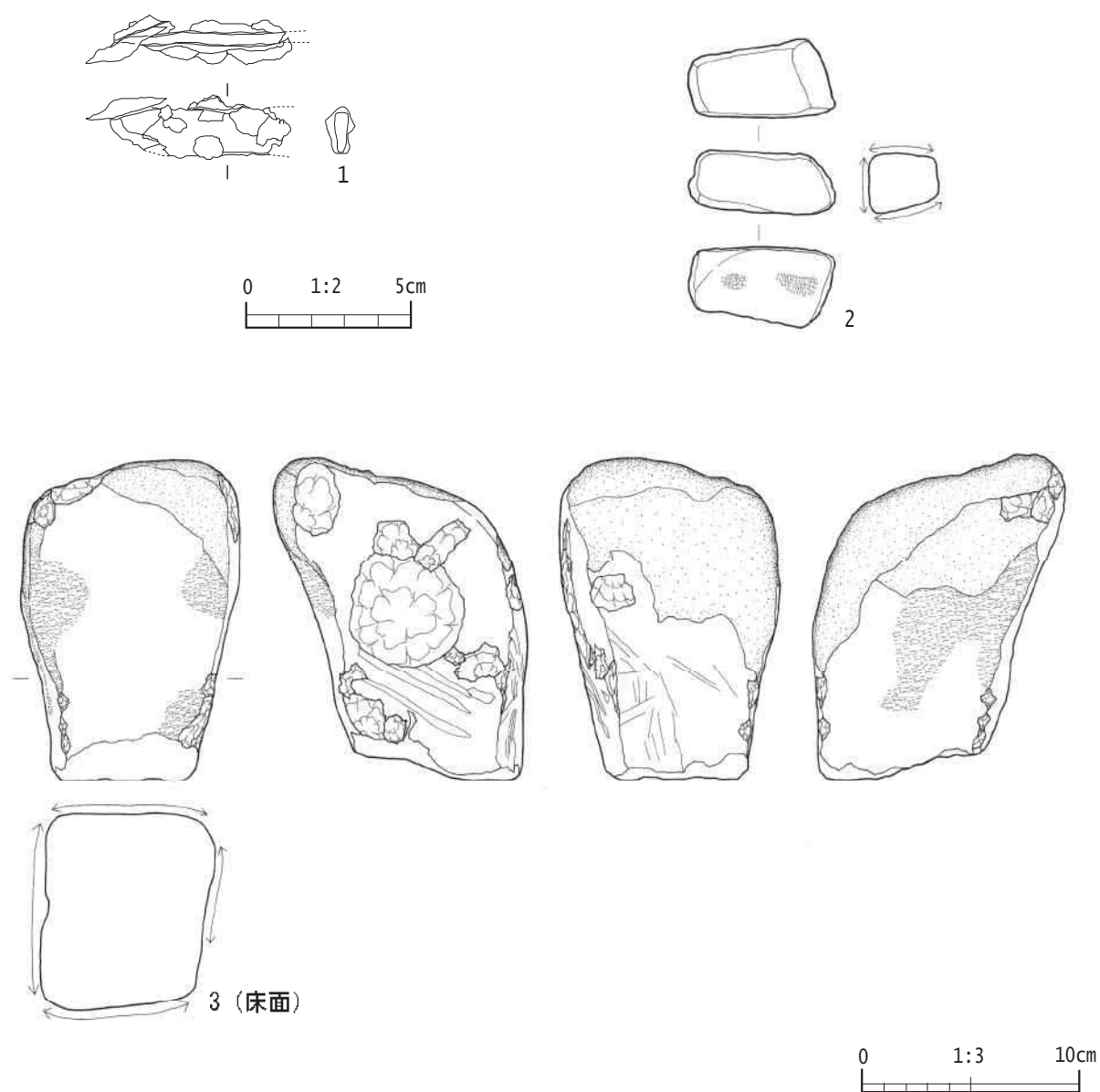


图69 19号竖穴住居跡出土遺物

20号竪穴住居跡（図70、71）

調査区の東側中央部に位置する。32号土坑跡を伴い、31号土坑跡、33号土坑跡を切る。34号土坑跡との共伴関係は不明である。平面形は隅丸方形である。規模は、東西5.0m、南北4.5mである。埋土はA、Bの2層に大別される。東壁にカマドを設ける。周溝は検出していない。床面北側で、中規模の浅い土坑跡を1基、南床面で柱穴状の土坑跡1基検出した。

カマド跡（図72）

くり抜き式である。煙道は下降して掘られる。焚口の西側でカマド崩壊土を検出したが、明瞭な焼成面は確認できなかった。袖石の据跡を検出している。

出土遺物（図73、74）

1～18は土師器の甕である。1～10はいずれも短い口縁部である。1～3はわずかに外反し、体部は膨らむ。4～10は外反するが、体部の膨らみはごくわずかである。17～18は底部である。18を除き、明瞭な張出しをもつ。底面は、14、18は木葉痕を残し、15、17はヘラ削り調整を施される。

19は須恵器の体部片である。内面に布目状圧痕をもつ。

20、21は土製品である。20は筒状の製品と思われる。赤褐色に焼け、輪積痕をもつ。用途は不明である。21は円形の製品と思われるが、内面は段状に成形され、上段にヘラ削り痕と条痕、下段に直線の条痕を残す。用途は不明である。

22、23は砥石である。いずれも方形礫の4面を利用している。この他に鉄滓630gが出土している。

32号土坑跡（図70、71）

床面の西側中央に位置する。8号竪穴住居跡に伴う。平面形は不整円形である。規模は、1.3m×1.0m、深さ1.1mを測る。埋土は、A、Bの2層に大別される。遺物は出土していない。

31号土坑跡（図70、71）

32号土坑跡の東側に位置する。平面形は不整円形である。規模は、1.3m×1.0m、深さ1.1mを測る。埋土は、A～C層の3層に大別される。遺物は出土していない。

33号土坑跡（図70、71）

20号竪穴住居跡の南に位置する。平面形は円形である。規模は、径約1.0m、深さ0.8mを測る。埋土は、A～E層の5層に大別される。

出土遺物（図75－1～4）

1～3は土師器甕の口縁部である。いずれも短く、わずかに外反する。体部は、1は膨らみ、2の膨らみは弱い。3は直線的に立ち上がる。

4は鉄製品である。筒状の製品である。

34号土坑跡（図70、71）

20号竪穴住居跡の南に位置する。平面形は円形で、フラスコ形の土坑である。規模は、上場径1.3m、床面径1.6m、深さ1.6mを測る。埋土はA～E層の5層に大別される。全体に軟質で粉状の木炭が含まれるが、A層はとくに軟質で、土器片、鉄滓などが混入する。

出土遺物（図75－5～8）

5～8は土師器の甕である。5は短い口縁部である。水平に近く外反し、頸部は直に立ち上がる。6～8は底部である。いずれも明瞭な張出しをもつ。

35号土坑跡（図70、71）

33号土坑跡の南に位置する。平面形は円形である。規模は、径0.7m、深さ0.1mを測る。埋土には灰が層状に含まれる。

出土遺物（図76）

1～4は土師器甕の一括土器である。1、2は口縁部である。いずれも短く、外反する。体部は膨らみ、体部に最大径をもつ。3、4は底部である。張出氏は弱い。底面は、3はヘラ削り調整を施され、4は木葉痕を残す。

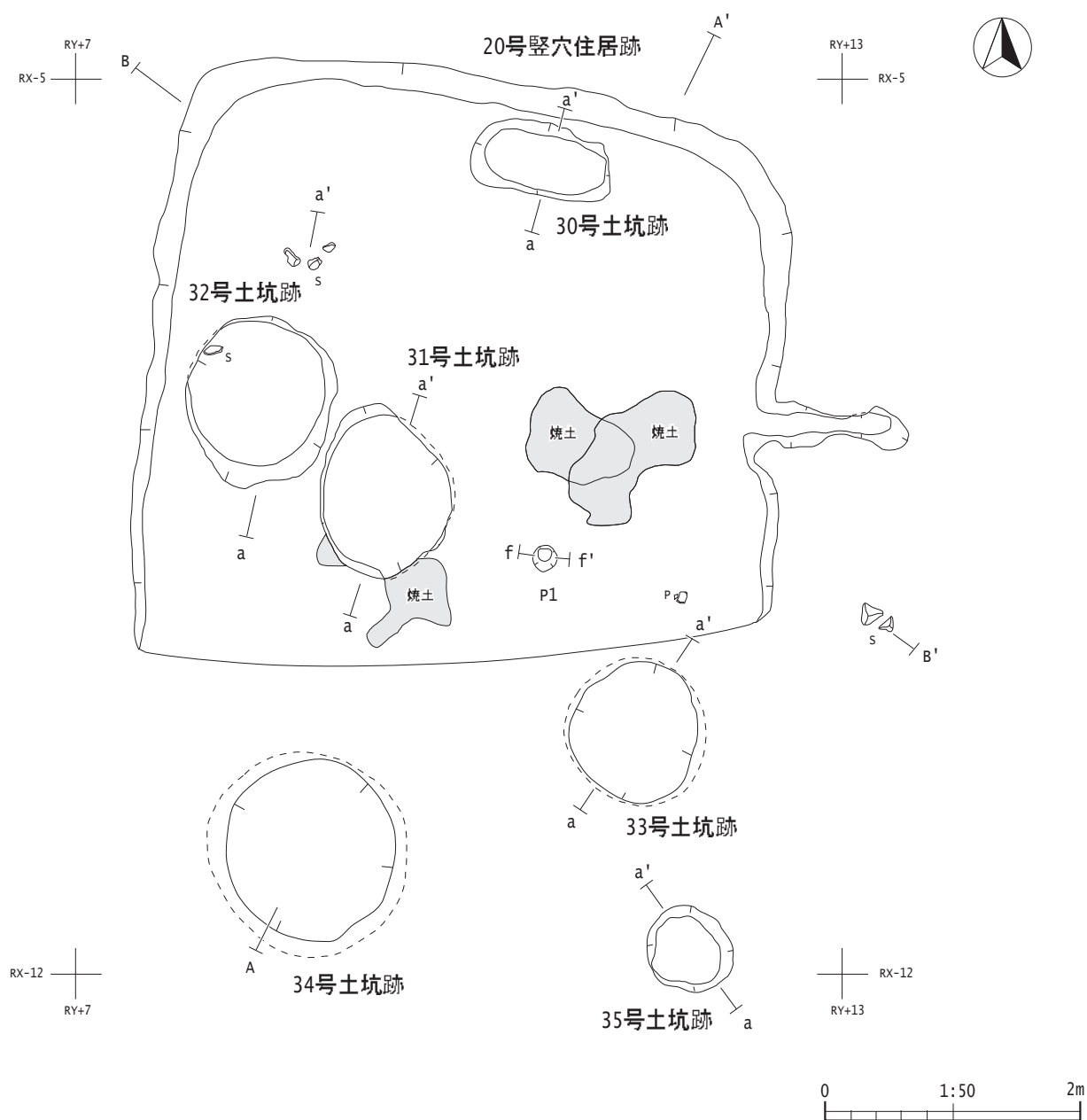


図70 20号竪穴住居跡、30号、31号、32号、33号、34号、35号土坑跡 平面

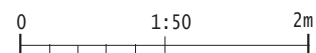
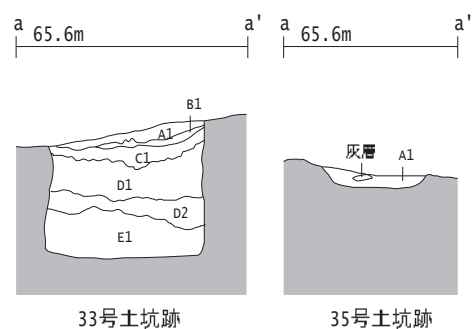
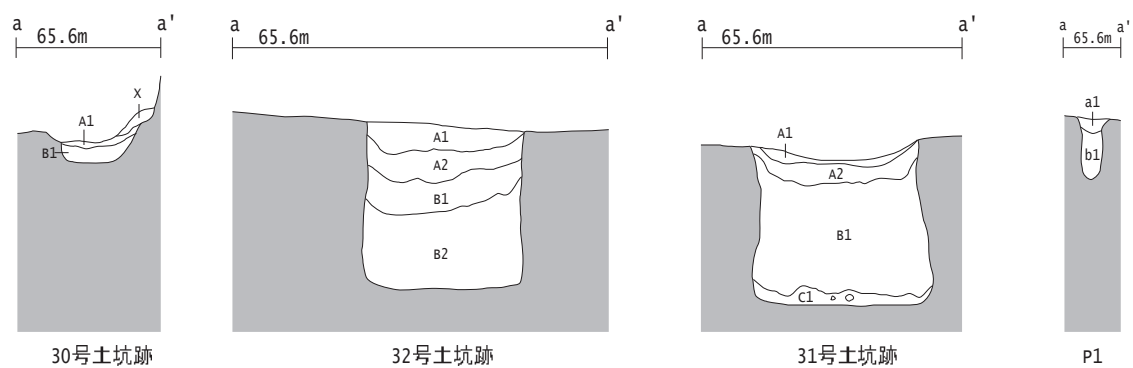
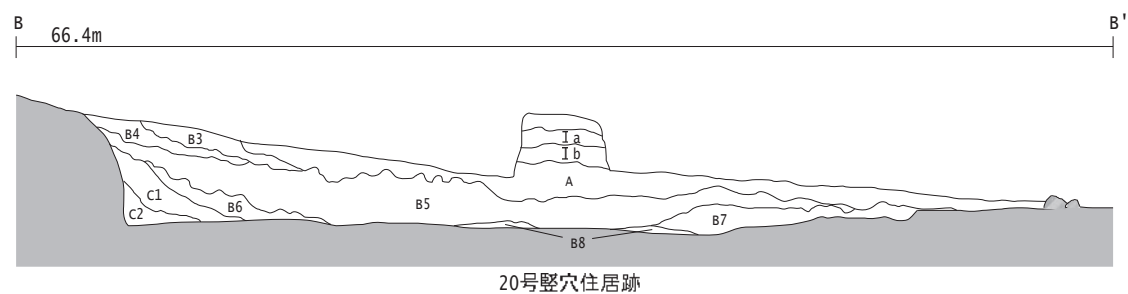
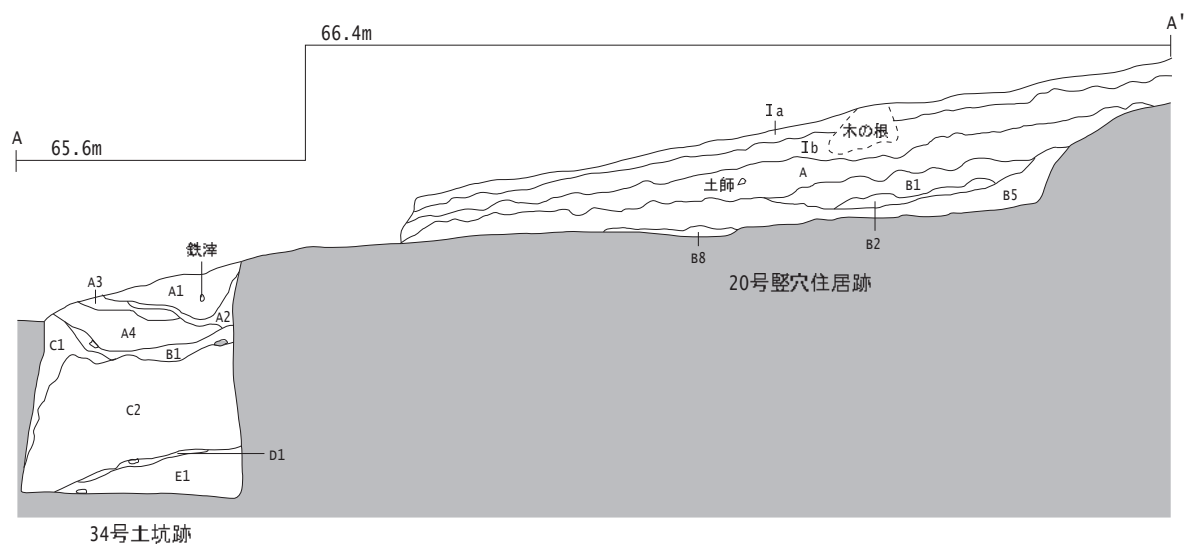


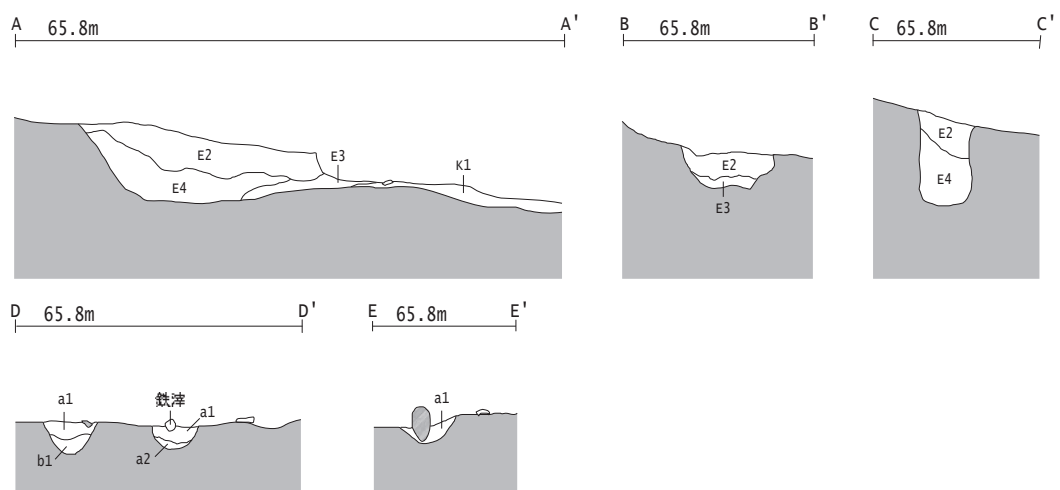
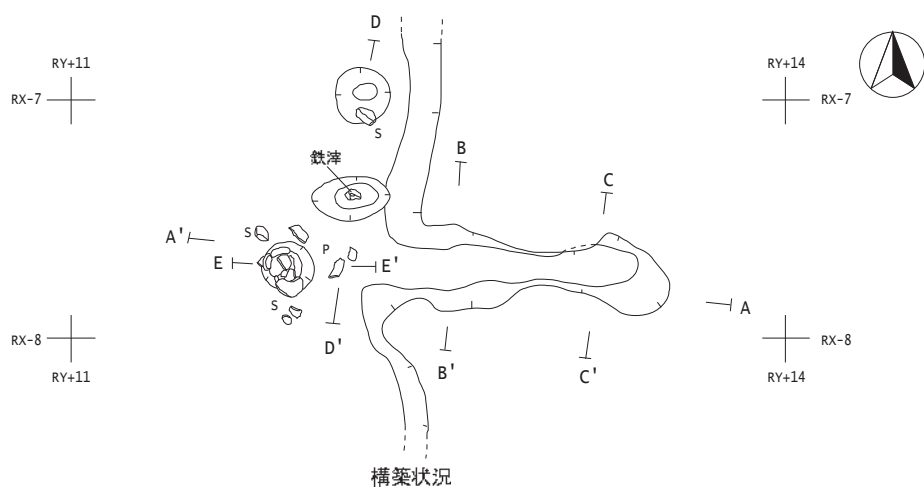
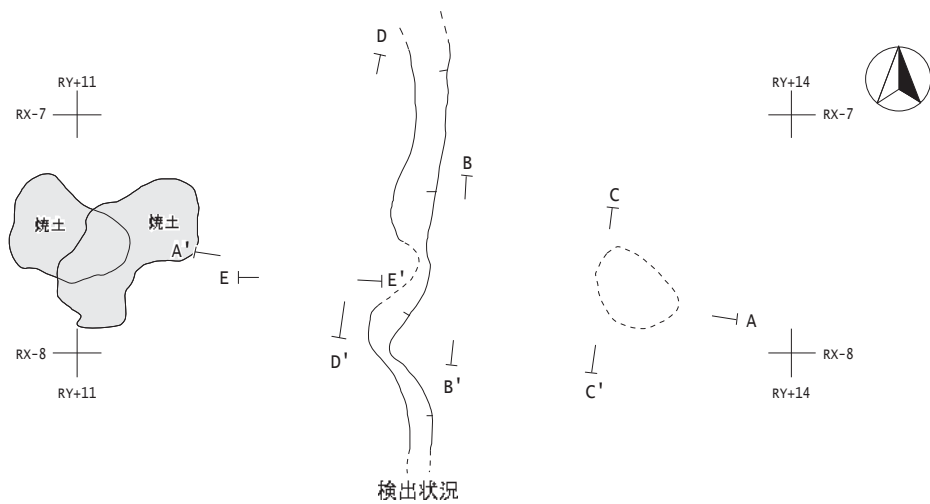
図71 20号竖穴住居跡、30号、31号、32号、33号、34号、35号土坑跡 断面

20号型六住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
20号型六住居跡	B1	10YR7/6 明黄褐色 砂土	10YR4/4 褐色 シルト質黄土 粉状 1% 混入	
	B2	10YR4/4 褐色 シルト質黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粉状 1% 混入	
P1	a1	10YR4/6 褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 2% 粒状混入	鉄滓のる
	b1	10YR5/6 黄褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 3% 粒状混入 7.5YR4/6 褐色 黄土 粒状 1% 混入	やや軟
カマド	a1	10YR4/4 褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 5%	やや軟
	a2	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 3% 混入	軟
	E1	10YR5/8 黄褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 2% 混入	固い
	E2	10YR7/6 明黄褐色 黄土質砂土	10YR6/6 明黄褐色 黄土 礫状 10%	やや固い
			10YR5/8 黄褐色 砂黄土 粉状 2%	
	E3	10YR3/4 暗褐色 黄土	10YR6/6 明黄褐色 黄土 粉状 1% 混入	木炭含む
	E4	10YR4/6 褐色 砂黄土	10YR6/6 明黄褐色 黄土 3% 粒状混入	
	k1	10YR4/4 褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 1% 混入	木炭含む、やや軟

30号～35号土坑跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
30号土坑跡	A1	10YR4/4 褐色 黄土	10YR6/6 明黄褐色 黄土質砂土 粉状 3%	
	B1	10YR6/6 明黄褐色 黄土質砂土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 1%	
	X	10YR5/6 黄褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粉状 7%	
31号土坑跡	A1	10YR3/4 暗褐色 黄土	5YR4/6 黄土 2%	木炭粉含む
	A2	10YR7/6 明黄褐色 砂土	10YR4/6 褐色 砂黄土 ブロック状、礫状 7%	
			10YR4/4 褐色 砂黄土 フロック状 5%	
	B1	10YR4/6 褐色 黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 1% 粒状混入	
	C1	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂黄土	10YR4/4 褐色 黄土 礫状 2%	土研砕含む
32号土坑跡	A1	10YR5/6 黄褐色 黄土	10YR6/6 明黄褐色 砂黄土 粉状 5%	固さの特徴は特になし 床、焼土を切っている ので20号型六住居跡に伴うものと思われる
			10YR4/4 褐色 黄土 礫状 3%	
	A2	10YR4/6 褐色 黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 2%	
			10YR6/6 明黄褐色 砂黄土 粉状 1%	
	B1	10YR6/6 明黄褐色 黄土質砂土	10YR5/6 黄褐色 砂黄土 粉状 7%	
	E2	10YR6/6 明黄褐色 黄土質砂土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 3%	
33号土坑跡	A1	10YR4/6 褐色 黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂黄土 2% 粒状	
			10YR3/3 暗褐色 黄土 礫状 1%	
	B1	10YR2/2 黒褐色 黄土	10YR5/6 黄褐色 砂土 粒状 1% 混入	木炭粉を含む礫、20号型六住居跡の床面にみられる 黒色土層(木炭粉)と同時期のものと考えられる
	C1	10YR6/6 明黄褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粉状 7% 混入	やや固、締まりあり
	D1	10YR4/4 褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状(真砂土 粗粒) 3% 混入	木炭粉を混する、やや軟らかい
	D2	10YR3/2 黒褐色 黄土	10YR5/6 黄褐色 砂黄土 2% 混入	木炭粉を混する、やや軟らかい
			10YR7/6 明黄褐色 砂土 1%	
	E1	10YR5/6 黄褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 3% 混入	
34号土坑跡	A1	10YR5/6 黄褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 2～5mm 粒状 5% 混入	木炭粉、鉄滓、鉄製品やや固
			10YR4/6 褐色 黄土 2% 礫状(最下部) 混入	
	A2	10YR3/4 暗褐色 黄土	10YR5/6 黄褐色 砂黄土 7% 粉状	木炭粉を含む、軟、締まり弱く
			10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 1% 混入	
	A3	10YR5/6 黄褐色 砂黄土	10YR4/6 褐色 砂黄土 3% 粉状	木炭粉含む、やや固い
			10YR7/6 明黄褐色 砂土 1% 粒状混入	
	A4	10YR7/6 明黄褐色 砂土	10YR5/6 黄褐色 砂黄土 礫状 3%	混入土中に木炭粉を含む
			10YR5/4 にぶい黄褐色 砂黄土 粉状 1%	
	B1	10YR4/6 褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粉状 2%	軟質、締まり弱、木炭粉(3%)、礫(大礫か)この面 にのる、土研砕を含む(木炭礫)
			10YR3/4 暗褐色 黄土 25% 粒状混入(B層下位にほいる)	
	C1	10YR4/6 褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 3% 混入	
	C2	10YR7/4 にぶい黄褐色 黄土質砂土		真砂土の純層(地山との対比は固さと、ややくすんで 黒っぽい点で層と分けられる)
	D1	10YR5/6 黄褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 3%	木炭、土研砕を含む、軟質、締まり弱
			10YR4/4 褐色 黄土 10% 礫状混入	
	E1	10YR5/6 黄褐色	10YR7/6 明黄褐色 砂土 3% 粒状混入	木炭片を2%含む
35号土坑跡	A1	10YR4/4 褐色 砂黄土	10YR7/6 明黄褐色 砂黄土 粒状 3%	
			10YR6/3 にぶい黄褐色 シルト質黄土 灰層	



0 1:30 1m

図72 20号竪穴住居跡カマド 平断面

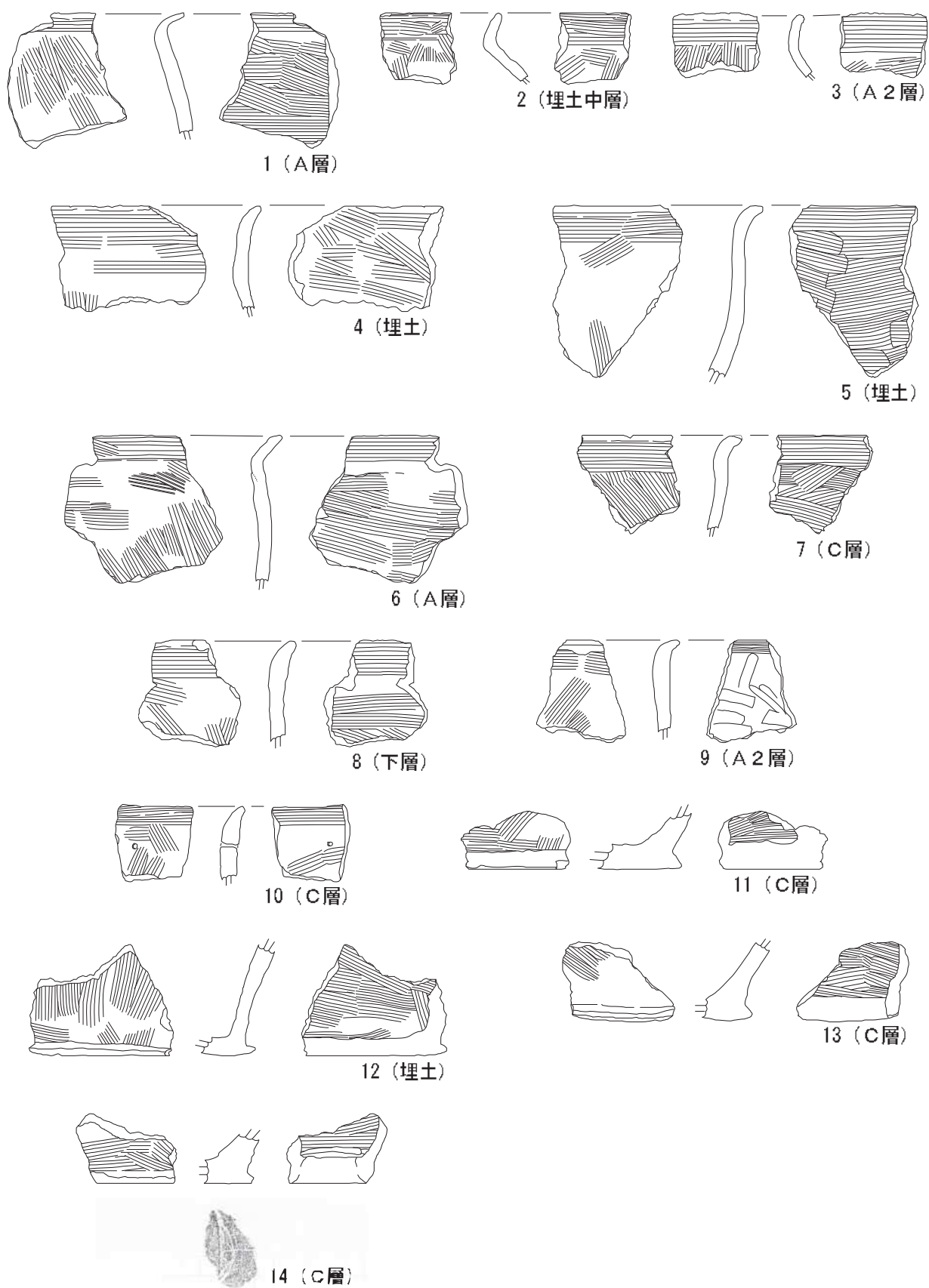


图73 20号竖穴住居跡出土遺物 (1)

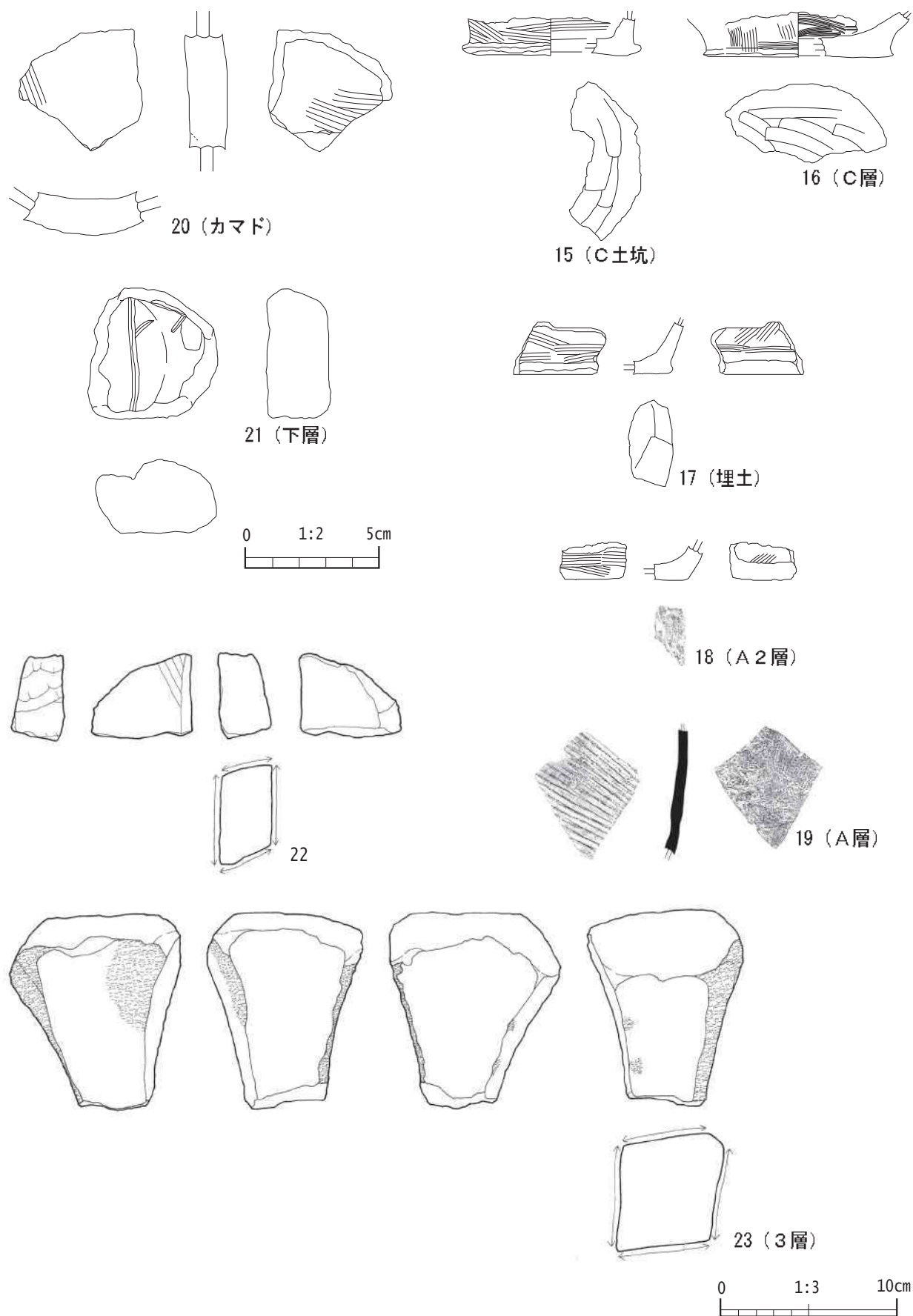


図74 20号竪穴住居跡出土遺物 (2)

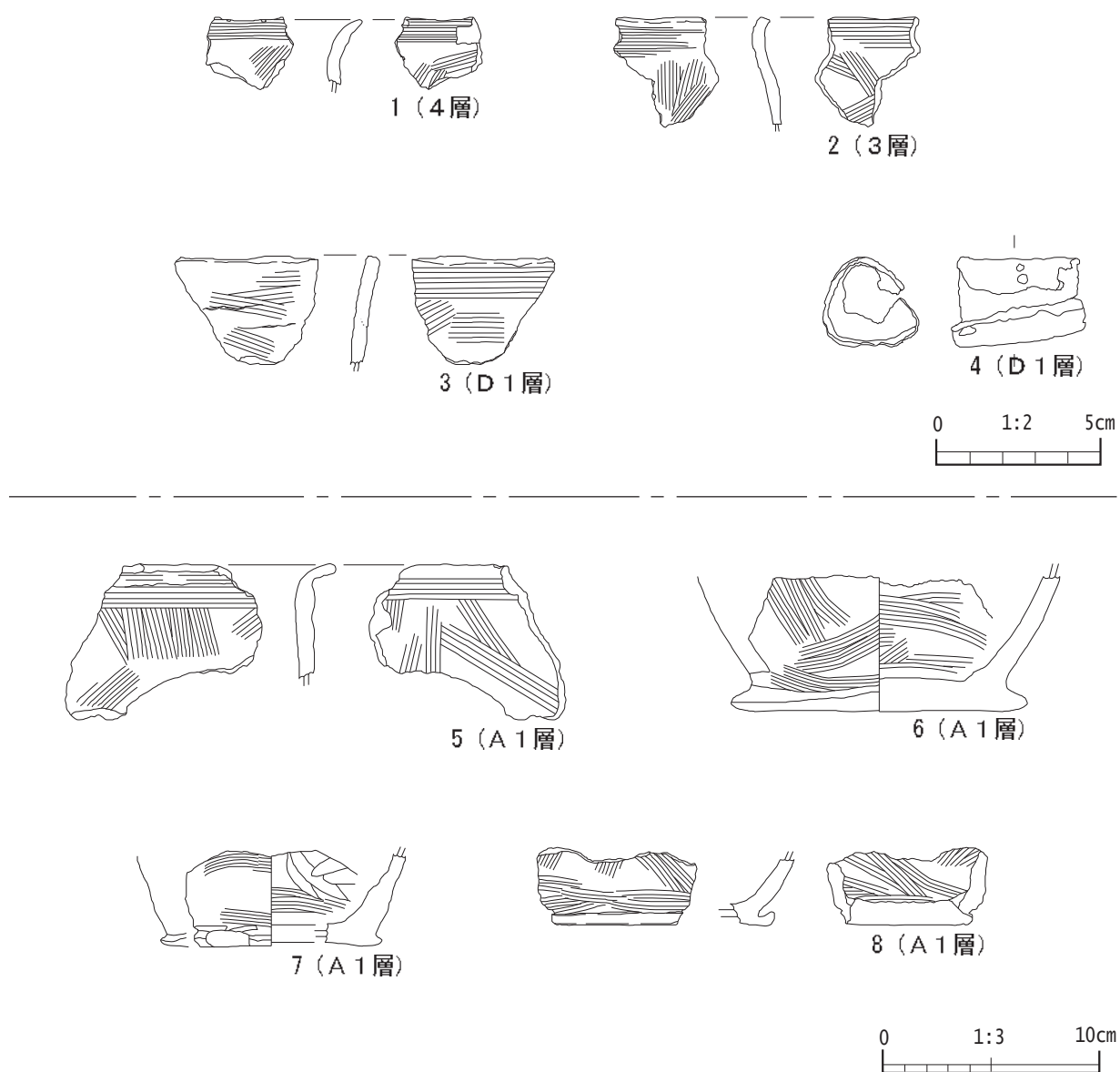
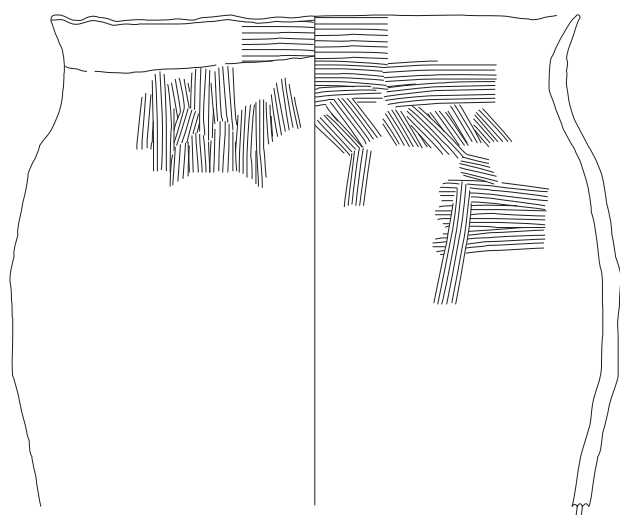
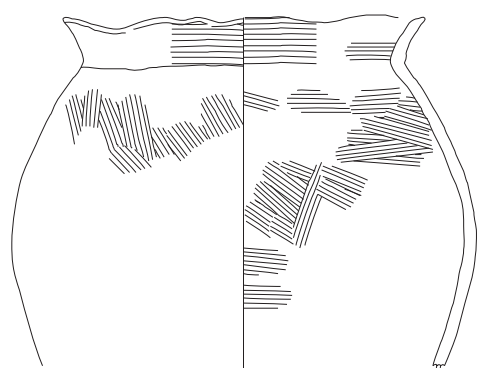


図75 33号、34号土坑跡出土遺物



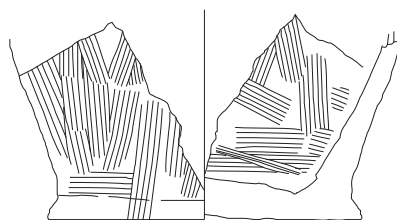
1 (埋土、一括土器)



2 (埋土、一括土器)



3 (埋土、一括土器)



4 (埋土、一括土器)

0 1:3 10cm

图76 35号土坑跡出土遺物

21号竪穴住居跡、カマド（図77）

調査区東の中央に位置する。20号竪穴住居跡と重複する。20号竪穴住居跡と33号土坑跡に切られる。平面形は不整隅丸方形である。規模は、南北3.0m、東西2.0mを測る。埋土は2層に分かれる。東壁にカマドを設ける。床面から小土坑跡が2基出土している。

カマド跡（図77）

東壁に設ける。くり抜き式である。煙道は下降して掘られ、煙出しは垂直に立ち上がる。E層は焼土層である。袖石の据跡を確認している。

出土遺物（図78）

1～3は土師器の甕である。1、2は口縁部である。1はごく短く、外反する。2は直に立ち上がる。3は底部である。張出しをもたない。

22号竪穴住居跡（図79）

20号竪穴住居跡の東に位置する。カマドの煙道と北側の壁を検出している。検出規模は、南北2.0m、東西2.0mを測る。埋土は単層である。周溝、土坑跡は検出していない。

カマド跡（図79）

くり抜き式である。煙道は下降気味に掘られて、煙出しは垂直に立ち上がる。炉床面を確認したが、袖石の据え方は検出していない。

出土遺物（図80）

1は土製品の羽口である。

この他に土師器の体部片が出土している。

23号、24号、25号竪穴住居跡、36号、37号、38号土坑跡（図81、82）

22号竪穴住居跡の南に位置する竪穴跡と土坑群である。23号竪穴跡が、24号竪穴跡と25号竪穴跡を切っている。

23号竪穴住居跡（図81、82）

平面形は隅丸方形である。規模は、東西2.6m、南北1.5mを測る。埋土は2層である。k 1層は焼土を含む。北壁の中央を掘り込んだ形状は、カマドを設けた跡と思われる。周溝、土坑跡は検出していない。遺物は、土師器の体部片、鉄滓90gが出土している。

24号竪穴住居跡（図81、82）

23号竪穴住居跡の北東に位置し、同遺構に切られる。北壁と周溝のみの検出である。平面形は不明である。検出規模は、東西2.5m、南北2.0mを測る。埋土は単層である。カマド、土坑跡などは検出していない。

出土遺物（図83－1）

1は土師器の口縁部である。短く、外反する。

25号竪穴住居跡（図81、82）

23号竪穴住居跡の西に位置し、同遺構に切られる。平面形は隅丸方形である。規模は、東西2.8m、南北2.5mを測る。埋土2層に細別される。カマド、周溝、土坑跡は検出していない。

出土遺物（図83－2～4）

2、3は土師器甕の口縁部～体部である。いずれも口縁部は短く、外反し、体部は膨らむ。4は砥石である。長楕円礫の4面を使う。この他に鉄滓100gが出土している。

36号土坑跡（図81、82）

38号土坑跡の東に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.2m、深さ1.1mを測る。埋土は3層に大別される。遺物は、埋土から土師器の体部片が出土している。

37号土坑跡（図81、82）

25号竪穴住居跡の南西に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.5m、深さ0.9mを測る。埋土は5層に分かれる。床面に周溝を巡らす。遺物は、埋土から土師器の口縁部、体部片が出土している。

38号土坑跡（図81、82）

37号土坑跡の東に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.4m、深さ0.9mを測る。埋土は2層に大別される。遺物は埋土から土師器の体部片が出土している。

26号、27号竪穴住居跡、39号土坑跡（図84、85）

東側の急な南斜面に位置する。39号土坑跡は、26号、27号竪穴住居跡を切る。

これらの遺構は2号炉跡、1号段状遺構に切られている。2号炉跡、1号段状遺構については別項で記す（→遺構外炉跡）。

39号土坑跡（図84、85）

2号炉跡の東に位置する。平面形は円形である。径約1.0m、深さは1.3mを測る。埋土はA～C層の3層に大別される。

出土遺物（図87－1～4）

1はアカヤキ甕の口縁部である。

2、3は土師器甕の底部である。2は張り出しをもたない。3は張り出しをもち、底面にヘラ削り痕を残す。

4は須恵器である。甕の口縁部である。

26号竪穴住居跡（図84、85）

27号竪穴住居跡を切り、39号土坑跡に切られる。平面形は隅丸方形である。規模は、東西2.8m、南北3.2mを測る。埋土はA～E層の5層に分かれる。北側の壁にカマドを設ける。周溝、柱穴跡などは検出していない。

カマド跡（86図）

くり抜き式で、煙道は水平に掘りぬかれ、煙出しは垂直に掘られる。焼成面と袖石の据跡を東側で確認した。

出土遺物（図87－5～12、～図89）

5はアカヤキの坏である。底部はやや内湾する。内外面に再調整痕を残し、切り離しは回転糸切である。6はアカヤキの甕である。口縁部は外反し、体部は膨らむ。

7～25は土師器の甕である。7～18は口縁部である。いずれも短い。7～10は外反し、体部は大きく張出す。11～18は、わずかに外反し、体部の膨らみは少ない。19～25は底部である。19の張出しはなく、底面に木葉痕を残す。20、21はわずかに張出す。19、20は底面に木葉痕を残す。22～25は明瞭な張出しをもつ。23、25は底面をヘラ削り調整される。

26は須恵器の体部片である。内外面にタタキメを残す。

27は羽口である。

28、29は鉄製品である。刀子の刃部と思われる。

30は砥石である。3面の磨面をもつ。

27号竪穴住居跡（図84、85）

26号竪穴住居跡の北に位置し、同遺構と39号土坑跡に切られる。北壁際のための検出で、平面形は方形と思われるが、規模は不明である。埋土はA～Eの4層に分かれ、C層はカマドの崩壊土である。周溝、柱穴跡などは検出していない。

出土遺物（図90）

1はアカヤキ甕の口縁部である。

2は土師器杯の底部である。ロクロ成形される。内面は内黒処理され、ミガキ調整を施される。切り離しは、回転糸切りである。

3～11は土師器の甕である。3、4は短い口縁部でわずかに外反する。体部は大きく張出す。5～7は口縁部である。いずれも短く、外反する。体部は張出す。8～11は底部である。8は張出しがなく、9～11は弱い張出しをもつ。底面は、9はヘラ削り調整され、11は木葉痕を残す。

12は土製品の羽口である。推計で、外径9.0cm、内径4.0cmである。

26号、27号竪穴住居跡からは、この他に鉄滓1.6kgが出土している。

21号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	調査・構造・混入物
21号竪穴住居跡	A1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 20%	
	B1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 20%	
			10YR6/6 明黄褐色 黄褐色砂土 塊状 10%	
	B2	10YR4/6 褐色 壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 3%	土器入り 鉄
	C1	10YR4/6 褐色 壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 3%	土器入り 鉄
カマド	k1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 2%	土器出土
			10YR6/6 明黄褐色 ブロック状 3%	
	k2	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 砂質壤土 粒状 1%	
	k3	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 2%	
P1	a1	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 1%	
P2	a1	10YR2/3 黒褐色 壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 2%	
	b1	10YR6/6 明黄褐色 黄褐色砂土	10YR5/6 黄褐色 粒状 2%	やや固く

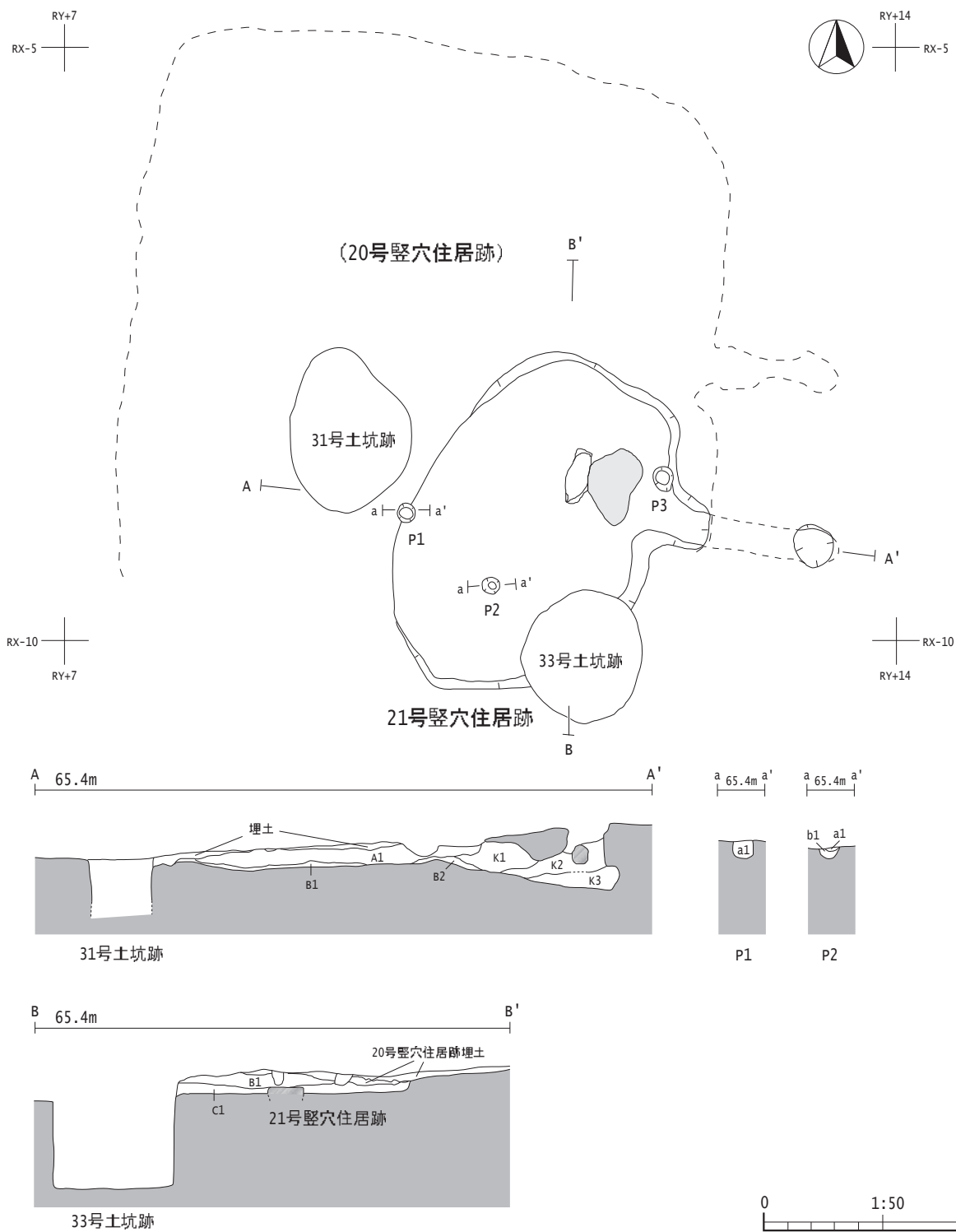


図77 21号竖穴住居跡、カマド 平断面

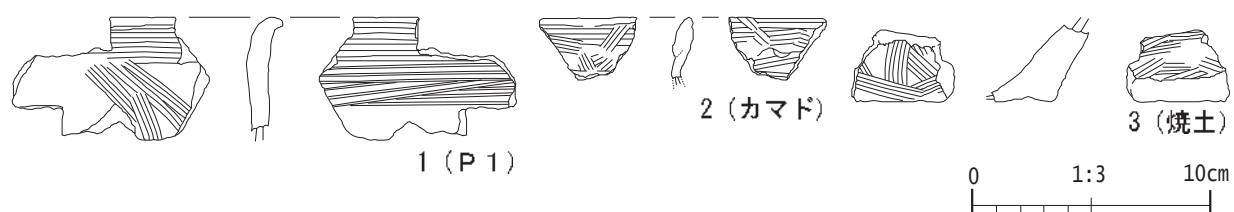


図78 21号竖穴住居跡出土遺物

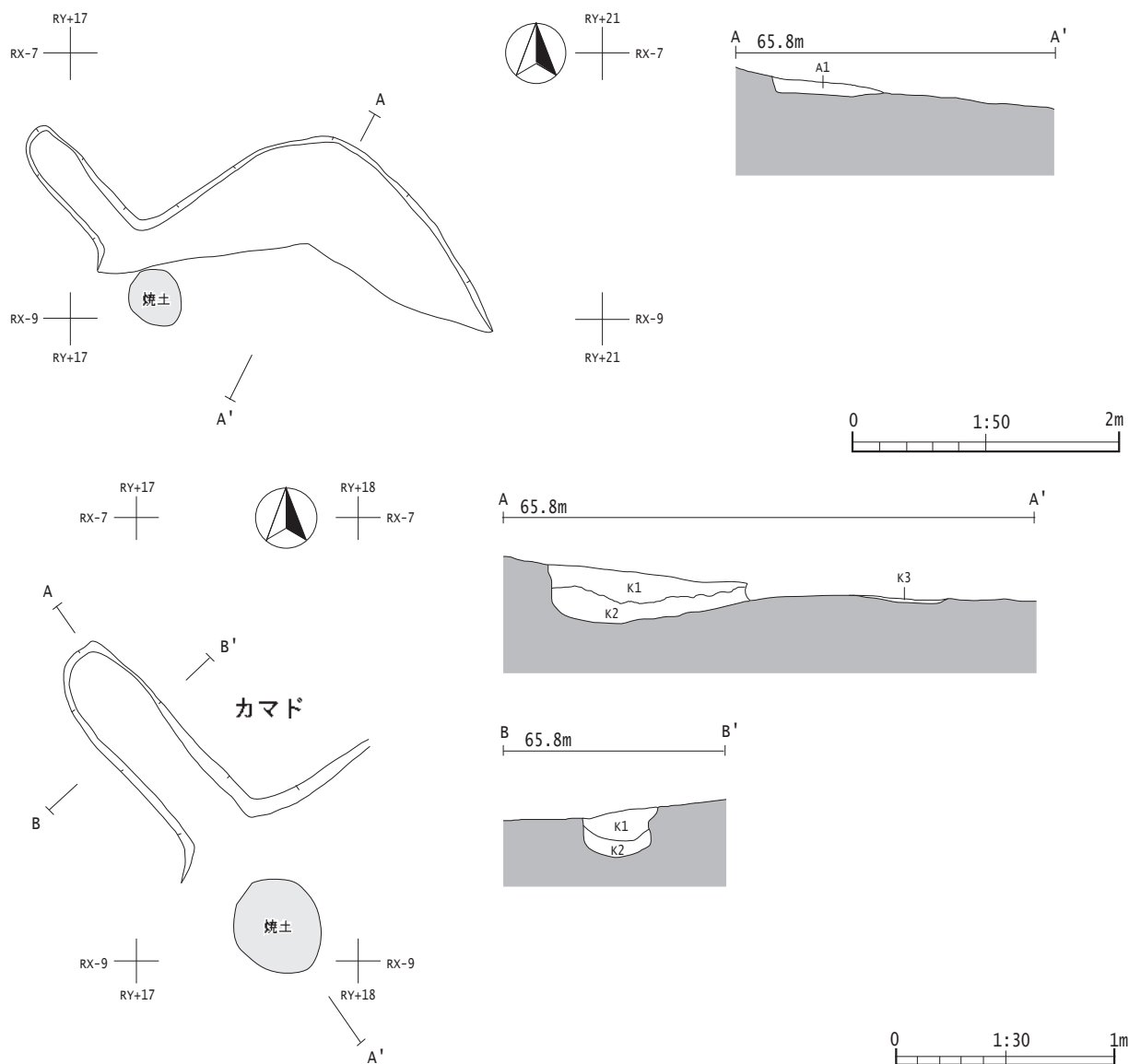


図79 22号竪穴住居跡、カマド 平断面

22号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
22号竪穴住居跡	a1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状3%	固さ・構造・混入物
			10YR4/6 褐色 砂土 粒状2%混入	やや軟。締まりやや弱
カマド	k1	10YR4/6 褐色 壤土	10YR4/4 褐色 壤土 3% 粉粒状混入	
			10YR7/6 明黄褐色 砂土 2% 粒状混入	
	k2	10YR3/4 暗褐色 壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 1% 粒状混入	
			10YR4/6 褐色 壤土 3% 粉状混入	
	k3	5YR6/6 褐色		地山真砂土が堆積した状態

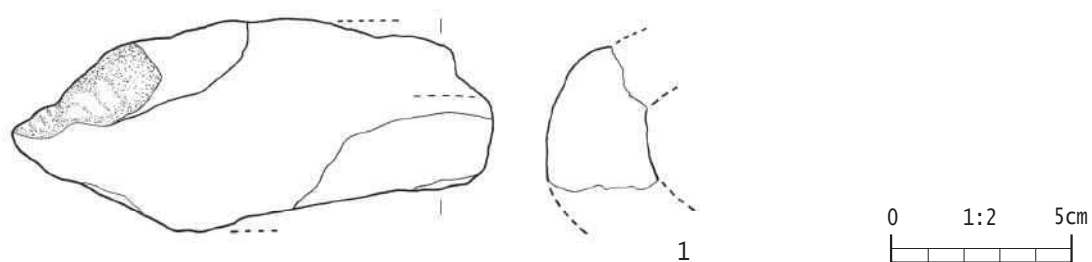


図80 22号竪穴住居跡出土遺物

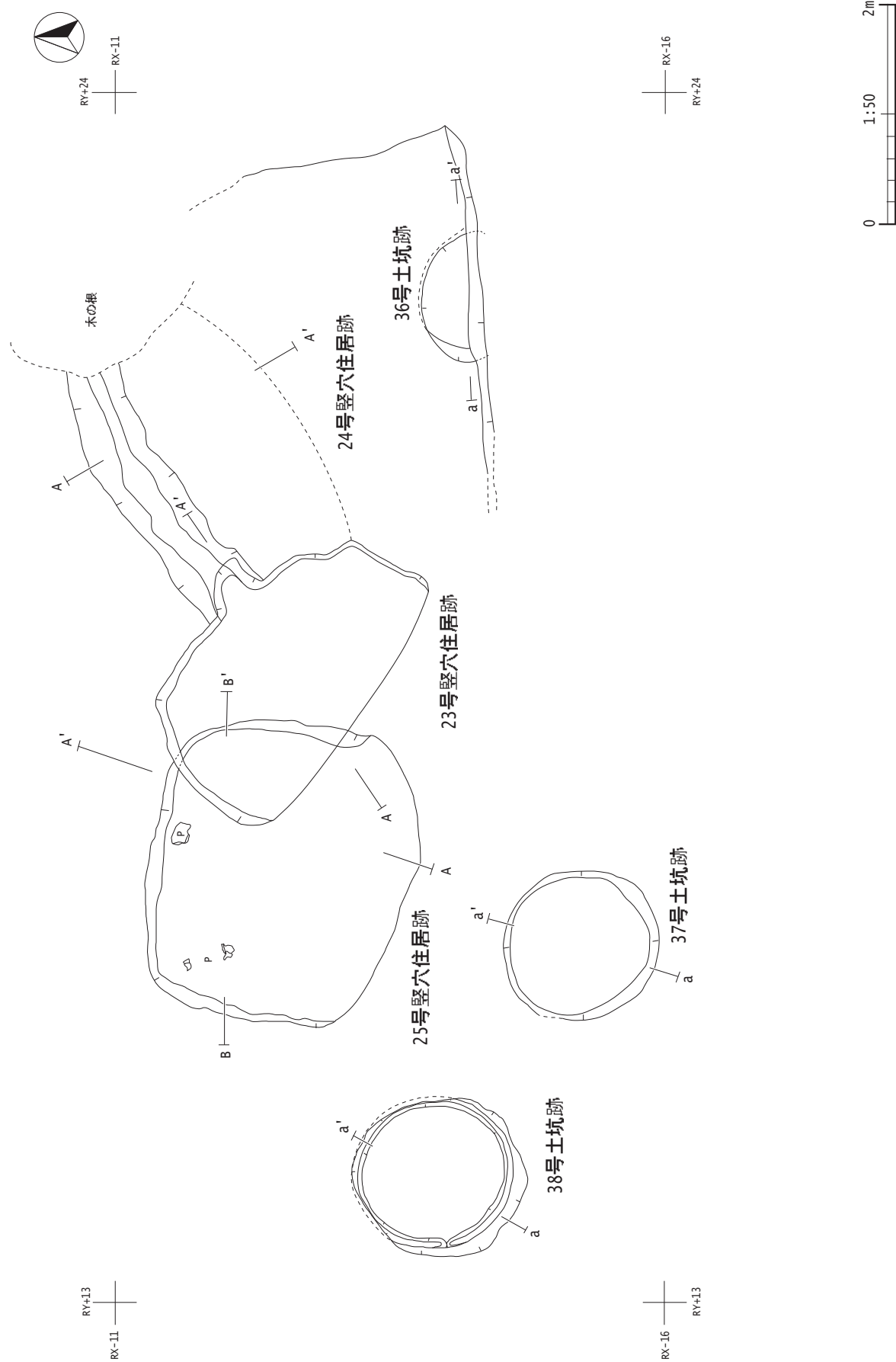


図81 23号、24号、25号竪穴住居跡、36号、37号、38号土坑跡 平面

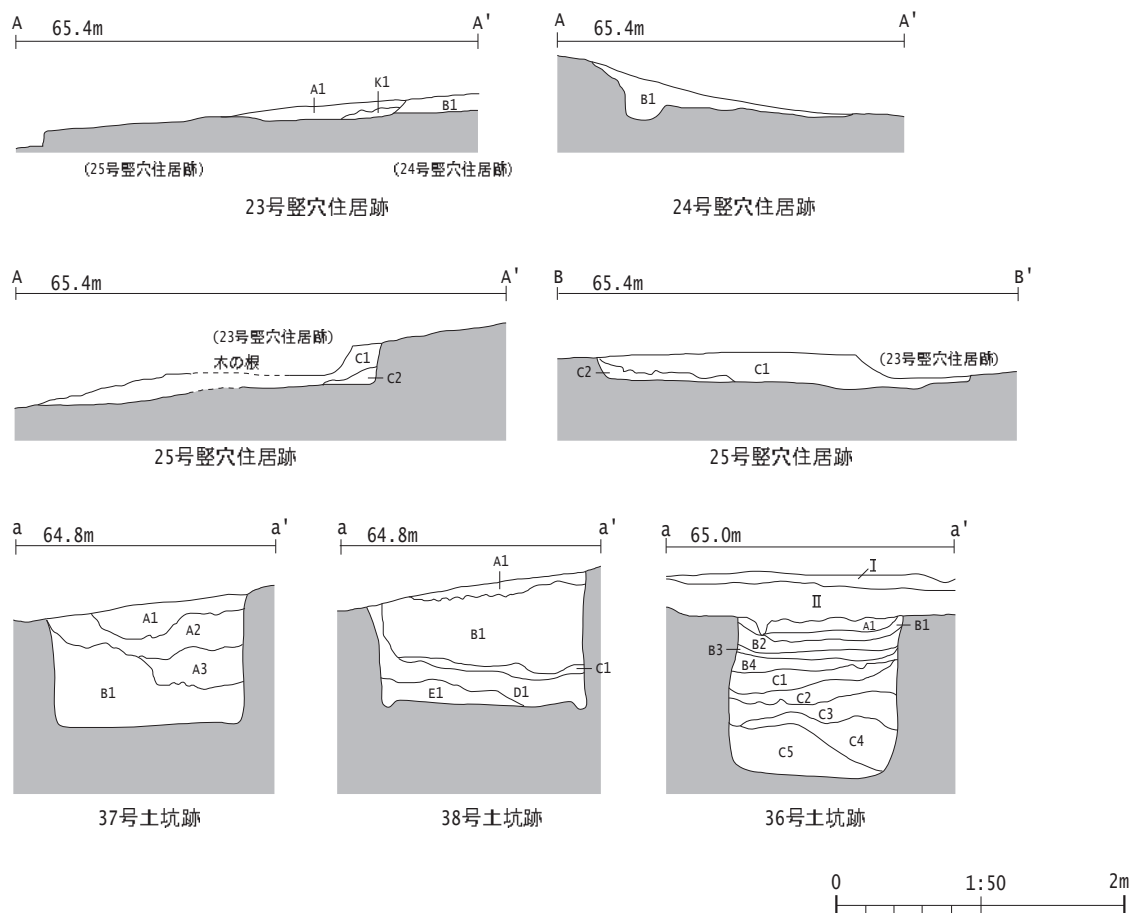


図82 23号、24号、25号竪穴住居跡、36号、37号、38号土坑跡 断面

23号、24号、25号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	瓦さ・横溝・混入物
23号竪穴住居跡	A1	10YR4/6 褐 壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 2~5% 混入	やや軟 土研砕含む
	K1	10YR3/4 暗褐 砂壤土	10YR6/8 明黄褐色 壤土 粒状 2% 混入 10YR4/6 褐 壤土 粒状 3% 含む 7.5YR5/8 明褐 土 粒状 2%	やや固、木炭粉含む
24号竪穴住居跡	B1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 3% 混入	
25号竪穴住居跡	C1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 1% 混入	
	C2	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 3% 混入	

36号、37号、38号土坑跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	瓦さ・横溝・混入物
36号土坑跡	A1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR3/4 暗褐 壤土 粒状 2%	固さ・横溝・混入物
	B1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 5%	たたきしめたように固い、かなり固い■
	B2	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 2%	B1 層よりは軟らかい
			10YR3/4 暗褐 壤土 層状 2%	やや固い■
	B3	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 10%	B1 と同程度かなり固い■
	B4	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 2%	固さ普通
			10YR4/6 褐 壤土 粒状 2%	
	C1	10YR6/6 明黄褐色 壤質砂土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 5%	
			10YR4/6 褐 壤土 層状 2%	
	C2	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 2%	
37号土坑跡			10YR4/6 褐 壤土 粒状 5%	
	C3	10YR6/6 明黄褐色 壤質砂土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 5%	
			10YR4/6 褐 壤土 フロック状(50mm)5%	
	C4	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR4/6 褐 壤土 フロック状 2%	
			10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 2%	
	A1	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 15%	軟、疎、塊
	A2	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR4/6 褐 砂壤土 塊 10%	中、疎、塊
	A3	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 15%	軟、疎、塊
	B1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 20%	中、疎、塊 土群片
			10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 10%	中~固 中 塊
38号土坑跡	B1	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR4/6 褐 砂壤土 塊 2%	中、疎、塊
	C1	10YR6/2 灰白 砂壤土	10YR3/4 暗褐 砂壤土 塊 10% 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊 土群片
			10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 10%	中、疎、塊 土群片
	D1	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 10%	中、疎、塊 土群片
	E1	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂土	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 3%	中、疎、塊

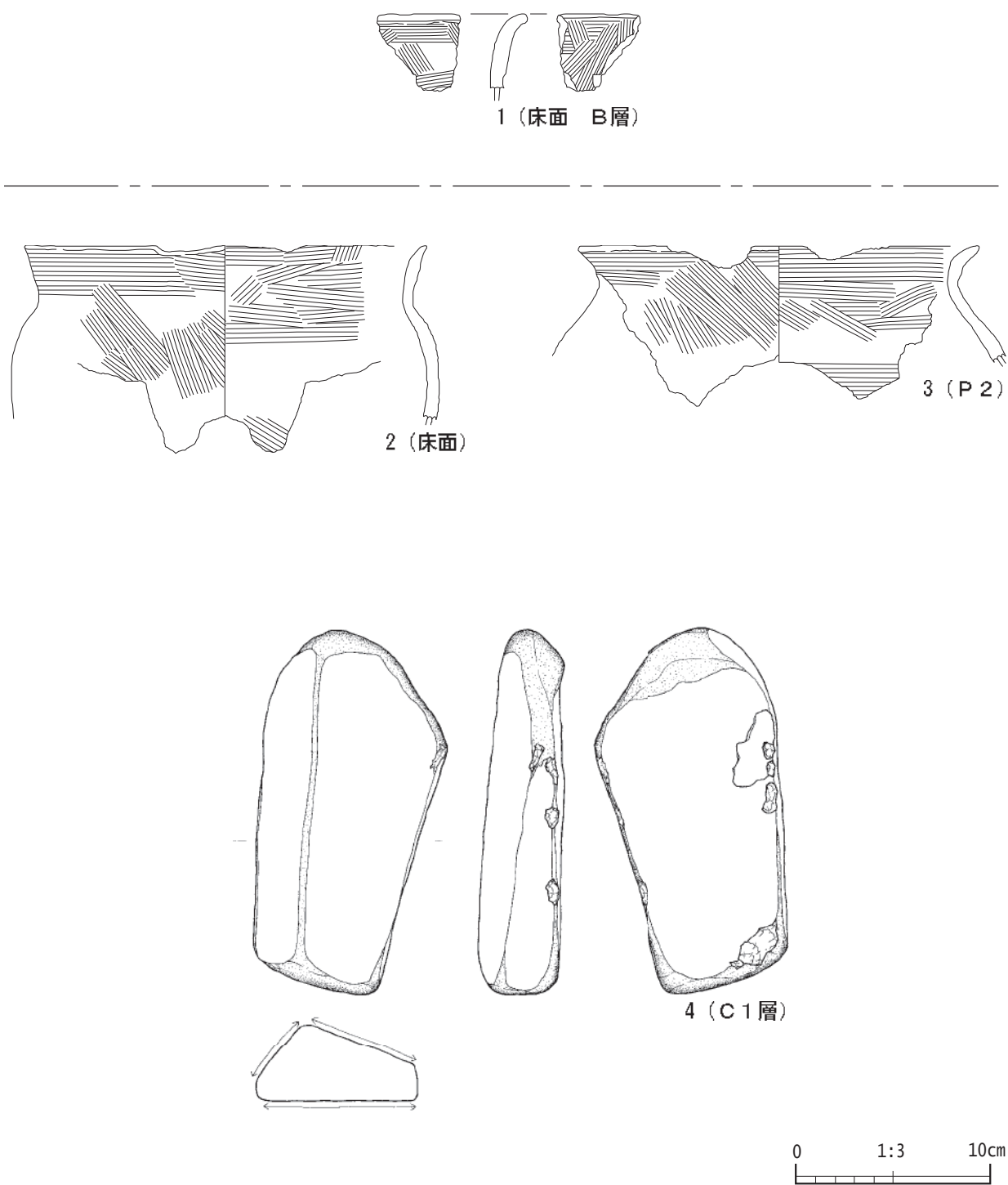


图83 24号、25号竖穴住居跡出土遺物

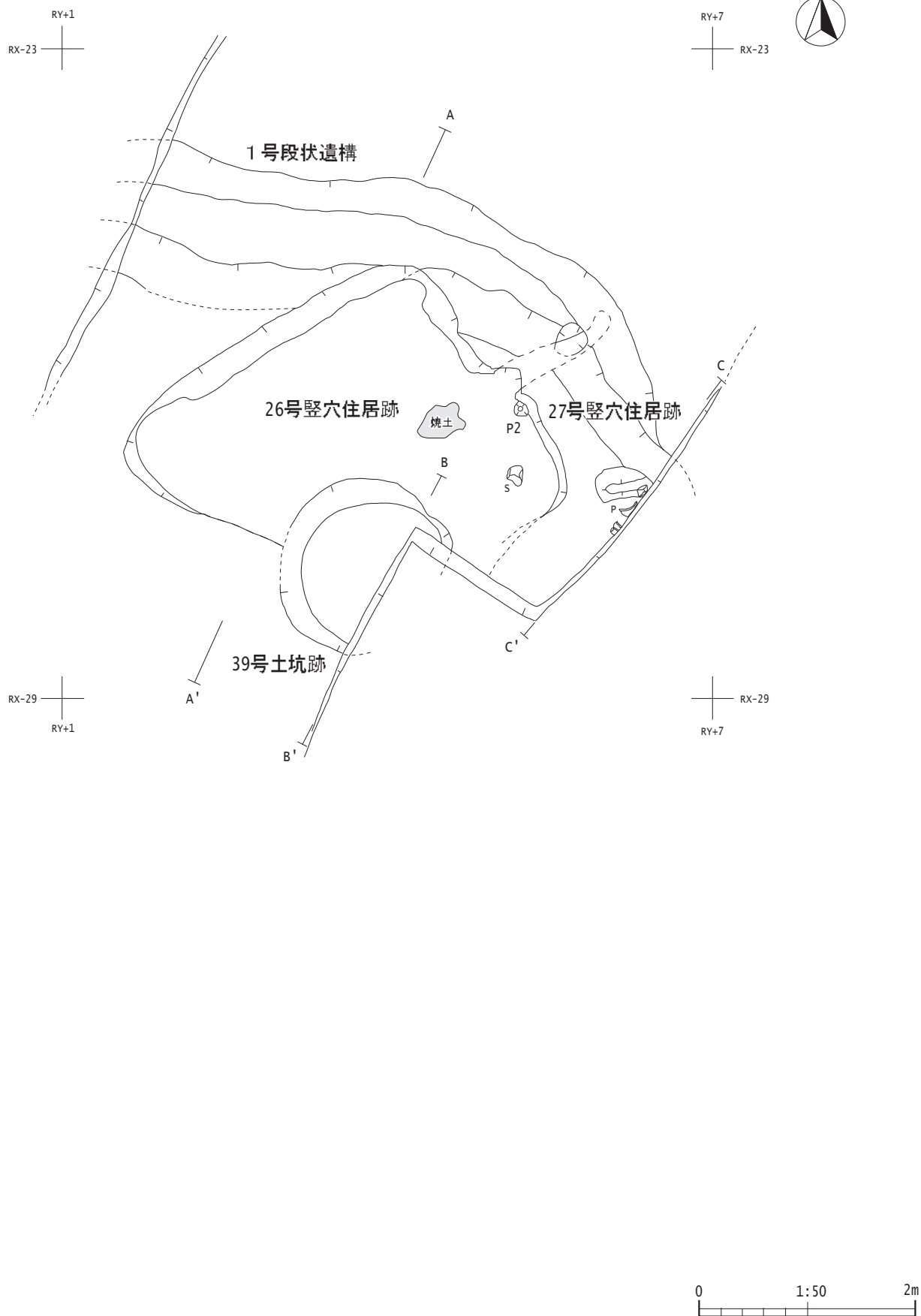


图84 26号、27号竖穴住居跡、1号段状遺構、39号土坑跡 平面

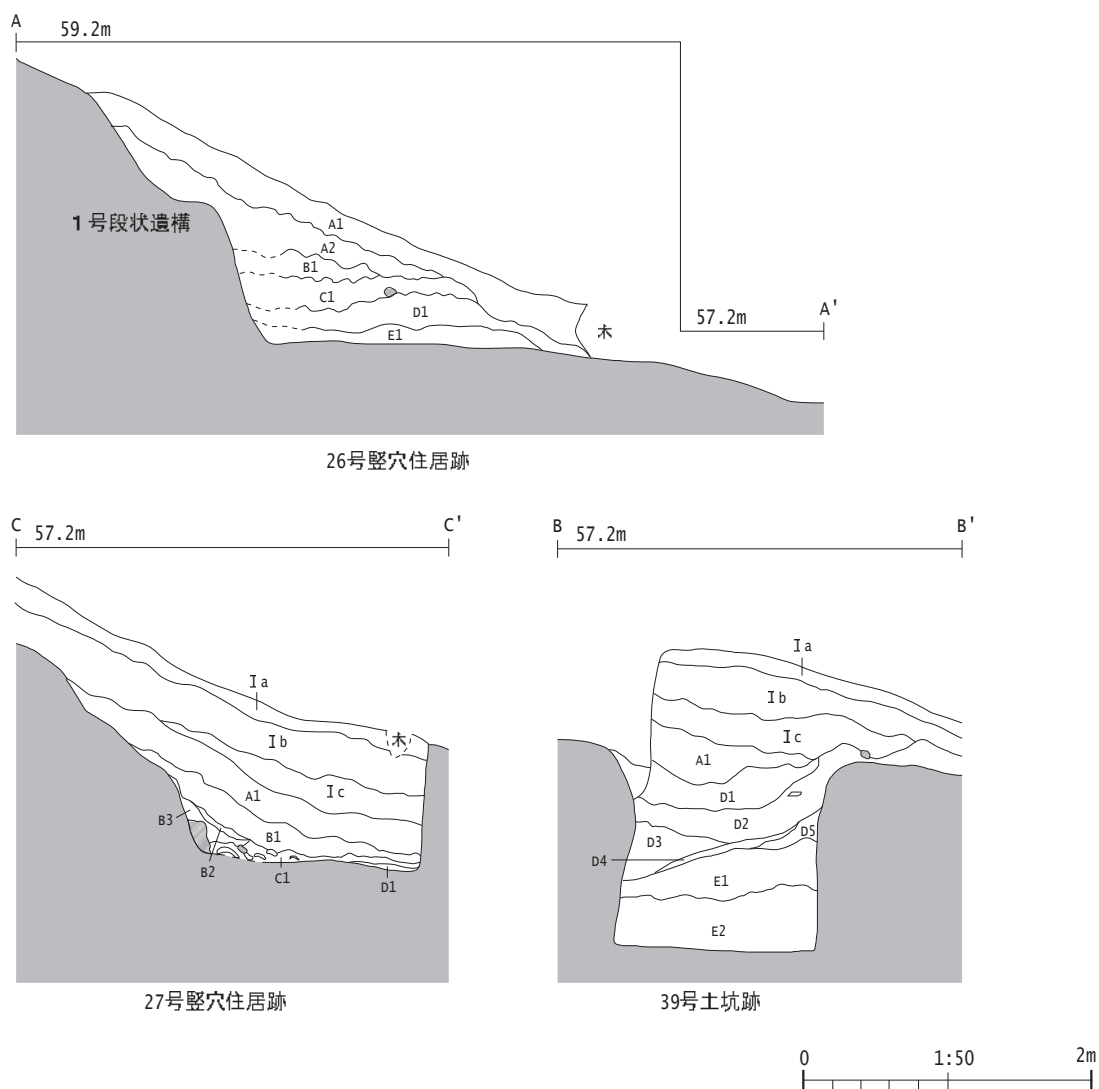


図85 26号、27号竪穴住居跡、1号段状遺構、39号土坑跡 断面

26号、27号竪穴住居跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ・構造・混入物
26号竪穴住居跡	A1	10YR4/4 褐 砂壤土	10YR5/6 黄褐 凝縮砂土 層状形状 3~7%
			10YR7/6 明黄褐 砂土 粒状塊状 5%
	B1	10YR5/6 黄褐 砂壤土	10YR7/6 明黄褐 砂土 粒状塊状 15%
	B2(軟質)	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR2/2 黒褐 壤土 層状 40%
	B3(軟質)	10YR6/6 明黄褐 砂壤土	10YR7/6 明黄褐 砂土 粒状 10%
	C1	10YR3/4 暗褐 壤土 層状	10YR4/6 褐 壤土
	D1	10YR4/6 褐 砂壤土	5YR4/8 灰土 粒 形状 10%
27号竪穴住居跡			5YR4/6 ブロック状土
			10YR4/6 褐 砂質壤土 1%
			10YR6/6 明黄褐 砂壤土 塊状 3%
	A1	10YR4/4 褐 砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐 砂壤土 塊 15%
	A2		鉄、礫、塊土跡
	B1	10YR6/6 明黄褐 砂壤土	A1 層に「10YR6/4 に近い黄褐」の土が 10% 混じる、炭や鉄滓を含む
	C1	10YR4/4 褐 砂壤土	固 中 塊
39号土坑跡			中、中、塊炭、礫
	D1	10YR6/6 明黄褐 砂壤土	固、中、塊粘土塊
	E1	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR5/6 黄褐 砂壤土 塊 5%
	E2	10YR6/4 に近い黄褐 砂壤土 塊 3%	中~固、中、塊炭
P2	C2	10YR6/6 明黄褐 砂壤土	鉄
			10YR7/6 明黄褐 砂土 粒状 1%

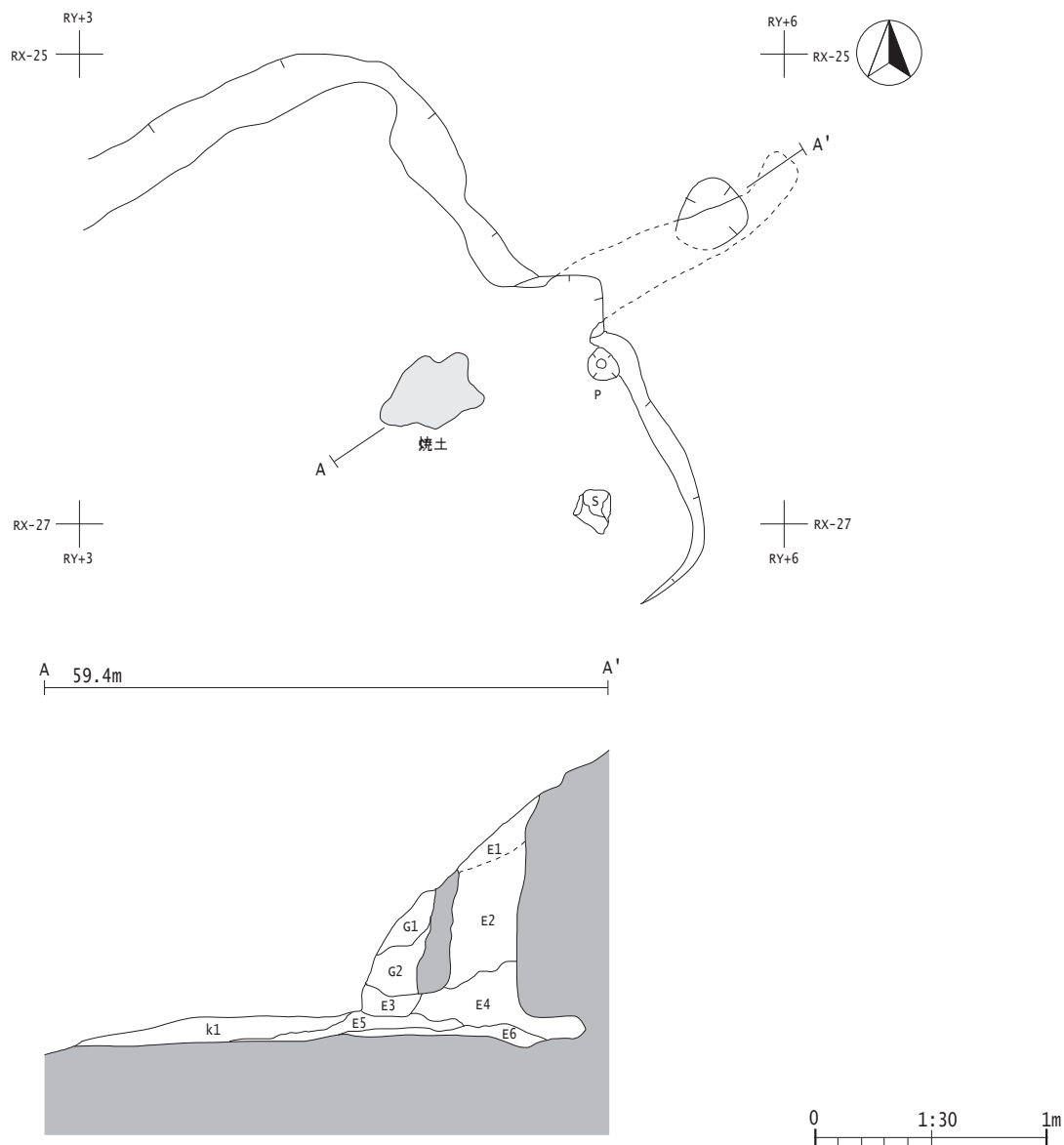


図86 26号竪穴住居跡カマド 平断面

39号土坑跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ・構造・混入物
39号土坑跡	A1 10YR4/4 褐 砂壤土	10YR5/6 黄褐 壤質砂土 礫状 (最上面) 5%	木炭入
	D1 10YR4/4 褐 砂壤土	10YR6/6 明黄褐 砂壤土 粒状7% 塊状7% (礫土半)	木炭入
		10YR4/6 褐 砂壤土 粒状1%	
	D2 10YR4/4 褐 砂壤土	10YR5/6 黄褐 壤質砂土 礫状2%	木炭入
		10YR6/6 明黄褐 砂壤土 粒状2%	
	D3 10YR4/6 褐 砂壤土	10YR6/6 明黄褐 壤土 ブロック状7%	木炭入
	D4 10YR3/4 暗褐 砂壤土	10YR4/6 褐 粉状2%	
		10YR7/6 明黄褐 粒状5%	木炭入
	D5 10YR5/6 黄褐 砂壤土	10YR7/6 明黄褐 砂土 粒状3%	木炭見られず
	E1 10YR6/6 明黄褐 壤質砂土	10YR4/4 褐 砂壤土 サクサク粒状3%	木炭入
	E2 10YR5/6 黄褐 壤質砂土	10YR2/6 砂土 粒状10%	
		10YR4/6 褐 壤土 粒状3%	木炭入

27号竪穴住居跡カマド 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ・構造・混入物
27号竪穴住居跡カマド	E1 10YR4/6 褐 砂壤土	10YR6/6 明黄褐 砂壤土 粒状1%	
	E2 10YR4/6 褐 砂壤土	10YR6/6 明黄褐 砂壤土 塊状3%	
	E3 10YR6/6 明黄褐 砂壤土	10YR5/6 黄褐 砂壤土 粒状2%	
		10YR7/6 明黄褐 砂土 粒状5%	
	E4 10YR4/6 褐 砂壤土	10YR6/6 明黄褐 砂壤土 塊状7%	
		10YR7/6 明黄褐 砂土 粒状3%	
	E5 10YR6/6 明黄褐 砂壤土	10YR7/6 明黄褐 砂土 粒状2%	
	E6 10YR3/2 黒褐 壤土	10YR6/6 明黄褐 砂壤土 粒状1~3% 含む (奥の方が3%)	
	k1 10YR5/6 黄褐 砂壤土	10YR6/6 明黄褐 砂壤土 粒状2%	
		10YR7/6 明黄褐 砂土 粒状2%	

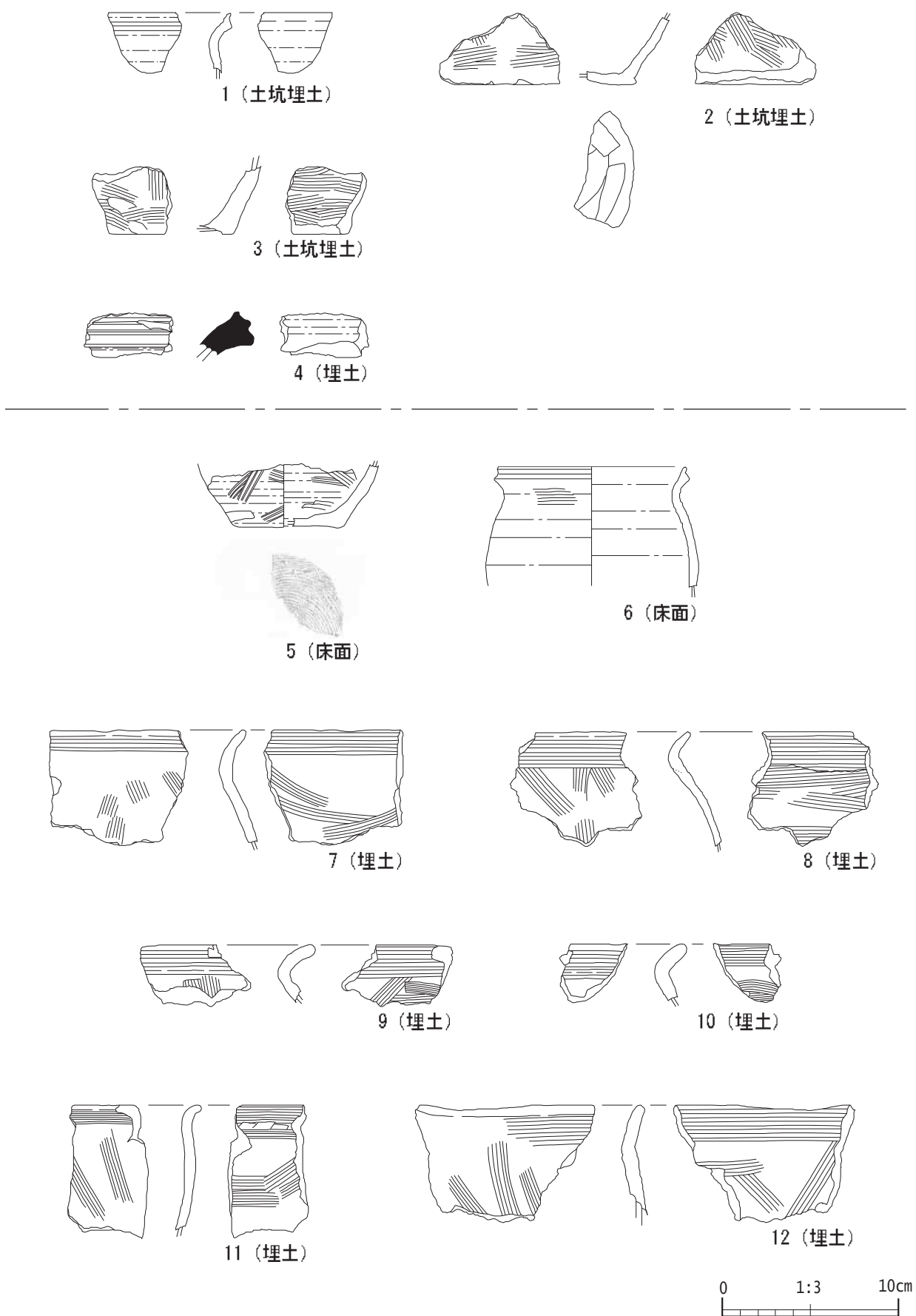


图87 39号土坑迹、26号竖穴住居迹出土遗物 (1)

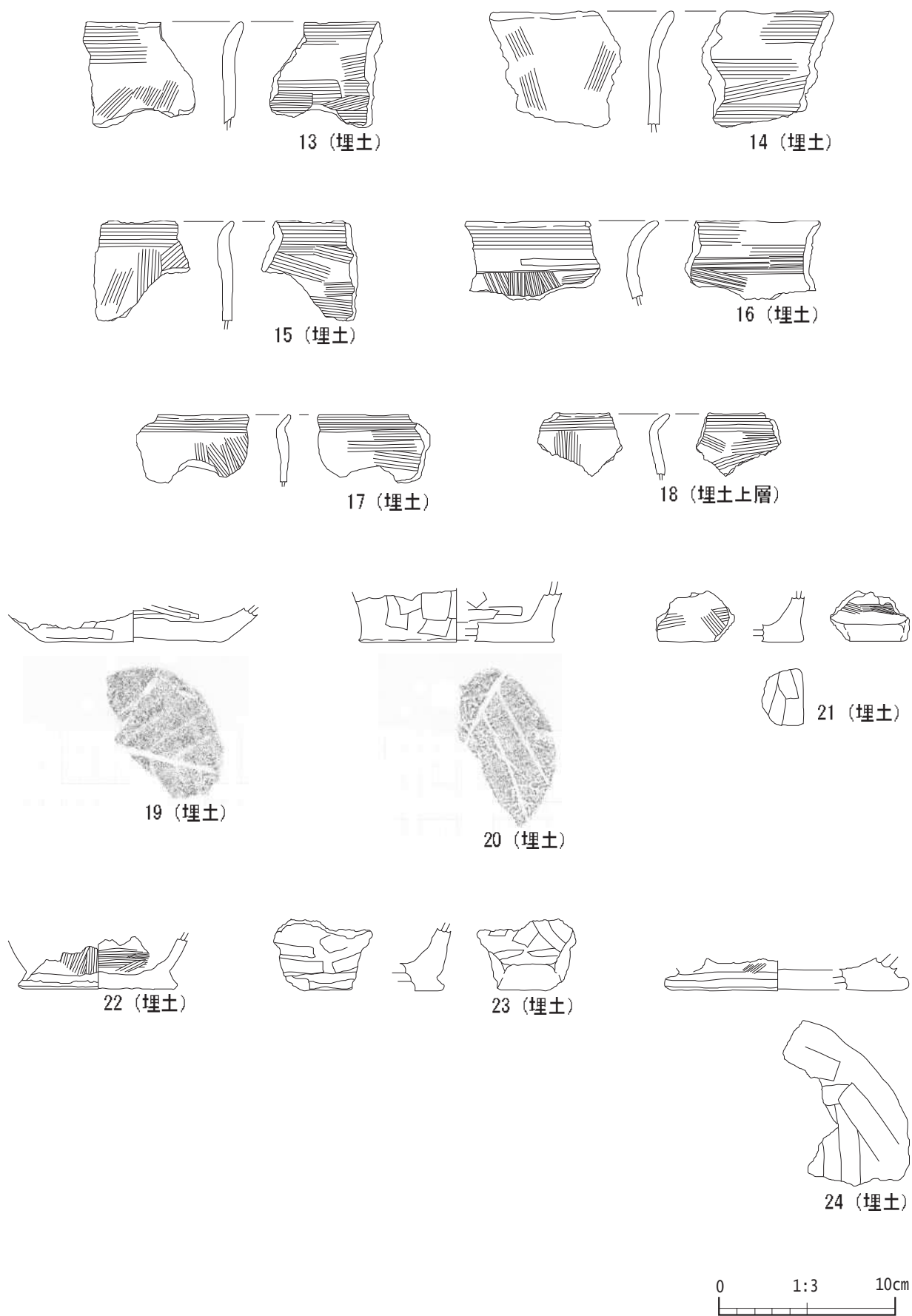


图88 26号竖穴住居跡出土遺物 (2)

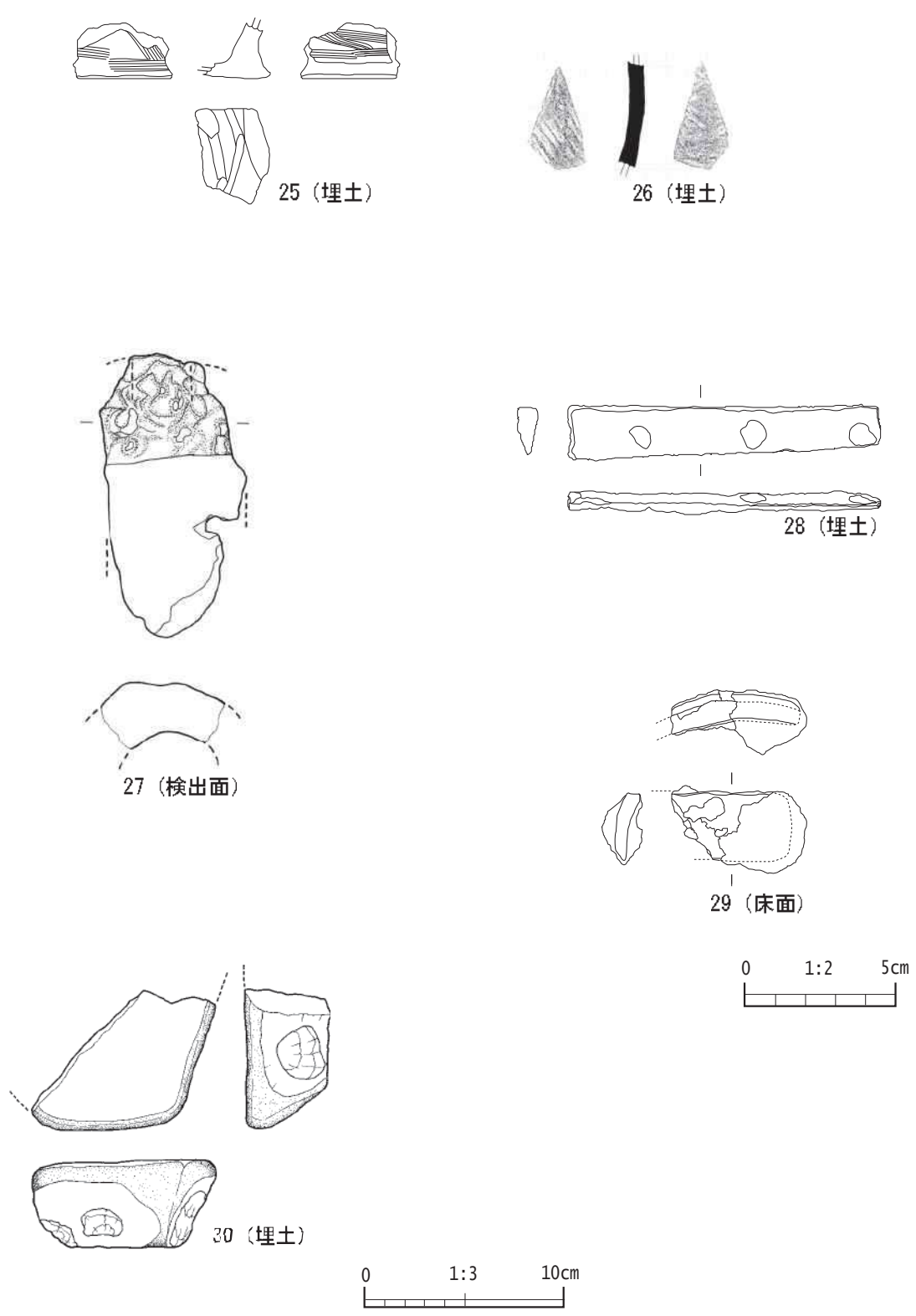


図89 26号竪穴住居跡出土遺物 (3)

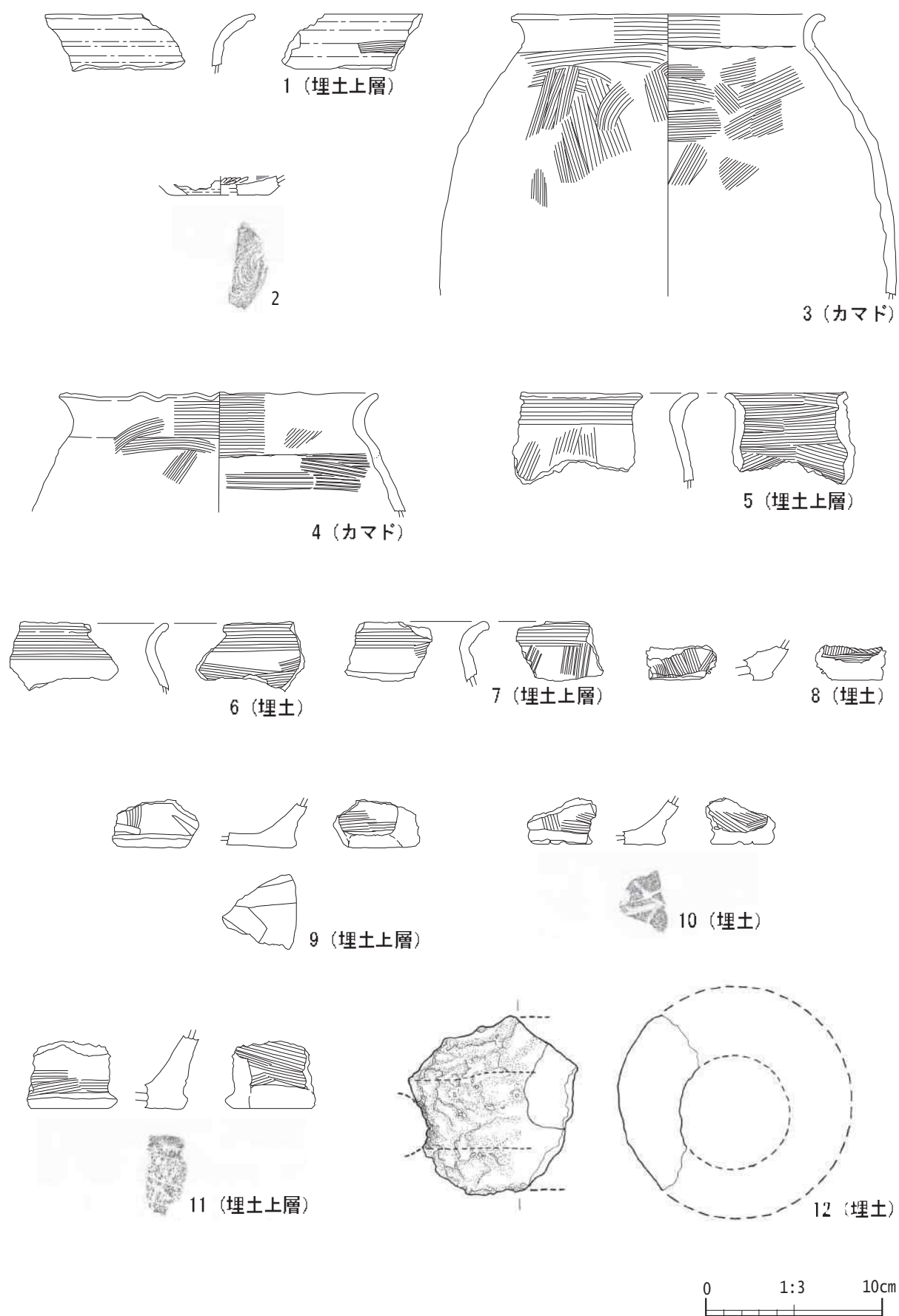


図90 27号竪穴住居跡出土遺物

28号、29号竪穴住居跡（図91）

調査区東寄りの南斜面に位置する。28号竪穴住居跡は29号竪穴住居跡を切る。

28号竪穴住居跡（図91）

平面形は隅丸方形である。規模は、東西8.5m、南北3.5mを測る。埋土はA～C層の3層に大別される。北壁のやや西寄りでカマド、その両側で周溝を検出した。カマドの周辺では、焼土遺構3基、小土坑跡8基検出した。また、点線で示した盛土範囲は、旧竪穴跡と思われる。盛土、貼床をして床面を作っている。床面で小土坑跡を検出している。

カマド跡（図92）

北壁のやや西寄りに設ける。くり抜き式で、煙道は下降して掘られているが、煙出しは確認できなかった。周辺には褐色土層が広がる。袖石を据えたと思われる小土坑跡は検出している。

焼土Ⅰ（図93）

カマドの南側に位置する。平面形は円形である。規模は径70cm、層厚は3cmである。焼土層k 1は固く焼き締まる。炉跡と思われる。

焼土Ⅱ（図93）

カマドの西側に位置する。平面形は不整楕円形である。規模は、1.0m×0.5m、層厚は2cmである。焼土層k 1層は軟質で焼き締まっていない。

焼土Ⅲ（図93）

焼土Ⅰの西側に位置する小土坑跡である。埋土に多量の炭を含む。焼土遺構とセットで使用されたものと思われる。

出土遺物（図95～97）

1～15、17～26は土師器の甕である。1～15はいずれも短い口縁部で、わずかに外反する。1～8は体部が膨らむ。9～15は体部の張出しは弱い。17～26は底部である。17、18は張出しをもたない。19～26の張出しは弱い。16はアカヤキ甕の口縁部である。22は底面にへう削り調整痕を残す。底面は、19～21、25はへう削り調整を施されるが、その他は摩滅し不明である。

27、28は土製品の羽口である。

29～31は鉄製品である。29は薄い板状の製品である。刀子の刃部か。30は筒状の製品である。31は細い角棒状の製品である。

32は砥石である。方形礫の2面を利用する。この他に鉄滓1.2kgが出土している。

盛土範囲（図94）

28号竪穴跡の南側に位置する。平面形は隅丸方形である。旧竪穴を盛土、貼床をして床面を作ったものと思われる。A 1層は貼床層である。床面から小土坑跡が検出している。遺物は出土していない。

59号土坑跡（図94）

18号竪穴住居跡の盛土域に位置し、掘り込み面は、貼床の下である。平面形は楕円形である。規模は、1.4m×1.0m、深さ0.5mである。埋土は5層に分かれる。遺物は出土していない。

29号竪穴住居跡（91図）

28号竪穴住居跡の東に位置し、同遺構に切られる。竪穴の東端部のみの検出である。平面形は隅丸方形と推測される。規模は、東西2.5mを測る。カマド、周溝などは検出されず、床面から、円形（P

1)、方形(P2)の土坑跡が出土している。P9の規模は、1.3m×1.2m、深さ1.1mである。埋土は4層に分かれる。

出土遺物(図98)

1～8は土師器の甕である。1～4は口縁部である。1、2は短く、外反する。3、4は直に立ち上がる。5～8は底部である。張出しは弱い。6は底面に木葉痕を残し、8はヘラ削り調整を施される。

9はP8から出土した須恵器の底部である。外面にタタキメを残し、内面にはハケメ調整を施される。底面はヘラ削り調整される。

10は土製品である。筒状の製品と思われる。明瞭な輪積痕をもち、赤褐色に焼ける。

11、12は沈線に円形刺突文を施された弥生土器である。この他に鉄滓130gが出土している。

58号土坑跡(図91)

18号竪穴住居跡の南東部に位置し、同遺構に切られる。平面形は隅丸方形である。規模は、1.3m×1.2m、深さ0.7mを測る。埋土はA～E層の5層に分かれる。A1層は多量に炭を含んでおり、18号竪穴住居跡の生活面に連なると判断し、土坑跡を旧と考えた。遺物は出土していない。

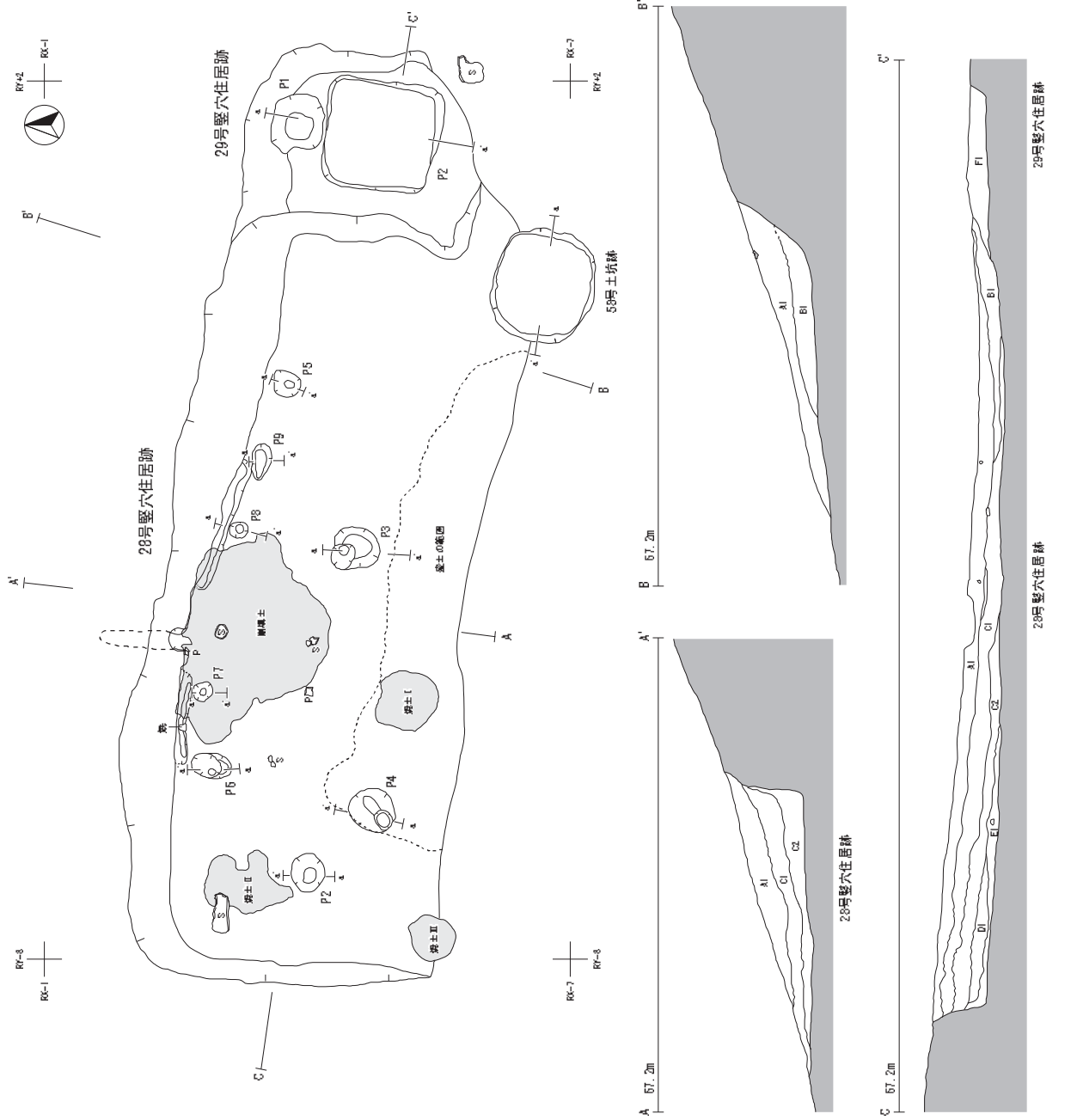


图91 28号、29号竖穴住居跡、58号土坑跡 平断面

28号、29号壁穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
28号、29号壁穴住居跡	A1	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 10%	固さ・構造・混入物
			10YR5/6 黄褐 砂壤土 塊 5%	中、中、塊 土群
	B1	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 10%	中〜固、疎、塊 真砂土 (多)
			10YR4/6 褐 砂壤土 塊 3%	
	C1	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 15%	中、疎、塊
	C2	10YR4/4 褐 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 10%	中〜軟、疎、塊
	D1			真砂土層
	E1	10YR3/4 暗褐 砂壤土	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 10%	軟、中、塊、炭、焼土、土群 (多)
	F1	10YR4/4 褐 砂壤土	10YR4/6 褐 砂壤土 塊 10%	中〜固 中 塊

28号壁穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
P1	a1	10YR3/3 暗褐 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊
			10YR4/4 褐 砂壤土 塊 10%	
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 20%	中〜固、中〜疎、塊 真砂土層
	c1	10YR4/4 褐 砂壤土 塊	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊	中、中、塊
	d1	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 10%	中、疎、塊
			10YR7/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 3%	
	d2	10YR4/4 褐 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 10%	中、疎、塊
	e1	10YR6/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 10%	中、疎、塊 真砂土
	e2	10YR6/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土 10%	中、中、塊 真砂土なし
P2	a1	10YR4/6 褐 砂	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 10%	中、中、塊
	b1	10YR4/4 褐 砂壤土 塊	10YR6/6 明黄褐 砂壤土 塊 3%	中、中、塊
P3	a1	10YR4/4 褐 砂壤土	10YR4/6 褐 砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊
			10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 3%	
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR7/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊、炭 (少)
	c1	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊
P4	a1	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR5/6 黄褐 砂壤土 塊 10%	中、中、塊
	b1	10YR7/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊
	c1	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊
			10YR4/4 褐 砂壤土 塊 5%	
P5	a1	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊
	a2	10YR6/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR7/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊
P6	a1	10YR5/6 黄褐 砂壤土	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 20%	中〜疎 中 塊 土群 (多)、炭 (多)
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR6/3 にぶい黄褐 砂壤土 塊 20%	軟、疎、塊 真砂土
P7	a1	10YR4/4 褐 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊
			10YR7/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 5%	
P8	b1	10YR4/4 褐 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 10%	軟、中〜疎、塊
P9	a1	7.5YR2/1 黒	10YR3/2 黒褐 砂壤土	軟、疎、塊、焼土
周溝	a1	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 5%	軟、疎、塊

29号壁穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
P1	a1	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 20%	中、中、塊
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR6/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊	軟、疎、塊、炭粒 (少)
	c1	10YR4/4 褐 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊
	d1	10YR7/4 にぶい黄褐		軟、疎、塊 真砂土層
P2	a1	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 20%	中、中、塊
	b1	10YR7/4 にぶい黄褐		固、疎、塊 真砂土層
	c1	10YR4/4 褐 明	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 15%	中、疎、塊
			10YR4/6 褐 砂壤土 塊 5%	
	c2	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊
	d1	10YR5/4 にぶい黄褐 砂壤土	10YR5/6 黄褐 砂壤土 塊 10%	中、中、塊
			10YR6/4 にぶい黄褐 砂壤土 塊 15%	

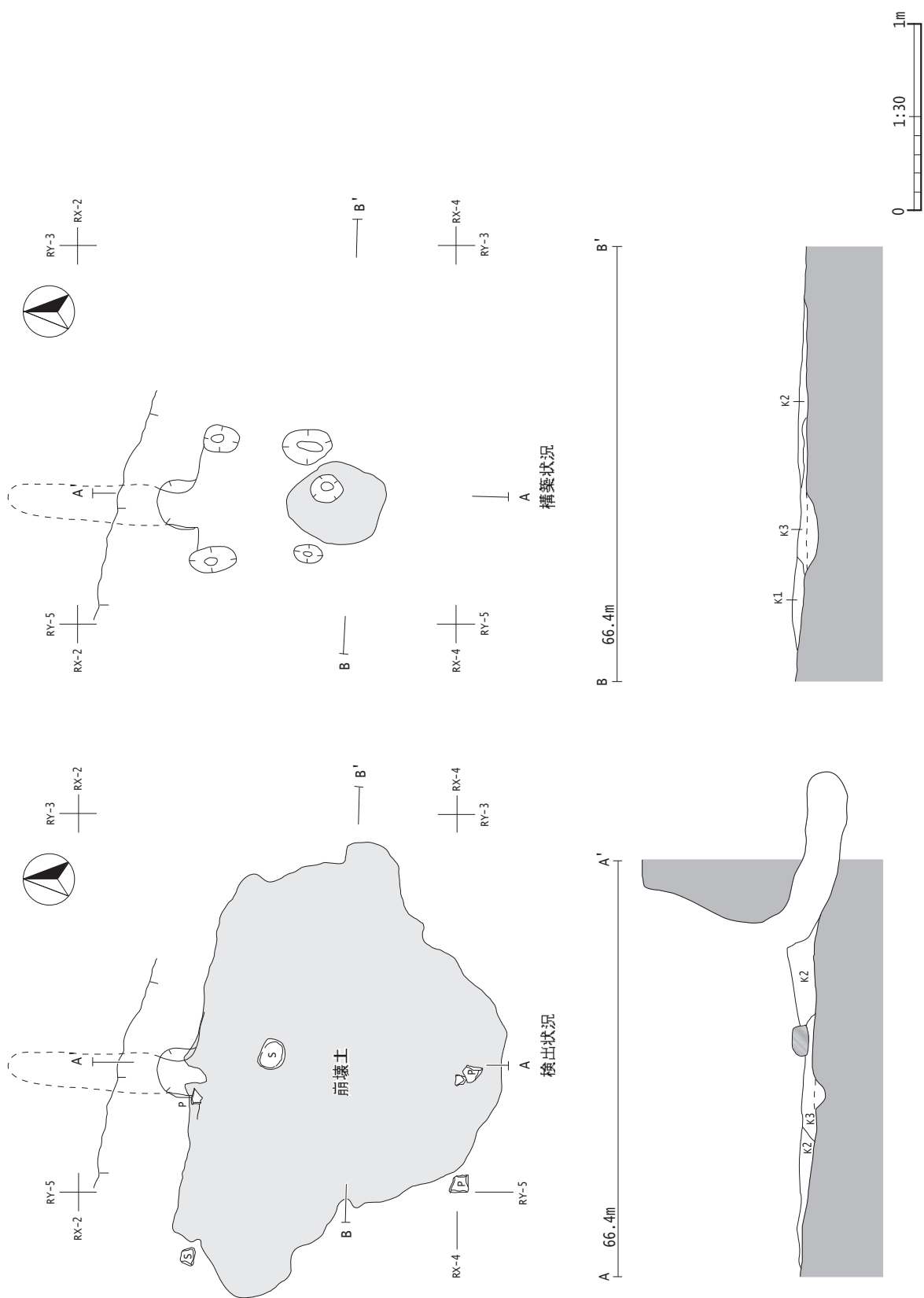


図92 28号竪穴住居跡カマド 平断面

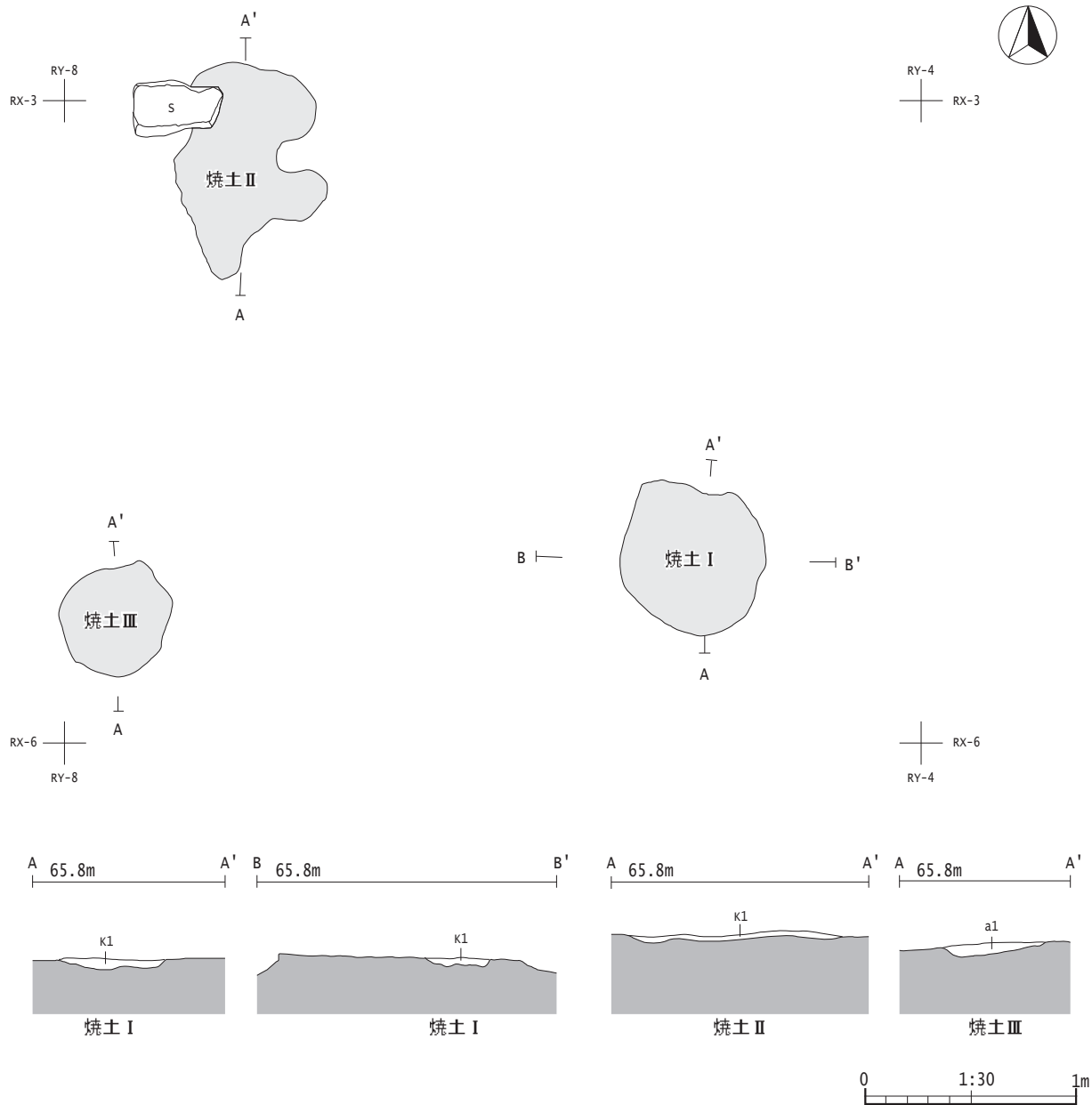


図93 28号竪穴住居跡焼土Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 平断面

28号竪穴住居跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ・構造・混入物
焼土	k1	7.5YR5/6 明褐色砂壤土	7.5YR3/4 暗褐色砂壤土 焼 20%
			10YR6/8 明黄褐色砂壤土 焼 10%
	k2	7.5YR2/2 黒褐色砂壤土	7.5YR2/1 黒砂壤土 焼 10%
			7.5YR5/4 灰赤い砂壤土 焼 5%
	k3	7.5YR5/4 灰赤い砂壤土	7.5YR5/6 明褐色砂壤土 焼 10%
焼土Ⅰ	k1	5YR5/4 灰赤い砂壤土	7.5YR5/6 明褐色砂壤土 焼 10%
焼土Ⅱ	k1	7.5YR4/6 褐色砂壤土	5YR5/8 明赤褐色砂壤土 焼 10%
			7.5YR5/8 明褐色砂壤土 焼 10%
焼土Ⅲ	k1	7.5YR4/4 褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 焼 10%
			中、中、焼炭、炭(多)、粘土(多)、10YR7/4 灰赤い黄褐色

26号竪穴住居跡

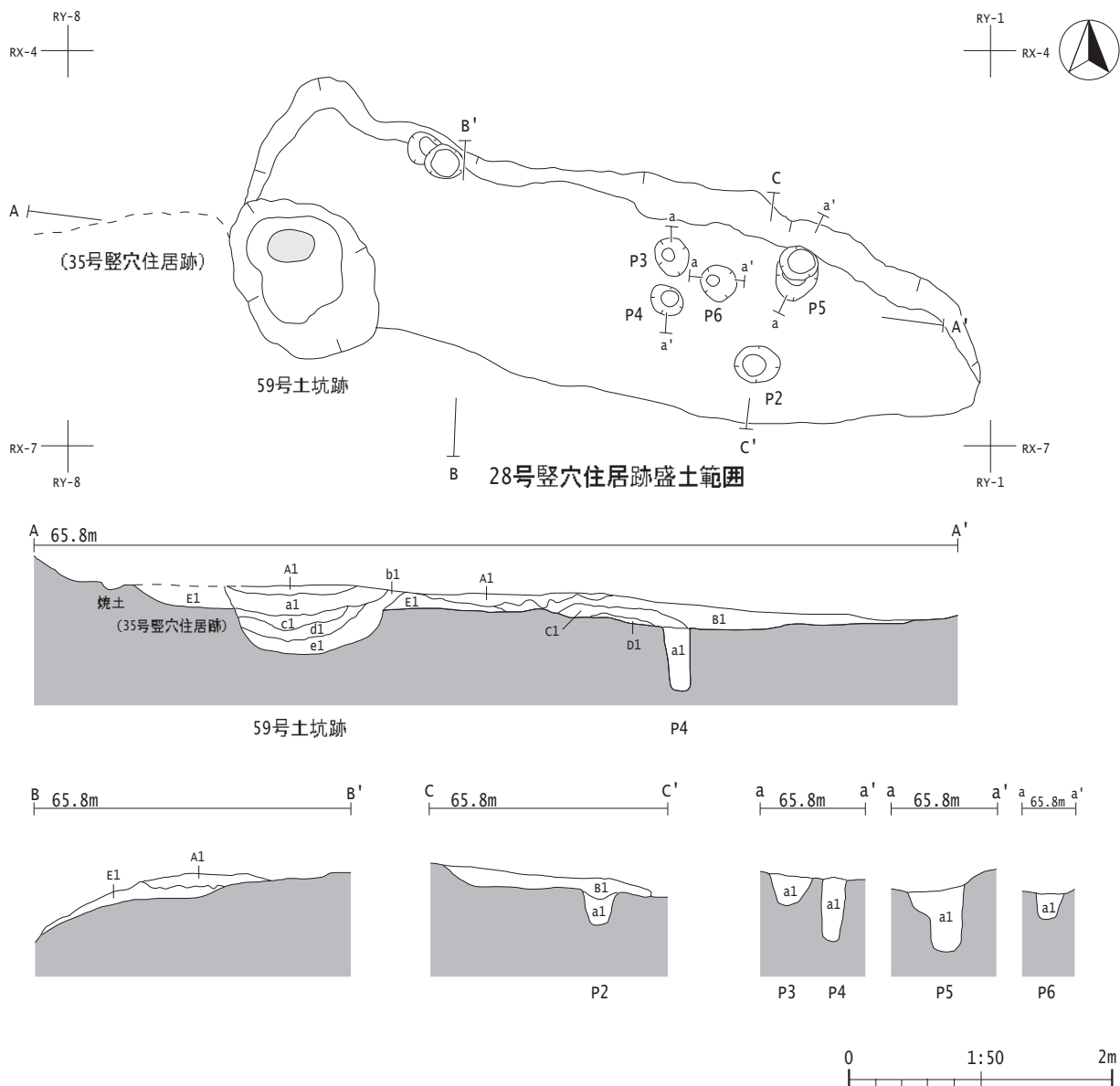


図94 28号竪穴住居跡盛土範囲、59号土坑跡 平断面

28号竪穴住居跡盛土部分 土層注記表

層名		基本土	混入土	国さ・構造・混入物
28号竪穴住居跡盛土部分	A1	10YR7/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR6/4 に近い黄褐色 砂壤土 埴 10%	国、中、埴、貼床
	B1	10YR5/4 に近い黄褐色 砂土	10YR4/4 褐色 砂壤土 埴 10%	国、中、埴
	C1	10YR6/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 埴 10%	国、中、埴、真砂土
	D1	10YR4/3 に近い黄褐色 砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 埴 10%	
	E1	10YR7/4 に近い黄褐色	10YR3/4 暗褐色 砂壤土 埴 10%	中、中、埴
			10YR4/6 褐色 砂壤土 埴 5%	国、埴、埴、真砂土

28号竪穴住居跡盛土部分 土層注記表

層名		基本土	混入土	国さ・構造・混入物
P1	a1	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 埴 10%	国、埴、埴
	b1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 埴 20%	中～国
	c1	10YR6/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 埴 10%	国、埴、埴、真砂土
	d1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 埴 10%	中、埴、埴
	e1	10YR3/3 暗褐色 砂壤土	10YR2/1 黒 砂壤土 埴 10%	中、埴、埴、炭
P2	a1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR3/4 暗褐色 砂壤土 埴 10%	然、埴、埴
			10YR4/6 褐色 砂壤土 埴 10%	
P3	a1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR3/4 暗褐色 砂壤土 埴 10%	然、埴、埴
P4	a1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR3/4 暗褐色 砂壤土 埴 10%	然、埴、埴
P5	a1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR3/4 暗褐色 砂壤土 埴 10%	然、埴、埴
P6	a1	10YR2/1 黒 砂壤土	10YR7/4 に近い黄褐色 砂壤土 埴 15% 真砂土	然、中、埴
			7.5YR5/4 に近い褐色 砂壤土 埴 3%	

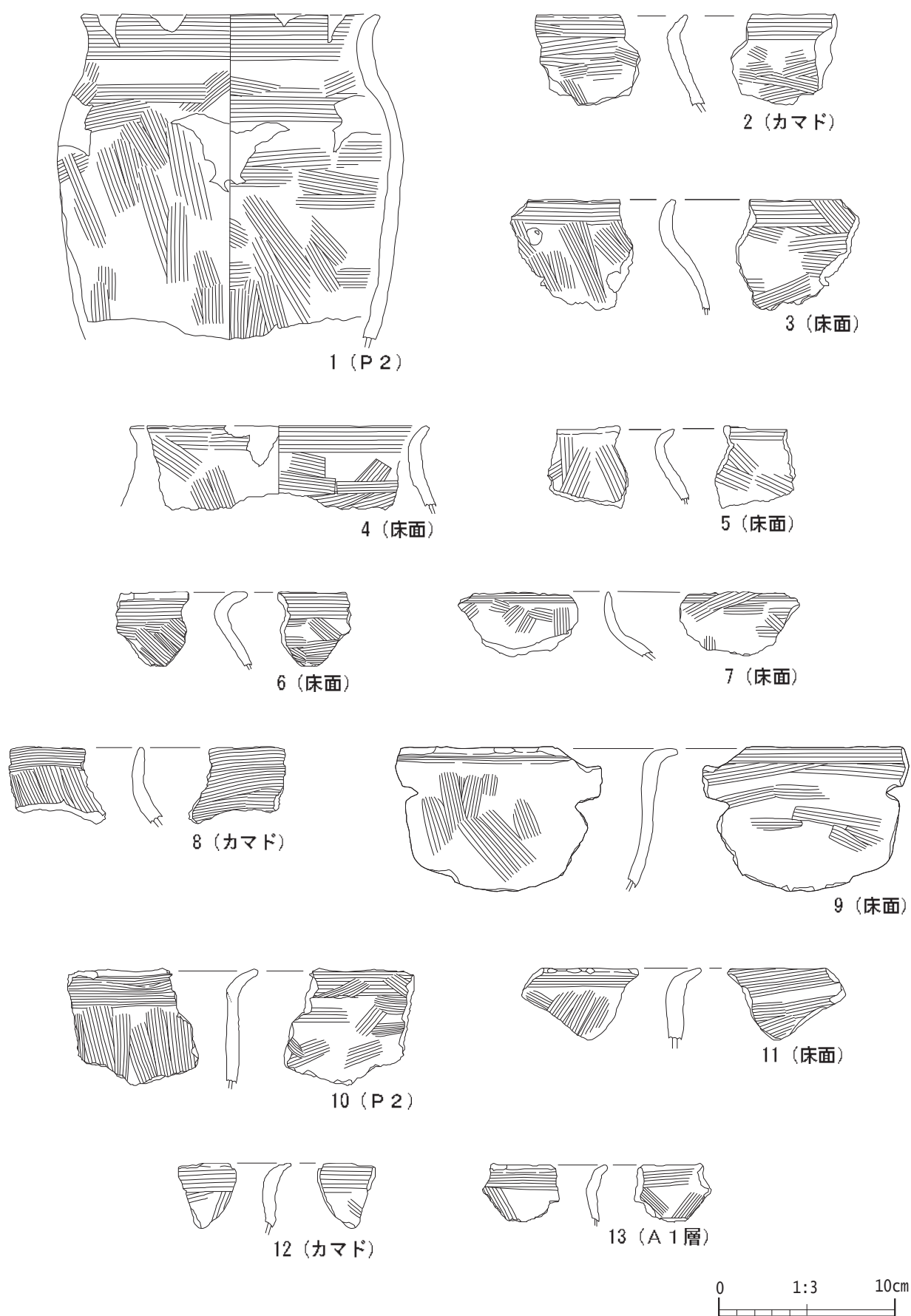


図95 28号竪穴住居跡出土遺物 (1)

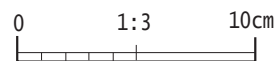
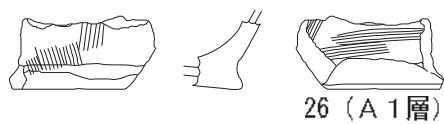
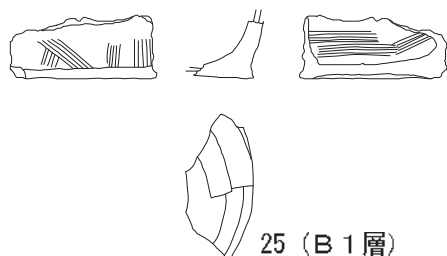
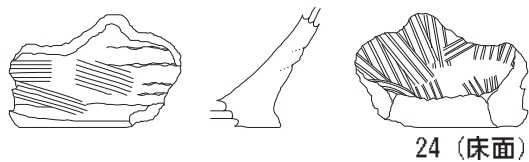
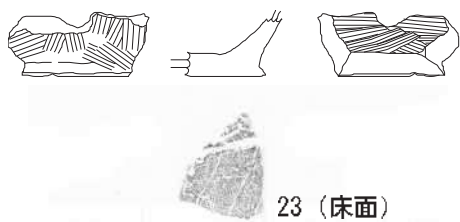
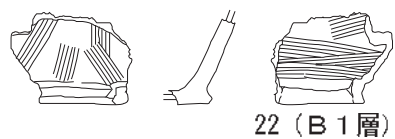
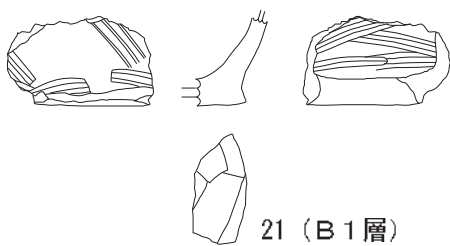
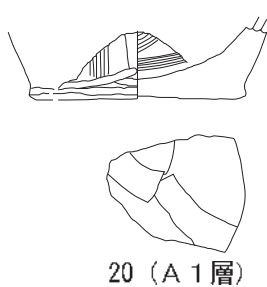
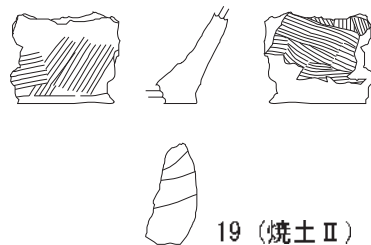
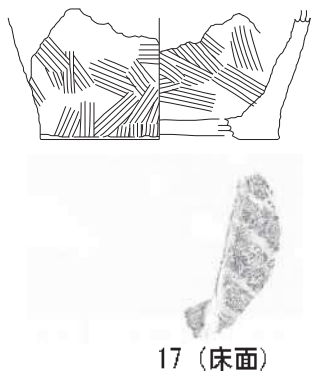
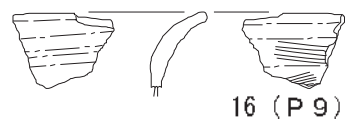
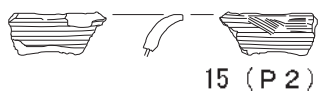
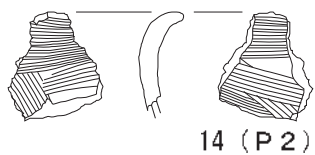


図96 28号竪穴住居跡出土遺物 (2)

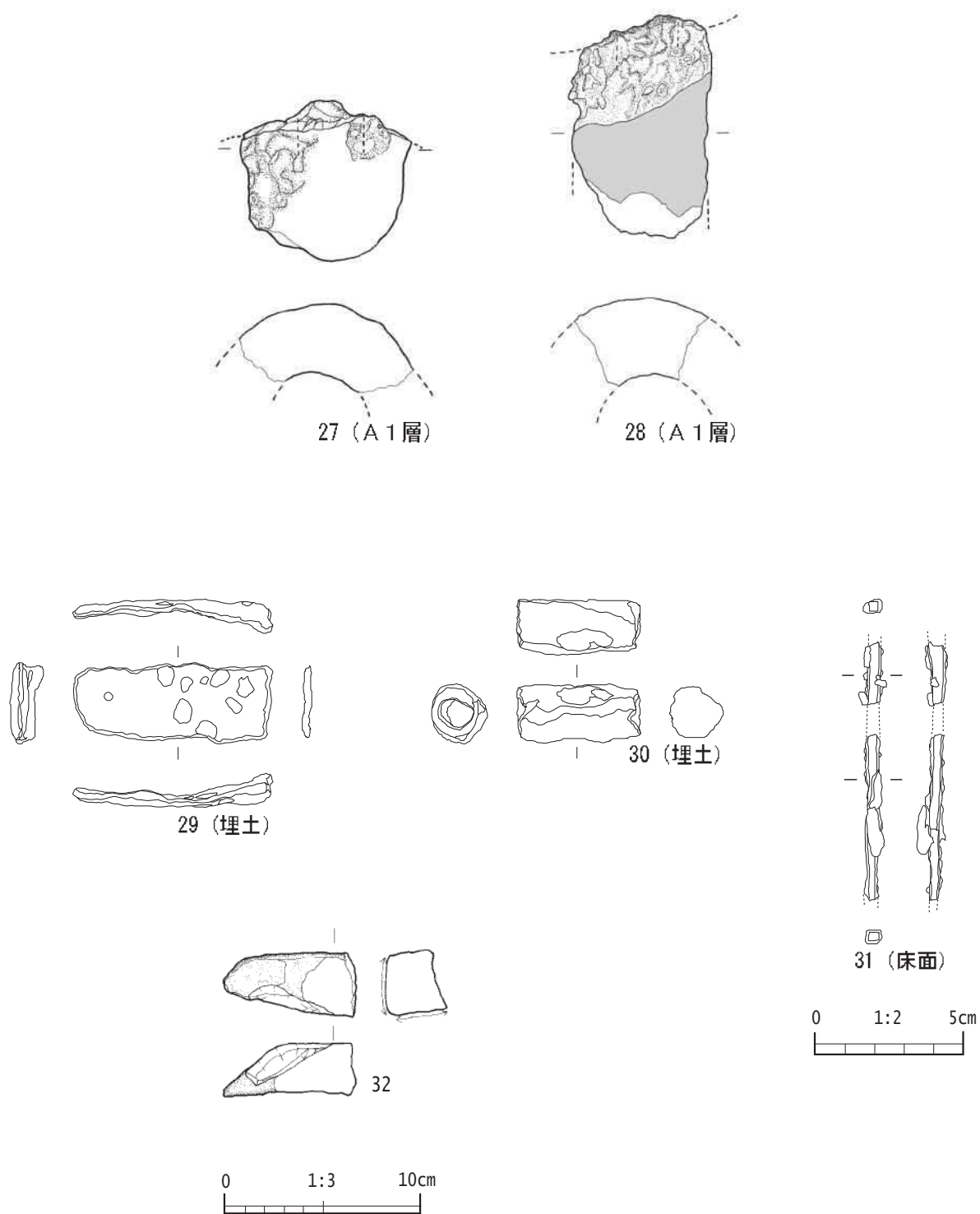


図97 28号竪穴住居跡出土遺物 (3)

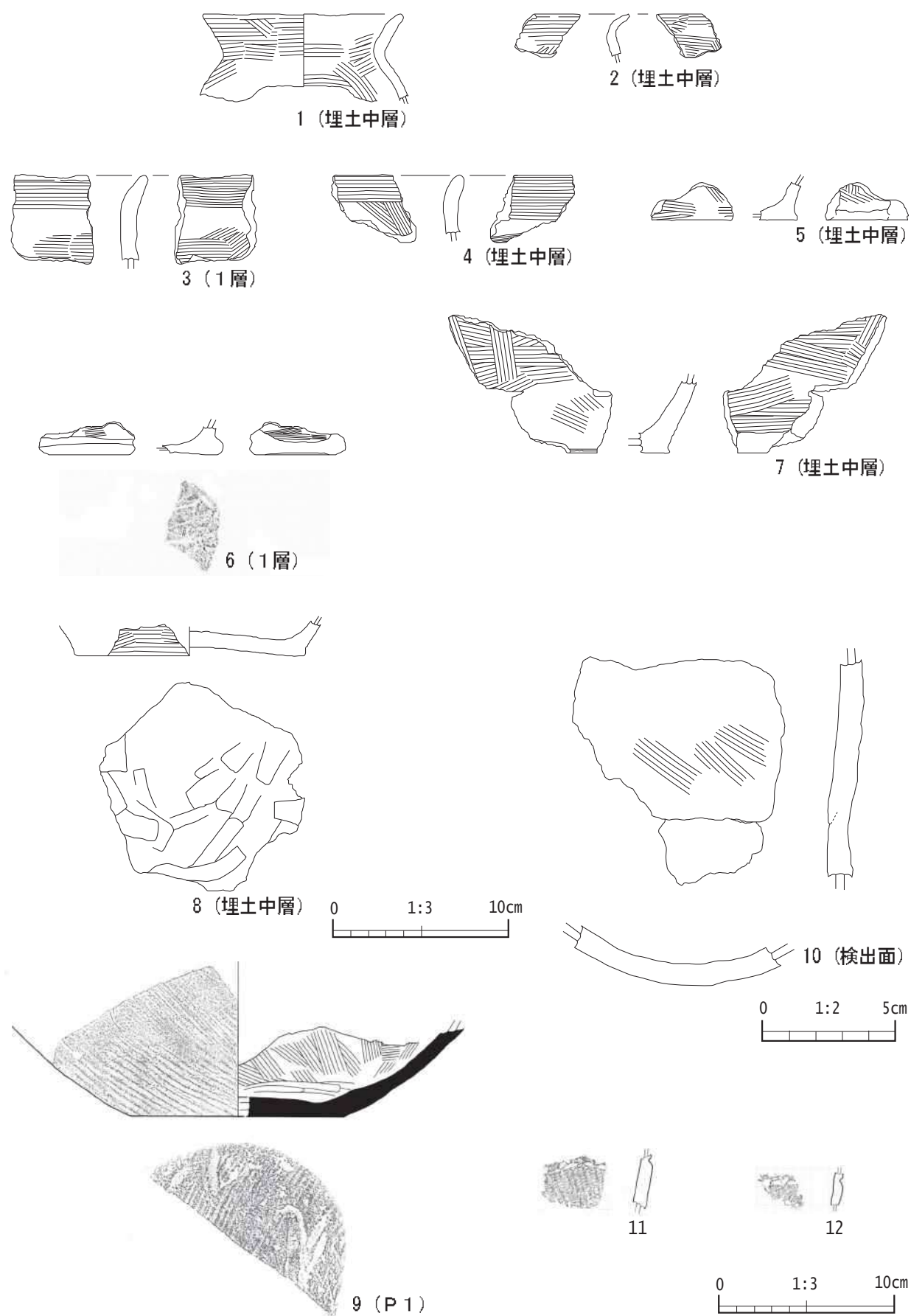


图98 29号竖穴住居跡出土遺物

30号、31号竪穴状遺構（図99）

28号、29号竪穴住居跡の北側に並ぶ遺構である。同遺構に切られる。周溝を伴う範囲を31号としたが、同じレベルで平坦面が西に延びており、30号との境界は明瞭ではない。周溝を伴う31号の壁はやや傾斜し、30号の壁は直に立ち上がる。検出規模は、30号が東西7.0m、31号が東西6.0mを測る。埋土は同じで、3層に分かれる。時期差はない。31号は40号土坑跡に切られている。

いずれの遺構からも、カマド跡、土坑跡などは検出していない。遺物は出土していない。

40号土坑跡（図99）

31号竪穴状遺構の東に位置し、同遺構を切る。平面形は円形である。規模は、径1.5m、深さ0.9mを測る。埋土は9層に分かれる。遺物は埋土から土師器片が出土している。

2号段状遺構、32号竪穴住居跡、41号、42号土坑跡、1号炉跡（図100、101）

2号段状遺構が30号竪穴状遺構から西の39号竪穴住居跡に延びている。41号、42号土坑跡が2号段状遺構を切る。2号段状遺構から南に下る斜面に、32号竪穴住居跡、1号炉跡が並ぶ。

2号段状遺構（図100、101）

30号竪穴状遺構から39号竪穴住居跡を連絡する。検出規模は、東西約8.0m、南北約1.0mを測る。埋土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

41、42号土坑跡（図100、101）

41号土坑跡は浅い半円形の土坑跡である（埋土A 1層）。42号土坑跡を切る。遺物は出土していない。

42号土坑跡の平面形は円形である。規模は、径1.5m、深さ0.9mを測る。埋土は4層に大別される。C 1層は焼土層、D 1層は真砂土層である。E 1層まで埋まった時点で炉として使われた可能性がある。遺物は出土していない。

43号土坑跡（図100、101）

42号土坑跡の南に位置する。1号炉跡を切る。柱穴状の土坑跡である。周辺の遺構との共伴関係は不明である。遺物は出土していない。

32号竪穴住居跡（図100、101）

42号土坑跡の南に位置する。平面形は円形に近い隅丸方形である。土坑状の掘り込みにカマドを設けた形状である。規模は、2.2m×2.0m、深さ0.6mを測る。埋土は2層に大別される。カマドを北東壁に設けている。周溝、柱穴跡は検出していない。

カマド跡（図102）

くり抜き式である。煙道は水平に掘り込み、煙出しは垂直に立ち上がる。k 3は粘土層、k 4が焼土層、k 5が炭層である。

出土遺物（図103）

1～3は土師器の甕である。1、2は口縁部である。いずれも短く、わずかに外反する。3は底部である。張出しはない。

4は鉄製品である。角釘である。

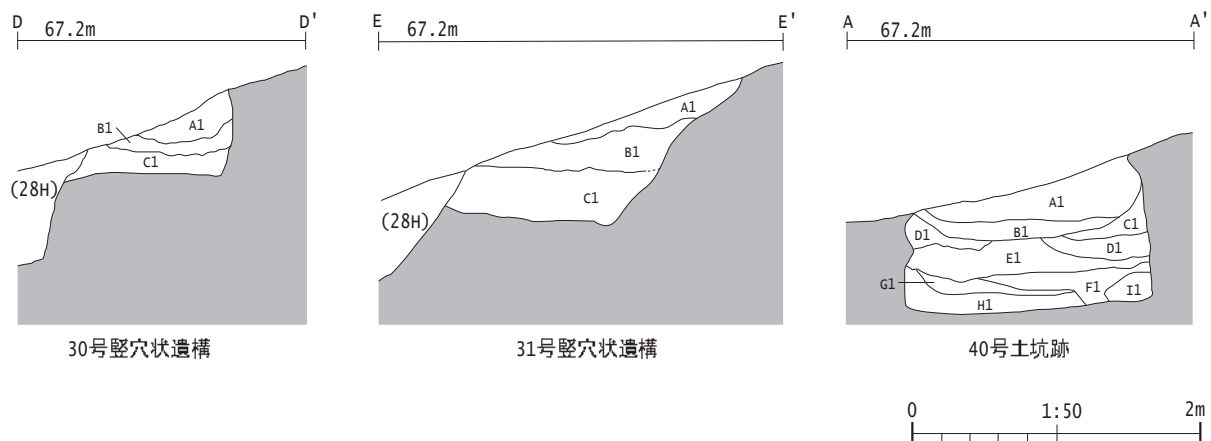
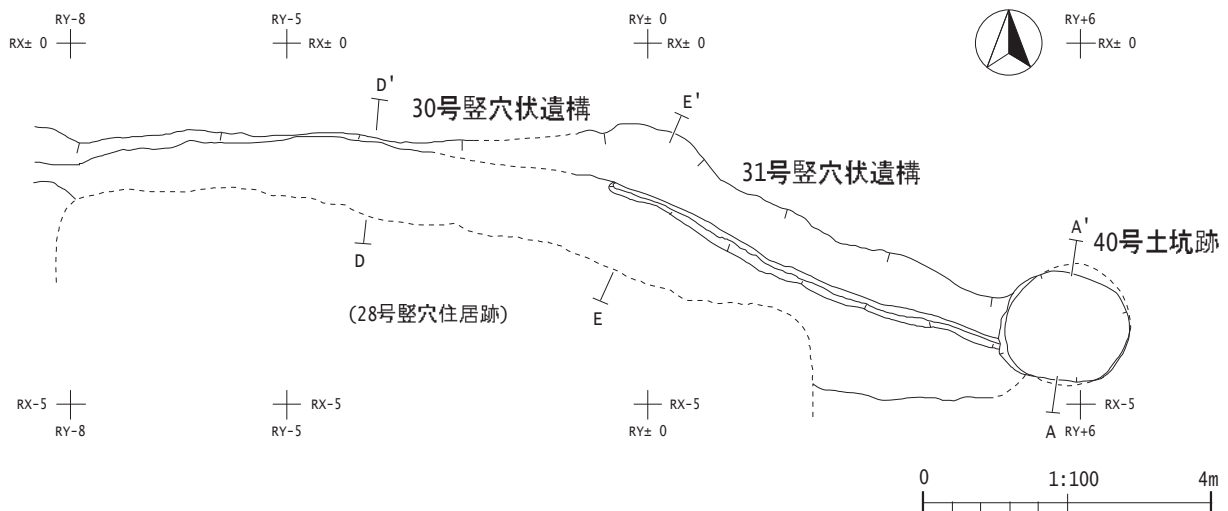


図99 30号、31号竖穴状遺構、40号土坑跡 平断面

30号、31号竖穴状遺構 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
30号竖穴状遺構	A1	10YR4/4 褐砂壤土	10YR4/6 褐砂壤土 塊 10%	中、軟、塊
	B1	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 塊 15%	中、軟、塊
	C1	10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 塊 10%	中～固、疎、塊
31号竖穴状遺構			10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土 塊 5%	
				記載なし

40号土坑跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
40号土坑跡	A1	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR7/4 にぶい黄褐色砂壤土 塊 10%	中、中、塊
			10YR7/6 明黄褐色砂壤土 塊 3%	
	B1	10YR4/4 褐砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊
	C1	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR7/4 にぶい黄褐色砂壤土 塊 20%	中、疎、塊
	D1	10YR4/4 褐砂	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 塊 10%	中、中、塊
	E1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR7/4 にぶい黄褐色砂壤土 塊 20%	中、中、塊
			10YR4/4 褐砂壤土 塊 10%	
	F1	10YR4/4 褐砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 塊 10%	中、中、塊
			10YR7/4 にぶい黄褐色塊粒 3%	
	G1	E1 と同じ		
	H1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土 塊 15%	中～固、中、塊
			10YR4/4 褐砂壤土 塊 10%	
	I1	10YR7/4 にぶい黄褐色真砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土 塊 10%	中、中、塊

1号炉跡（図104）

32号竪穴住居跡の西に位置する。34号竪穴住居跡を切る。焼土の検出面は不整楕円形である。南北2.2m×1.0mを測る。構築面の平面形は、凸形の掘り込みである。北側で小土坑跡を1基、南側で2基検出している。東側の土坑には礫が据えられていた。中央西側に礫を据えている。k 1層は廃棄された焼土層である。d層、e層は粘土層である。k 2層は、焼土、粘土の混じった混濁層で、羽口、土器などを含む。南側で焼成面を確認している。

出土遺物（図105）

1はアカヤキの坏である。底部との境が不明瞭で、厚手である。内湾して立ち上がる。内外面にナデとヘラ削り調整を施される。

2～4は土製品の羽口である。4は外径9.0cm、内径3.0cmを測る。

5は砥石である。長方形礫を使い、2面の磨面をもつ。この他に鉄滓2kgが出土している。

43号土坑跡（図100、101）

1号炉跡の西に位置する。1号炉跡を切る。柱穴状の土坑である。周辺の遺構との相伴関係は不明である。

33号竪穴住居跡（図106）

調査区中央の南斜面に位置する。42号竪穴住居跡を切る。平面形は隅丸の正方形である。規模は、4m×4mである。埋土は6層に分かれる。カマドは北壁に設けられる。東壁際で小土坑跡2基、床面南で中規模の土坑跡1基、カマドの西側と、南東隅で周溝を検出している。

カマド跡（図107）

北壁のやや東寄りに設けられる。くり抜き式である。煙道は水平に掘り込まれ、煙出しは垂直に立ち上がる。k 2、k 5層は固い粘土層である。k 3層は、焼土、炭が多量に混入する軟質の暗褐色土層である。カマドの両側で袖石の据跡を確認している。

出土遺物（図108～112）

1、2は坏である。1はアカヤキの坏である。内湾して立ち上がる。底面は摩滅し、調整痕不明である。2は口クロ成形の坏である。内黒処理され、内面にヘラミガキを施される。

3はアカヤキ甕の口縁部である。

4～24は土師器の甕である。4、5は口縁～体部である。口縁部は短く、外反する。5の体部は強く膨らみ、球胴形を呈す。6も体部は強く膨らみ、底部の張り出しは弱い。7～17は口縁部である。いずれも短く、体部の膨らみは弱い。18～24は底部である。28～21の張り出しは弱く、22～24は明瞭な張り出しをもつ。底面は、18、19は木葉痕を残す。22～24はヘラ削り調整される。

25～30は須恵器である。25は甕の頸部である。二列の櫛目波状文が施される。25は壺の体部である。外面の一部にヘラ削り調整痕を残す。27は長頸壺の頸部である。28は高台である。削り出し高台と思われる。29～30は体部片である。29は内外面をヘラ削り調整される。30は内外面にタタキメを残す。

31、30は土製品の羽口である。

33は鉄製品の刀子である。

34～36は砥石である。34は扁平方形礫を使い、磨面に条痕を伴う。35は4面の磨面をもつ角錐礫である。36も3面の磨面をもつ扁平方形礫である。37は大形扁平方形礫で、炭化物の付着面をもつ。鉄床石として用いられたものと思われる。この他に鉄滓911gが出土している。

34号竪穴住居跡（図113）

調査区中央の南斜面に位置する。35号竪穴住居跡を切り、33号竪穴住居跡に切られる。北壁のみの検出で平面形は不明である。検出規模は、東西7.0m、南北1.0mを測る。埋土は2層に分かれる。床面の東側で炉跡、小土坑跡2基を検出している。

炉跡Ⅰ（図114）

焼土の平面形は不整楕円形である。規模は、1.0m×0.6mを測る。堀くぼめて、北側に土器を埋設していた。k 3層は固く焼き締まる。掘方は円形である。径0.5m、深さは8cmを測る。

出土遺物（図115）

1、2は埋設されていた土師器の甕である。いずれも短い口縁部で、外反する。体部は膨らむ。

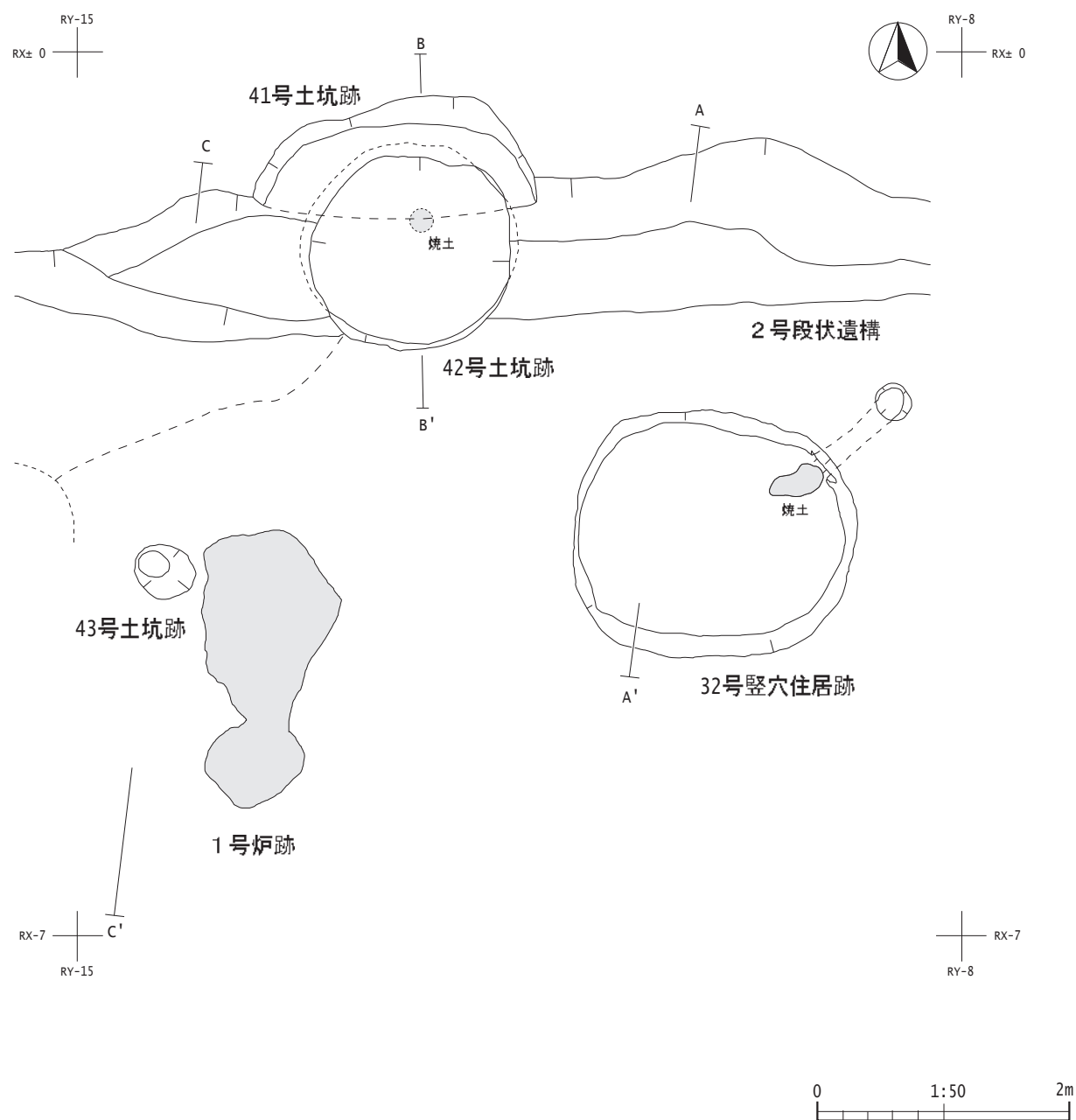


図100 32号竪穴住居跡、2号段状遺構、1号炉跡、41号、42号、43号土坑跡 平面

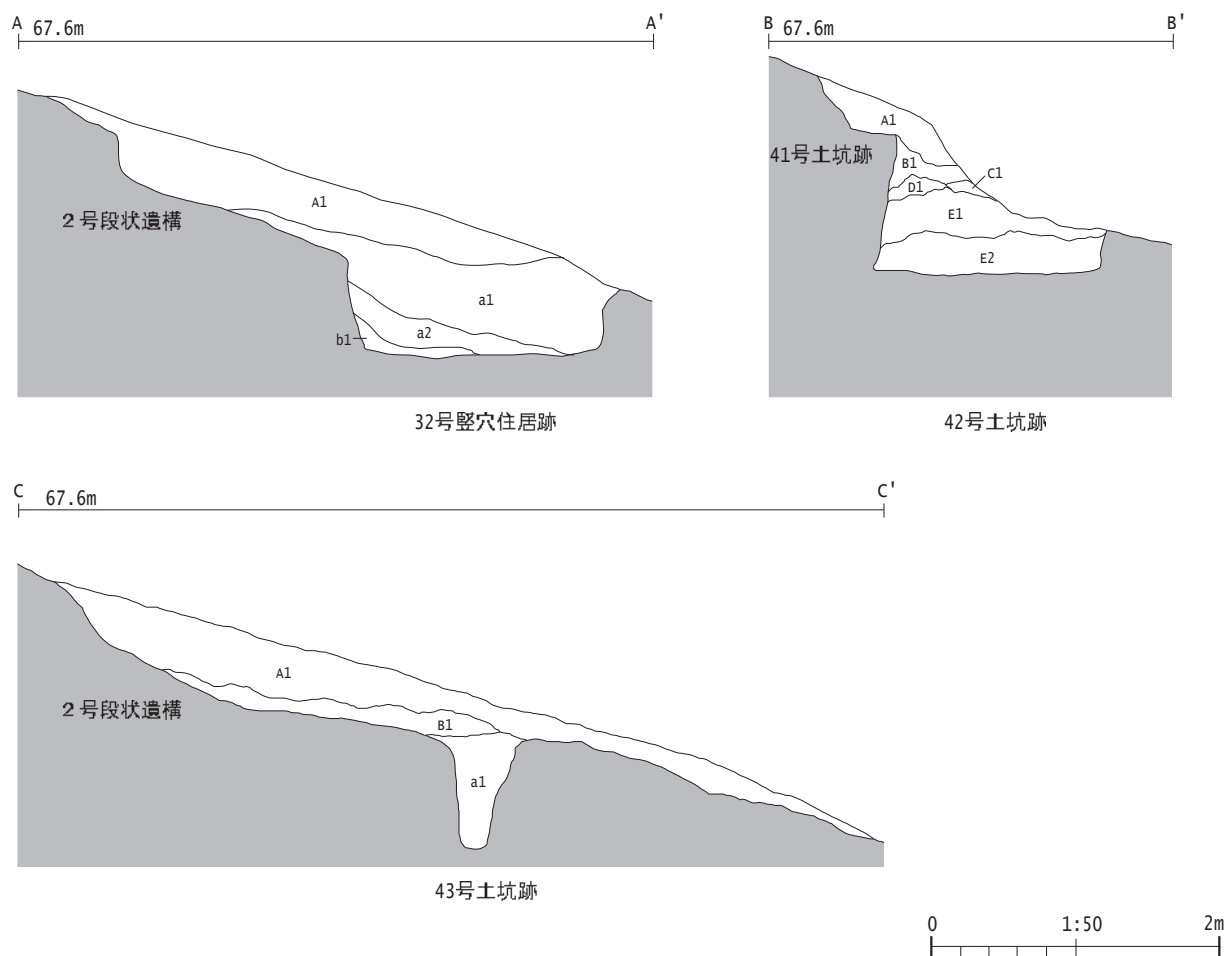


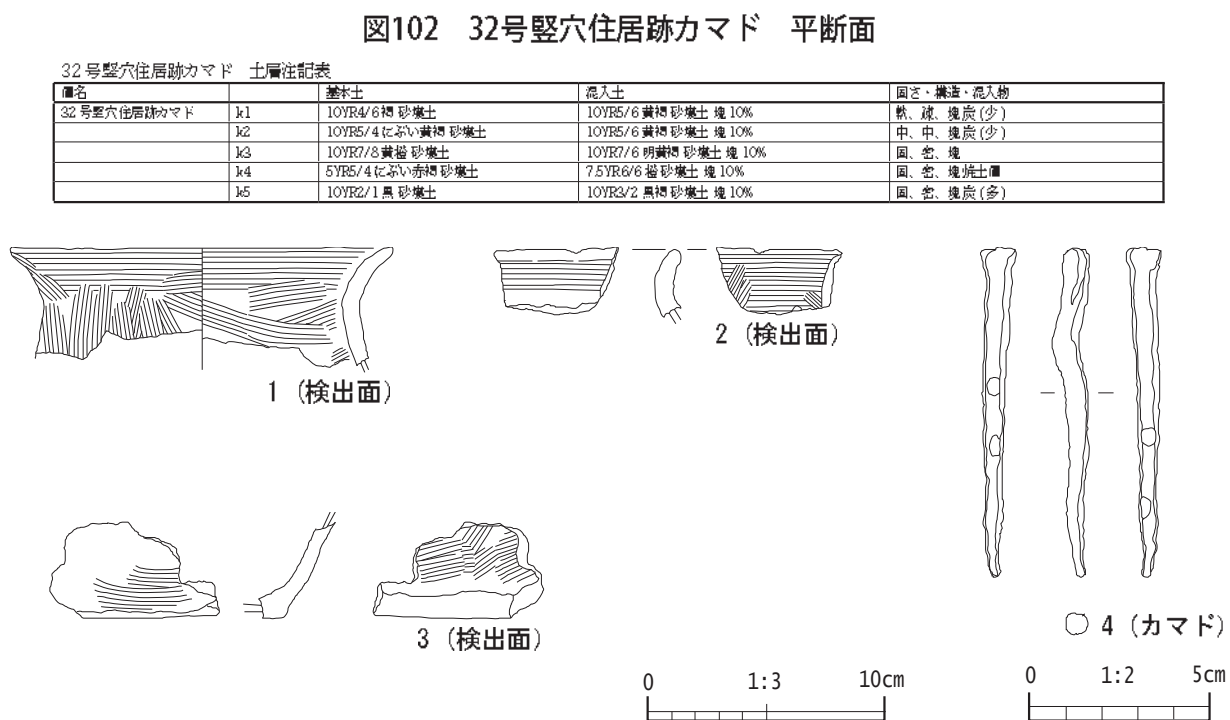
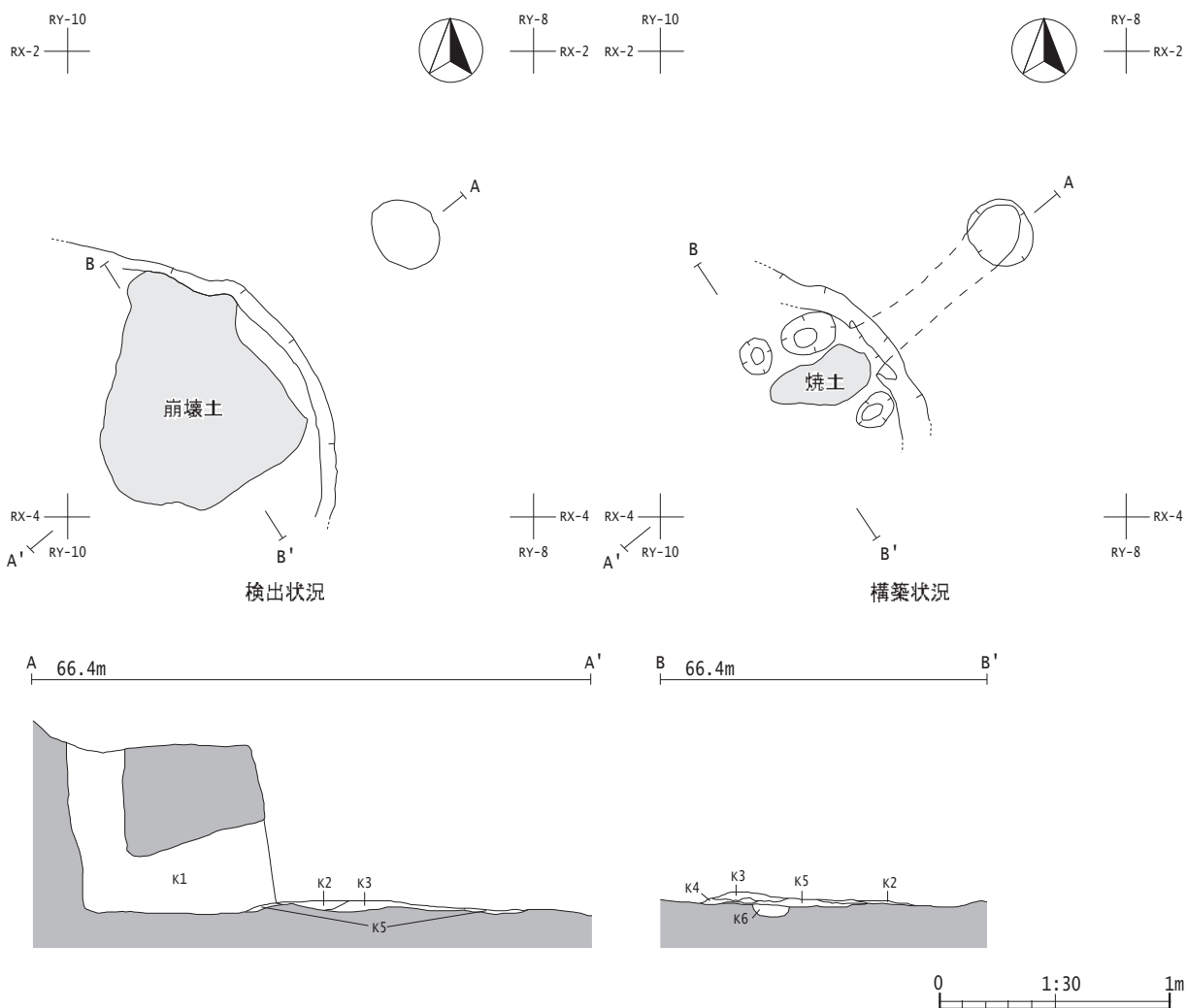
図101 32号竪穴住居跡、2号段状遺構、1号炉跡、41号、42号、43号土坑跡 断面

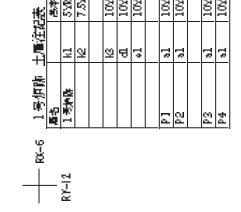
32号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	国産・機産・混入物
32号竪穴住居跡	a1	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR6/4 に近い黄褐色 砂壤土 境 10%	炭、焼、境 真砂土 (多)、炭 (少)
	a2	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土		真砂土 (多)
	b1	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 境 10%	炭、焼、境 炭 (少) 真砂土 (少)

41号、42号、43号土坑跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	国産・機産・混入物
41号土坑跡	A1	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR4/4 褐色 砂壤土 境 10%	中、中、境
42号土坑跡	B1	10YR3/4 暗褐色 砂壤土	10YR4/4 褐色 砂壤土 境 10%	炭、中、境
	C1	7.5YR4/6 褐色 砂壤土	7.5YR4/4 褐色 境 10%	中～固、中～密、境
	D1	10YR7/4 に近い黄褐色	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 境 15%	
	E1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR6/4 に近い黄褐色 砂壤土 境 10%	中、中、境 真砂土 混じり
	E2	10YR4/4 褐色		真砂土が混じらない
43号土坑跡	a1	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 境 20%	炭、焼、境 真砂土 (少)



[illegible]

125

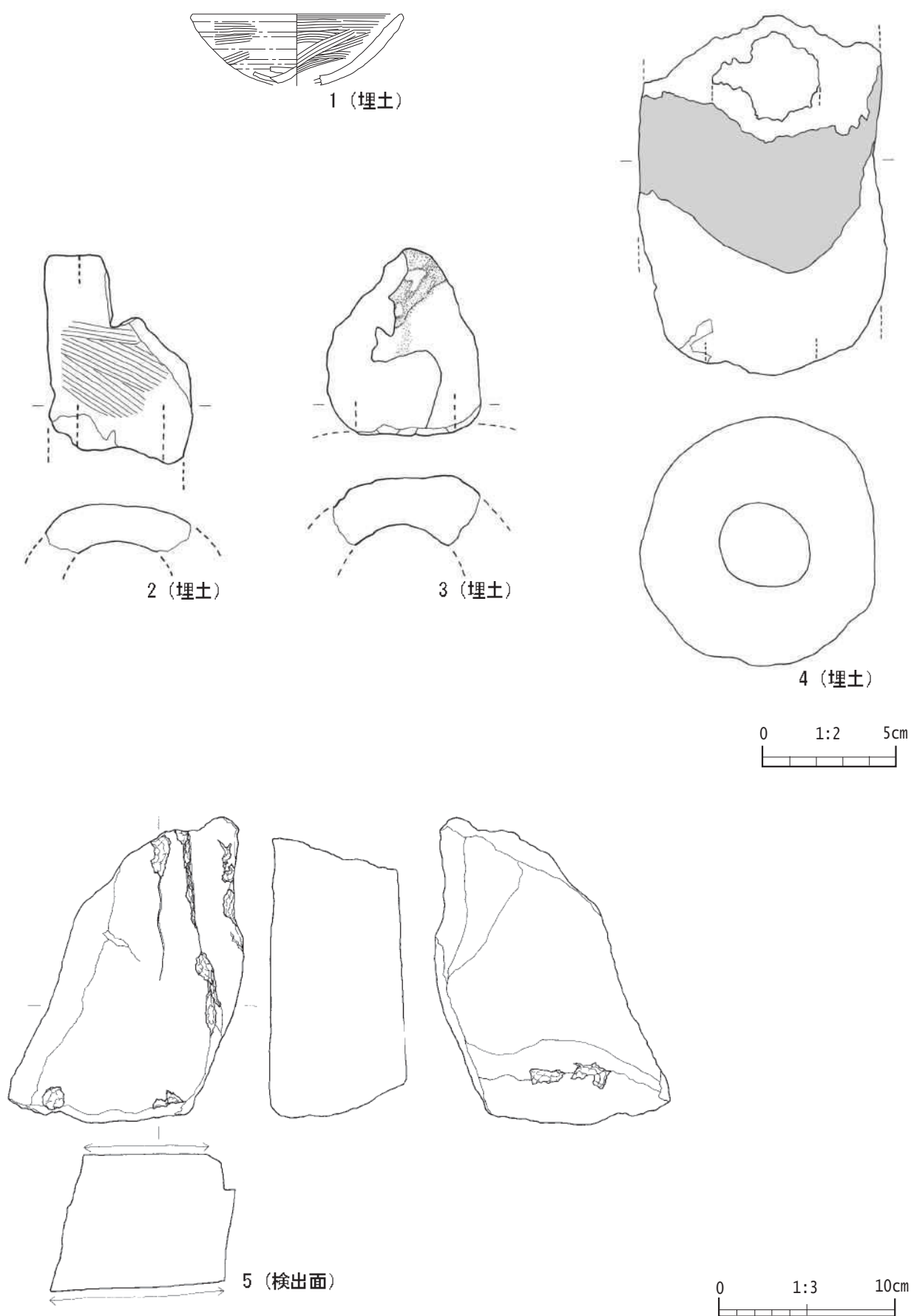


図105 1号炉跡出土遺物

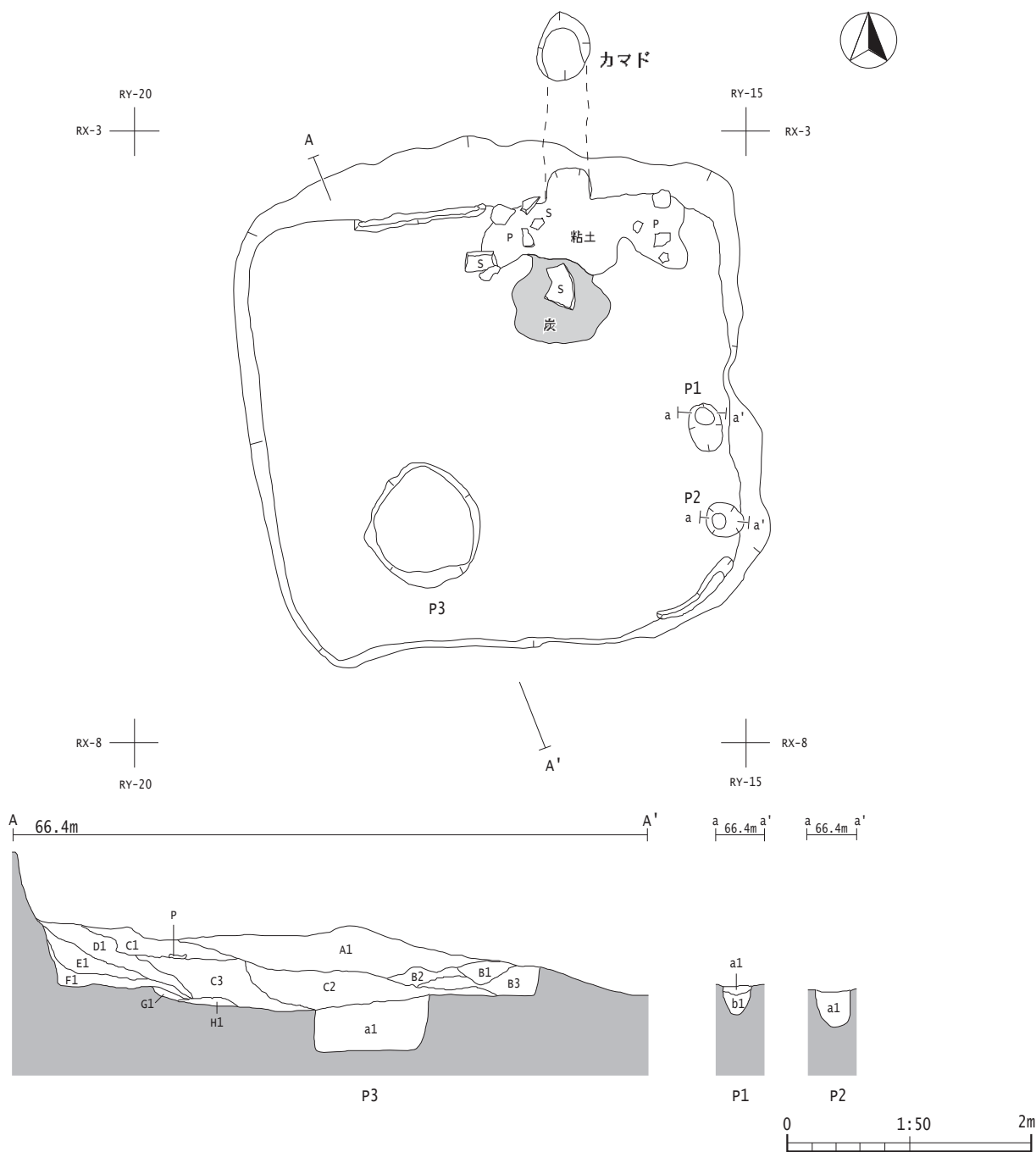


図106 33号竪穴住居跡 平断面

33号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	流入土	固さ・構造・流入物
33号竪穴住居跡	A1	10YR4/6 褐砂壤土	10YR5/4 に多い黄褐砂壤土 境 20%	中、中、境
	B1	10YR4/6 褐砂壤土 境 10%	10YR5/6 黄褐砂壤土 境 10%	中～固、中、境 真砂土 (少)
	B2	10YR4/4 褐砂壤土	10YR4/6 褐砂壤土 境 10%	軟、硬、境 炭粒 (少)
	B3	10YR5/4 に多い黄褐砂壤土	10YR5/6 黄褐砂壤土 境 10%	中、中、境 真砂土 (多)
	C1	10YR5/4 に多い黄褐砂壤土 境	10YR4/6 褐砂壤土 境 10%	固、中、境 真砂土 (多)、炭粒 (少)、白っぽい
	C2	10YR5/6 黄褐砂壤土	10YR5/4 に多い黄褐砂壤土 境 10%	中、中、境 真砂土 (多)
	C3	10YR4/6 褐砂壤土	10YR5/4 に多い黄褐砂壤土 境 20%	中、中、境 炭粒 (少)、真砂土は B3 より (少)
	D1	10YR4/6 褐砂壤土	10YR4/4 褐砂壤土 境 15%	中～固、中、境
P1	E1	10YR6/4 に多い黄褐真砂土	10YR4/4 褐砂壤土 境 5%	中、中、境
	F1	10YR4/6 褐砂壤土	10YR4/4 褐砂壤土 境 10%	中、中、境
	G1	10YR4/4 褐砂壤土	10YR4/6 褐砂壤土 境 10%	中～固、中、境 真砂土混じり
	H1	10YR7/4 に多い黄褐砂壤土	10YR4/4 褐砂壤土 境 2%	中、中～密、境
	a1	10YR4/6 褐砂壤土	10YR5/4 に多い黄褐砂壤土 境 10%	軟、中、境
	b1	10YR6/4 に多い黄褐砂壤土	10YR5/4 に多い黄褐砂壤土 境 10%	軟、中、境 土跡
			10YR7/4 に多い黄褐砂壤土 境 5%	
			10YR4/4 褐砂壤土 境 10%	軟、中、境
P2	a1	10YR5/4 に多い黄褐砂壤土	10YR4/4 褐砂壤土 境 10%	軟、中、境
P3	a1	10YR4/6 褐砂壤土	10YR5/4 に多い黄褐砂壤土 境 20%	中、中、境 炭土、炭 (少)、土跡

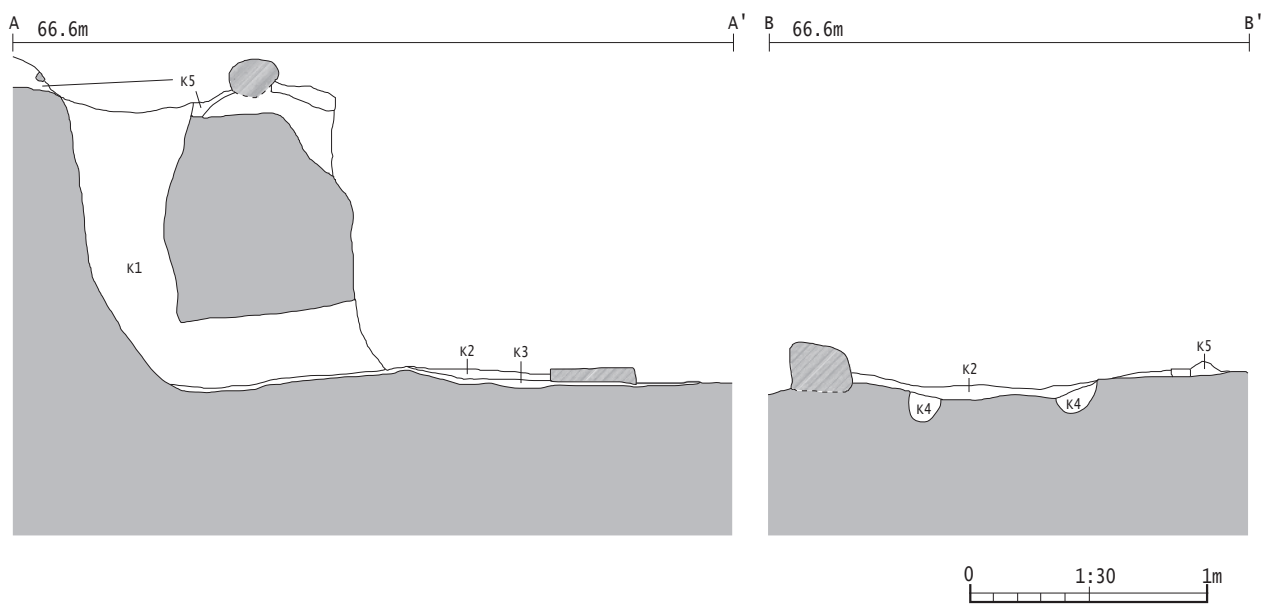
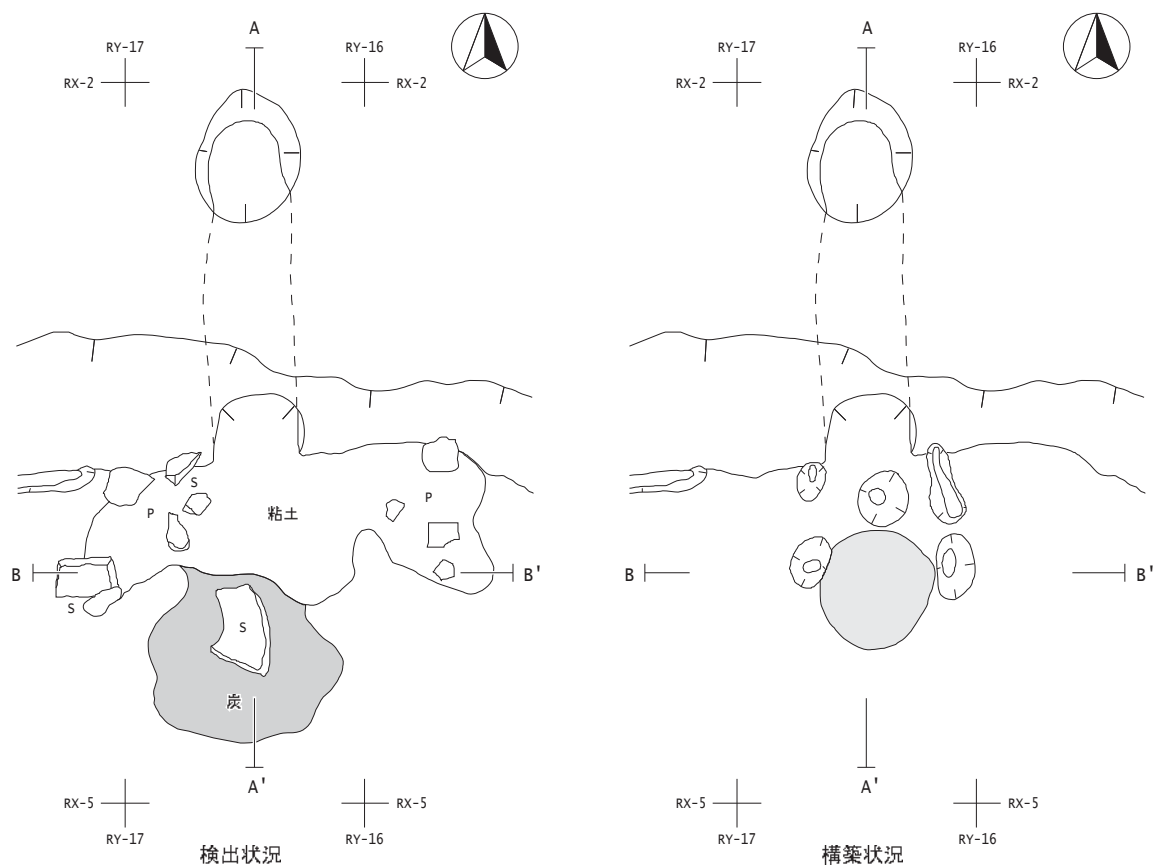


図107 33号竪穴住居跡カマド 平断面

33号竪穴住居跡カマド 土層注記表

層名	1	2	3	4
33号竪穴住居跡カマド	k1	k2	k3	k4
	10YR5/4 にふい黄褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR3/3 暗褐色 砂壤土	10YR3/4 暗褐色 砂壤土
	混入土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 75%	10YR2/3 黒褐色 砂壤土 塊 15%	10YR5/4 にふい黄褐色 砂壤土 塊 10%
	固さ・構造・混入物	中～固、中～密、塊粘土(黄)	中～固、中～密、塊粘土(黄)	中～固、中～密、塊粘土
		10YR6/4 にふい黄褐色 砂壤土 塊 10%	10YR5/4 にふい黄褐色 砂壤土 塊 10%	10YR6/4 にふい黄褐色 砂壤土 塊 20%
		10YR7/6 明黄褐色	10YR5/4 にふい黄褐色 砂壤土 塊 10%	10YR6/4 にふい黄褐色 砂壤土 塊 20%
		10YR3/3 暗褐色 砂壤土	10YR5/4 にふい黄褐色 砂壤土 塊 10%	10YR6/4 にふい黄褐色 砂壤土 塊 20%
		10YR3/4 暗褐色 砂壤土	10YR5/4 にふい黄褐色 砂壤土 塊 10%	10YR6/4 にふい黄褐色 砂壤土 塊 20%
		7.5YR6/4 にふい黄褐色 砂壤土	7.5YR5/4 にふい黄褐色 砂壤土 塊 10%	7.5YR5/4 にふい黄褐色 砂壤土 塊 10%
		7.5YR6/4 にふい黄褐色 砂壤土	7.5YR5/4 にふい黄褐色 砂壤土 塊 10%	7.5YR5/4 にふい黄褐色 砂壤土 塊 10%

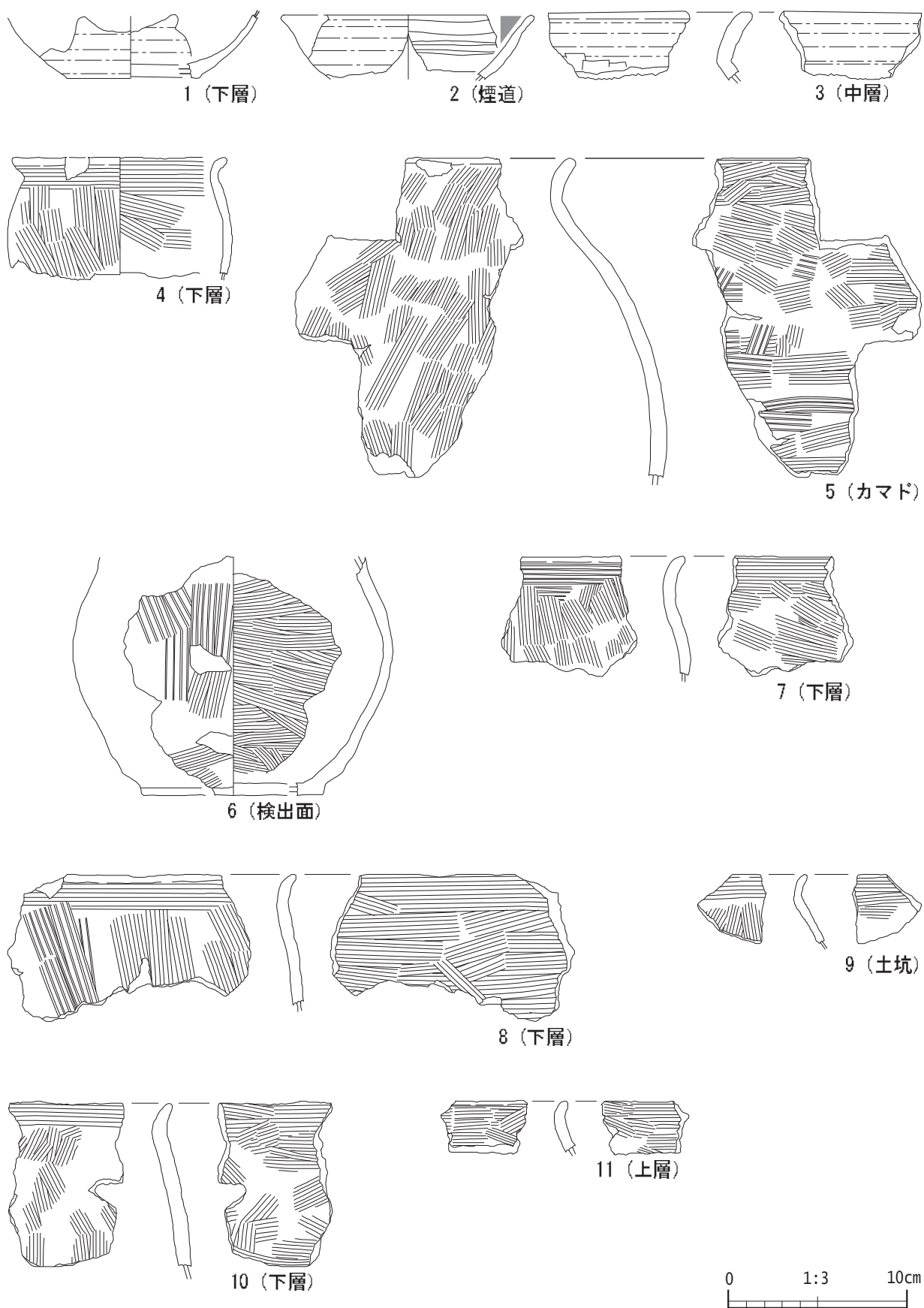


図108 33号竪穴住居跡出土遺物 (1)

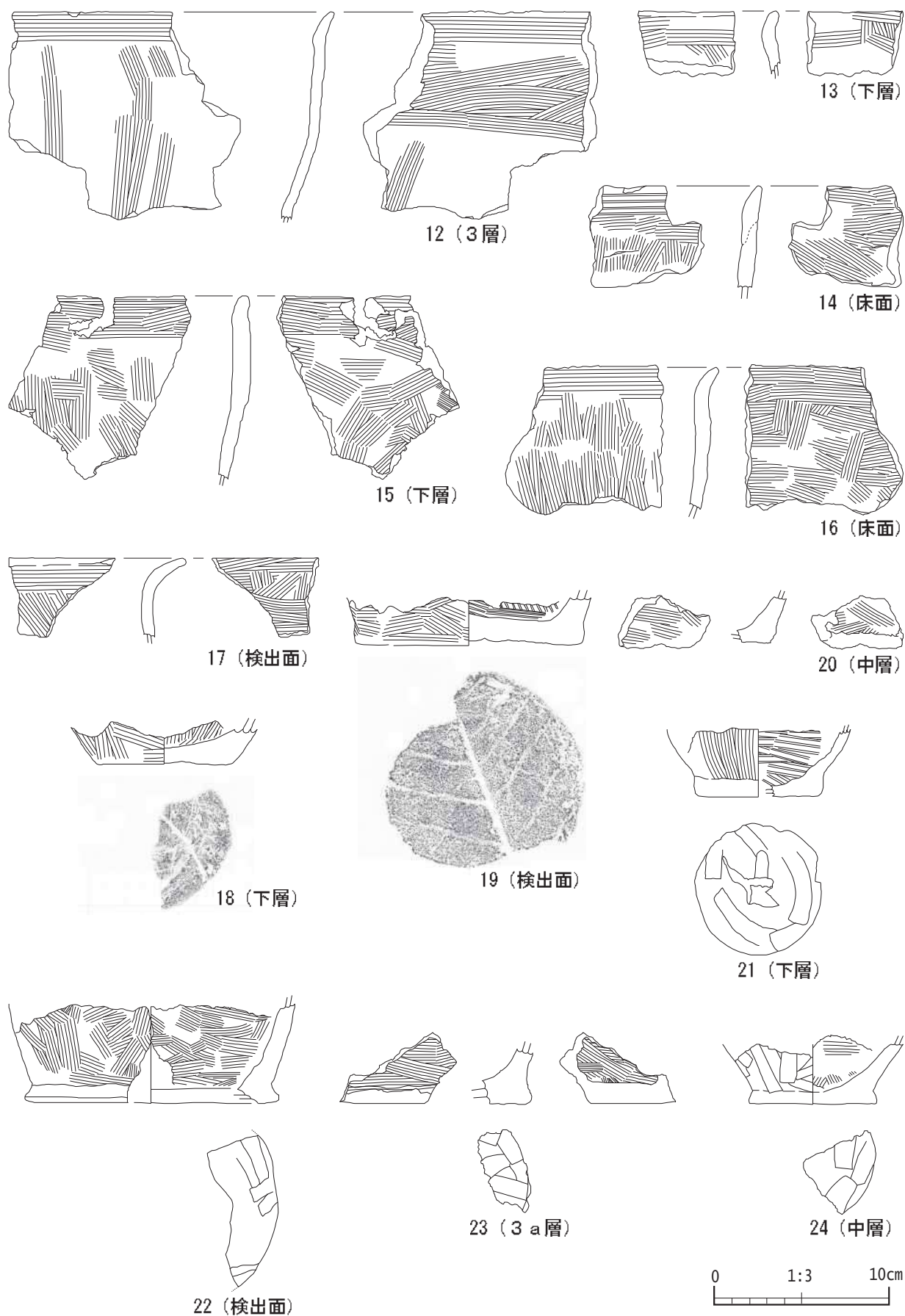


図109 33号竪穴住居跡出土遺物 (2)

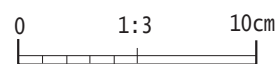
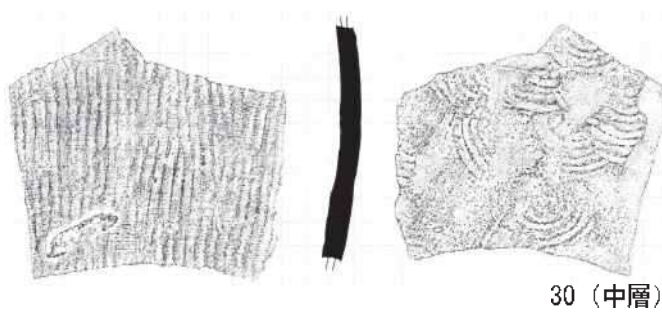
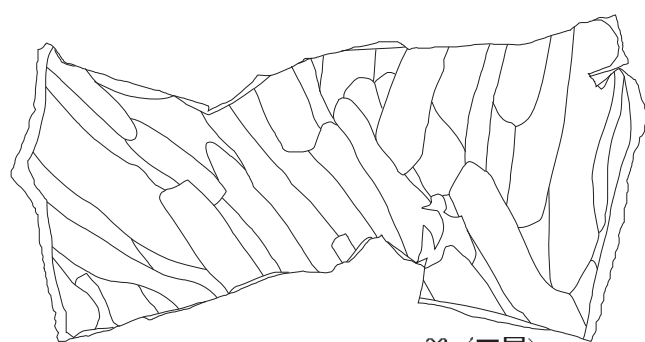
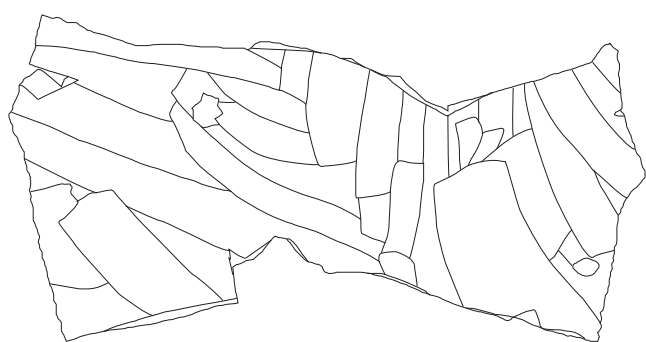
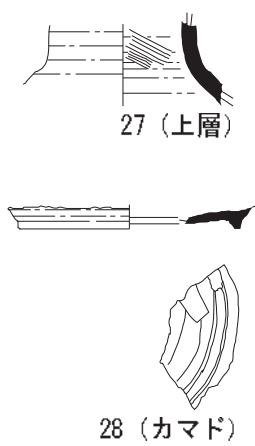
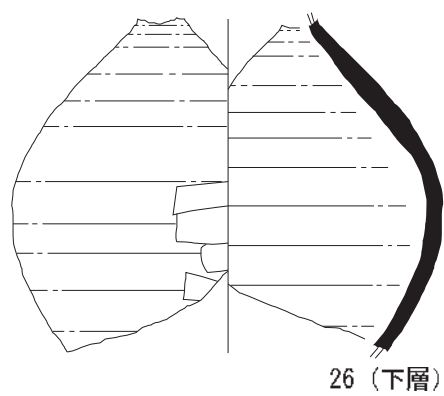
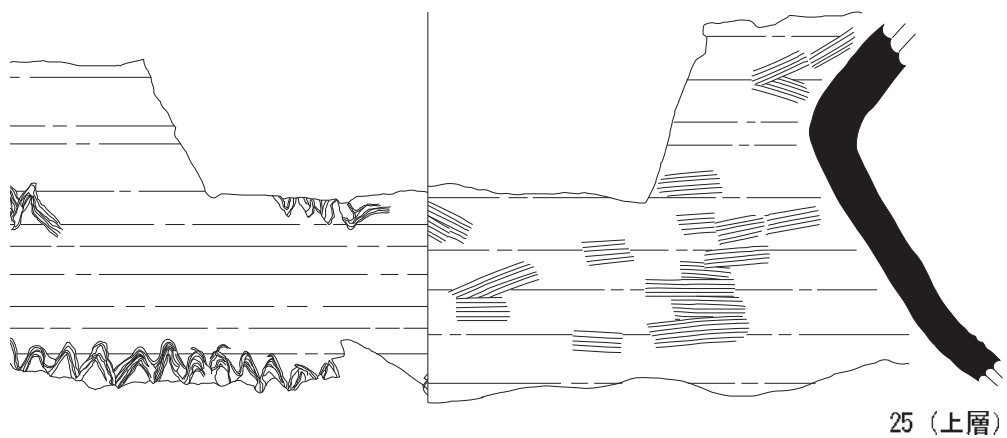


図110 33号竪穴住居跡出土遺物 (3)

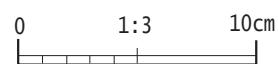
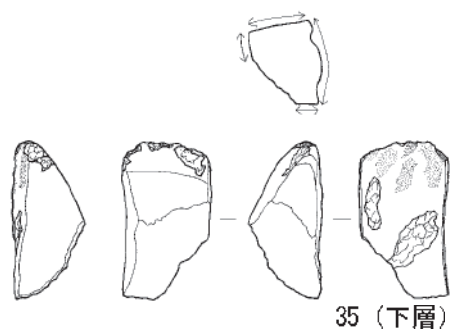
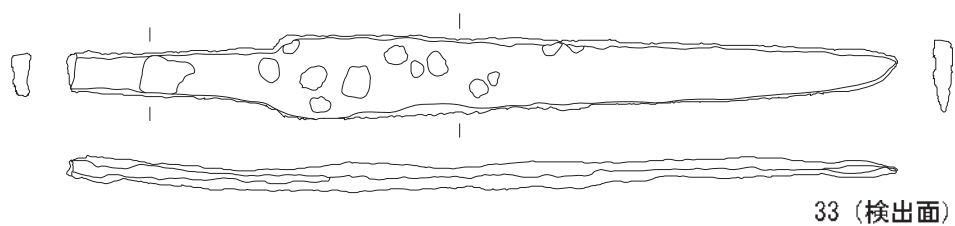
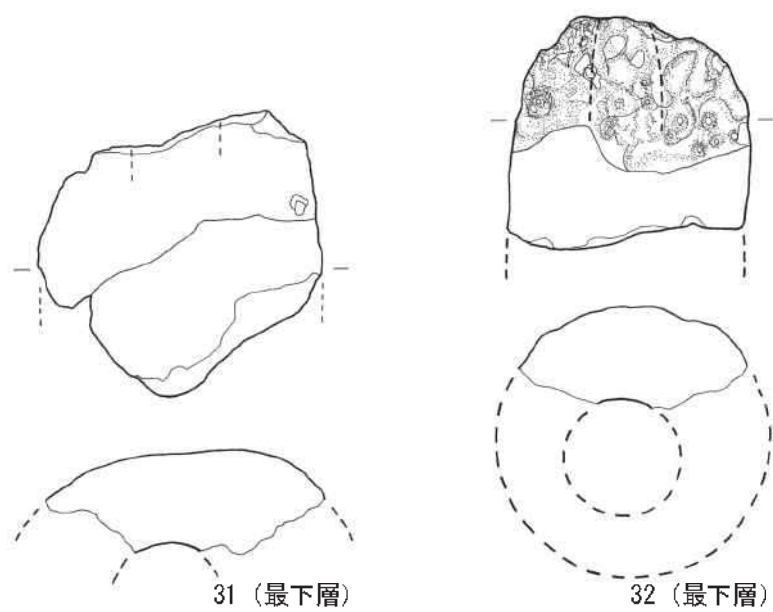


図111 33号竪穴住居跡出土遺物 (4)

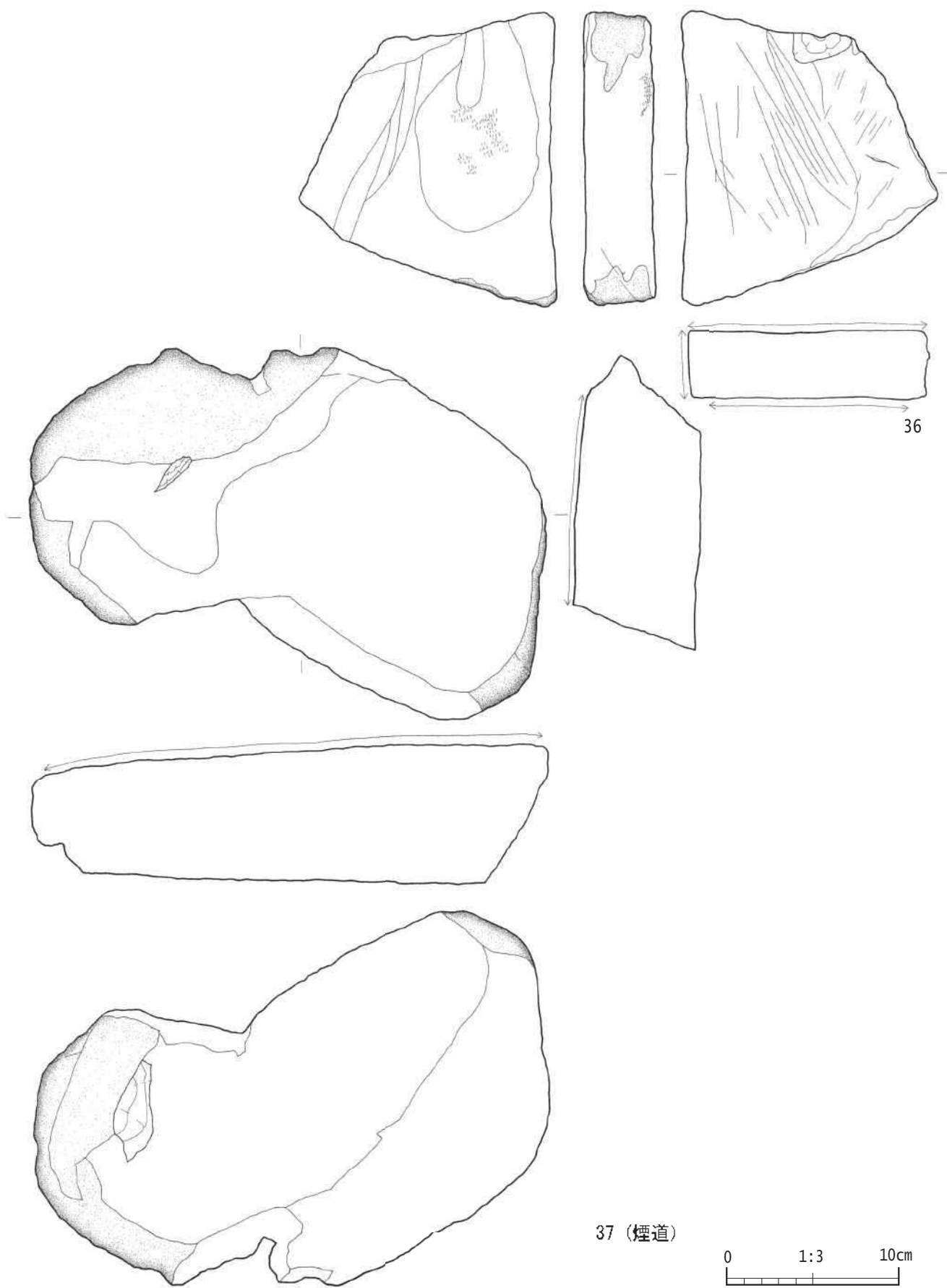


图112 33号竖穴住居跡出土遺物 (5)

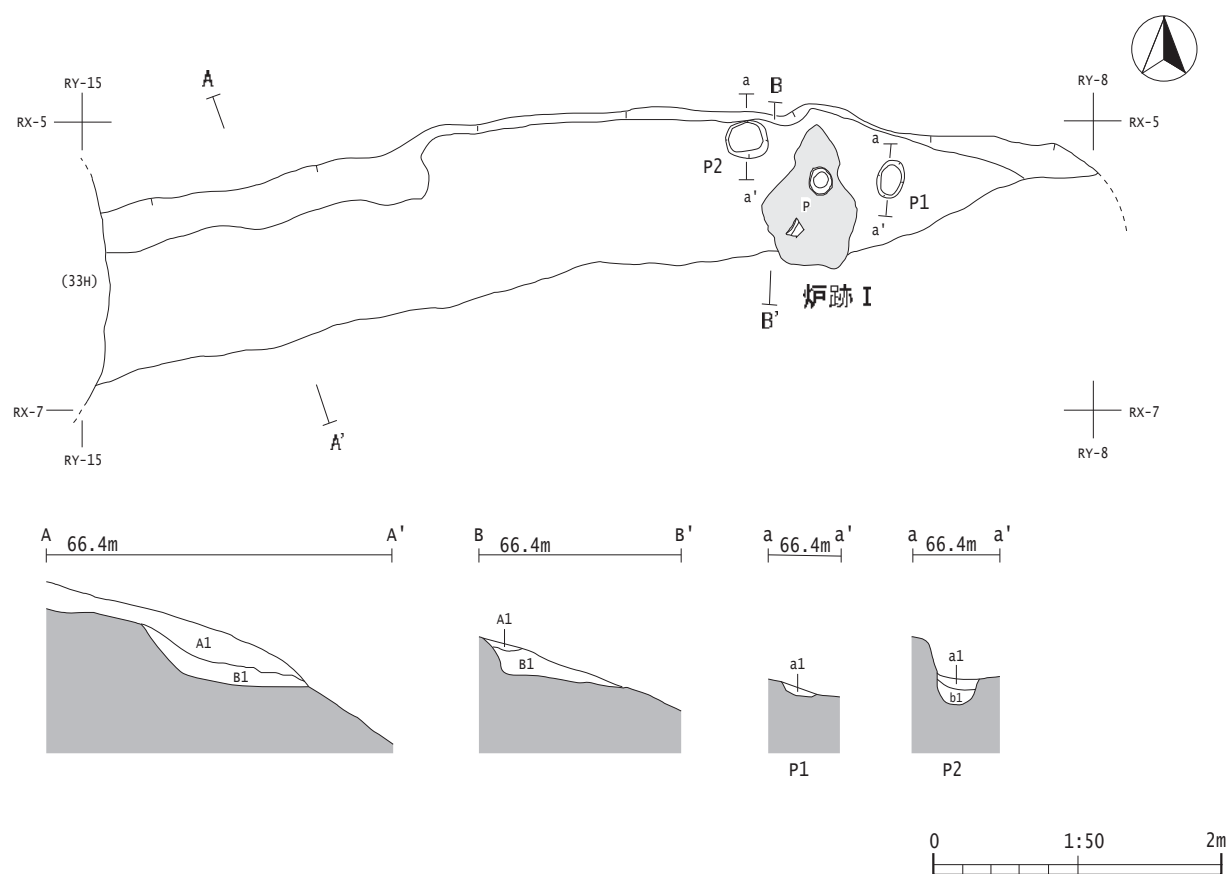


图113 34号竖穴住居跡 平断面

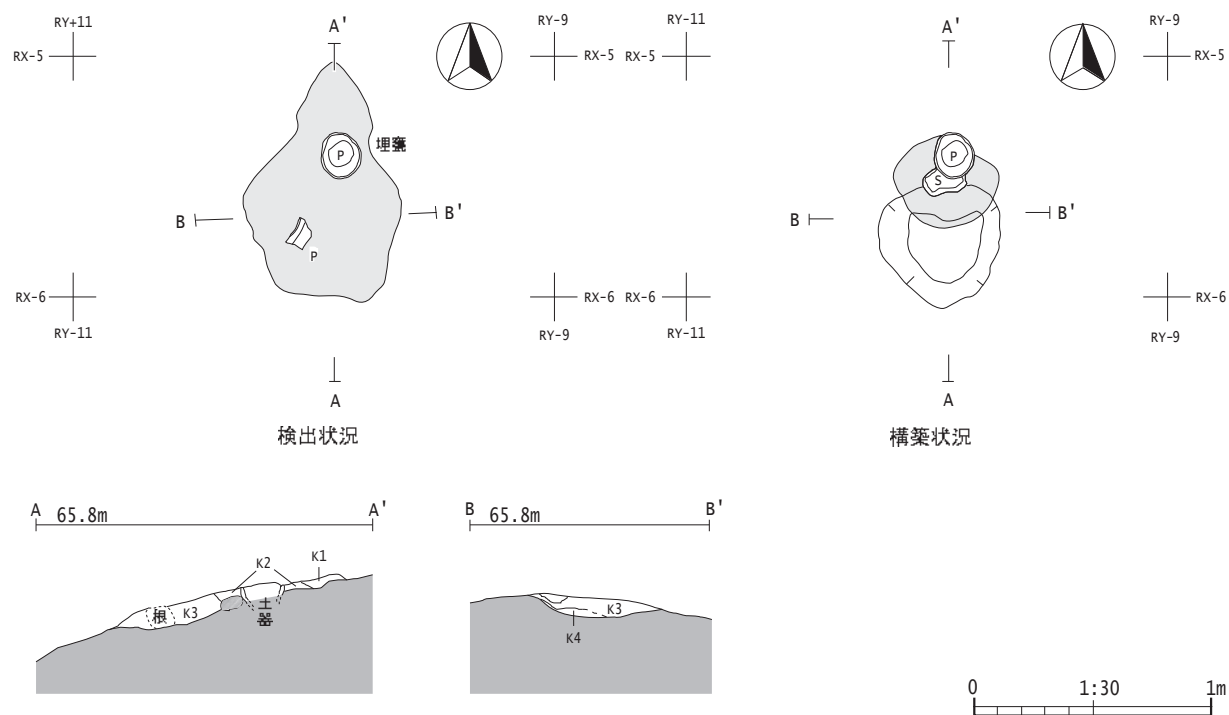
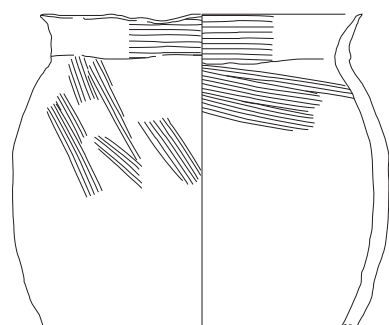


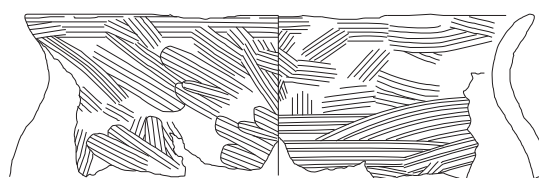
图114 34号竖穴住居跡炉跡 I 平断面

34号竪穴住居跡 土層注記表

5号 竪穴住居跡 土質分析表				
層名	基本土	混入土	固さ・構造・混入物	
34号竪穴住居跡	A1	10YR4/4 褐 砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 塊 10%	固さ・構造・混入物
	B1	10YR4/6 褐 砂	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 塊 5%	中、中、塊
P1	a1	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR6/4 に近い黄褐色 砂壤土 塊 10%	中・固、中、塊
P2	a1	10YR4/6 褐 砂	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 5%	中、中、塊
	b1	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 塊 10%	軟、中、塊
34号竪穴住居跡1号炉跡	k1	7.5YR4/4 褐 砂壤土	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 5%	中・固、密、塊
			10YR6/4 に近い黄褐色 砂壤土 塊 5%	
	k2	10YR4/4 褐 砂壤土	10YR3/4 暗褐色 砂壤土 塊 10%	中、中、塊
	k3	5YR5/6 明赤褐色	7.5YR6/4 に近い黄褐色 砂壤土 10%	固、密、塊
	k3	5YR5/6 明赤褐色	7.5YR6/4 に近い黄褐色 砂壤土 10%	固、密、塊
	k4	10YR4/4 褐 砂土	10YR4/6 褐 砂壤土 塊 10%	中・固、中、塊



1 (埋蓋)



2 (埋蓋)

0 1:3 10cm

図115 34号竪穴住居跡出土遺物

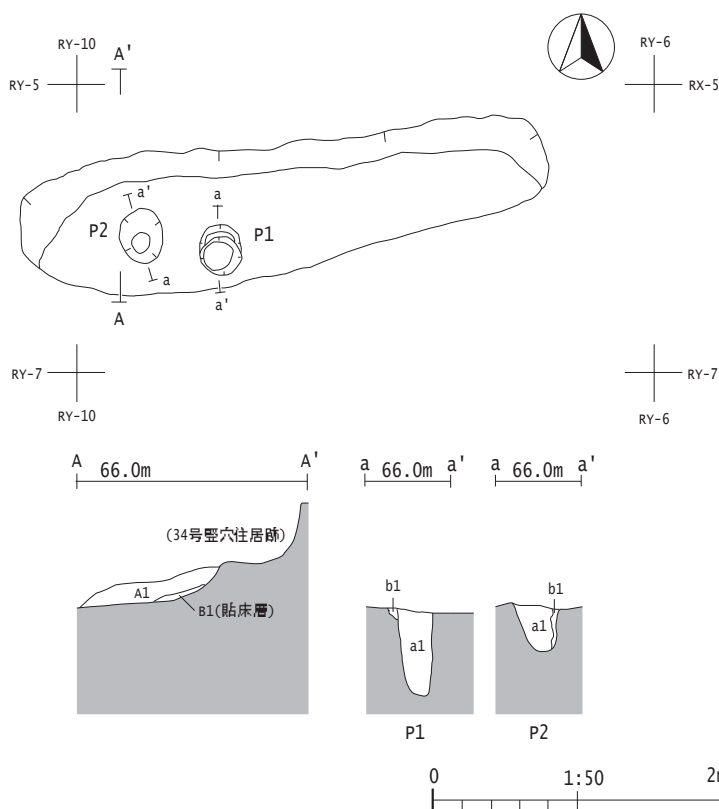
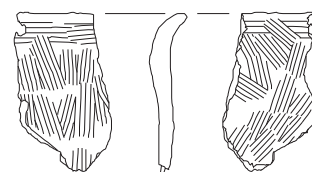


図116 35号竪穴住居跡 平断面



3 (埋土)

0 1:3 10cm

図117 35号竪穴住居跡出土遺物

35号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
35号竪穴住居跡	A1	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR6/4 に近い黄褐色 砂壤土 塊 15%	軟、中、塊土餅
	B1	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 10%	固、中～密、塊 貼り床面
P1	a1	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 10%	軟～中、中、塊土餅
	b1	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂壤土 塊 10%	中、疎、塊
P2	a1	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	軟、中、塊

35号竪穴住居跡（図116）

34号竪穴住居跡の南に位置し、同遺構に切られる。平面形は、北側の壁のみの検出なので不明である。検出規模は、東西3.5m、南北1.0mを測る。埋土は2層に分かれる。B 1層は貼床層である。床面から2基の土坑跡が出土している。

出土遺物（図117）

1は土師器甕の口縁部である。短く、わずかに外反し、体部の膨らみはない。

45号土坑跡（図118）

調査区中央の南斜面に位置する。平面形は円形である。規模は径1.8m、深さ1.0mを測る。埋土は3層に細別あされる。遺物は出土していない。

44号土坑跡（図118）

45号土坑跡の東南に位置する。平面形は円形である。規模は、径1.5m、深さ0.9mを測る。埋土は3層に細別される。遺物は、埋土から土師器甕の体部片が出土している。

46号、47号土坑跡（図118）

44号土坑跡の南に位置する。47号土坑跡は46号土坑跡を切る。

46号土坑跡（図118）

40号竪穴住居跡、47号土坑跡を切る。平面形は円形である。規模は、径1.0m、深さ1.4mを測る。埋土は11層に分かれる。

出土遺物（図119－1～8）

1は土師器の坏である。ロクロ成形され、内黒処理される。底部は内湾し、外傾して立ち上がる。口縁部はわずかに外反する。内面にミガキを施され、底面はヘラ削り調整痕を残す。

2～7は土師器の甕である。2から5は口縁部である。いずれも短く、外反する。体部は、2、3は膨らみ、4、5の膨らみはわずかである。6、7は底部である。いずれも張出しは弱く、底面に木葉痕を残す。

8は鉄製品である。刀子の刃部と思われる。

47号土坑跡（図118）

36号竪穴住居跡、37号竪穴住居跡を切る。平面形は円形である。規模は、径1.5m、深さ0.8mを測る。埋土は3層に大別される。

出土遺物（図119－9、10）

1は土師器の坏である。ロクロ成形し、内黒処理を施す。底部は内湾し、わずかに外傾して立ち上がる。切り離しは、回転糸切りである。2は土師器甕の口縁部である。短く、外反する。この他に鉄滓5gが出土している。

48号土坑跡（図120、121）

調査区中央の南斜面に位置する。40号竪穴住居跡を切る。平面形は楕円形である。規模は、2.5m×2.0m、深さ1.0mを測る。C 1層まで埋まった段階で、炉として使用されている。

炉跡 I (図121)

炉跡の平面形は不整円形である。規模は径70.0cmである。C 1層が操業面である。還元焼成面を確認している。C 1層からは焼土、炭のほかに鉄製品が出土している。鉄床石と思われる石を伴う。

出土遺物 (図122、123)

1、2はアカヤキの坏である。1は直線的に立ち上がり、外反する口縁部である。内面にナデ調整痕を残す。2はやや内湾して立ち上がる。外面はナデ、内面はミガキ調整される。切り離しは回転糸切りである。

2～12は土師器の甕である。2～6は口縁部である。いずれも短く、外反する。7～12は底部である。7～10の張出しはなく、11、12の張出しは弱い。

13～15は鉄製品である。13は刀子である。14は刀子の柄と思われる。15は薄い板状の製品である。用途は不明である。

16、17は土製品である。16は羽口である。推計で、外径9.0cm、内径4.0cmを測る。17は支脚と思われる。

この他にA 1層から鉄滓260gが出土している。

49号土坑跡 (図120)

48号土坑跡の東に位置する。41号、42号竪穴住居跡を切る。平面形は円形である。規模は、径1.2m、深さ0.8mを測る。埋土は4層に大別される。

出土遺物 (図124)

1、2は土師器の甕である。1は口縁部である。ほとんど外反せず立ち上がる。2は底部である。張出しは弱く、底面をへう削り調整される。

3は鉄製品である。刀子と思われる薄い板状の製品である。この他に鉄滓115gが出土している。

50号土坑跡 (図120)

48号土坑跡の南東に位置する。40号竪穴住居跡を切る。平面形は円形である。規模は径1.0m、深さ0.9mを測る。埋土は2層に大別される。b 1層は炭層である。遺物は鉄滓380gが出土している。

36号竪穴住居跡 (図125)

調査区中央の南斜面に位置する。51号土坑跡を切り、48号土坑跡に切られる。北側と東西の周溝を検出している。平面形は方形である。規模は東西4.0mを測る。床面中央で炉跡を検出した。カマド、柱穴跡などは確認していない。

炉跡 I (図126)

床面の中央に位置する。南側は削られている。平面形は不整円形と推測される。規模は推計で、径80cmを測る。k 1層は炭層である。k 2層が焼成面である。構築時に中心をさらに掘くぼめている。

出土遺物 (図127)

1はロクロ成形の土師器甕の口縁部である。わずかに外反する。

51号土坑跡 (図125)

52号土坑跡の東に位置する。36号竪穴住居跡に切られる。平面形は円形である。規模は、径2.0m、深さ1.0mを測る。埋土は2層に大別される。遺物は、埋土から土師器の体部片が出土している。

52号土坑跡 (図125)

調査区中央の南斜面に位置する。平面形は不整円形である。規模は、径1.2m、深さ1.2mを測る。埋土は3層に分かれる。遺物は出土していない。

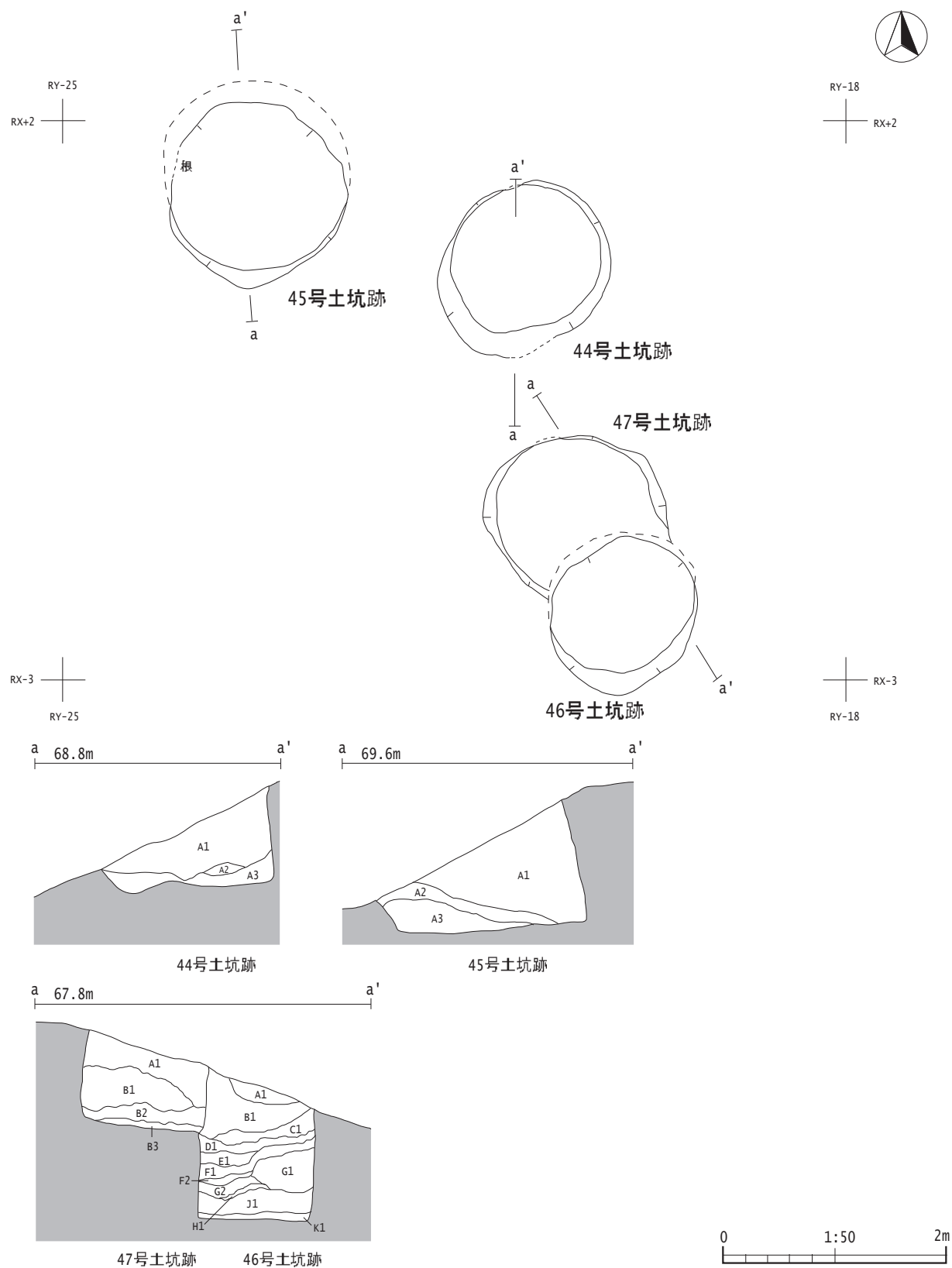


図118 44号、45号、46号、47号土坑跡 平断面

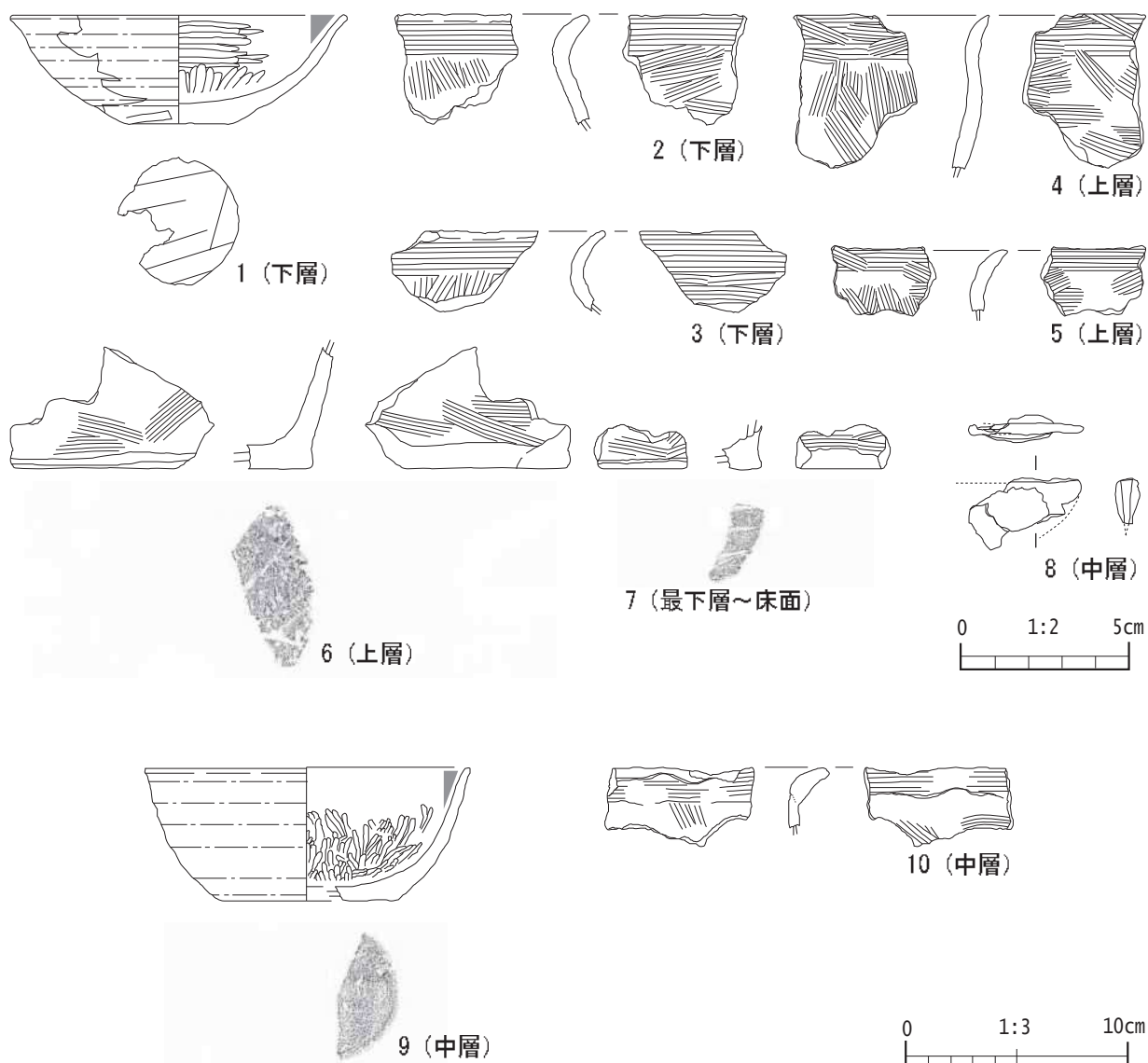


図119 46号、47号土坑跡出土遺物

44号、45号、46号、47号土坑跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ・構造・混入物
44号土坑跡	A1	10YR4/6 褐色シルト質壤土	混入土
	A2	10YR5/6 黄褐色シルト質壤土～砂壤土	10YR4/6 褐色シルト質壤土 塊 3%
	A3	10YR5/8 黄褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色～7/6 明黄褐色 砂壤土
45号土坑跡	A1	10YR5/8 黄褐色シルト質壤土 (シルト質黄褐色)	10YR4/6 褐色シルト質壤土 塊～粒 5%
	A2	10YR4/6 褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色～8/6 黄褐色 砂質壤土 真砂土 粒状～粒状 30%
	A3	10YR4/6 褐色シルト質壤土	10YR7/6 明黄褐色～8/6 黄褐色 粒 1%～
46号土坑跡	A1	10YR5/8 黄褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 20%
	B1	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR4/4 褐色 砂壤土 塊 10%
	B2		
47号土坑跡	A1	10YR3/4 暗褐色	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 塊 10%
			10YR4/6 褐色 砂壤土 塊 5%
	B1	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 10%
			10YR3/4 暗褐色 砂壤土 塊 10%
	C1	10YR6/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 塊 10%
			10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 1%
	D1	10YR4/4 褐色 砂壤土 塊	10YR4/6 褐色 砂壤土 塊 10%
	E1	10YR6/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 10%
	F1	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR7/4 に近い黄褐色 砂壤土 塊
	F2		
	G1	10YR7/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 塊 10%
	G2		
	H1	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土	10YR4/4 褐色 砂壤土 塊 10%
	J1	10YR6/4 に近い黄褐色	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 塊 20%
	K1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色 砂壤土 塊 15%

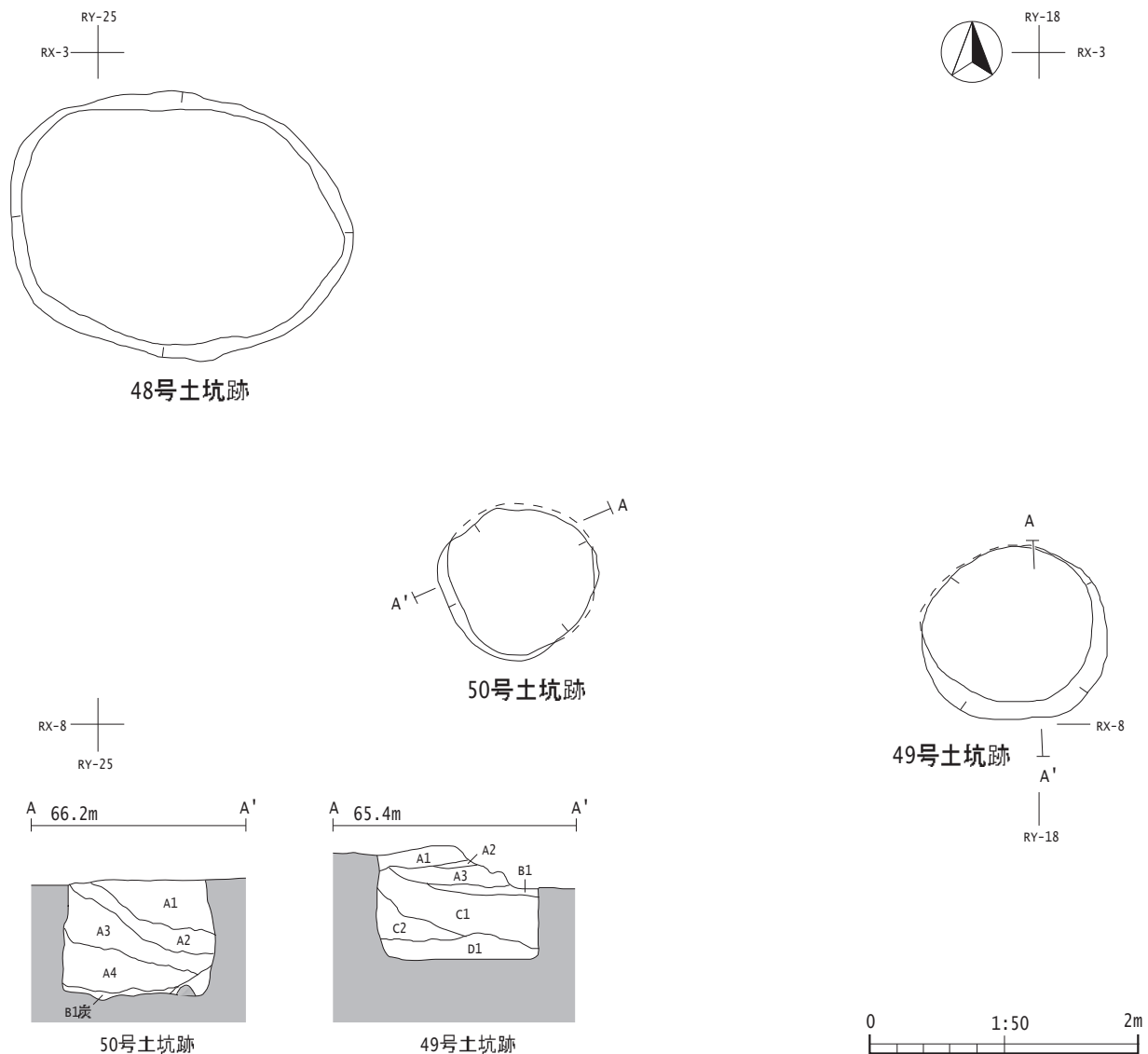
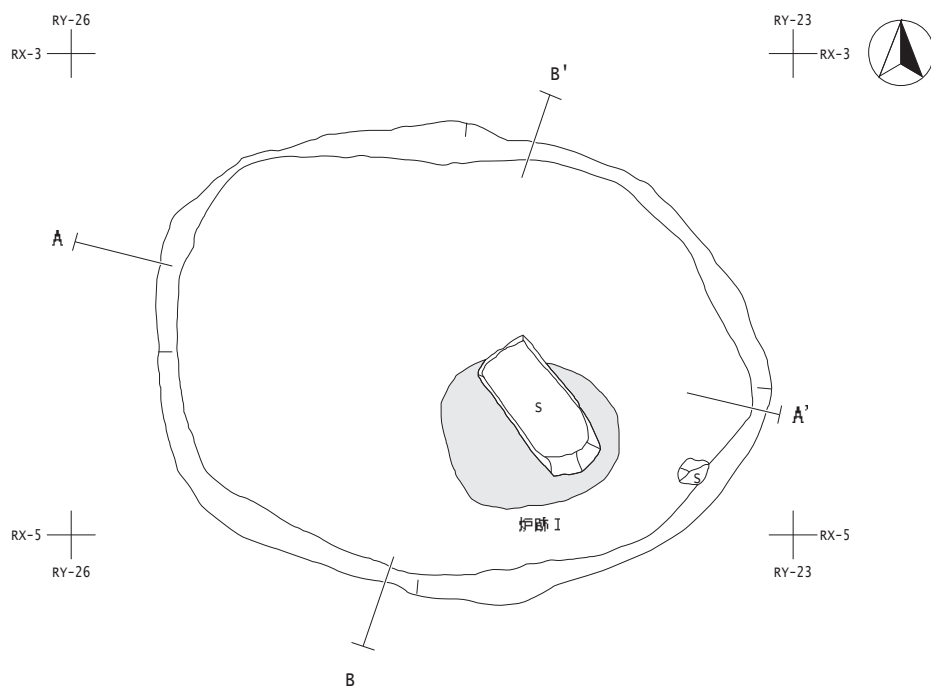


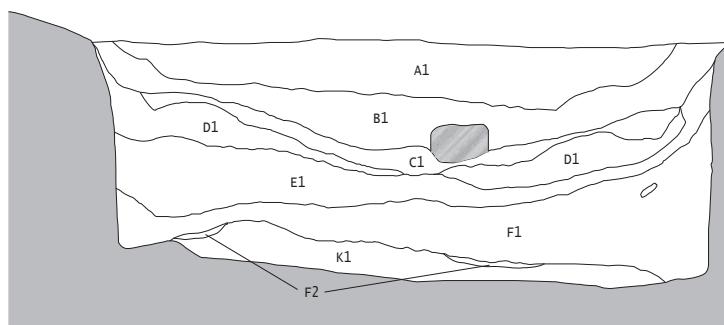
図120 48号、49号、50号土坑跡 平断面

48号、49号、50号土坑跡

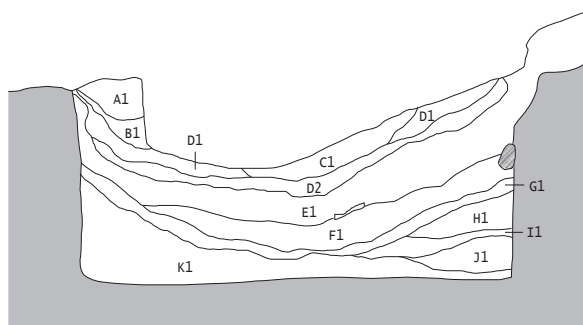
層名	基本土	混入土	調査・構造・混入物
48号土坑跡	A1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR2/1 黒砂壤土 塊 10%
			7.5YR6/4 に近い褐色砂壤土 塊 5%
			7.5YR4/3 褐色砂壤土 塊 5%
			7.5YR5/6 明褐色砂壤土 塊 5%
	B1	7.5YR4/3 褐色砂壤土	7.5YR5/3 に近い褐色砂壤土 塊 10%
			7.5YR3/2 黒褐色砂壤土 塊 10%
	C1	2.5Y5/3 黄褐色 固	
	D1	10YR4/6 褐色砂壤土	10YR6/6 明黄褐色砂壤土 塊 15%
	E1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 塊 10%
			5YR5/3 に近い赤褐色砂壤土 塊 5% 炭土塊
49号土坑跡	F1	10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色砂壤土 塊 10%
	G1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 塊 10%
	I1	5YR4/6	
	J1	10YR4/6 褐色	10YR5/4 に近い黄褐色砂壤土 塊 10%
			10YR6/6 明黄褐色
	K1	10YR7/4 に近い黄褐色砂壤土	10YR7/3 に近い黄褐色砂壤土 塊 10%
			10YR4/6 褐色砂壤土 塊 15%
	A1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色砂壤土 塊 10%
	A2	10YR5/4 に近い黄褐色砂壤土	10YR6/4 に近い黄褐色砂壤土 塊 5%
			10YR3/4 暗褐色砂壤土 塊 5%
50号土坑跡	A3	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色砂壤土 塊 10%
			10YR6/4 に近い黄褐色砂壤土 塊 10%
	B1	10YR4/6 褐色砂壤土	10YR5/4 に近い黄褐色砂壤土 塊 10%
	C1	10YR4/6 褐色砂	10YR6/6 明黄褐色砂壤土 塊 20%
	C2	10YR4/6 褐色砂壤土	10YR6/6 明黄褐色砂壤土 塊 5%
	D1	10YR5/4 に近い黄褐色砂壤土	10YR6/4 に近い黄褐色砂壤土 塊 10%
50号土坑跡	A1	10YR4/6 褐色砂	10YR4/4 褐色砂壤土 塊 10%
	A2	10YR4/6 褐色明	10YR5/6 黄褐色砂壤土 塊 10%
	A3	10YR4/6 褐色砂壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 塊 15%
	A4	10YR5/4 に近い黄褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 塊 10%
	B1	10YR3/2 黒褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 塊 10%
			中～固、疎、塊、炭屑



A 66.8m A'



B 66.8m B'



0 1:30 1m

图121 48号土坑迹、炉迹 I 平断面

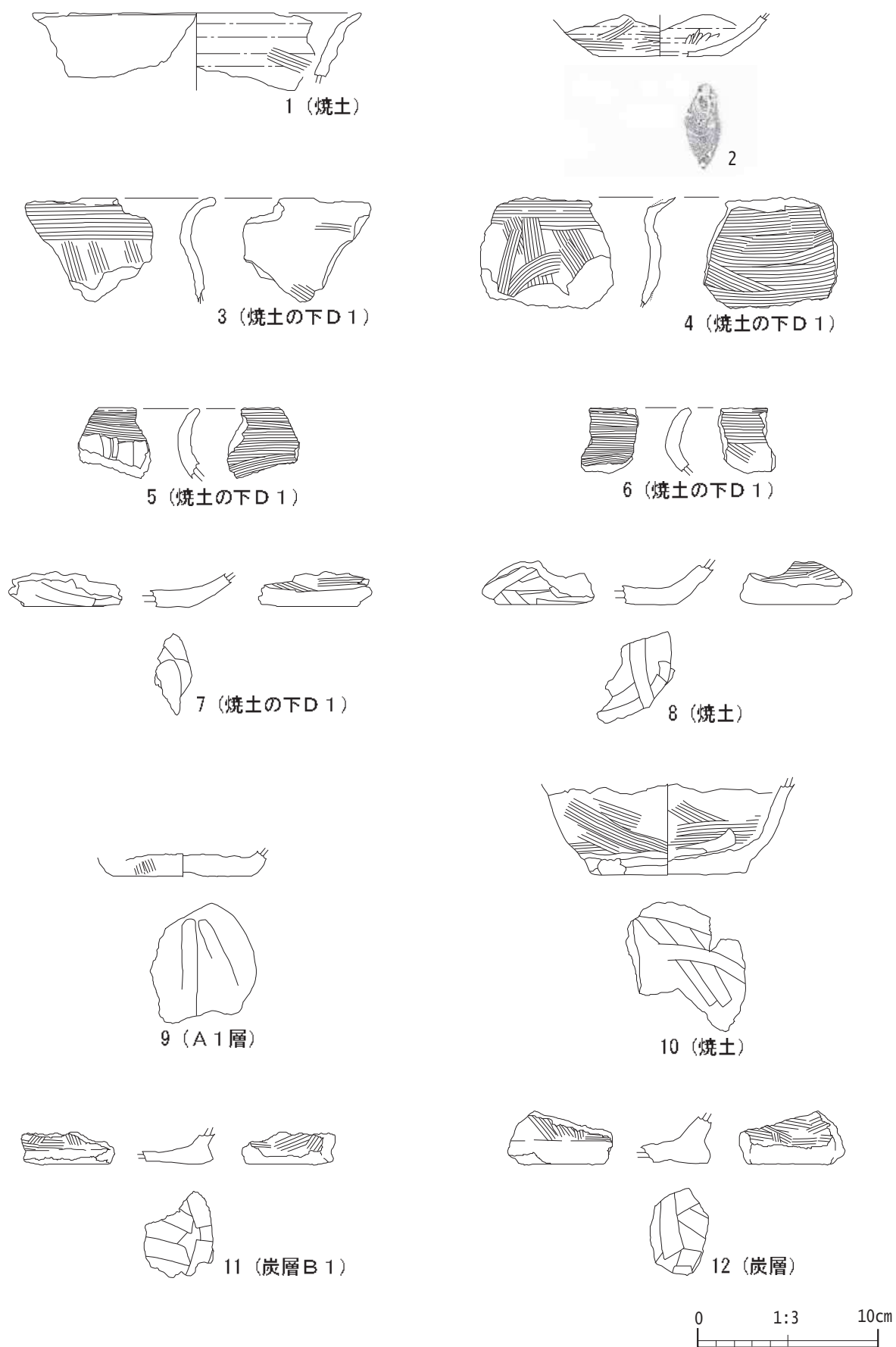
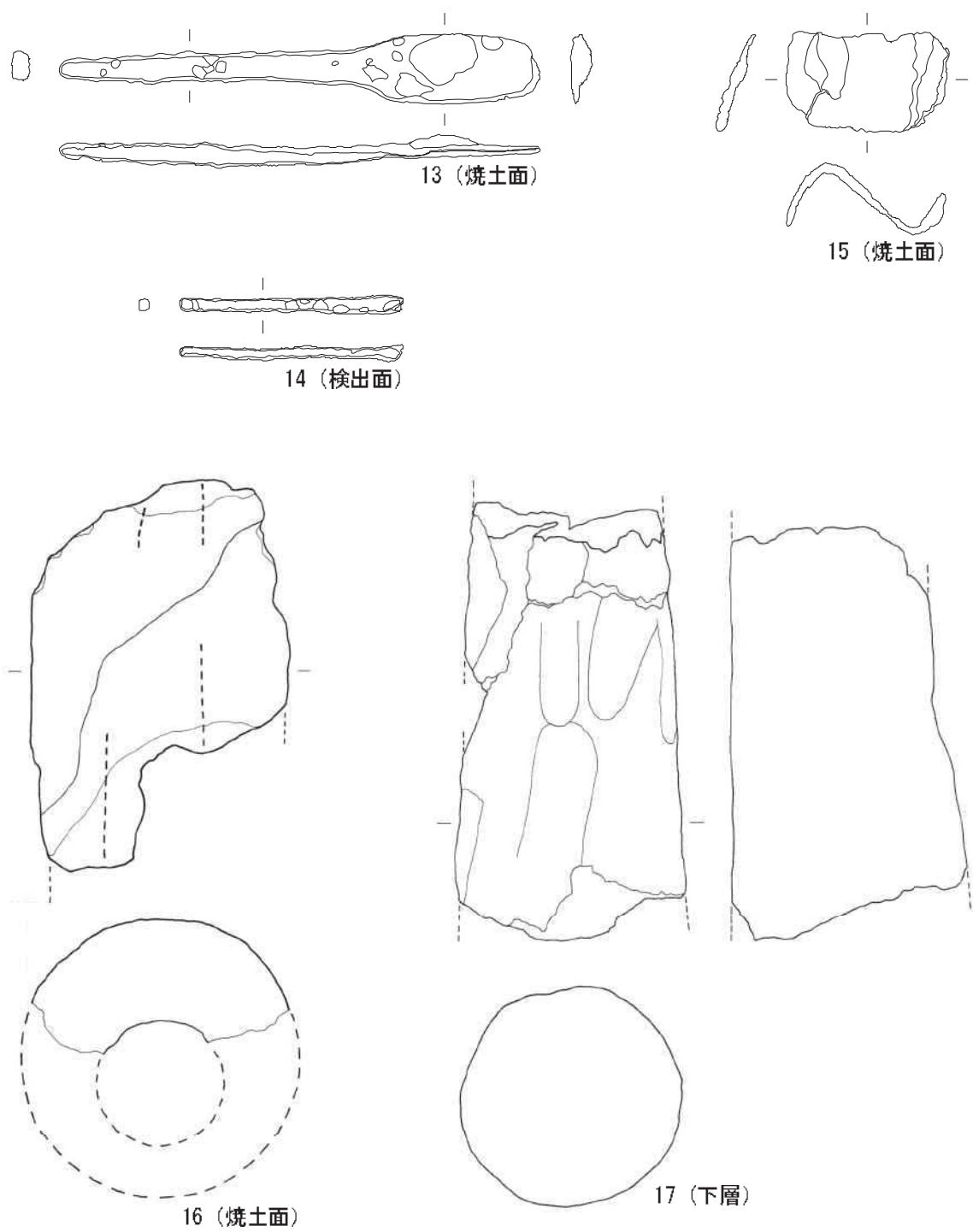


図122 48号土坑跡出土遺物 (1)



0 1:2 5cm

图123 48号土坑跡出土遺物 (2)

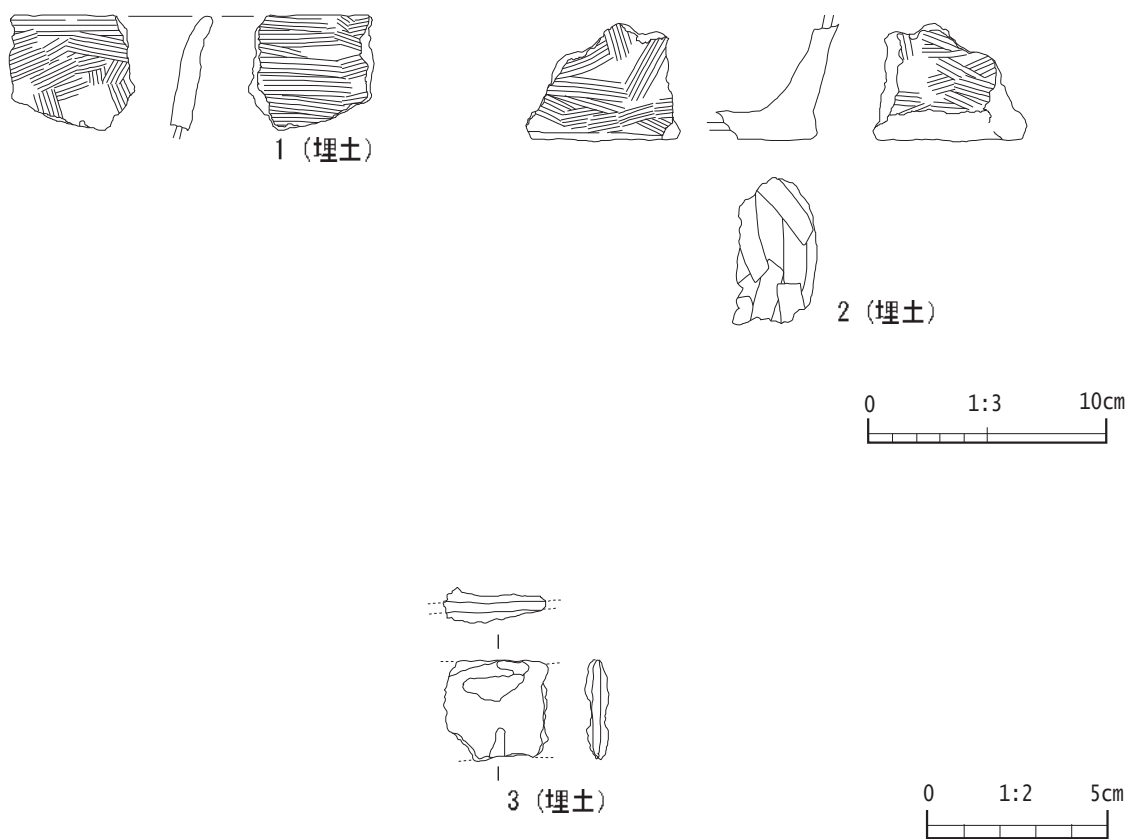


图124 49号土坑迹出土遺物

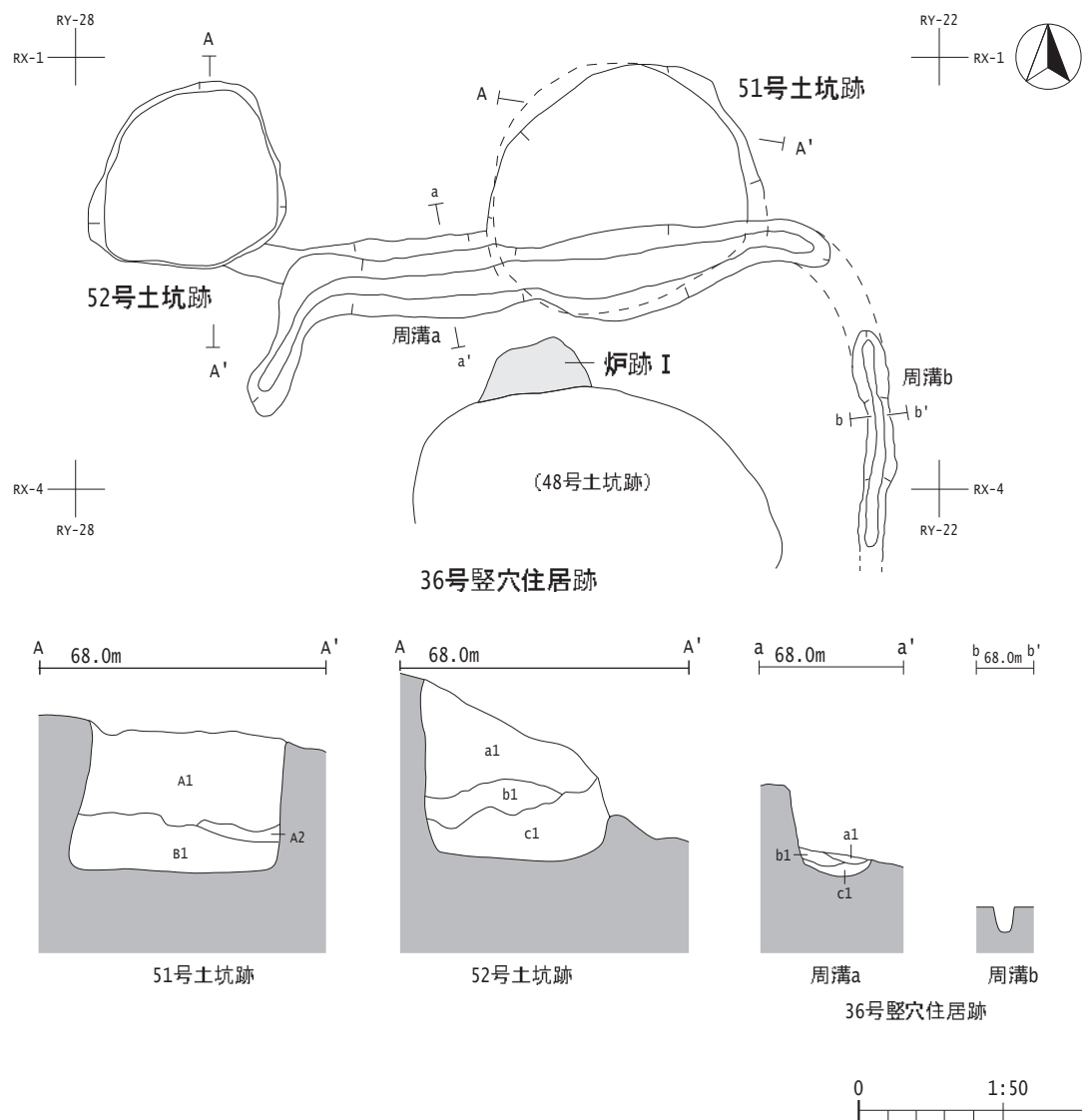


図125 36号竪穴住居跡、51号、52号土坑跡、炉跡Ⅰ 平断面

36号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
周溝 a	a1	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 3%	固さ・構造・混入物
	b1	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%	中～固、中、塊 ややねっとり
	c1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 10%	軟～中、疎、塊 真砂土混
周溝 b	a1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土	中、中、塊
	k1	10YR4/2 砂壤土	7.5YR5/6 明褐色 砂壤土 塊 5%	軟、疎、塊
			10YR7/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 3%	中、中～疎、塊
炉跡	k2	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 10%	中～固、中～密、塊 灰土混 中
	k3	10YR4/4 褐色 砂壤土	7.5YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 15%	

51号、52号土坑跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
51号土坑跡	A1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 20%	中、疎、塊 真砂土が混じる 3%
	A2			A1 層より「10YR5/4 にぶい黄褐色」の割合が増える
	B1	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%	中、疎、塊
52号土坑跡	A1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%	中～軟、中、塊
	B1	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 塊 10%	中～軟、中、塊
	C1	10YR4/4 褐色 砂壤土 塊	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 5%	中～軟、中、塊

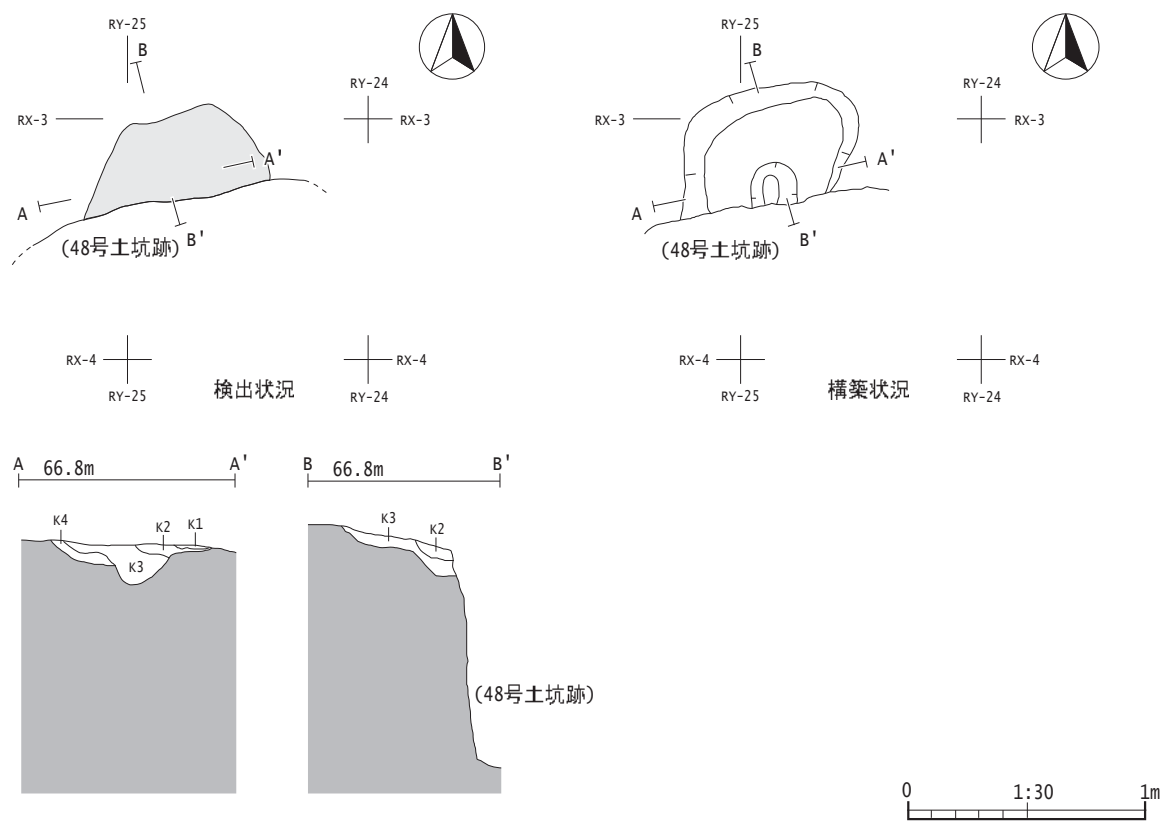


図126 36号竪穴住居跡炉跡Ⅰ 平断面

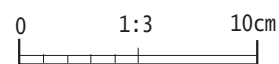
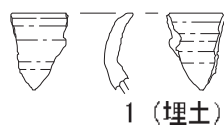


図127 36号竪穴住居跡出土遺物

37号、38号、39号竪穴住居跡（図128）

調査区中央の南斜面に位置し、3棟は平行して並ぶ。いずれも北壁付近のみの検出なので、平面形は不明である。新旧の関係は、新しい方から37号→38号→39号の順序である。

37号竪穴住居跡（図128）

北側に位置し、38号竪穴住居跡を切り、46号土坑跡に切られる。北壁のみの検出なので、形状、規模は不明である。遺物は鉄滓490gが出土している。

38号竪穴住居跡（図128）

37号竪穴住居跡の南に位置する。37号竪穴住居跡と46号土坑跡に切られる。北壁のみの検出なので、形状、規模は不明である。埋土は3層に分かれる。遺物は鉄滓45gが出土している。

39号竪穴住居跡（図128）

38号竪穴住居跡の南に位置する。38号竪穴住居跡と47号土坑跡に切れ、40号竪穴住居跡を切る。北壁のみの検出なので、形状は不明である。検出規模は、推計で東西8.0mを測る。床面の東側で2基の炉跡、規模の大きい土坑跡（53号）などを検出している。

出土遺物（図130－1～4）

- 1はアカヤキの坏である。外傾して立ち上がる。内面にヘラミガキを施す。
- 2、3は土師器甕の口縁部である。いずれも短く、外反する。
- 4は砥石である。扁平な三角礫を利用し、磨面には条痕が入る。

53号土坑跡（図129）

炉跡Ⅰの東に位置する。平面形は楕円形である。規模は、1.0m×0.7m、深さ0.5mを測る。検出面で焼土と多数の礫が並び、石組の炉跡を想定して精査を行ったが、焼土は現地性のものではなく、石組の土留めに使ったものと思われる。土坑内に焼成面は確認されず、埋土に焼土、炭は含まれていない。須恵器の大甕を伴うことから、井戸など水関連の施設だった可能性がある。

出土遺物は、a 1、c 1層に須恵器の体部片が含まれた。須恵器は、43号竪穴住居跡から出土した大甕（図160－58）と接合している。

炉跡Ⅰ（図129）

53号土坑跡の東に位置する。平面形は不整円形である。規模は、径30cm、還元焼成面までの深さ3.0cmを測る。炉床は焼き締まっていない。遺物は出土していない。

炉跡Ⅱ（図129）

床面の東側に位置する。平面形は楕円形である。検出規模は、東西65cm、南北60cm、焼成面までの深さ10cmを測る。k 3層は炭層、k 4層は還元焼成面である。

出土遺物（図130－5、6）

- 5は土師器甕の底部である。張出しはなく、底面はヘラ削り調整を施される。
- 6は土製品の羽口である。推計で外径10cm、内径3.5cmである。この他に鉄滓102kgが出土している。



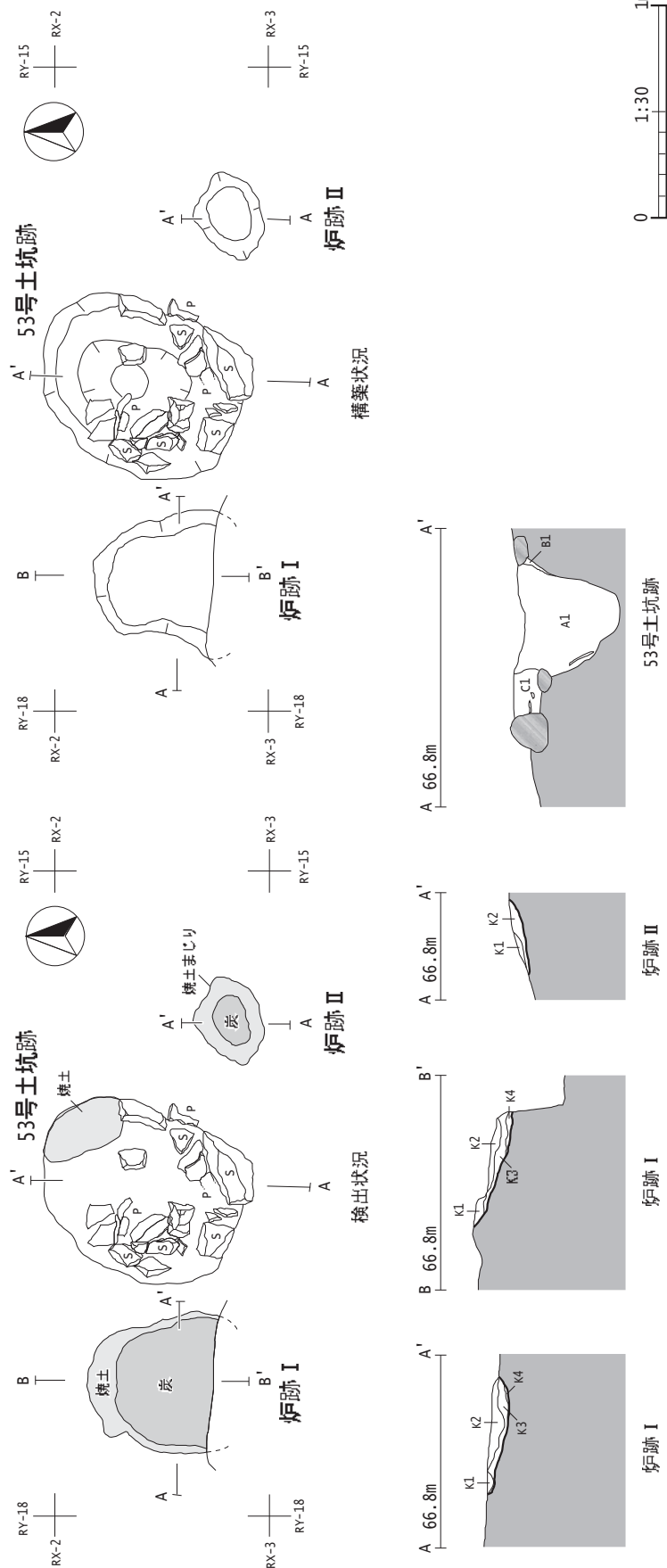


图129 39号竖穴居跡炉跡Ⅰ、Ⅱ、53号土坑跡 平断面

39号野跡 土層注記表			
層名	層土	侵入土	図記・構造・侵入物
跡跡I	k1	10YR4/6黄砂壤土	中、中、硬
	k2	10YR4/4黄砂壤土	中、中、硬炭多
	k3	10YR4/4黄砂壤土	中、中、硬炭多
	k4	10YR2/3黄砂壤土	軟、硬、炭多
	k5	2.5Y5/3黄砂壤土	中、中、硬、炭多
	k6	5YR4/4砂壤土	中、中、硬
	k7	10YR4/4黄砂壤土	中、中、硬
跡跡II	k8	10YR4/4黄砂壤土	中、中、硬
	k1	7.5YR2/2黄砂壤土	軟、硬、炭多
	k2	10YR4/6黄砂壤土	軟、中、硬、炭多

53号土坑跡 土層注記表			
層名	層土	侵入土	図記・構造・侵入物
53号土坑跡	a1	10YR5/6黄砂壤土	中、中、硬
	b1	10YR5/8黄砂壤土	中、中、硬
	c1	10YR5/6黄砂壤土	中、中、硬



1 (1層)



2 (床面)



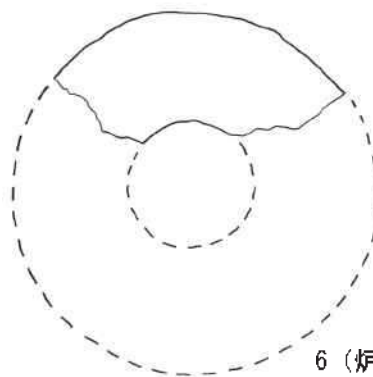
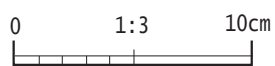
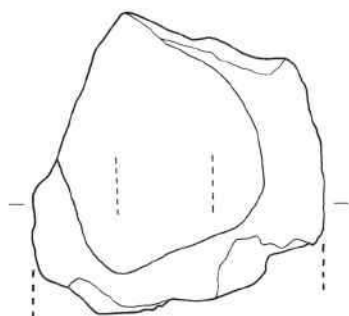
3 (1層)



4



5 (炉付近)



6 (炉付近)

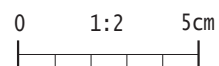


图130 39号竖穴住居跡、炉跡Ⅰ出土遺物

40号竪穴住居跡（図131、132）

調査区中央の南斜面に位置する。33号、39号竪穴住居跡、47号、48号、50号土坑跡に切られる。平面形は隅丸方形である。東西6.0mを測り、南北は確認していない。埋土は3層に大別される。床面は南にやや傾斜する。カマド、周溝は検出していない。床面の北東部で炉跡が出土し、6基の小土坑跡が出土している。

炉跡Ⅰ（図133）

床面の北東に位置する。南側を33号竪穴住居跡に切られる。平面形は不整円形である。規模は、径60.0cm、還元焼成面までの深さ12cmを測る。k 2層は炭層、k 3層が炉床の還元焼成面である。

出土遺物（図134）

1～5は土師器の甕である。1～3は口縁部である。いずれも短く、わずかに外反する。体部は、1、2は膨らみ、3の膨らみは弱い。4、5は底部である。いずれも張出しは弱い。4は底面にヘラ削り調整痕を残す。

6は土製品の羽口である。推計で、外径9.0cm、内径4.5cmを測る。この他に鉄滓460gが出土している。

41号竪穴住居跡（図135、136）

33号竪穴住居跡の西に位置し、同遺構、40号竪穴住居跡に切られる。平面形は隅丸方形である。規模は、東西7.5m、南北5.5mである。埋土は7層に分かれる。

カマドは西壁に設けられる。カマドの周辺部で炉跡が3基検出し、その周辺で、粘土混じりの焼土、炭の広がりなどを確認している。竪穴の東壁際で4基の小土坑跡を検出している。

カマド跡（図137）

くり抜き式である。煙道は下降して掘り込まれ、煙出しは垂直に立ち上がる。k 3層は焼土を多量に含む軟質の黒褐色土である。k 4層は粘土層である。袖石、据跡を確認している。

焼土、粘土、炭の広がり（図138）

床面の西側、炉跡の西側と南側に広がる。A 1層は焼土混じりの粘土層である。羽口、土師器などが出土している。B 1層は炭層である。炉跡に伴う粘土と炭である。

炉跡Ⅰ（図139）

西側床面の中央、カマドの東に位置する。平面形は楕円形である。規模は、80cm×60cm、深さ15cmを測る。A、B層とも鉄滓、羽口片などを含む軟質な黄褐色土層である。

炉跡Ⅱ（図139）

炉跡Ⅰの北東に位置する。平面形は、検出面での焼成面は楕円形である。規模は、50cm×30cmである。焼成面までの深さは、10cmである。k 4層は多量の鉄滓を含む。5層が還元焼成面である。k 6層は焼けた地山層である。構築状況で、南側を浅く掘りくぼめていることを確認した。

炉跡Ⅲ（図139）

炉跡Ⅰの北に位置する。検出面での焼成面は楕円形である。規模は、40cm×30cm、焼成面までの深さは10cmを測る。k 1層は炭層、k 2層が還元焼成面である。k 3～k 6層は構築土で、炭を多く含む。

出土遺物（図140～145）

1～9は土師器の甕である。1～7は口縁部である。いずれも短く、外反する。2～4の胴部は膨らむ。8、9は底部である。8の張出しは弱く、9は張出しをもたない。いずれも底面にヘラ削り調整痕を残す。

10～18は鉄製品である。10は鉄鏝である。11、12は角釘である。大小の輪金具が接合した製品である。14は鋸である。15は平たい部分と棒状の部分をもつ製品である。16、17は棒状の製品で、先端がややとがる。18は薄い板状の製品である。15～18の用途は不明である。

19～26は土製品の羽口である。19は、外径7.0cm、内径2.5cmを測る。20は、外径6.8cm、内径2.5cmを測る。21は、推計で、外径9.0cm、内径4.9cmを測る。22は、外径5.3cm、内径2.8cmを測る。23は、外径8.5cm、内径3.2cmを測る。24は、外径6.2cm、内径2.1cmを測る。26は、外径9.0cm、内径3.0cmを測る。

27～32は砥石である。26は三角礫の2面を利用する。27は扁平方形礫の3面を利用する。28は台形礫の3面を使い、磨面に条痕を残す。29～31は方形礫の2面を利用する。

33、34は炉跡に伴って出土した鉄床石である。32、33は同一個体である。この他に鉄滓3.3kgが出土している。

42号竪穴住居跡（図146）

調査区中央の南斜面に位置する。41号竪穴住居跡、49号土坑跡に切られる。平面形は方形である。規模は、東西5.3mを測り、南北は確認していない。埋土は2層に分かれる。カマドは北壁に設けられ、床面からは2基の土坑跡が出土している。

カマド跡（図147）

北壁の東寄りに位置する。くり抜き式である。煙道は下降して掘られ、煙出しは垂直に立ち上がる。k4層は粘土混じりの崩壊土、5は炭層、k6は焼成面である。

出土遺物（図148）

1は土師器の坏である。ロクロ成形である。やや内湾し、外傾しながら立ち上がる。内面に黒色処理して、ヘラミガキが施す。切り離しは回転糸切りである。

2は鉄製品である。刀子の刃部である。

43号竪穴住居跡（図149～151）

調査区中央の南斜面、41号竪穴住居跡の西側に位置する。5号、6号炉跡に切られ、44号竪穴住居跡を切る。平面形は隅丸方形である。規模は、東西7.0m、南北6.5mを測る。埋土は、3層に大別される。B層は北と西側に堆積する人為的な堆積土と思われる。C層は床面全体を覆う真砂土層である。

床面の北側、西側に炭化した柱状の木材、焼土、炭などが広がり、その中から土師器、須恵器の一括土器、鉄製品、銅製品などが出土している。焼失家屋と思われる（図146）。カマドは北壁と西壁に設けている。柱穴跡は東西の壁際で検出したが、周溝は確認していない。

北壁カマド跡（図152、153）

北壁には3基の煙道が並ぶ。

カマド跡A（図152、153）

西側のカマド跡である。くり抜き式である。煙道は下降して掘られ、煙出しは垂直に立ち上がる。k1、k2層が焼土層である。

カマド跡C（図152、153）

カマド跡Aの東側に位置する。当初掘りかけの煙道と見たが、D1層の壁は焼けて、D3層は多量の焼土、炭を含んでおり、廃棄されたカマドと思われる。

カマド跡 D (図152、153)

カマド跡 C の東側に位置する。とくに焼成面などは観察されず、掘りかけの煙道と思われる。

カマド跡 B (図154)

西壁の中央に位置する。くり抜き式である。煙道は下降して掘られて、煙出しは垂直に立ち上がる。

D 4 層の煙道壁は固く焼けており、D 7 層は炭層である。焚口の焼成面は確認していない。

出土遺物 (図155～167)

1～7 はアカヤキの坏である。1～3 は高台付坏である。1 は高めの八の字高台が付き、体部はやや内湾しながら立ち上がり、口縁部は外反する。内面にヘラミガキを施す。2 は八の字高台が付き、体部から直線的に立ち上がる。内面底部をミガキ調整する。3 は低めの高台が付き、底部はやや内湾する。体部は直線的に立ち上がり、口縁部は外反する。内面にヘラミガキを施す。4 は、底部が若干内湾し、口縁部は外傾しながら、直に立ち上がる。底面はヘラ削り調整を施される。5、6 の底部は内湾し、口縁部はわずかに外反する。6 は内面にヘラミガキを施す。5、6 とも切り離しは、回転糸切りである。7 はわずかに内湾し、口縁部は直に立ち上がる。

8 はアカヤキ甕の口縁部である。9～55 は土師器の甕である。9～13 は、口縁部は短く、外反し、体部はやや膨らみ、底部の張り出しは弱い。底部は、9、12 の張り出しは弱く、13 は張り出しをもたない。

14～34 は口縁部である。いずれも短い口縁部である。直に立ち上がり、体部が膨らむもの (14、15、22、23) 外反し体部の膨らむもの (21、24)、外反し体部に膨らみのないもの (16～20、28～34) に分かれる。35～54 は底部である。張り出しをもたないもの (35)、張り出しの弱いもの (36～48)、張り出しの明瞭なもの (49～55) に分かれる。底面は木葉痕を残すもの (44)、ヘラ削り調整を施されたもの (35、36、38～42、50) に分かれる。

56～68 は須恵器である。56 は大甕である。口縁部は外反し、底部は丸底風に成形される。57 は高台付壺である。底面にヘラ削り調整痕を残す。58 は56 と同形の大甕である。59 は57 と同形の壺である。60 は大甕の口縁部である。二条の波状文が施される。61 は甕の口縁部である。62 は長頸壺の口縁部である。63、64 は壺の頸部～体部である。65 は高台付の底部である。ヘラ削り調整を施される。66～68 は体部片である。67、68 は内外面にタタキメを残す。

69～101 は鉄製品である。69～74 は刀子である。75、76 は紡錘車である。77～82 は角釘である。83 は釣針である。84 は鉄鏝である。85 は鍬先である。86、87 は大きな輪金具を、両端に輪のついた棒で連絡する。馬具の轡と思われる。

88～101 は用途不明の製品である。

88、89 は棒状の製品である。89 は掘じりを加え、先端がとがる。90 は角棒状の製品である。91 は折曲がる薄い板状の製品である。92、93 はコの字に曲げた板に上下から鋸が打たれる。94 はヘアピン状の細い棒に、細い円環を絡ませる。95～98 は同一個体と思われる。99 は正方形の環金具である。100 は厚い板状の製品である。101 は筒状の製品である。

102 は銅製品である。炭が付着して出土している。浅鉢形の容器と思われる。

103 は砥石である。磨面に条痕を伴う。この他に鉄滓3.4kgが出土している。

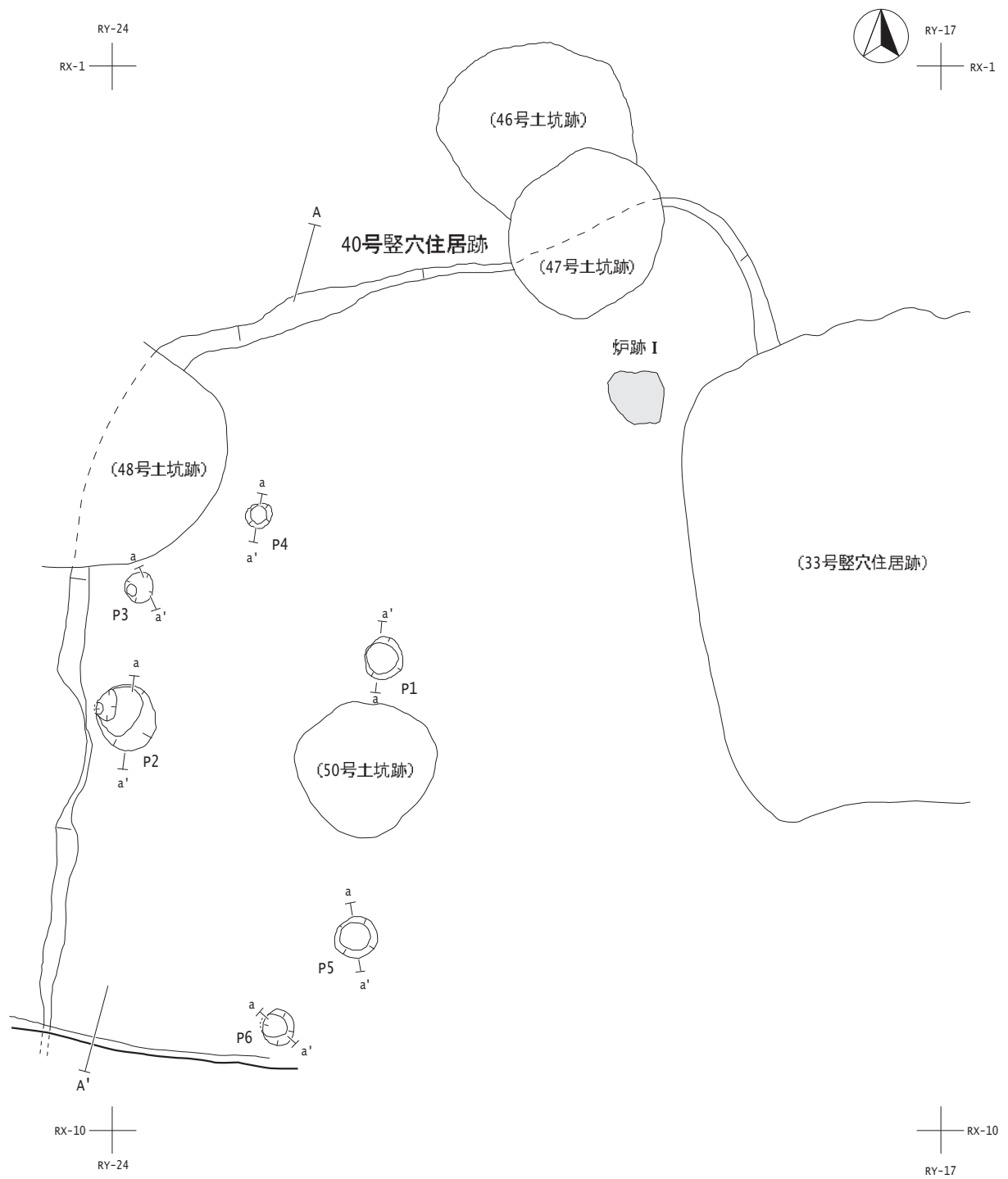


图131 40号竖穴住居迹、炉迹 I 平面

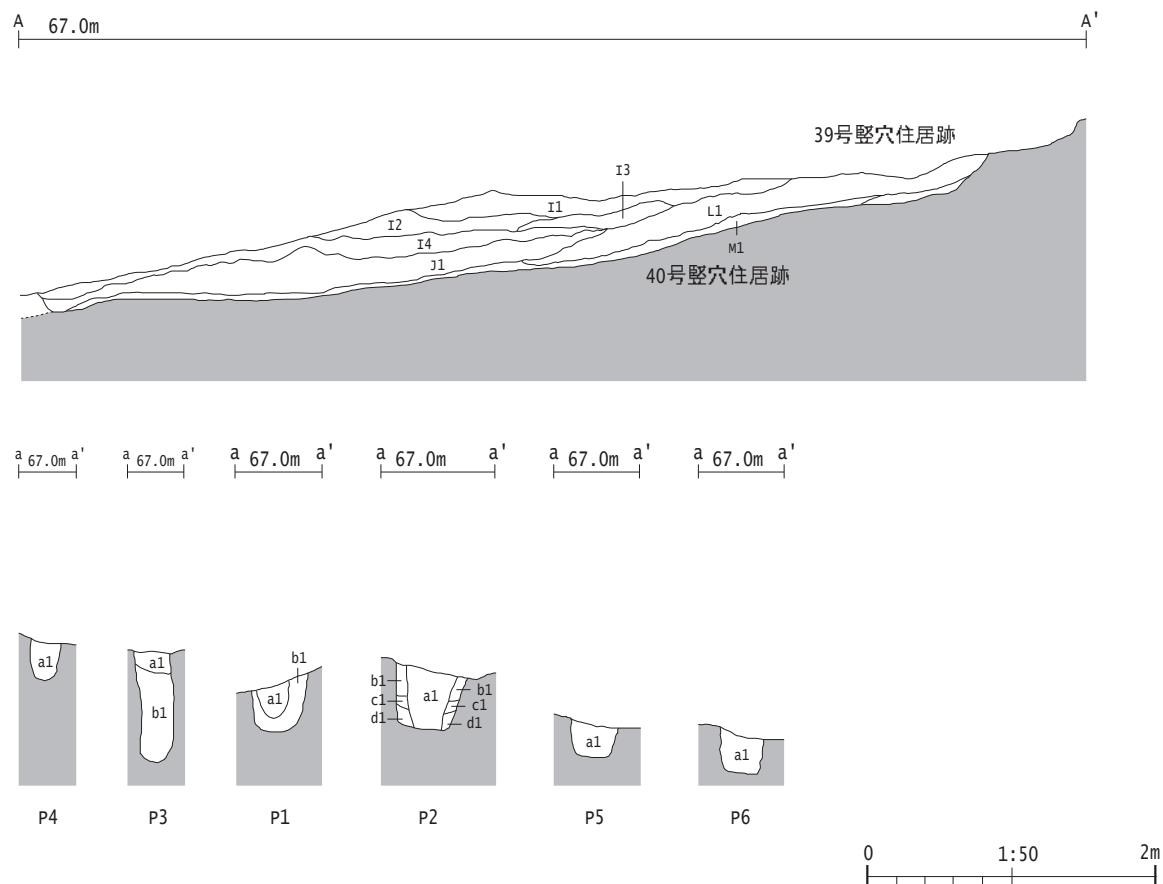


图132 40号竖穴住居跡 断面

40号竖穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
40号竖穴住居跡	J1	10YR4/6 褐	10YR5/4 灰色黄褐色 砂壤土 塊 10%	中～固、疎、塊
			10YR6/6 明黄褐色 砂壤土 塊 10%	
	L1	10YR6/4 灰色黄褐色 砂壤土	10YR5/4 灰色黄褐色 砂壤土 塊 20%	中～固、疎、塊
	M1		10YR4/6 褐 砂壤土 塊 10%	
P1			10YR7/6 明黄褐色 砂壤土 塊 5%	
	a1	10YR4/4 褐 砂壤土	10YR5/4 灰色黄褐色 砂壤土 塊 10%	中、中、塊炭(少)
	b1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR5/4 灰色黄褐色 砂壤土 塊 10%	軟、疎、塊
			10YR6/4 灰色黄褐色 砂壤土 塊 10%	中、中、塊
P2	a1	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR6/4 灰色黄褐色 砂壤土 塊 10%	中、中、塊
	b1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR4/6 褐 砂壤土 塊 10%	中、軟、塊
			10YR6/4 灰色黄褐色 砂壤土 塊 10%	
	c1	10YR7/4 灰色黄褐色		固、疎、塊 真砂土層
P3	d1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR5/4 灰色黄褐色 砂壤土 塊 15%	軟、疎、塊
	a1	10YR4/6 褐 砂	10YR4/4 褐 砂壤土 塊 10%	固、中、塊
	b1	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR6/4 灰色黄褐色 砂壤土 塊 30%	中～固、中、塊
			10YR6/4 灰色黄褐色 砂壤土 塊 10%	固、中、塊
P5	a1	10YR4/6 褐 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 15%	中、中、塊
P6	a1	10YR4/4 褐 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 15%	中、疎、塊
P7	a1	10YR4/6 褐 明	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 20%	中、中、塊
(38号竖穴住居跡-P2)	a1	10YR5/4 灰色黄褐色 砂壤土	10YR6/4 灰色黄褐色 砂壤土 塊 15%	固、中、塊
	b1	10YR4/6 褐	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 10%	軟、中、塊
			10YR4/4 褐 砂壤土 塊 3%	

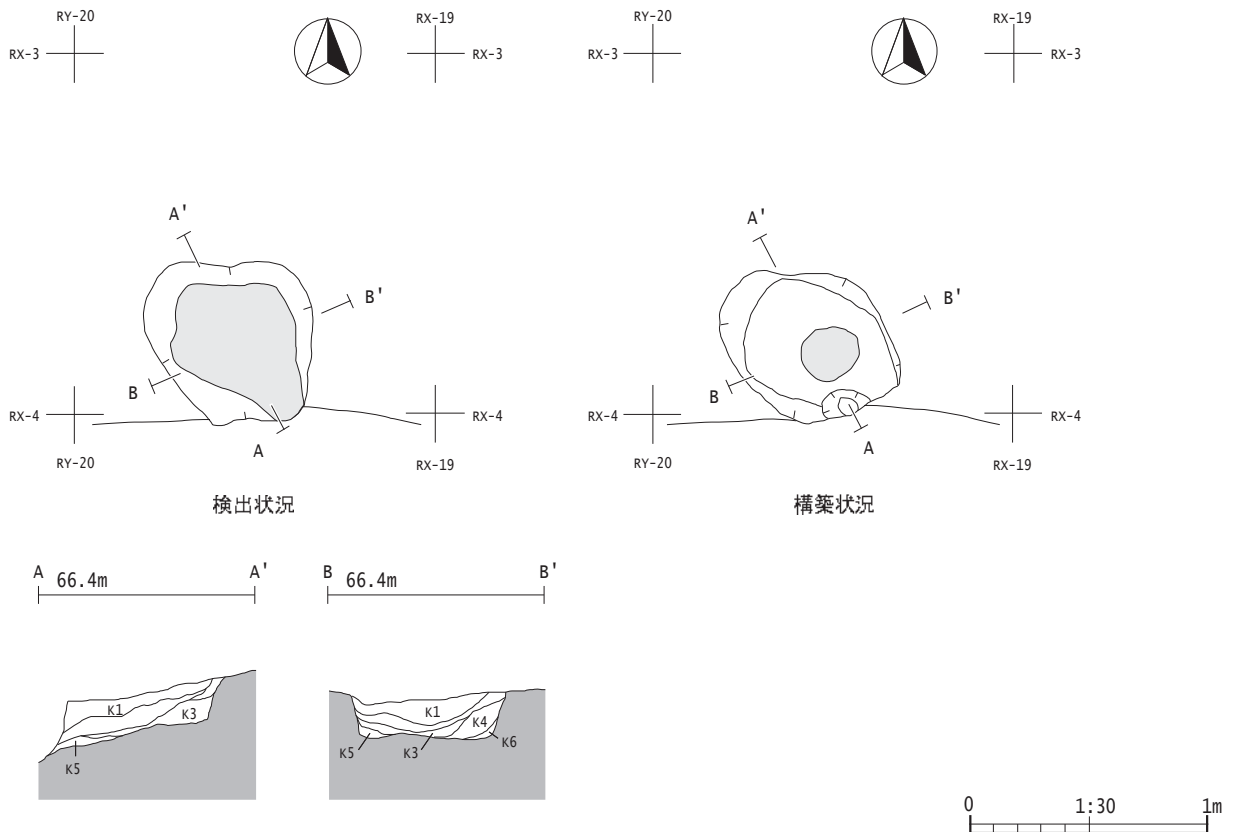


図133 40号住居跡炉跡Ⅰ 平断面

40号壁穴住居跡Ⅰ号炉跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
炉跡Ⅰ	k1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%	中～軟、中、塊
	k2	10YR3/2 黒褐色 砂壤土	10YR2/2 黒褐色 砂壤土	軟、速、塊鉄滓多い炭層
	k3	10YR2/1 黒 砂壤土	10YR4/4 褐色 砂壤土 塊 10%	中～固、中、塊
	k4	10YR3/4 暗褐色 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 15%	
	k5	10YR4/4 褐色 砂壤土	7.5YR4/4 褐色 砂壤土 塊 20%	固、中～硬、塊
	k6	10YR3/4 暗褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%	中、中、塊
	k6	10YR3/4 暗褐色 砂壤土	10YR7/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%	中、中、塊 真砂土混じり 炉の東側がよく焼けている

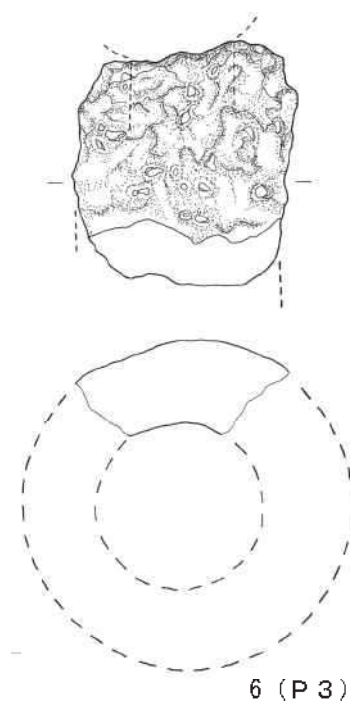
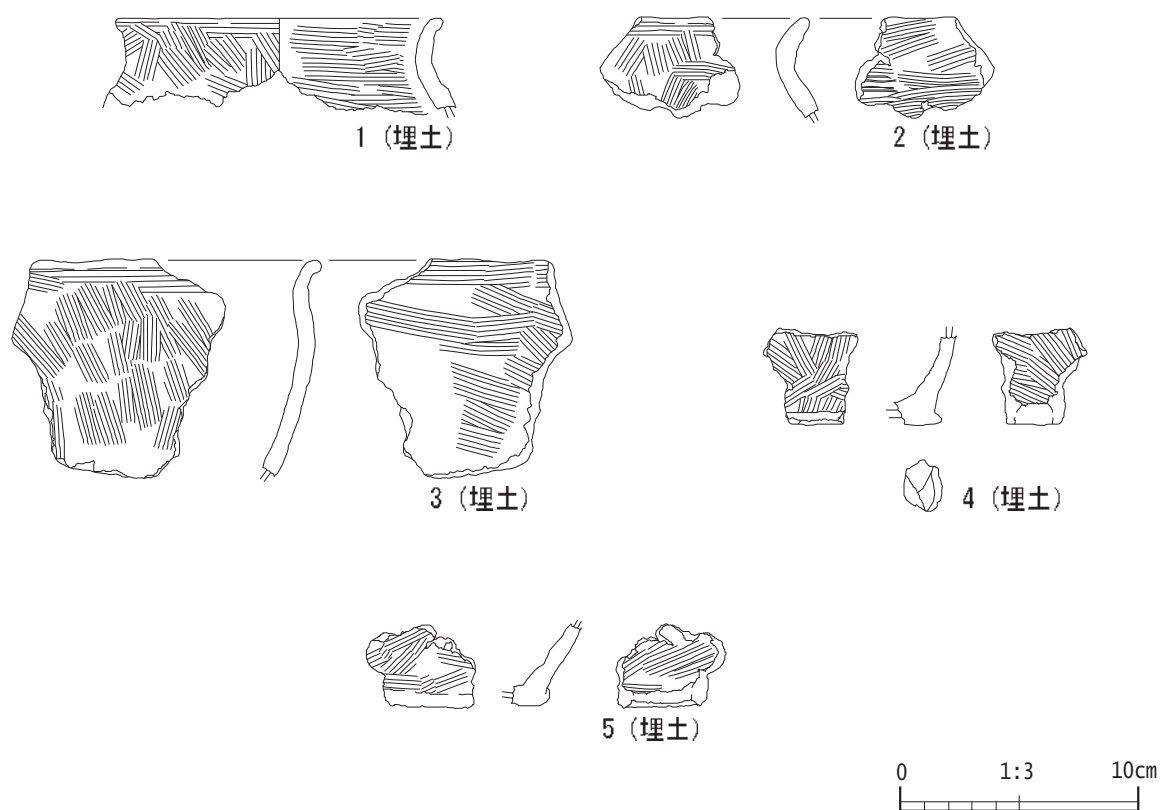


图134 40号竖穴住居跡出土遺物

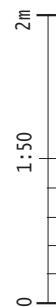
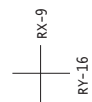
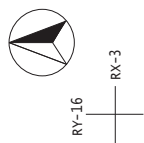


图135 41号竖穴居迹 平面

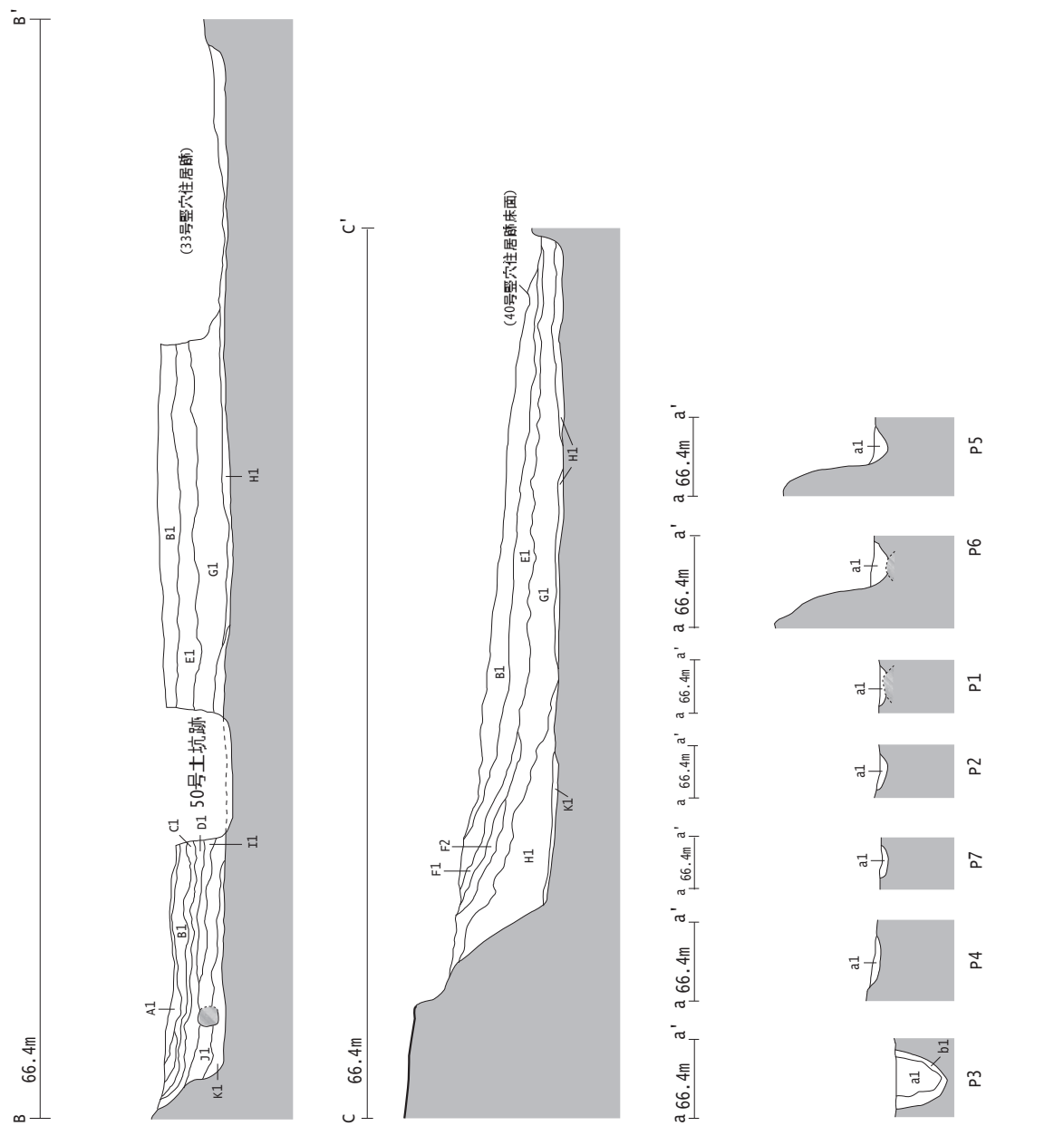


图136 41号竖穴住居跡 断面

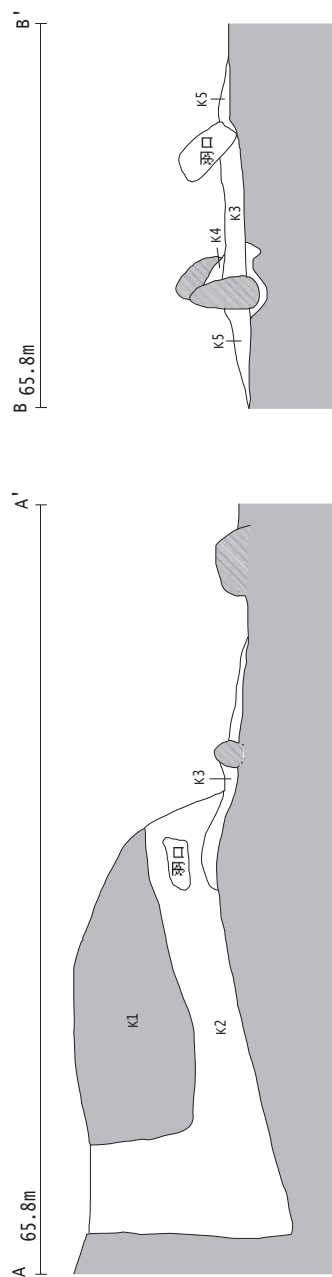
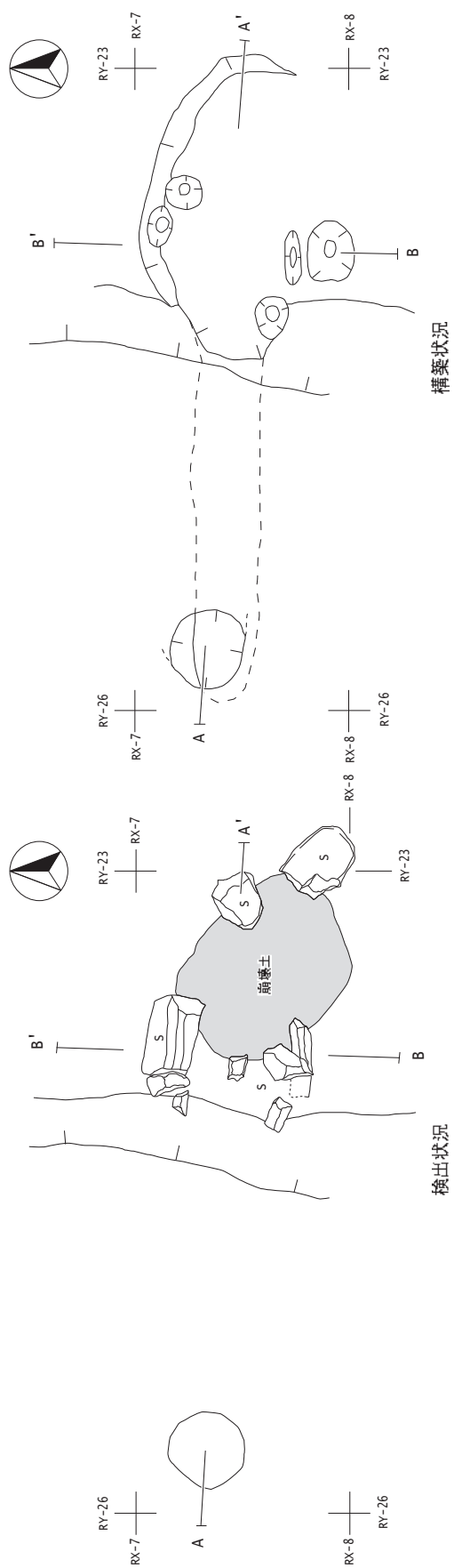


図137 41号竪穴住居跡カマド 平断面

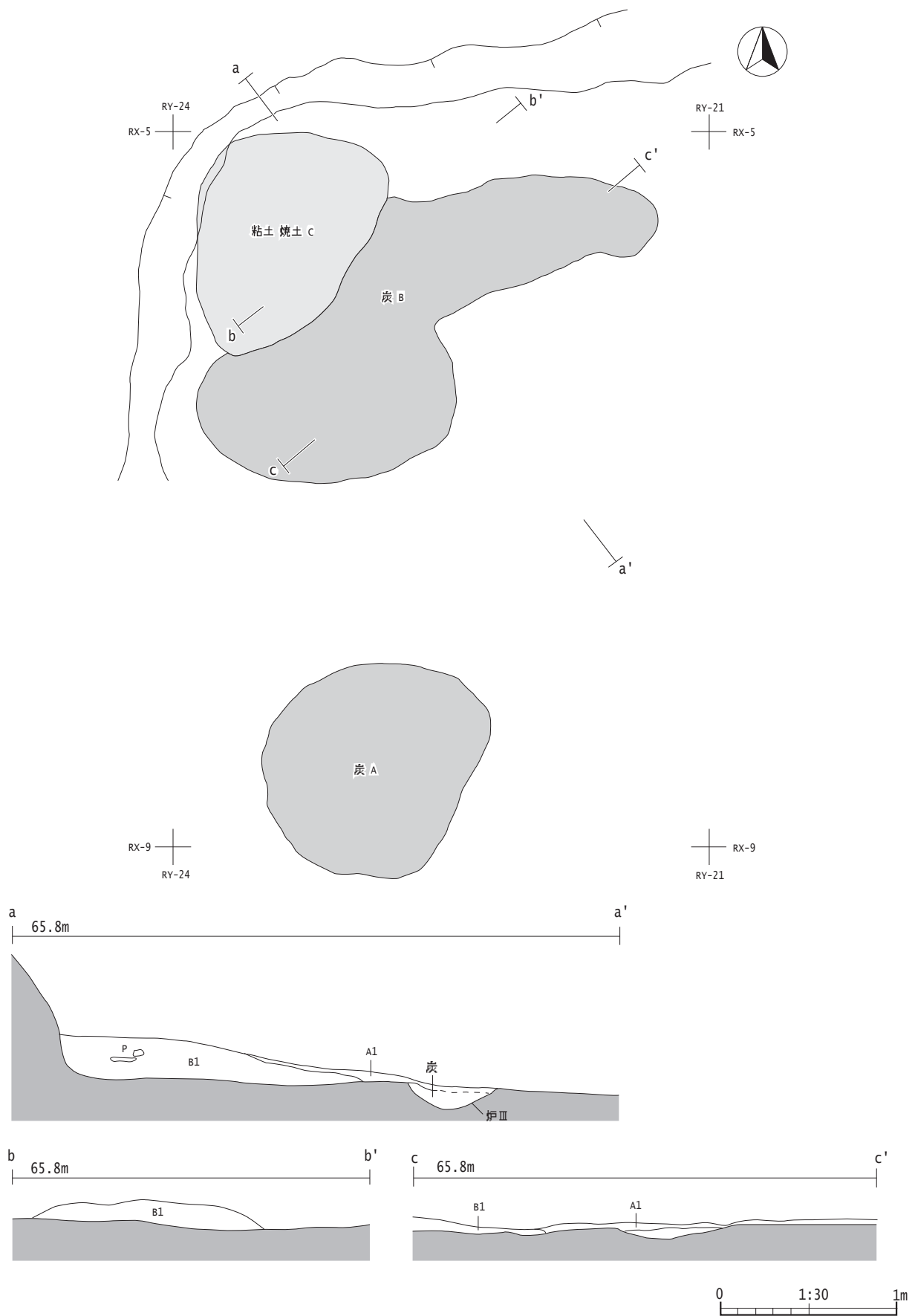


図138 41号竪穴住居跡焼土、炭の広がり 平断面

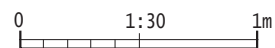
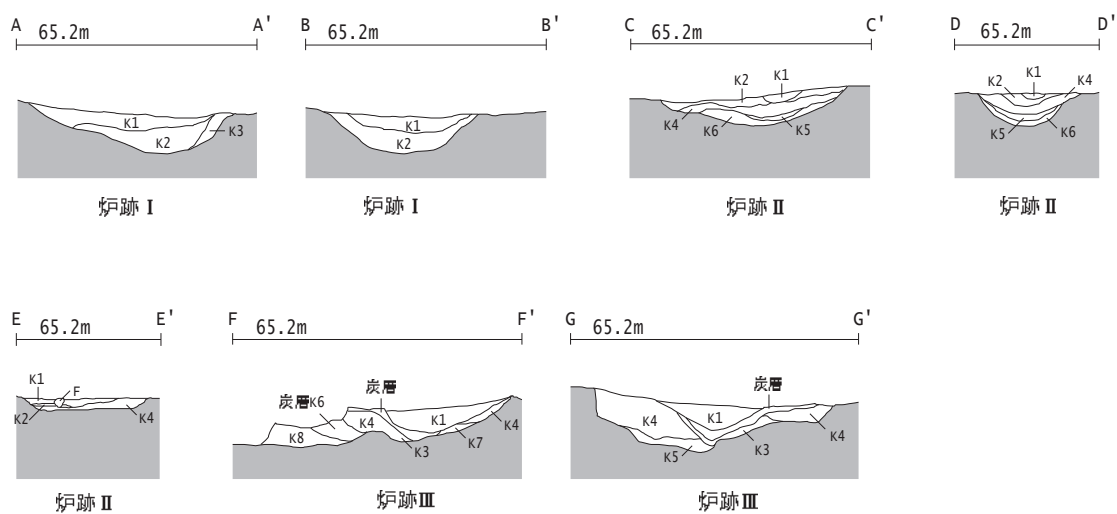
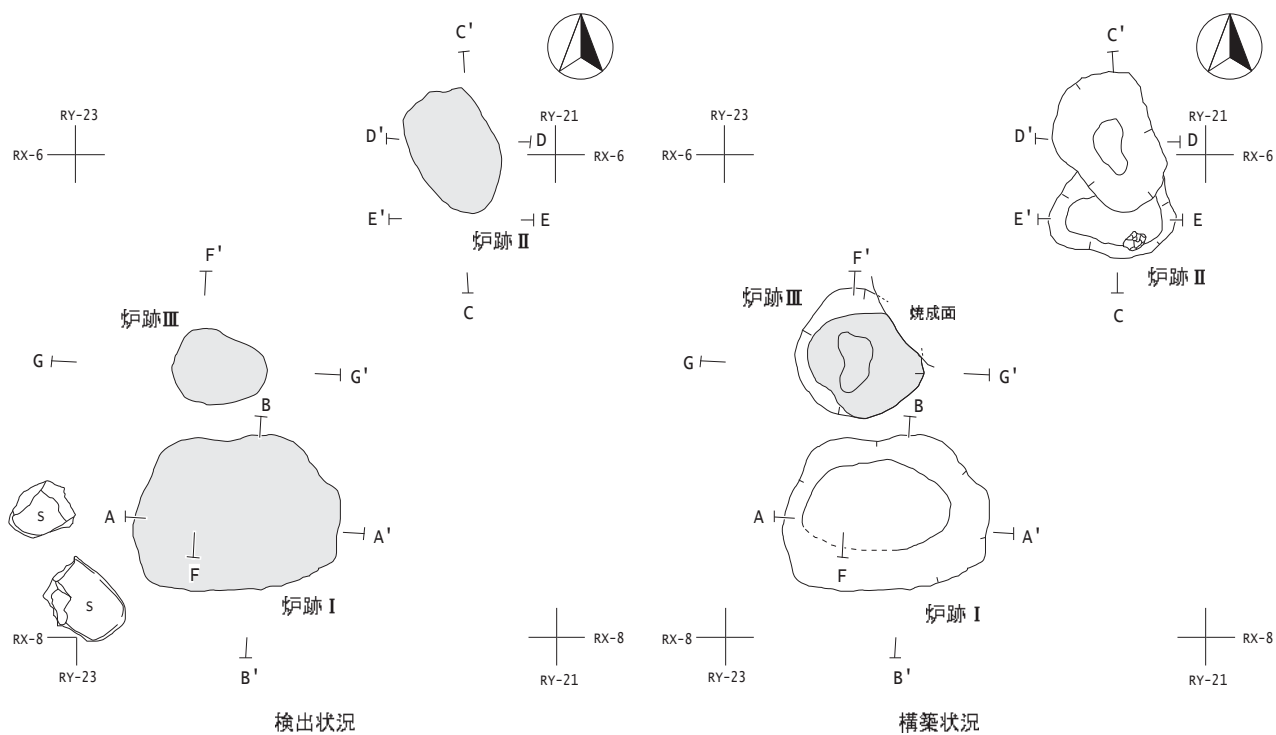


图139 41号竖穴住居跡炉跡I、II、III 平断面

41号型六住居跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	調査・構造・混入物
41号型六住居跡	A1	7.5YR5/8 明褐色	酸化層、ガチガチ、厚いところで 1cm 程度
	B1	10YR7/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 塊 5%
	C1	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%
	D1	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR7/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 15%
			10YR4/6 褐色 砂壤土 塊 3%
	E1	10YR7/3 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 15%
			10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 5%
	F1	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR3/4 暗褐色 砂壤土 塊 10%
	E2	10YR7/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊
	G1	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 10%
			10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%
	H1	10YR3/4 暗褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 塊 15%
	I1	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 3%
			10YR7/6 明黄褐色 砂壤土 5%
	J1	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 15%
			10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 5%
	K1	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%
	L1	10YR7/1 灰白	
P1	a1	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土
P2	a1	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%
P3	a1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%
	b1	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%
P4	a1	10YR6/3 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR7/3 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%
P5	a1	10YR3/4 暗褐色 砂壤土	10YR3/2 黄褐色 砂壤土 塊 10%
P6	a1	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土	7.5YR3/4 暗褐色 砂壤土 塊 5%
カマド	k1	5YR3/3 暗赤褐色	5YR4/3 砂壤土
	k2	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 塊 10%
	k3	5YR3/2 暗赤褐色 砂壤土	5YR4/6 砂壤土 塊 10%
	k4	10YR7/4 にぶい黄褐色 砂壤土	7.5YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%
	k5	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	7.5YR4/6 褐色 砂壤土 塊 10%
戸Ⅰ	k1	10YR6/3 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR7/3 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%
	k2	10YR6/3 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR7/3 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%
	k3	7.5YR5/6 明褐色 砂壤土	7.5YR4/6 褐色 砂壤土 塊 10%
戸Ⅱ	k1	10YR2/3 浅黄褐色	2.5Y3/3 砂壤土 塊 10%
	k2	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 10%
	k3	10YR5/3 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR3/4 暗褐色 砂壤土 塊 10%
	k4	10YR17/1 黒	
	k5	10YR17/1 黒	2.5Y5/3 黄褐色 砂壤土 塊 20%
	k6	5YR4/6 砂壤土	5YR5/4 にぶい赤褐色 砂壤土 塊 10%
戸Ⅲ	k1		
	k2	10YR17/1 黒 砂壤土	2.5YR5/2 塊 10%
	k3	7.5YR3/4 暗褐色	7.5YR4/4 褐色 砂壤土 塊 10%
	k4	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 10%
	k5	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 塊 10%
	k6	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%
	k7	7.5YR7/4 にぶい黄褐色 砂壤土	7.5YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊
	k8		
41号型六住居跡戸の周辺	A1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 15%
			7.5YR7/2 明褐色 砂壤土 塊 5%
	B1	10YR17/1 黒	

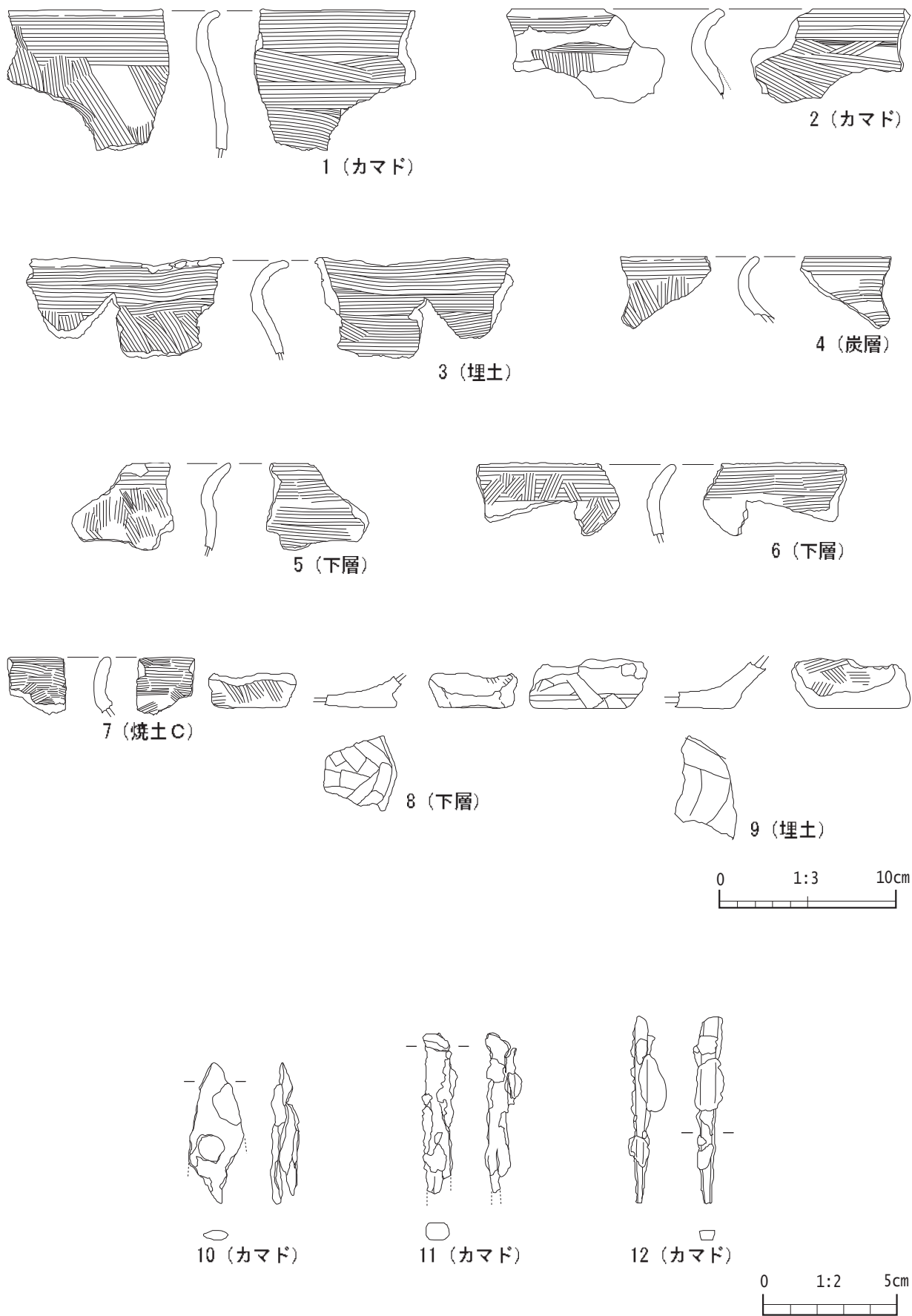


図140 41号竪穴住居跡出土遺物 (1)

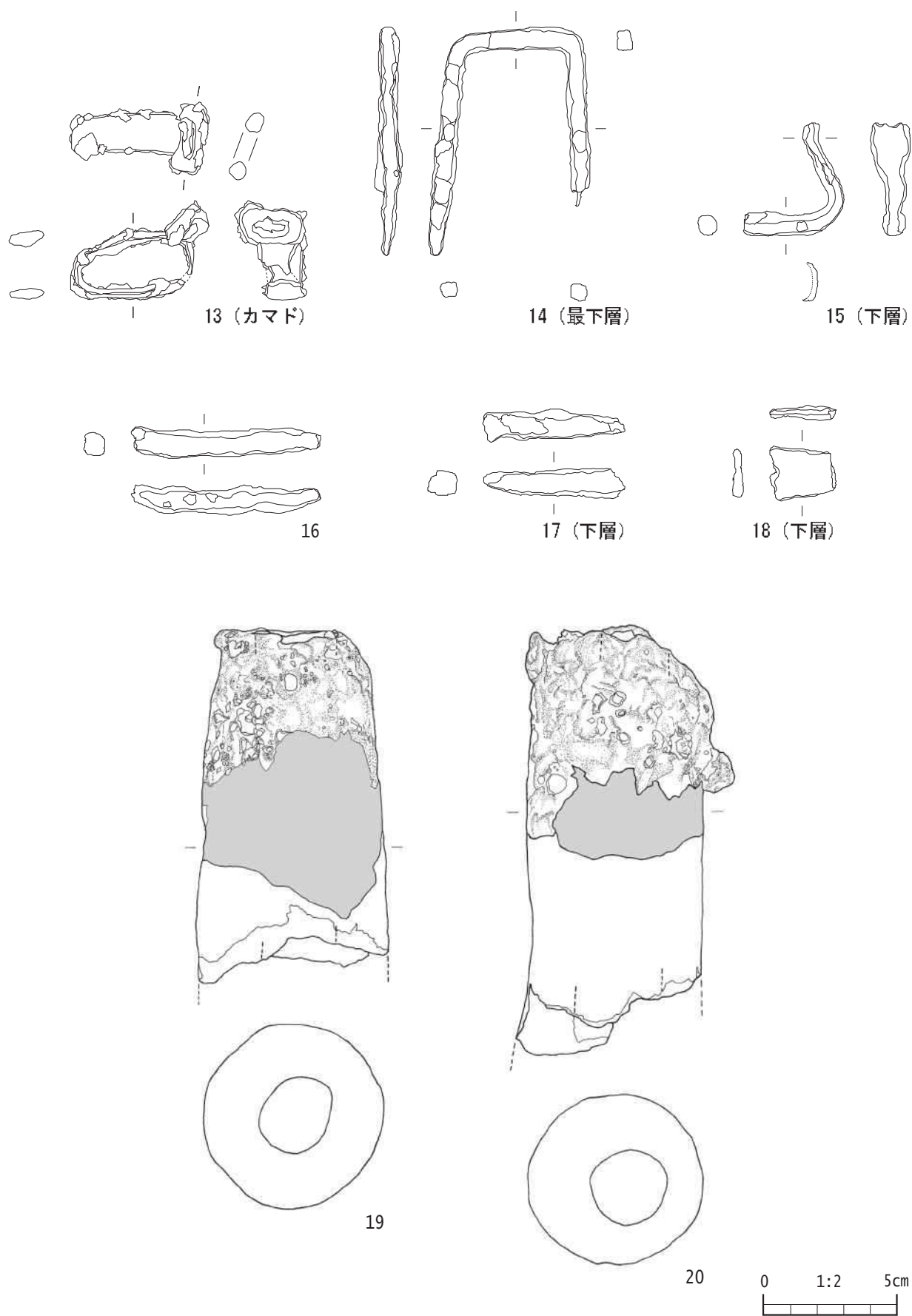
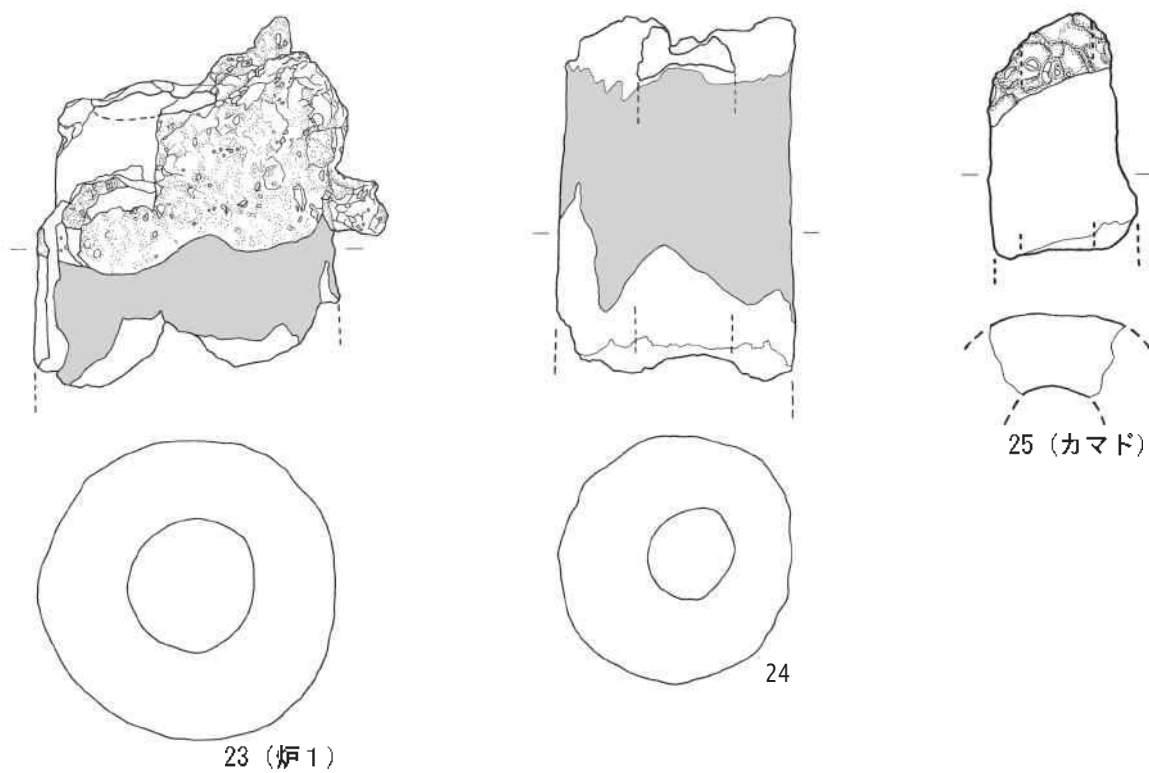
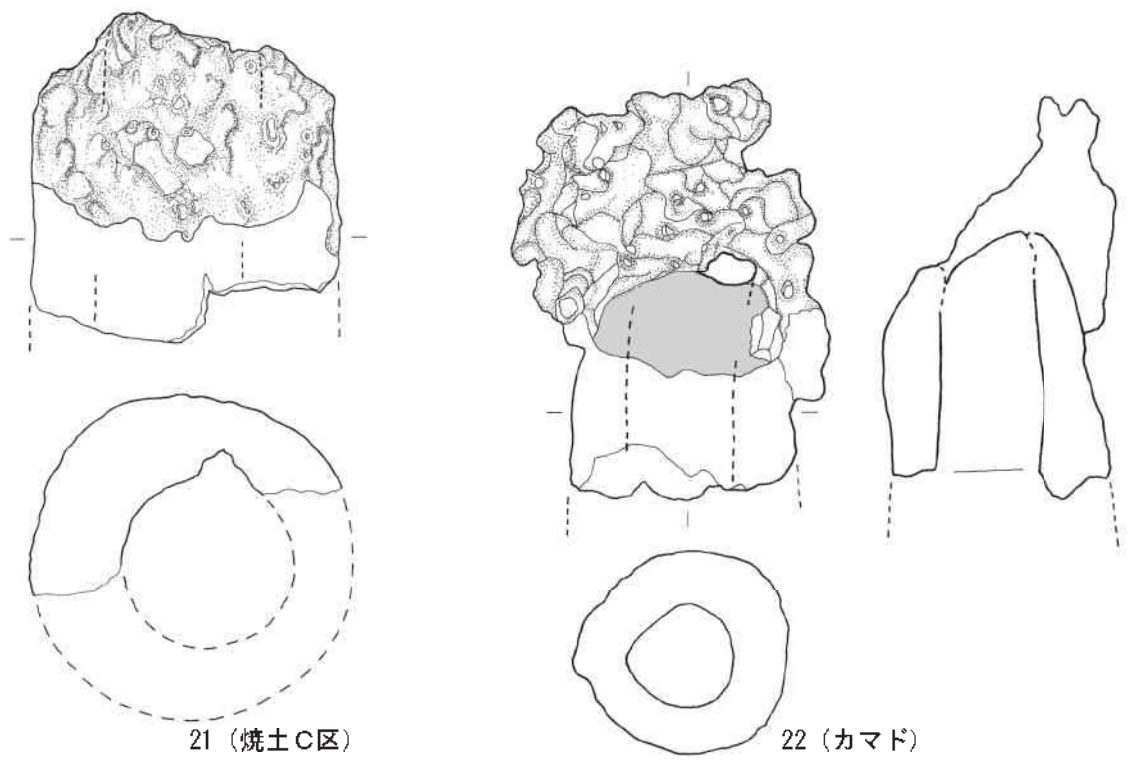


図141 41号竪穴住居跡出土遺物（2）



0 1:2 5cm

図142 41号竪穴住居跡出土遺物 (3)

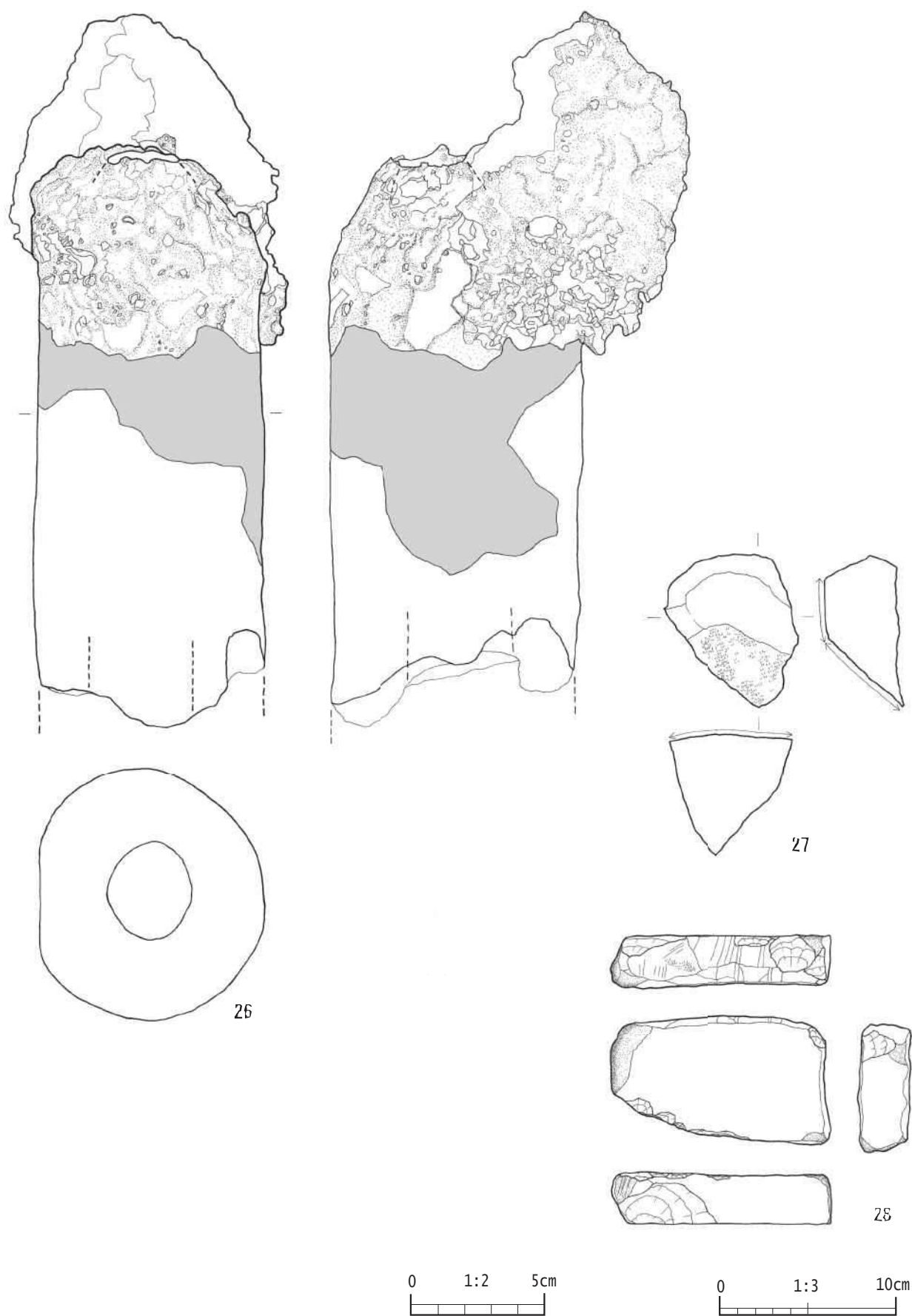
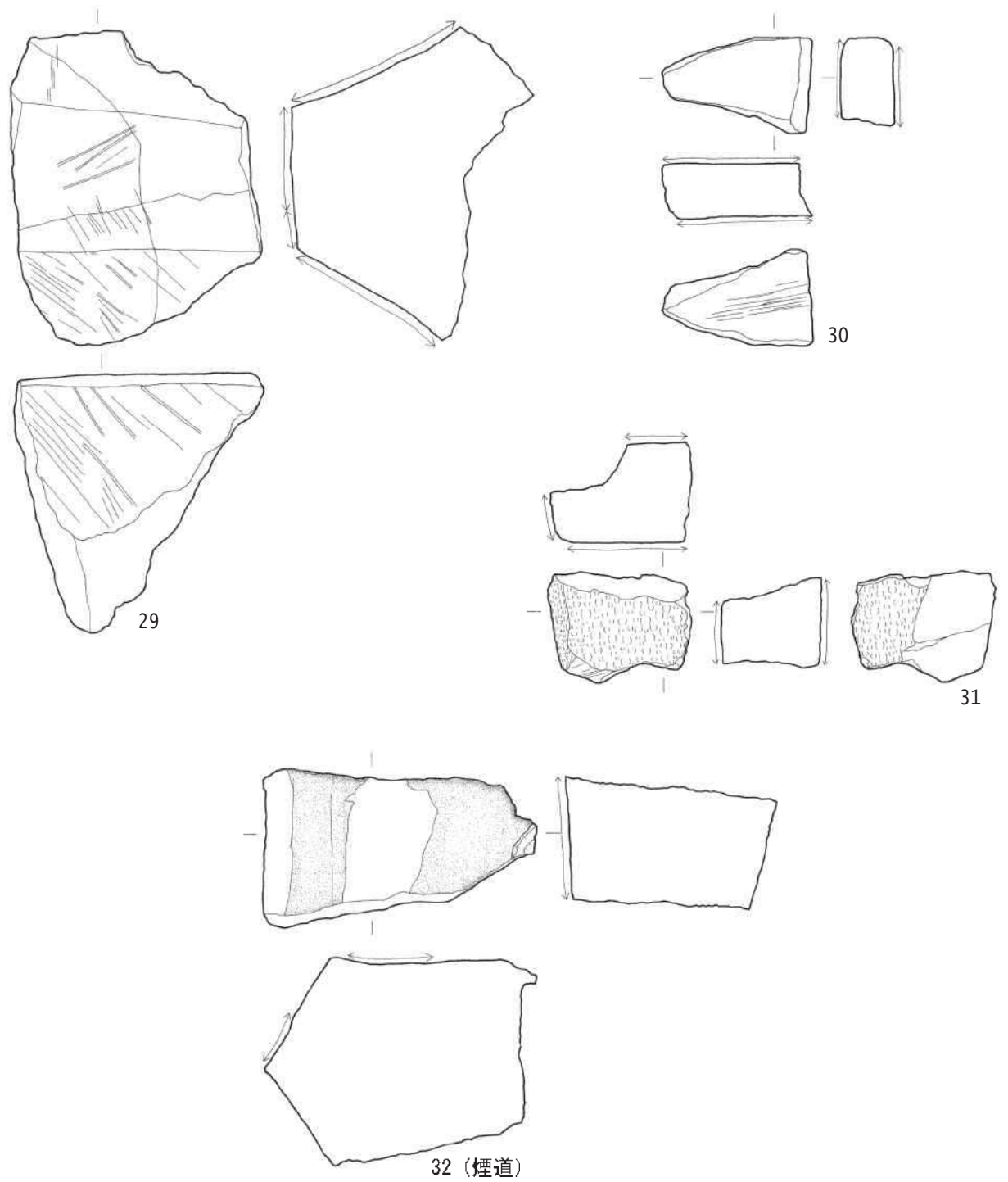
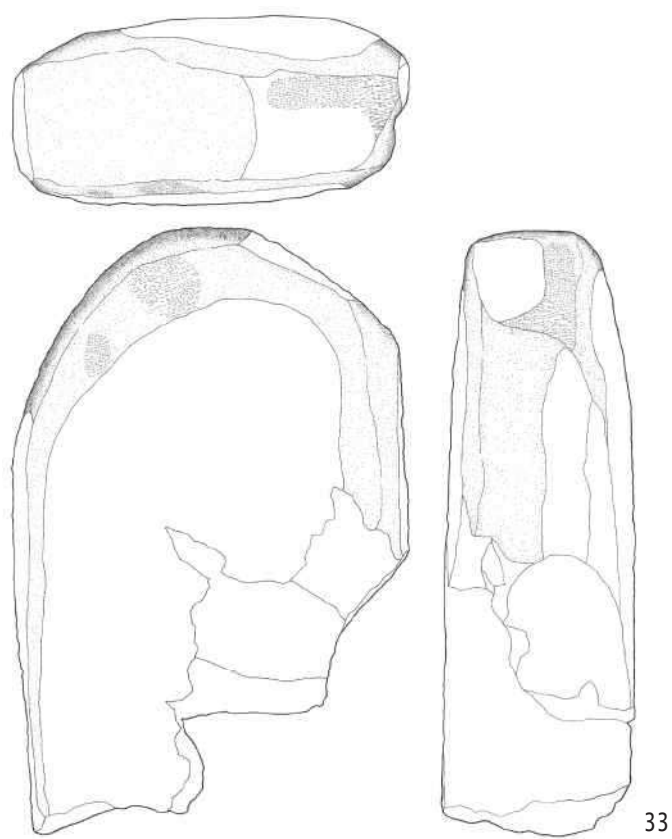


图143 41号竖穴住居跡出土遺物（4）

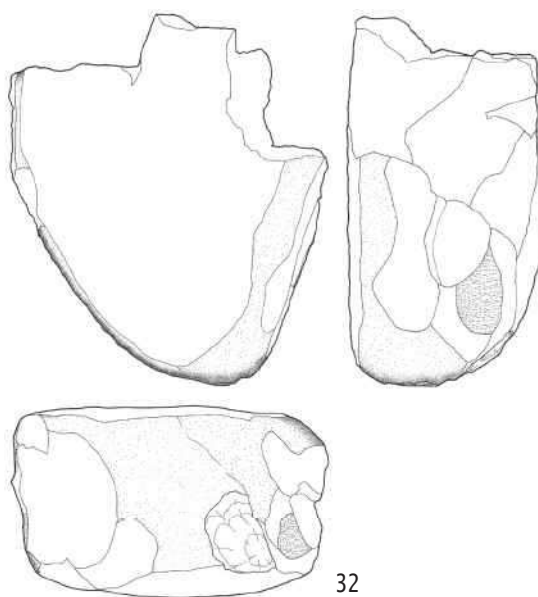


0 1:3 10cm

图144 41号竖穴住居跡出土遺物 (5)



33



32

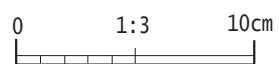


图145 41号竖穴住居跡出土遺物（6）

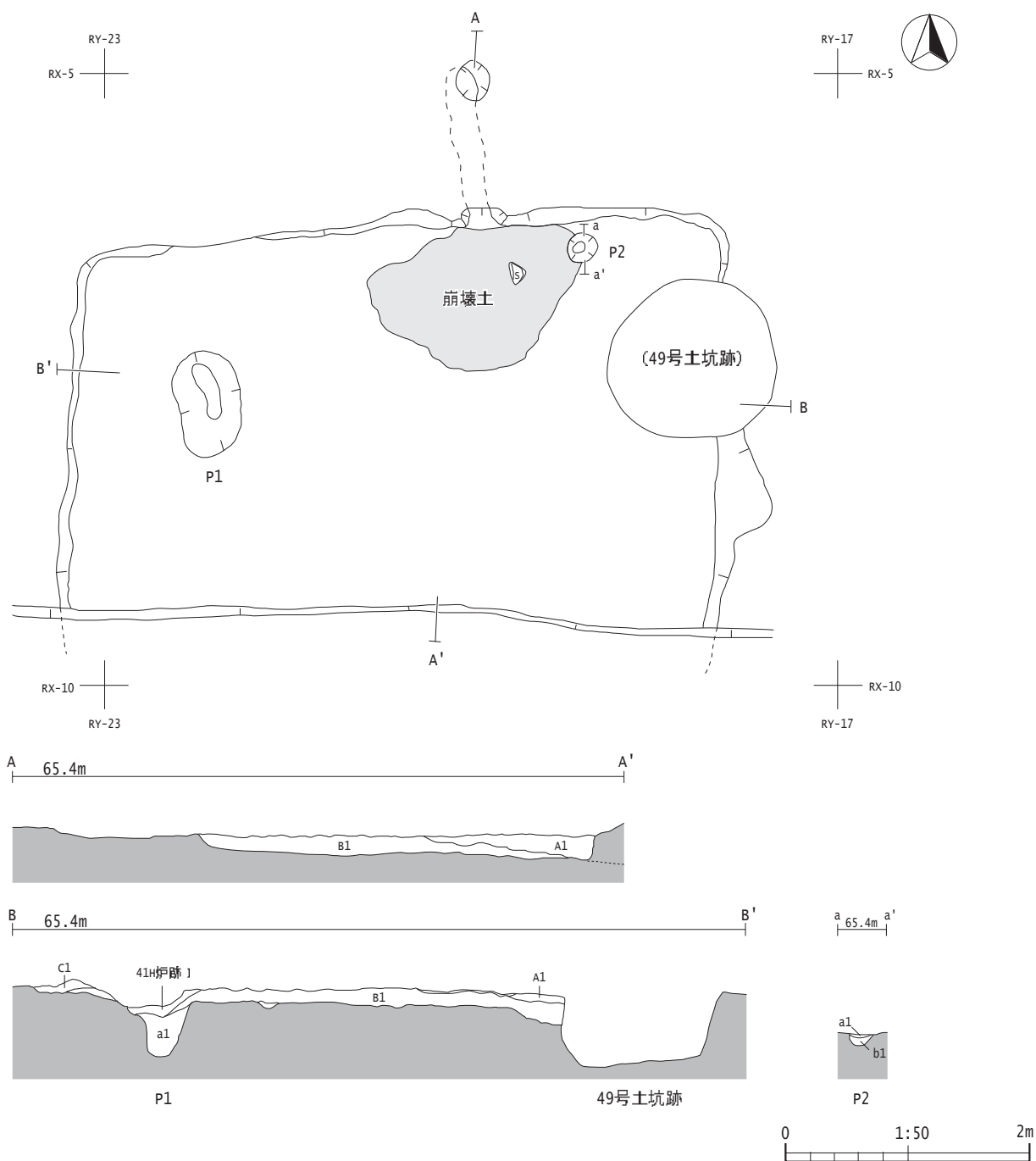


図146 42号竪穴住居跡 平断面

42号竪穴住居跡 土層注記表

層名	土層	基本土	混入土	調査・構造・混入物
42号竪穴住居跡	A1	10YR7/3 灰色黄褐色砂壤土	10YR5/4 灰色黄褐色砂壤土 塊 10%	中、中、塊、真砂土
	B1	10YR4/6 褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 塊 10%	中、中、塊、真砂土、鉄滓、土器片
P1	a1	10YR5/4 灰色黄褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 塊 10%	中、中、塊
P2	a1	10YR4/6 褐色砂壤土	10YR5/4 灰色黄褐色砂壤土 塊 10%	鉄、鉄、塊
	b1	10YR7/4 灰色黄褐色砂壤土	10YR5/4 灰色黄褐色砂壤土 塊 10%	中、中、塊
42号竪穴住居跡マド	k1	10YR7/3 灰色黄褐色砂壤土	10YR3/3 浅黄褐色砂壤土 塊 10%	鉄、中～密、塊、真砂土層
	k2	10YR4/6 褐色砂壤土	10YR7/1 灰白 塊 15%	鉄、鉄、塊
			10YR4/3 灰色黄褐色砂壤土 塊 10%	
	k3	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR4/3 灰色黄褐色砂壤土 塊 10%	鉄、鉄、塊、土器片
	k4	10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 塊 10%	中～固、中～密、塊、焼土塊、炭多い粘土層
	k5	7.5YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR1.7/1 黒砂壤土 塊 15%	中、中、塊
			10YR4/6 褐色砂壤土 塊 5%	
	k6	7.5YR5/6 明褐色砂壤土	7.5YR4/4 褐色砂壤土 塊 10%	中～固、中～密、塊、土器
			10YR4/6 褐色砂壤土 塊 10%	

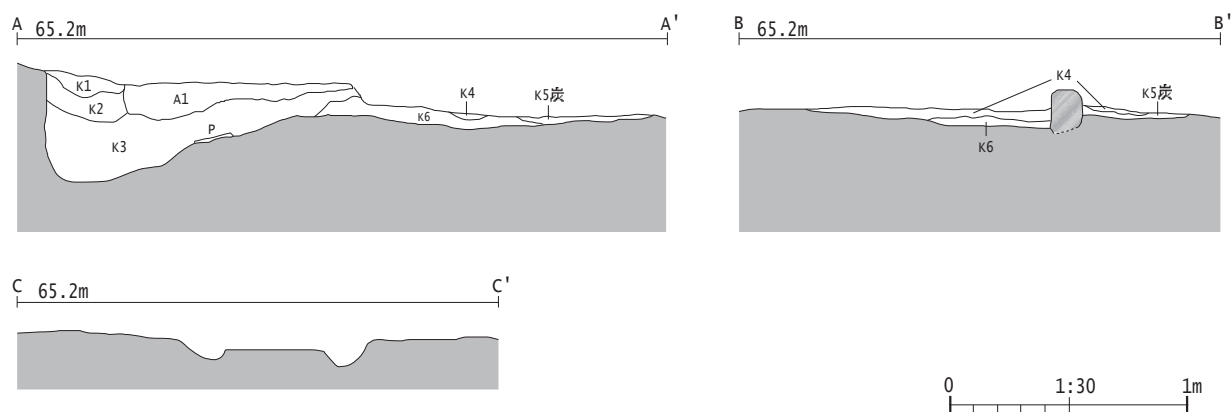
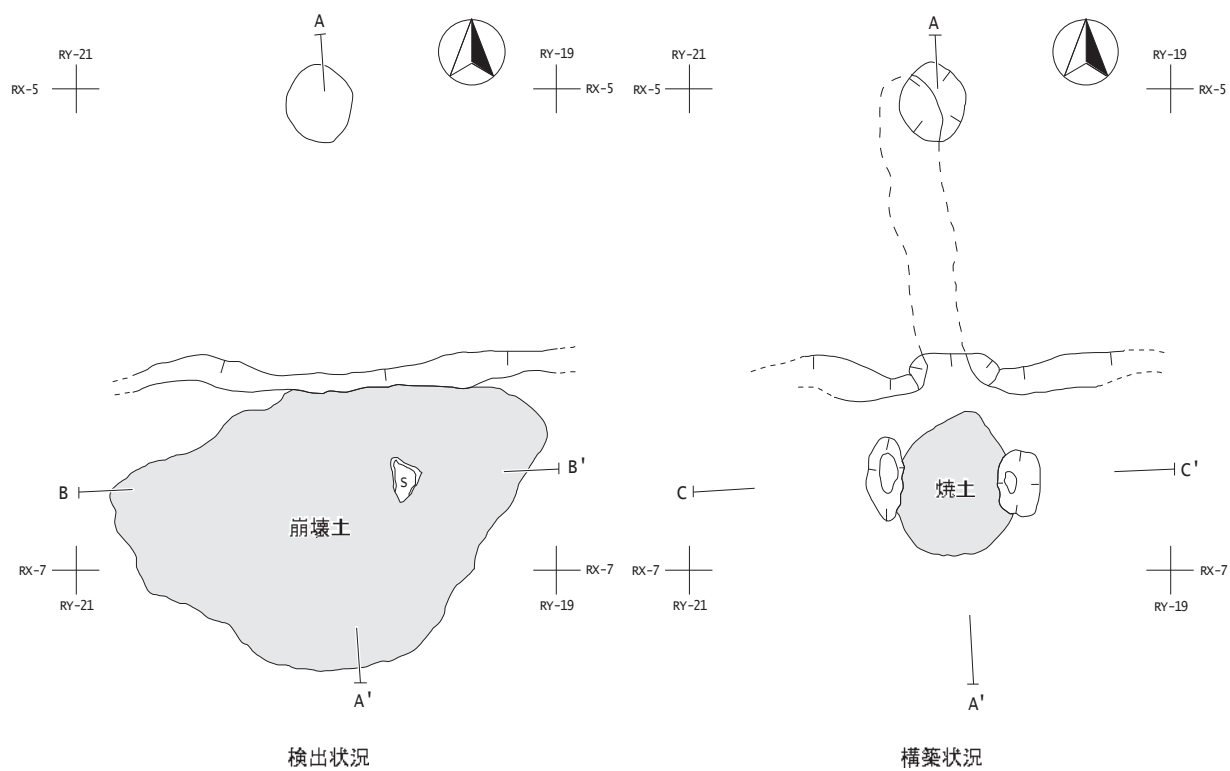


図147 42号竪穴住居跡カマド 平断面

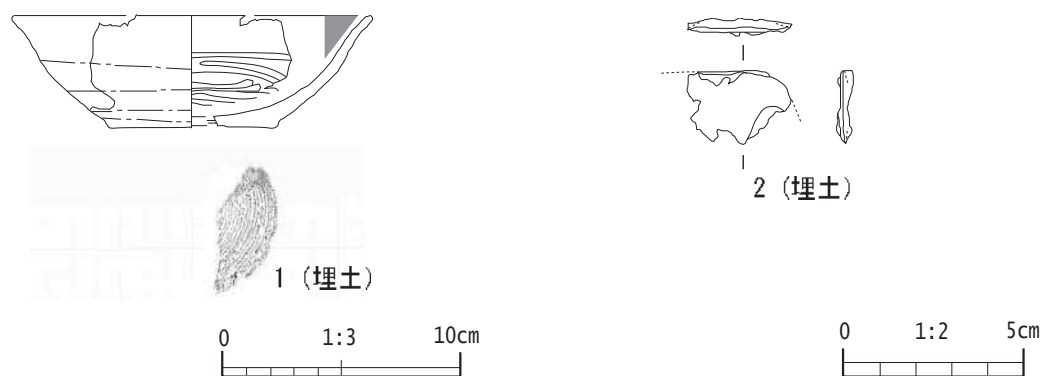


図148 42号竪穴住居跡出土遺物

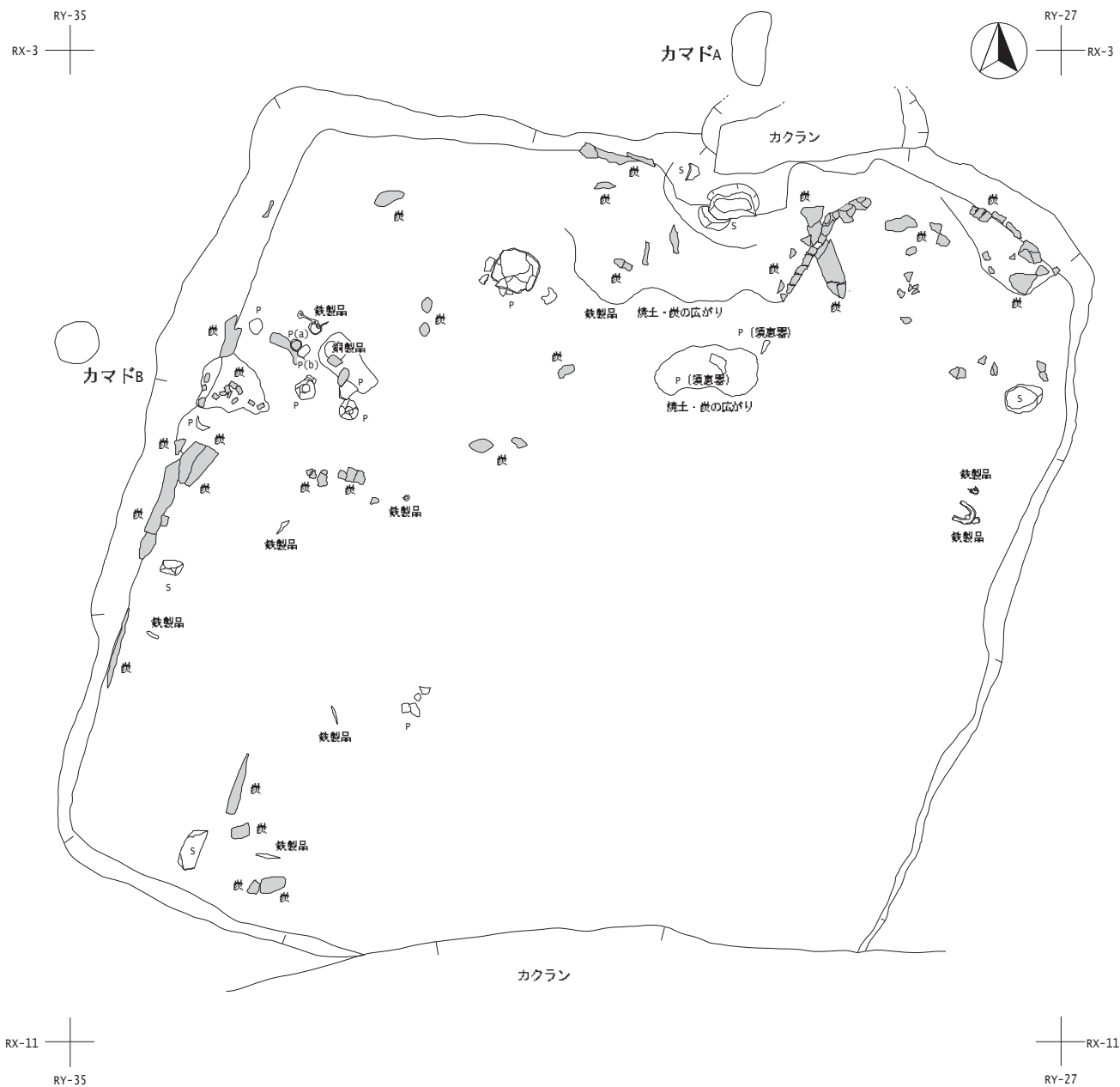


図149 43号竪穴住居跡 検出状況

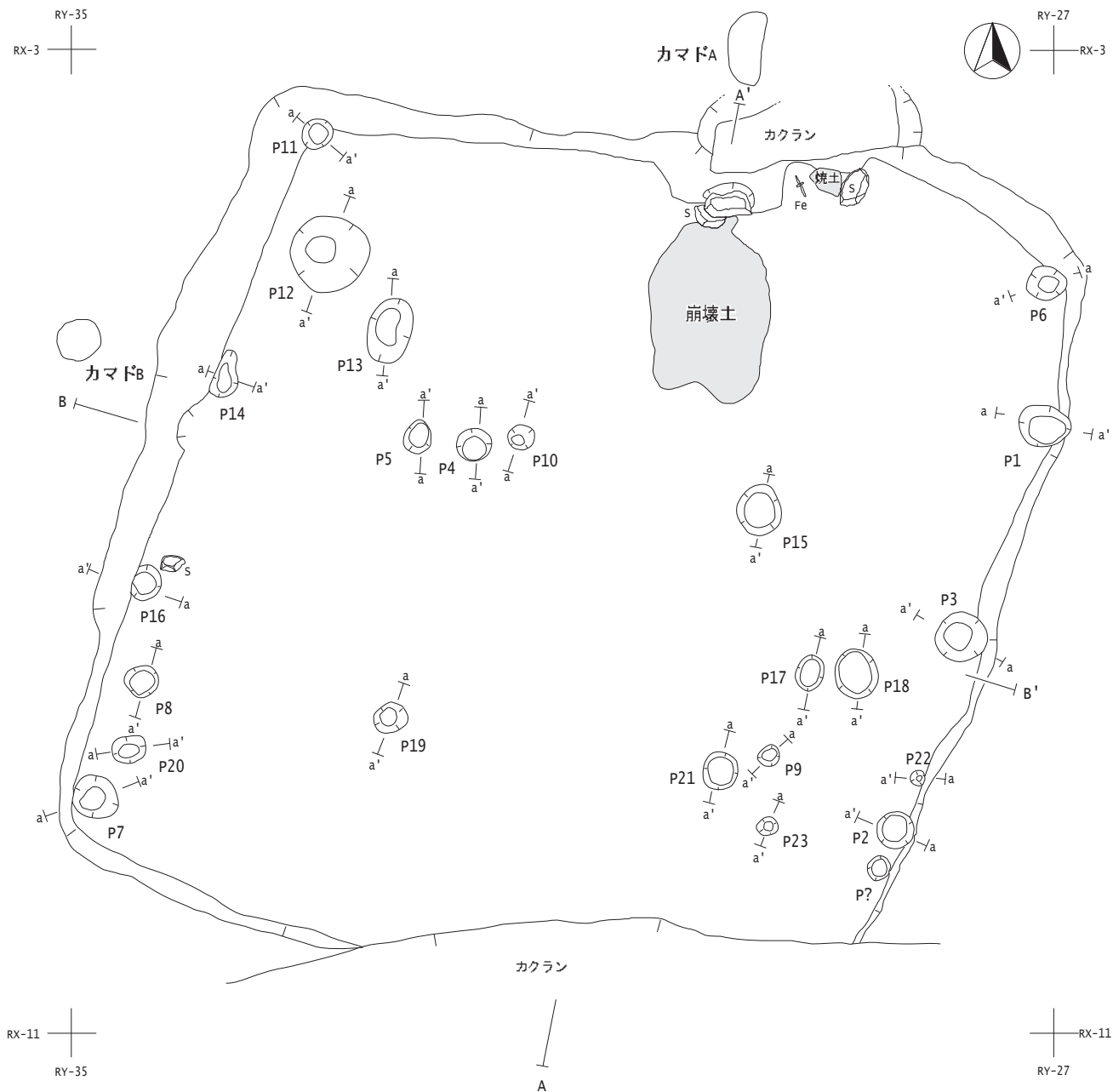


図150 43号竪穴住居跡 平面

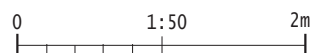
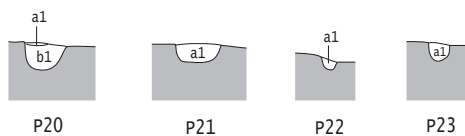
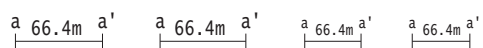
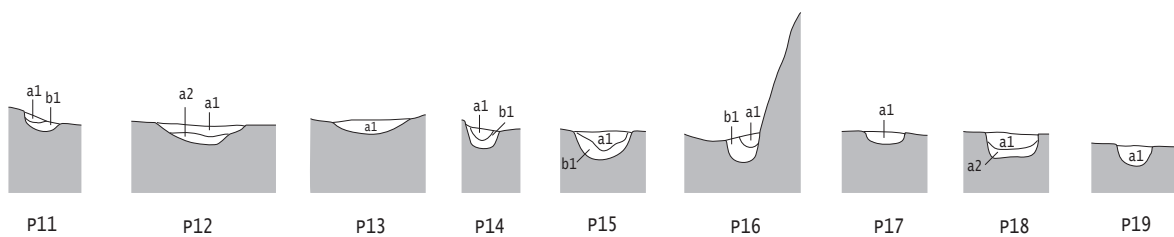
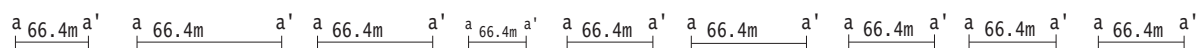
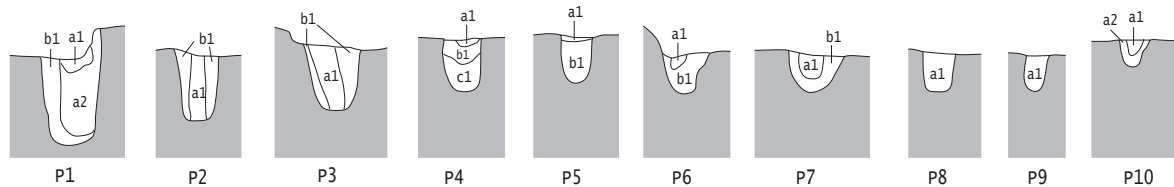
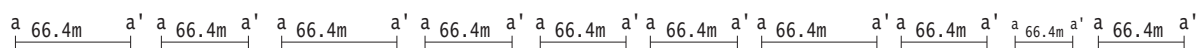
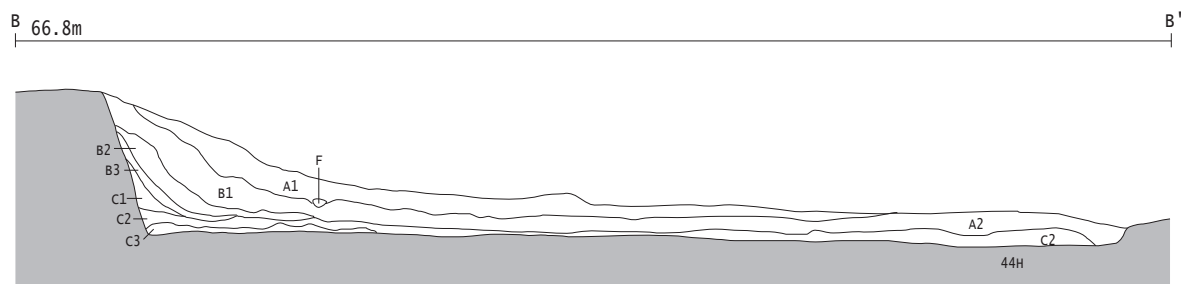
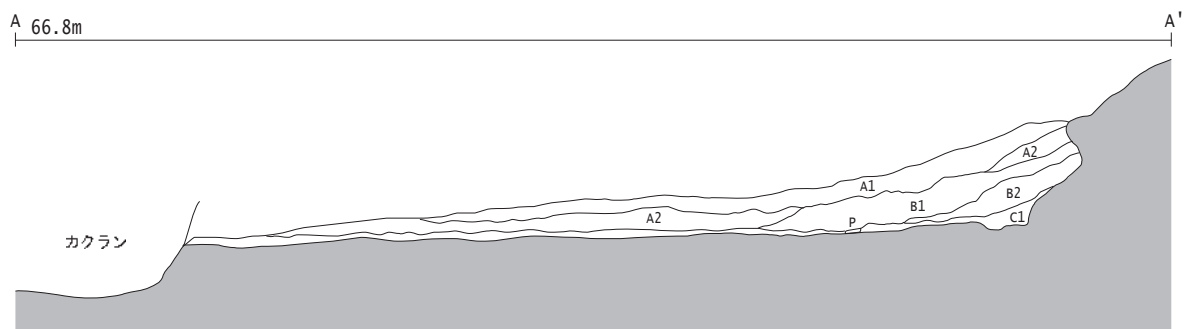


図151 43号竪穴住居跡 断面

43号型六住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	調査・構造・混入物
43号型六住居跡	A1	10YR4/4 褐色シルト質壤土～シルト質壤土(砂質)	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土 塊1%	調査・構造・混入物
			10YR7/8 黄褐色砂質壤土～砂土 真砂土 粒1%	
	A2	10YR4/4 褐色(暗)	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土 塊3%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	B1	10YR5/3 にぶい黄褐色シルト質壤土～砂質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土～砂土 真砂土 塊5%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
			10YR4/4 褐色シルト質壤土～シルト質壤土 真砂土 塊3%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	B2	10YR4/6 褐色シルト質壤土		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	B3	10YR2/2 灰白～8/3 洗黄褐色シルト質壤土 ハサハサ	10YR4/6 褐色シルト質壤土 塊3%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	C1	10YR4/6 褐色シルト質壤土～シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土 真砂土 塊1%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	C2	10YR4/4 褐色(明)シルト質壤土～シルト質壤土(砂質)	10YR7/8 黄褐色砂質壤土 真砂土 塊5%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	C3	10YR2/1 黒炭	7.5YR5/8 明褐色土	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P1	a1	10YR5/8 黄褐色シルト質壤土～シルト質壤土	7.5YR4/8 焼土 塊1%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	a2	10YR2/3 黒褐色シルト質壤土	10YR4/4 褐色シルト質壤土～シルト質壤土 塊15%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質壤土～シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土～砂土 真砂土 塊20%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P2	a1	10YR2/3 黒褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土～砂土 真砂土 塊5%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
			10YR4/4 褐色シルト質壤土～シルト質壤土 塊3%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
			10YR5/8 黄褐色シルト質壤土～シルト質壤土 塊5%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	b1	10YR4/4 褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土～砂土 真砂土 塊20%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
			10YR5/6 黄褐色～5/8 黄褐色砂質壤土 塊10%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P3	a1	10YR2/3 黒褐色シルト質壤土～シルト質壤土	10YR2/2 黒褐色シルト質壤土～シルト質壤土	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
			10YR5/8 黄褐色シルト質壤土～砂土 塊5%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質壤土～砂質壤土		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P4	a1	10YR7/4 にぶい黄褐色シルト質壤土	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土 塊3%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	b1	10YR7/4 にぶい黄褐色シルト質壤土	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土 塊7%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	c1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂質壤土		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	a1	7.5YR4/6 褐色 焼土	10YR2/1 黒炭	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	b1	10YR5/8 黄褐色シルト質壤土～砂質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土 塊10%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P6	a1	10YR2/1 黒炭		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質壤土		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P7	a1	10YR6/8 明黄褐色砂質壤土	10YR7/4 にぶい黄褐色シルト質壤土～砂土 塊30%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	b1	10YR4/4 褐色シルト質壤土	10YR6/8 明黄褐色シルト質壤土 塊3%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
			10YR5/8 黄褐色シルト質壤土 塊10%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P8	a1	10YR5/6 黄褐色シルト質壤土～砂質壤土(砂っぽい)		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P9	a1	10YR4/4 褐色シルト質壤土	10YR5/6 黄褐色～5/8 黄褐色砂質壤土 塊10%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
			10YR3/4 暗褐色シルト質壤土 塊5%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P10	a1	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	10YR5/6 黄褐色シルト質壤土 塊10%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
			10YR2/3 黒褐色シルト質壤土 塊5%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P11	a1	10YR2/2 黒褐色		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質壤土		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P12	a1	10YR4/6 褐色シルト質壤土		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	a2	10YR4/4 褐色シルト質壤土		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P13	a1	10YR2/1 黒炭	10YR4/4 褐色シルト質壤土～シルト質壤土 塊10%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂質壤土		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P14	a1	10YR2/1 黒炭		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	b1	10YR5/3 にぶい黄褐色シルト質壤土～砂質壤土(砂)		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P15	a1	10YR7/8 黄褐色シルト質壤土	10YR5/8 黄褐色砂質壤土 塊10%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	b1	10YR5/8 黄褐色シルト質壤土シルト質		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P16	a1	10YR2/1 黒炭		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P17	a1	10YR4/4 褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質壤土～砂土(ハサハサ) 塊5%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P18	a1	10YR4/4 褐色シルト質壤土～	10YR7/8 黄褐色砂質壤土～砂土(ハサハサ) 小塊～粒7%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P19	a1	10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質壤土～砂質壤土	10YR5/8 黄褐色砂質壤土 塊10%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
			10YR7/8 黄褐色～8/3 洗黄褐色 真砂土 塊15%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P20a	a1	10YR2/1 黒炭	7.5YR 4/6 焼土	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質壤土～砂質壤土		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P20b	a1	10YR2/1 黒炭		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂質壤土		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P21	a1	10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質壤土	10YR5/8 黄褐色砂質壤土 塊15%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P22	a1	10YR3/3 暗褐色シルト質壤土	10YR5/6 黄褐色シルト質壤土～シルト質壤土 塊1%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
			10YR7/8 黄褐色砂質壤土 塊3%	調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
P23	a1	10YR3/3 暗褐色シルト質壤土		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)
	b1	10YR5/3 にぶい黄褐色シルト質壤土～砂質壤土(砂)		調査・構造・混入物 A1に比し砂礫粒子(多)

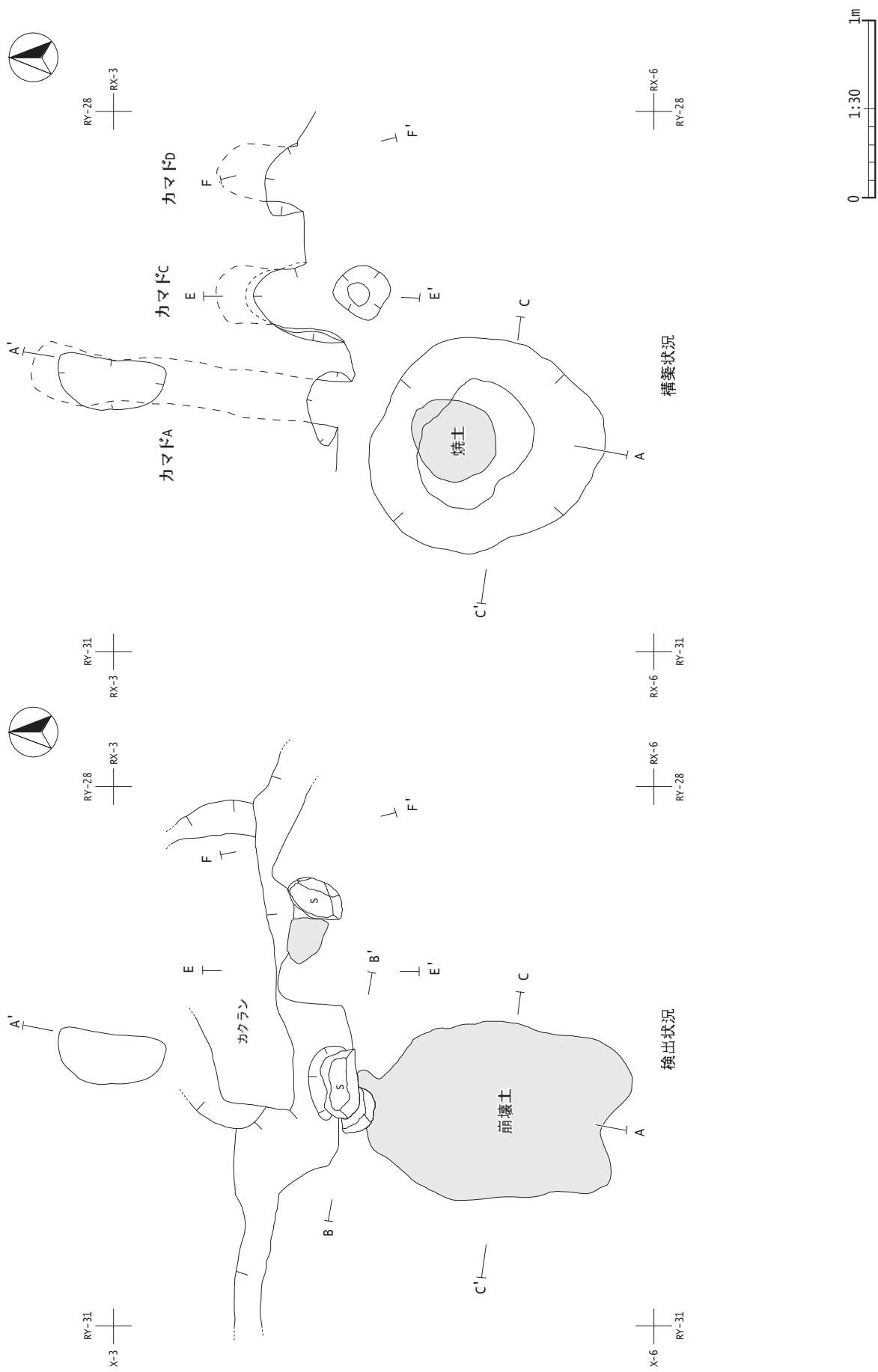
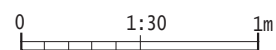
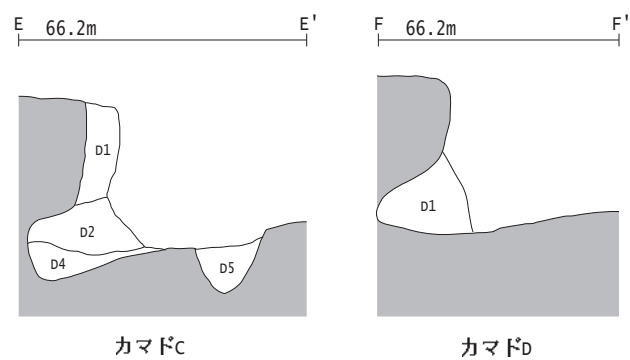
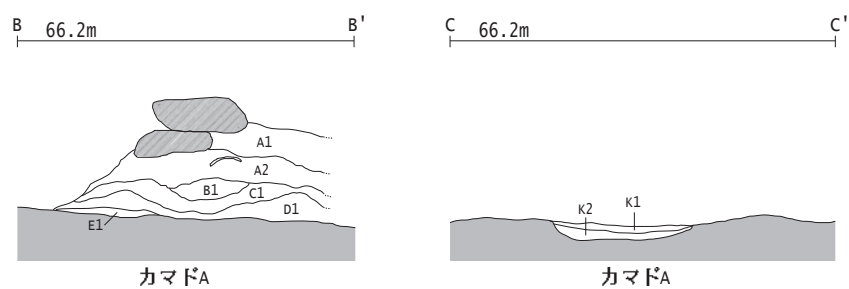
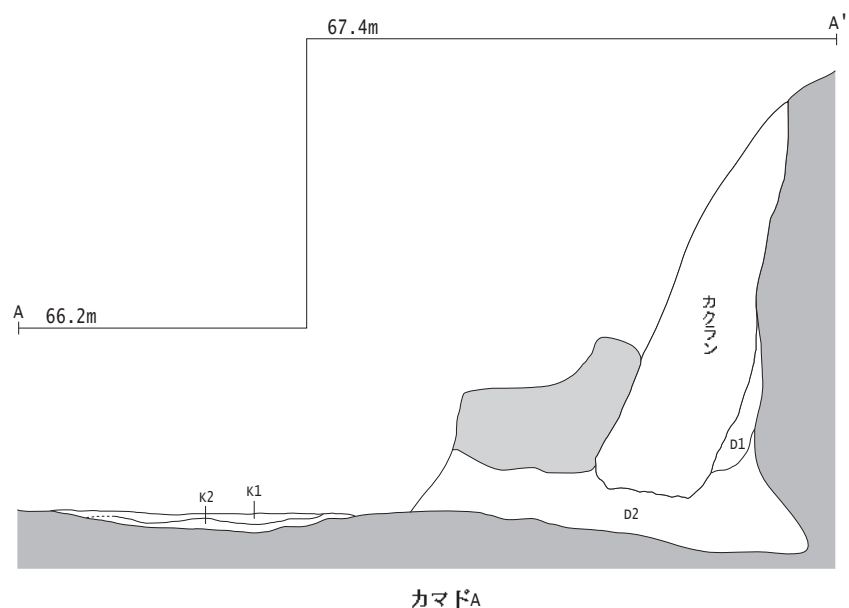
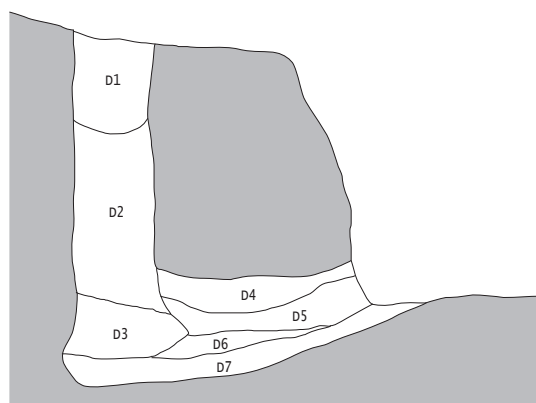
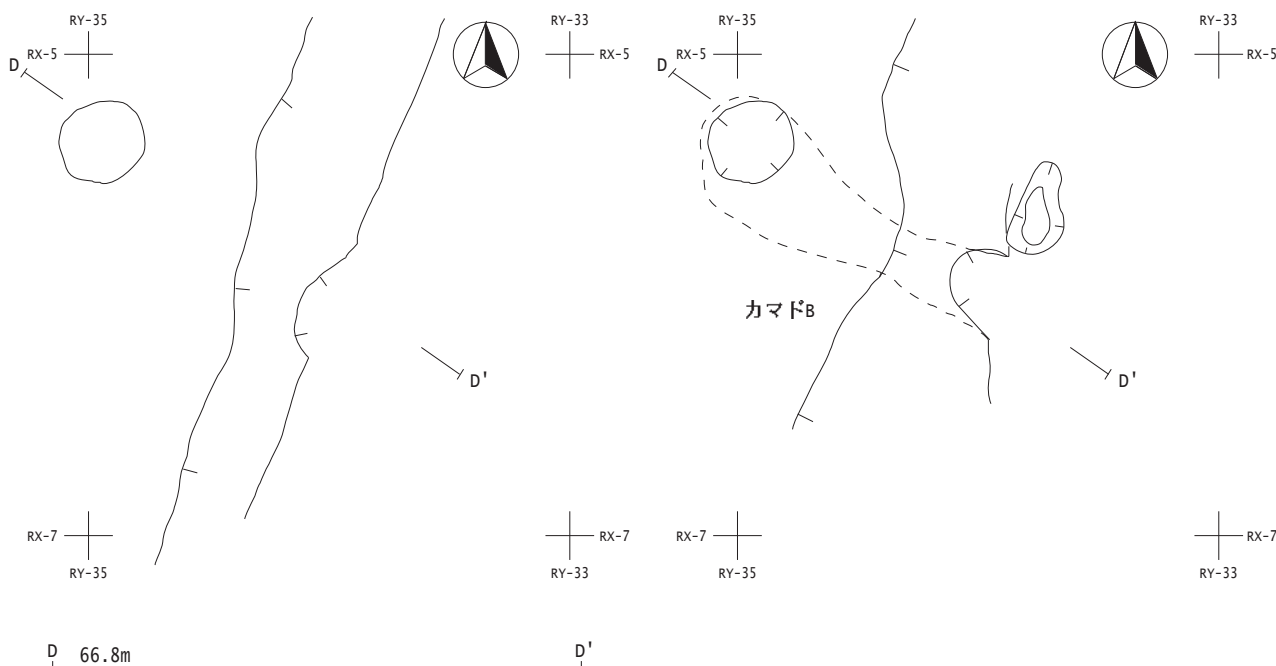


図152 43号竪穴住居跡カマドA、C、D 平面



153図 43号竪穴住居跡カマドA、C、D 断面



カマドB

図154 43号竪穴住居跡カマドB 平断面

43号竪穴住居跡カマド 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ・構造・混入物
カマドA(前段階)	A1 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質壤土～砂質壤土	10YR7/8 黄褐色～8/6黄褐色砂質壤土 塊～粒 3%	固、中～硬、塊
	A2 10YR7/4 にぶい黄褐色砂質土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂質土 塊 10%	中、中～密、塊土群
	B1 10YR5/4 にぶい黄褐色砂質土	10YR7/4 にぶい黄褐色砂質土 塊 10%	中～固、中～密、塊
		7.5YR5/4 にぶい褐色砂質土 塊 3%	
		5YR5/5 砂質土 塊 2%	
	C1 10YR4/6 褐色砂質土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂質土 塊 10%	中、中、塊
	D1 10YR3/4 暗褐色砂質土	5YR5/4 にぶい赤褐色砂質土 塊 10%	軟、硬、塊炭塊(多)
		5YR6/4 にぶい褐色砂質土 塊 5%	
	E1 10YR1.7/1 黒	2.5Y4/3 オリーブ褐色砂質土 塊 5%	固、中、塊炭(多)
43号竪穴住居跡カマドA	D1 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト質壤土～砂質壤土		軟、硬、塊
	D2 10YR2/3 黒褐色シルト質壤土～シルト質壤土	10YR5/6 黄褐色砂質土 塊 10%	軟、硬、塊多量の炭、焼土
		10YR7/6 明黄褐色砂質土 塊 15%	
	D3 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト質壤土～砂質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質土 塊 5%	軟、中、塊池山との境が固く焼けている
	k1 10YR2/3 黒褐色シルト質壤土	焼土 塊	軟、中、塊炭
	k2 7.5YR4/8 焼土		軟、中、塊焼土層
43号竪穴住居跡カマドC	D1 10YR4/6 褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質土 塊 15%	軟、中、塊
	D2 10YR4/4 褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質土 塊 1%	軟、中、塊
	D3 10YR4/4 褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質土 塊～粒 10%	軟、硬、塊多量の炭、焼土塊を含む
	D4 10YR7/8 黄褐色砂質土	10YR4/4 褐色シルト質壤土 塊 5%	軟、硬、塊
43号竪穴住居跡カマドD	D1 10YR4/4 褐色シルト質壤土	10YR7/8 黄褐色砂質土 塊 15%	軟、硬、塊炭片
43号竪穴住居跡カマドB	D1 10YR4/4 褐色シルト質壤土		中、中～硬、塊
	D2 10YR5/6 黄褐色シルト質壤土～砂質土	10YR4/4 褐色シルト質壤土 塊 10%	軟、硬、塊
	D3 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト質壤土	10YR5/8 黄褐色砂質土 塊 10%	軟、硬、塊
		10YR2/3 黒褐色シルト質壤土 塊 3%	
	D4 10YR5/4 にぶい黄褐色砂質土	10YR2/2 黒褐色シルト質壤土 塊 3%	軟、硬、塊壁が焼けてガチガチ
		10YR5/8 黄褐色砂質土 塊 5%	
	D5 10YR3/4 暗褐色シルト質壤土	10YR5/8 黄褐色砂質土 塊 5%	軟、硬、塊
	D6 10YR5/4 にぶい黄褐色砂質土	10YR5/8 黄褐色砂質土 塊 10%	軟、中、塊
		10YR2/3 黒褐色シルト質壤土 塊 3%	
	D7 10YR2/1 黒シルト質壤土 炭層		軟、硬、塊炭層

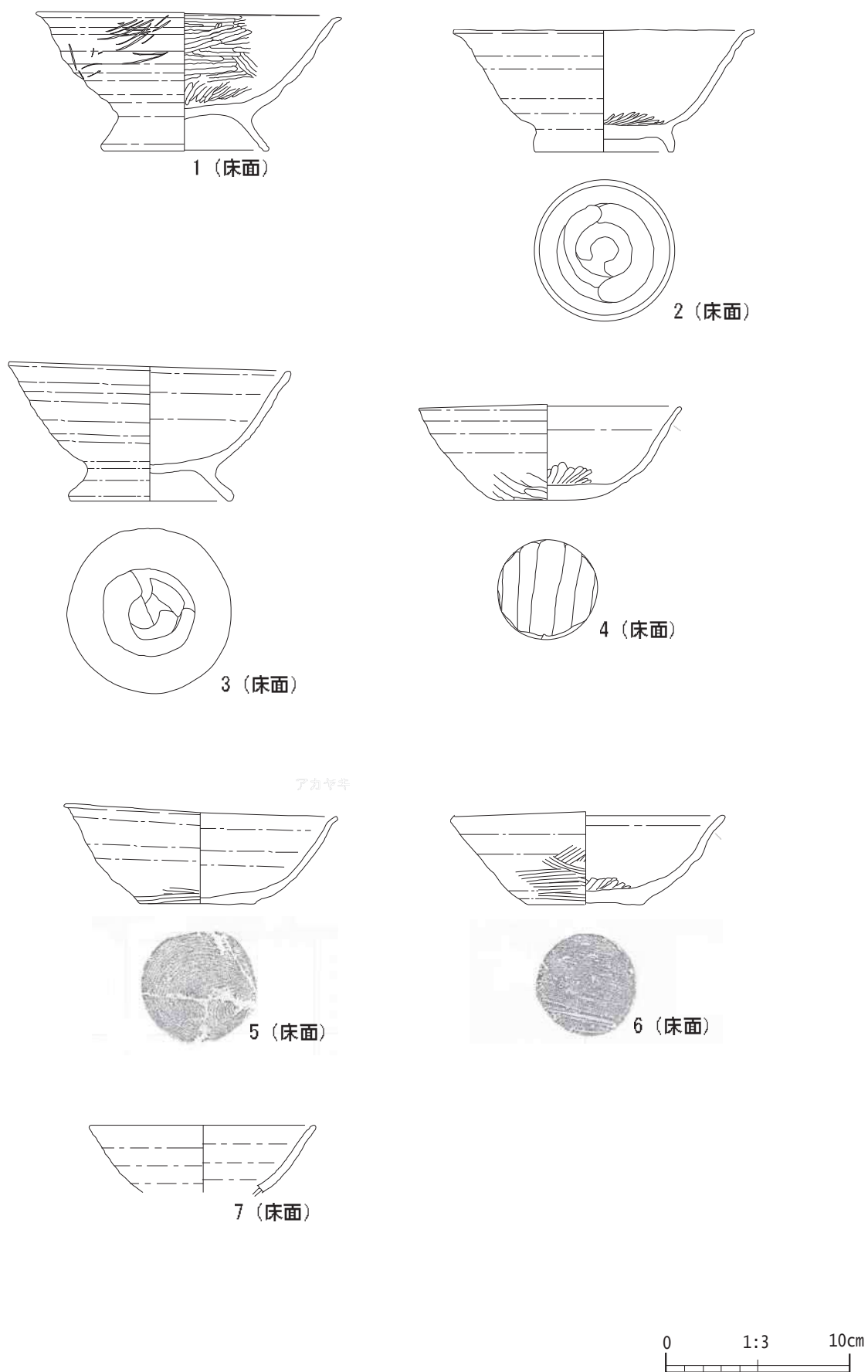


図155 43号竪穴住居跡出土遺物 (1) 杯

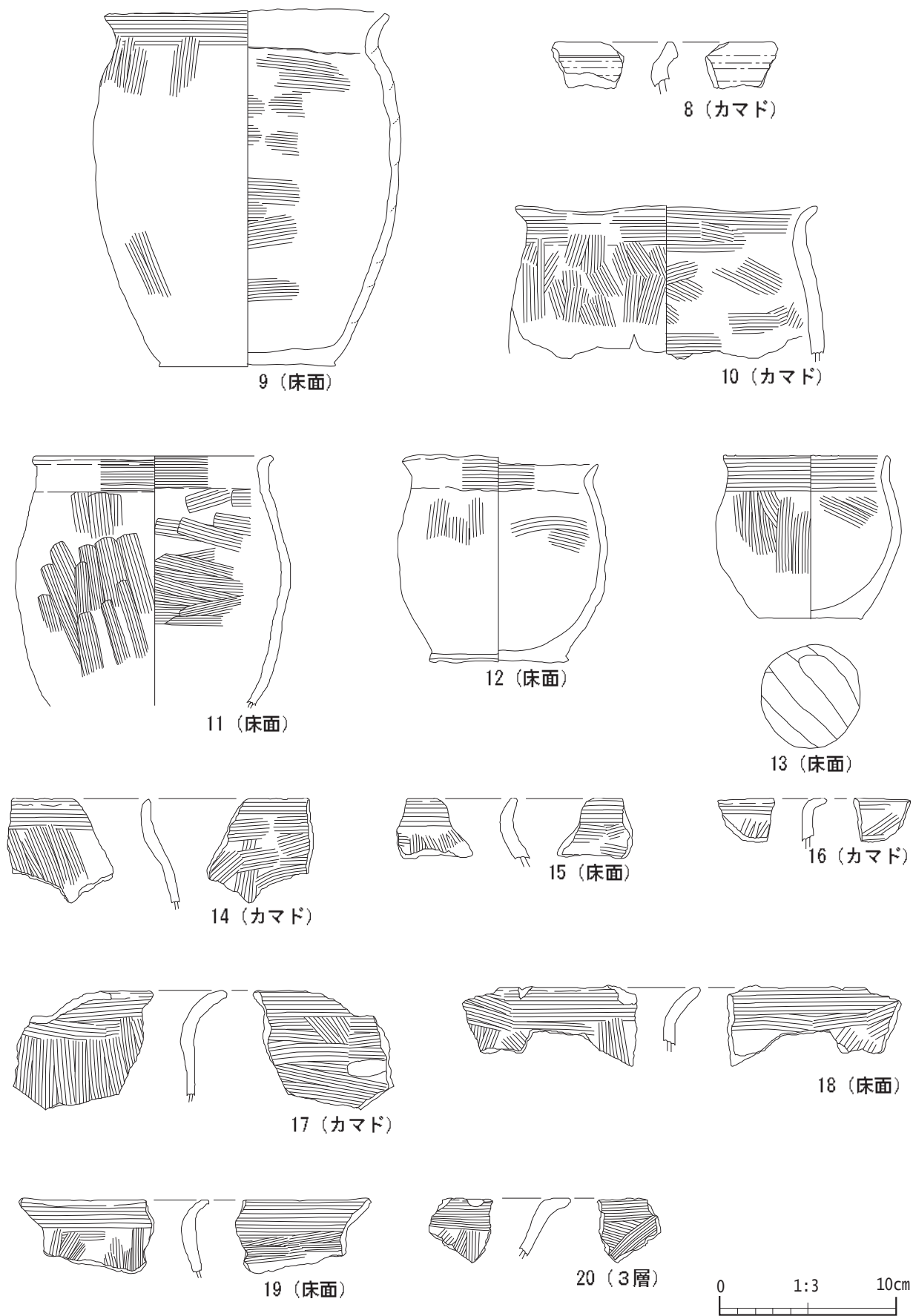


図156 43号竪穴住居跡出土遺物 (2) 土師器

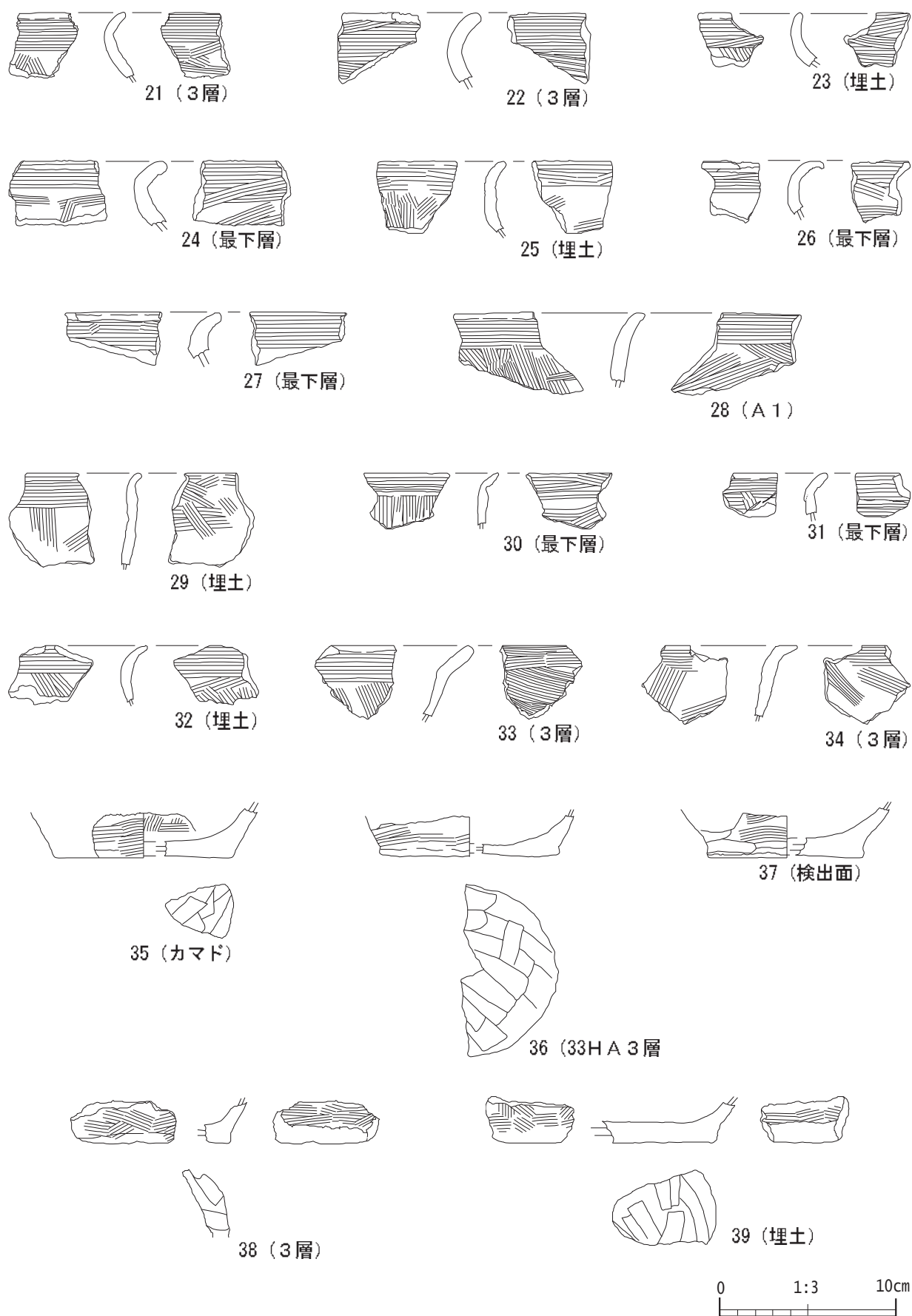


図157 43号竪穴住居跡出土遺物 (3) 土師器



図158 43号竪穴住居跡出土遺物 (4) 土師器

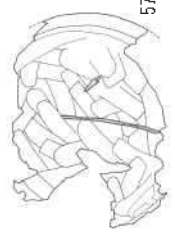
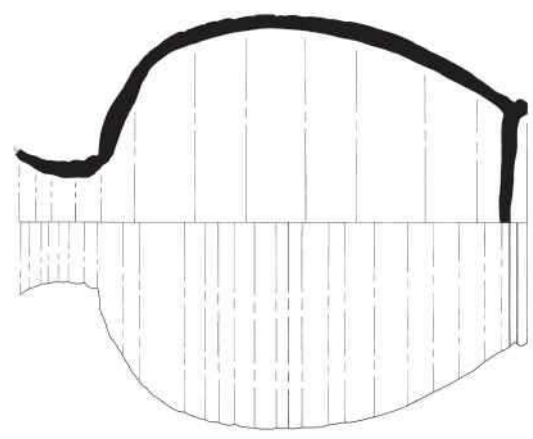
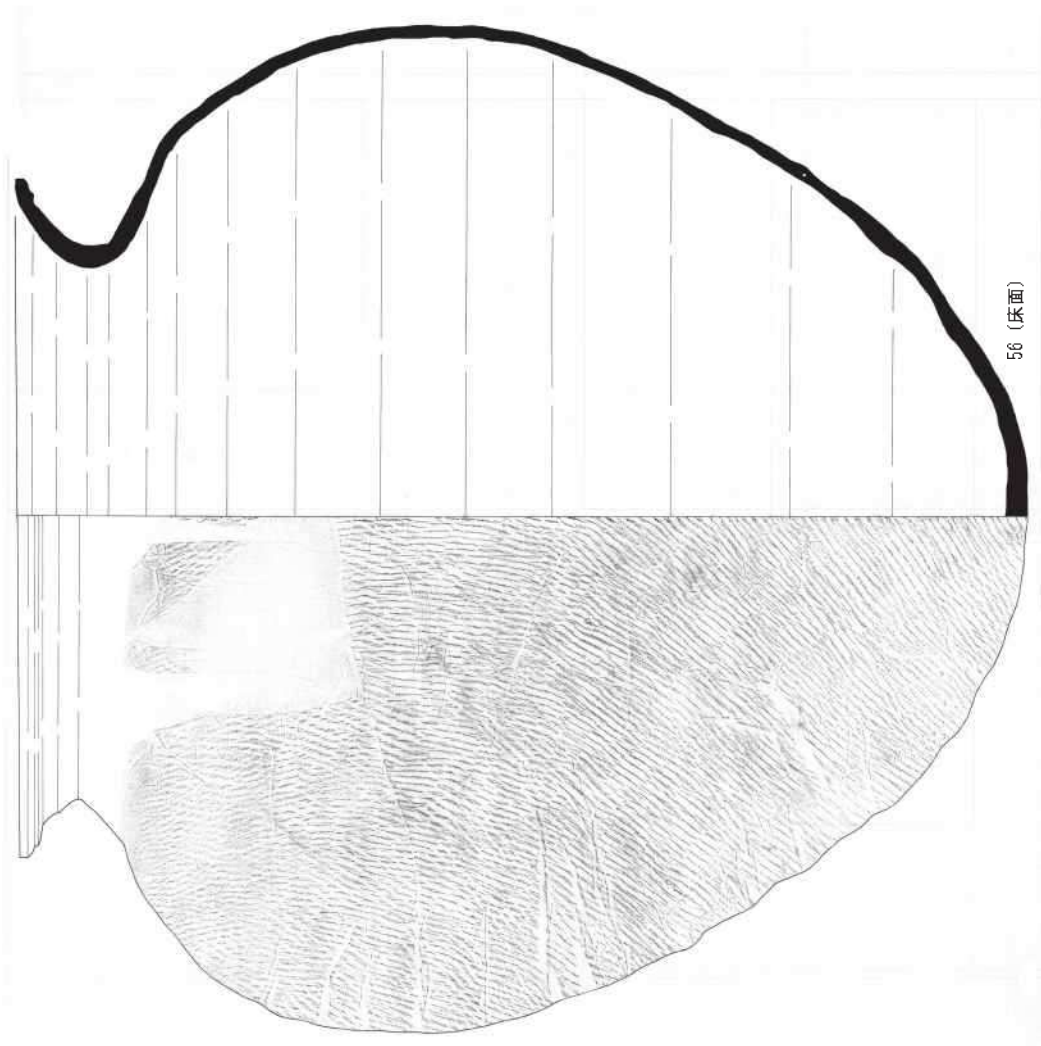


图159 43号竖穴住居跡出土遺物(5) 須恵器

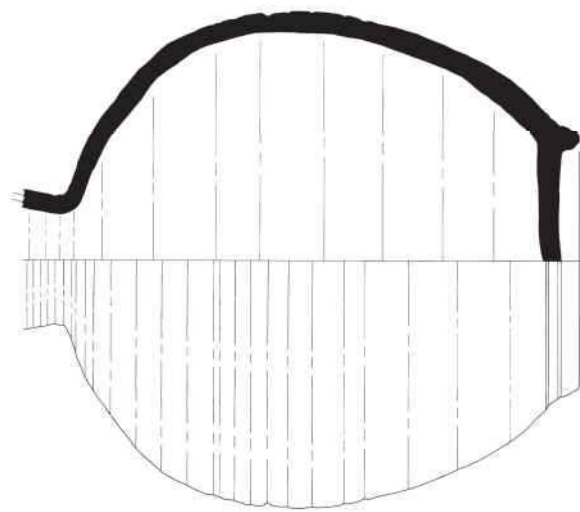
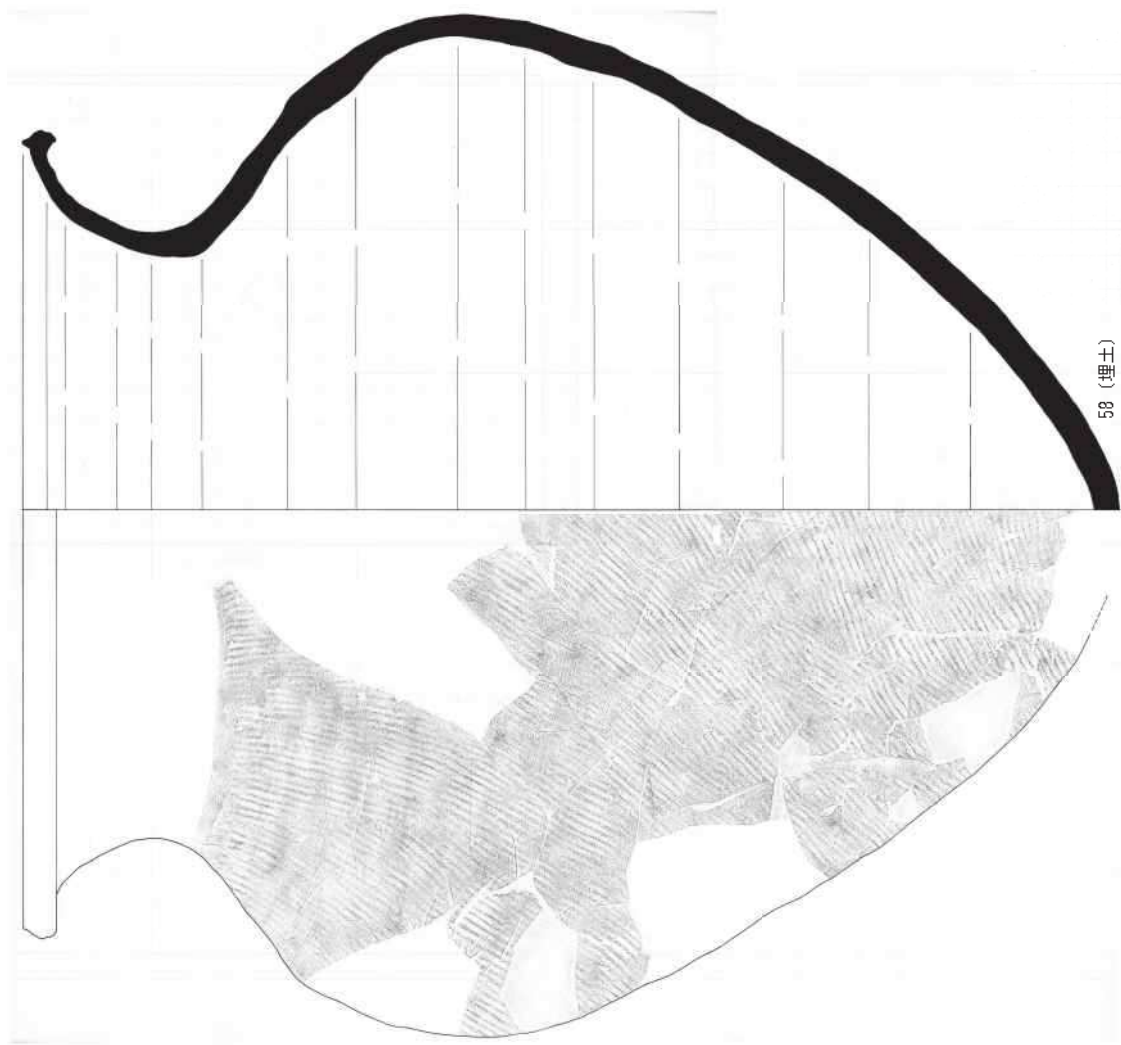


图160 43号竖穴住居跡出土遺物(6) 須惠器

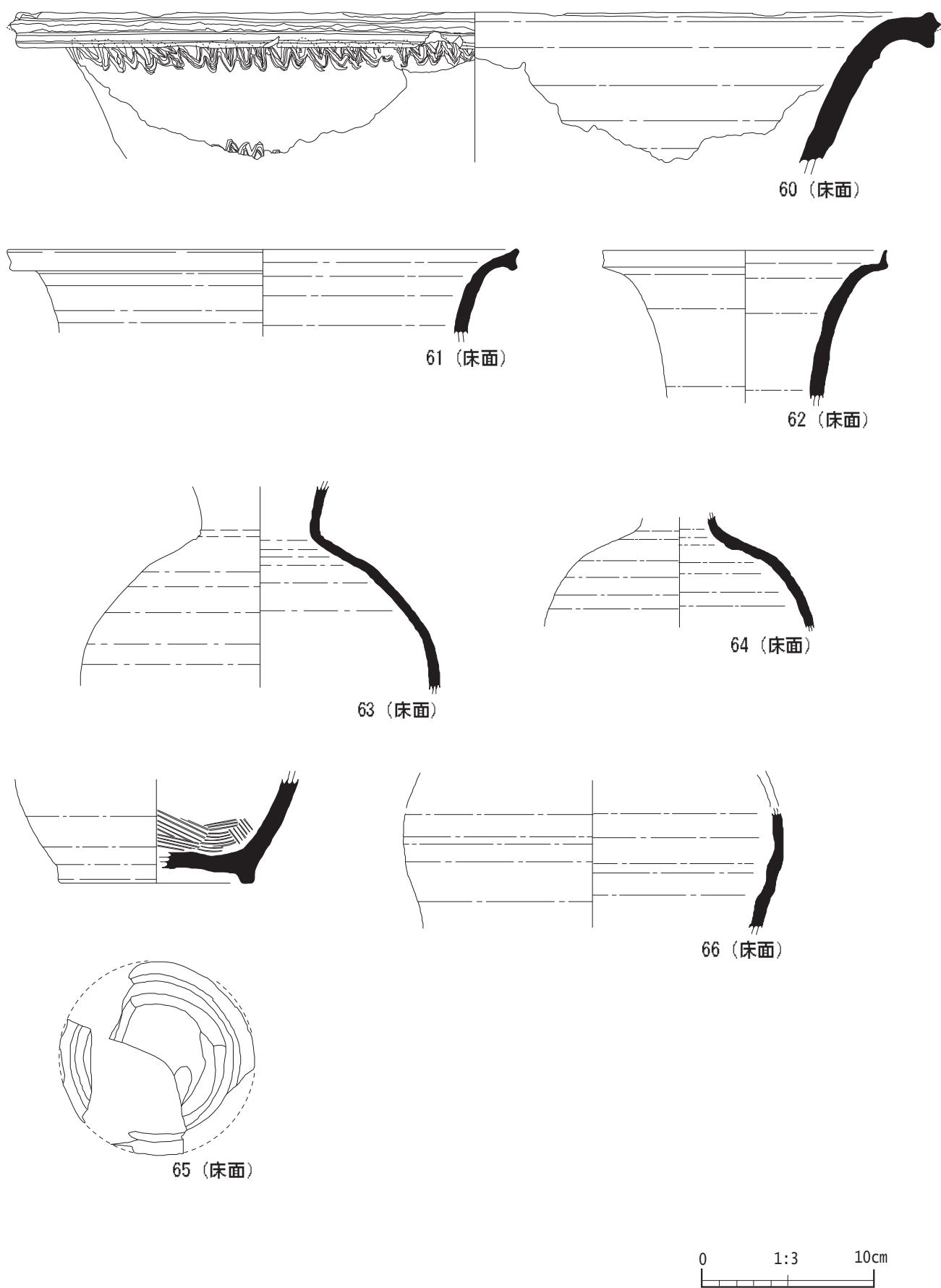
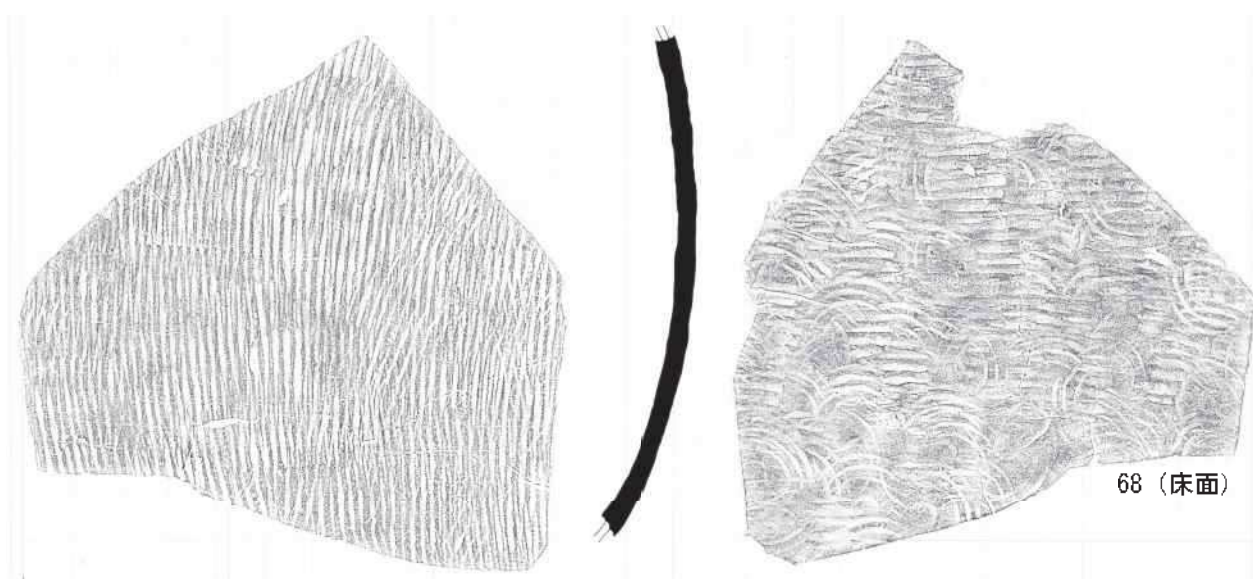
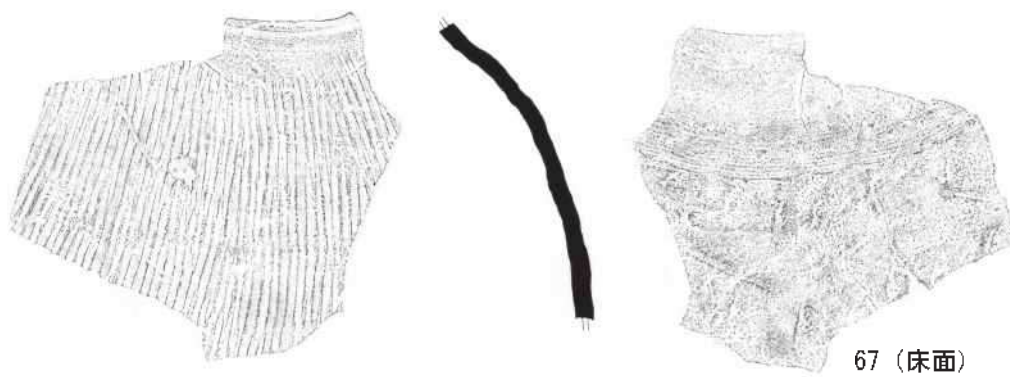


图161 43号竖穴住居跡出土遺物 (7) 須恵器



0 1:3 10cm

図162 43号竪穴住居跡出土遺物 (8) 須恵器

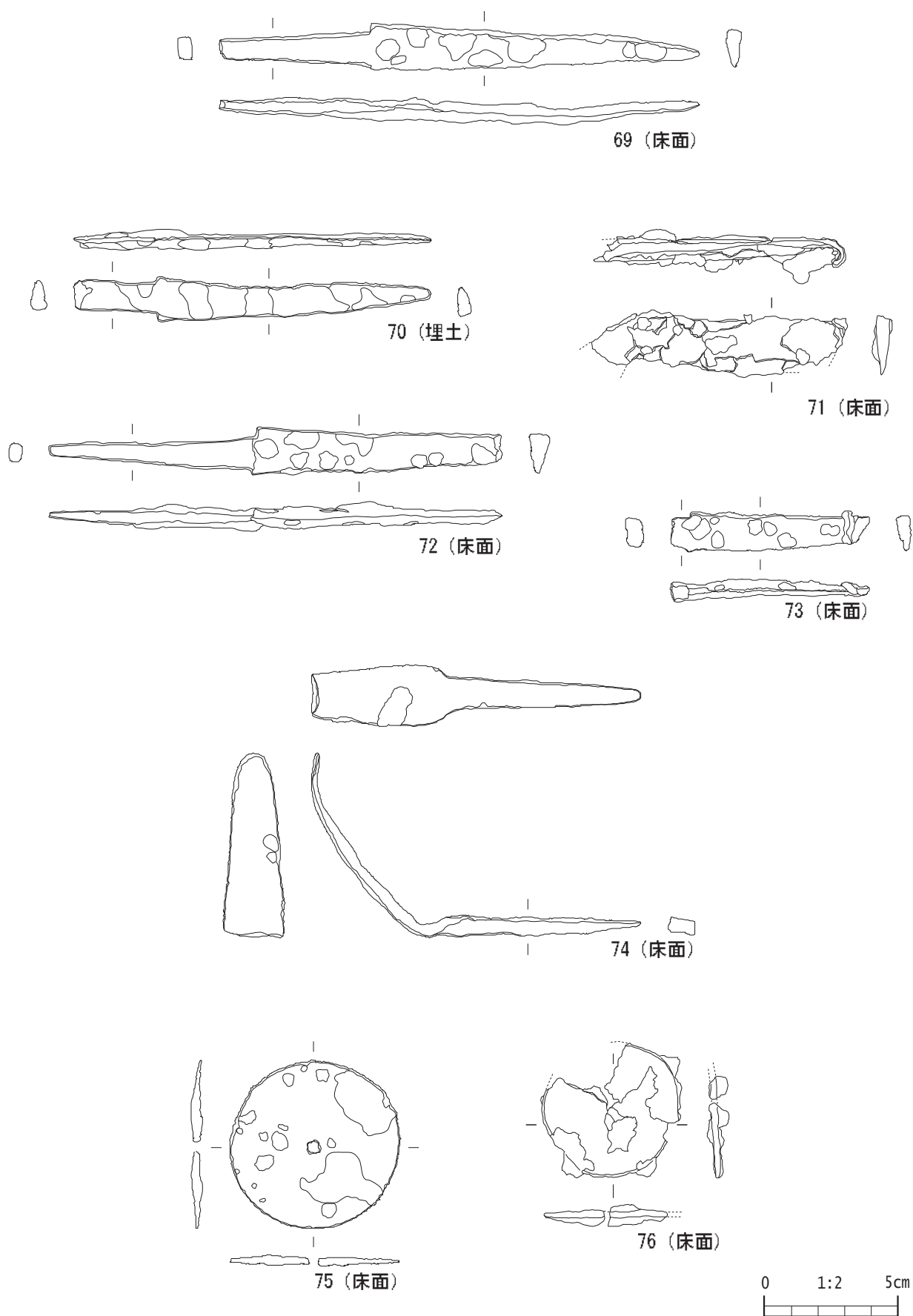


図163 43号竪穴住居跡出土遺物（9） 鉄製品

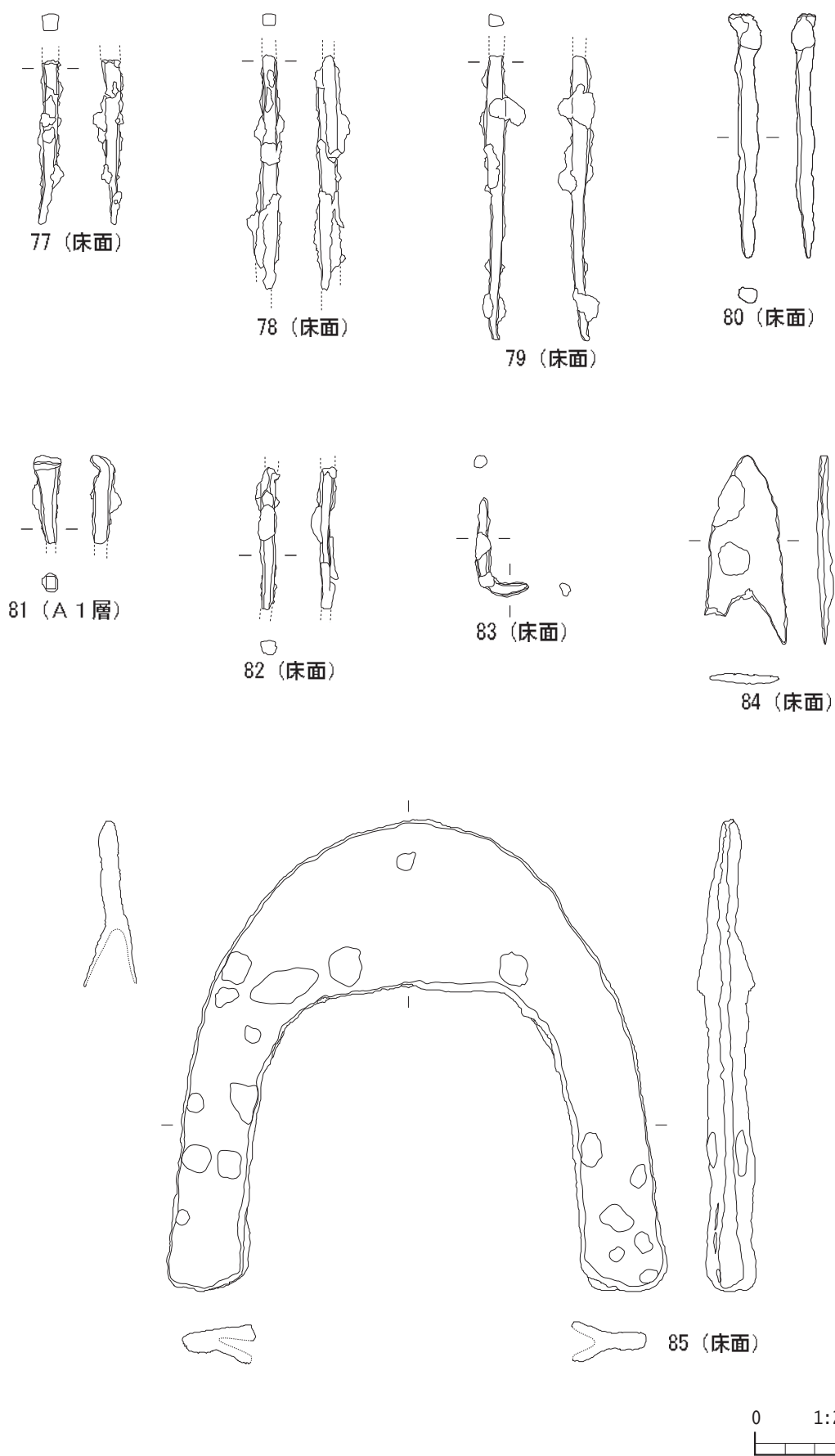


図164 43号竖穴住居跡出土遺物 (10) 鉄製品

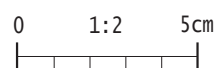
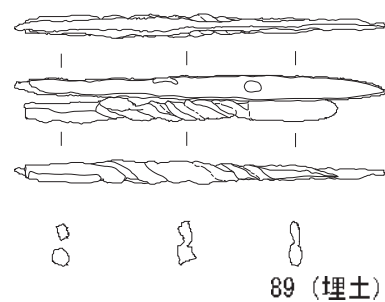
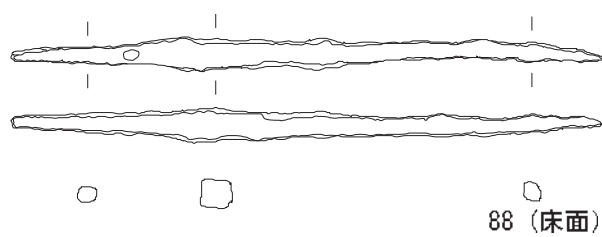
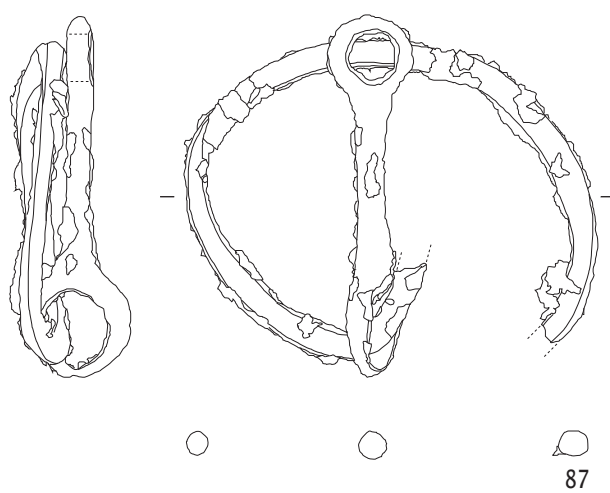
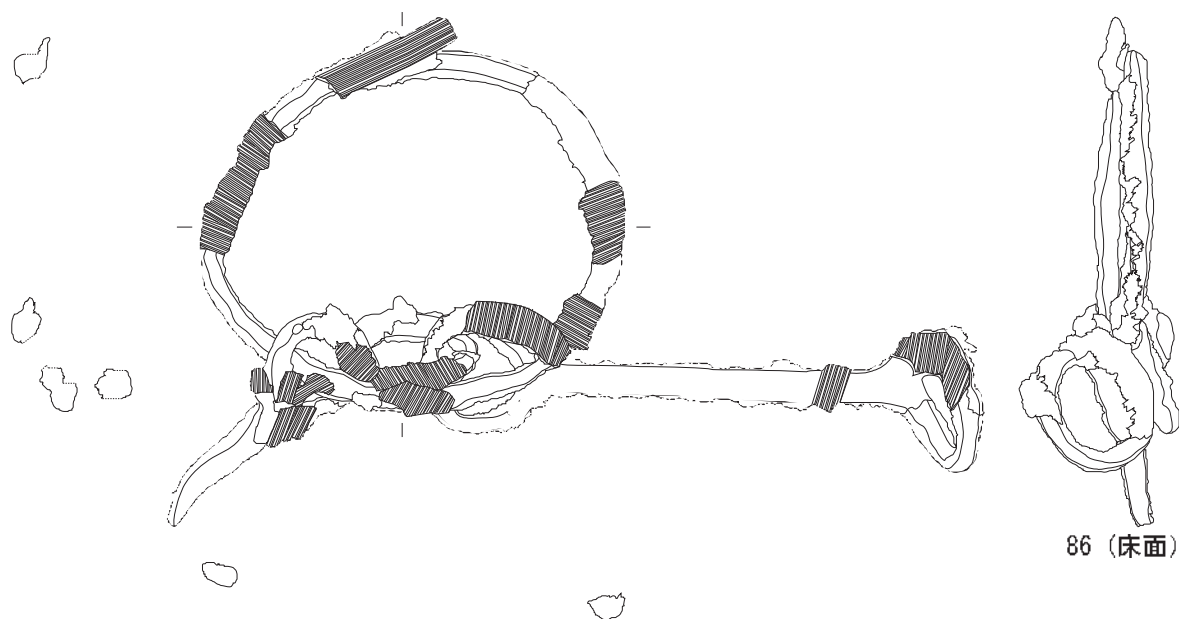


图165 43号竖穴住居跡出土遺物 (11) 鉄製品

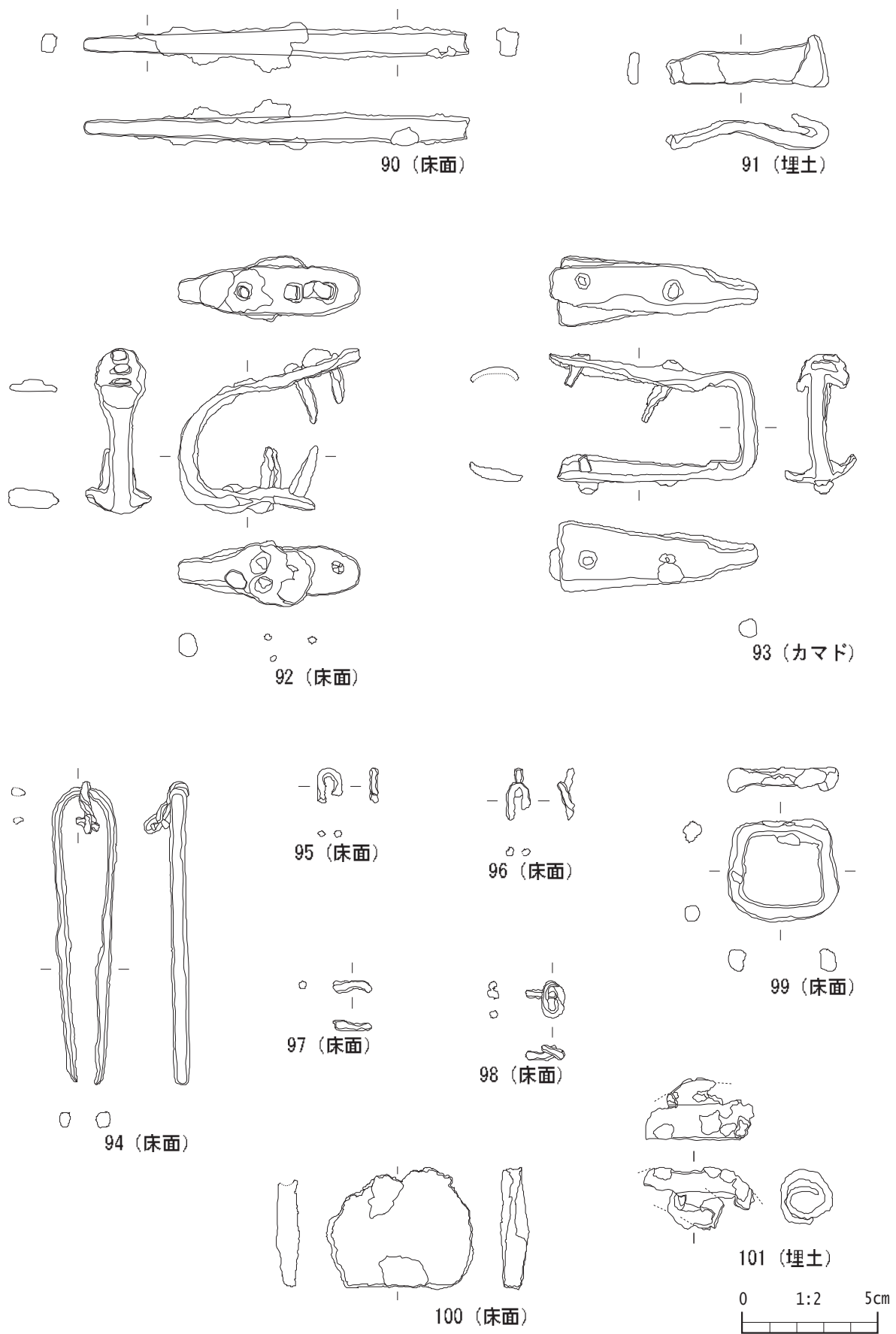
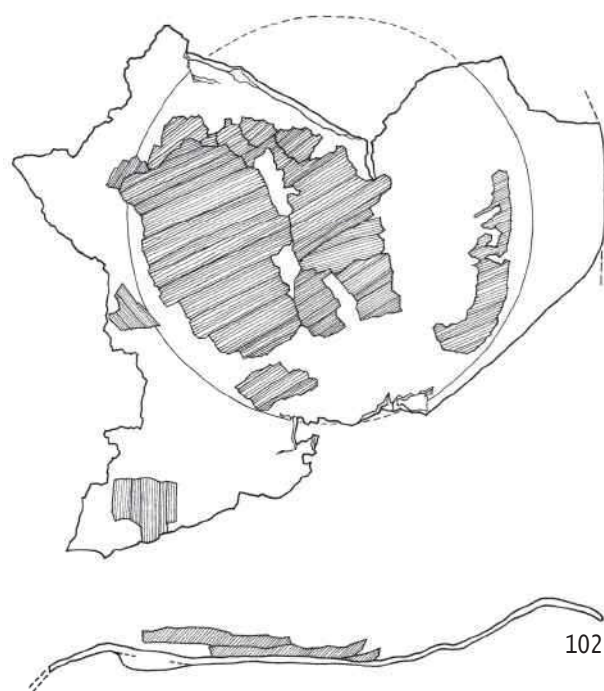
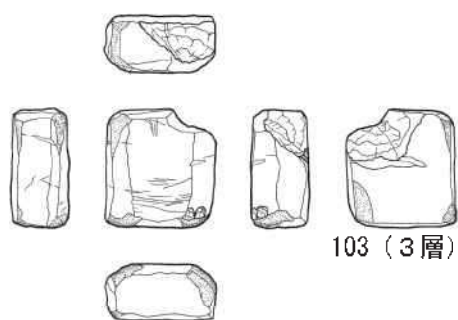


図166 43号竪穴住居跡出土遺物 (12) 鉄製品



0 1:2 5cm



0 1:3 10cm

図167 43号竪穴住居跡出土遺物 (13) 銅製品、砥石

44号竪穴住居跡（図168）

43号竪穴住居跡の東に位置する。43号竪穴住居跡、40号竪穴住居跡に切られる。

平面形は、北東隅の形状から、隅丸方形と推測される。検出規模は、東西3.0mを測る。

埋土は2層に細別される。北壁にカマドを設ける。床面から周溝、土坑跡1基が出土している。

カマド跡（図169）

くり抜き式であるが、煙道は途中で止まり、煙出しは検出していない。焚口を掘りくぼめている。焼成面、平行して並ぶ袖石の据跡を確認している。

出土遺物（図170）

1～4は土師器の甕である。いずれも短い口縁部である。1、2はわずかに外反し、体部は若干膨らむ。3は水平に外反し、体部の膨らみはない。4は底部である。張出しは弱い。

5は鉄製品である。刀子である。この他に鉄滓165gが出土している。

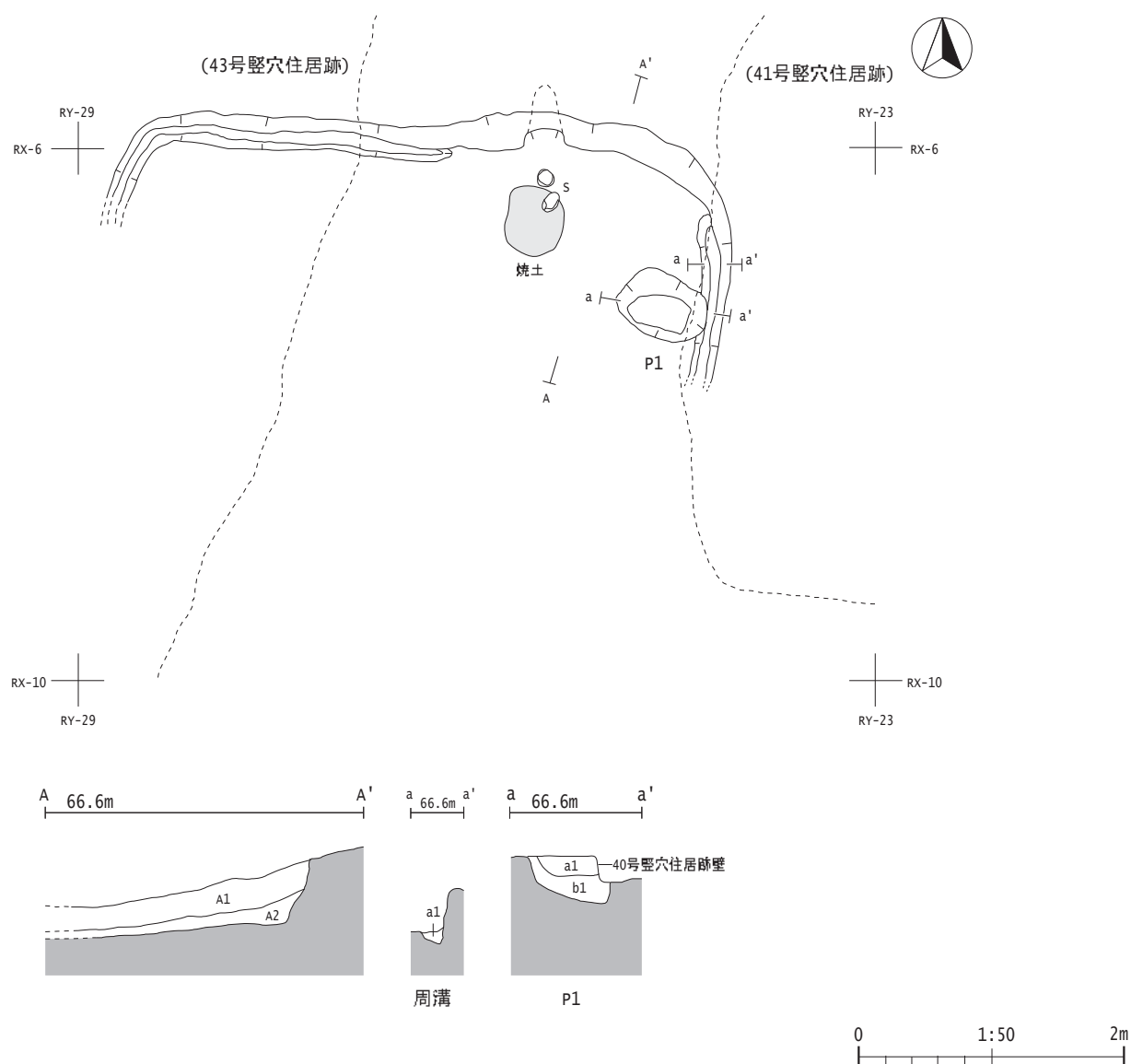


図168図 44号竪穴住居跡 平断面

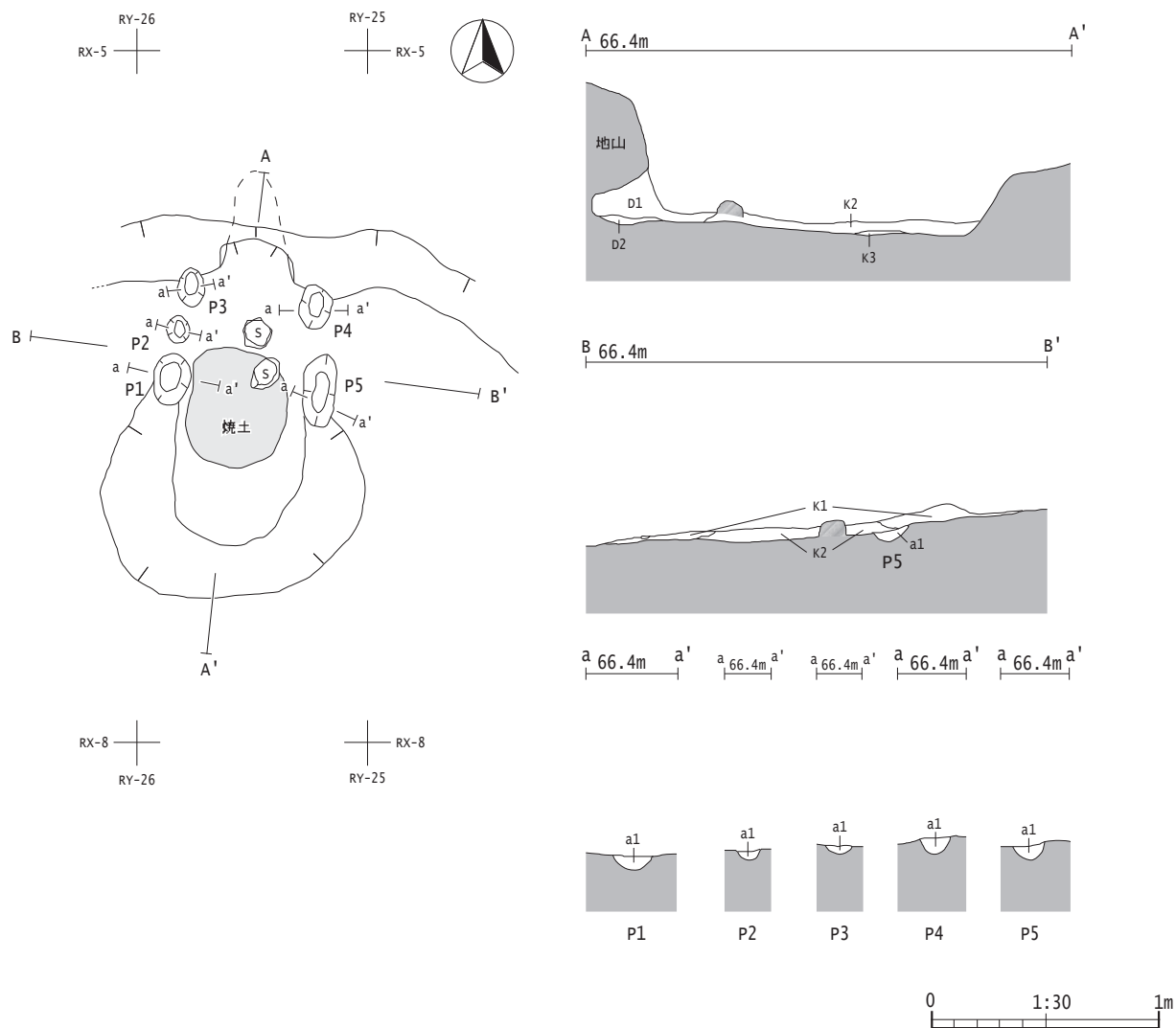


図169 44号竪穴住居跡カマド 平断面

44号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	調査・構造・混入物
44号竪穴住居跡	A1	10YR5/6 黄褐 シルト質壤土	10YR6/8 明黄褐 シルト質壤土 (シルト質) 塊~粒 15%	国、窓、塊
	A2	10YR4/6 褐 シルト質壤土~シルト質壤土	10YR3/3 暗褐 シルト質壤土 塊~粒 3%	国、窓、塊
周溝	a1	10YR4/6 褐 明	10YR5/6 黄褐 砂壤土 塊 10%	中~国、中、塊
P1				記載なし

44号竪穴住居跡カマド 土層注記表

層名		基本土	混入土	調査・構造・混入物
44号竪穴住居跡カマド	k1	10YR2/3 黒褐色シルト質壤土	10YR4/4 褐色シルト質壤土 塊~粒 5%	鉄、炭、塊、炭質土器片含
	k2	10YR4/6 褐色～5/6シルト質壤土	7.5YR4/6 褐色砂質壤土(粘土質) 塊~粒 10%	中、中、塊、炭質土器片含
	D1	10YR2/2 黒褐色シルト質壤土～シルト質壤土		鉄、炭、塊、炭質
	D2	10YR5/4 にぶい黄褐色砂質壤土		国、炭、塊
P1	a1	10YR5/6 黄褐色シルト質壤土	10YR4/4 褐色シルト質壤土 塊 10%	鉄、中、塊、炭質土器「7.5YR4/6 褐色」くらい
P2	a1	10YR5/6 黄褐色シルト質壤土		鉄、中、塊、炭質土器
P3	a1	10YR5/3 にぶい黄褐色砂質壤土		鉄、炭、塊
P4	a1	10YR5/3 にぶい黄褐色砂質壤土	10YR3/4 暗褐色シルト質壤土 塊 10%	鉄、炭、塊
P5	a1	10YR5/6 黄褐色シルト質壤土	7.5YR4/6 褐色粘土 塊 5%	鉄、中、塊、炭質土器

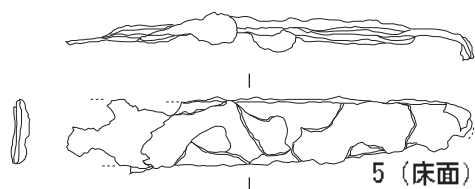
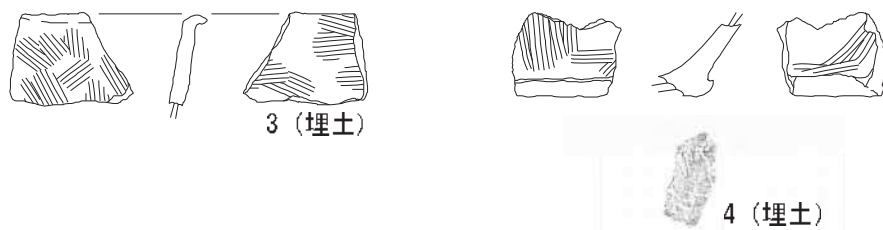
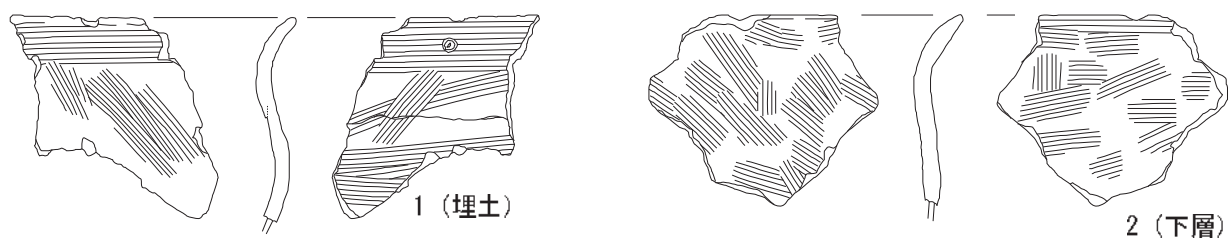


图170 44号竖穴住居跡出土遺物

45号竪穴住居跡（図171、172）

43号竪穴住居跡の西に位置する。9号炉跡に切られる。平面形は隅丸方形である。規模は、東西7.2m、南北6.0mを測る。埋土は6層に分かれる。E1層上面が9号炉跡の作業面である。壁際で周溝、北壁際の中央で焼土と炭の広がりを確認し、6基の小土坑跡が出土している。カマド跡は検出していない。

焼土と炭の広がり（図173）

北壁際のほぼ中央に位置する。当初カマド跡あるいは炉跡などを想定して精査を行った。煙道の掘り込みや袖石の据跡も確認できなかったが、配置、焼土、炭を伴うことから炉跡と判断する。

西壁際のP6は比較的大きな土坑であるが、遺物は出土していない。

出土遺物（図174～176）

1～24は土師器の甕である。1～10は口縁部である。いずれも短い口縁部である。1～3は外反し、体部は膨らむ。4～8はほぼ直に立ち上がる。体部は、4～7は膨らみ、8の膨らみはごくわずかである。9、10はわずかに外反する。11～24は底部である。11～22の張出しは弱く、23、24は張出しをもたない。底面はヘラ削り調整を施されたもの（12、13、15、16、18、24）、木葉痕を残すもの（11、17、21）にわかれる。

25は須恵器の底部である。削り出しの高台をもつ。

26は埋土上層から出土した銭貨の「和同開珎」である。

27～30は鉄製品である。27は刀子である。28、29は鉄鏝である。30は筒状の製品である。この他に鉄滓250gが出土している。

46号竪穴住居跡（図177、178）

調査区の西寄りの南斜面に位置する。45号竪穴住居跡の西に並ぶ。平面形は隅丸方形である。規模は、東西4.5m、南北4.1mを測る。埋土は2層に大別される。カマドは北壁に設けられる。周溝は検出されず、南側で小中規模の土坑跡を2基検出している。

カマド跡（図179）

くり抜き式である。煙道は水平に掘られ、煙出しは垂直に立ち上がる。焼成面と袖石の据跡を確認している。

出土遺物（図180～183）

1、2は土師器の坏である。ロクロ成形である。内面は黒色処理され、ミガキ調整を施される。

3～38は土師器の甕である。3～24は口縁部である。3～22は短く、外反する。体部は、3～9は膨らみ、10～22の膨らみは少ない。23、24は比較的長い口縁部で、外反する。25～37は底部である。25～30は明瞭な張出しをもち、31～37の張出しは弱い。底面は、ヘラ削り調整を施されたもの（27、31、33）、も木葉痕を残すもの（25、26、29～32、34、36～38）に分かれる。

39、40は土製品の羽口である。39は外径9.0cm、内傾4.0cmを測る。

41～44は鉄製品である。41～43は棒状の製品である。41、42は先端を折り曲げる。用途は不明である。44は釣針である。

この他にP1から馬の下顎骨、床面から琥珀片、骨片、炉壁を噛んだ鉄滓4kg（写真図版19）が出土している。

49号竪穴住居跡（図184、185）

調査区西の南斜面に位置する。2基の竪穴状遺構（47号、48号）、2基の土坑跡（54号～55号）

に切られている。北側には道状の平坦面、溝跡が巡る。竪穴の平面形は隅丸方形である。

47号竪穴状遺構（図184、185）

平面形は方形と思われる。規模は、推計で南北4.0m、東西2.0mを測る。埋土はA～I層である。カマド、周溝、土坑跡は確認していない。

48号竪穴状遺構（図184、185）

平面形は方形である。規模は、3.0m×2.5mを測る。埋土はJ～K層である。床面中央で土坑跡1基検出している。カマド、周溝は確認していない。遺物は、土師器甕の体部片の他に、砥石（図191-34）が出土している。

49号竪穴住居跡（図184、185）

平面形は隅丸方形である。規模は、東西6.0m、南北5.0mを測る。埋土はL層である。カマド跡は、北壁で2基、西壁で1基検出している。西壁で周溝を確認し、小土坑跡は3基出土している。

カマド跡A（図186）

くり抜き式である。煙道は下降気味に掘られ、煙出しは垂直に立ち上がる。N層が固い焼土層である。袖石、石の据跡などは検出していない。

カマド跡B（図186）

くり抜き式である。煙道は下降気味に掘られ、煙出しは垂直に立ち上がる。K層が固い焼土層である。E5層から焼けた獣骨が出土している。袖石、石の据跡などは検出していない。

カマド跡C（図187）

くり抜き式である。煙道は下降して掘られるが、短い。煙出しはやや傾斜して立ち上がる。西側の土坑跡は煙出しを掘りかけて、止めた可能性が高い。焼成面、袖石の据跡などは検出していない。

出土遺物（図188～191）

1は土師器の坏である。ロクロ成形である。内面は黒色処理され、ヘラミガキを施される。切り離しは回転糸切りである。

2～28は土師器の甕である。2～17は口縁部である。いずれも短く、外反する。体部は、2～12は膨らみ、14～17の膨らみは弱い。18～29は底部である。17～23は張出しをもたない。24～27の張出しは弱く、28、29は明瞭な張出しをもつ。底面は、ヘラ削り調整されるもの（17～21、24～26）、木葉痕を残すもの（18、27、28）に分かれる。

29、30は須恵器である。29は頸部である。30は体部片で、両面にタタキメを残す。

31～34は砥石である。31、32は扁平角礫を用いる。31は側面にヘラ削り状の磨面をもち、磨面に条痕を残す。32は磨面に多数の条痕が入る。33、34は長方形礫を使い、磨面に条痕が入る。

この他に鉄滓は埋土から374g出土している。

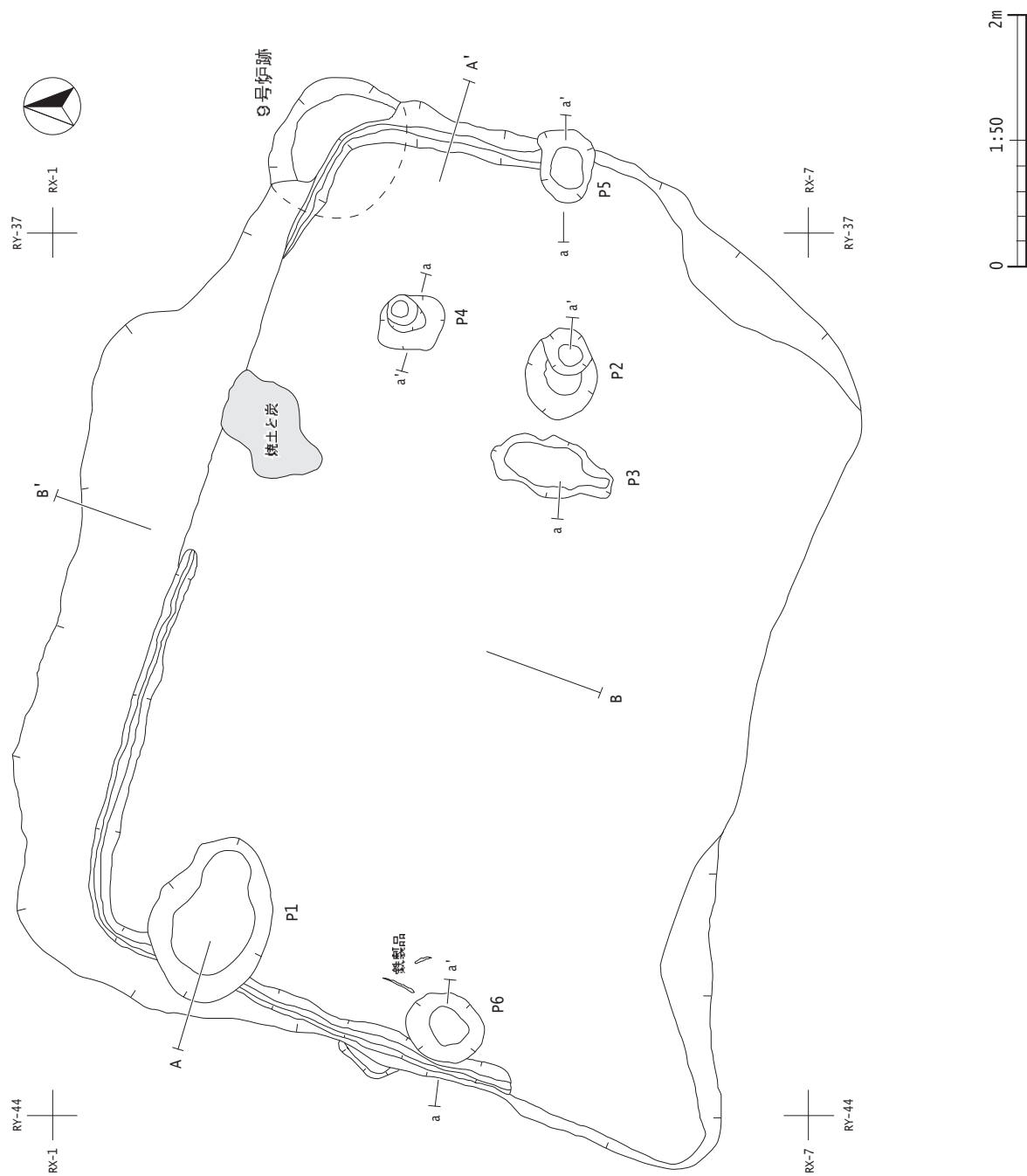


図171 45号竖穴住居跡 平面

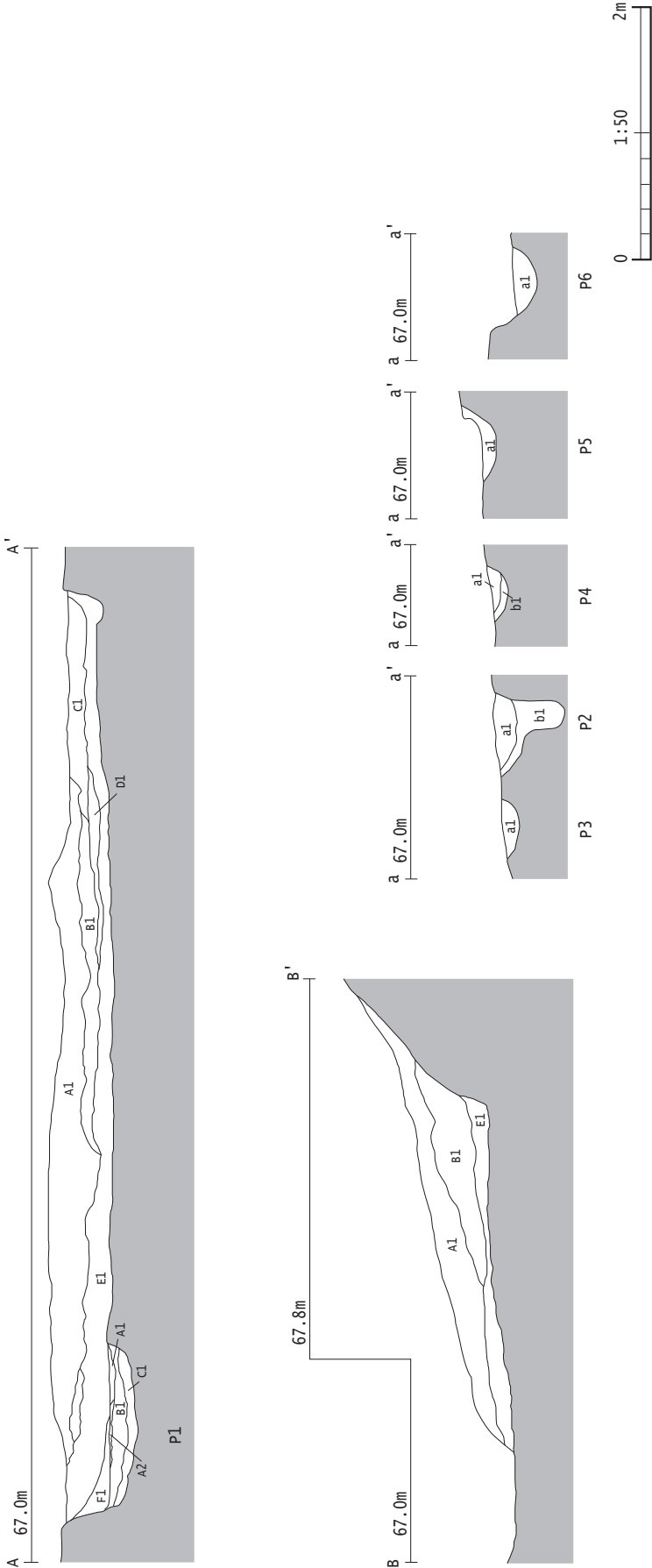


図172 45号竪穴住居跡 断面

45号竪穴住居跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	固定・構造・混入物
45号竪穴住居跡			
A1	10YR5/4 暗褐色砂壤土	10YR5/4 に多い黄褐色砂壤土 境 10%	中～粒 砂 塊
B1	2.5YR5/3 に多い赤褐色	黄砂土 層	中 砂 塊 土 層
C1	10YR4/4 暗褐色	10YR2/4 暗褐色砂壤土 境 10%	中 砂 塊 境
D1	2.5Y5/3 黄褐色		中 砂 塊 (多) 黄砂土 質を含んでる
E1	10YR4/4 暗褐色	10YR5/4 に多い黄褐色砂壤土 境 10%	固 砂 塊 質土 層
F1	10YR5/4 に多い黄褐色砂壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土	中～固 砂 塊 (黄砂土 塊が多い)
P1			記載なし
P2			記載なし
P3			記載なし
P4			記載なし
P5			記載なし
P6			記載なし
45号竪穴住居跡跡土			記載なし
K1			記載なし
K2			記載なし

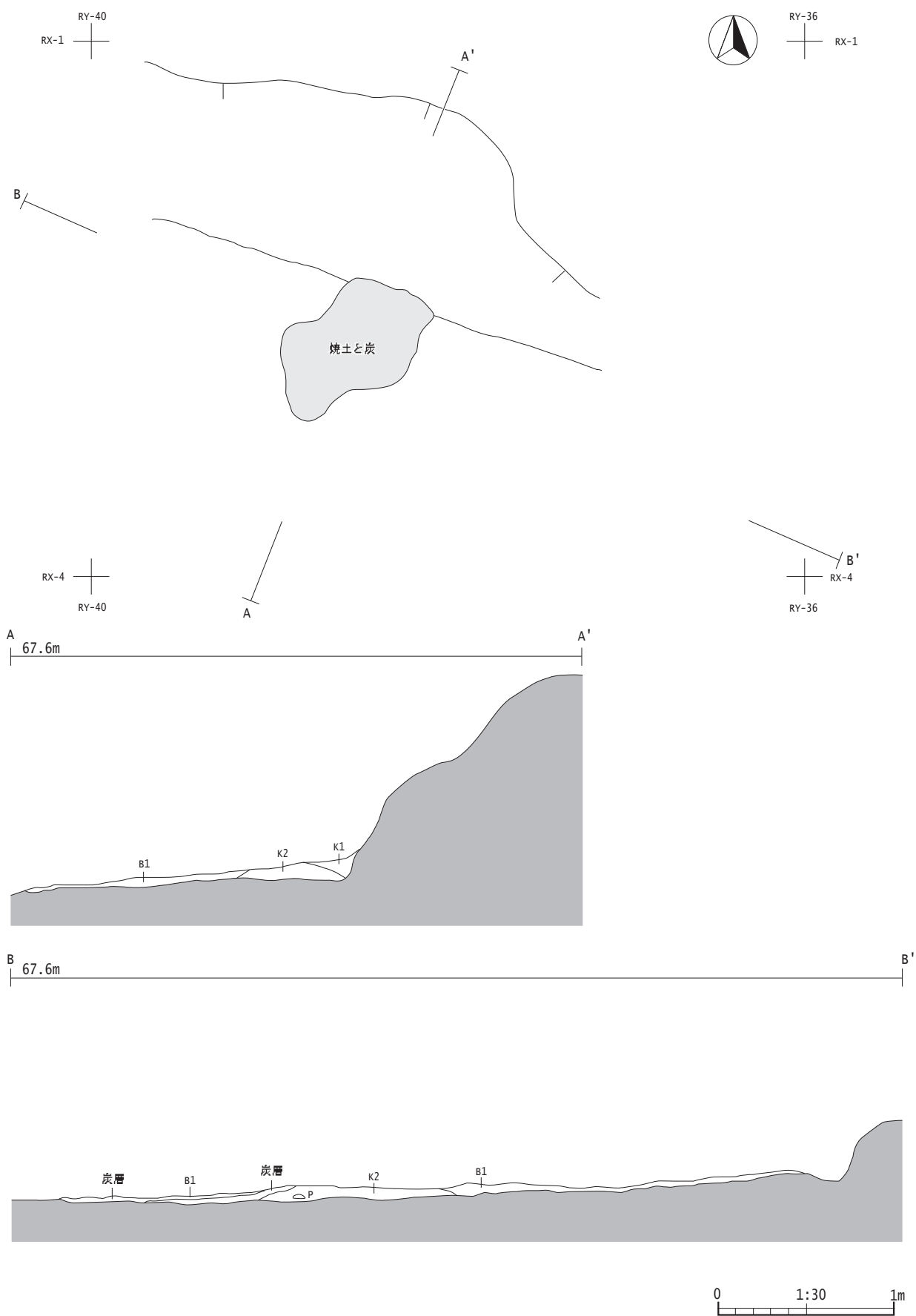


図173 45号竖穴住居跡焼土 平断面

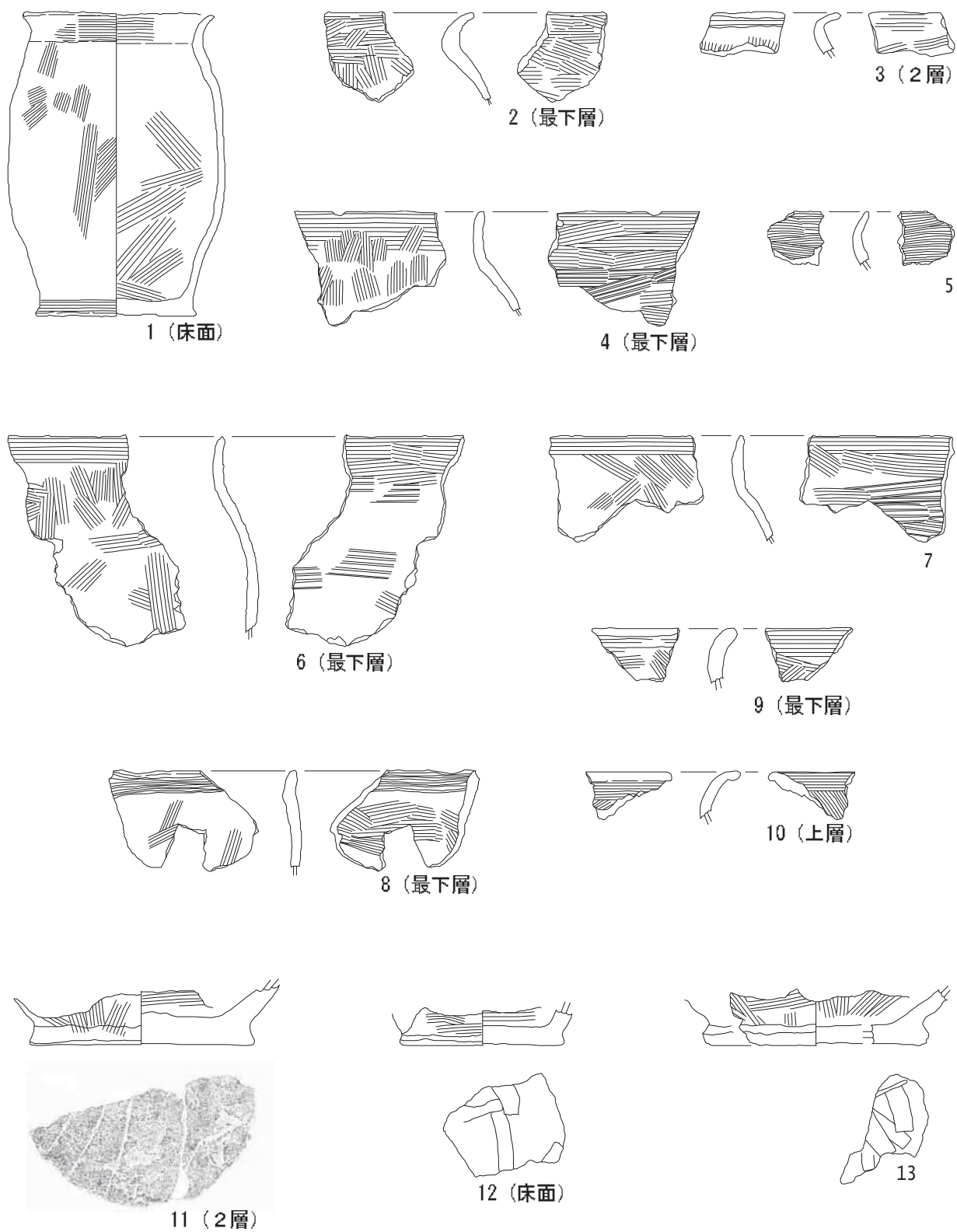


図174 45号竪穴住居跡出土遺物 (1)

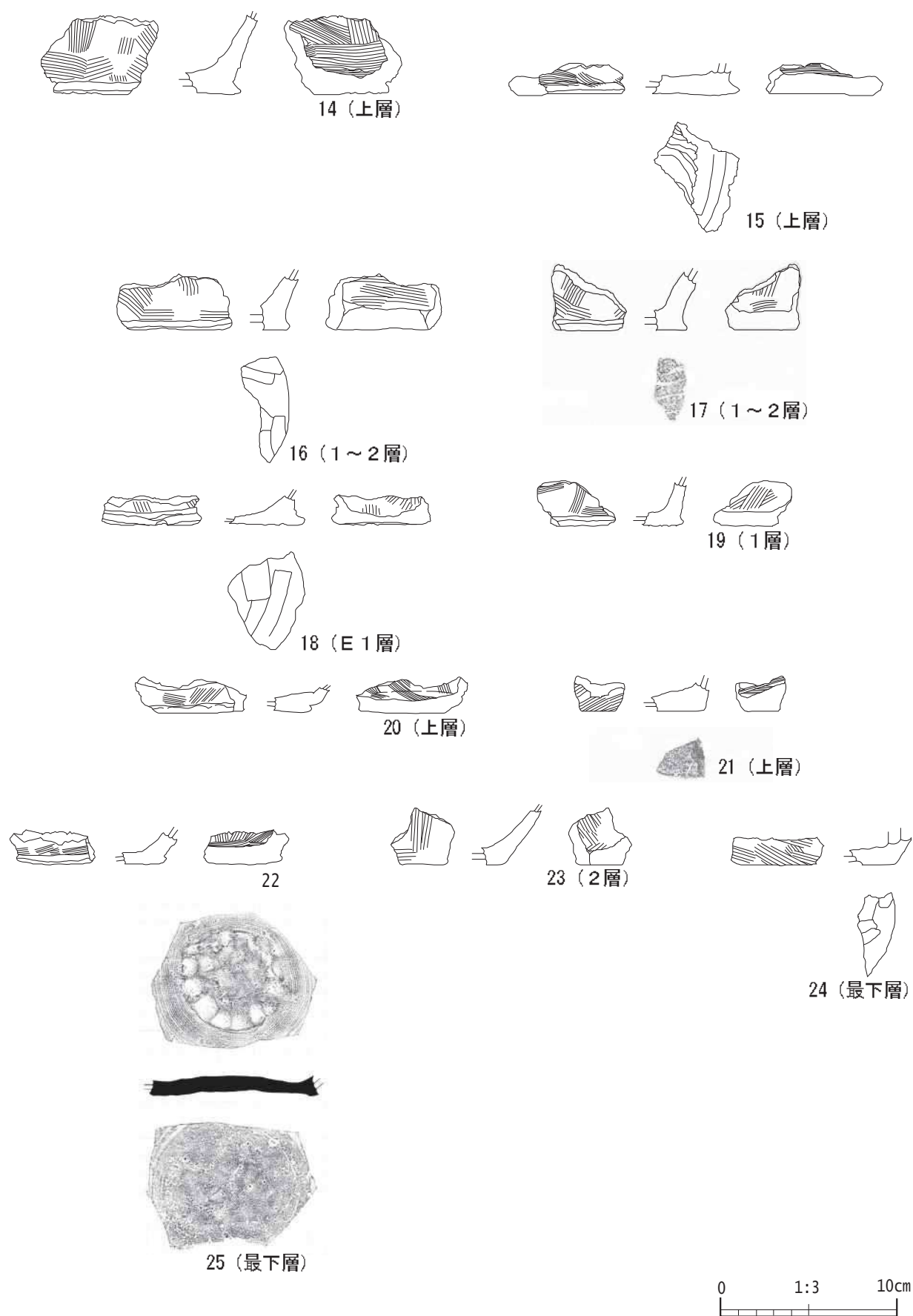
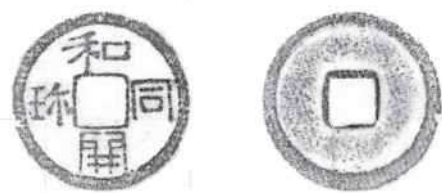
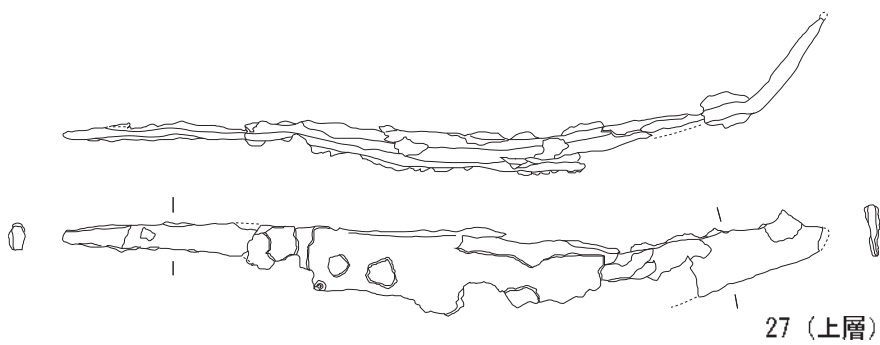
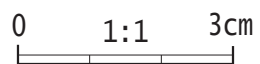


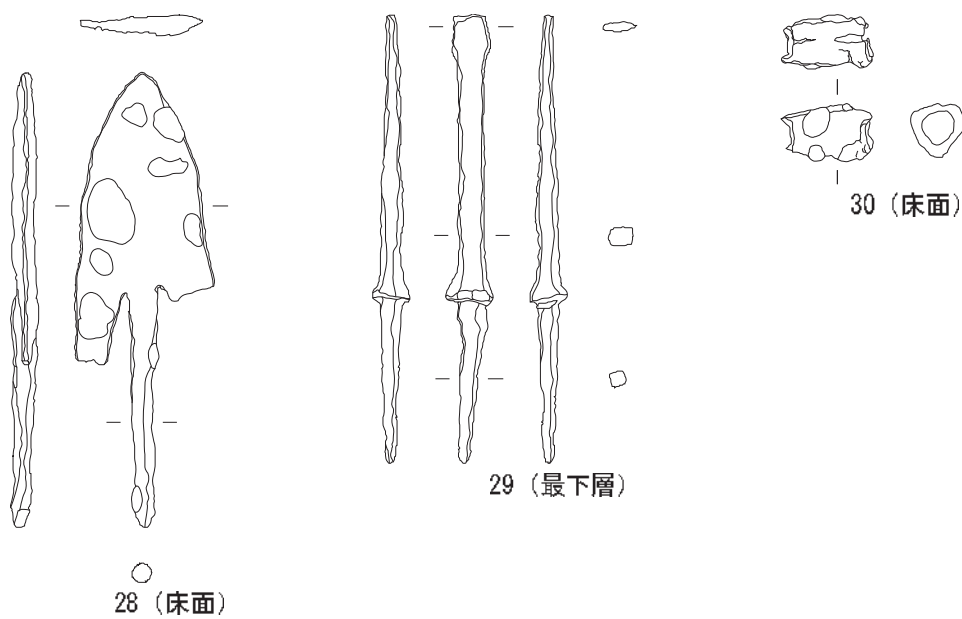
図175 45号竪穴住居跡出土遺物 (2)



26



27 (上層)



28 (床面)

29 (最下層)

30 (床面)

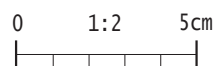
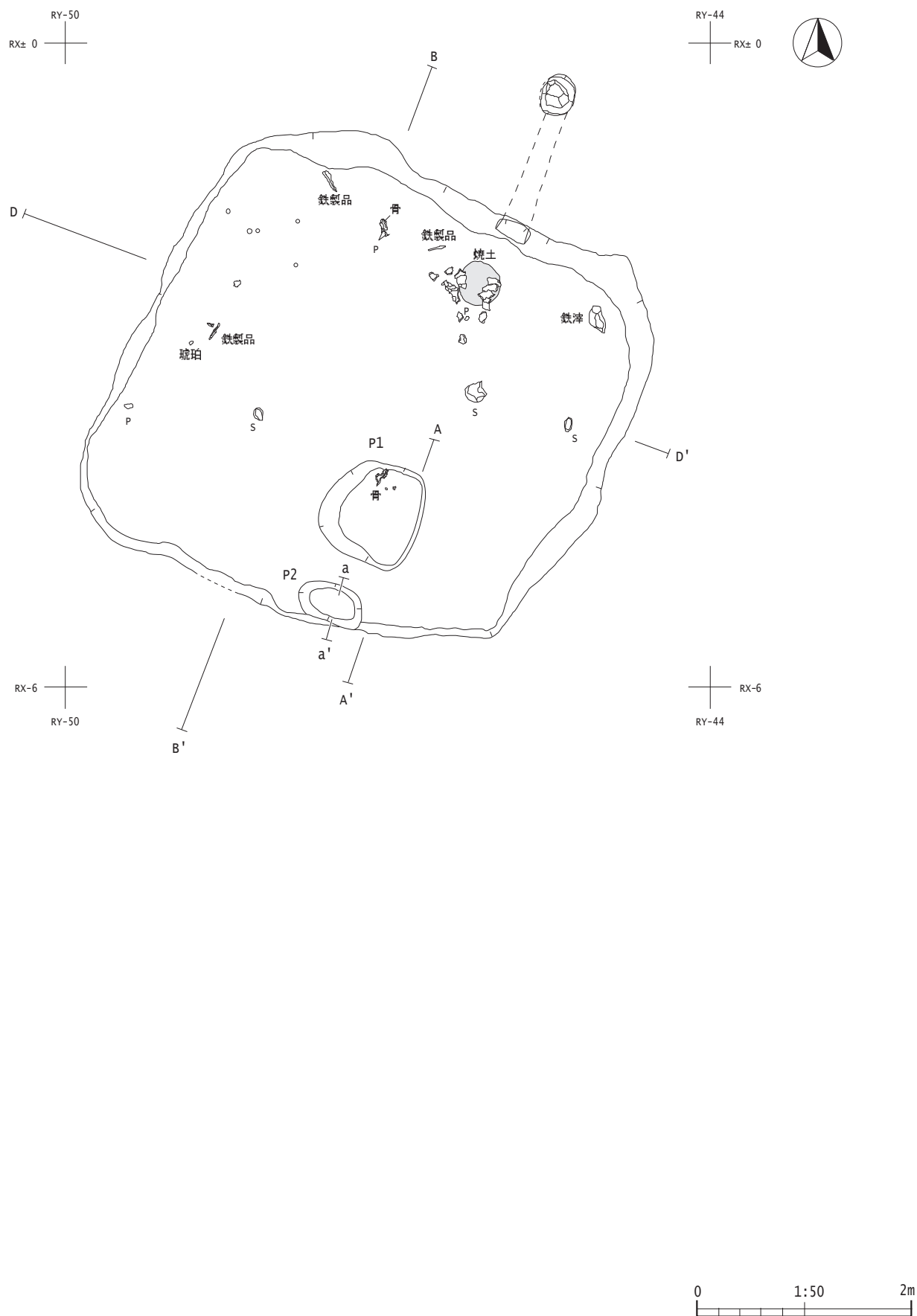


图176 45号竖穴住居跡出土遺物 (3)



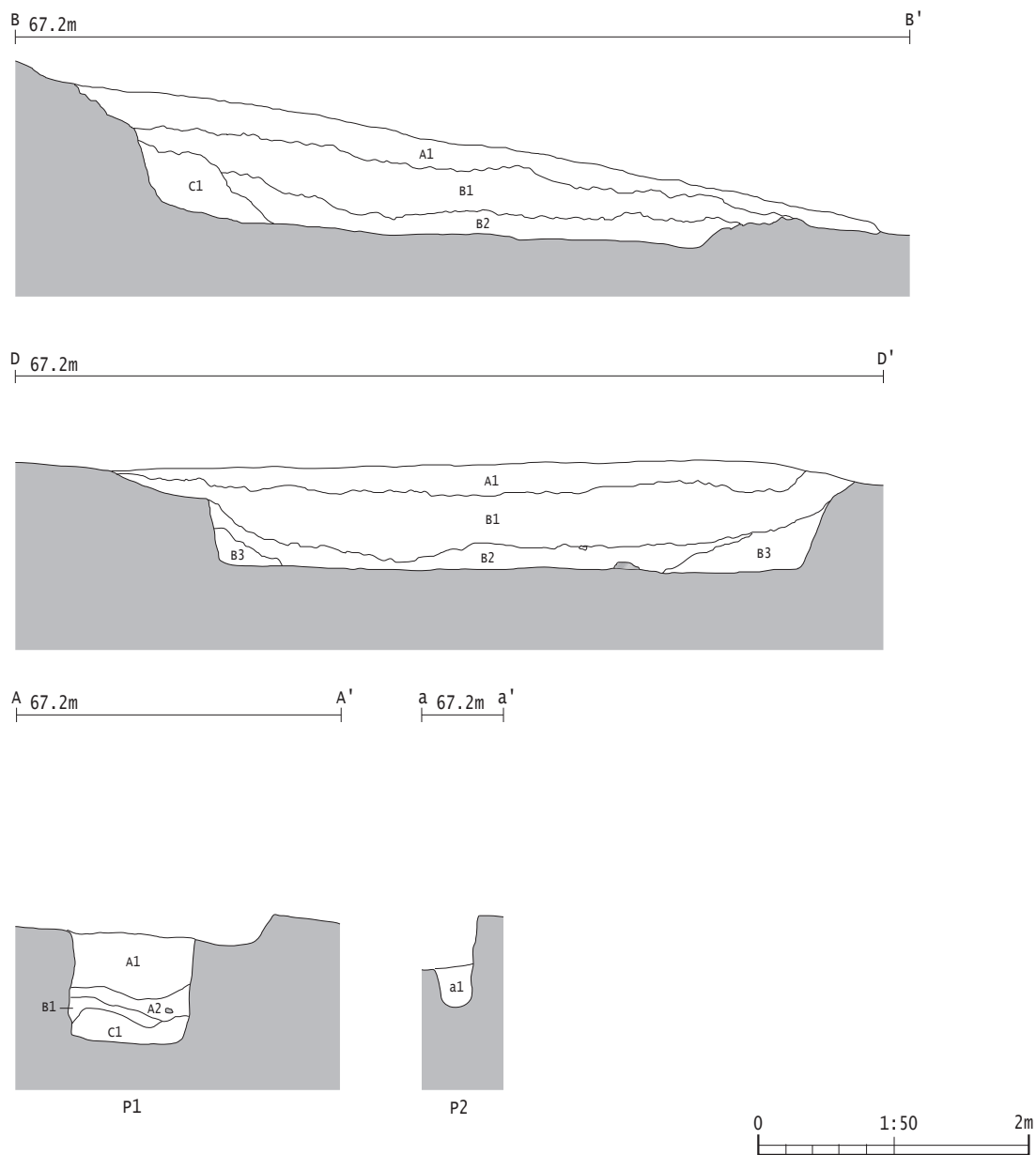


図178 17号土坑跡出土遺物

46号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固定・構造・混入物
46号竪穴住居跡	A1	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 塊 10%	鉄、礎、塊
	B1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%	中、礎、塊
	B2	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%	中、礎、塊、灰、焼土塊
			10YR6/6 明黄褐色 砂壤土 塊 10%	
	B3	10YR4/4 褐	10YR5/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 10%	中、礎、塊
	C1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色 砂壤土 塊 15%	鉄、礎、塊
P1				記載なし
P2				記載なし
46号竪穴住居跡内マド	C1			記載なし
	C2			記載なし
	E1			記載なし
	K1			記載なし

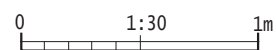
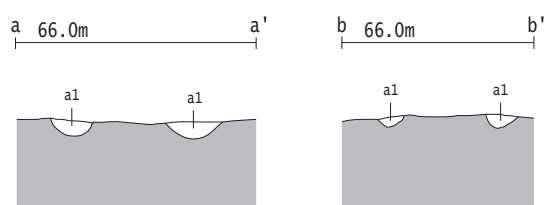
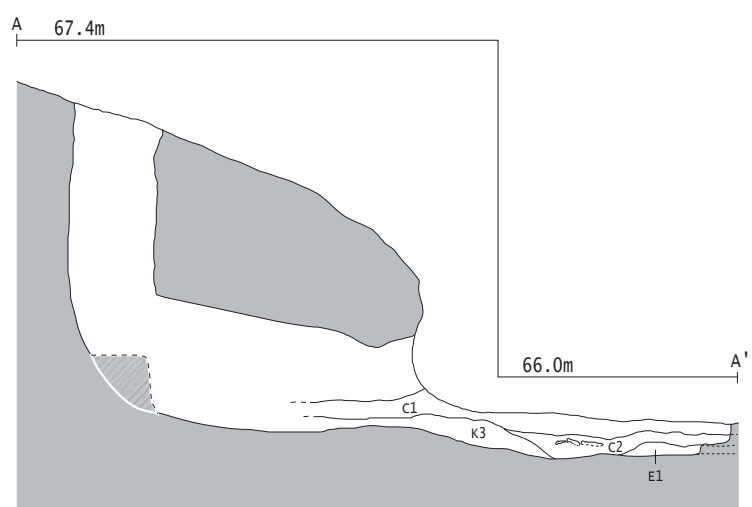
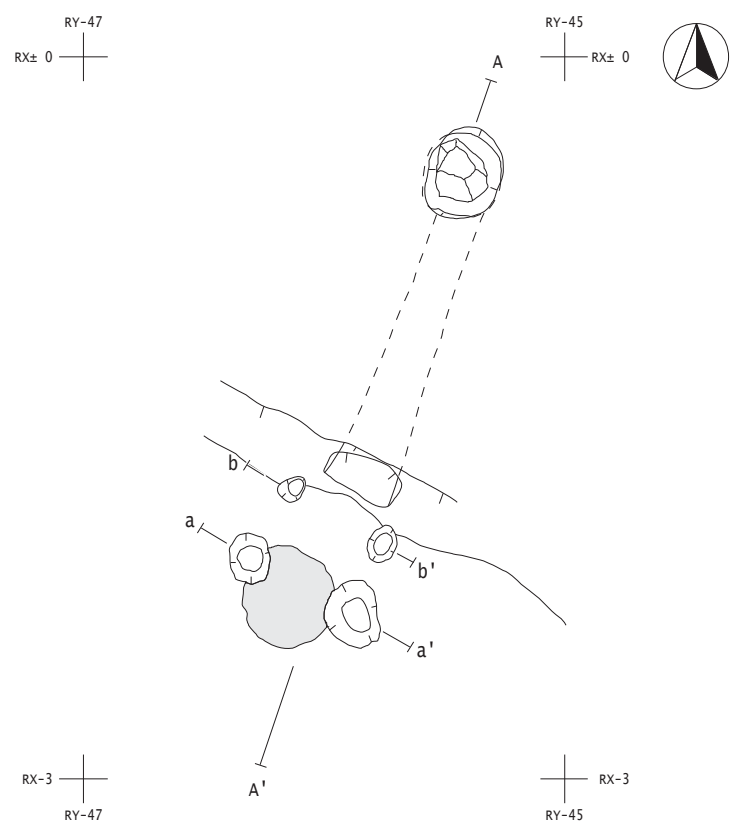


図179 46号竪穴住居跡カマド 平断面

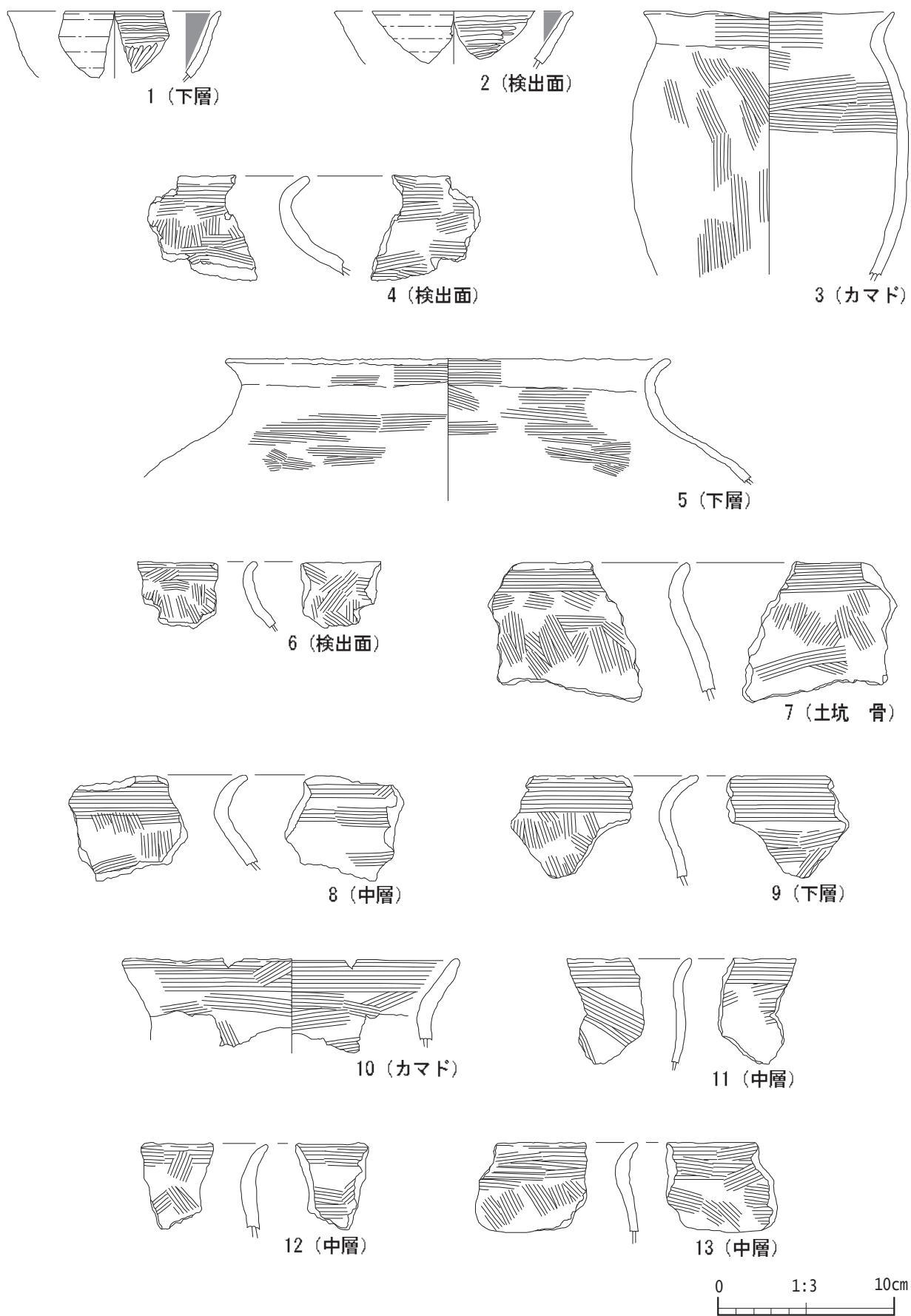


図180 46号竪穴住居跡出土遺物 (1)

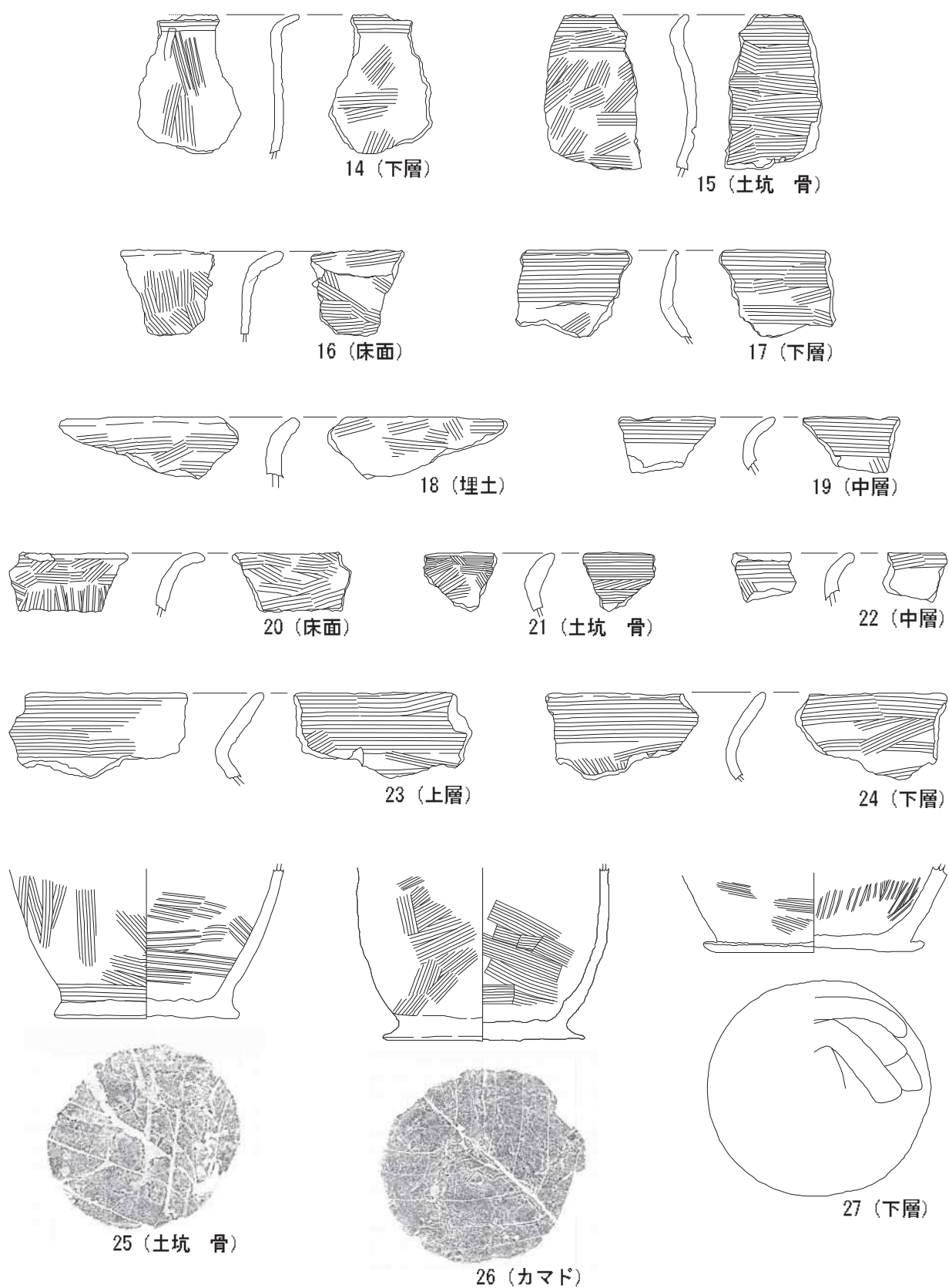


図181 46号竪穴住居跡出土遺物 (2)



図182 17号土坑跡出土遺物

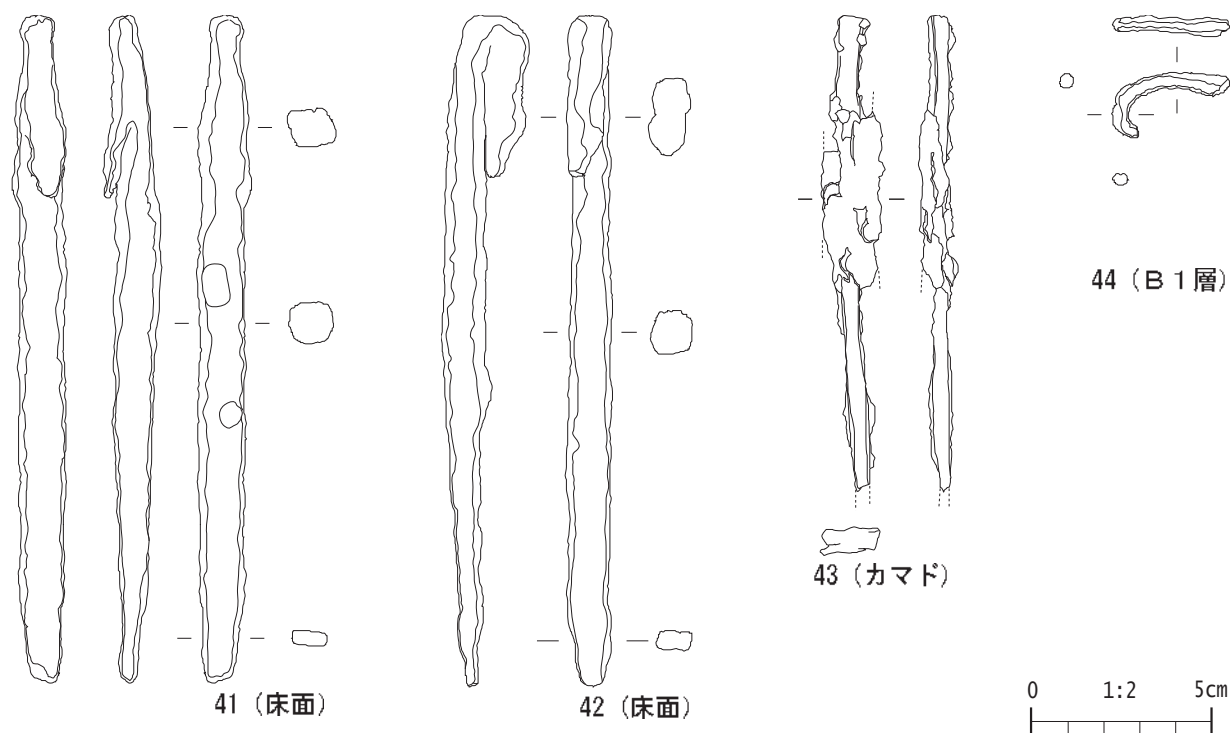
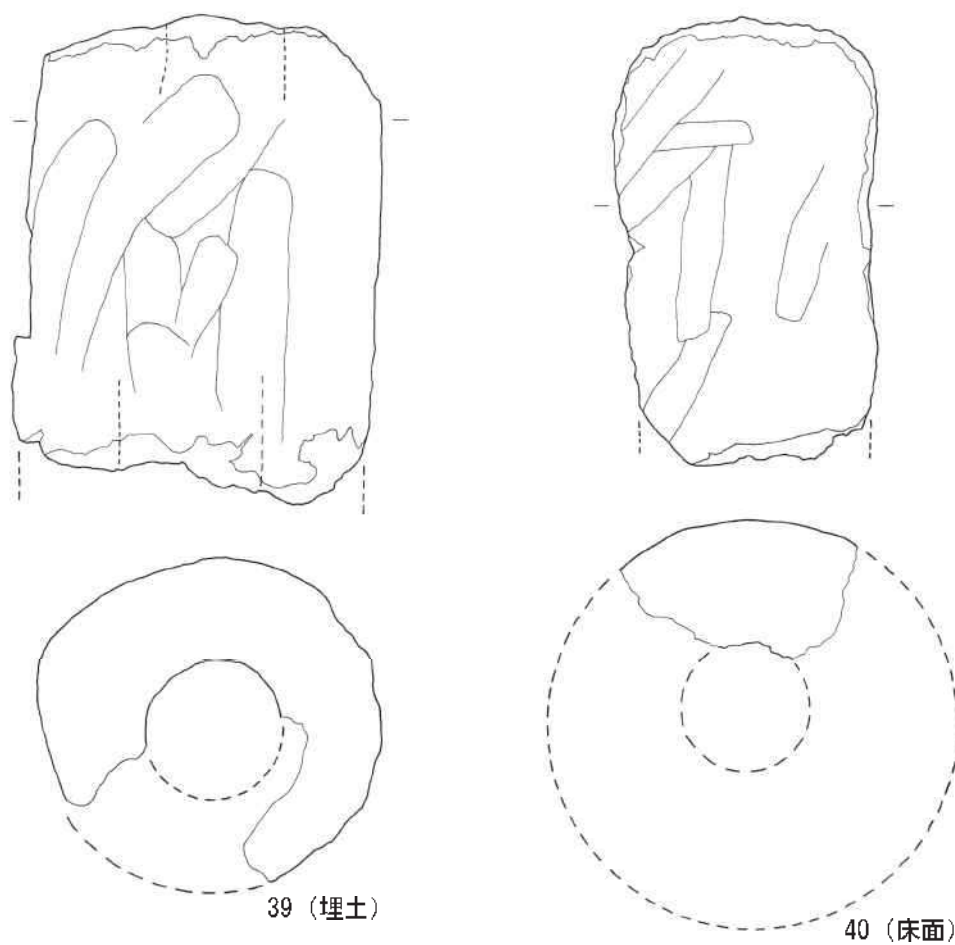


図183 46号竪穴住居跡出土遺物 (4)

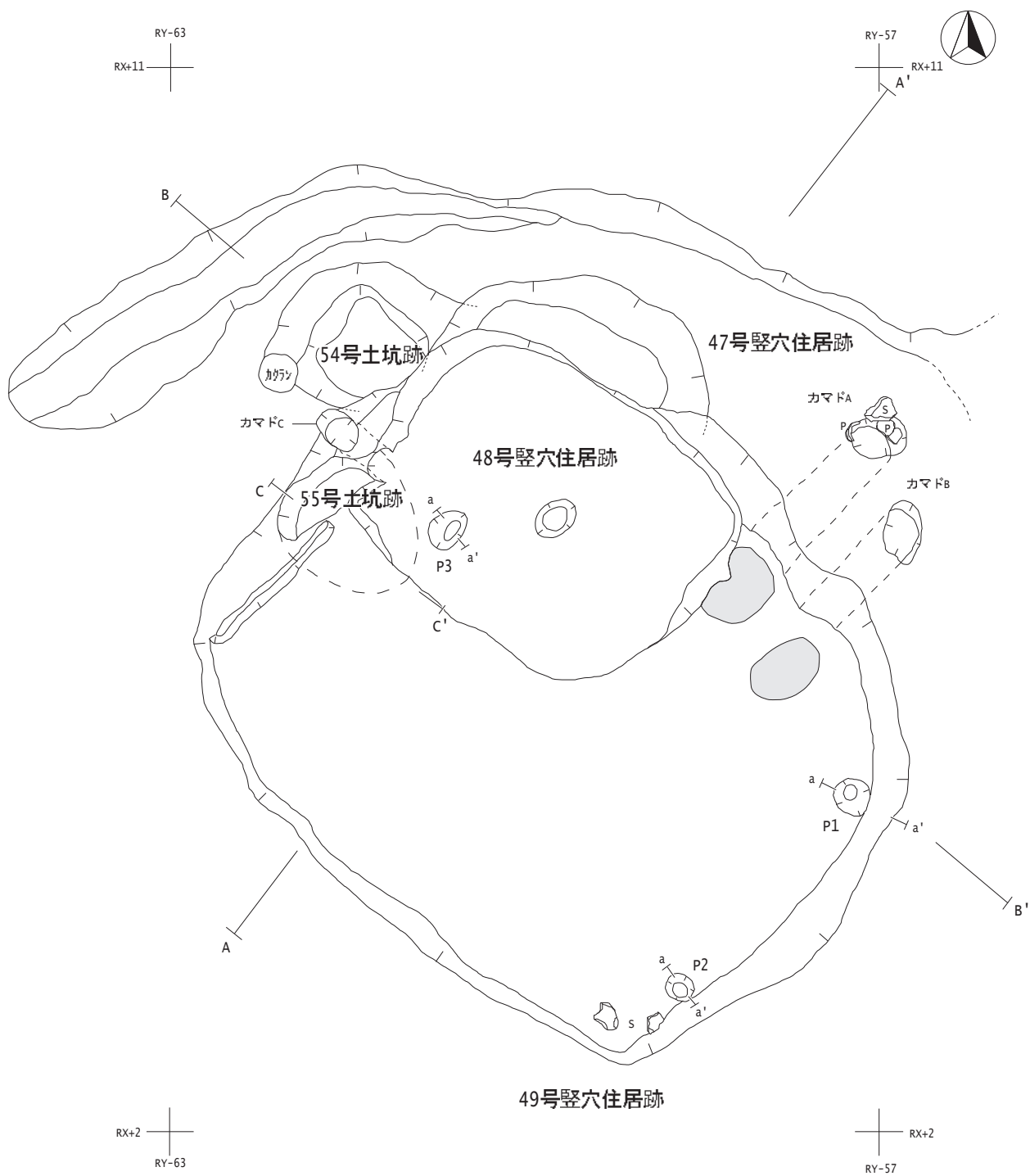


図184 47号、48号、49号竪穴住居跡、54号、55号土坑跡 平面

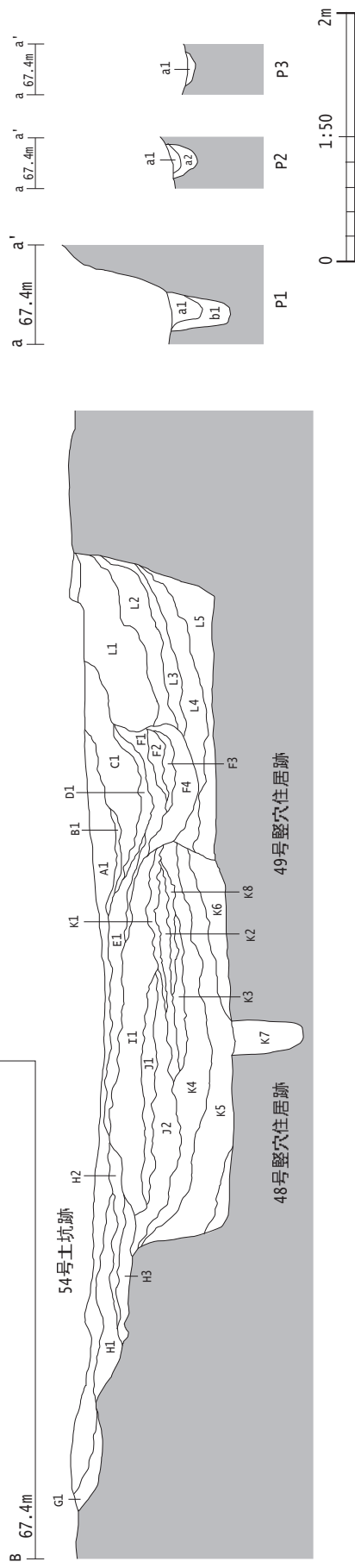
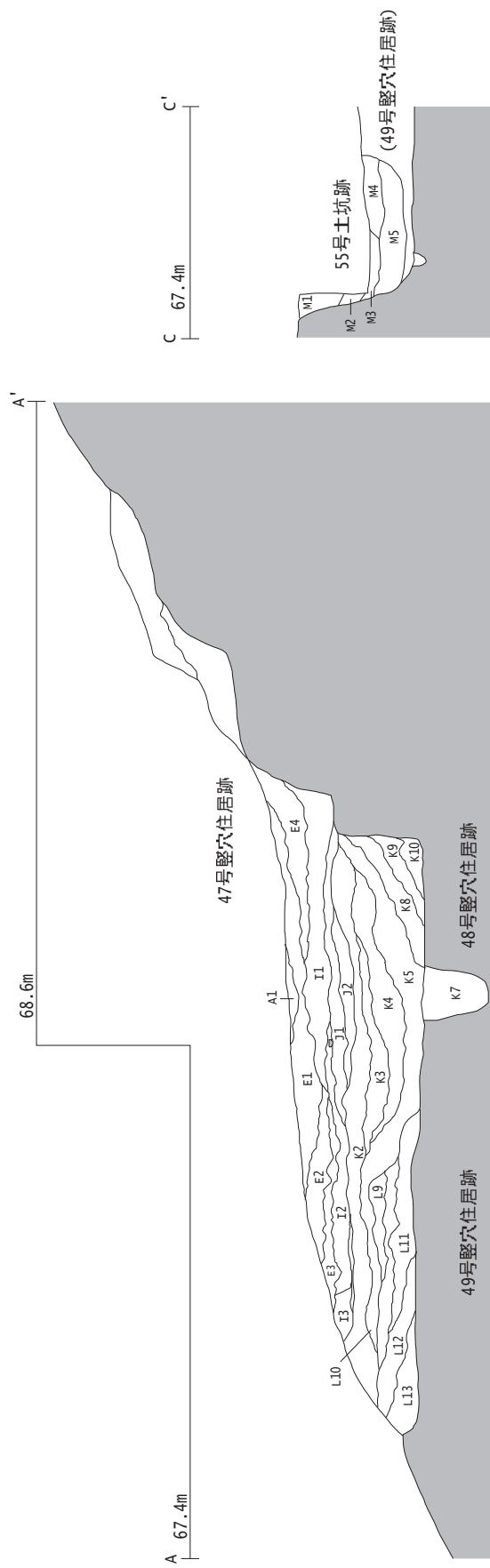


图185 47号、48号、49号竖穴居住迹、54号、55号土坑迹 断面

47号、48号、49号型六住居跡 土層注記表

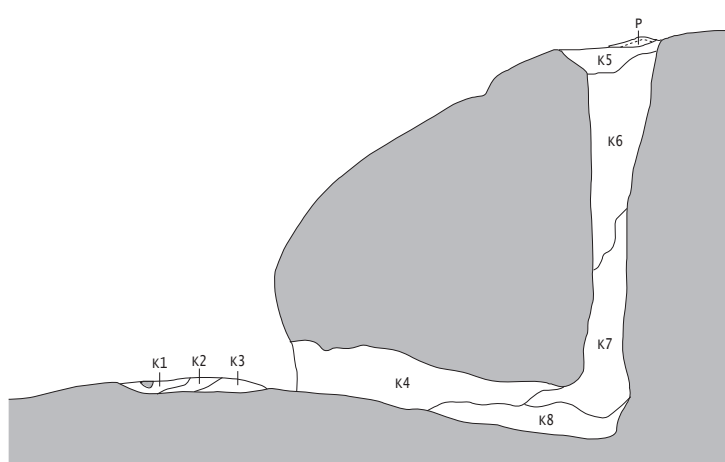
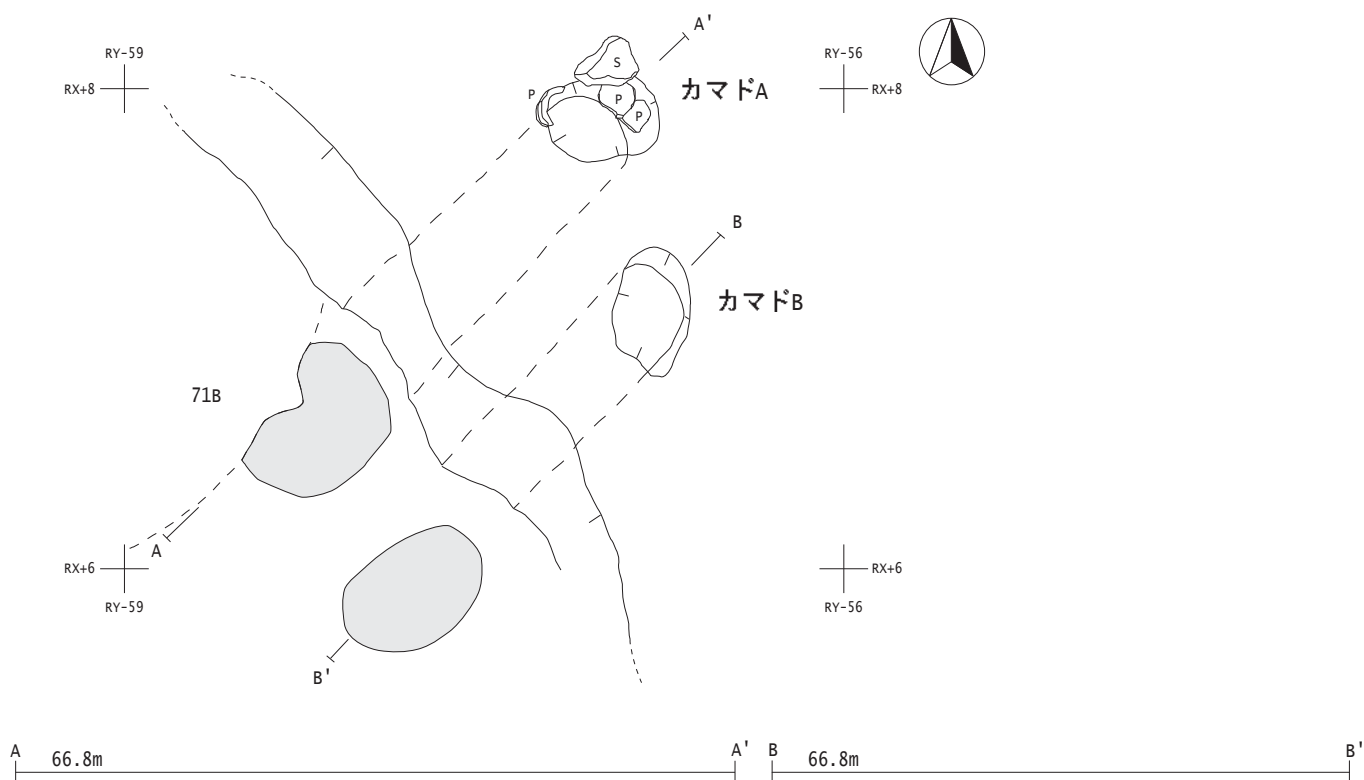
層名	基本土	混入土	調査・構造・混入物
	A1 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土	調査・構造・混入物
		木炭塊 3～6cm を含む 焼土 は含まれない やや軟質	木炭粒 3mm 1% 入
	B1 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土 2%	木炭粉を 7% 含む
		10YR3/3 暗褐色 (木炭粉)	
	C1 10YR4/6 褐色壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土 10% 礫状 (面上半部)	下半部は 3% ほど 上半部に木炭粉 2% 下半部に木炭粉 5%
	D1 10YR2/1 黒褐色土 木炭粉含土	10YR4/6 褐色壤土 3% 木炭粒～塊 (2～3) を含む	原地性 焼土
		7.5YR3/4 暗褐色 焼土 焼土 を 礫状 (木炭の下に 礫状) 5%	
47号型六住居跡	E1 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色 焼土 粒状 3%	木炭粉～粒 2%
	E2 10YR3/2 黒褐色砂壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土 粒状 2%	木炭粉粒を含む 3% やや軟質 木炭粉混入土
		10YR5/6 黄褐色砂壤土 粒状 3%	
	E3 10YR3/2 黒褐色砂壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 塊状 5%	木炭粉粒を含む 2% やや軟質 木炭粉混入土
土坑	F1 10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 粉 5%	木炭粉 7%
土坑	F2 10YR4/6 褐色砂壤土	10YR4/4 褐色 粒状 2%	木炭は含まれない
		10YR7/6 明黄褐色砂土 粒状 1%	
土坑	F3 10YR4/4 褐色砂壤土	10YR4/6 褐色 粉 3%	木炭粉を含む (上半部に多い)
土坑	F4 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色 粉 1%	木炭粒 2%
	G1 10YR6/6 明黄褐色 硬質砂土	10YR7/6 明黄褐色砂土 10%	木炭なし
		7.5YR3/4 暗褐色 焼土 焼土 礫状 5mm 2%	
	I1 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土 3% 粒状	木炭 1% 以下
	I2 10YR2/2 黒褐色壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 粉 1% 、	
		7.5YR5/8 明褐色 焼土 焼土 粒状 1%	
	I3 7.5YR5/8 明褐色 焼土 焼土	10YR2/2 黒褐色 焼土 粒状 1%	固い 締まりあり
	J1 10YR6/4 にぶい黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 粒状 2%	木炭含まれない 地山 47号型六住居跡の床面構成土
	J2 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 粒状 5%	木炭含まず
48号型六住居跡	K1 10YR4/4 褐色砂壤土 25%	10YR5/6 黄褐色砂壤土 3%	木炭を粒状に混す
		10YR2/2 黒褐色 焼土 (木炭粉混入土)	
		7.5YR3/4 暗褐色 L 焼土 礫 3%	木炭の下 原地性 焼土 粒 5mm 以下
	K2 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 粒状 3～5%	木炭と礫の上部に少々含む 1% 以下
	K3 10YR4/6 褐色砂壤土	10YR7/4 にぶい黄褐色砂壤土	
	K4 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土 5% 粒状	木炭粉 ほんの少々と 0.7% 含む
	K5 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土 3%～10% 粒状	木炭粉 ほんの少々と 0.7% 含む
	K6 10YR5/5 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土 2%	木炭粉なし
	K7 10YR6/6 明黄褐色砂壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土 粒状 7%	木炭質
	K8 10YR4/6 褐色壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土 5% 粒状	
		10YR5/8 黄褐色砂壤土 2% 粒状	
	K9 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR4/6 褐色 焼土 3% 粒状	
	K10 10YR6/4 にぶい黄褐色 硬質砂土	10YR7/6 明黄褐色砂土 粒状 2% やや軟	
49号型六住居跡	L0 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土 粒状 5%	木炭粉粒 1%
	L1 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR6/6 明黄褐色砂土 礫状 5%～3%	互に礫状に入る
	L2 10YR4/6 褐色壤土	10YR6/6 明黄褐色砂土 3% 粒状	やや軟質
	L3 10YR6/6 明黄褐色砂壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 7～10%	木炭粉 1%
	L4 10YR4/6 褐色砂壤土	10YR6/6 明黄褐色砂土 粉 5%～7%	木炭粒 1% やや軟
	L5 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR6/6 明黄褐色砂土 3% 礫状	L4 と同様であるか、6/5 が礫状に入っている やや軟
	L6 10YR2/2 黒褐色シルト質壤土		終層 (木炭粒含層)、カマド前木炭サンラン層
	L7 10YR4/6 褐色砂壤土	10YR5/6 黄褐色 焼土 粒状 2%	
	L8 10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR6/6 明黄褐色砂土 3% 粒状	木炭粉 1% やや軟
	L9 10YR6/6 明黄褐色 硬質砂土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 粒状 1%	
	L10 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土 5%	
		10YR5/8 黄褐色砂壤土 3% 粒状	
	L11 10YR5/8 黄褐色砂壤土	10YR4/6 褐色 焼土 3% 粒状	木炭粉 粒 1%
		10YR7/6 明黄褐色砂土 1%	
	L12 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土 7%	
	L13 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR6/6 明黄褐色砂土 3% 礫状	L4 と同様であるか、6/5 が礫状に入っている やや軟
土坑断面	M1 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR3/2 黒褐色 塊 2%	木炭粒を含む
土坑断面	M2 10YR3/4 暗褐色 焼土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 粉 3%	木炭片を 2% 含む
土坑断面	M3 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土 粒状 7%	木炭なし
土坑断面	M4 10YR4/6 褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色 焼土 塊状 2%	木炭片を含む
土坑断面	M5 10YR5/6 黄褐色	10YR7/6 明黄褐色砂土 粒状 10%	塊状含む

54号、55号土坑跡 土層注記表

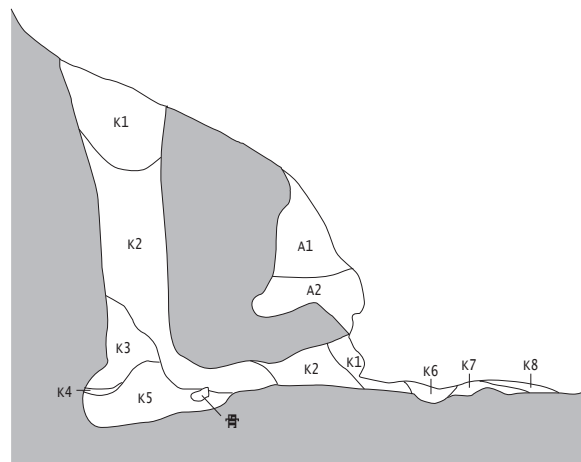
層名	基本土	混入土	調査・構造・混入物
54号土坑跡	H1 10YR2/2 黒褐色壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 粉状 7%	木炭粉含層 木炭粒含む
	H2 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR2/2 黒褐色 焼土 5%	
	H3 10YR2/2 黒褐色壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 粉 3%	
55号土坑跡	C11 10YR7/6 明黄褐色 硬質砂土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 ブロック 2%	一括ホウカイか ほぼ純層
	C12 10YR6/6 明黄褐色 焼土		C12 層 (床面出土) が入り込んでいる

49号型六住居跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	調査・構造・混入物
P1	a1 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR6/6 明黄褐色砂壤土 塊状 5%	木炭粉を含む
	b1 10YR6/6 明黄褐色砂壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 2% 粒状	やや軟
		10YR7/6 明黄褐色砂土 3% 粒状	
P2	a1 10YR4/4 褐色壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 2% 粒状	
	a2 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR7/6 明黄褐色砂土 粒状 1%	
P3	a1 10YR6/4 にぶい黄褐色 硬質砂土	10YR7/6 明黄褐色砂土 1%	



カマドA



カマドB

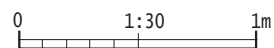


図186 49号竪穴住居跡カマドA、B 平断面

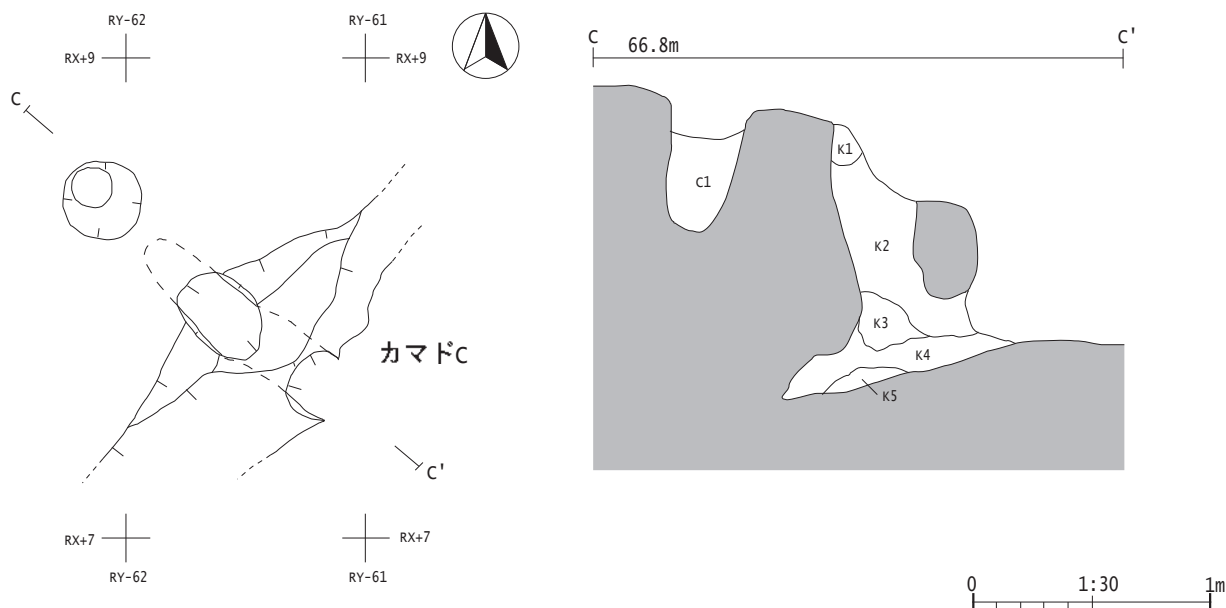


図187 49号竪穴住居跡カマドC 平断面

49号竪穴住居跡カマド 土層注記表

層名		基本土	混入土	調査・構造・混入物
49号竪穴住居跡カマドA	K1	10YR2/3 黒褐色 壤土	10YR2/1 黒 壤土 粒状10%	木炭粉を含む黒色土層
	K2	10YR4/6 褐色 壤土	5YR4/8 灰土 粉5%含む	
	K3	10YR2/3 黒褐色 壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状1%	軟質
	K4	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状5%	
			10YR6/8 明黄褐色 壤質砂土 粒状3%	
	K5	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土 粒状1%	木炭付、土師器カメ
	K6	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 壤土 ブロック状7%	木炭粉含む
			10YR3/3 暗褐色 壤土 塊状3%	
49号竪穴住居跡カマドB	K7	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 壤土 粒状5% 均一混入	木炭少々含む
	K8	10YR3/3 暗褐色 壤土	10YR6/6 明黄褐色 壤土 ブロック状3%	
			10YR2/2 黒褐色 壤土 粒状2%	
	E1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土 ブロック状5%	
	E2	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土 塊状7%	
			10YR3/4 暗褐色 壤土 塊状2%~5%	
	E3	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土 ブロック状7%	
	E4	10YR7/6 明黄褐色 砂土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 粒状1%	
49号竪穴住居跡カマドC	E5	10YR2/3 黒褐色 壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 ブロック状1%	
			10YR6/6 明黄褐色 砂壤土 粒状2%	
	C1	10YR5/6 黄褐色 壤質砂土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 2% 粒状	やや軟質
	k1	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 壤土 粒状3%	木炭粉 灰土粒を混ざる
	k2	10YR5/8 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 塊状 粒状5%	
	k3	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR5/8 黄褐色 壤土 ブロック状10% (下半?に多い)	
			10YR7/6 明黄褐色 壤土 ブロック状5% (上半前多い)	
	k4	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 ブロック状10% (特に?部に多い)	
カマドC	k5	10YR2/3 黒褐色 壤土	10YR7/6 明黄褐色 粒状1%	軟質

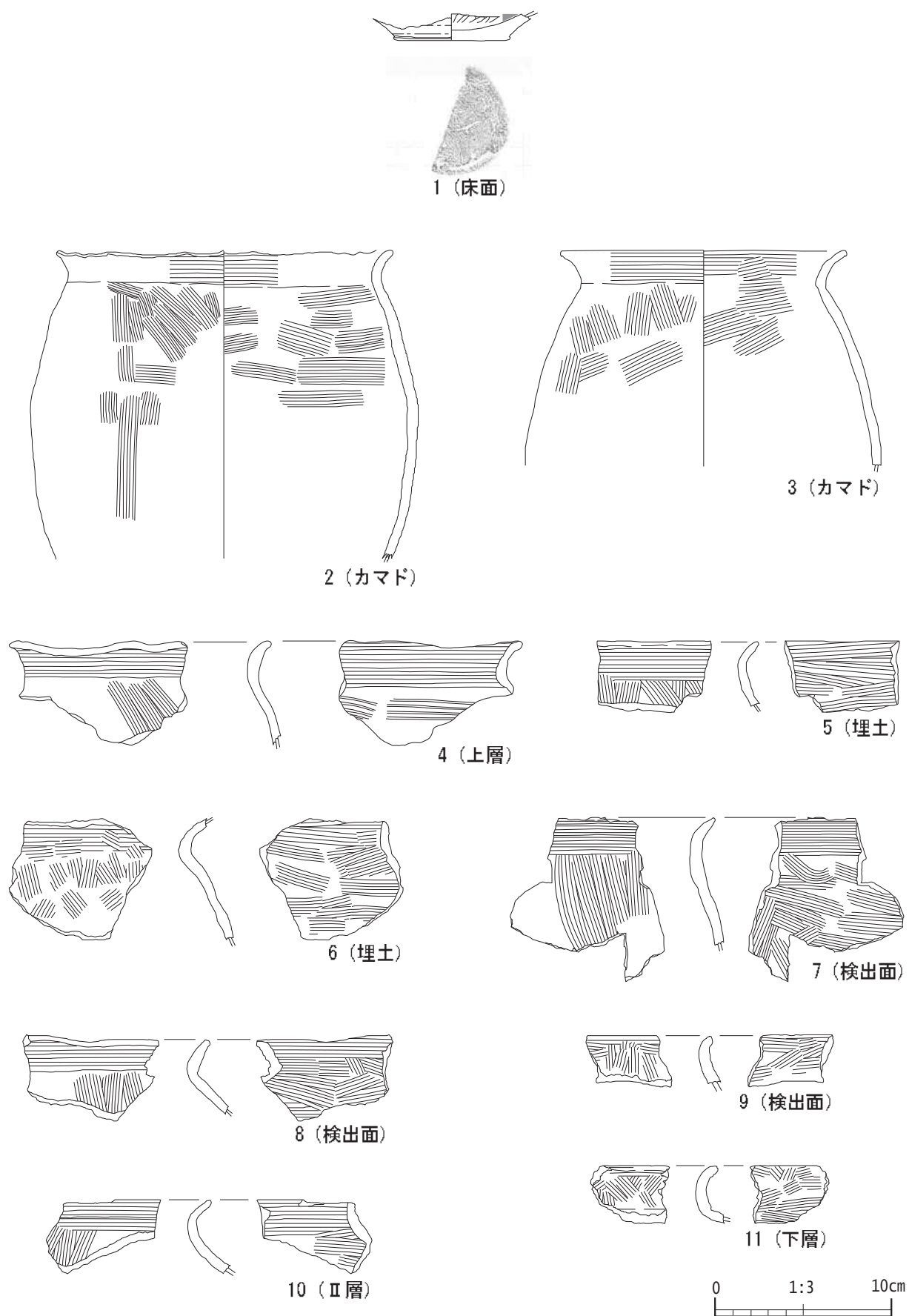


図188 49号竪穴住居跡出土遺物 (1)

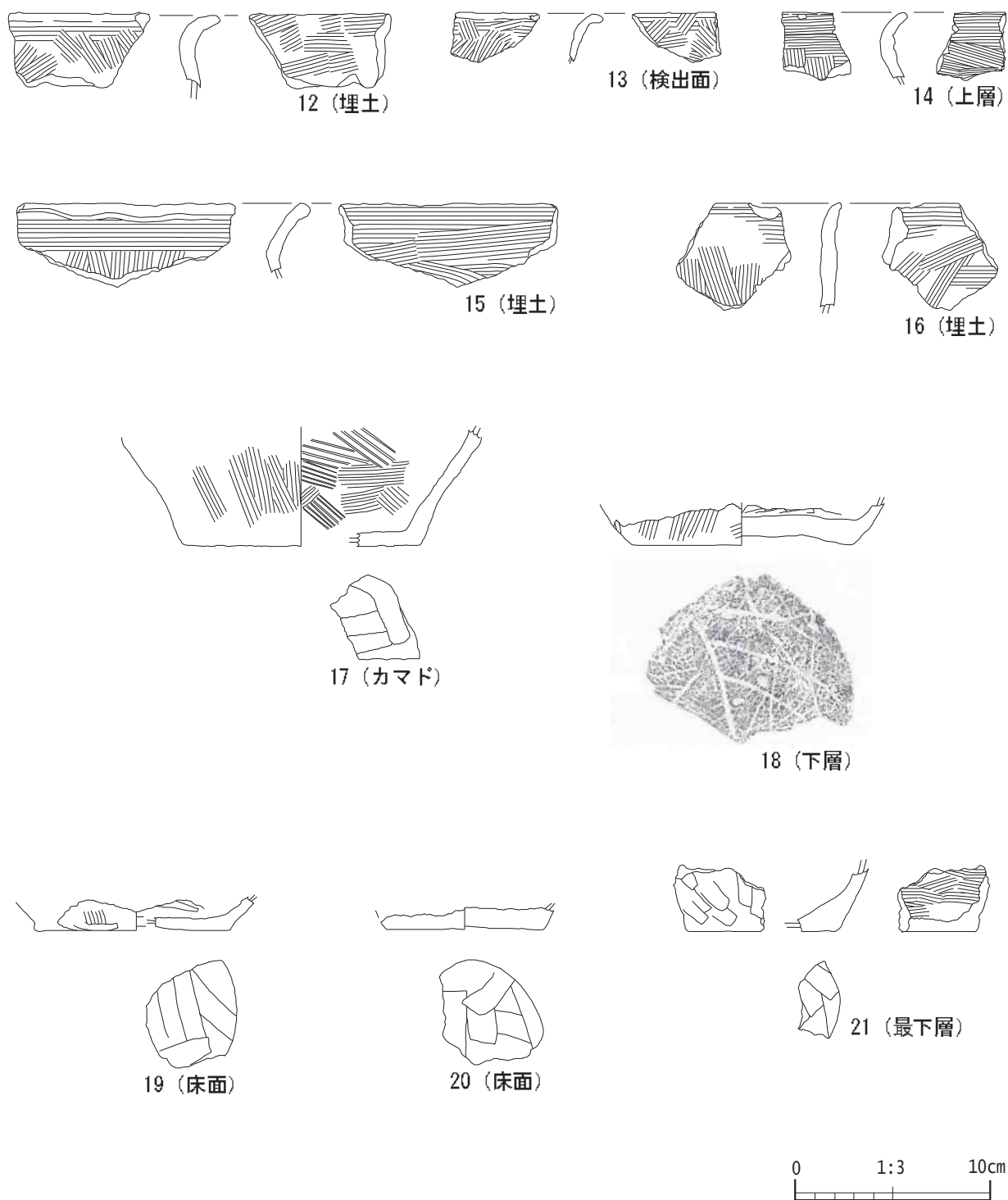


図189 49号竪穴住居跡出土遺物 (3)

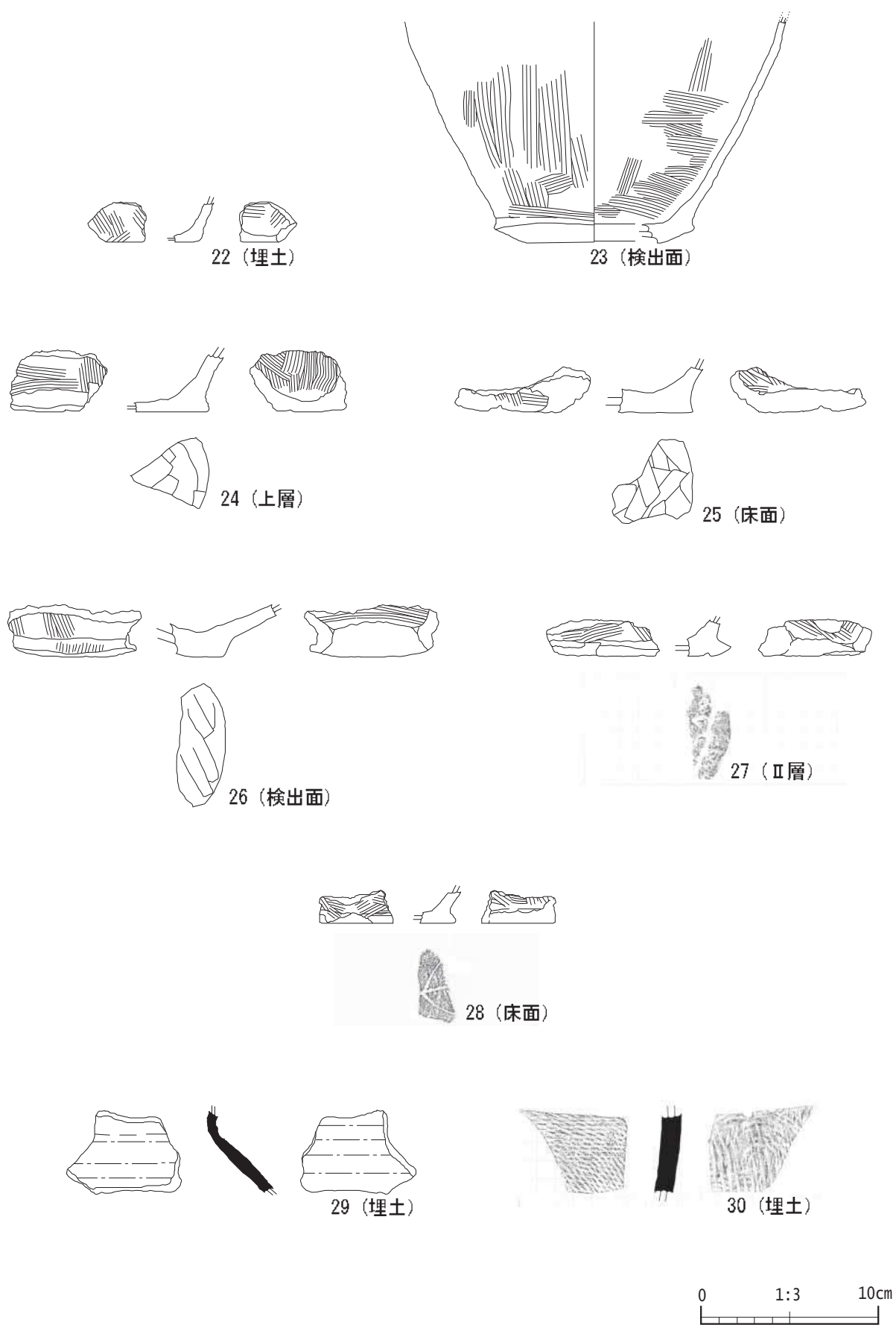
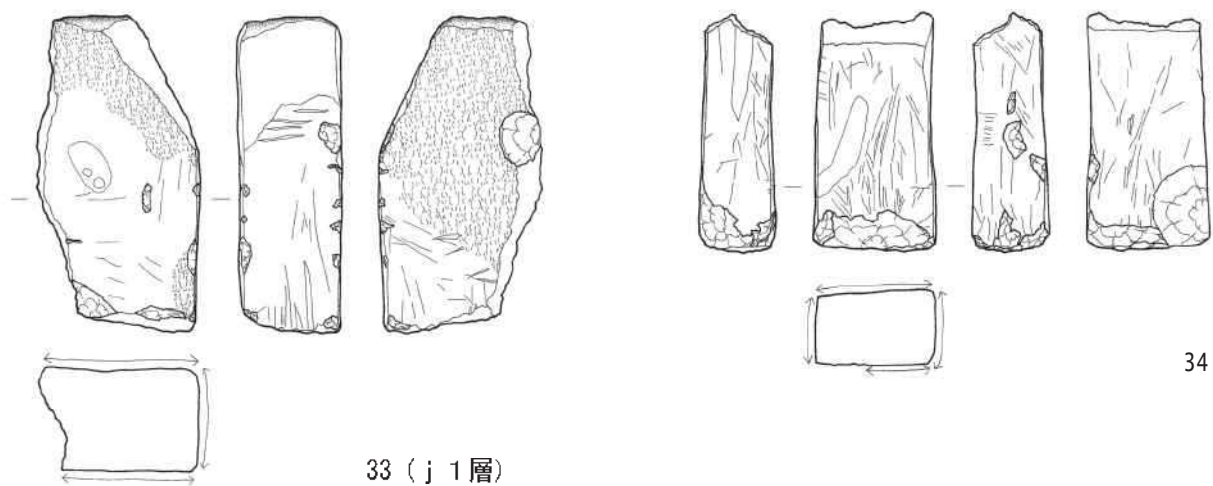
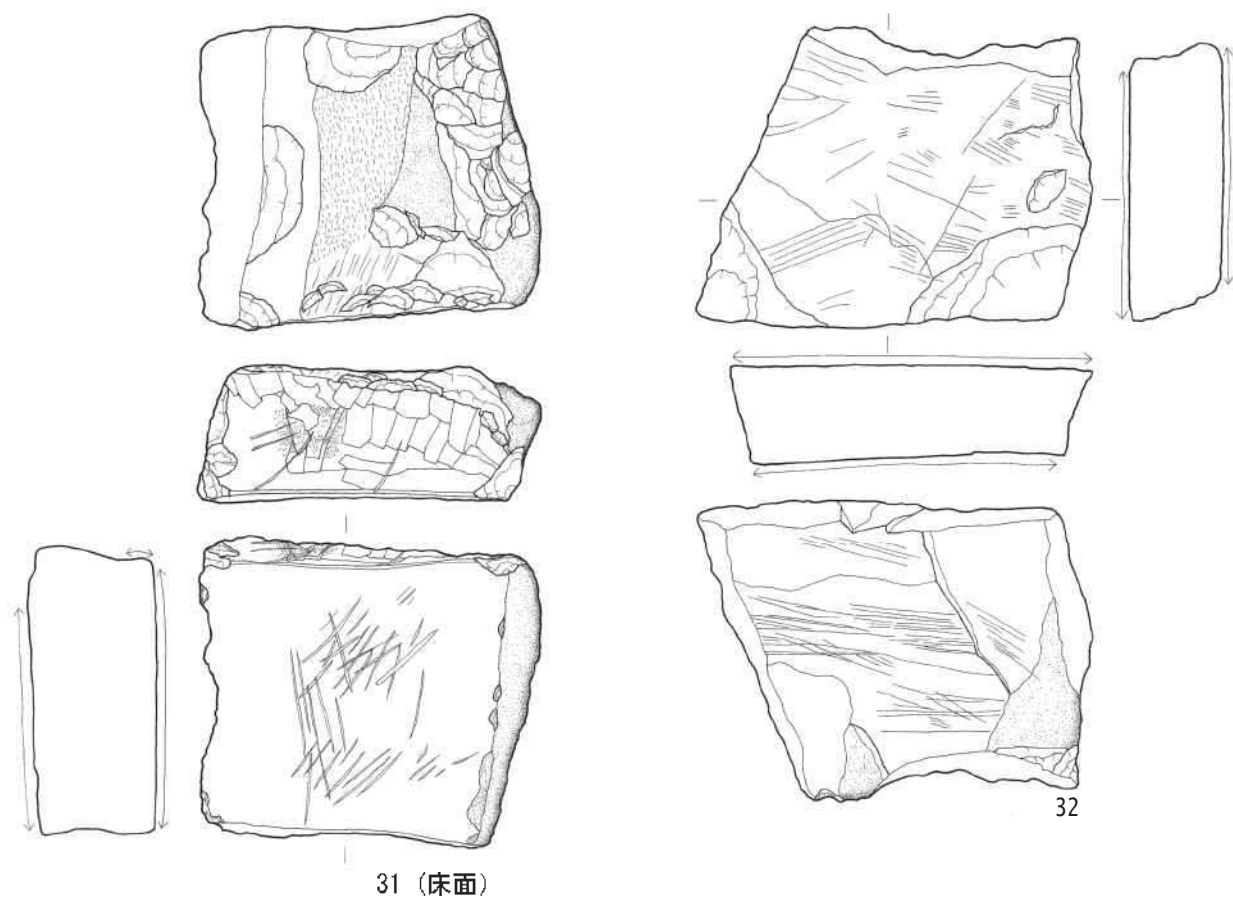


図190 49号竪穴住居跡出土遺物 (3)



0 1:3 10cm

图191 49号竖穴住居跡出土遺物 (4)

50号竪穴住居跡（図192、193）

49号竪穴住居跡の北東に位置する。49号竪穴住居跡を切り、56号土坑跡に切られる。

平面形は隅丸方形である。規模は東西4.3m、南北3.5mを測る。埋土は3層に大別される。カマドは北壁で2基、西壁で1基検出している。周溝、土坑跡などは検出していない。

カマド跡 A（図194）

くり抜き式である。煙道は水平に掘られ、煙出しは垂直に立ち上がる。火床部、袖石の据跡などは確認していない。

カマド跡 B

くり抜き式である。煙道は水平に掘られ、煙出しは垂直に立ち上がる。火床部は確認したが、袖石の据跡は検出していない。

カマド跡 C

くり抜き式である。煙道は水平に掘られ、煙出しは垂直に立ち上がる。火床部は確認したが、袖石の据跡は検出していない。5層から焼けた獣骨が出土している。

出土遺物（図195～197）

1は土師器の坏である。ロクロ成形である。内面は黒色処理され、ミガキを施される。

2～24は土師器の甕である。2～11は口縁部である。2～11は短く、外反する。12はやや長め口縁部で、わずかに外反する。たいぶは、2～5は膨らみ、6～12の膨らみは弱い。13～24は底部である。13～16は張出しをもたず、17～23の張出しは弱い。24は明瞭な張出しをもつ。底面は、ヘラ削り調整されたもの（13、14、16～18、20、21、23）、木葉痕を残すもの（19、22、24）に分かれる。

25は鉄製品である。薄い板状の製品である。刀子か。

26は土製品の羽口である。推計で、外径9.5cm、内径5.0cmを測る。

27、28は砥石である。長方形礫を用いる。27の磨面は条痕を残す。

この他に鉄滓876g出土している。

56号土坑跡（図192、193）

50号竪穴住居跡の東側に位置し、同遺構を切る。平面形は円形、断面はフラスコ形を呈する。規模は上径0.9m、底径1.4m、深さ1.0mを測る。埋土は3層に細別される。遺物は出土していない。

51号竪穴住居跡、3号段状遺構（図198）

調査区西の南急斜面に位置する。竪穴跡の北側を段状の平坦面が東西に延びる（3号段状遺構）。平面形は不整隅丸方形である。規模は、東西5.0m、南北2.0mを測る。埋土は3層に大別される。カマドを北壁に設ける。周溝、土坑跡などは検出していない。3号段状遺構は東側で溝跡を伴う。

カマド跡（図199）

くり抜き式である。煙道は下降気味に掘られ、煙出しは垂直に立ち上がる。N層が焼土層である。袖石の据跡は検出していない。

出土遺物（図200、201）

1はアカヤキ甕の口縁部である。外反する。

2、3は土師器の坏である。ロクロ成形である。内面は黒色処理され、ミガキを施される。

4～16は土師器の甕である。4～10は口縁部である。短く、わずかに外反し。体部は膨らむ。

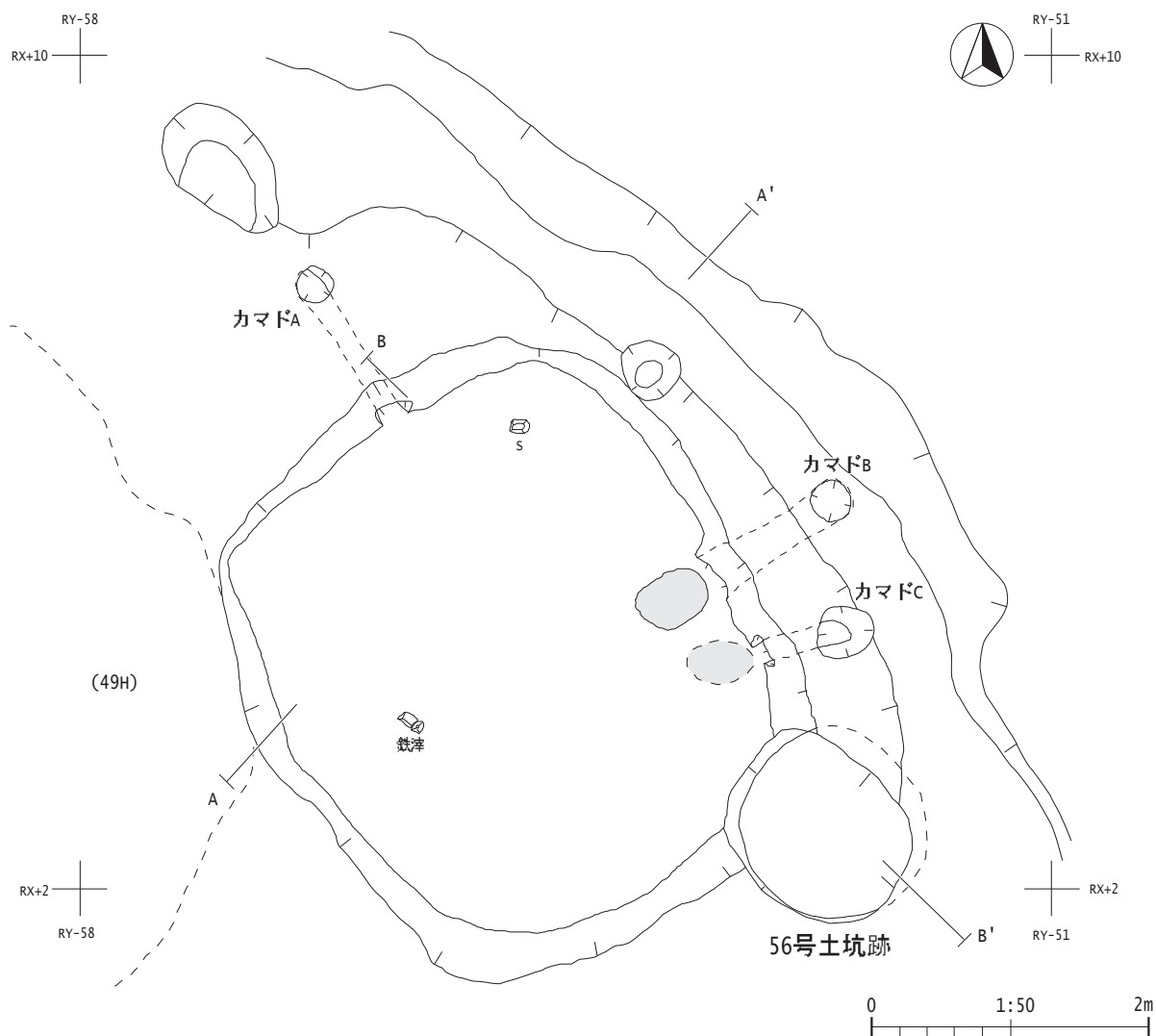


図192 50号竪穴住居跡、56号土坑跡 平面

11～16は底部である。11は張出しをもたず、12～16は明瞭な張出しをもつ。底面は、ヘラ削り調整されたもの（11、13、15、16）と木葉痕を残すもの（12～14）に分かれる。

17～19は砥石である。17は角礫を用い、磨面中央にV字状の条痕が入る。18の角礫は、1面の磨面をもつ。19の扁平三角礫は3面の磨面をもつ。この他に鉄滓115gが出土している。

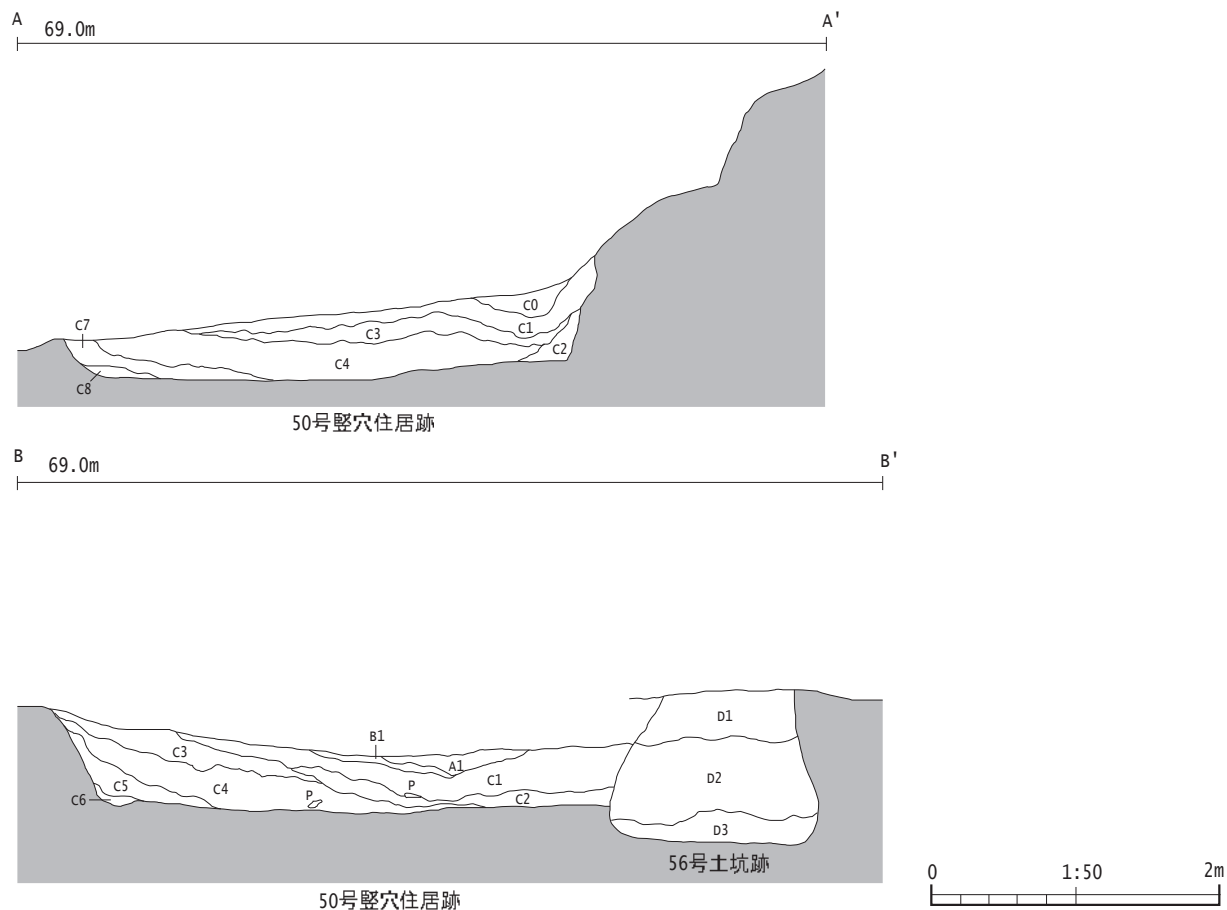


図193 50号竪穴住居跡、56号土坑跡 断面

50号竪穴住居跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ・構造・混入物
50号竪穴住居跡			
A	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 3%	固 締まりあり
B	10YR3/4 暗褐色 壤土 木炭	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 粒状 2%	木炭塊、粉を混入。軟質締まり弱
C0	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 壤質砂土 ブロック 15% 粒状	木炭粉を含む
C1	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 7%	固い 木炭粉を含む 1%
		10YR7/4 にぶい黄褐色 壤土 粒状 1%	
C2	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 2%	木炭粉を含む C2 Ⅲ上位に土師器カマド口縁部入り
		10YR4/6 褐色 壤土 粒状 2%	
C3	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/4 にぶい黄褐色 壤土 粒状 7%	
		10YR7/6 明黄褐色 砂土 塊 10% 入り	固い 締まりあり
C4	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 3%	固い 締まりあり 木炭粉を含む
C5	10YR7/6 明黄褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 砂土 砂壤土 粒状 5%	
		10YR3/3 暗褐色 壤土 粉 7%	軟質
C6	10YR4/6 褐色 壤土		カマド
C7	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土 粒状 3%	
C8	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 壤土 粒状 2%	
		10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 1%	固い 締まりあり
カマドA			
k1	10YR6/6 明黄褐色 壤土	10YR5/6 黄褐色 壤土 粉 粒状 3%	
k2	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 壤土 粒状 5%	
k3	10YR7/6 明黄褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 砂壤土 3% (7/6 明黄褐色 砂壤土の塊状大ブロックの混入)	
k4	10YR6/8 明黄褐色 砂壤土	10YR4/4 褐色 壤土 粒状 3%	
		10YR6/6 明黄褐色 壤土 粒状 1%	
k5	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR6/6 明黄褐色 壤土 大ベルト状 30%	
k6	10YR2/3 黒褐色 壤土	10YR5/6 黄褐色 砂質壤土 1～3% 粒状混	
k7	10YR6/6 明黄褐色 壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 1% (崩落土)	
カマドB			
k1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR2/3 黒褐色 壤土 粒状 7%	
		10YR6/6 明黄褐色 砂壤土 粒状 10% 木炭入り 7%	
k2	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 3% 木炭 1%	k1 以外はかなり軟質である
k3	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 3%	
k4	10YR6/6 明黄褐色 壤質砂土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 7%	
k5	10YR7/3 にぶい黄褐色 壤土	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土 粒状 2%	焼土に炭屑を含む
カマドC			
k1	10YR6/6 明黄褐色 壤質砂土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 5%	
k2	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 壤土 塊状 2%	
k3	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 3%	土師器
k4	10YR6/6 明黄褐色 壤質砂土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 7%	

56号土坑跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ・構造・混入物
56号土坑跡			
D1	10YR5/4 にぶい黄褐色 壤質砂土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 40%	軟質 締まり弱
D2	10YR5/4 にぶい黄褐色 壤質砂土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 30%	軟質 締まり弱
D3	10YR5/4 にぶい黄褐色 壤質砂土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 30%	軟質 締まり弱

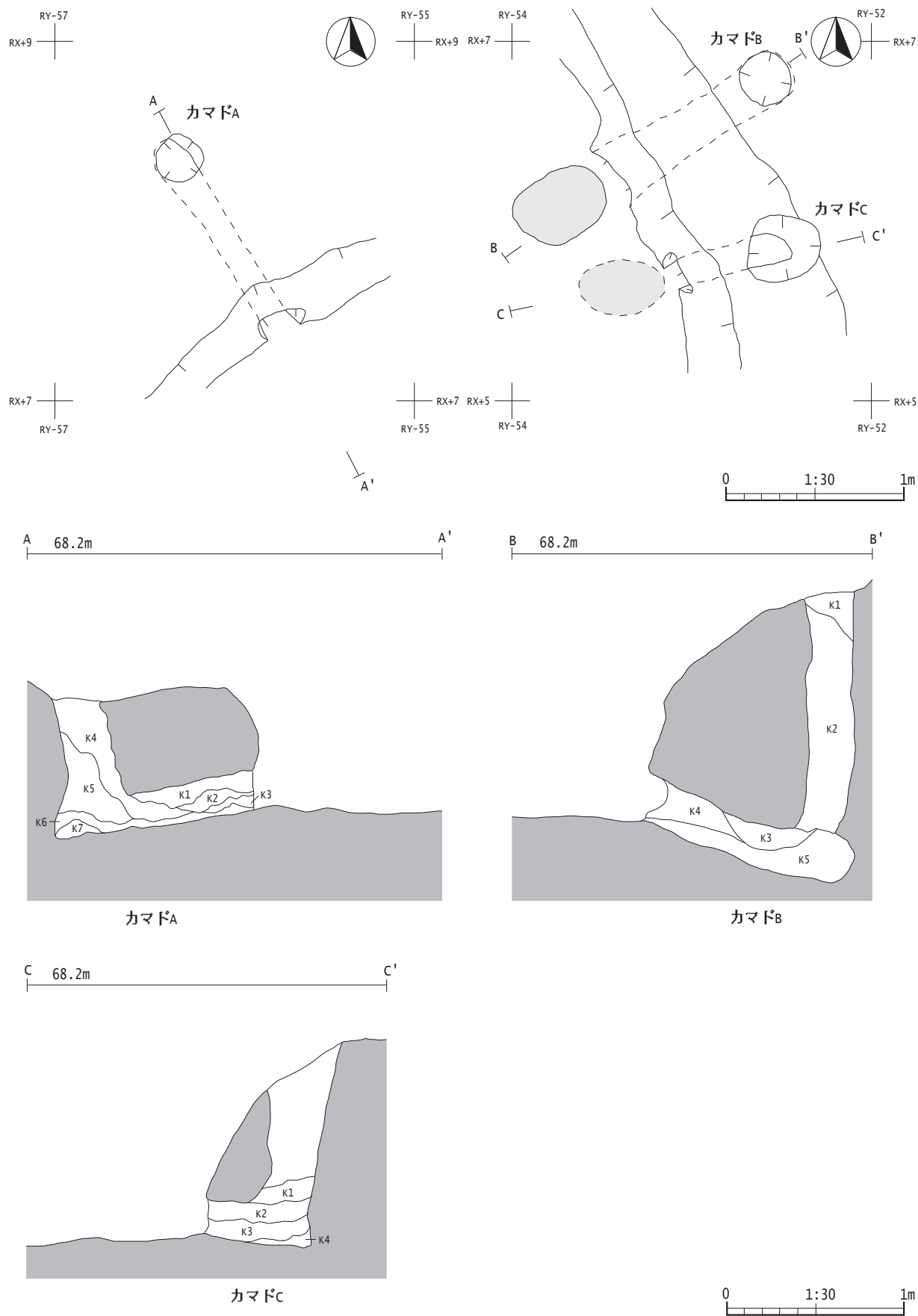


図194 50号竪穴住居跡カマドA、B、C 平断面

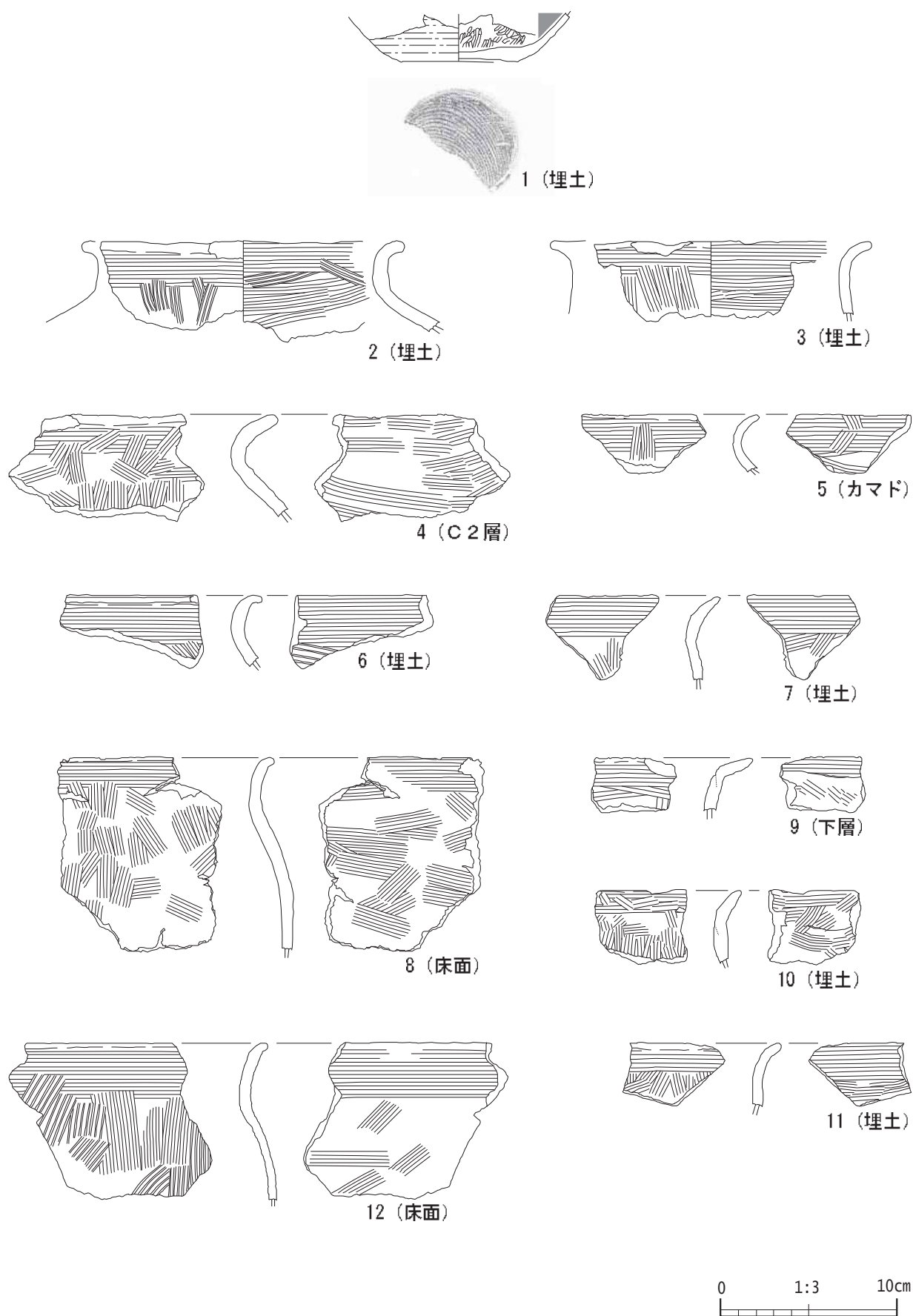


図195 50号竪穴住居跡出土遺物 (1)

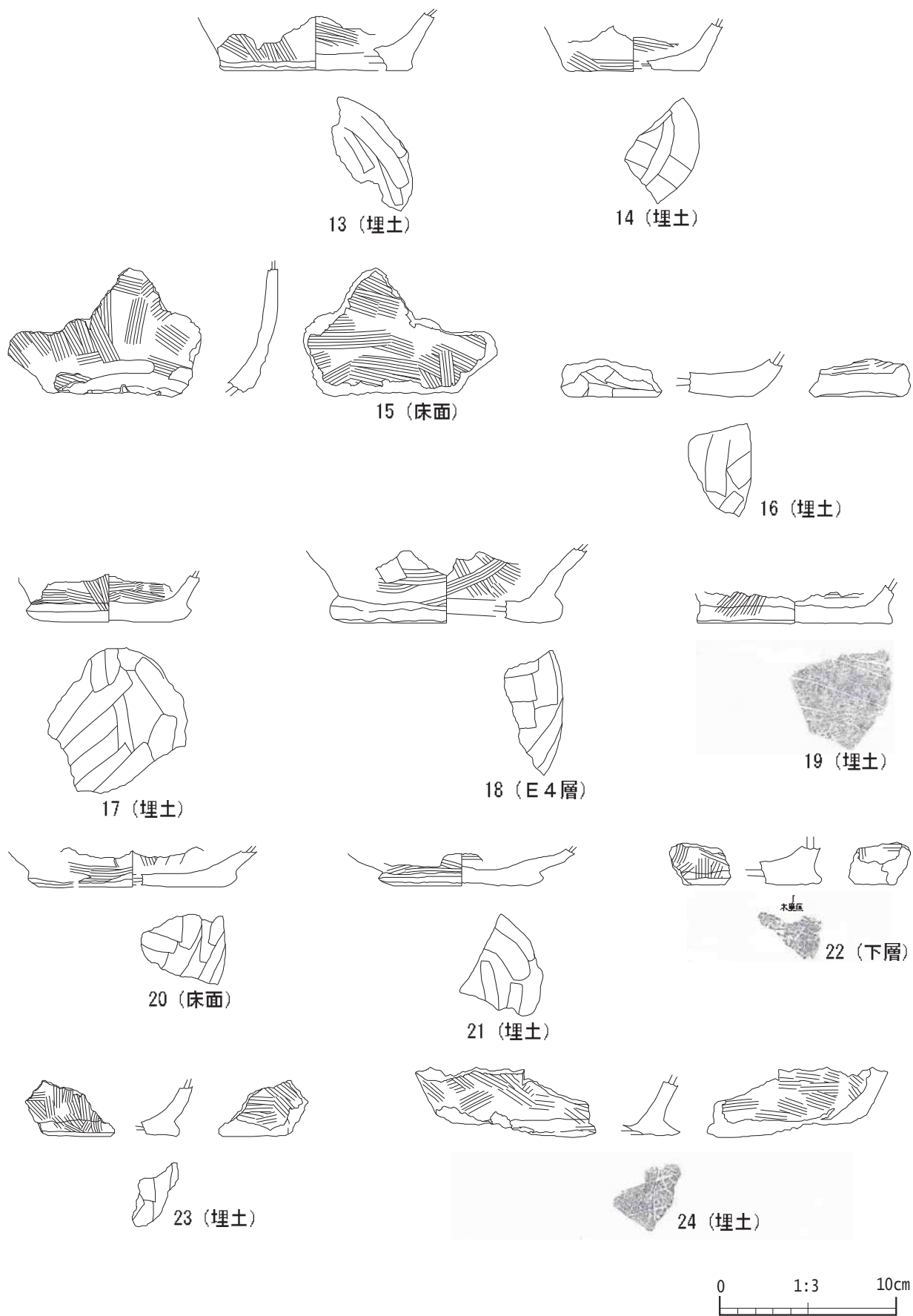


图196 50号竖穴住居跡出土遺物 (2)

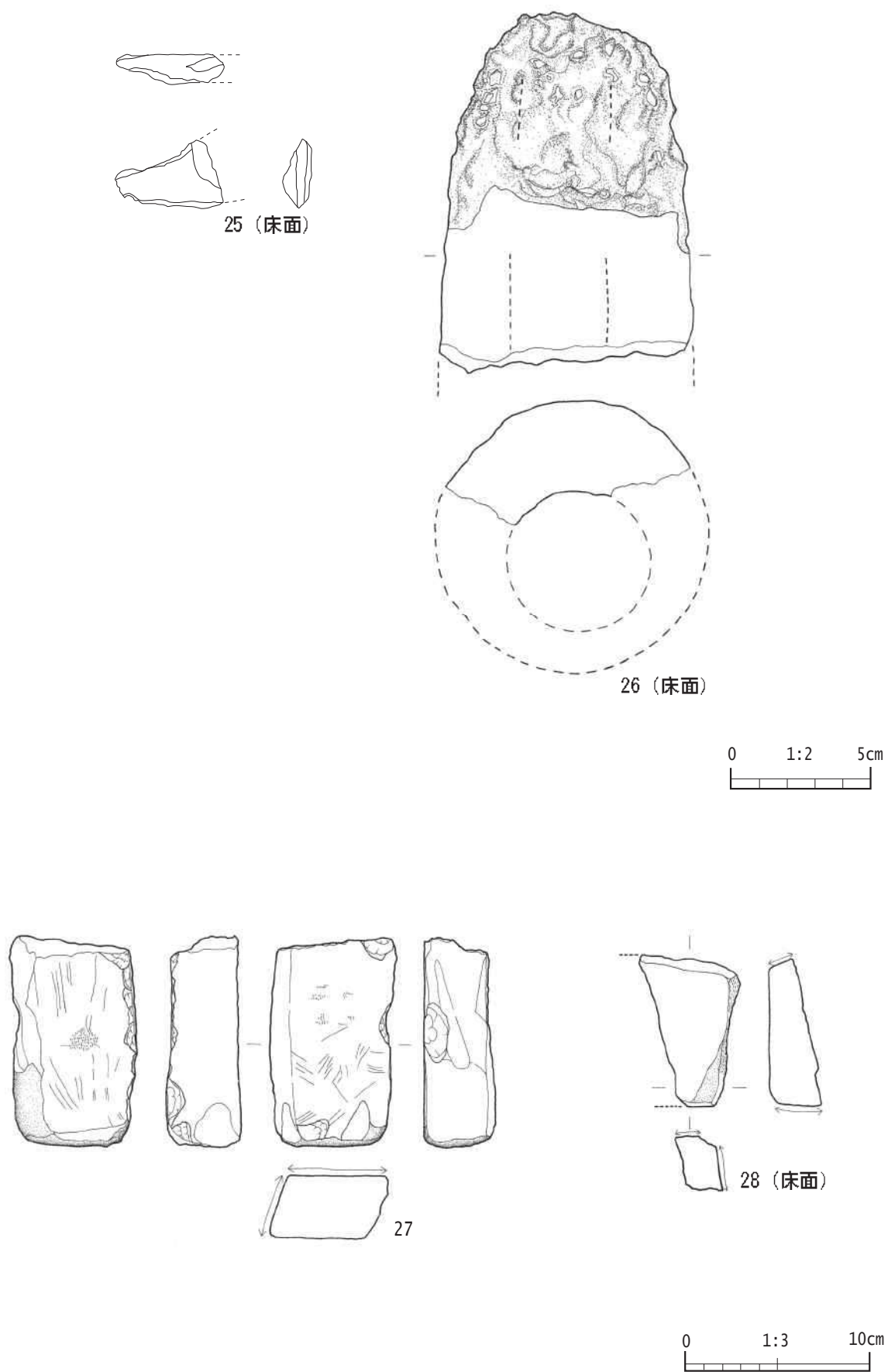


图197 50号竖穴住居跡出土遺物 (3)

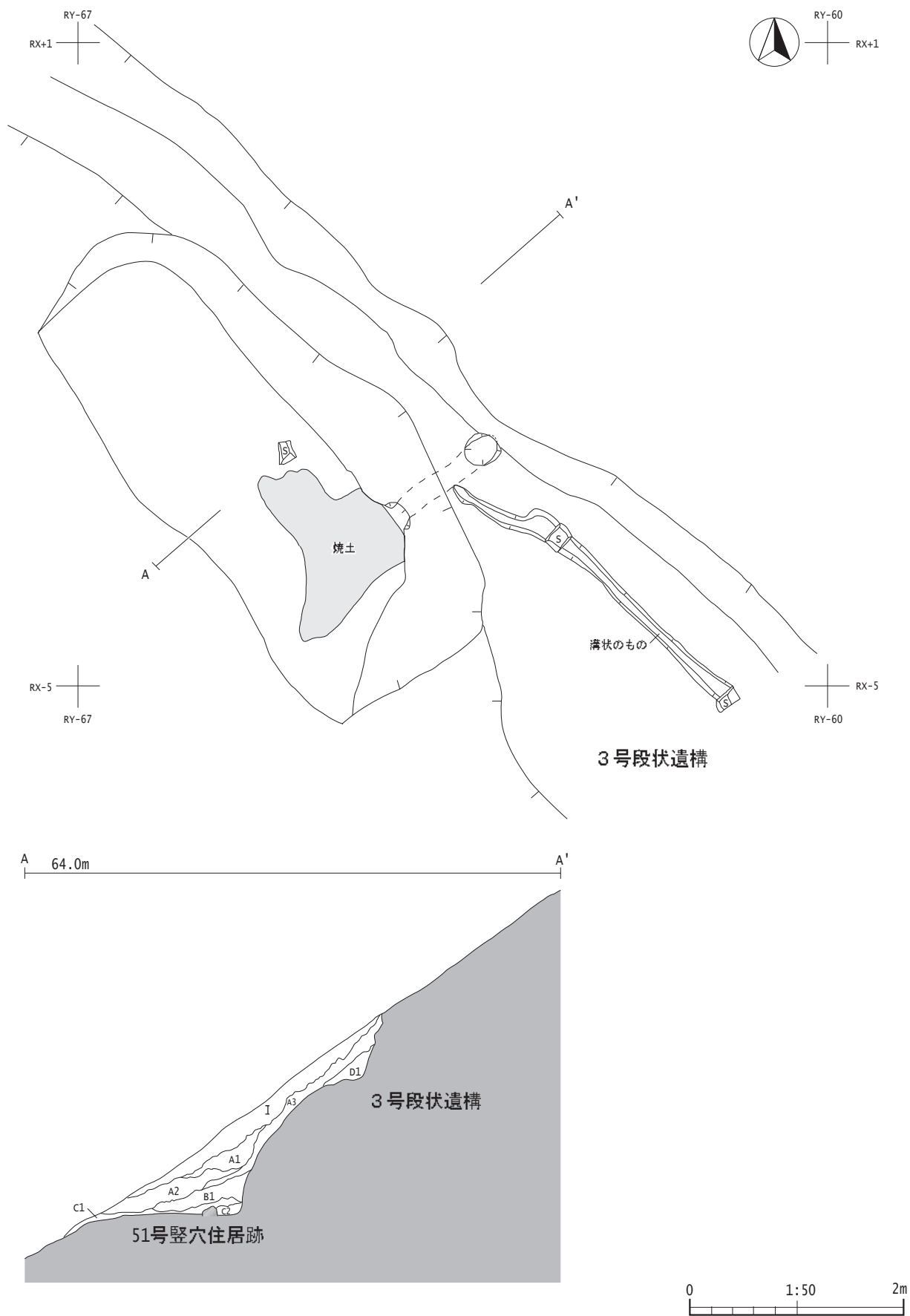


図198 51号竪穴住居跡、3号段状遺構 平断面

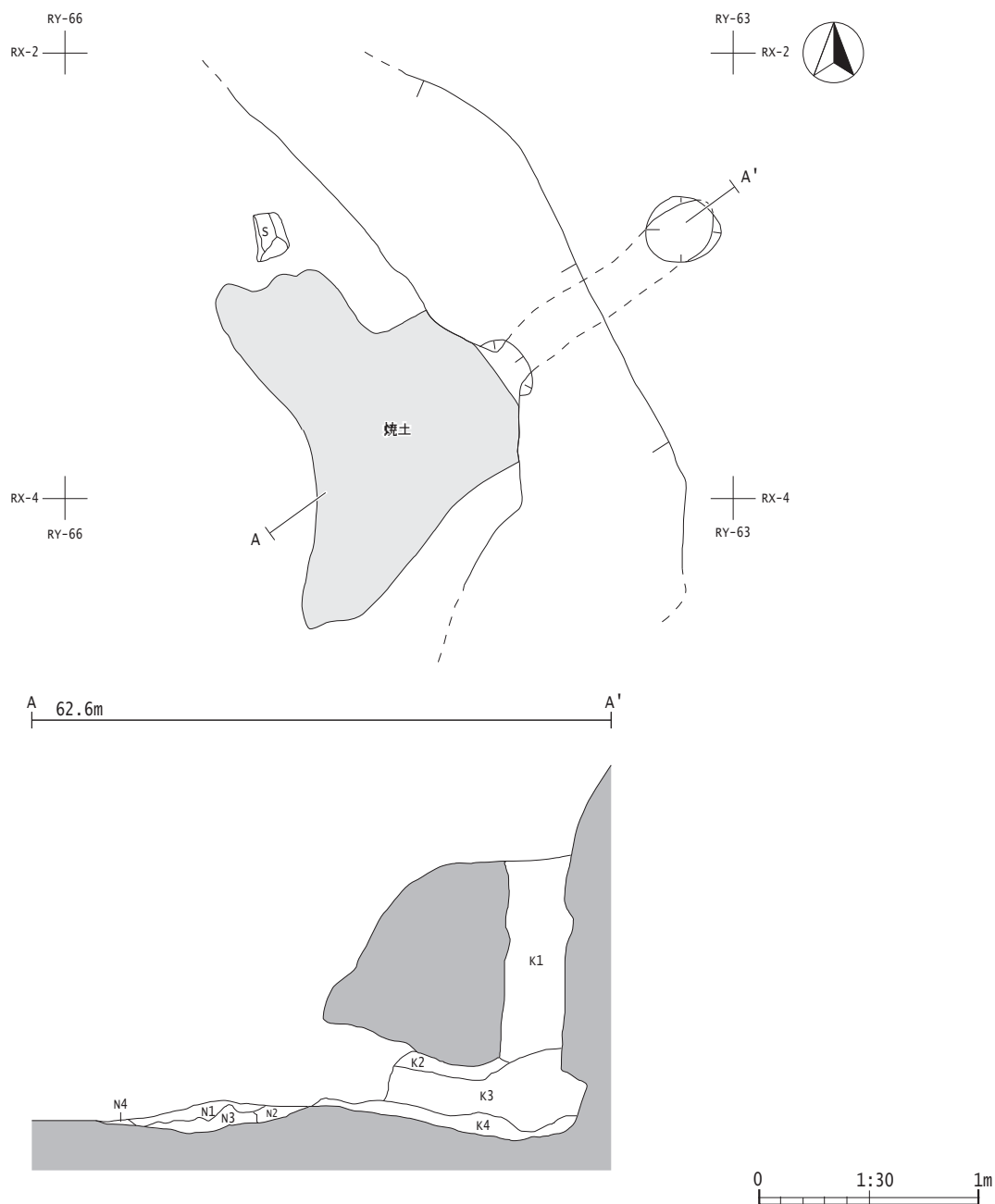
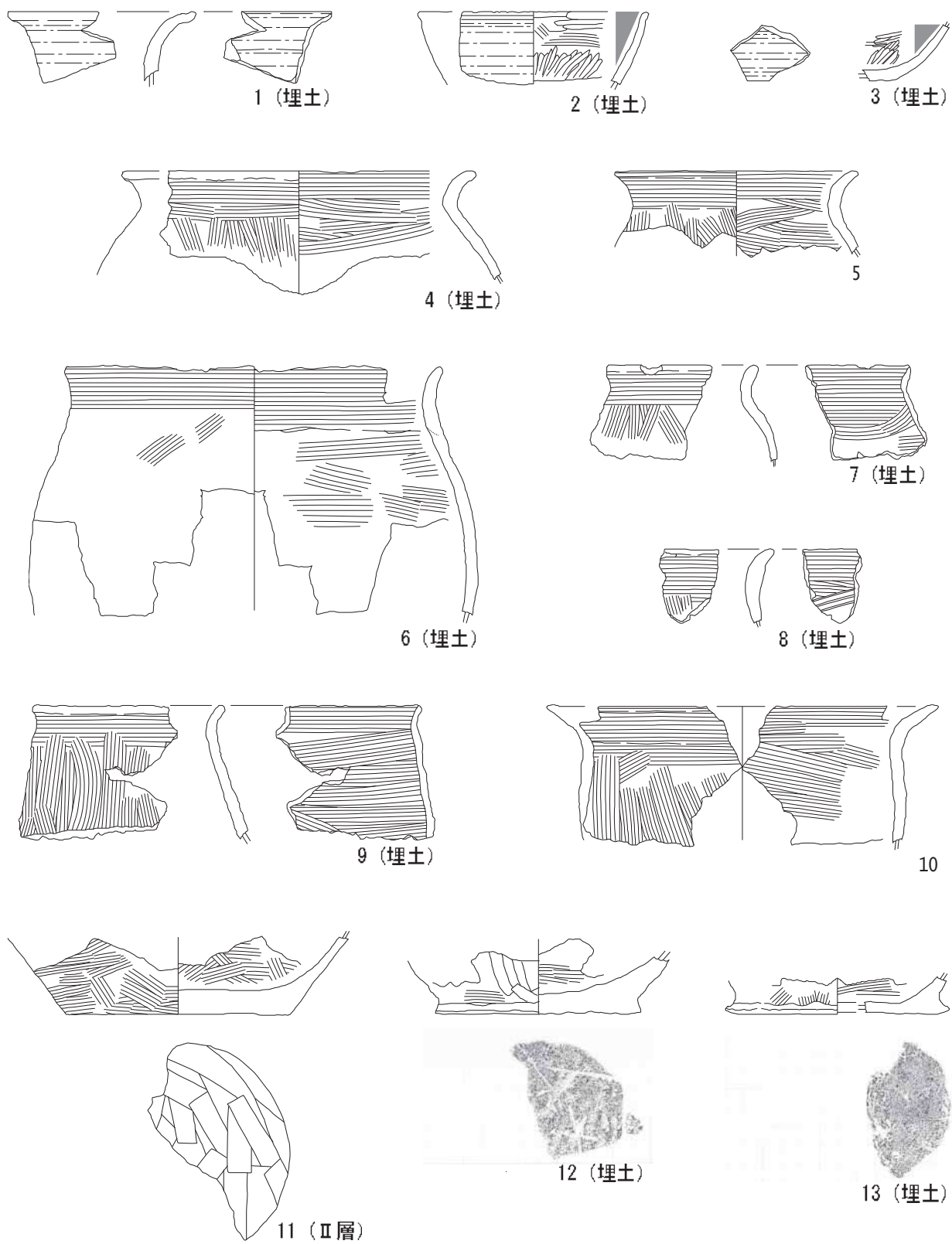


図199 51号竪穴住居跡カマド 平断面

51号竪穴住居跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	調査・構造・混入物
51号竪穴住居跡	A1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 7% 粒状	木炭含む
	A2	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR4/6 褐色 砂壤土 20% 粒状	
	A3	10YR4/6 褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 壤土 粒状 20%	
	B1	10YR7/6 明黄褐色 壤質砂土	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土 粒状 1%	真砂土のほぼ純層
	C1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 粒状 1%	
	C2	10YR6/6 明黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 壤質砂土 3%	
	D1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR6/4 に近い黄褐色 壤質砂土 層状 2%	
51号竪穴住居跡カマド	k1	10YR5/6 黄褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 3%	k層は全てかなり軟質である
	k2	10YR4/4 褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 5%	
	k3	10YR6/6 明黄褐色 壤質砂土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 7%	
	k4	10YR3/4 暗褐色 砂壤土	10YR5/6 黄褐色 粒状 3%	
	N1	10YR4/6 褐色 シルト質壤土	5YR4/6 焼土 1%	
	N2	10YR3/4 暗褐色 砂壤土	5YR4/6 焼土 粒 2%	
	N3	10YR4/4 褐色 壤土	10YR4/6 褐色 焼土 粒	
	N4	10YR3/3 暗褐色 砂壤土	10YR7/6 明黄褐色 砂土 粒状 1%	



0 1:3 10cm

图200 51号竖穴住居跡出土遺物 (1)

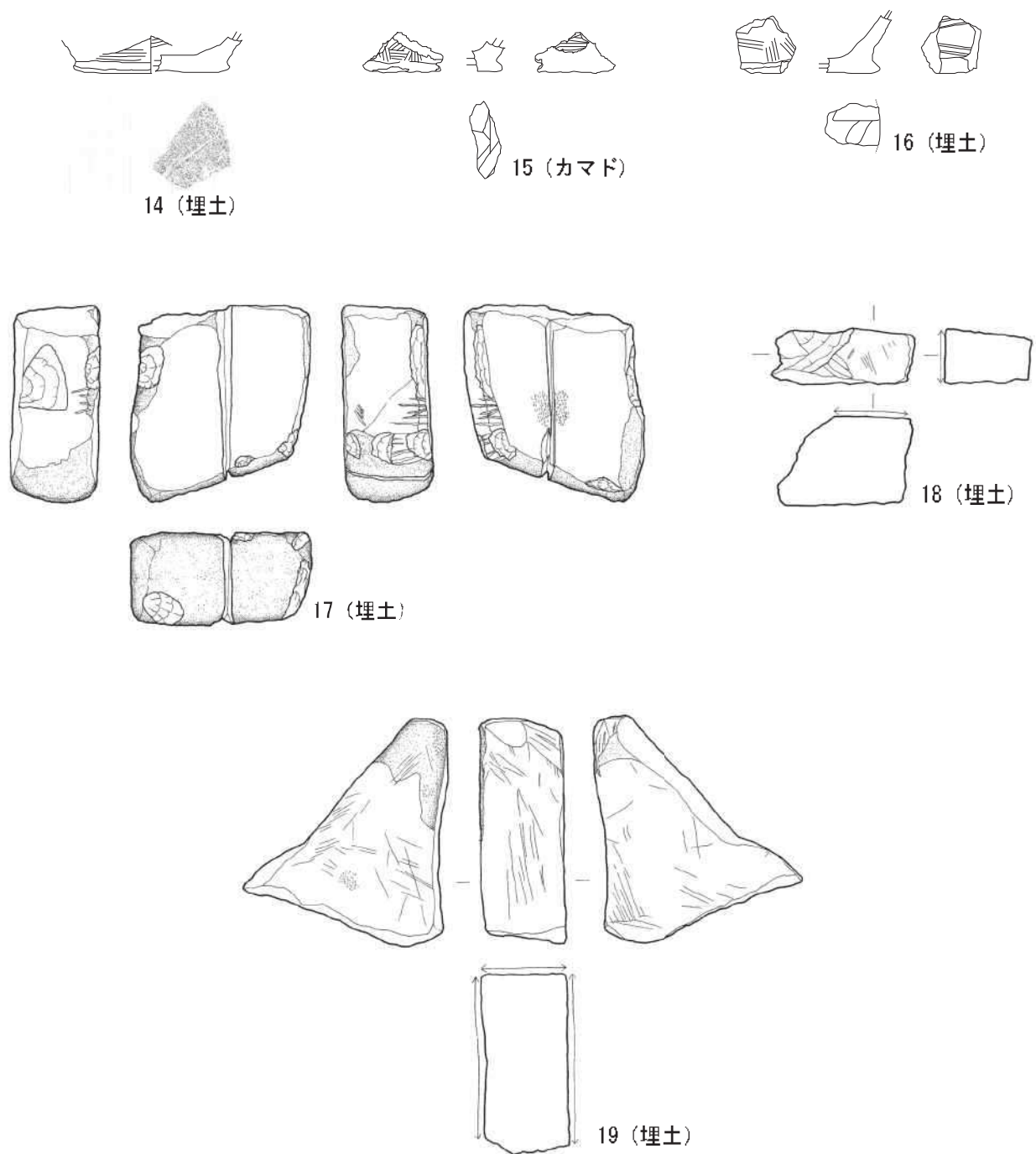


図201 51号竪穴住居跡出土遺物 (2)

d. 遺構外炉跡（図202）

南斜面では竪穴住居跡に伴う炉跡が10基出土している。これらの炉跡とは別に、遺構外から炉跡が9基出土している（1号炉跡についてはすでに記した。121頁）。いずれも竪穴住居跡の埋土中から出土している。

2号炉跡（図203、204）

27穴住居跡の西側に位置し、同遺構を切る。北側に段状遺構を伴う炉跡である。平面形は円形である。北側を削平しているが、炉床はやや傾斜する。規模は径約1.0mである。焼土層（k 1）は固く焼き締まる。南側に炭の広がりを伴う。

出土遺物（図205、206）

1、2は土師器の坏である。ロクロ成形された口縁部である。内面は黒黒色処理され、ヘラミガキ調整される。

3～13は土師器の甕である。3～7は口縁部である。いずれも短く、わずかに外反する。体部の膨らみは弱い。8～13は底部である。いずれも張出しは弱い。底面は、8、13はヘラ削り調整を施され、その他は木葉痕を残す。

14は須恵器である。体部片で、両面にタタキメを残す。

15は土製品の羽口である。推計で、外径9.5cm、内径4.5cmを測る。

3号炉跡（図207）

調査区東寄りの南斜面に位置する。28号竪穴住居跡と重複し、同遺構を切る。浅い土坑状で、平面形は不整円形である。規模は、径1.0m、深さ15cmを測る。埋土は2層に分かれる。k 1層、k 2層とも炭を多量に含む軟質土である。床面は焼き締まってはいない。東側の礫は鉄床石と思われる。遺物は、図化できなかったが、検出面で土師器の体部片、羽口片などが出土している。

4号炉跡（図208）

調査区中央の南斜面に位置する。33号竪穴住居跡と重複し、同遺構を切る。焼土検出面の平面形は、不整楕円形である。規模は、1.1m×0.7mを測る。炉跡の平面形は円形である。規模は、径30cm、深さ9cmを測る。k 1、k 2層が焼土層である。土器などの遺物は出土していない。

5号、6号、7号、8号炉跡は43号竪穴住居跡の埋土中に検出した遺構である。（図209）

5号炉跡（図210）

調査区中央、南斜面に位置する。43号竪穴住居跡を切る。平面形は楕円形である。還元焼成面を炭の広がりが囲む。規模は、80cm×60cm、焼成面までの深さは18cmを測る。k 3層が炭層、k 4層が還元焼成面である。

出土遺物（図212－1）

1は土師器甕の口縁部である。短く、強く外反する。

6号炉跡（図210）

5号炉跡の南西に位置する。43号竪穴住居跡を切る。平面形は隅丸方形である。規模は、95cm×

85cm、還元焼成面までの深さは15cmを測る。k 3層が炭層、k 4層が還元焼成面である。出土遺物は、土師器甕の体部片、鉄滓10gである。

出土遺物（図212－2～5）

2～4は土師器の甕である。2、3は口縁部である。いずれも短く、外反する。体部は膨らむ。4は底部である。張出しは弱く、底面にへう削り調整痕を残す。

5は土製品である。紡錘形で、穿孔される。

7号炉跡（図211）

6号炉跡の西に位置する。平面形は円形である。規模は、径40cm、深さ4mを測る。k 1層は、固く焼き締まった焼土層である。遺物は出土していない。

8号炉跡（図211）

6号炉跡の南西に位置する。遺構は北側半分の検出である。平面形は楕円形と思われる。規模は東西70cm、深さ10cmを測る。k 1層は焼土混じりの固い炭層である。

出土遺物（図212－6～12）

炉跡の周辺の検出面から出土した遺物である。

6は土師器甕の口縁部である。短く、外反する。体部は膨らむ。

7～9は須恵器である。7は甕の口縁部である。8は高台の付いた底部である。削出し高台である。9は体部である。内外面をへう削り調整を施される。

10～12は鉄製品である。10、11は刀子である。12は環状の製品である。

9号炉跡（図213）

調査区中央の南斜面に位置する。45号竪穴住居跡の北東隅に位置し、同遺構を切る。平面形は不整形円形である。規模は、70cm×60cm、焼成面までの深さは10cmを測る。遺物はk 2層から鍛造剥片が出土している。

e. 遺構外出土遺物

遺物は、表土（I層）から出土したものと、検出面から出土したものに分けた。

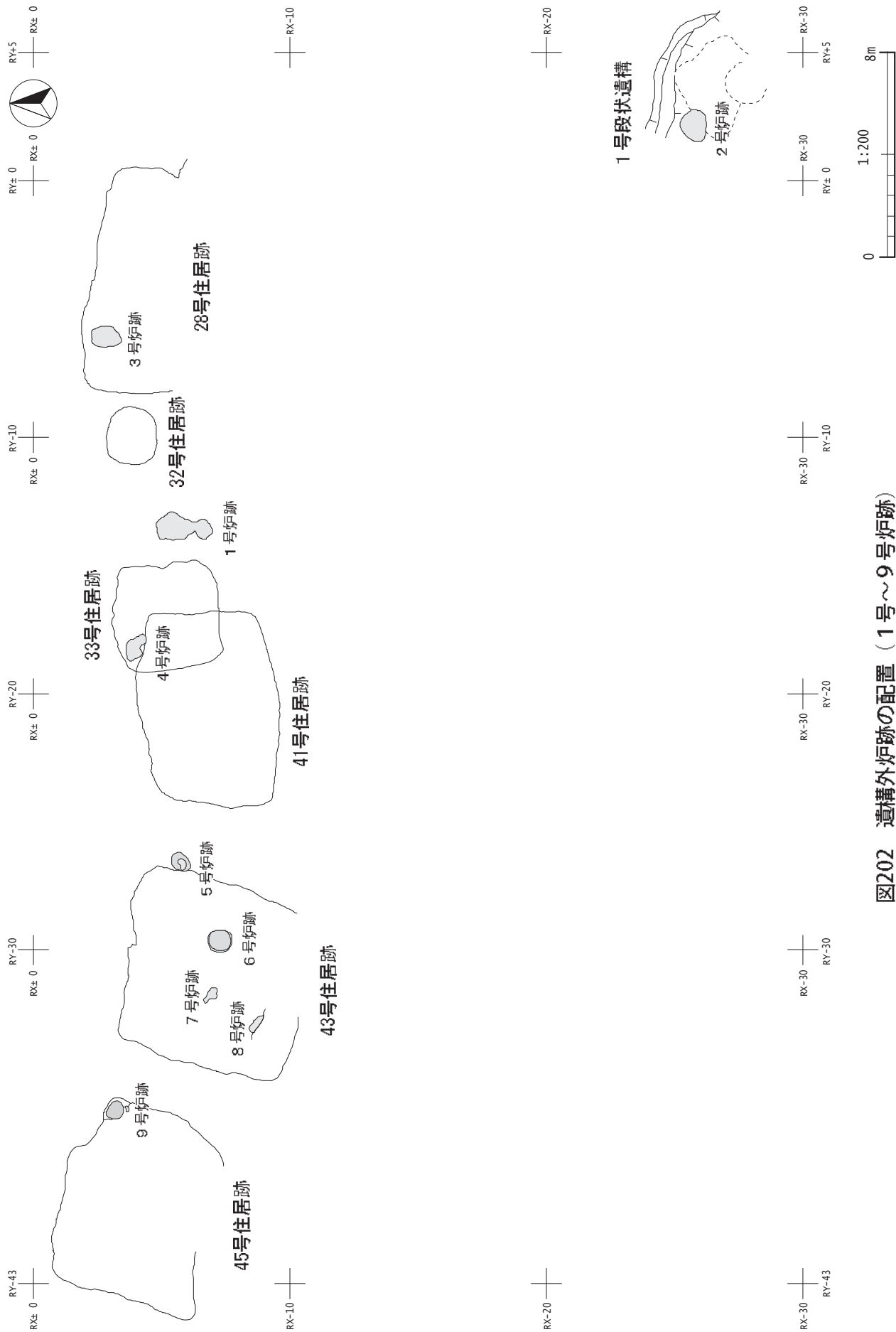


図202 遺構外炉跡の配置 (1号~9号炉跡)

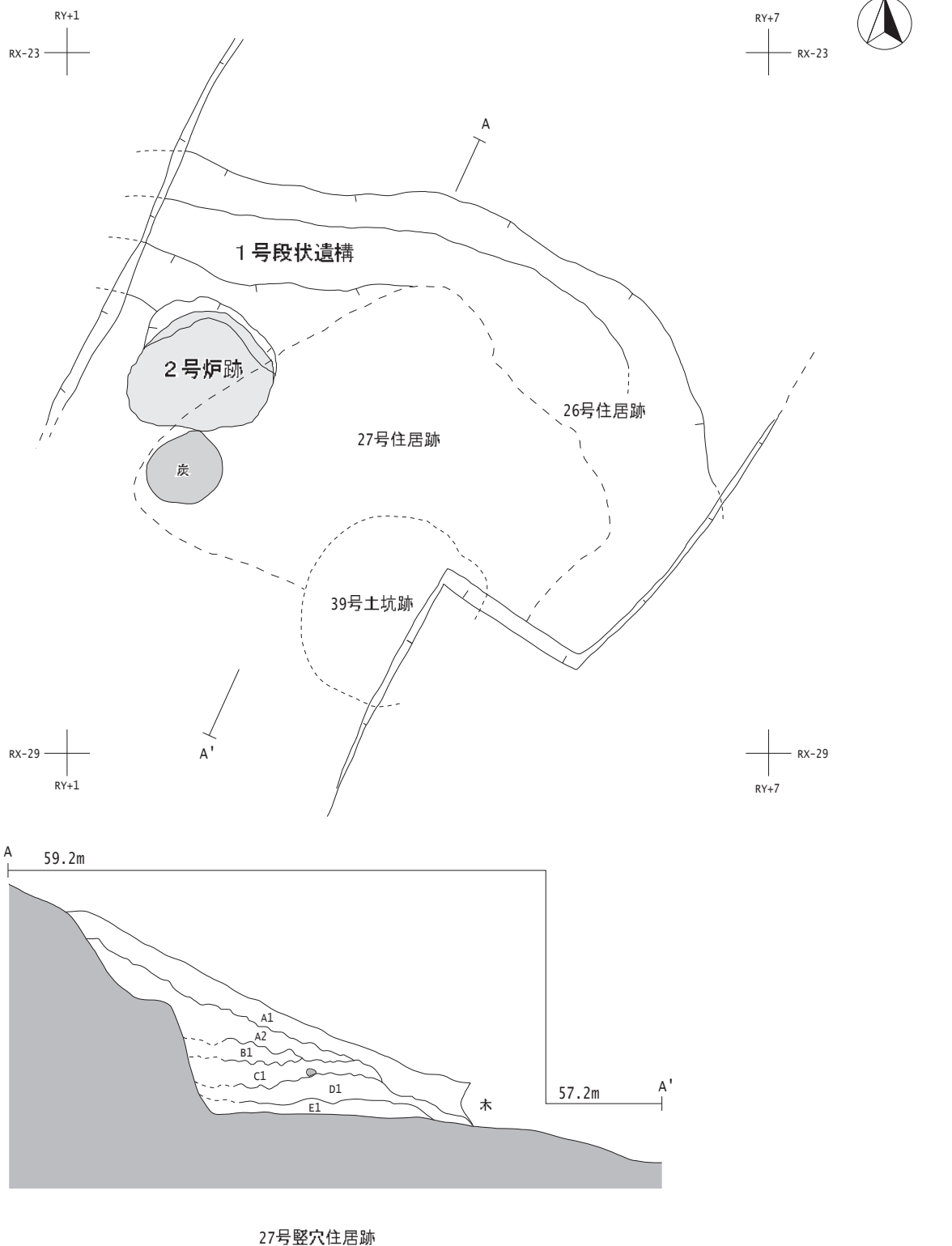


図203 2号炉跡、1号段状遺構 平断面

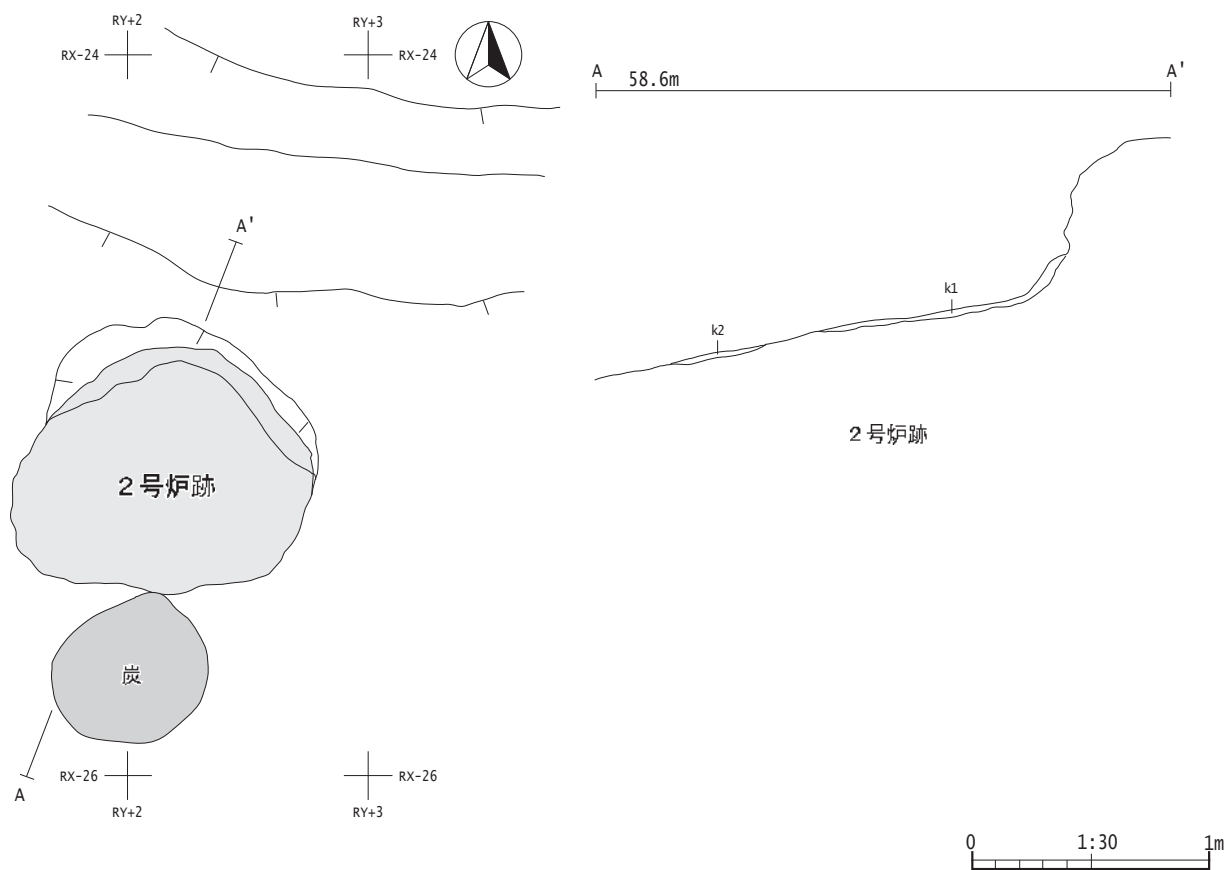


図204 2号炉跡、炭の範囲 平断面

2号炉跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
2号炉跡	k1	2.5YR4/8 赤褐色土		固く焼きしまっている
	k2	10YR2/3 黒褐色土	木炭粉	

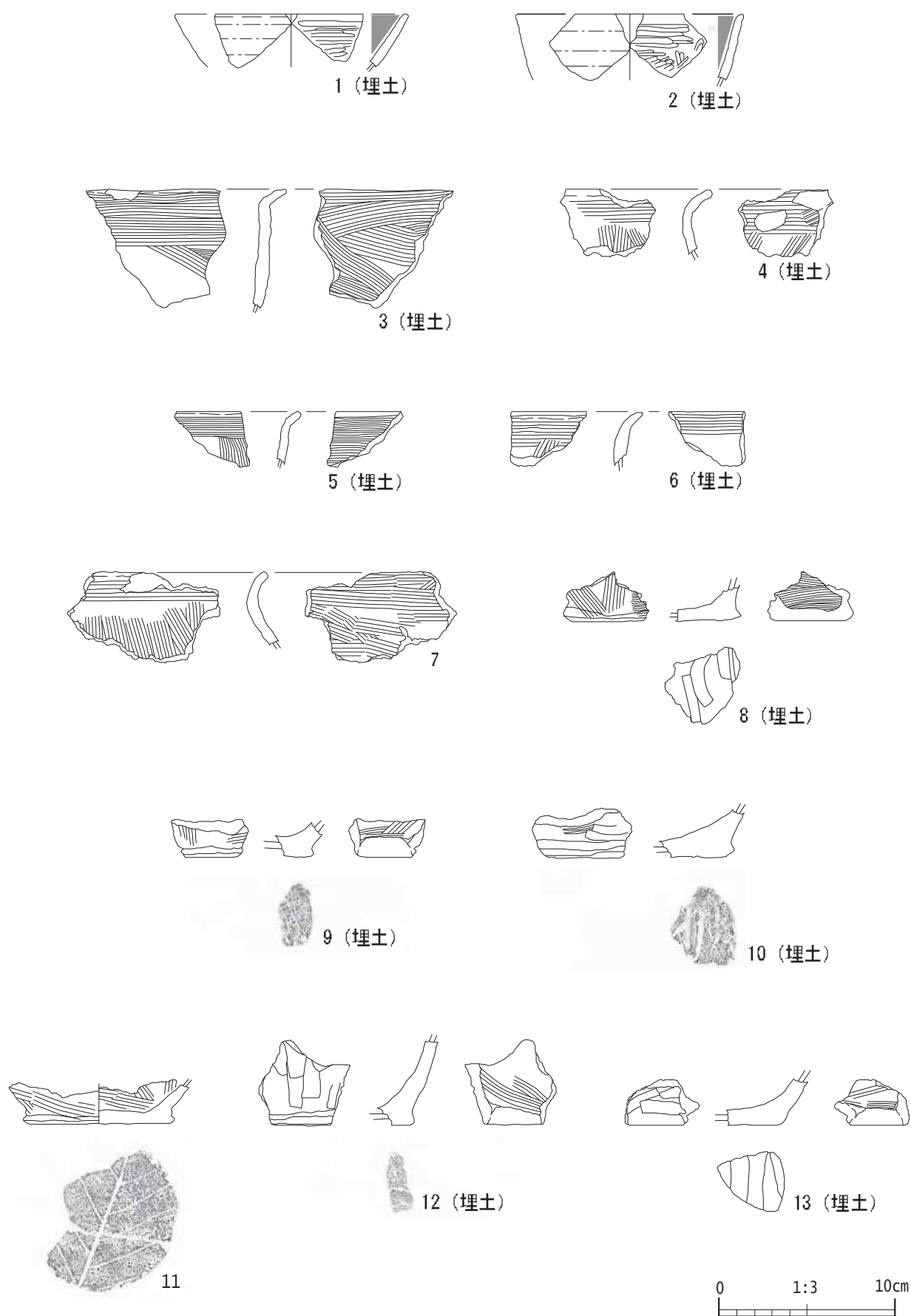


图205 2号炉迹、1号段状遺構出土遺物 (1)

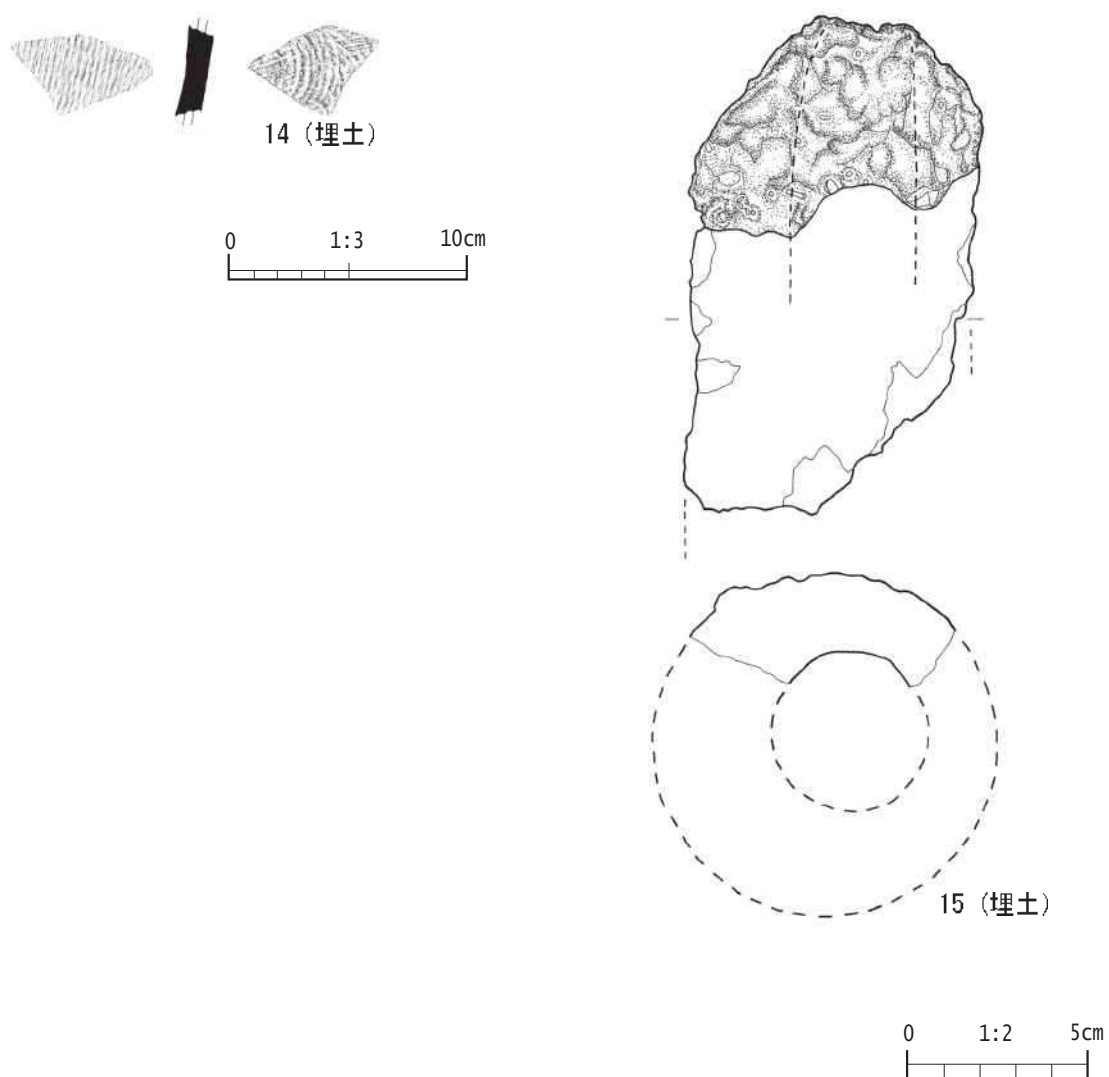
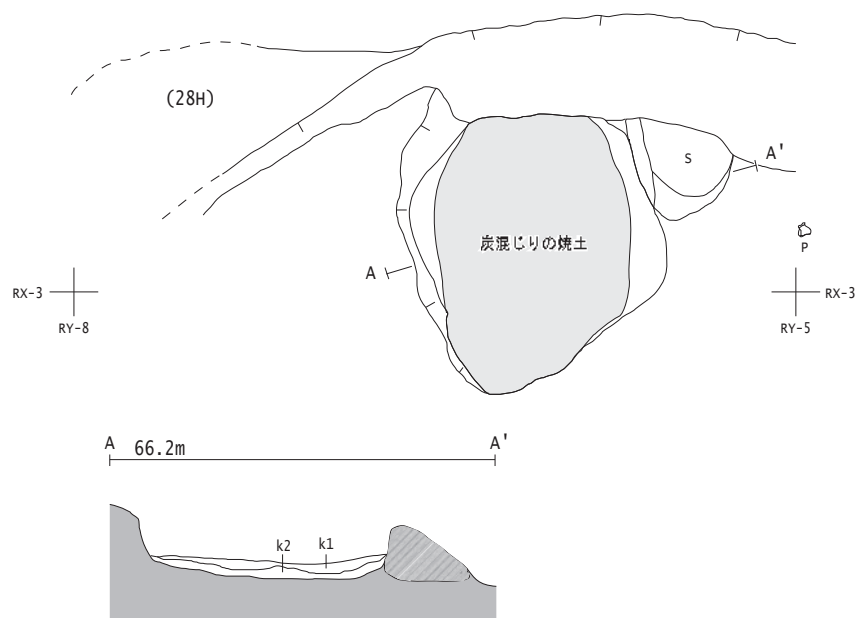
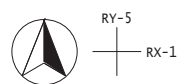


图206 2号炉迹、1号段状遺構出土遺物 (2)



3号炉跡

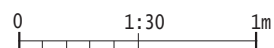


図207 3号炉跡 平断面

3号炉跡 土層注記表

層名		基土	流入土	同さ・構造・流入物
3号炉跡	k1	10YR4/4 褐 砂壤土	7.5YR5/6 明褐 砂壤土 15%	炭、礫、焼炭(多)
			10YR2/3 黒褐 砂壤土 焼 3%	
	k2	10YR2/1 黒 砂壤土	10YR2/2 黒褐 砂壤土 焼 10%	炭、礫、焼炭(多)炭■
			10YR6/4 に近い黄褐色 砂壤土 焼 3%	

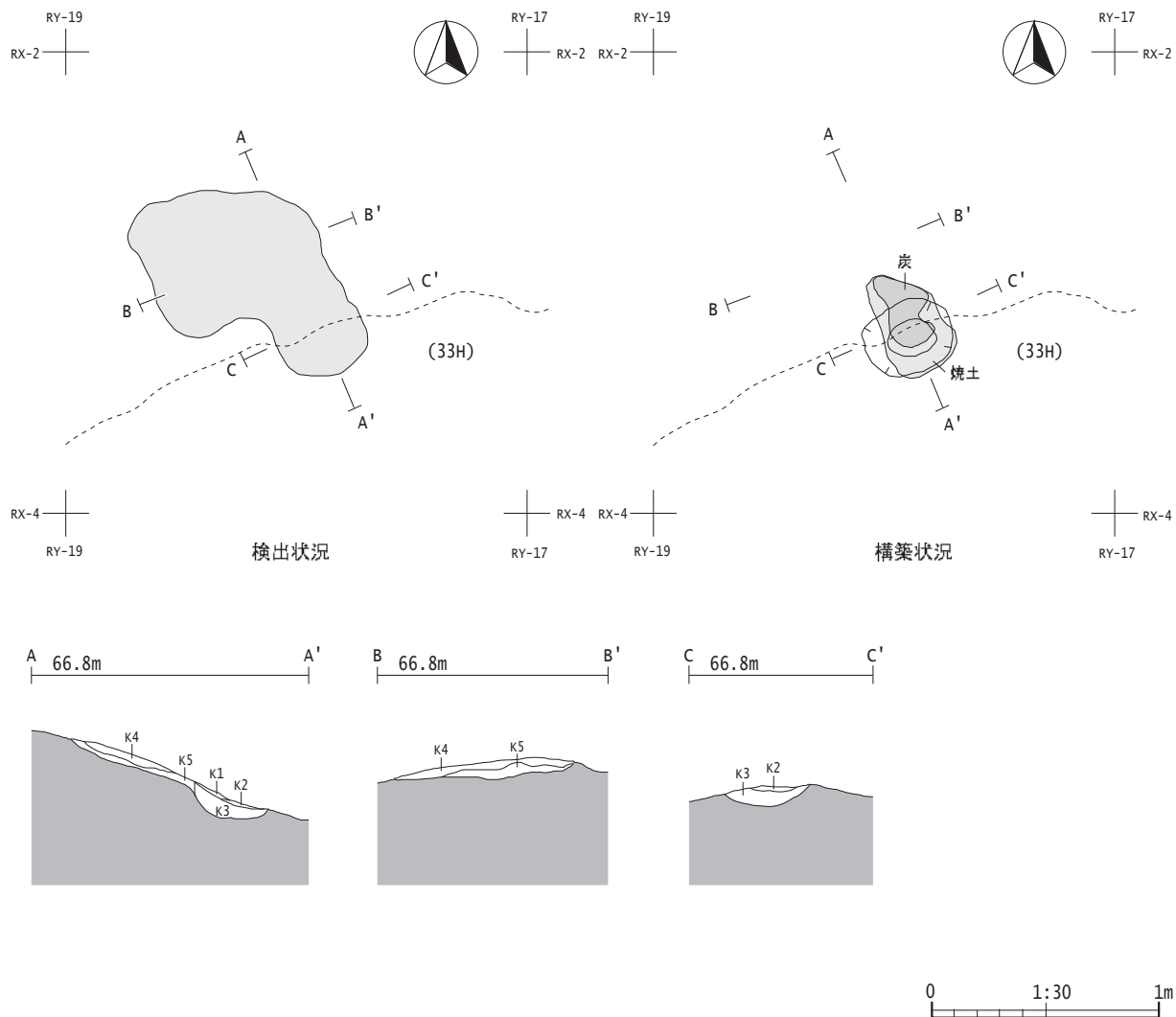


図208 4号炉跡 平断面

4号炉跡 土層注記表

層名		基本土	流入土	固さ・構造・流入物
4号炉跡	k1	7.5YR3/2 黒褐色砂壤土	10YR2/3 黒褐色砂壤土 塊20%	中～軟、中、塊炭(多)
	k2	10YR5/4 灰黄色黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 塊15%	中、中、塊炭(少)
	k3	5YR4/6 砂壤土	5YR4/4 砂壤土 塊1%	中～固、中、塊炭塊と真砂土(少)
			7.5YR4/6 褐色砂壤土 20%	
	k4	10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 塊15%	中、中、塊炭と真砂土が(多)
	k5	10YR4/6 褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 塊15%	中～軟、中、塊炭と真砂土(少)

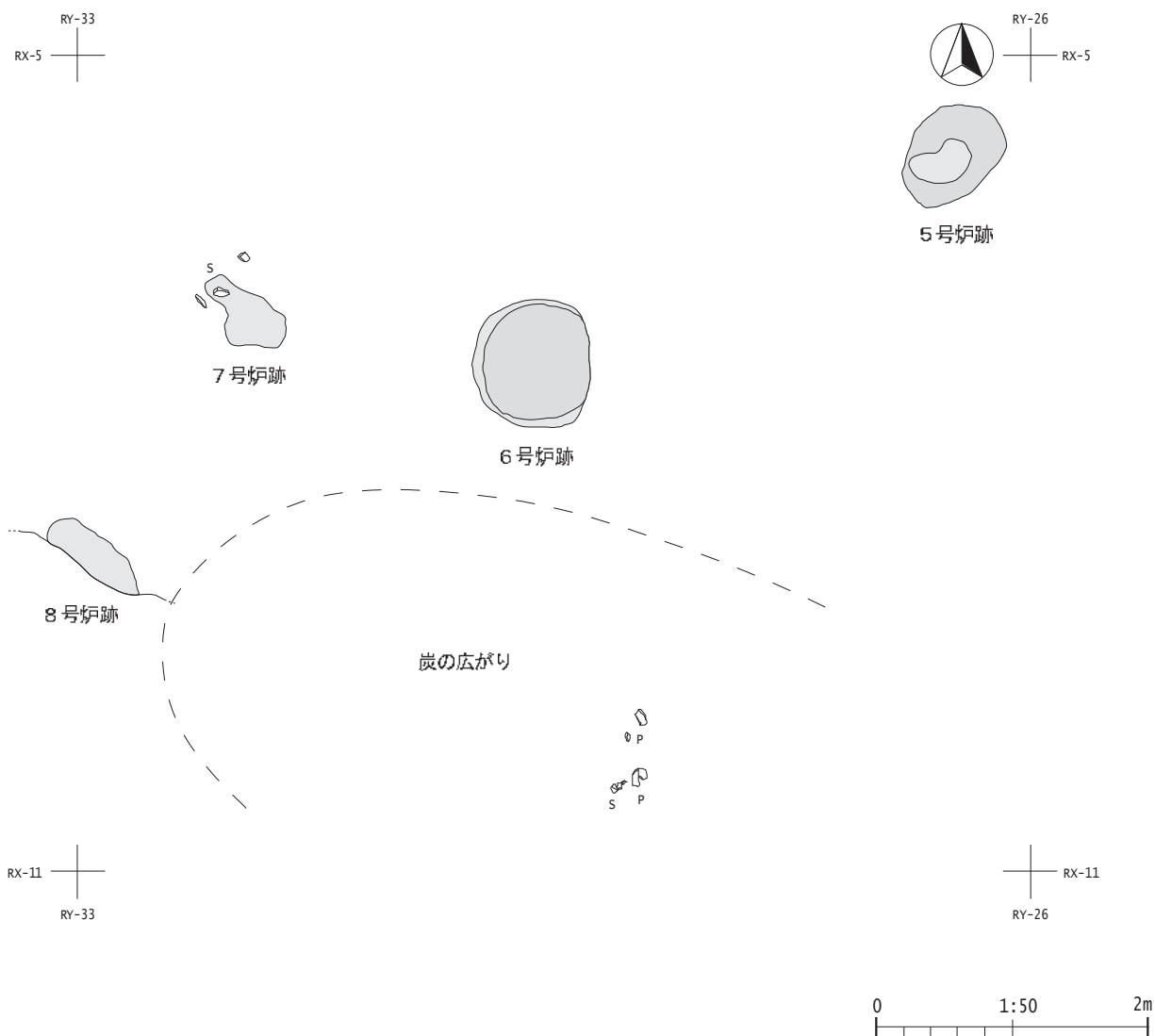


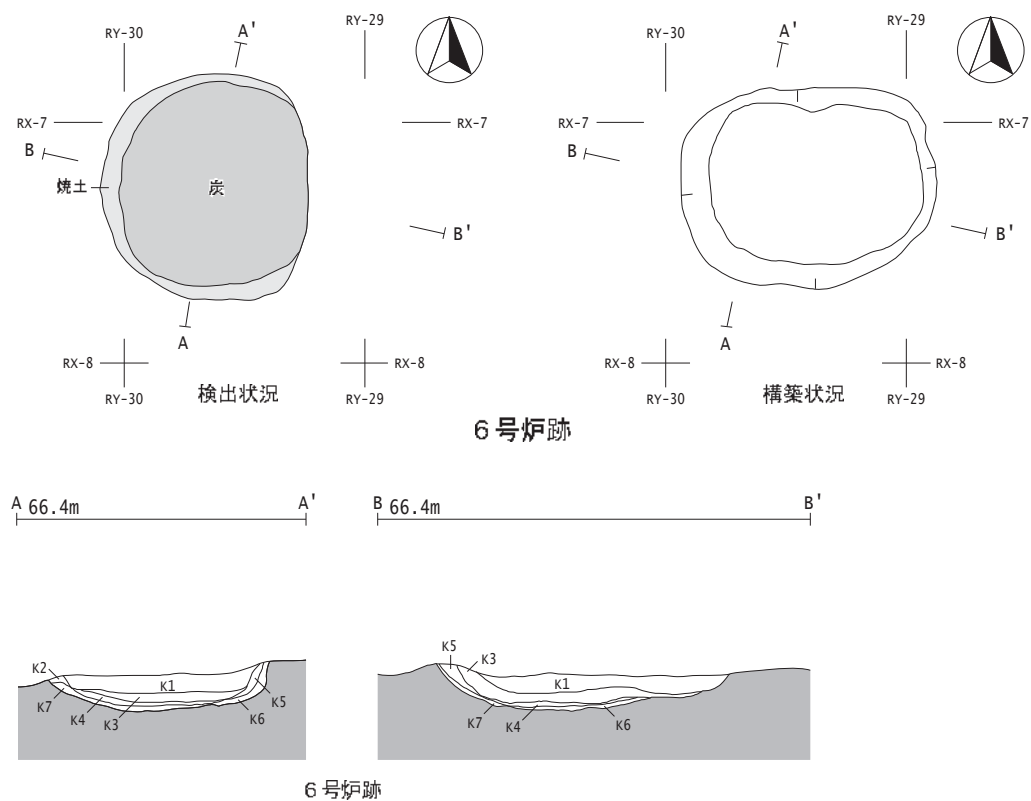
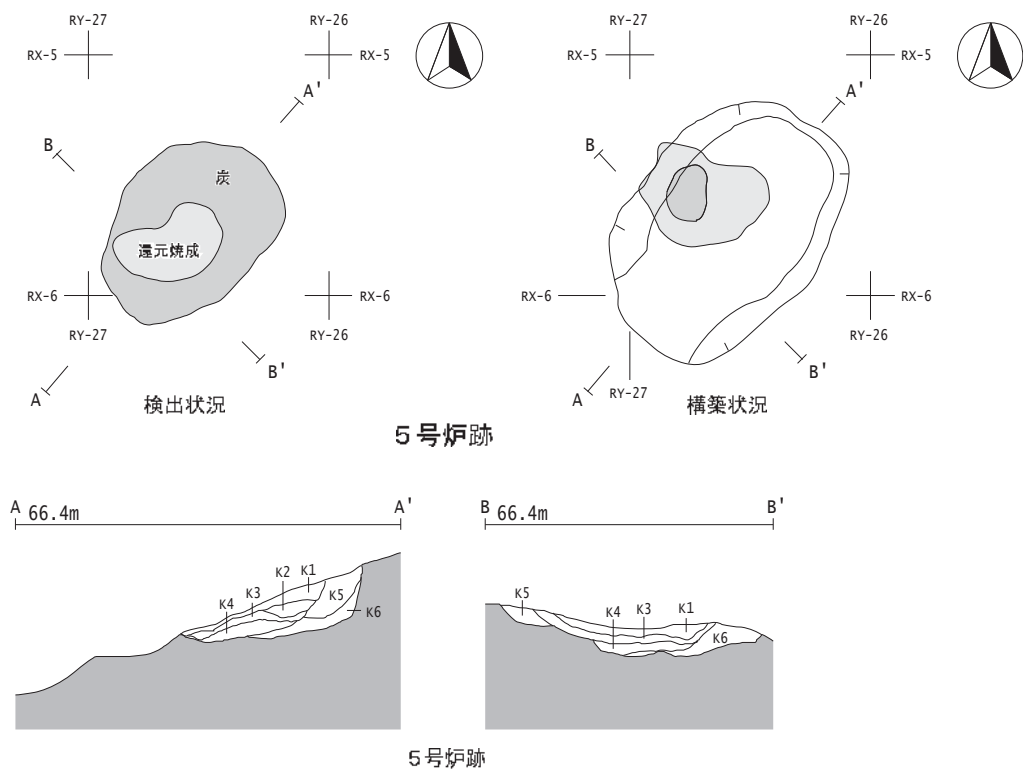
図209 5号、6号、7号、8号炉跡、炭の広がり

1号炭の広がり 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
1号炭の広がり	A1	10YR4/4 褐 砂礫土	10YR5/4 に多い黄褐色 砂礫土 塊 10%	中～固、中、塊土群、焼土、炭(多)
	B1	10YR5/6 黄褐色 砂礫土	10YR5/4 に多い黄褐色 砂礫土 塊 10%	中～固、中、塊 炭

5号、6号炉跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
5号炉跡	k1	10YR4/4 褐 砂礫土	10YR3/4 暗褐色 砂礫土 塊 10%	中、疎、塊土群
	k2	10YR4/6 褐 明	10YR5/6 黄褐色 砂礫土 塊 10%	中～固、中、塊
	k3	10YR3/2 黒褐色 砂礫土	10YR4/4 褐 砂礫土 塊 10%	中、疎、塊 炭多い炭層
	k4	10YR4/4 褐 砂礫土	10YR5/6 黄褐色 砂礫土 塊 10%	中～固、中、塊 炭層元焼成面
	k5	10YR5/4 に多い黄褐色 砂礫土	10YR4/4 褐 砂礫土 塊 砂礫土 10%	中、中、塊 焼土まじり
	k6	10YR4/4 褐 砂礫土	10YR5/6 黄褐色 砂礫土 塊 10%	中～固、中、塊 炭層元焼成面
6号炉跡	k1	10YR4/6 褐 砂礫土	10YR5/4 に多い黄褐色 砂礫土 塊 10%	中、中、塊土群 スケール(多)
	k2	10YR4/4 褐 砂礫土	7.5YR5/6 明褐色 砂礫土 塊 15%	固、中、塊
	k3	10YR2/2 黒褐色 砂礫土	10YR3/4 暗褐色 砂礫土 塊 15%	固、中、塊
	k4	10YR6/4 に多い黄褐色 砂礫土	10YR5/6 黄褐色 砂礫土 塊 15%	固、空、塊



0 1:30 1m

図210 5号、6号炉跡 平断面

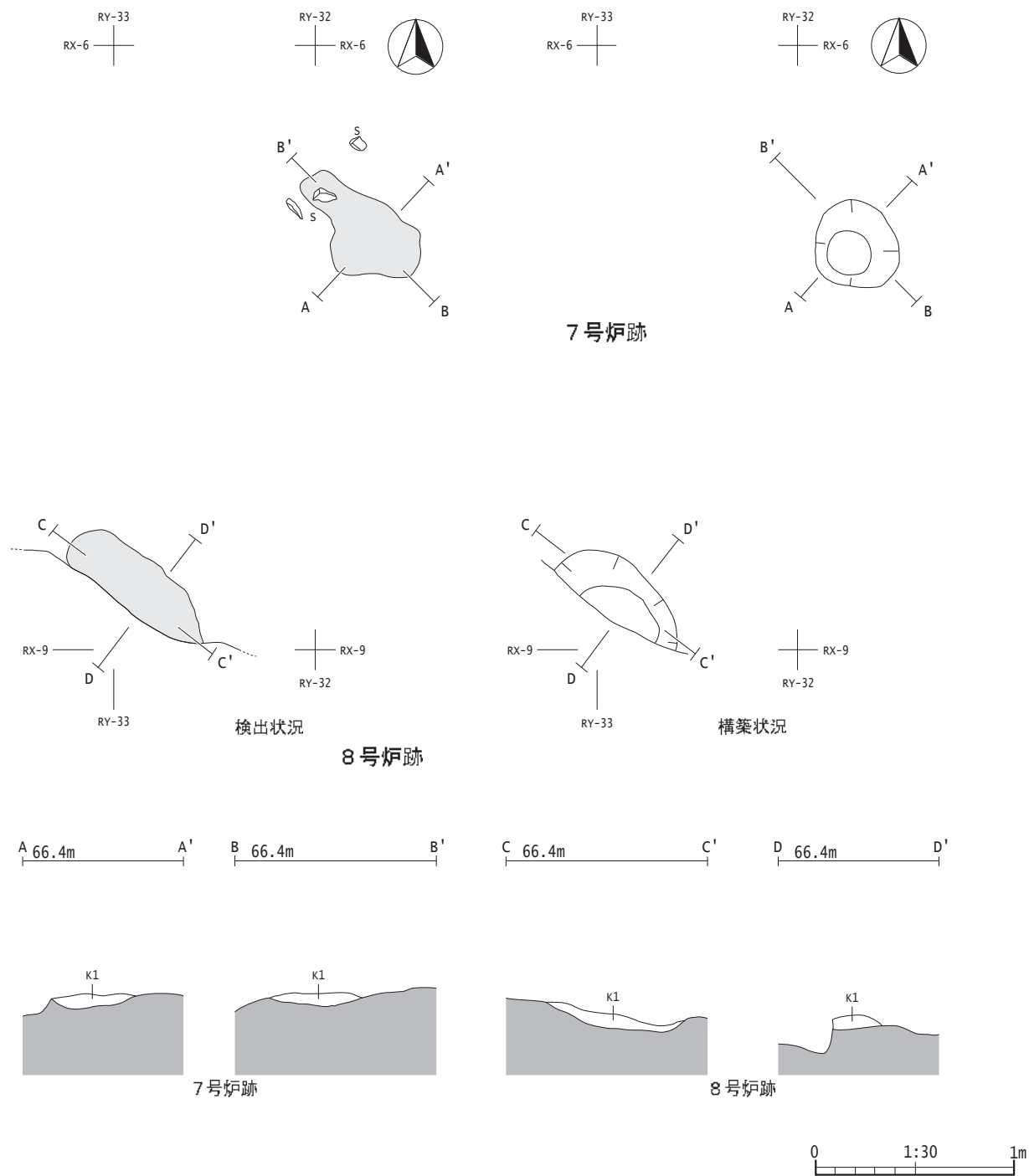


図211 7号、8号炉跡 平断面

7号、8号炉跡 土層注記表

層名		基本土	混入土	固さ・構造・混入物
7号炉跡	k1	5YR5/8 明赤褐色砂壤土	7.5YR5/6 明褐色砂壤土 混 10%	固、疎、塊
8号炉跡	k1	10YR4/3 紅褐色砂壤土	10YR2/2 黒褐色砂壤土 混 20%	固、疎、塊炭(多) 焼土塊炭
8号炉跡(炭)	C1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土	中~固、疎、塊炭(多)

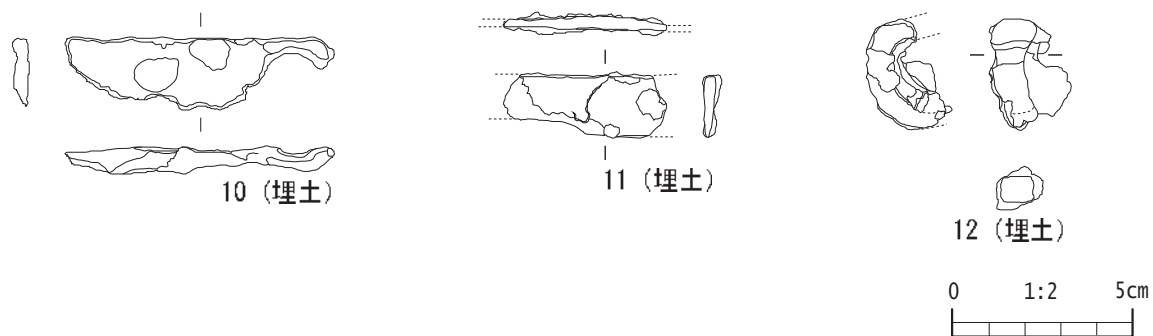
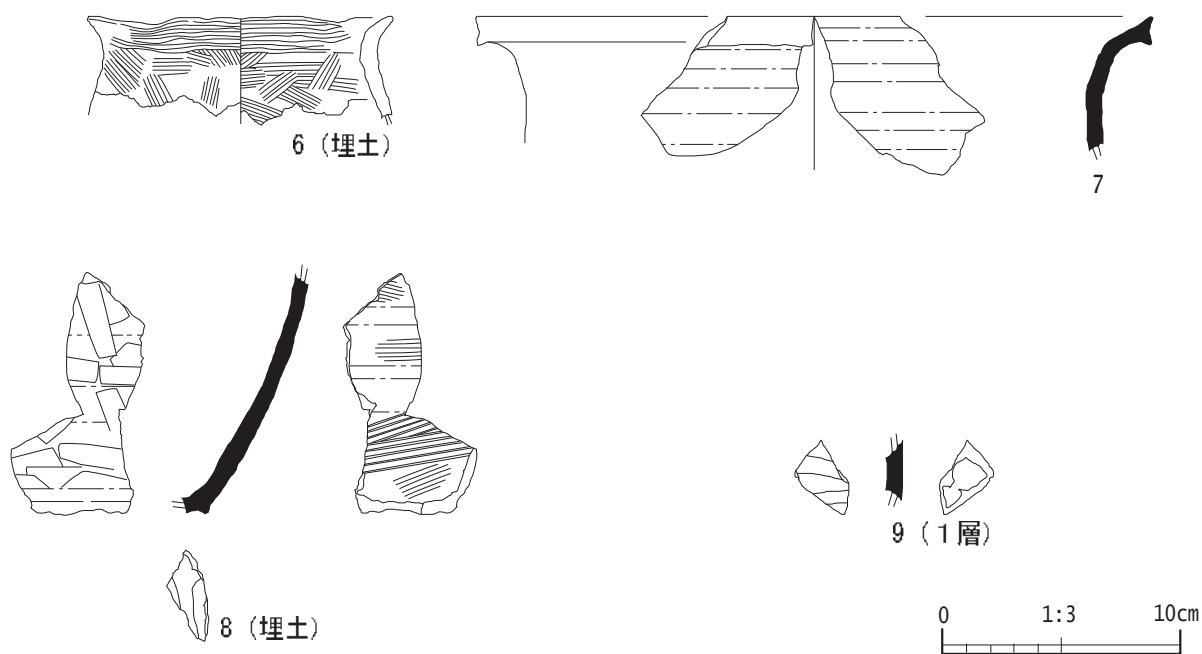
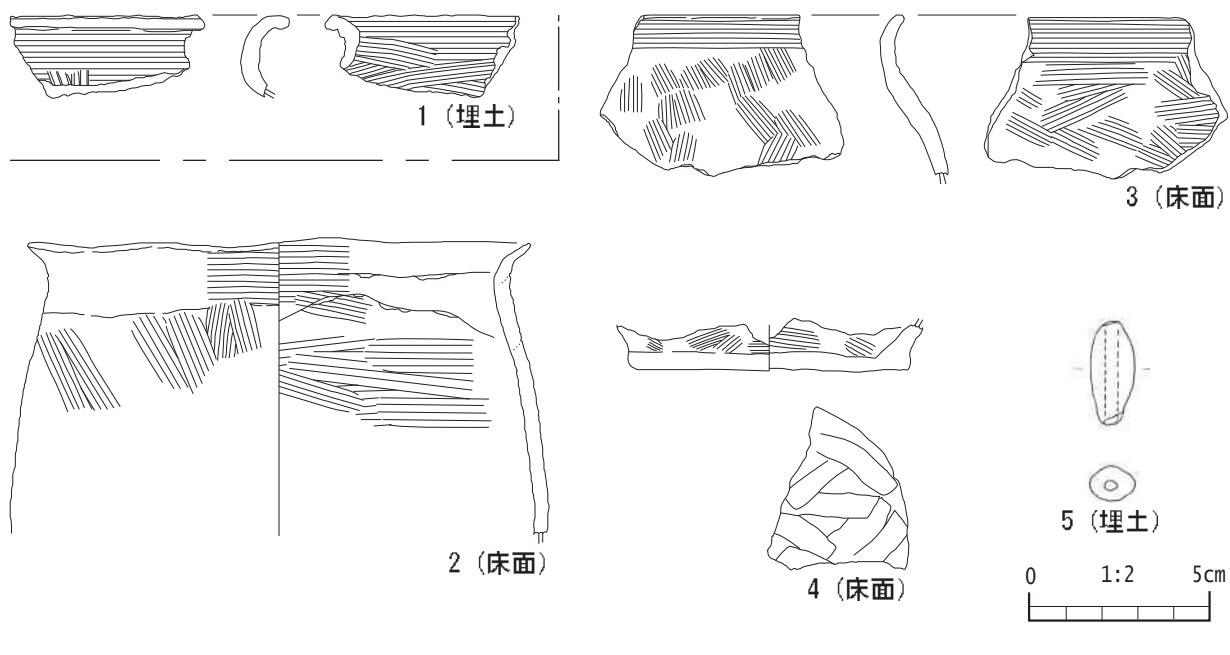


图212 5号、6号、8号炉迹出土遺物

e. 遺構外出土遺物

遺物は、表土（I層）から出土したものと、検出面から出土したものに分けた。

I層（図214～218）

1～4は土師器の坏である。ロクロ成形である。内面は黒色処理され、ミガキを施される。2、4の切り離しは回転糸切りである。3は高台付坏で、削り出し高台である。

5～50は土師器の甕である。5～25は口縁部である。いずれも短い口縁部で、わずかに外反する。体部は、5～10は膨らみ、11～25の膨らみは弱い。26～48は底部である。26～38は張出しがなく、39～48の張出しは弱い。底面は、ヘラ削り調整を施されたものが25点中14点で大半を占め、木葉痕を残すものは2点である。

51、52は須恵器である。51は高台付の底部である。削り出し高台である。52は体部片である。両面にタタキメを残す。

53、54は鉄製品である。53は角棒状の製品である。用途は不明である。54は刀子である。

55は土製品である。明瞭な輪積み痕を残し、赤褐色に焼けた筒状の製品である。用途は不明である。

54～56は砥石である。54は2面の磨面をもつ。55は3面の磨面には条痕が入り、1面に円形刺突痕を残す。

56～59は砥石である。56は2面の磨面をもつ小礫である。57は扁平三角礫を利用し、2面の磨面をもち、59は扁平三角礫の2面を使う。磨面の中央に円形の刺突痕を残す。58の角礫は磨面の周辺を調整する。

検出面（図219～222）

1～4は土師器の坏である。ロクロ成形である。内面は黒色処理され、ミガキを施される。切り離しは、2～4とも回転糸切りである。

5はアカヤキ甕の口縁部である。「く」の字に屈曲する。

6～33は土師器の甕である。6～25は口縁部である。いずれも短い口縁部で、外反する。体部は、6～12は膨らみ、13～25の膨らみは弱い。26～33は底部である。26、27は張出しをもたず、28～33の張出しは弱い。底面は、ヘラ削り調整を施されたものが3点、木葉痕を残すものが5点である。

34、35は須恵器である。35は口縁部である。36は頸部～体部である。いずれも再調整痕はない。

36～38は鉄製品である。36は刀子の刃部である。37は刀子の柄かと思われる。38は角釘である。

39、40は土製品の羽口である。39は、推計で、外径7.5cm、内径3.5cmを測る。40は、推計で、外径8.0cm、内径3.5cmを測る。

41～46は砥石である。41～43は扁平な角礫を用いる。いずれも磨面には条痕が入る。44の長方形の礫の磨面は1面である。45の三角錐の礫は2面を利用する。46の楕円礫は3面の磨面をもつ。

47、48は縄文土器片である。いずれも斜縄文を施される。49は石器の石匙である。



图214 遺構外出土遺物（1） 表土層

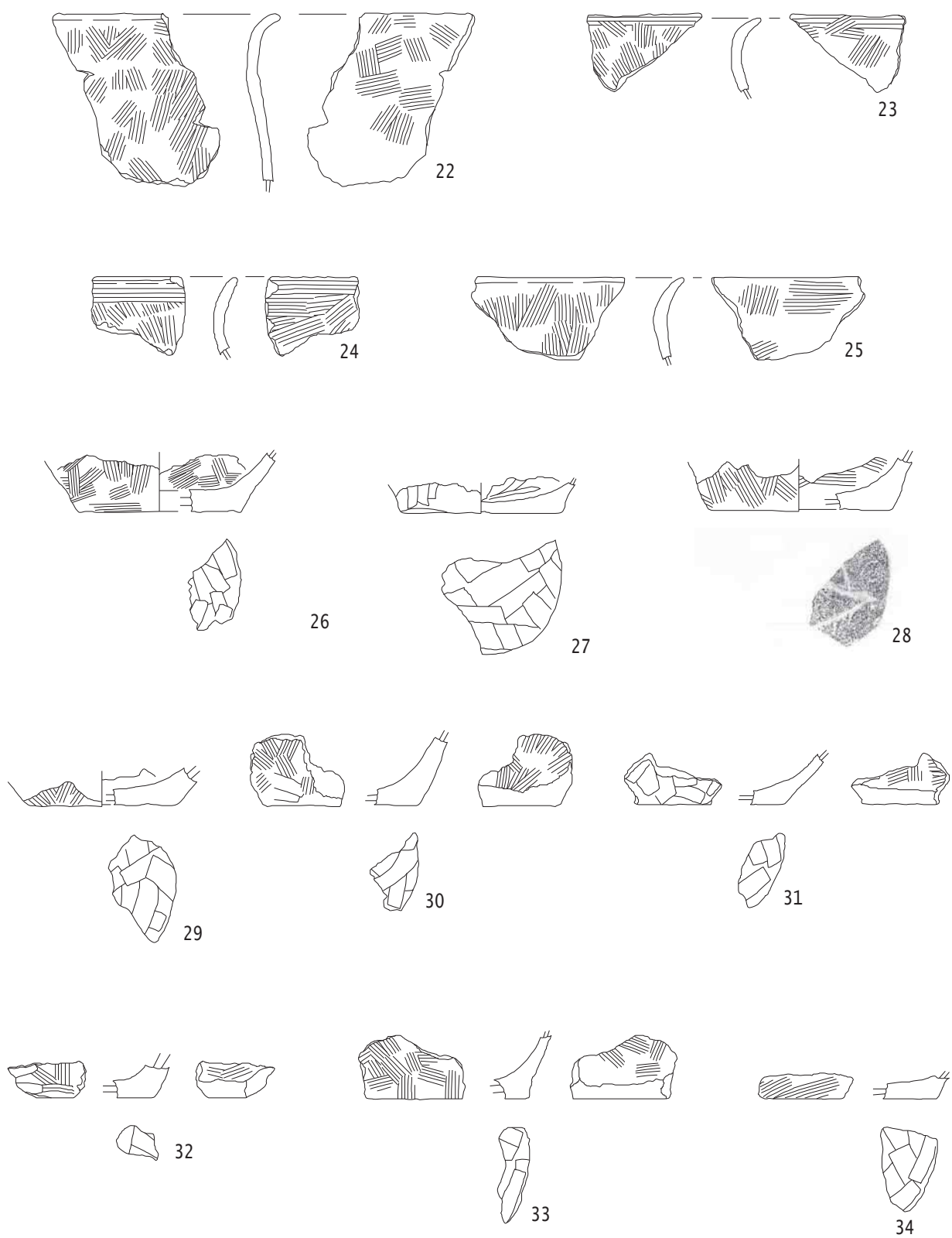


图215 遺構外出土遺物（2） 表土層

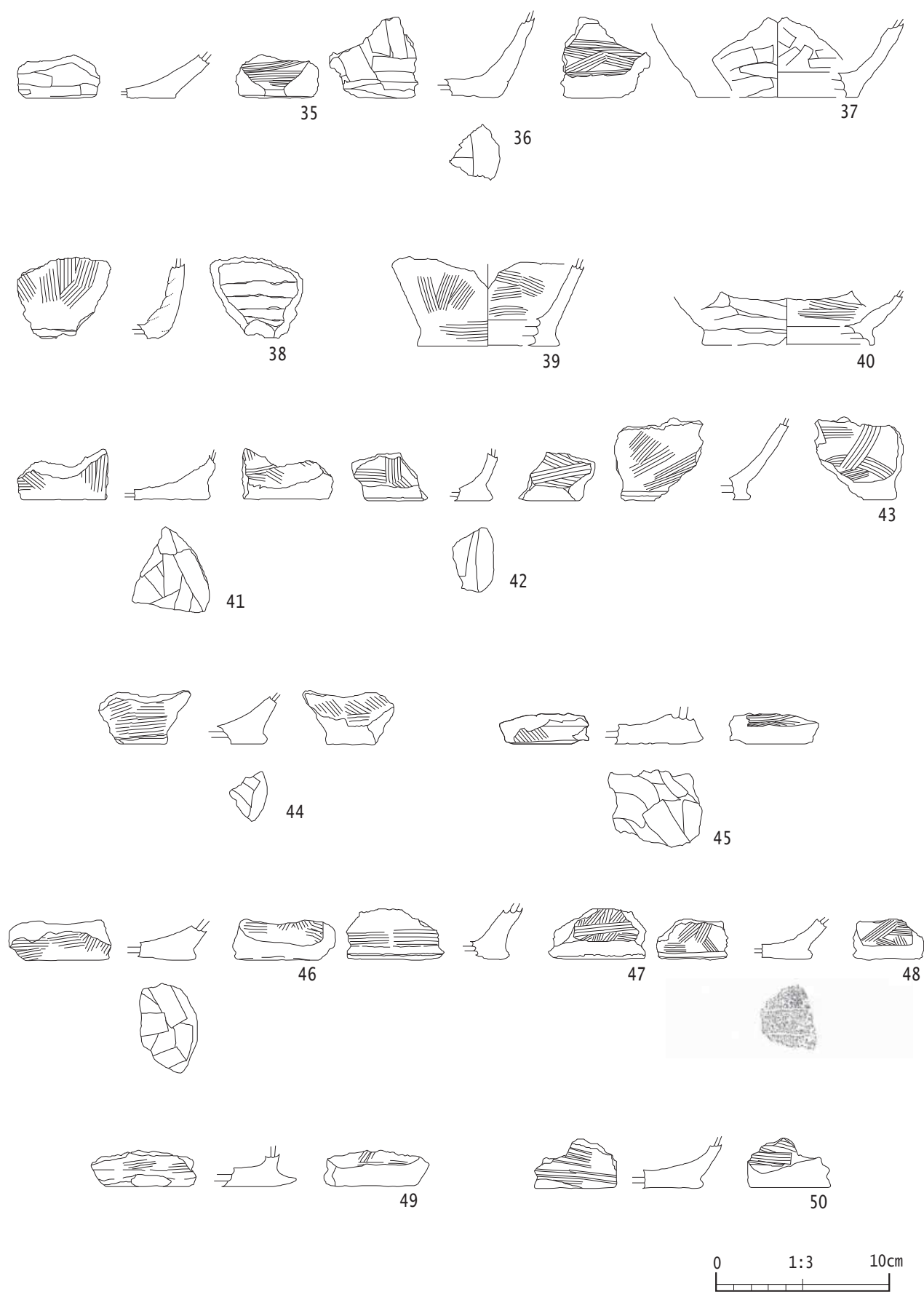


图216 遺構外出土遺物（3） 表土層

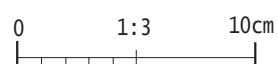
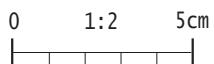
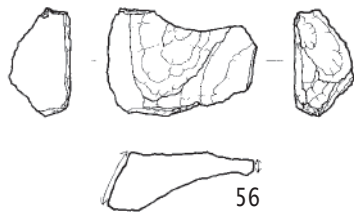
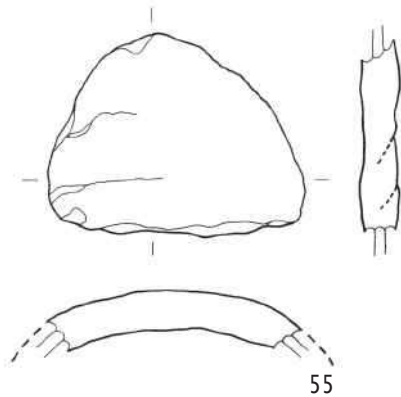
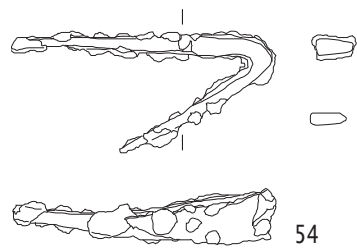
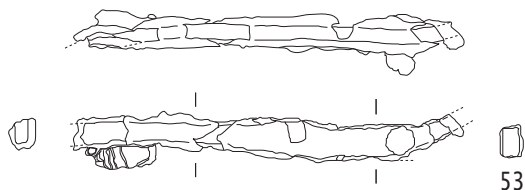
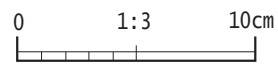
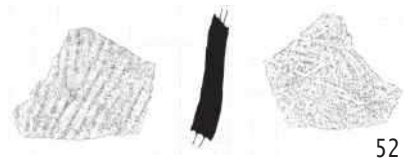
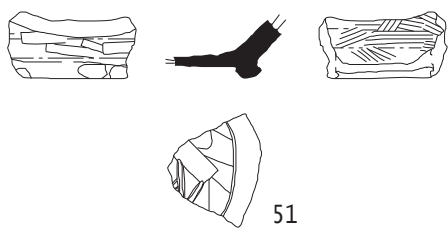


图217 遺構外出土遺物（4） 表土層

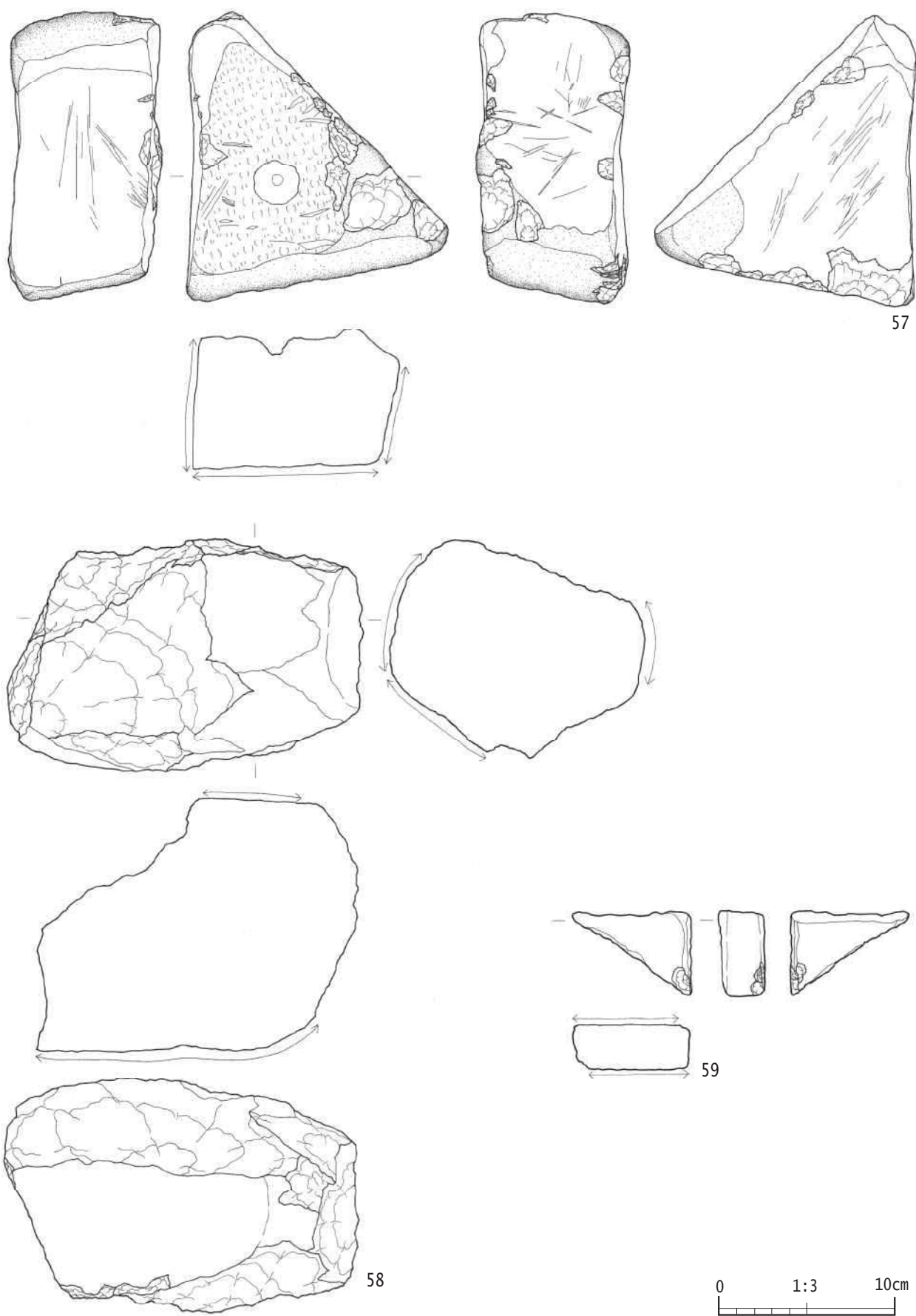


图218 遺構外出土遺物（5） 表土層

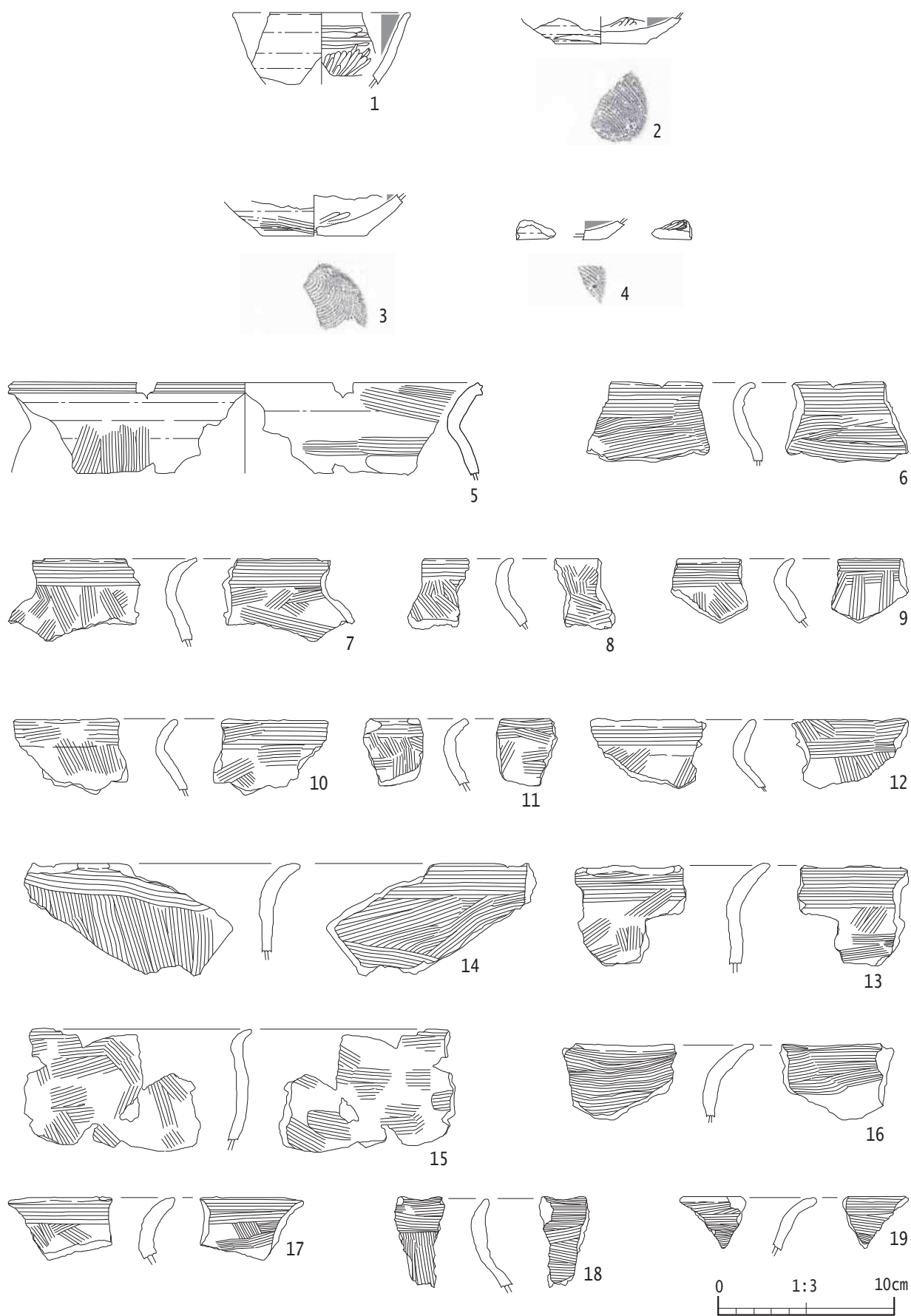


図219 遺構外出土遺物（1） 検出面

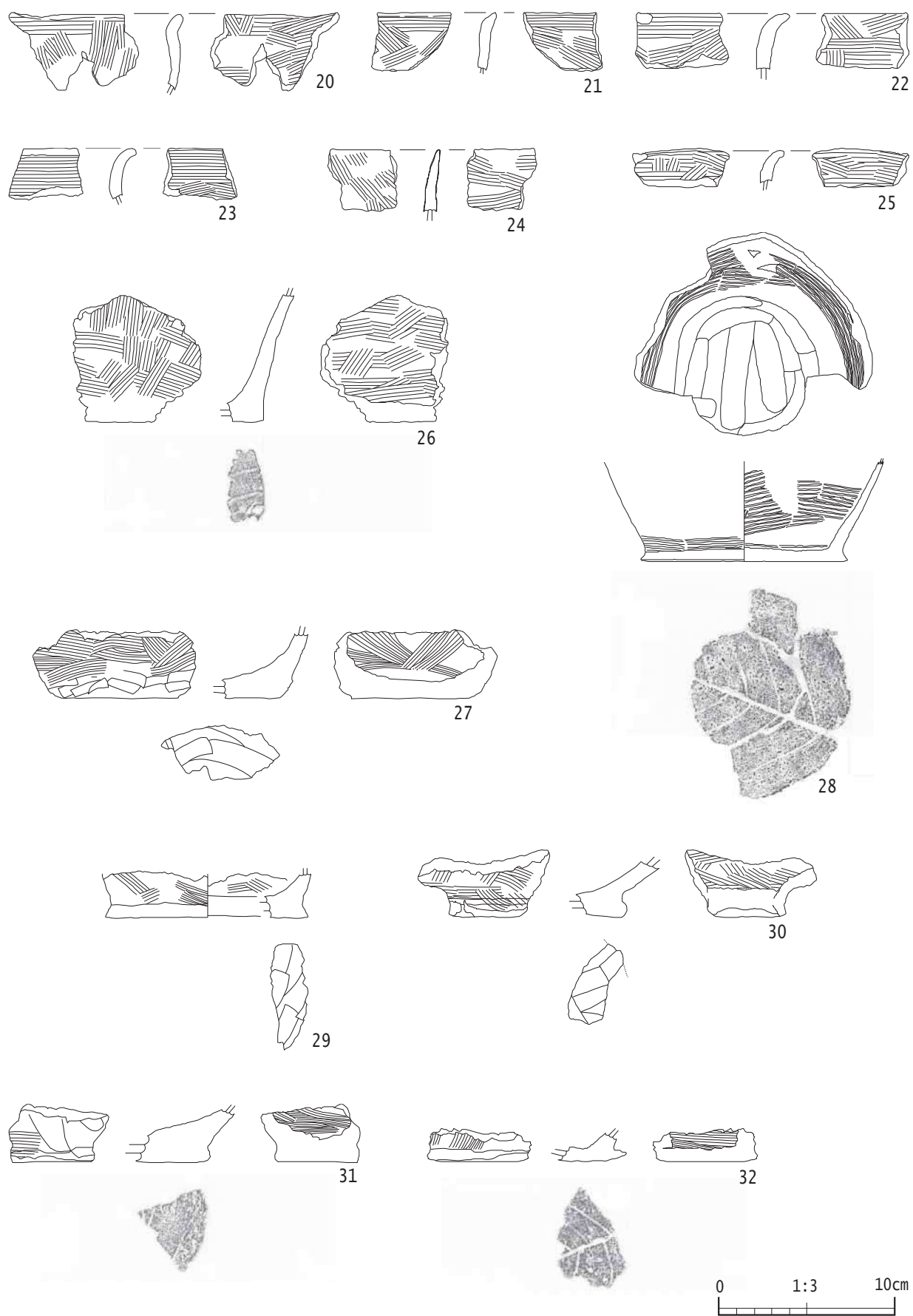


図220 遺構外出土遺物（2） 検出面

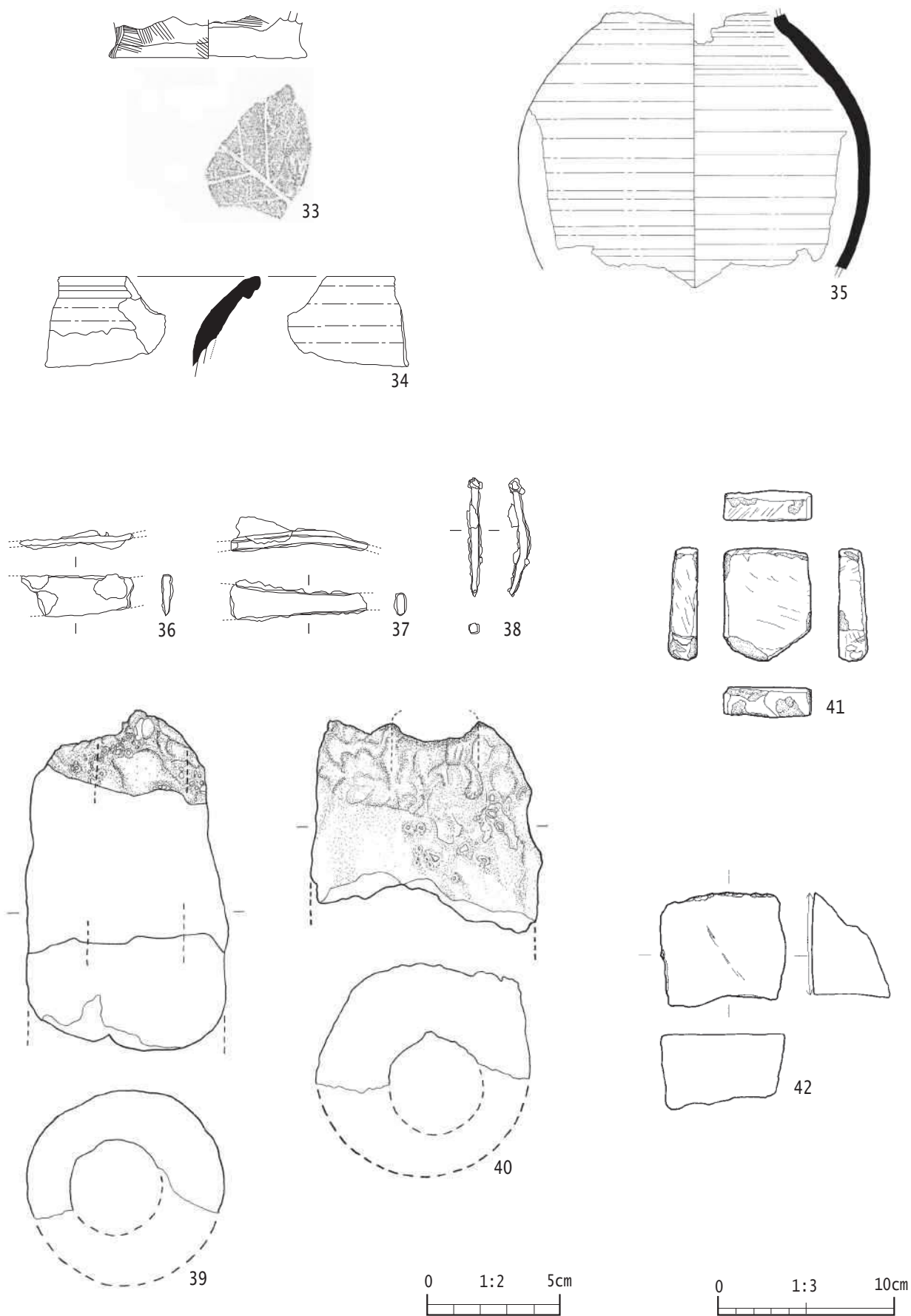


図221 遺構外出土遺物（3） 検出面

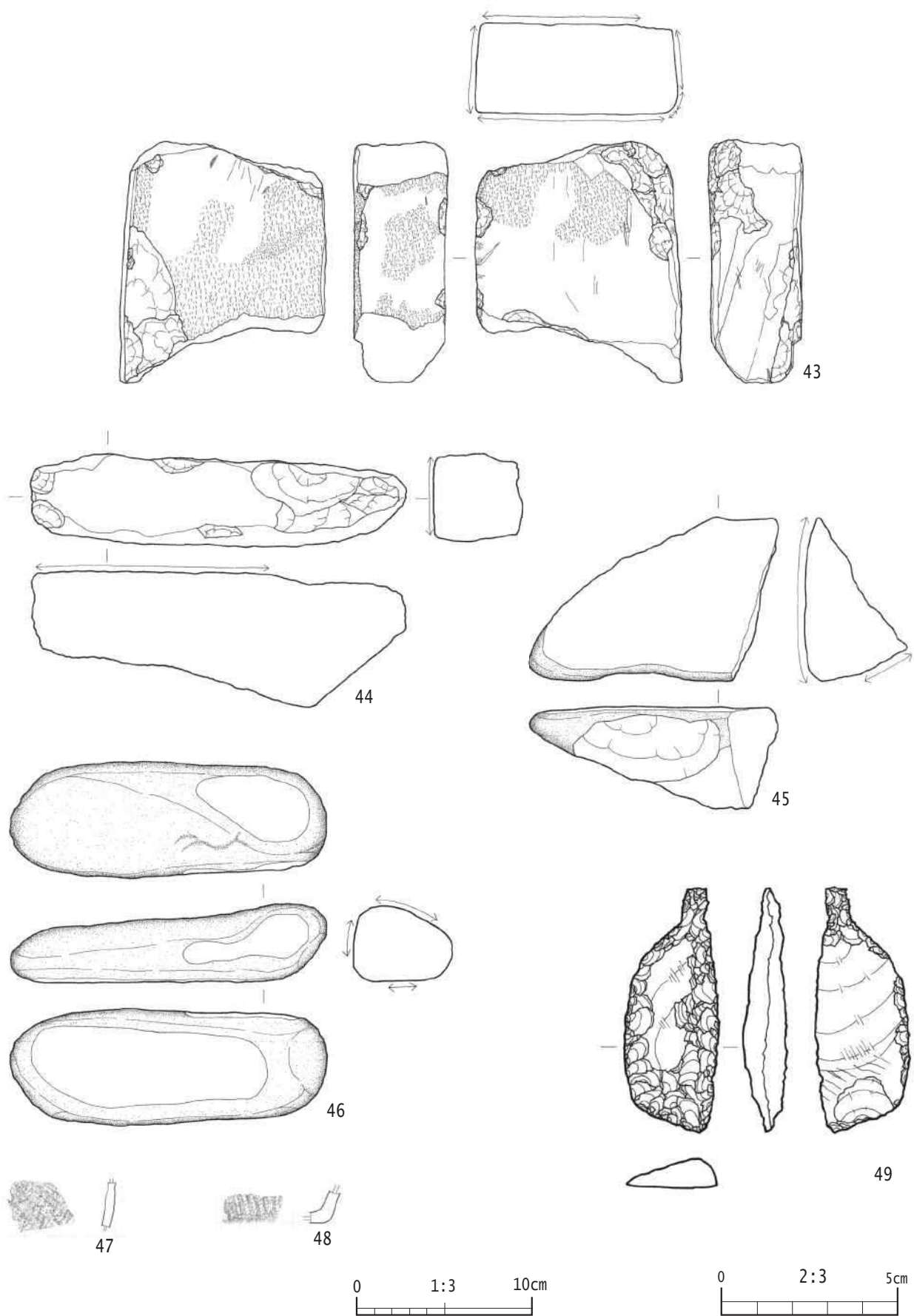


図222 遺構外出土遺物（4） 検出面

3. 調査のまとめ

検出した遺構、遺物をまとめ、若干の考察を加えまとめとする。

a. 土器

出土土器の種類は、アカヤキ土器、土師器、須恵器に分かれる。

<アカヤキ土器>

アカヤキ土器は、従来、ロクロ成形され、再調整されないものと定義されている。今回、ロクロ成形された坯は、内黒処理されてミガキを施されたものと、内黒処理されずミガキを施されたものの二種類が出土している。内黒処理されたものを土師器の坯とし、ミガキ調整だけのものをアカヤキ土器とした。

坯 — A類 八字高台付くもの。底部は内湾して立ち上がる。口縁部が直に立ち上がるもの（A1）、口縁部が外反するもの（A2）に分かれる。

B類 底部は内湾し、口縁部は外反して立ち上がる。

甕 — ロクロを使用した酸化焰焼成のもの

<土師器> 坯 — ロクロを使用した酸化焰焼成のもの。内面を黒色処理され、ヘラミガキ調整されたもの

A類 底部は内湾し、口縁部は直に立ち上がるもの（A1）、口縁部外反するもの（A2）にわかれる。

甕 — ロクロを使用しない酸化焰焼成されたもの

A類 口縁部は短く、外反する。

体部が膨らみの弱い長胴形のもの（A1）、体部が強く張り出す球胴形のもの（A2）に分かれる。

<須恵器> ロクロを使用した還元焰焼成されたもの

43号竪穴の床面からセットで出土した土器は、土師器A1類の甕、アカヤキの坯、須恵器の大甕、壺で構成され（出土土器集成1）、これにアカヤキの甕が1点加わる。他の竪穴住居跡、土坑跡においても、主体が土師器のA類の甕、坯が主体を占め、それに若干アカヤキの坯、甕が混じるという構成である。これは「磯鷄館山」で第Ⅲ群に、「岩手の土器」でⅢ-2群に分類された土器群にあたり、9世紀末から10世紀初頭に伴うものとする。

b. 竪穴住居跡、土坑跡

調査区は尾根の鞍部にあたり、平坦部と南斜面から成る。遺構は平坦部と南斜面のどちらからも出土しているが、遺構の重複が激しく、遺物の出土量が多いのは南斜面である。後述する炉跡が検出したのも南斜面である。竪穴住居跡は51棟検出している。その内形状が判明したものは25棟で、大半が隅丸方形である。そのなかで32号竪穴住居跡は、ほぼ円形の、深い土坑にカマドを設けた格好の珍しい例である。

土坑跡は49基出土している。大半が、平面形は円形に掘られ、壁はほぼ直に立ち上がっている。そのなかにフラスコ形の土坑（9、34号土坑跡）や、床面に周溝を設けたもの（38号土坑跡）、床面中央に小土坑を掘り込んだもの（6号土坑跡）が混じる。土坑跡は、遺物から縄文時代のものではなく、古代の竪穴住居跡に伴うものである。用途は縄文時代と同じ「蓄え」と推測される。53号土

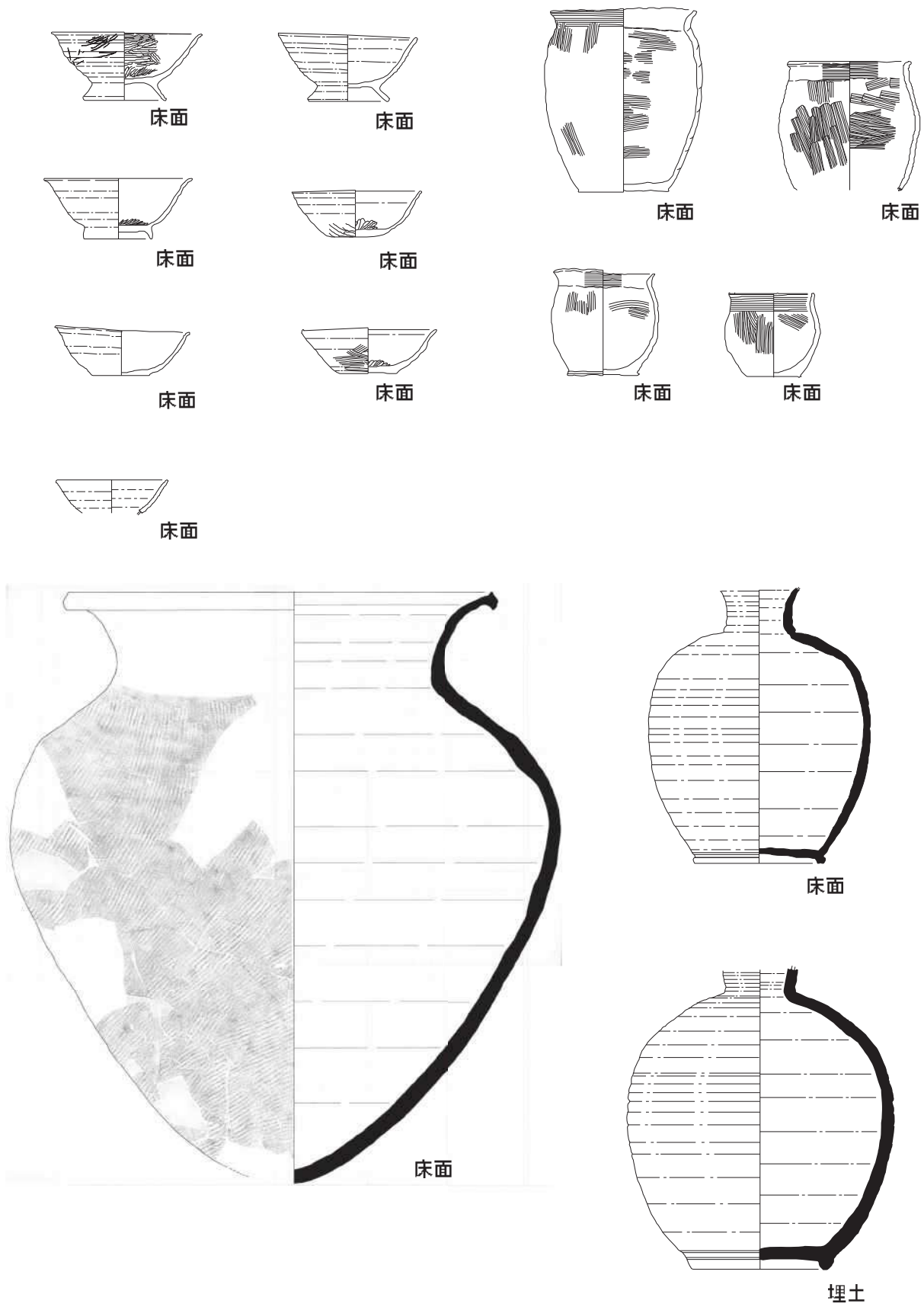
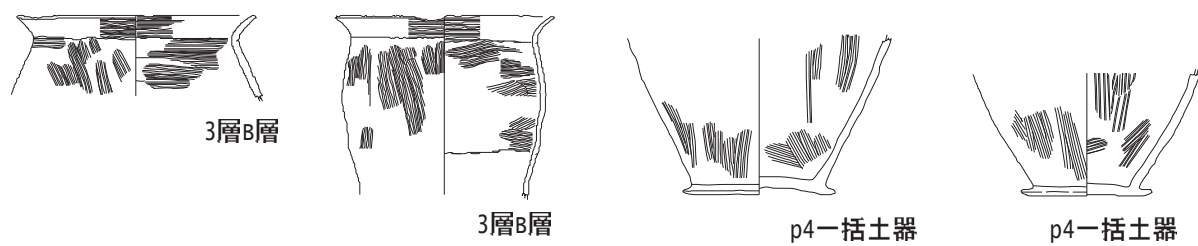


插图 1 出土土器集成 1

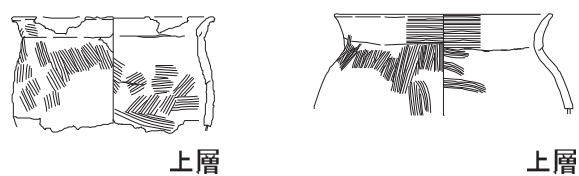
2号竖穴住居跡



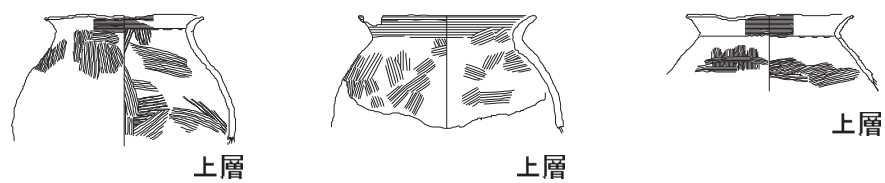
10号竖穴住居跡



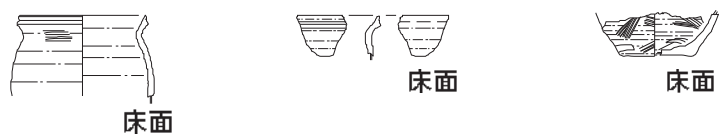
11号竖穴住居跡



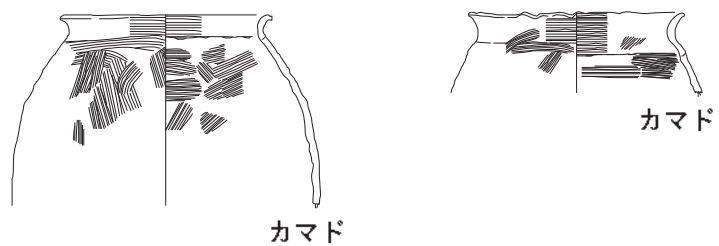
15号竖穴住居跡



26号竖穴住居跡

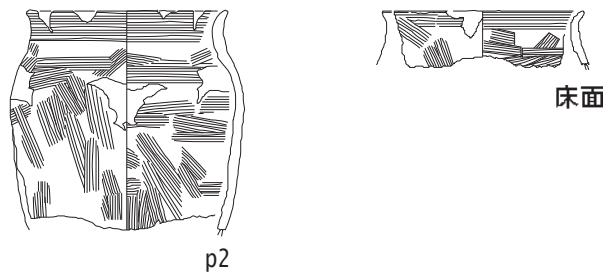


27号竖穴住居跡

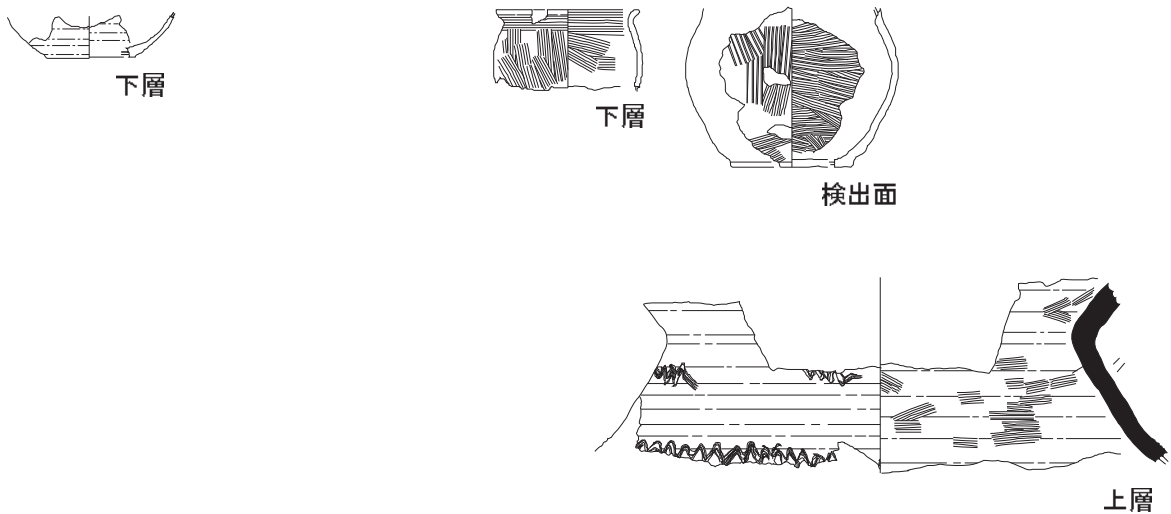


挿図2 出土土器集成2

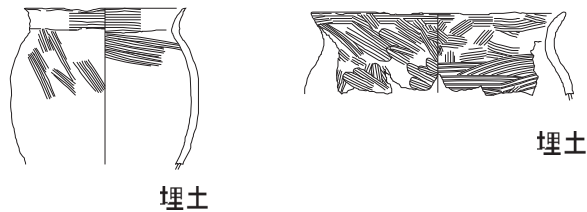
28号竖穴住居跡



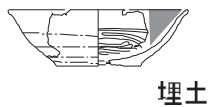
33号竖穴住居跡



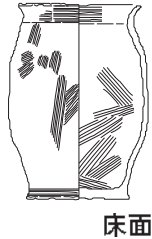
34号竖穴住居跡



42号竖穴住居跡

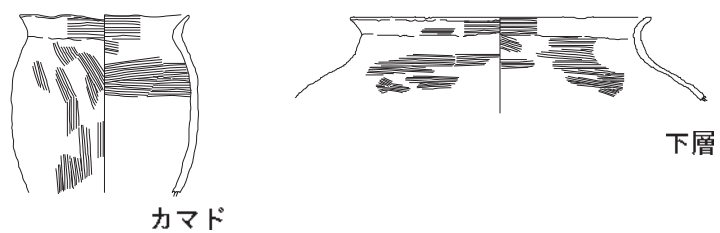


45号竖穴住居跡

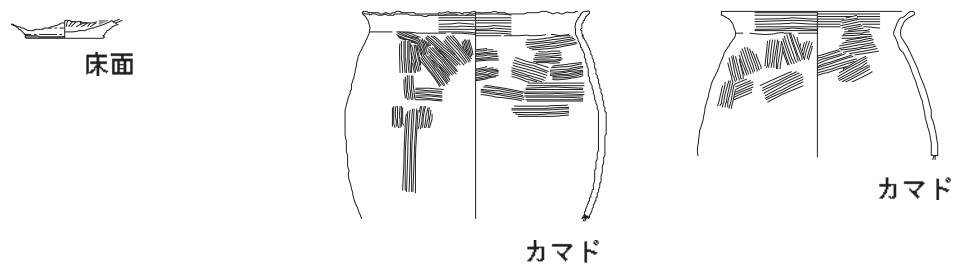


挿図 3 出土土器集成 3

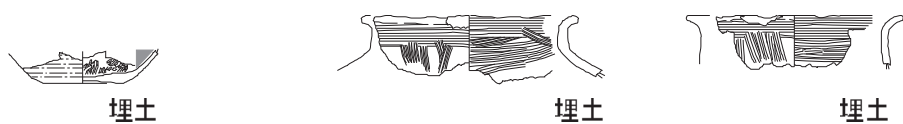
46号竖穴住居跡



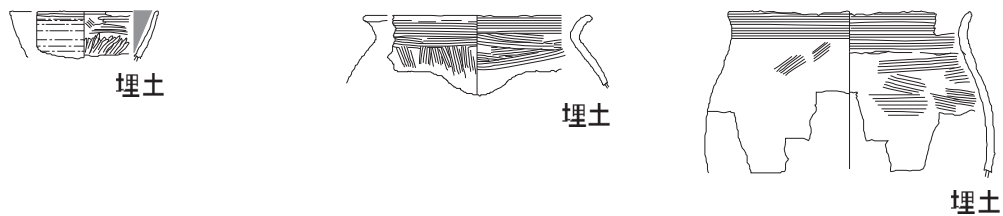
47号竖穴住居跡



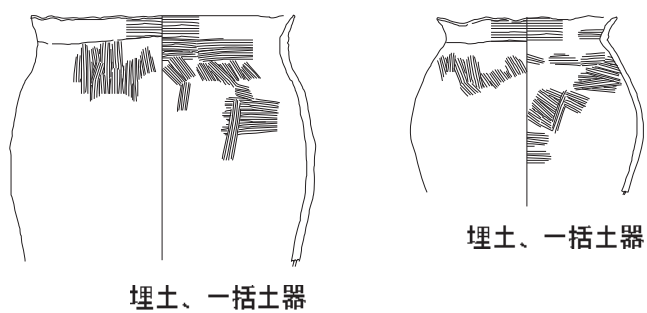
50号竖穴住居跡



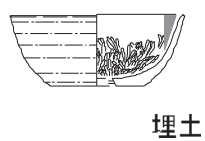
51号竖穴住居跡



35号土坑跡



46号土坑跡



47号土坑跡



挿図 4 出土土器集成 4

坑跡は、口縁部を土留め石で固めた土坑で、須恵器の大甕片が出土している。須恵器は43号竪穴住居跡から出土した大甕と接合している（図160-58）。43号竪穴住居跡に伴う井戸などの水場の施設であった可能性が高い。

c. 炉跡

炉跡は、竪穴住居跡の床面から10基（28号、39号、41号竪穴住居跡、48号土坑跡）、遺構外から9基出土している。遺構内の炉跡は、形状はほぼ円形で、掘りくぼめられ作られている。還元焼成面が確認され、羽口、鉄滓などの共伴物、傍らに鉄床石と思われる巨礫が据えてあることなどから、鍛冶仕事に使われた炉跡と判断する。

これらの竪穴住居内の炉跡の他に、遺構外で、遺構の埋土に設けられた炉跡が南斜面に並ぶ。これらの遺構の中には、焼成面の確認できなかったものがあるが、炭、羽口などの共伴遺物から、やはり鍛冶関連の遺構と考える。やや規模の大きい、縦長の構造をもつ1号炉跡については、大鍛冶などの仕事が考えられる。また、それらの遺構の立地が、竪穴の壁際を意図的に選択し、壁の段差を利用しているように思われる（図202、1号、5号、9号炉跡）。遺構外の炉跡に伴う「上屋」が確認された例はないが、段差の利用も含めて今後の検討課題としたい。

d. 鉄製品 馬具

鍛冶仕事に伴い多くの鉄製品が作られたことを出土遺物が示している。刀子、鎌、紡錘車、鍬先などが一般的な製品である。今回の出土品のなかでもとりわけ注目されるのが馬具の轡であり、馬具に関連すると推測される轡の共伴鉄製品である。周辺の調査例を見ると、北の「近内館」（宮古報文71）では、鍛冶炉を伴った古代の集落が報告され、南の「鯉沢遺跡」（宮古報文34）では同種の轡の出土例が報告されている。鯉沢遺跡は、閉伊川を挟んだ花輪山地の丘陵に位置する古代の集落である。神田沢遺跡と同じ立地環境で、やはり鍛冶炉跡などを伴った集落である。近内、神田沢、田鎖、花輪を結ぶ古代の製鉄関連遺構の広がりを見えて、それらが12世紀の「田鎖車堂前」につながる道筋をたどれるのではないかとと思われる。

e. 「和同開珎」

45号竪穴住居跡の埋土から1点出土している。宮古市では長根古墳からの出土例が報告されている。八木氏の「和同開珎と蝦夷」を拠り所に考えてみたい¹。8世紀の「和同開珎」については、朝廷との関連で、権力の象徴として古墳に埋納された副葬品とか厭勝銭として使われたことが指摘されている。長根古墳の例はまさにこの副葬品である。10世紀の神田沢遺跡の場合、とくに埋納という形をとらず、住居跡の埋土から出土しており、副葬品でもなければ、鎮壇具にもあたらない。その論文の「むすび」の中で、9世紀初めに王臣諸家が争って蝦夷の馬を求めたことにふれている。この地に「和同開珎」もたらされたことは、敢えて推測するならば、財貨としての意味合いで、「馬」によってもたらされたものではないかという可能性を考えたい。

1. 八木光則「和同開珎と蝦夷」（1992 岩手史学研究 75）

参考文献

- 「岩手の土曜」（1982 岩手県立博物館）
- 「北東北世界の実態的研究」（2014 北東北古代集落遺跡研究会）
- 「磯崎館山遺跡」（1995 宮古報文43）
- 「鯉沢遺跡」（1992 宮古報文34）
- 「赤前Ⅲ・赤前Ⅳ八枚田・赤前Ⅴ柳沢・赤前Ⅵ釜屋ヶ沢・小堀内Ⅲ遺跡」（1999 宮古報文53）
- 「近内館跡」（2007 宮古報文71）1

写真図版



調査区遠景（南より）



南斜面完掘状況（東より）

写真図版 2



1号豎穴住居跡



2号豎穴住居跡



9号豎穴住居跡



11号、12号、13号
竪穴住居跡

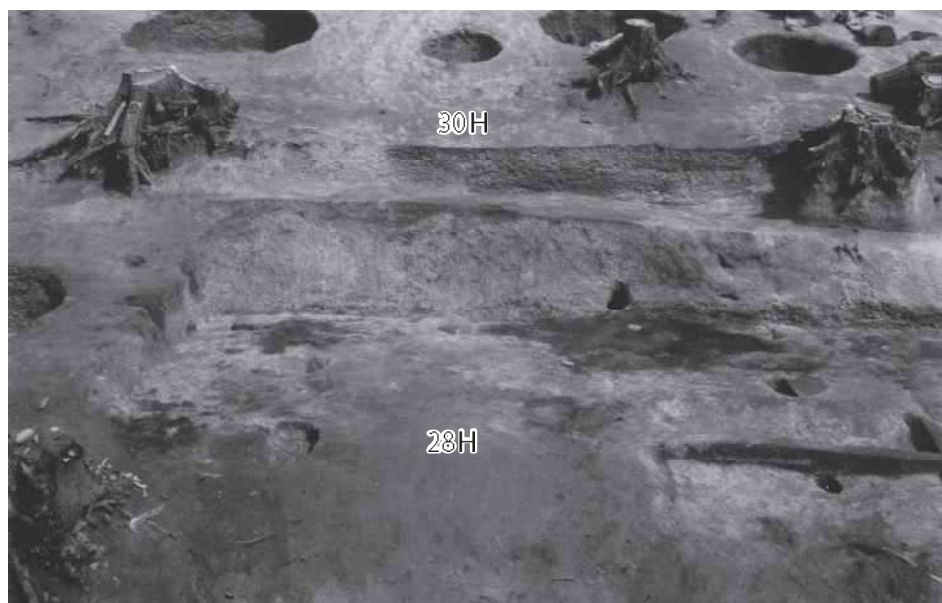


15号竪穴住居跡



26号、27号竪穴住居跡

写真図版 4



28号、30号竪穴住居跡



32号竪穴住居跡



1号炉跡



41号竪穴住居と周辺の遺構



41号竪穴住居跡 炉の配置

写真図版 6



42号竪穴住居跡



34号竪穴住居跡
炉跡 I



39号竪穴住居跡
炉 I、53号土坑跡



43号竪穴住居跡出土状況



坏、土師器出土状況



須恵器大甕出土状況



鉄製品（轡）の出土状況



銅製品の出土状況

写真図版 8



45号豎穴住居跡



46号豎穴住居跡



48号、49号豎穴住居跡



50号竪穴住居跡



49号竪穴住居跡 カマド断割り



50号竪穴住居跡 カマド断割り



3号段状遺構

51号竪穴住居跡
3号段状遺構

写真図版10



7号豎穴住居跡



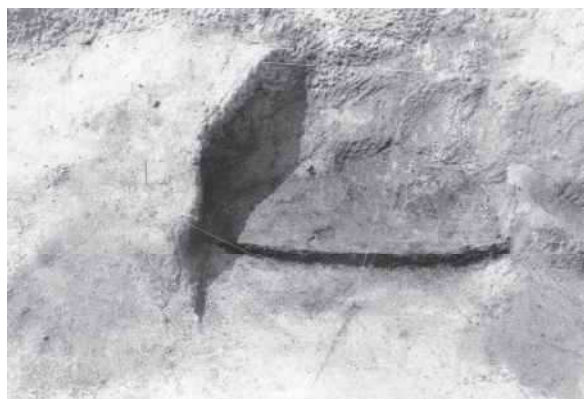
37号土坑跡



48号土坑跡 炉 I



2号炉跡

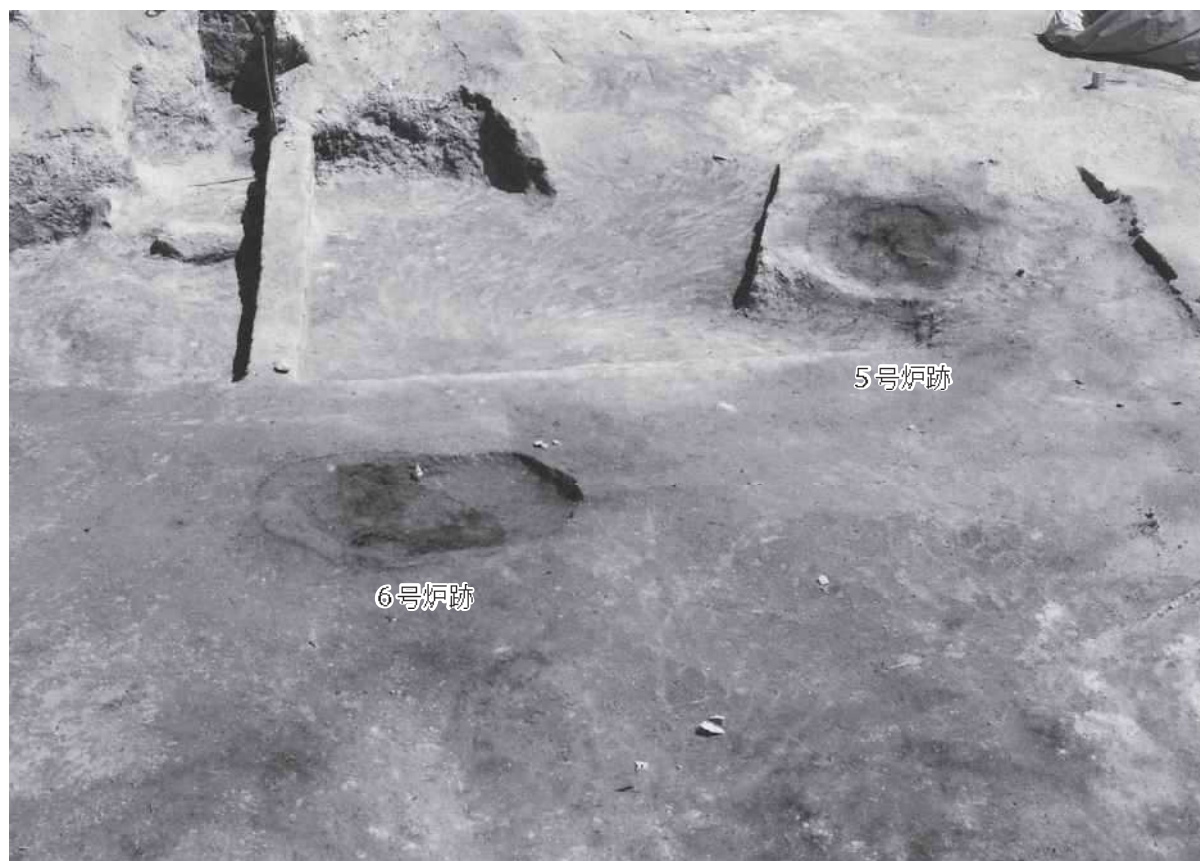


3号炉跡



4号炉跡

写真図版12



5号 6号炉跡



5号炉跡



6号炉跡



9号炉跡



40号竪穴住居跡 炉I



43号竖穴住居跡出土一括土器



155-1



155-3



155-2



155-5



155-4



155-6

写真図版14



156-9



156-12



156-13



156-10



156-11



188-2



212-2



180-3



115-1



76-1



76-2



174-1



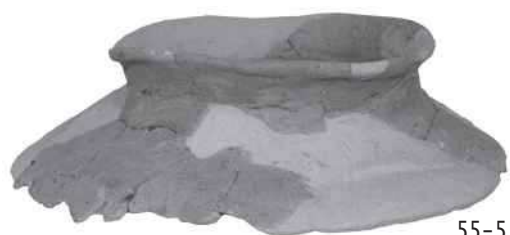
108-4



47-1



39-2

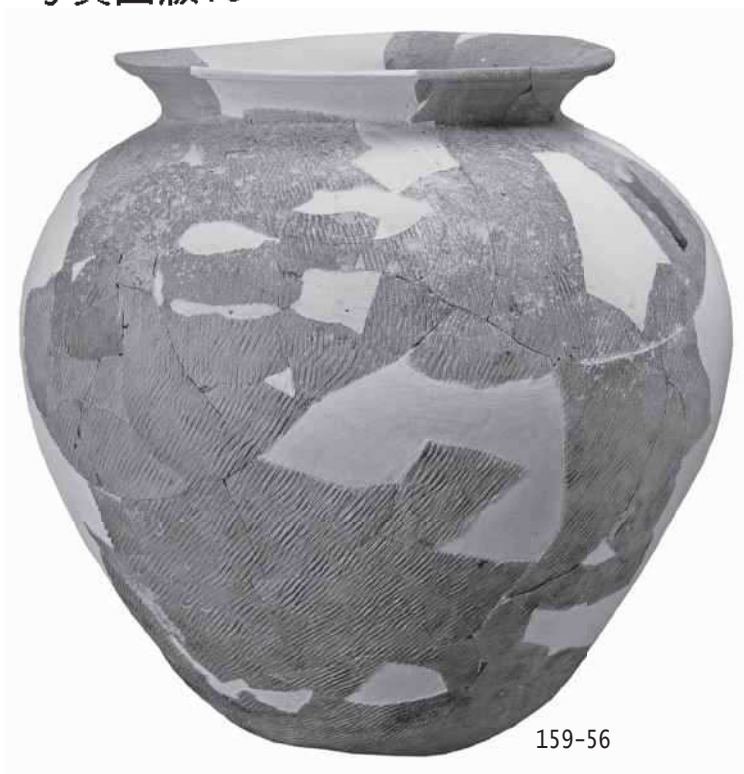


55-5



180-5

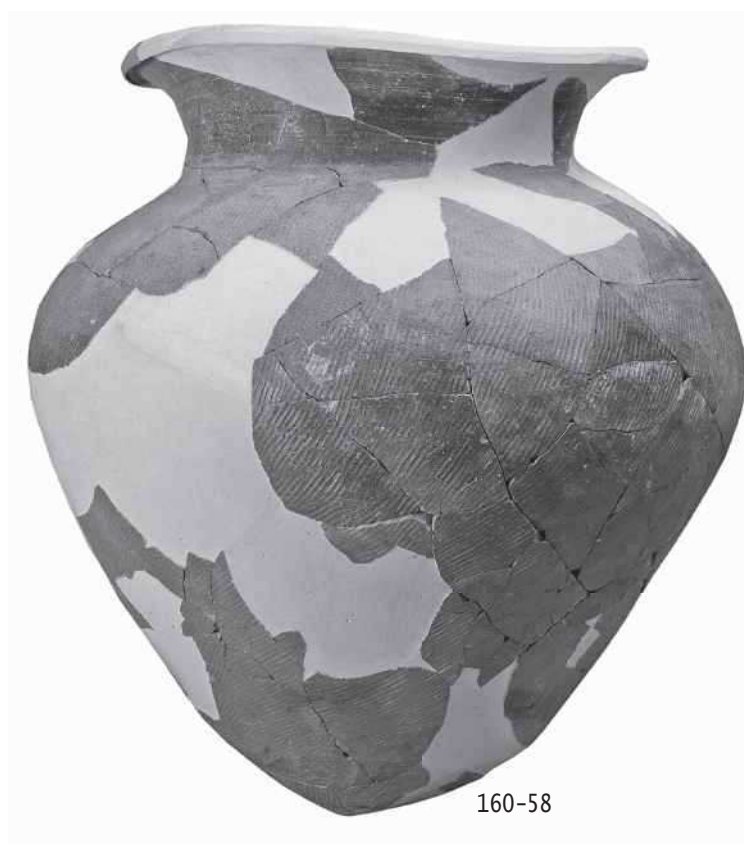
写真図版16



159-56



159-57



160-58



160-59



143-26



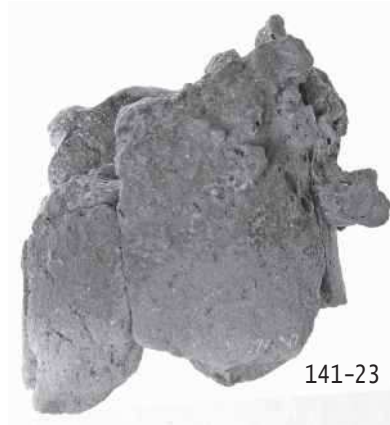
141-19



141-20



142-22



141-23



197-26



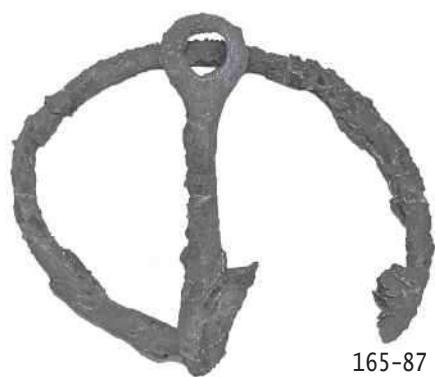
15-14



142-21



165-86



165-87



166-92



165-88



165-89



166-93



166-94



166-91



166-99



163-69



163-70



163-72



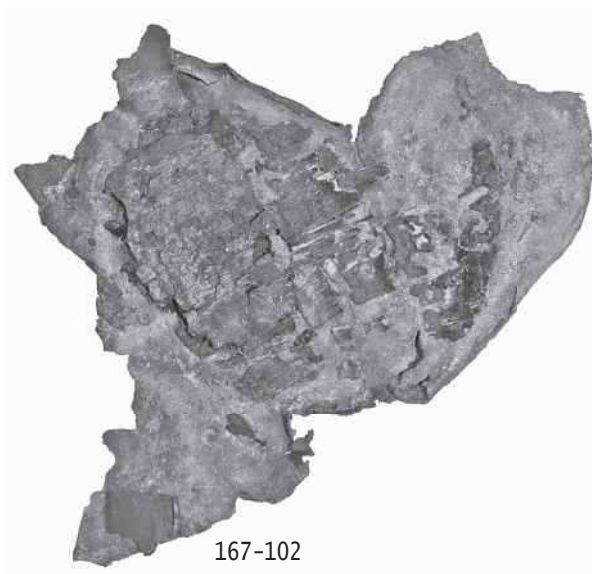
163-84



164-84



164-85



167-102



46号竖穴住居跡出土鉄滓、琥珀

写真図版20



26-11



26-17



26-18



26-12



141-14



176-28



176-29



32-3



183-41



183-42



176-30



123-13



176-26



67-20



191-34



36-7



201-17



41-15



61-2



191-31



27-19



69-3



74-23



145-33, 34

報告書抄録

ふりがな	かんださわいせき
書名	神田沢遺跡
副書名	神田沢地区宅地造成関係埋蔵文化財調査
巻次	
シリーズ名	宮古市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	107
編著者名	阿部 豊
編集機関	岩手県宮古市教育委員会
所在地	〒027-0097 岩手県宮古市崎山第1地割16番地1 TEL 0193-65-7527
発行年月日	令和2年3月20日（2020年）

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "		
かんださわいせき 神田沢遺跡	いわてけん 岩手県 みやこし 宮古市 おおあざせん 大字千 とくだいじゅう 徳第18 ちわりあざかん 地割字神 だまわ 田沢 ばん、 67 ばん 1	3202	LG33- 0099	39° 38' 18" N	141° 54' 48" E	試掘調査 19930913 ～19931006 本調査 19940509 ～19940914	485 m ² 6,680 m ²

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
神田沢遺跡	集落	平安時代	竪穴住居跡 51基 土坑群跡 59基 炉跡 19基	あかやき土器、土師器、須恵器、鉄製品（馬具など）、銭貨（「和同開珎」）、土製品（羽口）、縄文土器、石器

宮古市埋蔵文化財調査報告書一覧

1	1979	『宮古市大付遺跡発掘調査報告書』	58	2002	『小沢Ⅱ大上遺跡－市内遺跡発掘調査報告書2－』
2	1980	『宮古市千徳遺跡発掘調査概報』	59	2003	『大又沢Ⅱ遺跡－東北電力宮古ヘリポート移設工事関係発掘調査報告書1』
3	1983	『宮古市遺跡分布調査報告書1』	60	2003	『上根井沢Ⅰ遺跡、沼里遺跡－市内遺跡発掘調査報告書3－』
4	1984	『宮古市遺跡分布調査報告書2』	61	2003	『早稲橋Ⅱ遺跡第6次調査－市内遺跡発掘調査報告書4－』
5	1984	『赤前遺跡群第1次・第2次発掘調査報告書』	62	2003	『下在家Ⅰ遺跡－平成14年度発掘調査報告書1』
6	1985	『宮古市遺跡分布調査報告書3』	63	2004	『大堀Ⅱ遺跡・平浜遺跡－市道閉伊崎線改良工事関係発掘調査報告書1』
7	1985	『金浜船跡発掘調査報告書』	64	2005	『弘川船跡－瑞雲寺裏庭整備関係発掘調査報告書1』
8	1986	『宮古市遺跡分布調査報告書4』	65	2006	『高浜Ⅶ地神遺跡－高浜四丁目宅地造成工事関係発掘調査報告書1』
9	1986	『宮古市遺跡分布図－昭和60年度版－』	66	2006	『崎山貝塚第20次調査・早稲橋Ⅱ遺跡第7次調査－市内遺跡発掘調査報告書5』
10	1986	『中谷地・島田遺跡調査報告書』	67	2006	『八木沢古館 八木沢中田遺跡 八木沢駒込Ⅰ遺跡・市道岸ノ前サントノ沢線道路工事関係発掘調査報告書1』
11	1987	『崎山貝塚・トロノ木Ⅳ遺跡調査報告書』	68	2006	『木戸井内Ⅳ遺跡－宮古市生活課市営火葬場整備事業関係発掘調査報告書1』
12	1987	『寒風・早稲橋Ⅳ遺跡調査報告書』	69	2006	『菅ノ沢遺跡発掘調査－市内遺跡発掘調査報告書6－』
13	1987	『崎山遺跡群Ⅰ－昭和61年度発掘調査概報1』	70	2007	『山口船跡・市道北部環状線道路改良工事関係埋蔵文化財調査報告書1』
14	1988	『青嶺Ⅰ・下在家Ⅱ・千徳城遺跡群（堀合館）』	71	2007	『近内船跡－古市都市計画課近内地区土地区画整理事業関係発掘調査報告書1』
15	1988	『崎山遺跡群Ⅱ－昭和62年度発掘調査概報1』	72	2007	『中沢遺跡・大付遺跡第11次調査－市内遺跡発掘調査報告書7－』
16	1989	『千嶺遺跡－昭和62年度発掘調査報告書1』	73	2007	『弘川船跡第2次調査－宗教法人瑞雲寺住宅建築工事地区発掘調査報告書1』
17	1989	『トロノ木Ⅰ遺跡－第1～7次発掘調査報告書1』	74	2008	『荷竹日向Ⅳ遺跡－市道向川原荷竹線道路工事関係発掘調査報告書1』
18	1989	『崎山遺跡群Ⅲ－昭和63年度発掘調査概報1』	75	2008	『宮古市遺跡分布調査報告書5』
19	1989	『高根遺跡－昭和63年度発掘調査報告書1』	76	2009	『国指定史跡 崎山貝塚 第Ⅳ期内容確認調査概報（青島器篇）』
20	1989	『弘崎Ⅱ遺跡－昭和63年度発掘調査報告書1』	77	2010	『宮古市遺跡分布調査報告書6』
21	1989	『崎山トロノ木Ⅳ遺跡－昭和63年度調査報告書1』	78	2011	『宮古市遺跡分布調査報告書7』
22	1990	『弘崎遺跡－平成元年度発掘調査報告書1』	79	2012	『重茂館遺跡群－第2次発掘調査報告書1』
23	1990	『崎山遺跡群Ⅳ－平成元年度発掘調査概報1』	80	2014	『八木沢駒込Ⅰ遺跡・八木沢駒込Ⅱ遺跡・市道磯崎金浜線道路改良工事関係発掘調査報告書1』
24	1990	『磯崎館山遺跡－昭和63年度発掘調査報告書1』	81	2014	『松ヶ沢Ⅰ遺跡・山口駒込Ⅰ遺跡・山口駒込Ⅱ遺跡・市道松ヶ沢線道路改良工事関係発掘調査報告書1』
25	1990	『銀ヶ崎館山貝塚－平成元年度発掘調査報告書1』	82	2104	『赤畑東遺跡－山口病院新棟建設工事関係発掘調査報告書1』
26	1991	『崎山遺跡群Ⅴ－平成2年度発掘調査概報1』	83	2015	『千徳城遺跡群－一栄工務店等ノミズ建築工事関係発掘調査報告書1』
27	1991	『青嶺Ⅰ・千徳城遺跡群－平成元年・2年度発掘調査報告書1』	84	2015	『黒森町Ⅰ遺跡－宗教法人「先天大道一貫道日本総天壇」研修施設建設工事関係発掘調査報告書1』
28	1990	『熊野町遺跡－昭和63年度発掘調査報告書1』	85	2015	『菅ノ沢遺跡・船館Ⅰ遺跡・市道長根岩船線道路改良工事関係発掘調査報告書1』
29	1991	『弘川Ⅰ遺跡－平成2年度発掘調査報告書1』	86	2016	『千徳城遺跡群・アパート建築関係埋蔵文化財発掘調査報告書1』
30	1992	『金浜Ⅰ遺跡（昭和58年度）・大付遺跡（平成2年度）発掘調査報告書』	87	2017	『重茂館遺跡群・重茂小学校仮設「サバ」整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書（第3次発掘調査）』
31	1992	『重茂館遺跡群－第1次調査報告書1』	88	2017	『重茂館遺跡群・重茂漁港地区漁業集落防災機能強化事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書（第4次発掘調査）』
32	1992	『黒森町Ⅰ遺跡－平成2年度発掘調査報告書1』	89	2017	『重茂館遺跡群・重茂漁業協同組合重茂給油所建設に伴う発掘調査報告書（第5次発掘調査）』
33	1992	『高根遺跡－平成3年度発掘調査報告書1』	90	2017	『下大谷地Ⅶ遺跡 大谷地Ⅰ遺跡・市道下大谷地花輪線道路改良事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書1』
34	1992	『磐沢遺跡－平成2年度発掘調査報告書1』	91	2017	『千嶺Ⅲ遺跡・千嶺地区漁業集落防災機能強化事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書1』
35	1992	『大付遺跡－平成3年度発掘調査報告書1』	92	2017	『金浜船跡・市道磯崎金浜線（金浜工区）道路整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書（第2次発掘調査）』
36	1992	『細越Ⅰ遺跡・芋野Ⅱ遺跡－農林課関係田代地区埋蔵文化財発掘調査報告書1』	93	2017	『乙部Ⅱ遺跡・田老地区防災集団移転促進事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1』
37	1992	『崎山遺跡群Ⅵ－平成3年度発掘調査概報1』	94	2018	『高浜Ⅱ今ヶ洞遺跡・災害公営住宅整備事業（高浜）1』
38	1993	『萩沢Ⅱ遺跡－平成4年度発掘調査報告書1』	95	2018	『川屋清水野遺跡 下刈屋Ⅰ遺跡・市道刈屋和井内線道路改良事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書1』
39	1993	『早稲橋Ⅱ遺跡－第1次・第2次発掘調査報告書1』	96	2018	『沼里船跡・都市防災総合推進事業（公園整備）関係発掘調査報告書1』
40	1993	『崎山遺跡群Ⅶ－平成4年度発掘調査概報1』	97	2018	『日の出町Ⅱ遺跡・災害公営住宅整備事業（日の出町）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1』
41	1994	『崎山遺跡群Ⅷ－平成5年度発掘調査概報1』	98	2018	『榑崎峠遺跡 山口船跡・市道北部環状線道路整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書1』
42	1995	『赤前Ⅰ牛子沢遺跡－平成4年度発掘調査報告書1』	99	2018	『赤前Ⅲ遺跡 赤前Ⅳ八枚田遺跡・市道赤前上下線道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1』
43	1995	『磯崎館山遺跡発掘調査報告書』	100	2019	『千嶺Ⅳ遺跡（第2次調査）・東日本大震災復興関連発掘調査事業に伴う個人住宅関係発掘調査報告書1』
44	1995	『崎山貝塚－範囲確認調査報告書1』	101	2019	『折壁館・中里遺跡・弘川Ⅰ遺跡・和井内清水遺跡・重茂館遺跡群・上下水道部生活排水課市設浄化槽整備事業に伴う発掘調査報告書1』
45	1995	『笹沢Ⅰ・加村・仲組Ⅲ・堀ノ神遺跡・市道浦の沢線改良工事関係埋蔵文化財発掘調査報告書』	102	2019	『赤前Ⅰ牛子沢遺跡・東日本大震災復興関連発掘調査事業に伴う個人住宅関係発掘調査報告書2』
46	1995	『花原市遺跡－平成4年度発掘調査報告書1』	103	2019	『白石遺跡（第8次・9次調査）・崎山地区防災集団移転促進事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1』
47	1995	『宮古市内遺跡発掘調査概報Ⅰ 早稲橋Ⅱ遺跡・崎山貝塚』	104	2019	『越田松長根Ⅰ遺跡・東日本大震災復興関連発掘調査事業に伴う個人住宅関係発掘調査報告書3』
48	1996	『大付遺跡－平成5年・6年度発掘調査報告書1』	105	2020	『高浜Ⅶ下地神遺跡・東日本大震災復興関連発掘調査事業に伴う倉庫建築関係発掘調査報告書1』
49	1997	『花原市遺跡－平成8年度発掘調査報告書1』	106	2020	『越田松長根Ⅰ遺跡・新田平乙郎線道路整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書1』
50	1997	『白石遺跡－第6次発掘調査報告書1』			
51	1998	『赤畑・天神山・山口船・北部環状線道路改良工事関係埋蔵文化財調査報告書1』			
52	1998	『藤畑遺跡－平成9年度発掘調査報告書1』			
53	1999	『赤前Ⅲ・赤前Ⅳ八枚田・赤前Ⅴ柳沢・赤前Ⅵ釜屋ヶ沢・小堀内Ⅲ遺跡－水産課津軽石環境整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書1』			
54	1999	『千嶺Ⅳ遺跡・水産課千嶺地区漁港漁村総合整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書1』			
55	1999	『崎山貝塚－第12次・13次内容確認調査概報1』			
56	2000	『木戸井内Ⅱ・木戸井内Ⅲ・上村Ⅲ遺跡－特別高圧送電線沖工業宮古支線新設工事関係埋蔵文化財調査報告書1』			
57	2002	『山口船跡－北部環状線道路改良工事関係埋蔵文化財調査報告書1』			
58	2002	『小沢Ⅱ大上遺跡－市内遺跡発掘調査報告書2－』			
59	2003	『大又沢Ⅱ遺跡－東北電力宮古ヘリポート移設工事関係発掘調査報告書1』			

宮古市埋蔵文化財調査報告書 107

神田沢遺跡

- 神田沢地区宅地造成関係埋蔵文化財調査 -

発 行 令和 2(2020) 年 3 月 31 日
宮古市教育委員会
〒 027-8501 岩手県宮古市宮町一丁目 1 番 30 号

編 集 宮古市教育委員会文化課
〒 027-0097 岩手県宮古市崎山第 1 地割 16 番地 1
Tel 0193-65-7527 Fax 0193-65-7508

印 刷 ショウジ印刷株式会社
〒 027-0084 岩手県宮古市末広町 4 番 10 号
Tel 0193-62-1326 Fax 0193-62-0271